



令和3年（2021年）福島県立医科大学業績集

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2023-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001349

福島県立医科大学業績集

令和 3 年

福島県立医科大学

目 次

I 福島県立医科大学業績	1

論文・著書・研究発表等

II 受賞学術賞一覧	615

III 受託・共同研究・補助等実績一覧	633

IV 知的財産権の設定の登録一覧	729

令和 3 年掲載内容件数

理事長業績	7 件
医学部業績	4,303 件
看護学部業績	129 件
保健科学部業績	453 件
附属病院，他業績	1,654 件
受賞学術賞	71 件
受託・共同研究・補助等実績	786 件
知的財産権の設定の登録	13 件
総計	7,416 件

I 福島県立医科大学業績

論文・著書・研究発表等

福島県立医科大学業績 論文・著書・研究発表等

理事長 1

医学部

神経解剖・発生学講座.....	2
解剖・組織学講座.....	3
細胞統合生理学講座.....	4
システム神経科学講座.....	5
生化学講座.....	6
免疫学講座.....	7
病態制御薬理医学講座.....	8
微生物学講座.....	11
基礎病理学講座.....	12
衛生学・予防医学講座.....	15
公衆衛生学講座.....	23
法医学講座.....	30
放射線生命科学講座.....	33
疫学講座.....	36
放射線物理化学講座.....	44
健康リスクコミュニケーション学講座.....	46
循環器内科学講座.....	50
血液内科学講座.....	74
消化器内科学講座.....	81
リウマチ膠原病内科学講座.....	97
腎臓高血圧内科学講座.....	105
糖尿病内分泌代謝内科学講座.....	113
脳神経内科学講座.....	121
呼吸器内科学講座.....	122
消化管外科学講座.....	129
肝胆膵・移植外科学講座.....	147
呼吸器外科学講座.....	155
乳腺外科学講座.....	169

心臓血管外科学講座.....	176
外科研修支援担当.....	177
脳神経外科学講座.....	185
整形外科科学講座.....	190
形成外科学講座.....	204
産科婦人科学講座.....	205
小児科学講座.....	210
眼科学講座.....	216
皮膚科学講座.....	222
泌尿器科学講座.....	231
耳鼻咽喉科学講座.....	249
神経精神医学講座.....	256
放射線医学講座.....	261
麻酔科学講座.....	267
救急医療学講座.....	273
病理病態診断学講座.....	275
臨床検査医学講座.....	277
感染制御学講座.....	281
輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....	285
地域・家庭医療学講座.....	292
放射線健康管理学講座.....	294
甲状腺内分泌学講座.....	301
災害こころの医学講座.....	308
放射線腫瘍学講座.....	316
腫瘍内科学講座.....	317
放射線災害医療学講座.....	321
リハビリテーション医学講座 ／リハビリテーションセンター.....	325
人間科学講座 生命倫理学分野.....	327
自然科学講座 数理情報学分野.....	328
自然科学講座 先端化学分野.....	328
自然科学講座 分子細胞生物学分野.....	330

自然科学講座 数理物質科学分野.....	330
附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門....	331
附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門....	332
附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門....	333
災害危機管理看護学講座 (旧：災害公衆衛生看護学講座)	334
国際被ばく保健看護学講座 (旧：国際被ばく公衆衛生看護学講座)	334
周産期・小児地域医療支援講座	335
災害医療支援講座	338
地域救急医療支援講座.....	340
地域産婦人科支援講座.....	341
白河総合診療アカデミー	342
東白川整形外科アカデミー	343
疼痛医学講座	346
スポーツ医学講座	350
外傷学講座.....	351
外傷再建学講座.....	356
生体機能イメージング講座.....	365
多発性硬化症治療学講座.....	368
低侵襲腫瘍制御学講座.....	372
心臓調律制御医学講座.....	376
肥満・体内炎症解析研究講座	381
運動器骨代謝学講座.....	388
手外科・四肢機能再建学講座	389
ヒト神経生理学講座.....	390
総合内科・臨床感染症学講座	392
地域包括の癌診療研究講座.....	394
先端地域生活習慣病治療学講座	394
周産期間葉系幹細胞研究講座	396
肺高血圧先進医療学講座.....	397

看護学部

総合科学部門 言語学分野	398
総合科学部門 行動科学分野（心理学）	398
総合科学部門 行動科学分野（社会学）	399
総合科学部門 保健情報学・疫学分野	401
生命科学部門	405
基礎看護学部門	406
成人・老年看護学部門.....	407
小児・精神看護学部門.....	409
地域・公衆衛生看護学部門	410
母性看護・助産学部門.....	411

保健科学部

理学療法学科	412
作業療法学科	424
診療放射線科学科.....	428
臨床検査学科	436
総合科学.....	450

附属病院, 他

附属病院長	453
医療情報部	463
ふたば救急総合医療支援センター.....	472
総合内科.....	474
小児外科.....	476
小児腫瘍内科	479
歯科口腔外科	480
検査部	482
放射線部.....	485
手術部	487
集中治療部.....	489

総合周産期母子医療センター	492
病理部	493
内視鏡診療部	494
臨床腫瘍センター	507
臨床工学センター	508
脳疾患センター	509
生殖医療センター	511
臨床研究教育推進部	511
性差医療センター	514
臨床研究センター	516
薬剤部	516
助産師養成課程設置準備室	519
大学健康管理センター	519
甲状腺検査室	521
総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域	522
総合科学教育研究センター 自然科学系領域	524
医療人育成・支援センター	531
看護師特定行為研修センター	539
医療研究推進センター	545
ふくしま子ども・女性医療支援センター	546
放射線医学県民健康管理センター	552
健康増進センター	563

甲状腺・内分泌センター	564
先端臨床研究センター	566
医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター	570
臨床研究イノベーションセンター	572

会津医療センター

総合内科学講座	574
漢方医学講座	577
循環器内科学講座	581
血液内科学講座	583
消化器内科学講座	584
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座	585
感染症・呼吸器内科学講座	588
精神医学講座	589
小腸・大腸・肛門科学講座	592
外科学講座	599
整形外科・脊椎外科学講座	605
耳鼻咽喉科学講座	609
麻酔科学講座	610
臨床医学部門	611

凡 例

1. 本業績集は、令和3（2021）年に発表された論文、著書、研究発表等を収録した。
2. 収録は、所属別とし、業績の種類により、
 - 1) 論文 ①原著 ②総説等 ③症例報告 ④研究報告書 ⑤その他
 - 2) 著書・訳書
 - 3) 研究発表等 ①研究発表 ②シンポジウム ③特別講演 ④招待講演 ⑤その他
 - 4) その他の業績・作品等 の順に記載した。
3. 記載方法
 - (1) 論文については、著者名、標題、掲載誌名、出版年月、巻（号）、頁の順に記載した。
 - (2) 著書・訳書については、著者名、書名、出版地、出版者名、出版年の順に記載した。ただし、分担執筆の場合は、担当論題、頁を記入した。
 - (3) 研究発表等については、発表者名、発表題名、発表会議名、発表年月日、開催地、掲載資料名、巻（号）、頁の順に記載した。

理事長

論文

〔原 著〕

Ono K, Hata K, Nakamura E, Ishihara S, Kobayashi S, Nakanishi M, Yoshida M, Takahata Y, Murakami T, Takenoshita S, Komori T, Nishimura R, Yoneda T. Dmrt2 promotes transition of endochondral bone formation by linking Sox9 and Runx2. *Communications Biology*. 202103; 4(1):326.

Sakamoto W, Ohki S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Long-term Outcomes of Lower Rectal Cancer Patients Treated with Total Mesorectal Excision and Lateral Pelvic Lymph Node Dissection after Preoperative Radiotherapy or Chemoradiotherapy. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 202104; 5(2):129-136.

Gonda K, Kanazawa H, Maeda G, Matayoshi C, Hirose N, Katsumoto Y, Kono K, Takenoshita S. Ingestion of Okinawa Island Vegetables Increases IgA Levels and Prevents the Spread of Influenza RNA Viruses. *Nutrients*. 202105; 13(6):1773.

Gonda K, Suzuki K, Sunabe Y, Kono K, Takenoshita S. *Ficus pumila* L. improves the prognosis of patients infected with HTLV-1, an RNA virus. *Nutrition Journal*. 202102; 20(1):16.

Kobayashi Y, Kumamoto K, Okayama H, Matsumoto T, Nakano H, Saito K, Matsumoto Y, Endo E, Kanke Y, Watanabe Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Downregulation of PAICS due to loss of chromosome 4q is associated with poor survival in stage III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 202107; 16(2):e0247169.

Gonda K, Horita S, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Soluble interleukin-2 receptor as a predictive and prognostic marker for patients with familial breast cancer. *Science Progress*. 202107; 104(3):368504211039590.

〔症例報告〕

Kanazawa H, Gonda K, Tamura T, Takenoshita S. A case of lipoma, calcification, and brain malformations in the midline of the skull. *Radiology Case Reports*. 202107; 16(9):2509-2513.

神経解剖・発生学講座

論文

〔原 著〕

Mukaigasa K, Sakuma C, Yaginuma H. The developmental hourglass model is applicable to the spinal cord based on single-cell transcriptomes and non-conserved cis-regulatory elements. Development, Growth & Differentiation. 202109; 63(7):372-391.

八木沼洋行. 死体解剖資格申請に関する日本解剖学会としての指針（2021年4月）について. 解剖学雑誌. 202109; 96:5-9.

八木沼洋行. 境界領域 知っておきたい 日本における Cadaver Surgical Training (CST) の現状と課題 外科系全般. 臨床整形外科. 202102; 56(2):186-189.

研究発表等

〔研究発表〕

向笠勝貴, 八木沼洋行. 脊髄発生に見る発生システム浮動. 第126回日本解剖学会総会・全国学会集會／第98回日本生理学会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

渡邊裕二, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 鳥類視蓋発生期の接線方向移動細胞は視蓋遠心性の視覚経路を構成する. 第126回日本解剖学会総会・全国学会集會／第98回日本生理学会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 神経管形成遺伝子の発現制御機構の進化. 日本解剖学会第67回東北・北海道連合支部学会集會; 20210904-05; Web(仙台).

渡邊裕二, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 視蓋の接線方向移動細胞による膝状体外系視覚経路の形成. 日仏生物学会第195回例会; 20211127; Web.

向笠勝貴, 佐久間千恵, 八木沼洋行. 発生砂時計モデルに合致した脊髄発生の進化. 第44回日本分子生物学会年会; 20211201-03; 横浜/Web.

〔シンポジウム〕

本間俊作. 中胚葉組織の細胞系譜から眺めた脊髄神経の分岐パターンについて. 第126回日本解剖学会総会・全国学会集會／第98回日本生理学会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

解剖・組織学講座

論文

〔原 著〕

Watanabe A, Hataida H, Inoue N, Kamon K, Baba K, Sasaki K, Kimura R, Sasaki H, Eura Y, Ni WF, Shibasaki Y, Waguri S, Kokame K, Shiba Y. Arf GTPase-activating proteins SMAP1 and AGFG2 regulate the size of Weibel-Palade bodies and exocytosis of von Willebrand factor. *Biology Open*. 202109; 10(9):bio058789.

Kageyama S, Gudmundsson SR, Sou YS, Ichimura Y, Tamura N, Kazuno S, Ueno T, Miura Y, Noshiro D, Abe M, Mizushima T, Miura N, Okuda S, Motohashi H, Lee JA, Sakimura K, Ohe T, Noda NN, Waguri S, Eskelinen EL, Komatsu M. p62/SQSTM1-droplet serves as a platform for autophagosome formation and anti-oxidative stress response. *Nature Communications*. 202101; 12(1):16.

Mukai K, Ogawa E, Uematsu R, Kuchitsu Y, Kiku F, Uemura T, Waguri S, Suzuki T, Dohmae N, Arai H, Shum AK, Taguchi T. Homeostatic regulation of STING by retrograde membrane traffic to the ER. *Nature Communications*. 202101; 12(1):61.

Uemura T, Suzuki T, Dohmae N, Waguri S. Clathrin adapters AP-1 and GGA2 support expression of epidermal growth factor receptor for cell growth. *Oncogenesis*. 202111; 10(11):80.

研究発表等

〔研究発表〕

植村武文, 和栗聡. Endosome-localized clathrin adaptors AP-1 and GGA2 regulate cell surface expression of EGFR for cell growth. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会／第98回日本生理学会大会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

鈴木倫毅, 和栗聡. オートファジー関連分子群によるクラミジア感染制御. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会／第98回日本生理学会大会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

長嶺夏希, 鈴木聡, 高橋智里, 坂上敏江, 佐藤綾子, 黒須由美子, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 小児および若年者における甲状腺内異所性胸腺の検討: 福島県県民健康調査. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

田村直輝, 和栗聡. 高浸透圧ストレスに応答した非膜性オルガネラの形成・分解機序. 第73回日本細胞生物学会大会; 20210629-0702; 京都/Web.

荒井律子, 山下俊一, 杉崎達也, Wu Huajui, 神吉智文, 和栗聡. ピースミールマイトファジー隔離膜構築プロセスの電子顕微鏡解析. 日本解剖学会第 67 回東北・北海道連合支部学術集会; 20210904-05; Web.

植村武文, 和栗聡. Recycling endosome-localized clathrin adaptors AP-1 and GGA2 regulate cell surface expression of EGFR for cell growth. 第 80 回日本癌学会学術総会; 20211001; 横浜/Web.

鈴木倫毅, 和栗聡. クラミジア感染細胞における Atg9A 機能解析. 第 94 回日本生化学大会; 20211103-05; Web(横浜).

〔シンポジウム〕

荒井律子, 山下俊一, 杉崎達也, Wu Huajui, 神吉智文, 和栗聡. ピースミールマイトファジーにおける隔離膜形成プロセスの微細形態学的解析. 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会／第 98 回日本生理学会大会 合同大会; 20210328-30; Web(名古屋).

荒井律子, 山下俊一, 杉崎達也, Wu Huajui, 神吉智文, 和栗聡. ピースミールマイトファジー隔離膜形成プロセスの微細形態学的解析. 第 44 回日本分子生物学会年会; 20211201-03; 横浜/Web.

細胞統合生理学講座

論 文

〔原 著〕

Kakinouchi K, Yoshie S, Tsuji S, Murono S, Hazama A. Dysfunction of Cl⁻ channels promotes epithelial to mesenchymal transition in oral squamous cell carcinoma via activation of Wnt/ β -catenin signaling pathway. Biochemical and Biophysical Research Communications. 202105; 555:95-101.

Kobayashi D, Nishimura N, Hazama A. Cesium Treatment Depresses Glycolysis Pathway in HeLa Cell. Cellular Physiology and Biochemistry. 202108; 55(4):477-488.

Katsuda SI, Fujikura Y, Horikoshi Y, Hazama A, Shimizu T, Shirai K. Different Responses of Arterial Stiffness between the Aorta and the Iliofemoral Artery during the Administration of Phentolamine and Atenolol in Rabbits. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202106; 28(6):611-621.

Horikoshi Y, Katsuda SI, Fujikura Y, Hazama A, Shimura H, Shimizu T, Shirai K. Opposing Responses of the Calcium Channel Blocker Nicardipine to Vascular Stiffness in the Elastic and Muscular Arteries in Rabbits. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202112; 28(12):1340-1348.

Maejima Y, Yokota S, Shimizu M, Horita S, Kobayashi D, Hazama A, Shimomura K. The deletion of glucagon-like peptide-1 receptors expressing neurons in the dorsomedial hypothalamic nucleus disrupts the diurnal feeding pattern and induces hyperphagia and obesity. *Nutrition & Metabolism*. 202106; 18(1):58.

著 書・訳 書

Yoshie S, Hazama A. Application of iPS cell-derived airway epithelial cells for cell-based therapy and disease models. In: Alexander Birbrair. *Recent Advances in iPSC-Derived Cell Types*. London: Elsevier; 202101. p.121-132.

研究発表等

〔研究発表〕

Miyake M, Yoshie S, Kaneko S, Hazama A. Selection of mouse embryos by membrane potential measurement after freeze-thaw cycle. 第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会／第 98 回日本生理学会大会合同大会; 20210328-30; Web.

楯和馬, 神田正樹, 竹口優三, 三宅将生, 小林大輔, 田中奏多, 大輪広美, 清水強, 挟間章博. 医療系専門学校の臨床実習実施に先立って行った SARS-CoV-2 PCR 検査の一例. 福島医学会第 489 回学術研究集会; 20210527; Web.

神田正樹, 楯和馬, 竹口優三, 田中奏多, 三宅将生, 挟間章博. 国際空港における勤務者向け新型コロナウイルス PCR 検査体制の確立. 第 67 回日本宇宙航空環境医学会大会; 20211119-21; 東京/Web.

挟間章博, 三宅将生, 小林大輔, 垣野内景. 一般の人々に体の仕組みを教える取り組み～学校教育と社会教育の相互補完による地域医療の充実を目指して－Popularization of Medical-knowledge Project－ (第 2 報) . 第 53 回東北生理談話会; 20211120; Web.

システム神経科学講座

論 文

〔原 著〕

Okamoto M, Eifuku S. Extraction and evaluation of action expression related to person perception using correlational analyses. *PsyArXiv*. 20210924; doi: 10.31234/osf.io/efczy.

Inaba H, Kai R, Namba H, Sotoyama H, Jodo E, Nin F, Hibino H, Yabe H, Eifuku S, Horii A, Nawa H. Perinatal epidermal growth factor signal perturbation results in the series of abnormal auditory oscillations and responses relevant to schizophrenia. Schizophrenia Bulletin Open. 202101; 2(1):sgaa070.

著 書・訳 書

永福智志. 顔ニューロンの現在. In: 河野哲也, 他 編. 顔身体学ハンドブック. 東京: 東京大学出版会. 202103. p.166-173.

永福智志. 相貌失認の現在. In: 河野哲也, 他 編. 顔身体学ハンドブック. 東京: 東京大学出版会. 202103. p.248-256.

研究発表等

〔研究発表〕

高橋和巳, 永福智志. 睡眠・覚醒サイクルにおけるラット分界条床核の単一ニューロン活動. 日本睡眠学会第 46 回定期学術集会; 20210923-24; 福岡 Web.

〔シンポジウム〕

木村孝行, 藤原寿理, 大塚千恵, 東竜太, 萩野亮, 五十嵐啓二, 奥山雅樹, 永福智志. アイシャドウの色の好みに関わる脳活動: fMRI による検討. 第 26 回日本顔学会大会 (フォーラム顔学 2021); 20210918-19; Web.

その他の業績・作品等

岡本正博. 眼底三次元画像における血管系の立体的構造解析のためのアプリ. 202104.

生化学講座

論 文

〔原 著〕

Kariya Y, Oyama M, Kariya Y, Hashimoto Y. Phosphorylated osteopontin secreted from cancer cells induces

cancer cell motility. *Biomolecules*. 202109; 11(9):1323.

Kariya Y, Oyama M, Suzuki T, Kariya Y. $\alpha v\beta 3$ integrin induces partial EMT independent of TGF- β signaling. *Communications Biology*. 202104; 4(1):490.

Alcantara MC, Suzuki K, Acebedo AR, Sakamoto Y, Nishita M, Minami Y, Kikuchi A, Yamada G. Stage-dependent function of Wnt5a during male external genitalia development. *Congenital Anomalies*. 202111; 61(6):212-219.

Iijima J, Hoshi K, Ito H, Kanno M, Murakami Y, Takahashi K, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Nakajima M, Miyajima M, Arai H, Kanai M, Kitazume S, Honda T, Hashimoto Y. Total transferrin in cerebrospinal fluid is a novel biomarker for spontaneous intracranial hypotension. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):64-70.

Hoshi K, Ito H, Abe E, Fuwa TJ, Kanno M, Murakami Y, Abe M, Murakami T, Yoshihara A, Ugawa Y, Saito T, Saido TC, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Furukawa K, Arai H, Kanai M, Miyajima M, Arai H, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Tateno H, Honda T, Hashimoto Y. Transferrin Biosynthesized in the Brain Is a Novel Biomarker for Alzheimer's Disease. *Metabolites*. 202109; 11(9):616.

Avincsal MO, Kamizaki K, Jimbo N, Shinomiya H, Nibu KI, Nishita M, Minami Y. Oncogenic E6 and/or E7 proteins drive proliferation and invasion of human papilloma virus-positive head and neck squamous cell cancer through upregulation of Ror2 expression. *Oncology Reports*. 202107; 46(1):148.

研究発表等

〔研究発表〕

佐事武, 西田満, 遠藤光晴, 岡田康志, 南康博. c-Src を介した KIF1C のリン酸化は浸潤突起の伸長・成熟を制御する. シグナル伝達医学研究展開センター若手道場; 20210206; 神戸.

免疫学講座

論文

〔原 著〕

Świerko AS, Jarych D, Gajek G, Chojnacka K, Kobiela P, Kufelnicka-Babout M, Michalski M, Sobczuk K, Szala-Póździej A, Matsushita M, Mazela J, Domżańska-Popadiuk I, Kilpatrick DC, Kalinka J, Sekine H,

Cedzyński M. Polymorphisms of the FCN2 Gene 3'UTR Region and Their Clinical Associations in Preterm Newborns. *Frontiers in Immunology*. 202110; 12:741140.

Tanaka K, Oguchi Y, Omori T, Ishida Y, Shintake H, Tomita R, Kasai A, Ogasawara M, Sugano Y, Itagaki K, Ojima A, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Changes in complement activation products after anti-VEGF injection for choroidal neovascularization in age-related macular degeneration and pachychoroid disease. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8464.

研究発表等

〔研究発表〕

Machida T, Kusakari K, Ishida Y, Omori T, Suzuki T, Sekimata M, Fujita T, Sekine H. The significance of complex formation of MASP-3 with pattern recognition molecules of the lectin complement pathway in the long-term retention of MASP-3 in the circulation. 28th International Complement Virtual Workshop; 20211206-10; Web. *Molecular Immunology*. 141:230-231.

草刈浩平, 石田由美, 大森智子, 鈴木俊幸, 関亦正幸, 町田豪, 関根英治. MASP-3 の活性化におけるレクチン経路の認識分子の役割. 第 57 回日本補体学会学術集会; 20210910-11; 豊中/Web.

草刈浩平, 石田由美, 大森智子, 鈴木俊幸, 関亦正幸, 町田豪, 関根英治. MASP-3 の活性化と循環中の保持におけるレクチン経路の認識分子との複合体形成の意義. 福島県立医科大学 医学研究科大学院研究発表会・ウィンターポスターセッション; 20211220-24; 福島.

病態制御薬理医学講座

論文

〔原 著〕

Taira S, Ikeda A, Kobayashi S, Shikano H, Ikeda R, Maejima Y, Horita S, Yokoyama J, Shimomura K. Comparative analysis of derivatization reagents for catecholamines and amino acids. *Applied Sciences*. 202107; 11(13):6217.

Saito H, Hidema S, Otsuka A, Suzuki J, Kumagai M, Kanaya A, Murakami T, Takei Y, Saito K, Sugino S, Toyama H, Saito R, Tominaga T, Nishimori K, Yamauchi M. Effects of oxytocin on responses to nociceptive and non-nociceptive stimulation in the upper central nervous system. *Biochemical and Biophysical Research Communications*. 202110; 574:8-13.

Saito Y, Urashima M, Takahashi Y, Ogawa A, Kiyotani C, Yuza Y, Koh K, Watanabe K, Kosaka Y, Goto H, Kikuta A, Okada K, Koga Y, Fujimura J, Inoue M, Sato A, Atsuta Y, Matsumoto K. Effect of high-dose chemotherapy plus stem cell rescue on the survival of patients with neuroblastoma modified by MYCN gene gain/amplification and remission status: a nationwide registration study in Japan. *Bone Marrow Transplantation*. 202109; 56(9):2173-2182.

Takahashi N, Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kikuta A. Intracranial Hemorrhage in a Pediatric Patient with Chronic Myeloid Leukemia in Chronic Phase: A Case Report. *Case Reports in Oncology*. 202103; 14(1):525-530.

Misaka S, Ono Y, Uchida A, Ono T, Abe O, Ogata H, Sato H, Suzuki M, Onoue S, Shikama Y, Shimomura K. Impact of Green Tea Catechin Ingestion on the Pharmacokinetics of Lisinopril in Healthy Volunteers. *Clinical and Translational Science*. 202103; 14(2):476-480.

Zhao J, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Tan C, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Nan G, Zhao S, Ito H, Shimomura K. Evaluation of Effect of Ninjin'yoeito on Regional Brain Glucose Metabolism by ¹⁸F-FDG Autoradiography With Insulin Loading in Aged Mice. *Frontiers in Nutrition*. 202105; 8:657663.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Waragai T, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effectiveness of T-Cell Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Refractory/Relapsed B Cell Acute Lymphoblastic Leukemia in Children and Adolescents. *Frontiers in pediatrics*. 202110; 9:743294.

Cho Y, Hidema S, Omura T, Koike K, Koike K, Oikawa H, Konoki K, Oshima Y, Yotsu-Yamashita M. SxtA localizes to chloroplasts and changes to its 3'UTR may reduce toxin biosynthesis in non-toxic *Alexandrium catenella* (Group I)[☆]. *Harmful Algae*. 202101; 101:101972.

Shimazaki S, Kuroda J, Shimomura K, Misaka S. Urinary Excretion of Nadolol as a Possible In Vivo Probe for Drug Interactions Involving P-Glycoprotein. *Journal of Clinical Pharmacology*. 202106; 61(6):799-805.

Mochizuki K, Kobayashi S, Takahashi N, Sugimoto K, Sano H, Ohara Y, Mineishi S, Zhang Y, Kikuta A. Alloantigen-activated (AAA) CD4⁺ T cells reinvigorate host endogenous T cell immunity to eliminate pre-established tumors in mice. *Journal of Experimental and Clinical Cancer Research*. 202110; 40(1):314.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Ono T, Proks P, Yoshida-Komiya H, Ueta Y, Nishimori K, Misaka S, Shimomura K. Identification of oxytocin receptor activating chemical components from traditional Japanese medicines. *Journal of Food and Drug Analysis*. 202112; 29(4):653-675.

Nakagawa S, Kato M, Imamura T, Imai C, Koh K, Kawano Y, Shimomura Y, Watanabe A, Kikuta A, Saito A, Horibe K, Manabe A, Ohara A, Okamoto Y. In-Hospital Management Might Reduce Induction Deaths in Pediatric Patients With Acute Lymphoblastic Leukemia: Results From a Japanese Cohort. *Journal of Pediatric Hematology/Oncology*. 202103; 43(2):39-46.

Iseki Y, Ono Y, Hibi C, Tanaka S, Takeshita S, Maejima Y, Kurokawa J, Murakawa M, Shimomura K, Sakamoto K. Opening of Intermediate Conductance Ca^{2+} -Activated K^{+} Channels in C2C12 Skeletal Muscle Cells Increases the Myotube Diameter via the Akt/Mammalian Target of Rapamycin Pathway. *Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics*. 202103; 376(3):454-462.

Higa A, Takahashi N, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. High-Throughput In Vitro Assay using Patient-Derived Tumor Organoids. *Journal of Visualized Experiments*. 202106; (172):e62668.

Kada A, Kikuta A, Saito AM, Kato K, Iguchi A, Yabe H, Ishida H, Hyakuna N, Takahashi Y, Nagasawa M, Hashii Y, Umeda K, Matsumoto K, Fujisaki H, Yano M, Nakazawa Y, Sano H. Single-Arm Non-Blinded Multicenter Clinical Trial on T-Cell-Replete Haploidentical Stem Cell Transplantation Using Low-Dose Antithymocyte Globulin for Relapsed and Refractory Pediatric Acute Leukemia. *Kurume Medical Journal*. 202110; 66(3):161-168.

Carcea I, Caraballo NL, Marlin BJ, Ooyama R, Riceberg JS, Mendoza Navarro JM, Opendak M, Diaz VE, Schuster L, Alvarado Torres MI, Lethin H, Ramos D, Minder J, Mendoza SL, Bair-Marshall CJ, Samadjopoulos GH, Hidema S, Falkner A, Lin D, Mar A, Wadghiri YZ, Nishimori K, Kikusui T, Mogi K, Sullivan RM, Froemke RC. Oxytocin neurons enable social transmission of maternal behaviour. *Nature*. 202108; 596(7873):553-557.

Maejima Y, Yokota S, Shimizu M, Horita S, Kobayashi D, Hazama A, Shimomura K. The deletion of glucagon-like peptide-1 receptors expressing neurons in the dorsomedial hypothalamic nucleus disrupts the diurnal feeding pattern and induces hyperphagia and obesity. *Nutrition & Metabolism*. 202106; 18(1):58.

Takahashi N, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Dobashi Y, Katahira K, Ishihara H, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. Construction of *in vitro* patient-derived tumor models to evaluate anticancer agents and cancer immunotherapy. *Oncology Letters*. 202105; 21(5):406.

Takahashi N, Mochizuki K, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Decline of serum albumin precedes severe acute GVHD after haploidentical HSCT. *Pediatrics International*. 202109; 63(9):1048-1054.

Gonda K, Horita S, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Soluble interleukin-2 receptor as a predictive and prognostic marker for patients with familial breast cancer. *Science Progress*. 202107; 104(3):368504211039590.

Horita S, Ono T, Gonzalez-Resines S, Ono Y, Yamachi M, Zhao S, Domene C, Maejima Y, Shimomura K. Structure based analysis of K_{ATP} channel with a DEND syndrome mutation in murine skeletal muscle. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):6668.

Zhao J, Tan C, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Ito H, Nan G, Zhao S, Shimomura K. Evaluation of organ glucose metabolism by ^{18}F -FDG accumulation with insulin loading in aged mice compared with young normal mice. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):7421.

嶋原智彦, 大井直往, 望月一弘, 菊田敦. リハビリテーション医学研究のこれから 造血幹細胞移植を施行した小児がん患児に対するリハビリテーション医療. *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*. 202107; 58(7):798-799.

〔総説等〕

菊田敦. 肝中心静脈閉塞症 (SOS/VOD) の治療. *日本造血細胞移植学会雑誌*. 202101; 10(1):36-47.

菊田敦. 肝中心静脈閉塞症 (SOS/VOD) の診断と治療. *臨床血液*. 202108; 62(8):1256-1264.

微生物学講座

論 文

〔原 著〕

Sato Y, Suenaga T, Kobayashi M, Miyazaki N, Suzuki T, Ishioka K, Suzutani T. Characteristics of Helicase-primase Inhibitor Amenamevir-resistant Herpes Simplex Virus. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy*. 202109; 65(10):e0049421.

Kondo H, Koshizuka T, Majima R, Takahashi K, Ishioka K, Suzutani T, Inoue N. Characterization of a thiourea derivative that targets viral transactivators of cytomegalovirus and herpes simplex virus type 1. *Antiviral Research*. 202112; 196:105207.

Matsumoto Y, Kishida K, Matsumoto M, Matsuoka S, Kohyama M, Suenaga T, Arase H. A TCR-like antibody against a proinsulin-containing fusion peptide ameliorates type 1 diabetes in NOD mice. *Biochemical and Biophysical Research Communications*. 202101; 534:680-686.

Sakoguchi A, Saito F, Hirayasu K, Shida K, Matsuoka S, Itagaki S, Nakai W, Kohyama M, Suenaga T, Iwanaga S, Horii T, Arase H. Plasmodium falciparum RIFIN is a novel ligand for inhibitory immune receptor LILRB2. *Biochemical and Biophysical Research Communications*. 202104; 548:167-173.

Kanno R, Koshizuka T, Miyazaki N, Kobayashi T, Ishioka K, Ozaki C, Chiba H, Suzutani T. Protection of Fatty Liver by the Intake of Fermented Soybean Paste, *Miso*, and Its Pre-Fermented Mixture. *Foods*. 202102; 10(2):291.

基礎病理学講座

論 文

〔原 著〕

Yamazaki M, Sugimoto K, Mabuchi Y, Yamashita R, Ichikawa-Tomikawa N, Kaneko T, Akazawa C, Hasegawa H, Imura T, Chiba H. Soluble JAM-C Ectodomain Serves as the Niche for Adipose-Derived Stromal/Stem Cells. *Biomedicines*. 202103; 9(3):278.

Fahrman JF, Irajizad E, Kobayashi M, Vykoukal JV, Dennison JB, Murage E, Wu R, Long JP, Do KA, Celestino J, Lu KH, Lu Z, Bast RC, Hanash S. A MYC-driven plasma polyamine signature for early detection of ovarian cancer. *Cancers*. 202102; 13(4):913.

Kanno R, Koshizuka T, Miyazaki N, Kobayashi T, Ishioka K, Ozaki C, Chiba H, Suzutani T. Protection of Fatty Liver by the Intake of Fermented Soybean Paste, *Miso*, and Its Pre-Fermented Mixture. *Foods*. 202102; 10(2):291.

Ajani JA, Xu Y, Huo L, Wang R, Li Y, Wang Y, Pizzi MP, Scott A, Harada K, Ma L, Yao X, Jin J, Zhao W, Dong X, Badgwell BD, Shanbhag N, Tatlonghari G, Estrella JS, Roy-Chowdhuri S, Kobayashi M, Vykoukal JV, Hanash SM, Calin GA, Peng G, Lee JS, Johnson RL, Wang Z, Wang L, Song S. YAP1 mediates gastric adenocarcinoma peritoneal metastases that are attenuated by YAP1 inhibition. *Gut*. 202101; 70(1):55-66.

Rahman A, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Furukawa S, Watanabe T, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Reduced claudin-12 expression predicts poor prognosis in cervical cancer. *International Journal of Molecular Sciences*. 202104; 22(7):3774.

Mochizuki K, Kobayashi S, Takahashi N, Sugimoto K, Sano H, Ohara Y, Mineishi S, Zhang Y, Kikuta A. Alloantigen-activated (AAA) CD4⁺ T cells reinvigorate host endogenous T cell immunity to eliminate pre-established tumors in mice. *Journal of Experimental & Clinical Cancer Research*. 202110; 40(1):314.

Katayama H, Kobayashi M, Irajizad E, Patel N, Mao X, Rusling L, Vykoukal J, Cai Y, Hsiao F, Yu CY, Long J, Liu J, Esteva F, Fahrman J, Hanash S. Protein citrullination as a source of cancer neoantigens. *Journal for Immunotherapy of Cancer*. 202106; 9(6):e002549.

Saito AC, Higashi T, Fukazawa Y, Otani T, Tauchi M, Higashi AY, Furuse M, Chiba H. Occludin and tricellulin facilitate formation of anastomosing tight-junction strand network to improve barrier function. *Molecular Biology of the Cell*. 202104; 32(8):722-738.

Kojima M, Sugimoto K, Kobayashi M, Ichikawa-Tomikawa N, Kashiwagi K, Watanabe T, Soeda S, Fujimori K, Chiba H. Aberrant claudin-6-adhesion signaling promotes endometrial cancer progression via estrogen

receptor α . *Molecular Cancer Research*. 202107; 19(7):1208-1220.

Ogawa M, Geng FS, Humphreys DT, Kristianto E, Sheng DZ, Hui SP, Zhang Y, Sugimoto K, Nakayama M, Zheng D, Hesselton D, Hodson MP, Bogdanovic O, Kikuchi K. Krüppel-like factor 1 is a core cardiomyogenic trigger in zebrafish. *Science*. 202104; 372(6538):201-205.

Watanabe M, Higashi T, Ozeki K, Higashi AY, Sugimoto K, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H, Chiba H. CLDN15 is a novel diagnostic marker for malignant pleural mesothelioma. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):12554.

Higashi AY, Higashi T, Furuse K, Ozeki K, Furuse M, Chiba H. Claudin-9 constitutes tight junctions of folliculo-stellate cells in the anterior pituitary gland. *Scientific Reports*. 202111; 11(1):21642.

〔総説等〕

Chiba H, Ichikawa-Tomikawa N, Imura T, Sugimoto K. The region-selective regulation of endothelial claudin-5 expression and signaling in brain health and disorders. *Journal of Cellular Physiology*. 202110; 236(10):7134-7143.

Sugimoto K, Chiba H. The claudin-transcription factor signaling pathway. *Tissue Barriers*. 202107; 9(3):1908109.

〔症例報告〕

Yamashita R, Tanaka M, Chiba H, Sugimoto K. Bacterial Myocarditis in a Patient with Cancer. *JMA journal*. 202104; 4(2):169-170.

研究発表等

〔研究発表〕

Higashi T, Saito A, Yugo F, Otani T, Tauchi M, Higashi AY, Furuse M, Chiba H. Occludin and tricellulin regulate the complexity of tight junction strand network and epithelial barrier function. 51st NIPS International Symposium -Frontiers in Epithelial Cell Biology-; 20211206-08; Web.

Saito AC, Higashi T, Fukazawa Y, Otani T, Tauchi M, Higashi AY, Furuse M, Chiba H. Occludin and tricellulin jointly form a complex network of tight junction strands to maintain epithelial barrier. *ASCB Cell Bio Virtual* 2021; 20211201-10; Web.

Rahman A, 杉本幸太郎, 小林信, 遠藤雄大, 小島学, 千葉英樹. 子宮体がんにおける細胞接着分子クローディング 9 発現の臨床病理学的検討. 第 110 回日本病理学会総会; 20210422-24; 東京. 日本病理学会会誌. 110(1):245.

小林信, 杉本幸太郎, 千葉英樹. 細胞表面タンパク質解析を基盤とした卵巣癌の新規診断・治療標的の網羅的同

定. 第 110 回日本病理学会総会; 20210422-24; 東京. 日本病理学会会誌. 110(1):341.

宮川諒也, 小林信, 杉本幸太郎, 千葉英樹. Spondin-1 の新規卵巣癌診断マーカーとしての有用性. 第 110 回日本病理学会総会; 20210422-24; 東京. 日本病理学会会誌. 110(1):377.

Kobayashi M, Katayama H, Fahrmann JF, Iradizad E, Mao X, Vykoukal JV, Yu CY, Cai Y, Sugimoto K, Chiba H, Celestino J, Liu J, Lu KH, Hanash SM. Surfaceome profiling of ovarian cancer ascites tumor cells for personalized immunotherapy. 日本プロテオーム学会 2021 年大会; 20210719-21; Web.

〔シンポジウム〕

Kobayashi M, Katayama H, Fahrmann JF, Iradizad E, Mao X, Vykoukal JV, Yu CY, Cai Y, Celestino J, Liu J, Lu KH, Hanash SM. Surfaceome profiling of ovarian cancer ascites tumor cells for personalized immunotherapy. 10th Asia Oceania Human Proteome Organization Conference; 20210630-0702; Busan, Korea/Web.

Higashi T. Occludin and tricellulin regulate the complexity of TJ strand network and improve epithelial barrier function. 4th Tight Junction Conference; 20210927; Berlin/Web.

齋藤明, 東智仁, 深澤有吾, 大谷哲久, 田内雅士, 東淳子, 古瀬幹夫, 千葉英樹. オクルディンとトリセルリンは協調的に細胞間隙の超微細構造を形成し上皮バリアを維持する. 第 73 回日本細胞生物学会; 20210629-0702; Web.

小林信, 片山博之, 杉本幸太郎, 千葉英樹. Auto-immunomics を基盤としたがん患者血清中自己抗体の網羅的探索. 第 72 回日本電気泳動学会総会; 20210714-16; Web. 電気泳動. 65(Suppl):S7.

杉本幸太郎, 小林信, 千葉英樹. 臨床検体を用いたバイオマーカー研究 細胞接着分子クローディングとがんマーカー分子としての有用性と治療標的としての可能性. 第 72 回電気泳動学会総会; 20210714-16; Web. 電気泳動. 65(Suppl):S8.

遠藤雄大, 杉本幸太郎, Rahman A, 小林信, 千葉英樹. Claudin-9 は子宮体がんの新規予後マーカーである. 第 72 回電気泳動学会総会; 20210714-16; Web. 電気泳動. 65(Suppl):S26.

宮川諒也, 小林信, 杉本幸太郎, 千葉英樹. 卵巣がんにおける Spondin-1 タンパク質の発現解析. 第 72 回電気泳動学会総会; 20210714-16; Web. 電気泳動. 65(Suppl):S62.

〔招待講演〕

小林信. Surfaceome 解析・自己抗体解析を駆使した卵巣がん新規診断マーカーの獲得. 第 18 回北里疾患プロテオーム研究会; 20210319; Web.

衛生学・予防医学講座

論 文

〔原 著〕

Satoh R, Hisamatsu T, Tsumura H, Fukuda M, Taniguchi K, Takeshita H, Kanda H. Relationship between insomnia with alcohol drinking before sleep (Ne-Zake) or in the morning (Mukae-Zake) among Japanese farmers. *Alcohol*. 202106; 93:57-62.

Fujii M, Kuwabara Y, Kinjo A, Imamoto A, Jike M, Otsuka Y, Itani O, Kaneita Y, Minobe R, Maesato H, Higuchi S, Yoshimoto H, Kanda H, Osaki Y. Trends in the co-use of alcohol and tobacco among Japanese adolescents: periodical nationwide cross-sectional surveys 1996-2017. *BMJ Open*. 202108; 11(8):e045063.

Watari T, Hlaing T, Kanda H. The Choosing Wisely Initiative and MRIs: Over- and Under-Diagnosis in Japan and Myanmar. *Cureus*. 202104; 13(4):e14342.

Hidaka T, Takahashi N, Hashimoto K, Inoue M, Terada Y, Endo S, Kakamu T, Tsukahara T, Abe K, Fukushima T. Qualitative and Quantitative Study on Components of Future Time Perspective and Their Association with Persistent Treatment for Type 2 Diabetes. *Diabetes Therapy*. 202112; 12(12):3187-3199.

Nomiyama T, Azuma K, Fukushima T, Hara K, Hori H, Horie S, Ichiba M, Ichihara G, Ishitake T, Ito A, Iwasawa S, Kamijima M, Karita K, Katoh T, Kawamoto T, Kumagai S, Kusaka Y, Miyagawa M, Miyauchi H, Morimoto Y, Okuda H, Omae K, Sobue T, Sobue T, Takebayashi T, Takeshita T, Takeshita T, Yamano Y, Yokoyama K, Araki A, Harada K, Horiguchi H, Ito Y, Kakamu T, Matsumoto A, Naito H, Nakano M, Okuda M, Sato K, Suwazono Y, Takeuchi A, Takeuchi A, Tsuji M, Tsukahara T, Ueno S, Ueyama J, Umeda Y, Yamamoto K, Yamauchi T, Endo G, Endo Y, Kawai T, Kishi R, Nagano K, Nakajima T, Tanaka S, Yano E; The Japan Society for Occupational Health, Members of the Committee for Recommendation of Occupational Exposure Limits(2020-2021). Recommendation of occupational exposure limits(2021-2022). *Environmental and Occupational Health Practice*. 2021; 3(1):ROEL2021.

Kasuga H, Endo S, Masuishi Y, Hidaka T, Kakamu T, Saito K, Abe K, Fukushima T. Association between participation in sports club activities and decision-making preferences in end-of-life treatment among Japanese elderly people: a cross-sectional study. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):135-142.

Maeda T, Nishi T, Funakoshi S, Tada K, Tsuji M, Satoh A, Kawazoe M, Yoshimura C, Arima H. Residual risks of ischaemic stroke and systemic embolism among atrial fibrillation patients with anticoagulation: large-scale real-world data (F-CREATE project). *Heart*. 202102; 107(3):217-222.

Maeda T, Nishi T, Funakoshi S, Tada K, Tsuji M, Satoh A, Kawazoe M, Yoshimura C, Arima H. Risk of Stroke in Atrial Fibrillation According to Sex in Patients Aged Younger Than 75 Years: A Large-Scale,

Observational Study Using Real-World Data. *Heart, Lung & Circulation*. 202107; 30(7):963-970.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Determinants of the evacuation destination for psychiatric hospital inpatients following the Fukushima nuclear disaster. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202112; 66:102600.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Sato Y, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Increasing Disaster Medical Assistance Teams' Intent to Engage with Specific Hazards. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(21):11630.

Nagahata K. Which aspects of soundscape can the soundscape attributes measure? INTER-NOISE and NOISE-CON Congress and Conference Proceedings. 202108; 21:1940-1944.

Hidaka T, Kasuga H, Kakamu T, Fukushima T. Discovery and Revitalization of "Feeling of Hometown" from a Disaster Site Inhabitant's Continuous Engagement in Reconstruction Work: Ethnographic Interviews with a Radiation Decontamination Worker Over 5 Years Following the Fukushima Nuclear Power Plant Accident. *Japanese Psychological Research*. 202110; 63(4):393-405.

Kawazoe M, Funakoshi S, Ishida S, Yoshimura C, Satoh A, Maeda T, Tsuji M, Yokota S, Tada K, Takahashi K, Ito K, Yasuno T, Fujii H, Okutsu S, Mukobara S, Kawanami D, Nabeshima S, Kondo S, Masutani K, Arima H. Effect of chronic kidney disease on the association between hyperuricemia and new-onset hypertension in the general Japanese population: ISSA-CKD study. *Journal of Clinical Hypertension*. 202112; 23(12):2071-2077.

Kaneko S, Nakahara T, Sumikawa Y, Fukunaga A, Masuda K, Kakamu T, Morita E. Current status of the satisfaction levels of adult patients receiving drugs for atopic dermatitis and chronic urticaria. *Journal of Cutaneous Immunology and Allergy*. 202202; 5(1):4-11.

Hisamatsu T, Taniguchi K, Fukuda M, Kinuta M, Nakahata N, Kanda H. Effect of coronavirus disease 2019 pandemic on physical activity in a rural area of Japan: The Masuda Study. *Journal of Epidemiology*. 202103; 31(3):237-238.

Nakamura K, Hara Y, Harada R, Tanno D, Kashiwazaki J, Kobari S, Kitabatake M, Yui S, Ohashi K, Hidaka T, Arai K, Kanemitsu K. Evaluation of the Antimicrobial Effectiveness of Ozonated Water for Hand Washing in the Presence of Organic Material Contamination Using the ASTM E2946-13 Standard Test Method. *Journal of Food Protection*. 202111; 84(11):1922-1924.

Yokozuka M, Sato S. Differences in toe flexor strength and foot morphology between wheelchair dependent and ambulant older people in long-term care: a cross-sectional study. *Journal of Foot and Ankle Research*. 202103; 14(1):17.

Tanabe R, Hisamatsu T, Fukuda M, Tsumura H, Tsuchie R, Suzuki M, Nagisa S, Nakamura K, Takahashi K, Kanda H. The Association Between Problematic Internet Use and Neck Pain among Japanese Schoolteachers. *Journal of Occupational Health*. 202101; 63(1):e12298.

Otsuka Y, Kaneita Y, Spira AP, Mojtabai R, Itani O, Jike M, Higuchi S, Kanda H, Kuwabara Y, Kinjo A, Osaki Y. Trends in sleep problems and patterns among Japanese adolescents: 2004 to 2017. *Lancet Regional Health Western Pacific*. 202104; 9:100107.

Ono Y, Ono N, Kakamu T, Ishida T, Inoue S, Kotani J, Shinohara K. Impact of closure of the in-house psychiatric care unit on prehospital and emergency ward length of stay and disposition locations in patients who attempted suicide: A retrospective before-and-after cohort study at a community hospital in Japan. *Medicine*. 202106; 100(22):e26252.

Kakamu T, Hidaka T, Masuishi Y, Kasuga H, Endo S, Sakurazawa M, Munakata Y, Tajimi K, Fukushima T. Effect of occupation on sleep duration among daytime Japanese workers: A cross-sectional study. *Medicine*. 202112; 100(49):e28123.

Ono Y, Iwasaki Y, Hirano T, Hashimoto K, Kakamu T, Inoue S, Kotani J, Shinohara K. Impact of emergency physician-staffed ambulances on preoperative time course and survival among injured patients requiring emergency surgery or transarterial embolization: A retrospective cohort study at a community emergency department in Japan. *PLOS ONE*. 202111; 16(11):e0259733.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Survey about Intention to Engage in Specific Disaster Activities among Disaster Medical Assistance Team Members. *Prehospital and Disaster Medicine*. 202112; 36(6):684-690.

Gotoh D, Kunii Y, Terui T, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Yabe H. Markedly higher mortality among psychiatric inpatients mandatorily evacuated after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 202101; 75(1):29-30.

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Kumakura T, Fukushima T, Yabe H, Kawakatsu S. Effects of the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on behavioural and psychological symptoms of dementia among patients. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):709-715.

Endo S, Kakamu T, Kasuga H, Masuishi Y, Hidaka T, Fukushima T. Accurate weight gain perception may inhibit weight loss compared to inaccurate weight gain perception among Japanese adults. *Psychology, Health & Medicine*. 202104; 26(4):509-517.

Kakamu T, Endo S, Hidaka T, Masuishi Y, Kasuga H, Fukushima T. Heat-related illness risk and associated personal and environmental factors of construction workers during work in summer. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1119.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Long-term observation of mortality among inpatients evacuated from psychiatric hospitals in Fukushima prefecture following the Fukushima nuclear disaster. *Scientific Reports*. 202107; 11(1):14651.

Maeda T, Yokota S, Nishi T, Funakoshi S, Tsuji M, Satoh A, Abe M, Kawazoe M, Yoshimura C, Tada K, Takahashi K, Ito K, Yasuno T, Yamanokuchi T, Iwanaga K, Morinaga A, Maki K, Ueno T, Masutani K, Mukoubara S, Arima H. Association between pulse pressure and progression of chronic kidney disease. *Scientific Reports*. 202112; 11(1):23275.

Kinoshita Y, Itani O, Otsuka Y, Matsumoto Y, Nakagome S, Osaki Y, Higuchi S, Jike M, Kanda H, Kaneita Y. A nationwide cross-sectional study of difficulty waking up for school among adolescents. *Sleep*. 202111; 44(11):zsab157.

Otsuka Y, Kaneita Y, Itani O, Matsumoto Y, Jike M, Higuchi S, Kanda H, Kuwabara Y, Kinjo A, Osaki Y. The association between internet usage and sleep problems among Japanese adolescents: three repeated cross-sectional studies. *Sleep*. 202112; 44(12):zsab175.

Matsumoto Y, Kaneita Y, Jike M, Osaki Y, Kanda H, Higuchi S, Itani O, Otsuka Y. Clarifying the factors affecting the implementation of the "early to bed, early to rise, and don't forget your breakfast" campaign aimed at adolescents in Japan. *Sleep and Biological Rhythms*. 202107; 19(3):325-336.

Tsuboi S, Mine T, Fukushima T. Risk of hospital insolvency and its relationship with income and borrowings from banks: a case-control study with large-scale financial data in Japan. *SN Business & Economics*. 202110; 1(11):150.

Kuwabara Y, Kinjo A, Fujii M, Minobe R, Maesato H, Higuchi S, Yoshimoto H, Jike M, Otsuka Y, Itani O, Kaneita Y, Kanda H, Osaki Y. Effectiveness of Screening and Brief Alcohol Intervention at the Workplace: A Study Protocol for a Randomized Controlled Trial at Five Japan-Based Companies. *Yonago Acta Medica*. 202110; 64(4):330-338.

日高友郎, 遠藤翔太, 春日秀朗, 増石有佑, 各務竹康, 福島哲仁. カリキュラム移行により 1 年前倒しされた社会医学実習における同年度異学年の学生自己評価・客観的評価の比較 レディネスに着目して. *医学教育*. 202108; 52(4):313-317.

永幡幸司. 原発事故による福島の音環境の変化の記録をめぐって: 福島サウンドスケープの 10 年. *現代の図書館*. 202103; 59(1):10-16.

森弥生, 日高友郎, 福島哲仁. 東北地方における吃音当事者の課題と支援ニーズ. *質的心理学研究*. 2021; 20(Special):S156-S162.

亀井克之, 金子信也, 栗岡住子, オリビエ・トレス, 影浦ちひろ, 尾久裕紀, 堀越昌和. コロナ禍における中小企業経営者の健康—第二波時 2020 年 8 月調査と日仏比較—. *商工金融*. 202109; 71(9):42-65.

〔総説等〕

永幡幸司, 浜田由記子. コロナ禍で音環境はどのように変わったか 特集にあたって. *騒音制御*. 202112; 45(6):245-246.

永幡幸司. コロナ禍が引き起こした沈黙をめぐって：サウンドスケープの視点から. 騒音制御. 202112; 45(6):271-274.

〔研究報告書〕

神田秀幸. 令和2年度 学校教職員における健康管理とインターネット使用に関する質問票調査報告書 全国高校調査結果. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C) (一般). 202101 :1-44.

〔その他〕

照井稔宏, 國井泰人, 星野大, 各務竹康, 日高友郎, 福島哲仁, 安西信雄, 後藤大介, 三浦至, 矢部博興. 福島第一原子力発電所事故による精神科避難病院患者の転院後死亡に関する検討. Journal of Epidemiology. 202101; 31(Suppl.1):122.

神田秀幸. インターネットテクノロジーと健康. 岡山医学会雑誌. 212108; 133(2):137-138.

永幡幸司, 渡邊晃一, 久我和巳, 金井光生, 阪本尚文, 垣見隆禎. 公開シンポジウム記録 表現の不由??? あいちトリエンナーレにおける一連の騒動を手がかりに. 行政社会論集. 202111; 34(2):171-256.

神田秀幸. 巻頭言 With コロナの時代と産業保健. 日本産業衛生学会・産業医部会会報. 202108; 73(1):1.

研究発表等

〔研究発表〕

Maeda T, Nishi T, Funakoshi S, Tada K, Tsuji M, Satoh A, Kawazoe M, Yoshimura C, Arima H. Population attributable fraction of hypertension for onset of ischemic stroke among atrial fibrillation patients with and without anticoagulation. JOINT MEETING ESH-ISH (The European Society of Hypertension and International Society of Hypertension); 20210411-14; Glasgow, UK.

Fukuda M, Kanda H. The risk factors of the Internet Addiction among school personnel in Japan. ICP 2020 32nd International Congress of Psychology PRAGUE; 20210718-23; Praha, Czech Republic.

Nagahata K. Which aspects of soundscape can the soundscape attributes measure? inter-noise 2021; 20210801-05; Web.

前田俊樹, 船越駿介, 多田和弘, 佐藤敦, 辻雅善, 川添美紀, 吉村力, 有馬久富. 社会経済的要因と潜在性動脈硬化との関連の検討 (Fukuoka Epidemiological Study of Atherosclerosis: FESTA) . 第31回日本疫学会学術総会; 20210127-29; 佐賀(Web).

桜沢美土里, 多治見公高, 各務竹康, 渡辺和幸, 遠藤光恵, 松井敏光, 河西祐子, 福島哲仁. 当施設の健診における生活習慣病の有病率の変化. 日本総合健診医学会第49回大会; 20210219-0304; Web.

各務竹康, 遠藤翔太, 日高友郎, 増石有佑, 春日秀朗, 福島哲仁. 日勤労働者の労働環境および生活習慣が睡眠時間に与える影響. 第 94 回日本産業衛生学会; 20210518-21; 松本/Web.

菅原亜紀子, 石川和信. 継続診療に求められる医師のコンピテンシーとは? ベテラン医師の視点から. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl.):139.

畠中真奈, 水島諒子, 角谷雄哉, 秋山大志, 濱田有香, 松本麻衣, 鳴海(百武)愛子, 辻雅善, 畑本陽一, 吉村英一, 瀧本秀美, 宮地元彦. 軍人やアスリートにおけるセレンの必要量および習慣的な摂取量に関する文献レビュー. 第 68 回日本栄養改善学会学術総会; 20211001-02; 新潟.

船越駿介, 吉村力, 前田俊樹, 川添美紀, 佐藤敦, 辻雅善, 多田和弘, 高橋宏治, 伊藤建二, 安野哲彦, 升谷耕介, 向原茂明, 有馬久富. 肥満の有無別にみた寝る前の食事と高血圧発症との関連: ISSA-CKD 研究. 第 43 回日本高血圧学会学術集会; 20211015-17; 沖縄.

日高友郎. 産学官連携に基づく糖尿病対策の実践—質的研究による成果と連携課題の抽出. 日本質的心理学会第 18 回大会; 20211023; Web.

日高友郎. 単一事例とともにある複数事例をどう扱うか—福島原発事故避難者への縦断的インタビューから. 日本質的心理学会第 18 回大会; 20211024; Web.

齊藤みのり, 永幡幸司. サウンドスケープ版感情評価尺度の汎用性の検討—チョコレートをを用いた評価実験—. 日本騒音制御工学会 2021 年秋季研究発表会; 20211120; Web.

永幡幸司, 森長誠. 音響用語としての「サウンドスケープ」をめぐる. 日本騒音制御工学会 2021 年秋季研究発表会; 20211120; Web.

神田秀幸, 松隆史, 福田茉莉, 絹田皆子, 中畑典子, 谷口かおり, 杉山大典, 岡村智教. 地域一般住民における自己採血型簡易血液検査(指先採血)の導入と実施状況. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 抄録集. 356.

久松隆史, 福田茉莉, 絹田皆子, 谷口かおり, 中畑典子, 神田秀幸. 地域における IoT 高血圧管理研究が高血圧有病率・認知率・治療率・管理率へ与える影響. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 抄録集. 358.

阿部真紀子, 船越駿介, 佐藤敦, 川添美紀, 前田俊樹, 吉村力, 石田晋太郎, 森永朗子, 辻雅善, 山之口稔隆, 有馬久富. BMI・腹囲と糖尿病発症リスクの関連における男女別の検討: ISSA-CKD 研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

辻雅善, 星玲奈, 濱田有香, 船越駿介, 前田俊樹, 松本麻衣, 角谷雄哉, 畑本陽一, 吉村英一, 宮地元彦, 瀧本秀美. 身体活動量の高い者における習慣的な亜鉛摂取量に関する文献レビュー. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

濱田有香, 前田俊樹, 辻雅善, 船越駿介, 星玲奈, 松本麻衣, 角谷雄哉, 畑本陽一, 吉村英一, 宮地元彦, 瀧本秀美. 身体活動量の高い者における習慣的なカルシウム摂取量に関する文献レビュー. 第 80 回日本公衆衛生

学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

日高友郎, 遠藤翔太, 春日秀朗, 増石有佑, 各務竹康, 福島哲仁. コロナ禍における社会医学実習「家庭健康管理テュートリアル」オンライン化の教育影響. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

星玲奈, 辻雅善, 濱田有香, 船越駿介, 前田俊樹, 松本麻衣, 角谷雄哉, 畑本陽一, 吉村英一, 宮地元彦, 瀧本秀美. 身体活動量の高い者における習慣的な鉄摂取量に関する文献レビュー. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

森永朗子, 岩永和代, 牧香里, 上野珠未, 河野和美, 船越駿介, 山之口稔隆, 辻雅善, 阿部真紀子, 佐藤敦, 川添美紀, 前田俊樹, 吉村力, 有馬久富. 日本人一般住民における血清ALT値と糖尿病発症との関連: ISSA-CKD 研究. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

神田秀幸, 久松隆史. 公衆衛生的観点からみた disease と disorder の考え方. 第56回日本アルコール・アディクション医学会学術総会; 20211218; 津/Web. 抄録集. 56(6):31.

神田秀幸, 福田茉莉, 絹田皆子, 久松隆史. 公衆衛生的観点からみたインターネット嗜癖・ゲーム障害. 第56回日本アルコール・アディクション医学会学術総会; 20211219; 津/Web. 抄録集. 56(6):150.

神田秀幸. シンポジウム18 座長: ライフコースとアルコール. 第56回日本アルコール・アディクション医学会学術総会; 20211221-23; 津/Web. 抄録集. 56(6):168.

〔特別講演〕

永幡幸司. もう2つの沈黙の春; 日本騒音制御工学会 2021 年秋季研究発表会; 20211120; Web.

〔招待講演〕

各務竹康. 研究をはじめる前に～委員が教える倫理申請書類作成のポイント. 第94回日本産業衛生学会; 20210521; 松本/Web.

森弥生. セルフヘルプグループと専門家の連携. 日本吃音・流暢性障害学会第9回大会; 20210829; Web.

〔その他〕

神田秀幸. トピックス 大転換期の産業保健と本学会中国地方会の役割. 202101. 日本産業衛生学会中国地方会地方会ニュース. (36):3.

神田秀幸. 高校eスポーツ部の活動を支える「チームドクター」. 202103. 岡山大学広報 いちよう並木. 97:5-6.

神田秀幸. デジタル発 インサイドeスポーツ ④リスクと向き合う 依存症対策が急務 医師配置の高校も チームドクターが見守る. 北海道新聞 どうしん電子版. 20210207.

神田秀幸. ゲーム依存症と障害防止の最前線。ゲームでリアルスポーツに好影響も. web Sportiva（スポーツ総合雑誌スポルティーバ公式サイト）. 20210210.

神田秀幸. e スポーツの未来は？ 依存症防止へ医師介入を. 北海道新聞. 20210210; 水曜討論 6.

神田秀幸. 【教育】親御さん向けセミナー「子どもがe スポーツと上手に付き合う方法」 e スポーツを楽しむためのルール作り. HOKKAIDO esports FESTIVAL2021 supported by ZONe; 20210213; Web(北海道).

神田秀幸. e スポーツ 道内熱く 依存症防ぐ医師面談. 北海道新聞. 20210219; 特集版 19.

神田秀幸. コロナ 正しく恐れて一岡山大・神田教授 感染予防と心身の健康保持へ助言―運動やつながり大切. 山陽新聞. 20210322; くらし版 9.

神田秀幸. 職場における感染症対策. 岡山総友会・岡山経友会 3 月合同会; 20210326; 岡山.

神田秀幸. e スポーツ支えるドクター 強豪・共生高に就任. 毎日新聞. 20210521; 企画特集 13.

神田秀幸. e スポーツ 広がる舞台. 読売新聞（夕刊）. 20210527; 4 版 11.

神田秀幸. インターネットテクノロジーと健康. 岡山医学会主催 新任教授講演会・岡山医学会賞受賞式; 20210605; 岡山.

神田秀幸. 学校でゲーム 意義と懸念 ―e スポーツと学び（下）―. 朝日新聞. 20210616; 13 版教育 21.

神田秀幸. アルコールの健康影響と対策. 産業医研修会（産業医向け講義）; 20210708; 岡山.

神田秀幸. 産業保健のこれから. 日医生涯教育講座 産業医県医師会; 20210710; 岡山.

神田秀幸. ワクチン接種後のコロナ感染予防と心身の健康の維持. 第 77 回岡大 SDGs サイエンスカフェ; 20210714; Web(岡山).

神田秀幸. アルコールの健康影響と対策. 産業医研修会（衛生管理者向け講義）; 20210721; Web(岡山).

神田秀幸. e スポーツと健康. NHK ラジオ第 1 放送・全国放送 ラジオ番組「三宅民夫のマイあさ」; 20210722.

神田秀幸. 「焦点 e スポーツ脚光」競技人口 世界一億人超・ゲーム障害 対策必要. 毎日新聞. 20210803; 総合 4.

神田秀幸. 健康フェスタ「依存症を克服しよう！」予防医学からみた依存症・行動嗜癖. 山陽新聞. 20210905; 特集 6 版.

神田秀幸. e スポーツと心と身体健康. 令和 3 年度高尾小学校 PTA 教育講演会並びに高尾公民館人権教育講演会; 20210916; 新見.

神田秀幸. 「ゲームは学びの場」医師と考えるeスポーツとの上手な関わり方. 20211003. 毎日新聞デジタル.

神田秀幸. 職場巡視の目のつけどころ. 産業医研修会（産業医向け講義）；20211023; 岡山.

神田秀幸. 職場巡視の目のつけどころ. 産業医研修会（衛生管理者向け講義）；20211111; 岡山.

神田秀幸. メディアと健康. 岡山県学校保健会高等学校備西ブロック協議会研修会（会に所属する養護教諭向け講義）；20211130; 倉敷.

その他の業績・作品等

神田秀幸. アルコールを減らす工夫 eラーニング・DVD教材（クイックメディアシリーズ）；202102.

公衆衛生学講座

論 文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Arai T, Goto A, Komatsu M, Yasumura S. Incidence of and improvement in inappropriate parental behaviors of mothers with young children: a retrospective cohort study conducted in collaboration with a local government. *Archives of Public Health*. 202103; 79(1):37.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202106; 21(1):18.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Morokuma S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):295.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Iwasa H, Yoshida Y, Ishii K, Yasumura S. Factors associated with cognitive failure among mothers involved in child care. *Cogent Psychology*. 202101; 8(1):1896119.

Orui M, Saeki S, Kozakai Y, Harada S, Hayashi M. The Impact of the COVID-19 Pandemic on Suicide Rate Trends in the Tsunami-Disaster-Affected Area Following the Great East Japan Earthquake. *Crisis*. 20211203; doi: 10.1027/0227-5910/a000832.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):53-63.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions, and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):71-82.

Yoshida Y, Iwasa H, Ishioka Y, Suzukamo Y. Leisure activity moderates the relationship between living alone and mental health among Japanese older adults. *Geriatrics & Gerontology International*. 202105; 21(5):421-425.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K; on Behalf of the Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Murata T, Kyojuka H, Endo Y, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment Children's Study (JECS) Group. Preterm Deliveries in Women with Uterine Myomas: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(5):2246.

Harigane M, Imuta H, Yasumura S, Hayashi F, Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K. Factors Hindering Social Participation among Older Residents from Evacuation Zones after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202104; 18(9):4426.

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S,

Ohira T; Mental Health Group of The Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202106; 18(11):6054.

Horikoshi N, Maeda M, Harigane M, Iwasa H, Murakami M, Momoi M, Goto S, Yasumura S. Vulnerability of Evacuees Having No One to Consult after the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10075.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10283.

Orui M, Saeki S, Harada S, Hayashi M. Practical Report of Disaster-Related Mental Health Interventions Following the Great East Japan Earthquake during the COVID-19 Pandemic: Potential for Suicide Prevention. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202110; 18(19):10424.

Iwasa H, Nakayama C, Moriyama N, Orui M, Yasumura S. Posttraumatic Growth after the Fukushima Nuclear Disaster: Examination of Free Descriptions among Fukushima Residents Who Lived in the Evacuation Area. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 19(1):192.

Moriyama N, Nishikawa Y, Hoshi W, Kuga T, Iwasa H, Murayama T, Itagaki T, Saito Y, Yasumura S. Association of Instrumental Activities of Daily Living, Physical Function, and Mental Health among Older Returnees after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(21):11639.

Orui M, Nakayama C, Moriyama N, Tsubokura M, Watanabe K, Nakayama T, Sugita M, Yasumura S. Those Who Have Continuing Radiation Anxiety Show High Psychological Distress in Cases of High Post-Traumatic Stress: The Fukushima Nuclear Disaster. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12048.

Takamura M, Sone T, Kawamura T, Suzuki R, Moriyama N, Yasumura S. A cross-sectional study on the characteristics of physical activity in pre-frail older adults. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(23):12328.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyojuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS). Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Moriyama N, Iwasa H, Yasumura S. Association of perceived environment and physical activity in older adults after the great east Japan earthquake. *Journal of Aging and Physical Activity*. 202108; 29(4):632-641.

Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 202111; 12(11):2071-2079.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 202102; 110(6):e24177.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S; Mental Health Group of the Fukushima Health Management Survey. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Kyozuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202105; 85:111129.

Kyozuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan Environment and Children's Study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Kyozuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Orui M, Fukasawa M, Horikoshi N, Suzuki Y, Kawakami N. The ongoing activities of livelihood support counselors following nuclear disaster under the COVID-19 restrictions: A preliminary survey. *Public Health in Practice*. 202111; 2:100107.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Sakai A, Yasumura S, Kamiya K. Dietary pattern changes in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey 2011–2013. *Public Health Nutrition*. 202106; 24(8):2195-2204.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal pre-pregnancy body mass index and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4350.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5330.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8664.

Murakami M, Kobayashi T, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Takebayashi Y, Ohira T, Yasumura S, Maeda M. Associations of the COVID-19 pandemic with the economic status and mental health of people affected by the Fukushima disaster using the difference-in-differences method: The Fukushima Health Management Survey. *SSM - Population Health*. 202104; 14:100801.

大類真嗣. 【その後の自殺対策Ⅰ—社会的な自殺問題と対策の現在—】災害と自殺対策. *精神科治療学*. 202108; 36(8):933-938.

中山千尋, 岩佐一, 森山信彰, 高橋秀人, 安村誠司. 原発事故後の福島県浜通りと避難地域における放射線の「次世代影響不安」と情報源およびメディアとの関連. *日本公衆衛生雑誌*. 202111; 68(11):753-764.

土屋菜月, 関真裕子, 森山信彰, 杉浦弘一, 山下敦子, 安村誠司. 大学生の HIV/AIDS に関する情報源と知識・予防行動との関連. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):19-27.

〔研究報告書〕

Yamaguchi A, Kyojuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan Environment and Children's Study: a prospective cohort study. *Journal of Affective Disorders*. 202103; 283:223-228.

陸智美, 安村誠司. 超高齢社会、新型コロナウイルス感染症禍における泌尿器科疾患・症状の現状と予防. 福島県保健衛生雑誌. 202103; 36:15-20.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富浩, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の4か月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

〔その他〕

安村誠司. 座ってできる太極拳ゆったり体操 第10回. NHK きょうの健康. 202101; (394):18-19.

安村誠司. 座ってできる太極拳ゆったり体操 第11回. NHK きょうの健康. 202102; (395):18-19.

安村誠司. 65歳すぎたらサンダルとスリッパを履いてはいけない. 週刊現代. 202106; (6/26):158-159.

著 書・訳 書

神谷研二, 大戸斉, 安村誠司 編集. 福島県「県民健康調査」報告書 2011-2020. 福島: 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター; 202102.

Kamiya K, Ohto H, Yasumura S. Report of the Fukushima Health Management Survey 2011-2020. Fukushima: Radiation medical science center for the Fukushima health management survey, Fukushima Medical University; 202102.

安村誠司, 他 監修, 国試対策問題編集委員会 編集. CBT・医師国家試験のためのレビューブック 公衆衛生 2022. 東京: メディックメディア; 202110.

研究発表等

〔研究発表〕

Moriyama N, Omata J, Sato R, Okazaki K, Yasumura S. Group exercise intervention mitigates older evacuees' deteriorated subjective well-being after the Great East Japan Earthquake: A cluster randomized controlled trial. World Physiotherapy Congress 2021; 20210409-11; Web.

小笹晃太郎, 吉永信治, 三根真理子, 横田賢一, 喜多村紘子, 安村誠司, 三枝新. わが国における放射線被ばく情報について. 第31回日本疫学会学術総会; 20210127-29; Web. 講演集. 142.

森山信彰, 中山千尋, 渡邊清高, 陸智美, 安村誠司. 幼児をもつ保護者の放射線健康不安に対応する幼稚園教諭の自信を高めるための介入プログラムの実行可能性. 第70回東北公衆衛生学会; 20210723; Web.

高橋秀人, 安村誠司, 高橋邦彦, 大平哲也. 放射線曝露と甲状腺がん発症に関するコホート内症例対照研究 (本格検査 1 回目までの結果) 福島県民健康調査. 2021 年度統計関連学会連合大会; 20210905-09; Web.

森山信彰, 中山千尋, 渡邊清高, 陸智美, 安村誠司. 幼児をもつ保護者の放射線健康不安に対応する幼稚園教諭の自信を高めるための介入プログラムの効果—Feasibility study の結果より—. 第 13 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会; 20210929-1005; Web.

森山信彰, 西川佳孝, 星亙, 陸智美, 岩佐一, 村山知生, 板垣達也, 齋藤勇多, 安村誠司. 東京電力福島第一原子力発電所事故後の帰還高齢者の手段的日常生活活動と身体機能・精神的健康度の関連. 第 8 回日本地域理学療法学会学術大会; 20211204-05; Web.

孫智越, 今野弘規, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 安村誠司, 坂井晃, 大戸斉, 神谷研二, 磯博康. 東日本大震災後福島県住民の避難状況の変化と生活習慣病との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):269.

森山信彰, 岩佐一, 安村誠司. 東日本大震災発生後の高齢者における知覚された環境と身体活動量の関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):284.

長尾匡則, 大平哲也, 岡崎可奈子, 林史和, 中野裕紀, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):343.

岡崎可奈子, 平井裕之, 島袋充生, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の血糖コントロール状況と精神的健康との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):345.

中山千尋, 岩佐一, 森山信彰, 井高貴之, 安村誠司. 原発事故後の福島県の放射線による健康影響不安と情報・メディアの関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):451.

〔シンポジウム〕

安村誠司. 求められる公衆衛生人材: 健康危機管理を通じて. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):100.

安村誠司. 健康危機管理とは? 首都直下型地震対策を考える. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 日本公衆衛生雑誌. 68(11 特別付録):126.

〔その他〕

安村誠司. 運動はじめっぺキャンペーン 介護予防. 福島民友; 20210118.

安村誠司. 介護予防の本質は自己実現 幅広い支援で社会参加促す. 福島民友; 20210118.

安村誠司. 花咲く六合の里 高齢者と仕事の関係. 上毛新聞; 20210128.

安村誠司. 閉じこもってられない！シニア男性を惹き付ける地域活動が多彩. なかまある：認知症当事者とともにつくるウェブメディア; 20210219.

安村誠司. タバコ・生活習慣と慢性腎臓病（セミナー座長）. 第30回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会; 20210522-23; 福島/Web.

廣田誠子, 中山千尋, 吉永信治, 森山信彰, 安村誠司. 放射線による次世代影響不安と知識との関連. 第5回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20210605; Web.

安村誠司. 新型コロナワクチン接種 デマに惑わされないで 事実基に判断を. 福島民報; 20210714.

安村誠司. これから新型コロナウイルスのワクチン接種の対象になる方へ ワクチン接種・どう考えますか. 福島民報; 20210714.

その他の業績・作品等

安村誠司. 広島大学医学部連携教授. 20171001-.

安村誠司. 飯舘村健康福祉アドバイザー. 20190513-.

安村誠司. 福島県感染症対策アドバイザー（新型コロナウイルス感染症における助言、提言）. 20200901-.

安村誠司. 高齢者の健康づくり フレイル予防 入門編（健康ふくしまポータルサイト）. 20210401-.

法医学講座

論文

〔原 著〕

Fujikawa T, Sugiura R, Nishikata R, Yamada Y, Nishimoto T. Marmarou-type Impact Tests to Investigate Criteria for Avoiding Bruises in Extremities by Human-Robot Contact. IEEE International Conference on Intelligence and Safety for Robotics (ISR). 202103; 2021:297-300.

Iijima J, Hoshi K, Ito H, Kanno M, Murakami Y, Takahashi K, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Nakajima M, Miyajima M, Arai H, Kanai M, Kitazume S, Honda T, Hashimoto Y. Total transferrin in cerebrospinal fluid is

a novel biomarker for spontaneous intracranial hypotension. Fukushima Journal of Medical Science. 202108; 67(2):64-70.

Hoshi K, Ito H, Abe E, Fuwa TJ, Kanno M, Murakami Y, Abe M, Murakami T, Yoshihara A, Ugawa Y, Saito T, Saido TC, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Furukawa K, Arai H, Kanai M, Miyajima M, Arai H, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Tateno H, Honda T, Hashimoto Y. Transferrin biosynthesized in the brain is a novel biomarker for Alzheimer's disease. Metabolites. 202109; 11(9):616.

西形里絵, 加藤菜穂, 武田紗希, 林王真美, 渡邊美和子, 黒田直人. 生前診断に至らなかった宿便性S状結腸穿孔の2剖検例. 法医学の実際と研究. 202111; (64):69-73.

武田紗希, 加藤菜穂, 西形里絵, 渡邊美和子, 林王真美, 黒田直人. 薬毒物スクリーニングにより判明したカフェイン中毒の死亡例. 法医学の実際と研究. 202111; (64):75-78.

加藤菜穂, 林王真美, 渡邊美和子, 武田紗希, 西形里絵, 黒田直人. 外傷性胃穿孔が疑われた小児感染性胃腸炎剖検例. 法医学の実際と研究. 202111; (64):79-86.

研究発表等

〔研究発表〕

黒田直人, 西形里絵, 加藤菜穂, 渡邊美和子, 林王真美, 白坂由美子. 側脳室前角上衣下損傷を伴った成人溺水の剖検例. 第105次日本法医学会学術全国集会; 20211004-31; Web.

西形里絵, 加藤菜穂, 武田紗希, 渡邊美和子, 林王真美, 黒田直人. 石炭タンク内での作業中に落下し微粉炭吸引により窒息死した一剖検例. 第105次日本法医学会学術全国集会; 20211004-31; Web.

加藤菜穂, 武田紗希, 武田知也, 渡邊美和子, 黒田直人. 想定外の薬物関与が判明した若年者剖検3例. 第43回日本中毒学会総会・学術集会; 20211015-31; Web. 中毒研究. 34(3):221.

関根萌, 鈴木剛, 鈴木光子, 全田吏栄, 三澤友誉, 岩渕雅洋, 小野寺誠, 武田紗希, 伊関憲. シュウ酸カルシウム結晶尿が早期診断に有用であったエチレングリコール中毒の一例. 第43回日本中毒学会総会・学術集会; 20211015-31; Web. 中毒研究. 34(3):245.

北爪しのぶ, 山ノ井優, 星京香, 長井健一郎, 三浦早織, 橋本康弘, 本多たかし, 藤井正純. グリオーマの診断マーカー候補、可溶性プロテインチロシンホスファターゼ sAPPZ1. 第40回日本糖質学会年会; 20211027-29; 鹿児島/Web.

橋本康弘, 安部英理子, 不破尚志, 星京香, 村上友太, 小川倫弘, 赤津裕康, 橋詰良夫, 本多たかし, 伊藤浩美. 脳脊髄液中のトランスフェリン糖鎖異性体及びその mRNA・タンパク質の脳内における発現. 第40回日本糖質学会年会; 20211027-29; 鹿児島/Web.

高橋識志, 長谷川範幸, 黒田直人. 特発性左外腸骨静脈破裂の一剖検例. 第22回日本法医学会学術北日本地方集

会; 20211029; Web.

武田紗希, 加藤菜穂, 鈴木直幸, 西形里絵, 渡邊美和子, 林王真美, 黒田直人. トリカブトを用いた複合自殺の1例. 第22回日本法医学会学術北日本地方集会; 20211029; Web.

橋本康弘, 星京香, 菅野真由美, 村上友太, 阿部十也, 村上丈伸, 吉原章王, 宇川義一, 齋藤貴志, 西道隆臣, 松本加奈, 山口芳樹, 古川勝敏, 荒井啓行, 宮嶋雅一, 小川倫弘, 赤津裕康, 橋詰良夫, 本多たかし, 伊藤浩美. 神経細胞が生合成するトランスフェリンはアルツハイマー病マーカーとなる. 第40回日本認知症学会学術集会; 20211126-28; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

西形里絵. 法・条例施行後の福島市の変化. 第30回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会; 20210522-23; 福島/Web.

黒田直人. 法医学からみた乳幼児頭部外傷. 第49回日本小児神経外科学会; 20210604; 福島. 小児の脳神経. 46(2):124.

〔その他〕

西形里絵. 法医学とタバコ問題. ウェルネス研究所営業所セミナー; 20210112; 福島.

黒田直人. 死体検案の実際と書類作成の注意点. 令和2年度福島県医師会死体検案研修会; 20210306; 福島.

西形里絵. 市民公開講座「法医学とタバコの深い関係」. 第30回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会; 20210523; 福島/Web.

西形里絵. 誰でもありうる異状死～法医学の現実とタバコ問題そして食生活～. ウェルネス研究所セミナー; 20210829; 福島.

西形里絵. 生き生き！ライフ 法医学と喫煙（上） 解剖遺体 高い喫煙率. 福島民友; 20211108.

西形里絵. 生き生き！ライフ 法医学と喫煙（下） たばこは暴力 違法化を. 福島民友; 20211129.

黒田直人. 法医学の立場からの小児虐待の検証. 福島市臨床研修“NOW”プロジェクト第2回Webセミナー; 20211218; Web.

放射線生命科学講座

論 文

〔原 著〕

Fujita Y, Asano T, Sakai A, Sato S, Temmoku J, Fujita Y, Furuya YM, Matsuoka N, Watanabe H, Migita K. A case of Schnitzler's syndrome without monoclonal gammopathy successfully treated with canakinumab. *BMC Musculoskeletal Disorder*. 202103; 22(1):257.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Saka A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster, in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Uemura MY, Ohira T, Yasumura S, Sakai A, Takahashi A, Hosoya M, Nagao M, Nakano H, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between lifestyle habits and the incidence of abdominal obesity after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *Journal of Epidemiology*. 20210403; doi: 10.2188/jea.JE20200597.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Okazaki K, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Yasumura S, Ohtsuru A, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Affiliations. Relationship between changes in physical activity/exercise habits and incidence of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement 1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 202102; 100(6):e24177.

Takasu M, Tanitame K, Baba Y, Akiyama Y, Tamura T, Kondo S, Maeda S, Sakai A, Awai K. Does chemical shift imaging offer a biomarker for the diagnosis and assessment of disease severity in multiple myeloma? A cross-sectional study. *Medicine*. 202102; 100(6):e24358.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: the Fukushima Health Management Survey. Nutrition, Metabolism and Cardiovascular Diseases. 202104; 31(4):1177-1188.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Sakai A, Yasumura S, Kamiya K. Dietary pattern changes in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey 2011–2013. Public Health Nutrition. 202106; 24(8):2195-2204.

Azami Y, Tsuyama N, Abe Y, Sugai-Takahashi M, Kudo K, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Saji S, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Chromosomal translocation t(11;14) and p53 deletion induced by the CRISPR/Cas9 system in normal B cell-derived iPS cells. Scientific Reports. 202103; 11(1):5216.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. The Association between Body Mass Index and Recovery from Post-traumatic Stress Disorder after the Nuclear Accident in Fukushima. Scientific Reports. 202105; 11(1):5330.

〔総説等〕

坂井晃. 多発性骨髄腫の長期生存における MRD の意義. 血液内科. 202108; 83(2):303-307.

著 書・訳 書

坂井晃, 細矢光亮, 高橋敦史, 島袋充生, 大平哲也. 第2部 調査の結果 3.健康審査. In: 神谷研二, 大戸斉, 安村誠司 編集. 福島県「県民健康調査」報告書 2011-2020. 福島: 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター; 2021. p.66-108.

研究発表等

〔研究発表〕

今岡達彦, 工藤健一, 細木彩夏, 西村まゆみ, 臺野和広, 柿沼志津子. 放射線被ばくによる乳がんのリスクと乳腺幹細胞系の放射線応答. 第14回ラットリソースリサーチ研究会; 20210129; Web(京都).

坂井晃. 福島県県民健康調査における健康診査. 2021年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210214; 福島.

Azami Y, Tsuyama N, Sugai M, Abe Y, Kudo K, Natori Y, Tokuda E, Sasaki E, Muramatsu M, Shigemura T, Hashimoto Y, Ikezoe T, Sakai A, Saji S. Research for onset mechanism of multiple myeloma. Can B cell-

derived iPS cells redifferentiate into B cells? 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20210221; Web.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本震災後の高 LDL コレステロール血症の発症と心理社会的要因との関連: 福島県県民健康調査. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210528-0615; Web.

坂井晃. 会長講演: 正常 B リンパ球由来 iPS 細胞を用いた骨髄腫起源細胞の探索 (Study for exploring myeloma-initiating cell using normal B cell-derived induced pluripotent stem cells). 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会; 20210529; 福島.

Abe Y, Sugai-Takahashi M, Tsuyama N, Kudo K, Azami Y, Fukami M, Kamiya K, Sakai A. Investigation of background value of chromosome aberrations and individual radiosensitivity in Japanese (日本人の染色体異常自然発生頻度および放射線感受性の探索). 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20211922-24; Web(水戸).

Kudo K, Tsuyama N, Sugai-Takahashi M, Fukami M, Azami Y, Muramatsu M, Nagata K, Imaoka T, Sakai A. Effect of the p53 family member Δ Np63 α on radiation-induced DNA damage response. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web(水戸).

Tsuyama N, Abe Y, Sugai-Takahashi M, Kudo K, Azami Y, Fukami M, Miura T, Kamiya K, Sakai A. Optimization of chromosome specimen preparation for biodosimetry using chromosome aberration frequency (染色体異常頻度による線量評価のための標本作製の最適化). 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web(水戸).

Azami Y, Tsuyama N, Abe Y, Sugai-Takahashi M, Kudo K, Fukami M, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Saji S, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Study for exploring myeloma-initiating cell using normal B cell-derived iPS cells (正常 B リンパ球由来 iPS 細胞を用いた骨髄腫起源細胞の探索). 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-0925; Web(仙台).

岡崎可奈子, 島袋充生, 平井裕之, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災後の血糖値のコントロール状況と精神的健康との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

孫智超, 今野弘規, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 崔仁哲, 安村誠司, 坂井晃, 大戸斉, 神谷研二, 磯博康. 東日本大震災後福島県住民の避難状況の変化と生活習慣病との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

長尾匡則, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 岡崎可奈子, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討: 福島県「県民健康調査」. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔特別講演〕

津山尚宏. 講義 6 安定ヨウ素剤. 福島赤十字病院 原子力災害医療基礎研修; 20210703; 福島.

石川徹夫, 津山尚宏. 講義 外部被ばくと内部被ばくの線量評価. 令和3年度第1回原子力災害医療中核人材研修; 20210823-25; 福島.

津山尚宏. 特別演習 染色体線量評価の実践演習. 令和3年度第1回原子力災害医療中核人材研修; 20210823-25; 福島.

石川徹夫, 津山尚宏. 講義 外部被ばくと内部被ばくの線量評価. 令和3年度第1回原子力災害医療中核人材研修; 20211115; 福島.

津山尚宏. 特別演習 染色体線量評価の実践演習. 令和3年度第1回原子力災害医療中核人材研修; 20211116; 福島.

疫学講座

論文

〔原 著〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. Development of an application tool to support returnees in Fukushima. *Annals of the ICRP*. 202107; 50(1_suppl):187-193.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Nagai M, Ohira T, Shirai K, Kondo K. Does variety of social interactions associate with frequency of laughter among older people? The JAGES cross-sectional study. *BMJ Open*. 202101; 11(1):e039363.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Kudo A, Kitamura A, Imano H, Cui R, Umesawa M, Yamagishi K, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Kiyama M, Iso H; CIRCIS Investigators. Salt taste perception and blood pressure levels in population-based samples: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCIS). *British Journal of Nutrition*. 202101;

125(2):203-211.

Kudo A, Kitamura A, Imano H, Cui R, Umesawa M, Yamagishi K, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators. Salt taste perception and blood pressure levels in population-based samples: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *British Journal of Nutrition*. 202105; 125(9):1080.

Yazawa Y, Ohira T, Itabashi R, Uchida K, Sakai N, Yamagami H, Morimoto T, Yoshimura S; RESCUE-Japan Registry 2 Investigators. Association of Admission Hyperglycemia with Clinical Outcomes in Japanese Patients with Acute Large Vessel Occlusion Stroke: A post hoc Analysis of the Recovery by Endovascular Salvage for Cerebral Ultra-Acute Embolism Japan Registry 2. *Cerebrovascular Diseases*. 202102; 50(1):12-19.

Li J, Imano H, Yamagishi K, Cui R, Muraki I, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H; CIRCS Investigators. Serum Albumin and Risks of Stroke and Its Subtypes - The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Circulation Journal*. 202103; 85(4):385-392.

Ohira T. Lower Urinary Tract Symptoms Secondary to Benign Prostatic Hyperplasia and Cardiovascular Diseases in Japan - What Is the Next Step? *Circulation Journal*. 202110; 85(11):2100-2101.

Tsuboi S, Mine T, Kanke S, Ohira T. All-Cause Mortality After the Great East Japan Earthquake in Fukushima Prefecture: Trends From 2009 to 2016 and Variation by Displacement. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202112; 15(6):703-706.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):53-63.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions, and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):71-82.

Igarashi T, Satokawa H, Sato Y, Takase S, Wakamatsu H, Seto Y, Kurosawa H, Iwai-Takano M, Fujimiya T, Shinjo H, Ishida K, Yokoyama H. Long-term results of modified bentall procedures: 18-year experience of the flanged technique. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):119-127.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Harigane M, Imuta H, Yasumura S, Hayashi F, Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K.

Factors Hindering Social Participation among Older Residents from Evacuation Zones after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202104; 18(9):4426.

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S, Ohira T; Mental Health Group Of The Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202106; 18(11):6054.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K. Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10283.

Yumiya Y, Ohba T, Murakami M, Nakano H, Nollet KE, Goto A. User-Guided Design of a Digital Tool for Health Promotion and Radiation Protection: Results from an Internet Needs Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12007.

Eguchi E, Ohira T, Nakano H, Hayashi F, Okazaki K, Harigane M, Funakubo N, Takahashi A, Takase K, Maeda M, Yasumura S, Yabe H, Kamiya K. Association between laughter and lifestyle diseases after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12699.

Ohba T, Goto A, Yumiya Y, Murakami M, Nakano H, Honda K, Nollet KE, Schneider T, Tanigawa K. Tailoring Digital Tools to Address the Radiation and Health Information Needs of Returnees after a Nuclear Accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12704.

Tanaka M, Imano H, Kubota Y, Yamagishi K, Umesawa M, Muraki I, Cui R, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Okada T, Ohira T, Sankai T, Tanigawa T, Sato S, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; CIRCS Investigators. Serum High-Sensitivity C-Reactive Protein Levels and the Risk of Atrial Fibrillation in Japanese Population: the Circulatory Risk in Communities Study. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202102; 28(2):194-202.

Sairenchi T, Yamagishi K, Iso H, Irie F, Koba A, Nagao M, Umesawa M, Haruyama Y, Takaoka N, Watanabe H, Kobashi G, Ota H. Atrial Fibrillation With and Without Cardiovascular Risk Factors and Stroke Mortality. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202103; 28(3):241-248.

Li Y, Cui R, Liu K, Eshak ES, Cui M, Dong J, Imano H, Muraki I, Kiyama M, Kitamura A, Okada T, Yamagishi K, Umesawa M, Ohira T, Iso H; CIRCS investigators. Relationship between Endothelial Dysfunction and Prevalence of Chronic Kidney Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202106; 28(6):622-629.

Chichibu H, Yamagishi K, Kishida R, Maruyama K, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Tanigawa T, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H; CIRCS

Investigators. Seaweed Intake and Risk of Cardiovascular Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202112; 28(12):1298-1306.

Ikeda S, Ikeda A, Yamagishi K, Hori M, Kubo S, Sata M, Okada C, Umesawa M, Sankai T, Kitamura A, Kiyama M, Ohira T, Tanigawa T, Iso H. Longitudinal Trends in Blood Pressure Associated With the Frequency of Laughter: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS), a Longitudinal Study of the Japanese General Population. *Journal of Epidemiology*. 202102; 31(2):125-131.

Tamada Y, Takeuchi K, Yamaguchi C, Saito M, Ohira T, Shirai K, Kondo K. Does laughter predict onset of functional disability and mortality among older Japanese adults? the JAGES prospective cohort study. *Journal of Epidemiology*. 202105; 31(5):301-307.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Imano H, Okada T, Kiyama M, Iso H. Impact of Perceived Social Support on the Association Between Anger Expression and the Risk of Stroke: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *Journal of Epidemiology*. 20210626; doi: 10.2188/jea.JE20200607.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 202102; 100(6):e24177.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe

H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Sakai A, Yasumura S, Kamiya K. Dietary pattern changes in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey 2011-2013. *Public Health Nutrition*. 202106; 24(8):2195-2204.

Hirosaki M, Ohira T, Shirai K, Kondo N, Aida J, Yamamoto T, Takeuchi K, Kondo K. Association between frequency of laughter and oral health among community-dwelling older adults: a population-based cross-sectional study in Japan. *Quality of Life Research*. 202106; 30(6):1561-1569.

Takano T, Iwai-Takano M, Tsuboko Y, Shiraishi Y, Yambe T, Igarashi T, Yokoyama H. Reflected wave intensity increases based on aortic diameter after endovascular aortic therapy in a goat model. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):3830.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5330.

Murakami M, Kobayashi T, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Takebayashi Y, Ohira T, Yasumura S, Maeda M. Associations of the COVID-19 pandemic with the economic status and mental health of people affected by the Fukushima disaster using the difference-in-differences method: The Fukushima Health Management Survey. *SSM - Population Health*. 202104; 14:100801.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. *Studies in Health Technology and Informatics*. 202105; 281:1091-1092.

Yoshida T, Eguchi E, Mashiko H, Ohira T. Social Factors for Leading to Life Satisfaction among Residents with Developmental Disorders in Fukushima Prefecture. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202102; 253(2):113-123.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwade M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

廣川空美, 森口次郎, 脊尾大雅, 野村洋子, 野村恭子, 大平哲也, 伊藤弘人, 井上彰臣, 堤明純. メンタルヘルス対策 職域と地域の連携のギャップを埋めるために. *日本公衆衛生雑誌*. 202105; 68(5):311-319.

米城陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 大平哲也, 村上道夫. 幸福度・抑うつ度と音楽嗜好の関連に関する横断研究. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):1-9.

二階堂雄平, 江口依里, 中野裕紀, 大平哲也, 渡部洋一. 東日本大震災による福島市への避難者における疾患構成の分析 福島赤十字病院・電子カルテデータからの考察. 福島県保健衛生雑誌. 202103; 36:8-14.

〔総説等〕

Ohira T, Shimura H, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Response to the Letter to the Editor: 'Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake', by Ohira et al. Journal of Radiation Research. 202105; 62(3):425-426.

高野真澄. 災害や地域現場における超音波検査 災害時における超音波のちから 被災地と学会の連携. INNERVISION. 202102; 36(3):104-105.

〔症例報告〕

Terui T, Iwai-Takano M, Watanabe T. Permanent Pacemaker Implantation in a Patient with Takotsubo Cardiomyopathy and Complete Atrioventricular Block. Case Reports in Cardiology. 202104; 2021:6637720.

研究発表等

〔研究発表〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, and Tanigawa K. Linking returnees with health professionals after the Fukushima accident: Adaptation of recommendations from the SHMIASEN-SINGS project. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. 31st Medical Informatics Europe Conference (#MIE2021); 20210529-31; Web. Studies in Health Technology and Informatics. 281:1091-1092.

Ohira T, Eguchi E, Sanoh T, Maeda M, Yasumura S, Kamiya K. Associations between psychosocial factors and incidence of cardiovascular diseases after the Great East Japan Earthquake. World Congress of Epidemiology; 20210904-06; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an application for sustainable support of returning residents displaced by the Fukushima nuclear accident. MedInfo 2021; 20211002-04; Web.

大葉隆, 後藤あや, 中野裕紀, ケネスノレット, 村上道夫, 児山洋平, 本田香織, 吉田和樹, 弓屋結, 熊谷敦史, 大平哲也, 谷川攻一. 福島の帰還住民へのデジタルツールを活用した支援システムの開発. 第91回日本衛

生学会学術総会; 20210306-08; Web.

Fujiwara R, Iwai-Takano M, Ohte N. Local Left Ventricular Longitudinal Dysfunction in Patients with Alzheimer's Disease. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Iwai-Takano M, Kanazawa K, Takahashi K, Tanji M. Recurrence of Atrial Functional Mitral Regurgitation after Mitral Annular Plasty and Effects of Posterior Leaflet Patch Augmentation. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Kanazawa K, Iwai-Takano M, Ishida G, Kamiyama Y, Komatsu N, Takeda H, Takano T, Takahashi K, Ohira T. Concomitant Tricuspid Annuloplasty for Mild Tricuspid Regurgitation Without Tricuspid Valve Annular Dilatation is Recommended in Mitral Valve Disease Patients. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

渡部朋幸, 高野真澄. 心血管イベント既往と stiffness parameter β は総頸動脈蛇行出現の予測因子である. 日本心エコー図学会第 32 回学術集会; 20210423; Web.

熊谷富美子, 藤原理佐子, 高野真澄. マルチモダリティにより労作時呼吸苦の病態評価を行った心膜欠損症の 1 症例. 日本心エコー図学会第 32 回学術集会; 20210424; Web.

齋藤寛美, 高野真澄, 大戸ユリ子, 金澤晃子, 渡部朋幸. 左室壁運動異常を伴わない偽正常型左室流入速波形の存在から虚血性心疾患を疑い、確定診断に至った 2 症例. 日本心エコー図学会第 32 回学術集会; 20210425; Web.

藤原理佐子, 高野真澄. 長期観察にて左室収縮能障害の進行を認めなかった超高齢 ATTR アミロイドーシスの 1 例. 日本心エコー図学会第 32 回学術集会; 20210425; Web.

高野真澄, 金澤晃子, 高橋皇基, 丹治雅弘. 心房性僧帽弁逆流に対する僧帽弁形成術後再発の機序と治療戦略. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S663.

金澤晃子, 高野真澄, 石田悟朗, 神山美之, 小松宣夫, 武田寛人, 高野智弘, 佐藤善之, 高橋皇基, 大平哲也. 僧帽弁疾患合併軽度三尖弁逆流に対する三尖弁形成術は慢性期三尖弁逆流増悪を抑制する. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S664.

金井浩, 小原優, 森翔平, 荒川元孝, 山本裕朗, 諸沢薦, 下川宏明, 高野真澄. 心筋虚血前後の心室中隔壁速度波形の変化. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210522; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S682.

藤原理佐子, 高野真澄, 大手信之. Alzheimer 病患者における Relative regional strain ratio による左室収縮障害の検討. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210522; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S686.

渡部朋幸, 高野真澄. 心血管イベント既往と stiffness parameter β は総頸動脈蛇行出現の予測因子である. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S810.

江口依里, 舟久保徳美, 中野裕紀, 坪井聡, 絹田皆子, 今野弘規, 磯博康, 大平哲也. 東日本大震災前後のメ

タボリックシンドロームの長期動向に関する避難の影響 NDB 特定健診データを用いた検討. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210606; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):165.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災後の高 LDL コレステロール血症の発症と心理社会的要因との関連: 福島県県民健康調査. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210606; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):171.

中野裕紀, 後藤あや, 大葉隆, 吉田和樹, ケネスノレット, 村上道夫, 大平哲也, 熊谷敦史, 谷川攻一. 福島県における帰還住民のための健康支援アプリケーション開発. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210606; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):180.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林史和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規慢性腎臓病発症と有意に関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):425.

吉田知克, 江口依里, 増子博文, 大平哲也. 発達障がいを持つ労働者を長期の職場定着につなげる環境要因. 第 70 回東北公衆衛生学会; 20210723; Web(秋田).

中野裕紀, 後藤あや. 福島県立医科大学における医療情報学の視点からの ICT リテラシー教育の取り組み. 第 22 回日本医療情報学会看護学術大会; 20210730-31; 盛岡.

小原優, 森翔平, 高野真澄, 荒川元孝, 金井浩. 心周期における多層構造を持つ心臓壁内の心筋伸縮の超音波位相差を用いた局所的な計測. 日本超音波医学会 第 62 回東北地方会学術集会; 20210919; Web.

齋藤寛美, 高野真澄, 金澤晃子, 渡部朋幸. 左室壁運動異常を認めない胸痛患者において左室流入速波形の偽正常型から虚血性心疾患を疑い, 確定診断に至った二症例. 日本超音波医学会 第 62 回東北地方会学術集会; 20210919; Web.

大平哲也. 笑いと長寿・アンチエイジング. 第 43 回日本アーユルヴェーダ学会 福島研究総会; 20210926; Web(福島).

中野裕紀, 星佳芳, 小林慎治, 水島洋. 安心・安全サーバの構築—確からしい医療・健康情報検索サイトの構築と評価. 第 41 回医療情報学連合大会 (第 22 回日本医療情報学会学術大会); 20211120; 名古屋.

岡崎可奈子, 平井裕之, 島袋充生, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の血糖コントロール状況と精神的健康との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

佐藤陽香, 江口依里, 大平哲也. 結核集団感染が発生した A 精神科病院における感染要因と定期健診実施状況の調査研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

関口遥, 舟久保徳, 佐藤志帆, 大平哲也. 医療系大学生におけるスマートフォン依存と利用目的及び生活習慣との関係. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

孫智超, 今野弘規, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 安村誠司, 坂井晃, 大戸斉, 神谷研二, 磯博康. 東日本大震災後福島県住民の避難状況の変化と生活習慣病との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

長尾匡則, 大平哲也, 岡崎可奈子, 林史和, 中野裕紀, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

中野裕紀, 林史和, 吉田知克, 梅澤光政, 小橋元, 大平哲也. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 平成 30 年遡り調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

西間木ます子, 中野裕紀, 林史和, 舟久保徳美, 江口依里, 長尾匡則, 岡崎加奈子, 大平哲也. 青年期の運動経験・その後の運動習慣の継続とフレイル予防との関連の研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

舟久保徳美, 岡崎加奈子, 江口依里, 西間木ます子, 林史和, 中野裕紀, 長尾匡則, 大平哲也. 福島県避難区域住民におけるオーラルフレイルと社会活動や幸福度との関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔特別講演〕

高野真澄. 拡張能指標を病態評価へ結びつける. ECHO TOHOKU 2021; 20211127; Web.

過年業績

高野真澄. 透析患者の心機能評価で考えるべきこと. ECHO TOHOKU 2020; 20201102-20210131; Web.

〔招待講演〕

高野真澄. Atrial Functional MR の修復すべき形態異常をフォーカスする. 7th 九州心臓弁膜症カンファレンス; 20210508; Web(長崎).

放射線物理化学講座

論文

〔原著〕

Sorimachi A, Nagamatsu Y, Omori Y, Ishikawa T. Comparison experiments for radon and thoron measuring

instruments at low-level concentrations in one room of a Japanese concrete building. *Applied Radiation and Isotopes*. 202107; 173:109696.

Kim E, Igarashi Y, Hashimoto S, Tani K, Ishikawa T, Kowatari M, Kurihara O. Estimation of the Early Cs-137 Intake of Evacuees from Areas Affected by the 2011 Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident Based on Personal Behavioral Data and the Latest Atmospheric Transport and Dispersion Model Simulation. *Health Physics*. 202108; 121(2):133-149.

Kranrod C, Chanyotha S, Tokonami S, Ishikawa T. A simple technique for measuring the activity size distribution of radon and thoron progeny aerosols. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202104; 229-230:106506.

Murugan R, Kavasi N, Sahoo SK, Omori Y, Sorimachi A, Takahashi H, Aono T. Measurement of uranium isotope ratios in Fukushima-accident contaminated soil samples using multi collector inductively coupled plasma mass spectrometry. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202106; 232:106568.

Kasar S, Mishra S, Sahoo SK, Kavasi N, Omori Y, Arae H, Sorimachi A, Aono T. Sorption-desorption coefficients of Uranium in contaminated soils collected around Fukushima Daiichi Nuclear Power Station. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202107; 233:106617.

Tamakuma Y, Hosoda M, Omori Y, Nagahama H, Ishikawa T, Shimo M, Tokonami S. Car-borne Survey for a Black Shale Area and Influence of Snowfall on Absorbed Dose Rate in Air of a Coastal Area. *Radiation Environment and Medicine*. 202108; 10(2):96-101.

Omori Y, Nagahama H, Yasuoka Y, Muto J. Radon degassing triggered by tidal loading before an earthquake. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4092.

著 書・訳 書

Ishikawa T. Part 2: Survey Results 1. Basic Survey. In: Kamiya K, Ohto H, Yasumura S. Report of the Fukushima Health Management Survey 2011-2020. Fukushima: Radiation Medical Science Center for Fukushima Health Management Survey, Fukushima Medical University; 202102. p.18-50.

石川徹夫. 第2部 調査の結果 1. 基本調査. In: 神谷研二, 大戸斉, 安村誠司 編集. 福島県「県民健康調査」報告書 2011-2020. 福島: 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター; 202102. p.15-41.

研究発表等

〔研究発表〕

大葉隆, 石川徹夫, 宮武裕和, 永井晴康, 長谷川有史, 義澤宣明, 鈴木元. 体表面汚染測定値から甲状腺等価線量を推計するための不確定要素の検討. 日本放射線影響学会第64回大会; 20210922-24; Web.

鈴木元, 大葉隆, 石川徹夫, 長谷川有史, 永井晴康, 義澤宣明, 宮武裕和. 大気拡散シミュレーションと行動調査票に基づく福島第一原発事故後の小児甲状腺線量再構築. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web.

宮武裕和, 義澤宣明, 鈴木元, 永井晴康, 大葉隆, 長谷川有史, 石川徹夫, レガルド真理子. 福島第一原発事故後の水道水摂取による内部被ばく線量の推定と不確かさの検討. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web.

〔招待講演〕

石川徹夫. 低線量被ばく－医療・環境・放射線災害. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625; Web.

健康リスクコミュニケーション学講座

論 文

〔原 著〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y. Development of an application tool to support returnees in Fukushima. *Annals of the ICRP*. 202107; 50(1_suppl):187-193.

Matsuda Y, Takebayashi Y, Nakajima S, Ito M. Managing Grief of Bereaved Families During the COVID-19 Pandemic in Japan. *Frontiers in Psychiatry*. 202106; 12:637237.

Doi S, Kobayashi Y, Takebayashi Y, Mizokawa E, Nakagawa A, Mimura M, Horikoshi M. Associations of Autism Traits With Obsessive Compulsive Symptoms and Well-Being in Patients With Obsessive Compulsive Disorder: A Cross-Sectional Study. *Frontiers in Psychology*. 202107; 12:697717.

Nomura S, Murakami M, Ozaki A, Sawano T, Leppold C, Nishikawa Y, Saito H, Oikawa T, Tsubokura M. Comparative risk assessment of non-communicable diseases by evacuation scenario: a retrospective study in the 7 years following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. *Global Health Action*. 202101; 14(1):1918886.

Ozaki A, Murakami M, Nomura S, Sawano T, Tsubokura M, Ono K, Takebayashi Y, Tsukada M, Yamaoka K, Nakata Y, Ohira H. Overall health information exposure, its barriers and impacts on attitude toward healthcare among cancer patients. The long-term aftermath of the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan: A single institution cross-sectional study. *Health Informatics Journal*. 202104; 27(2):1460458221996420.

Yoshida K, Goto A, Takebayashi Y, Murakami M, Sasaki M. Father-child bonding among Japanese fathers of infants: A municipal-based study at the time of the 4-month child health checkup. *Infant Mental Health Journal*. 202109; 42(5):705-717.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Murakami M, Takebayashi Y, Ono K, Kubota A, Tsubokura M. Corrigendum to “The decision to return home and wellbeing after the Fukushima disaster” [Int. J. Disaster Risk Reduct. 47 (2020) 101538]. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202106; 60:102374.

Kobayashi T, Takebayashi Y, Goto A, Nakayachi K, Murakami M. May risk communication with non-experts contribute to post-disaster restoration of normalcy? A survey on the disaster-struck prefectures after the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202111; 65:102564.

Kobayashi T, Maeda M, Takebayashi Y, Sato H. Traditional gender differences create gaps in the effect of covid-19 on psychological distress of Japanese workers. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202108; 18(16):8656.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Belief in group interdependence: Facilitating evacuee–host interactions after the Fukushima nuclear accident. *Journal of Applied Social Psychology*. 202105; 51(5):513-521.

Morimoto H, Takebayashi Y. Antecedents and Outcomes of Enrichment Among Working Family Caregivers of People With Dementia: A Longitudinal Analysis. *Journals of Gerontology Series B Psychological Sciences and Social Sciences*. 202106; 76(6):1060-1070.

Tamaki T, Ozaki A, Sato H, Tsubokura M, Suzuki Y. Alleviating the consequences of nuclear disasters on views on radiation risks among physicians and patients: Fukushima experience. *Journal of Global Health*. 202104; 11:03069.

Gondhowiardjo SA, Handoko, Tham I, Giselvania A, Bilimagga RS, Octavianus S, Hiraoka M, Jayalie VF, Tamaki T, Calaguas M, Nakano T. Regional collaboration to improve quality of radiation therapy in Asia. *Journal of Medical Imaging and Radiation Oncology*. 202107; 65(4):424-430.

Murakami M, Takebayashi Y, Ono K, Tsubokura M. Risk trade-off analysis of returning home and radiation exposure after a nuclear disaster using a happy life expectancy indicator. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i101-i106.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and

emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Yasui K, Takebayashi Y, Motoya R, Aoki S, Horiuchi T, Hatsuzawa T, Nakano K, Ohba T, Yoshida K, Midorikawa S, Ohtsuru A, Murakami M. Trajectory and factors of radiation risk perception of students aged 10-12 years at the time of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. *Journal of Radiological Protection*. 202111; 41(4):1166-1183.

Murakami M, Miura F, Kitajima M, Fujii K, Yasutaka T, Iwasaki Y, Ono K, Shimazu Y, Sorano S, Okuda T, Ozaki A, Katayama K, Nishikawa Y, Kobashi Y, Sawano T, Abe T, Saito MM, Tsubokura M, Naito W, Imoto S. COVID-19 risk assessment at the opening ceremony of the Tokyo 2020 Olympic Games. *Microbial Risk Analysis*. 202112; 19:100162.

Kashihara J, Takebayashi Y, Kunisato Y, Ito M. Classifying patients with depressive and anxiety disorders according to symptom network structures: A Gaussian graphical mixture model-based clustering. *PLOS ONE*. 202109; 16(9):e0256902.

Murakami M, Kobayashi T, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Takebayashi Y, Ohira T, Yasumura S, Maeda M. Associations of the COVID-19 pandemic with the economic status and mental health of people affected by the Fukushima disaster using the difference-in-differences method: The Fukushima Health Management Survey. *SSM - Population Health*. 202104; 14:100801.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation After the Fukushima Nuclear Accident. *Studies in Health Technology and Informatics*. 202105; 281:1091-1092.

青木俊太郎, 竹林由武, 色摩弥生, 安井清孝, 大谷晃司. 動機づけ面接や非言語的コミュニケーションに基づく医学生へのコミュニケーション教育の試み. *医学教育*. 202108; 52(4):295-304.

竹林由武. 【心身医学研究を読み解く、実践するための統計】 シングルケース実験デザインにおける介入効果の評価. *心身医学*. 202112; 61(8):708-714.

村中誠司, 竹林由武. 【遠隔認知行動療法】遠隔心理支援 (Telepsychology) におけるこれまでの検討課題 Structural Topic Model によるアブストラクト解析. *認知行動療法研究*. 202105; 47(2):127-138.

米城陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 大平哲也, 村上道夫. 幸福度・抑うつ度と音楽嗜好の関連に関する横断研究. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):1-9.

尾崎則篤, 和田桂子, 村上道夫, 中島典之, 古米弘明. 公表調査データの統計解析による市街地ノンポイント汚濁負荷流出量の予測とその信頼性評価—負荷量の統計的推定および新規入手データを用いたモデルの検証と改良—. *水環境学会誌*. 202101; 44(1):1-8.

奥田知明, 村上道夫, 内藤航, 篠原直秀, 藤井健吉. ウイルス感染症対策としての CO2 濃度の利用にむけた値の解釈について. *リスク学研究*. 202106; 30(4):207-212.

竹林由武. 【自殺学入門—知っておきたい自殺対策の現状と課題】 災害と自殺. 臨床心理学. 202109; 21(5):576-581.

〔その他〕

Murakami M, Tsubokura M. Deepening community-aligned science in response to wavering trust in science. Lancet. 202103; 397(10278):969-970.

Murakami M, Yasutaka T, Onishi M, Naito W, Shinohara N, Okuda T, Fujii K, Katayama K, Imoto S. Living with COVID-19: Mass gatherings and minimising risk. QJM. 202111; 114(7):437-439.

Murakami M, Ochi S, Igarashi Y. Discharge of treated water from Fukushima into the ocean: freedom from the curse. Science. 202105; 372(6539):218-219.

永井孝志, 村上道夫, 藤井健吉, 松田裕之. 企画セッション開催報告 新型コロナウイルス感染症をめぐるレギュラトリーサイエンス. リスク学研究. 202106; 30(4):189-194.

村上道夫, 小林智之, 越智小枝, 後藤あや, 五十嵐泰正. 企画セッション開催報告 福島から COVID-19 を, COVID-19 から福島を考える. リスク学研究. 202106; 30(4):195-202.

著 書・訳 書

村上道夫. 2-2-1 求めるべき水環境と環境基準の設定. In: 日本水環境学会 編. 水環境の事典. 東京: 朝倉書店; 202104. p.100-101.

研究発表等

〔研究発表〕

Nonaka S, Takada A, Odaka M, Senoo Y, Oikawa T, Murakami M, Tsubokura M. Patients & Disease characteristics in Odaka Clinic, post-evacuation area of 3.11. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208-09; Web.

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Tanigawa K. Linking returnees with health professionals after the Fukushima accident: Adapting recommendations from the SHAMISEN-SINGS project. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208-09; Web.

Iwamoto R, Yamagishi T, Murakami M, Imoto S, Okabe S, Kitajima M. Detection of SARS-CoV-2 from a decentralized wastewater treatment system of COVID-19 quarantine hotel in Japan. American Water Works Association Virtual Summit; 20210210-11; Web.

Saito K, Nollet K, Hasegawa A, Ohba T, Osuga K, Murakami M, Kamiya K. Activities of Fukushima Medical University in Support of our Prefecture and the World. 2021 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey; 20210213-14; Fukushima.

Murakami M. Risk communication as community-aligned science after the Fukushima disaster. WHO Webinar; 20210323; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. 31st Medical Informatics Europe Conference; 20210529-31; Web.

〔シンポジウム〕

竹林由武. ポストコロナ禍を見据えた医療従事者のメンタルヘルス対策 委員会企画3 (ダイバーシティ推進委員会) (話題提供). 第32回日本老年医学会総会; 20210611; Web.

竹林由武. 遠隔心理支援のエビデンス 未来に繋がる遠隔心理支援 (話題提供). 第20回日本トラウマティックストレス学会大会; 20210717; Web.

竹林由武. シングルケースデザインの解析 編集委員会企画シンポジウム (話題提供). 第47回日本認知・行動療法学会; 20211010-1125; Web.

竹林由武. 適応型デザイン (話題提供). 第47回日本認知・行動療法学会; 20211010-1125; Web.

田巻倫明, 竹林由武. リスクコミュニケーションの視点からがん医療を考える. 日本放射線腫瘍学会第34回学術大会; 20211112-14; Web.

竹林由武. 看護科学と心理学の共創による新たな視点—最新のコミュニケーション研究をめぐって—. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211205; Web.

循環器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Tomita Y, Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Shimizu T, Takeishi Y. A sudden rise in pacing threshold of left ventricular lead associated with myocardial ischemia. Journal of Arrhythmia. 2021; 37(3):693-695.

Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Albumin-bilirubin score for prediction of outcomes in heart failure patients treated with cardiac resynchronization therapy. *Journal of Clinical Medicine*. 2021; 10(22):5378.

Nakazato K, Sugimoto K, Kiko T, Kobayashi A, Takeishi Y. Angiographic and intravascular ultrasound images of pulmonary artery rupture during balloon pulmonary angioplasty. *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*. 2021; 22(2):176.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Anti-mitochondrial antibodies in patients with dilated cardiomyopathy. *Internal Medicine*. 2021; 60(2):201-208.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake. *Medicine*. 2021; 100(6):e24177.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioka N, Amami K, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Associations of the prognostic nutritional index with the cardiac function and survival after cardiac resynchronization therapy. *Internal Medicine*. 2021; 60(7):985-991.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of *FKBP5* gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. *Journal of the American Heart Association*. 2021; 10(21):e021101.

Anzai F, Karasawa T, Komada T, Yamada N, Miura Y, Sampilvanjil A, Baatarjav C, Fujimura K, Matsumura T, Tago K, Kurosu H, Takeishi Y, Kuro-O M, Takahashi M. Calcioprotein particles induce interleukin-18/ α -mediated inflammation through NLRP3 inflammasome-dependent and -independent mechanisms. *ImmunoHorizons*. 2021; 5(7):602-614.

Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index predicts post-discharge stroke in patients with heart failure. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 2021; 28(7):766-775.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index reflects impaired exercise capacity and predicts adverse prognosis in patients with heart failure. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 2021; 8:631807.

Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Misaka T, Yokokawa T, Takeishi Y. Clinical impact of long PR-interval and presence of late gadolinium enhancement on hospitalized patients with non-ischemic heart failure. *Annals of Noninvasive Electrophysiology*. 2021; 26(2):e12818.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ikeda K, Takeishi Y.

Clonal hematopoiesis and JAK2V617F mutations in patients with cardiovascular disease. *JACC CardioOncology*. 2021; 3(1):134-136.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Iwama A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension with ALK1 upregulation in lung neutrophils. *Nature Communications*. 2021; 12(1):6177.

Suzuki S, Yoshihisa A, Yokokawa T, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Tsuda A, Tsuda T, Ishibashi T, Konno I, Yamaguchi O, Machii H, Nozaki N, Niizeki T, Miyamoto T, Takeishi Y, On Behalf Of The Multicenter Randomized Trial Investigators. Comparison between febuxostat and allopurinol uric acid-lowering therapy in patients with chronic heart failure and hyperuricemia: a multicenter randomized controlled trial. *Journal of International Medical Research*. 2021; 49(12):3000605211062770.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Morishita S, Komatsu N, Ikeda K, Takeishi Y. Crucial role of hematopoietic JAK2V617F in the development of aortic aneurysms. *Haematologica*. 2021; 106(7):1910-1922.

Ueda T, Kasama S, Yamamoto M, Nakano T, Ueshima K, Morikawa Y, Kawata H, Yoshihisa A, Nakayama M, Komatsu S, Soeda T, Watanabe M, Kawakami R, Okada Y, Tanaka H, Susuta Y, Kasahara M, Tsujita K, Takeishi Y, Saito Y; CANONICAL Study Group. Effect of the sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor canagliflozin for heart failure with preserved ejection fraction in patients with type 2 diabetes. *Circulation Reports*. 2021; 3(8):440-448.

Kusunose K, Imai T, Tanaka A, Dohi K, Shiina K, Yamada T, Kida K, Eguchi K, Teragawa H, Takeishi Y, Ohte N, Yamada H, Sata M, Node K; On Behalf of CANDLE Trial Investigators. Effects of canagliflozin on NT-proBNP stratified by left ventricular diastolic function in patients with type 2 diabetes and chronic heart failure: a sub analysis of the CANDLE trial. *Cardiovascular Diabetology*. 2021; 20(1):186.

Sato Y, Yoshihisa A, Maki T, Takeishi Y. Effects of daily alcohol intake on glomerular filtration rate during three years. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(1):1-7.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 expression via G α /RhoA/Sp-1/Rho kinase pathways in human pulmonary arterial endothelial cells. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 2021; 8: 648981.

Imano N, Nishibuchi I, Kawabata E, Kinugasa Y, Shi L, Sakai C, Ishida M, Sakane H, Akita T, Ishida T, Kimura T, Murakami Y, Tanaka K, Horikoshi Y, Sun J, Nagata Y, Tashiro S. Evaluating individual radiosensitivity for the prediction of acute toxicities of chemoradiotherapy in esophageal cancer patients. *Radiation Research*. 2021; 195(3):244-252.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. High-fat diet attenuates the improvement of hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice during reoxygenation. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2021; 21(1):331.

Yamagishi M, Tamaki N, Akasaka T, Ikeda T, Ueshima K, Uemura S, Otsuji Y, Kihara Y, Kimura K, Kimura T, Kusama Y, Kumita S, Sakuma H, Jinzaki M, Daida H, Takeishi Y, Tada H, Chikamori T, Tsujita K, Teraoka K, Nakajima K, Nakata T, Nakatani S, Nogami A, Node K, Nohara A, Hirayama A, Funabashi N, Miura M, Mochizuki T, Yokoi H, Yoshioka K, Watanabe M, Asanuma T, Ishikawa Y, Ohara T, Kaikita K, Kasai T, Kato E, Kamiyama H, Kawashiri M, Kiso K, Kitagawa K, Kido T, Kinoshita T, Kiriya T, Kume T, Kurata A, Kurisu S, Kosuge M, Kodani E, Sato A, Shiono Y, Shiomi H, Taki J, Takeuchi M, Tanaka A, Tanaka N, Tanaka R, Nakahashi T, Nakahara T, Nomura A, Hashimoto A, Hayashi K, Higashi M, Hiro T, Fukamachi D, Matsuo H, Matsumoto N, Miyauchi K, Miyagawa M, Yamada Y, Yoshinaga K, Wada H, Watanabe T, Ozaki Y, Kohsaka S, Shimizu W, Yasuda S, Yoshino H; on behalf of the Japanese Circulation Society Working Group. JCS 2018 guideline on diagnosis of chronic coronary heart diseases. *Circulation Journal*. 2021; 85(4):402-572.

Anzai T, Sato T, Fukumoto Y, Izumi C, Kizawa Y, Koga M, Nishimura K, Ohishi M, Sakashita A, Sakata Y, Shiga T, Takeishi Y, Yasuda S, Yamamoto K, Abe T, Akaho R, Hamatani Y, Hosoda H, Ishimori N, Kato M, Kinugasa Y, Kubozono T, Nagai T, Nagai T, Oishi S, Okada K, Okada K, Shibata T, Suzuki A, Suzuki T, Takagi M, Takada Y, Tsuruga K, Yoshihisa A, Yumino D, Fukuda K, Kihara Y, Saito Y, Sawa Y, Tsutsui H, Kimura T; Japanese Circulation Society Joint Working Group. JCS/JHFS 2021 statement on palliative care in cardiovascular diseases. *Circulation Journal*. 2021; 85(5):695-757.

Pan KL, Chang SL, Lin YJ, Lo LW, Hu YF, Chung FP, Chao TF, Liao JN, Lin CY, Lin CH, Te ALD, Yamada S, Chang YT, Chen SA. Left ventricular electromechanical remodeling detected by acoustic cardiography in paroxysmal atrial fibrillation. *Journal of Cardiovascular Translational Research*. 2021; 14(2):348-354.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Liver congestion assessed by hepatic vein waveforms in patients with heart failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 2021; 3(6):778-786.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, E Nolle K, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving Calr frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. *Journal of Hematology & Oncology*. 2021; 14(1):52.

Kiko T, Yokokawa T, Misaka T, Masuda A, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Myocardial viability with chronic total occlusion assessed by hybrid positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Journal of Nuclear Cardiology*. 2021; 28(5):2335-2342.

Vergaro G, Gentile F, Meems LMG, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Cohn JN, Ueland T, Gullestad L, Aukrust P, Brunner-La Rocca HP, Bayes-Genis A, Lupón J, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Ling LH, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jafrueally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Devlin G, Lund M, Giannoni A, Passino C, de Boer RA, Emdin M. NT-proBNP for risk prediction in heart failure: Identification of optimal cutoffs across body mass index categories. *JACC: Heart Failure*. 2021; 9(9):653-663.

Kida K, Kitai T, Suzuki N, Ashikaga K, Kou S, Kagiya N, Yamaguchi T, Okumura T, Mizuno A, Oishi S, Inuzuka Y, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Matsue Y. Prognostic implications of reductions in heart rates in patients with acute heart failure and atrial fibrillation. *Circulation Journal*. 2021; 85(10):1869-1875.

Marcks N, Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Clerico A, Latini R, Meessen J, Anand IS, Cohn JN, Gravning J, Ueland T, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Tentzeris I, Ripoli A, Passino C, Sanders-van Wijk S, Emdin M, Brunner-La Rocca HP. Re-appraisal of the obesity paradox in heart failure: a meta-analysis of individual data. *Clinical Research in Cardiology*. 2021; 110(8):1280-1291.

Miyazaki S, Kobori A, Sasaki Y, Miyamoto K, Sato E, Hanazawa K, Morishima I, Kanzaki Y, Yamaji H, Yamao K, Kondo Y, Watanuki M, Kaneshiro T, Uchiyama T, Nakamura K, Hiramatsu S, Nakajima J, Arimoto T, Kaneko S, Osai N, Takagi T, Kaseno K, Takahashi A, Takahashi A, Naito S, Kobayashi Y, Kobayashi Y, Hachiya H, Kusano K, Yagi T, Iesaka Y, Tada H. Real-world safety profile of atrial fibrillation ablation using a second-generation cryoballoon in Japan: Insight from a large multicenter observational study. *JACC Clinical Electrophysiology*. 2021; 7(5):604-613.

Liu SH, Lo LW, Chou YH, Lin WL, Tsai TY, Cheng WH, Yamada S, Chen SA. Renal denervation prevents myocardial structural remodeling and arrhythmogenicity in a chronic kidney disease rabbit model. *Heart Rhythm*. 2021; 18(9):1596-1604.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Kaneshiro T, Nakazato K, Takeishi Y. Serum TRACP5b, a marker of bone resorption, is associated with adverse cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 2021; 3(4):470-478.

Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Significance of contact force on esophageal thermal injury during relative high-power short-duration ablation of atrial fibrillation. *Circulation Arrhythmia and Electrophysiology*. 2021; 14(6): e009897.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts bleeding events in patients with heart failure. *Circulation Journal*. 2021; 86(1):147-155.

Kiko T, Yokokawa T, Masuda A, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular function during vasodilator stress evaluated by ¹³N-ammonia hybrid PET/MRI. *Clinical Radiology*. 2021; 76(6):472.e1-472.e9.

Sekine T, Kamioka M, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Symptomatic long QT syndrome coexisting with asymptomatic acetylcholine-induced vasospasm. *Internal Medicine*. 2021; 60(13):2085-2088.

Hayasaka K, Matsue Y, Kitai T, Okumura T, Kida K, Oishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Mizukami

A, Yoshioka K, Kuroda S, Kagiya N, Yamaguchi T, Sasano T. Tricuspid regurgitation pressure gradient identifies prognostically relevant worsening renal function in acute heart failure. *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*. 2021; 22(2):203-209.

Kamioka M, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Visit-to-visit blood pressure variability predicts atrial fibrillation recurrence after pulmonary vein isolation in patients with hypertension and atrial fibrillation. *Circulation Reports*. 2021; 3(4):187-193.

〔総説等〕

Kaneshiro T, Takeishi Y. Esophageal thermal injury in catheter ablation of atrial fibrillation. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(3):95-101.

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害 (SDB) . *Medical View Points*. 2021; 42(7):4-5.

石田隆史. 特集 Young at HEART～若々しい心臓であり続けるために～ 3 大動脈弁狭窄症の発症メカニズムから進行予防のターゲットへ. *アンチ・エイジング医学*. 2021; 17(3):248-252.

國井浩行, 義久精臣, 竹石恭知. 特集 循環器疾患 緩和ケアの現状を識る 治す 10 末梢動脈疾患患者における緩和ケア. *Heart View*. 2021; 25(4):364-370.

〔研究報告書〕

田代聡, 岡田守人, 工藤崇, 竹石恭知, 石田隆史. 医療放射線被ばくの人体影響評価. 2020 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2021; 235-246.

東幸仁, 竹石恭知, 石田隆史, 李桃生. 緊急被ばくに対する再生医療体制の確立. 2020 年度共同利用・共同研究課題／トライアングルプロジェクト研究成果報告集. 2021; 302-312.

〔その他〕

Takeishi Y. Greetings from the new Editor-in-Chief. *Journal of Cardiology*. 2021; 77(1):2.

Takeishi Y. The Highlight of the 31st JSNC Annual Scientific Meeting from the Congress Chair. *Annals of Nuclear Cardiology*. 2021; 7(1):78.

堀江重郎, 上芝元, 天野俊康, 石井智弘, 井手久満, 伊藤直樹, 岩月正一郎, 大山力, 小川純人, 蔭山和則, 方波見卓行, 川戸佳, 菅野潤子, 功刀浩, 重原一慶, 周東孝浩, 白川智也, 白石晃司, 鈴木和浩, 高橋裕, 高岡正和, 竹石恭知, 立花修, 田邊真紀人, 辻村晃, 鳥居俊, 西岡宏, 長谷川奉延, 畠山真吾, 濱野逸人, 濱島崇, 福岡秀規, 福井道明, 堀江重郎, 松井克之, 松下一仁, 溝上敦, 村元啓仁, 八木弘子, 安井孝周, 柳瀬敏彦, 義久精臣. 24. テストロン補充療法は心不全の予後を改善するか? 男性の腺機能低下症ガイドラン 2022. 2021; 167-170. Available from: <https://www.mens-health.jp/wp-content/uploads/2021/10/c95fe605f4e4127722b302a0213fc301.pdf>

安斉俊久, 泉知里, 大石充, 木澤義之, 古賀政利, 坂下明大, 坂田泰史, 志賀剛, 竹石恭知, 西村勝治, 福本義弘, 安田聡, 山本一博, 赤穂理絵, 阿部隆宏, 石森直樹, 大石醒悟, 岡田佳築, 加藤美香, 衣笠良治, 窪田琢郎, 佐藤琢真, 柴田龍宏, 鈴木敦, 鈴木豪, 高木正仁, 高田弥寿子, 敦賀健吉, 永井利幸, 濱谷康弘, 細田勇人, 弓野大, 義久精臣, 木原康樹, 木村剛, 斎藤能彦, 澤芳樹, 筒井裕之, 福田恵一. 3. 虚血性心疾患・末梢血管疾患. 2021 年改訂版循環器疾患における緩和ケアについての提言. 2021; 59-63. Available from: https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2021/03/JCS2021_Anzai.pdf.

金城貴士, 山田慎哉. 金城准教授らたたえる 福島医学会が表彰授与式. 福島民報. 20210129; 16.

金城貴士, 山田慎哉. 金城准教授らたたえる 福島医学会の表彰式. 福島民友. 20210129; 3.

的場聖明, 明石嘉浩, 香坂俊, 坂田泰史, 竹石恭知, 筒井裕之, 坂東泰子, 福田恵一, 的場哲哉, 宮本恵宏. 循環器疾患診療実態調査報告書 (2021 年実施・公表) JROAD (The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases). 2020 年 (2021 年度実施・公表) 循環器疾患診療実態調査報告書. 2021; 1-23.

竹石恭知. 循環器内科学講座 PET-MRI を用いた心血管疾患の診断能および予後予測の評価. 福島県立医科大学先端臨床研究センターの取組. 2021; 48. Available from: <https://www.fmu.ac.jp/home/acrc/torikumi/TorikumiPDF.pdf>.

義久精臣. 睡眠障害の改善で心不全の予後が向上. Medical Tribune. 20210204; 9.

君島勇輔, 三阪智史, 竹石恭知, 池田和彦. 難病・肺高血圧症を解明. 福島民友. 20211029; 3.

竹石恭知. 日本循環器学会専門医試験について. 循環器専門医. 2021; 30:153.

君島勇輔, 三阪智史, 竹石恭知, 池田和彦. 肺高血圧症の発症の仕組み 血液細胞の遺伝子変異の関与を解明. 福島民報. 20211029; 26.

著 書・訳 書

竹石恭知. 6. 循環器疾患 心筋炎. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2021 年版. 東京: 医学書院. 2021. p.438-439.

八重樫大輝, 竹石恭知. III章 基礎疾患・依存症への薬物治療 ②依存症 2. 慢性腎臓病 (CKD). In: 筒井裕之 編集. ザ・ベーシックメソッド 心不全 薬物治療. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.256-262.

八重樫大輝, 竹石恭知. Part7 心不全、弁膜症 Q37 高齢者心不全の特徴と診断をどうしたらよいか教えてください. In: 伊藤浩 編集. 高齢者の循環器診療 Q&A. 東京: 文光堂. 2021. p.106-107.

研究発表等

〔研究発表〕

Ueda K, Ishida M, Sakai C, Yoshizumi M, Ishida T. Cigarette smoke-induced nuclear and mitochondrial DNA damage evokes an innate immune response. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208; Web.

Sakai C, Ishida M, Ueda K, Tashiro S, Yoshizumi M, Ishida T. Impaired DNA damage response promotes atherosclerosis by enhancing cellular senescence and proinflammatory activation. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208; Web.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Iwama A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. Cardiovascular and Metabolic Week 2020: International Society for Heart Research (ISHR), The 37th Annual Meeting of the Japanese Section; 20210312-13; Web.

Ishida M, Ueda K, Sakai C, Yoshizumi M, Ishida T. Cigarette smoke extract induces DNA damage and accelerates cellular senescence in human endothelial cells. Joint Meeting ESH-ISH 2021; 20210411-14; Web. Journal of Hypertension. 39(Suppl 1):e227.

Yokokawa T, Shimauchi T, Lemay S, Provencher S, Bonnet S, Boucherat O. Proteomics approaches for right ventricular failure in patients with pulmonary arterial hypertension. Journées scientifiques de la recherche 2021; 20211014-15; Web.

Sakai C, Ishida M, Ueda K, Kobayashi Y, Tashiro S, Yoshizumi M, Ishida T. Accumulation of DNA damage promotes atherosclerosis by provoking inflammatory responses via cGAS-STING activation. 19th International Symposium on Atherosclerosis; 20211024-27; Kyoto/Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Sugawara Y, Ohara H, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. An ultrasound image of spleen shear wave elastography predicts adverse outcomes in heart failure patients. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9435.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9031.

Abe S, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Sato Y, Kimishima Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Calcium-phosphorus product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9958.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa S, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high

risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1): A9546.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate on exercise capacity and prognosis: comparison among heart failure patients with reduced, preserved and mid-range ejection fraction. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9175.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Anzai F, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decrease in hepatokine fetuin-a is associated with hepatic hypoperfusion in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web.

Sakai C, Ishida M, Ueda K, Kobayashi Y, Yoshizumi M, Ishida T. DNA damage promotes atherosclerosis by enhancing inflammatory responses via the DNA sensing cGAS-Sting pathway. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10917.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Minakawa K, Sugimoto K, Nakazato K, Ikeda K, Takeishi Y. Hematopoietic calr frameshift mutation exacerbates hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1): A8859.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1): A9738.

Ueda K, Ishida M, Sakai C, Kobayashi Y, Yoshizumi M, Ishida T. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10926.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Kunii H, Nakazato K, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10514.

Yaegashi D, Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Nutritional risk index is a predictive factor of anthracycline-induced cancer therapeutics-related cardiac dysfunction. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A11069.

Shimauchi T, Wu W, Grobs Y, Omura J, Tremblay E, Martineau S, Yokokawa T, Shimauchi K, Nadeau V, Breuils Bonnet S, Orcholski M, Paulin R, Potus F, Boucherat O, Provencher S, Bonnet S. Parp1-Pkm2 axis mediates right ventricular failure associated with pulmonary arterial hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10231.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T,

Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1): A9586.

Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Hijioke N, Nodera M, Takeishi Y. Prognostic value of chronic kidney disease and cardiac sympathetic dysfunction assessed by ¹²³I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy for lethal arrhythmic events in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9177.

Endo K, Kiko T, Shimizu T, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic value of relative flow reserve by hybrid ¹³N-ammonia positron emission tomography/magnetic resonance imaging in coronary artery disease. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A12890.

Yokokawa T, Shimauchi T, Bonnet SB, Potus F, Paulin R, Provencher S, Bonnet S, Boucherat O. Proteomic signature of right ventricular failure in pulmonary arterial hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9534.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9126.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9577.

Sugimoto K, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Serum level of membrane type 1-matrix metalloproteinase inversely correlates with right ventricular systolic pressure and mean pulmonary artery pressure in pulmonary hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9166.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predicts bleeding events in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9726.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Sugimoto K, Minakawa K, Ikeda K, Nakazato K, Takeishi Y. Small hematopoietic clones with jak2v617f causally lead to pulmonary hypertension through neutrophil selective migration and maturation from the precursors in the lungs. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web.

Kurosawa Y, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of d-dimer on long-term mortality in patients with coronary artery

disease after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10103.

Nodera M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10638.

Shimizu T, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk scores. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9707.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. Cardiovascular and Metabolic Week 2021: The 38th Annual Scientific Meeting of the Japanese Section of the International Society for Heart Research (ISHR); 20211210-11; Web.

横川沙代子, 中村裕一, 根橋健, 大原妃美佳, 鈴木聡, 中里和彦. A case of coronary artery fistula to pulmonary artery from three major vessels and successful treatment with transcatheter coil embolization. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

菅原由紀子, 渡部研一, 阪本貴之, 大和田尊之, 竹石恭知. A case of recurring intraprocedural stent thrombosis (IPST) in acute coronary syndrome. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

八巻尚洋, 安藤卓也, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 君島勇輔, 清水竹史, 及川雅啓, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Chronic hemodialysis patients with diabetic nephropathy did not receive benefit from the treatment of in-stent restenosis with paclitaxel-coated balloon. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

中村裕一, 根橋健, 大原妃美佳, 横川沙代子, 鈴木聡. Comparison of outcomes in older patients with acute myocardial infarction treated with percutaneous coronary intervention. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

武藤雄紀, 國井浩行, 大河内諭, 和田健斗, 井山慶大, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 藤宮剛, 瀬戸夕輝, 高瀬信弥, 石田隆史, 竹石恭知. Procedural aortic dissection during transcatheter aortic valve implantation in patient with right sided aortic arch. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

安藤卓也, 八巻尚洋, 喜古崇豊, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知, 横山齊, 小松宣夫, 武田寛人. Two cases of coronary ostial stenosis after aortic valve replacement. 第29回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2020) ; 20210218-21; Web.

横川哲朗, 三阪智史, 君島勇輔, 和田健斗, 皆川敬治, 杉本浩一, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. Crucial role of JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm on the development of aortic aneurysm. Cardiovascular and Metabolic Week 2020 第 28 回日本血管生物医学会学術集会; 20210312-13; Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. Association between platelet distribution width and prognosis in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Associations between cardio-ankle vascular index with post-discharge stroke in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical impact of splenic ultrasonographic findings in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Ohara H, Anzai F, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical implications of hepatic vein waveforms in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

和田健斗, 三阪智史, 横川哲朗, 君島勇輔, 皆川敬治, 義久精臣, 池田和彦, 竹石恭知. Clinical significance of myeloproliferative neoplasm driver mutation-mediated clonal hematopoiesis in patients with cardiovascular diseases. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate on exercise capacity and prognosis: Comparisons among HFrEF, HFpEF and HFmrEF. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Endo K, Kiko T, Yamaki T, Takeishi Y. Comparison of diagnostic performance of relative flow reserve with coronary flow reserve by ¹³N-ammonia PET to detect coronary artery disease. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Anzai F, Takahashi M, Takeishi Y. Crucial role of NLRP3 inflammasome in Kawasaki disease. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

脇岡奈保子, 金城貴士, 天海一明, 山田慎哉, 上岡正志, 石田隆史, 竹石恭知. Featured Research Session : Comparisons in procedural characteristics of pulmonary vein isolation between high-power short-duration and standard settings. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Yaegashi D, Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T,

Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index is a predictor of anthracycline-induced cardiotoxicity. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Glasgow-blatchford score predicts post-discharge gastrointestinal bleeding in hospitalized patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Misaka T, Ichijo Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatokine selenoprotein P is associated with hepatic hypoperfusion and predicts adverse prognosis in heart failure patients. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Ando T, Shimizu T, Kurosawa Y, Akama J, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of body mass index on long-term bleeding events in patients who underwent percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Hijioka N, Kaneshiro T, Amami K, Yamada S, Ishida T, Takeishi Y. Impact of high-power short-duration ablation for produced potential delay in superior vena cava during right pulmonary vein isolation. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Kurosawa Y, Shimizu T, Akama J, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of the academic research consortium high bleeding risk criteria on dual antiplatelet therapy regimen after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Watanabe K, Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Intrarenal doppler ultrasonography reflects hemodynamics and predicts prognosis in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Sugimoto K, Ishida T, Takeishi Y. JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm is associated with aortic aneurysm. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Liver dispersion predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

喜古崇豊, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 竹石恭知. Prognostic value of simultaneous hybrid ¹⁸F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging in cardiac sarcoidosis. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the PARIS bleeding risk score for all-cause and cardiac

mortalities after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the PARIS thrombotic risk score for all-cause and cardiac mortalities after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Soluble fibrin monomer complex is associated with cardio- and cerebro-vascular events in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Kurosawa Y, Shimizu T, Akama J, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of D-dimer on long-term mortality in patients underwent percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

阿部諭史, 義久精臣, 一條靖洋, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. TRACP5b, a marker of osteoporosis, is associated with adverse cardiac events in hospitalized patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Troponin I was not useful to predict cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients with non-anthracycline chemotherapy. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

菅原由紀子, 及川雅啓, 五十嵐崇, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心室中隔欠損症の術後遠隔期に重度三尖弁閉鎖不全症により右心不全を来した一例. 日本心エコー図学会 第 32 回学術集会; 20210423-25; Web.

佐藤勇太郎, 及川雅啓, 菅原由紀子, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症精査にて判明した女性ファブリー病の一例. 日本心エコー図学会 第 32 回学術集会; 20210423-25; Web.

横川哲朗, 小林淳, 菅原由紀子, 西浦司人, 清水竹史, 阿部諭史, 及川雅啓, 中里和彦, 竹石恭知. 保存的に経過をみた石灰化心臓腫瘍の一例. 日本心エコー図学会 第 32 回学術集会; 20210423-25; Web.

野寺穰, 長谷川奏恵, 福岡良友, 宇随弘泰, 夢田浩. ^{99m}Tc ピロリン酸シンチグラフィによるトランスサイレチン心アミロイドーシスの評価. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):69.

喜古崇豊, 三阪智史, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. Hybrid ¹⁸F-FDG PET/MRI を用いた慢性完全閉塞病変に対する心筋 viability 評価. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):19.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソ

ニズムと心臓交感神経障害を合併した ATTR アミロイドーシスの一例. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):61.

及川雅啓, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. 治療可能な二次性心筋症を見逃さないために: ファブリー病を中心に: 二次性心筋症におけるファブリー病の鑑別診断. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):57.

Hasegawa K, Fukuoka Y, Oshima M, Hirano K, Nomura R, Miyahara K, Ishikawa E, Mukai M, Matsui A, Aoyama D, Shiomi Y, Nodera M, Ikeda H, Tama N, Ishida K, Miyazaki S, Uzui H, Tada H. Any arrhythmias can be a clue for an early diagnosis of cardiac amyloidosis. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Yamada S, Amami K, Hijioka N, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Changes in prognostic nutritional index after cardiac resynchronization therapy are associated with echocardiographic response and clinical outcome. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Kaneshiro T, Kamioka M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Takeishi Y. Characteristics of esophageal injury in high power-short duration ablation of atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Kamioka M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical characteristics and ablation outcome in patients with asymptomatic atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Mukai M, Miyazaki S, Hasegawa K, Ishikawa E, Aoyama D, Nodera M, Oshima M, Nomura R, Hirano K, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N. Cryothermal atrial linear ablation in patients with atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Ishikawa E, Miyazaki S, Mukai M, Aoyama D, Nodera M, Hasegawa K, Oshima M, Nomura R, Hirano K, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Tada H. Femoral vascular complications after catheter ablation in the current era: The utility of computed tomography imaging. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Nodera M, Miyazaki S, Ishikawa E, Mukai M, Aoyama D, Hasegawa K, Oshima M, Nomura R, Hirano K, Miyahara K, Matsui A, Shiomi Y, Tama N, Ikeda H, Fukuoka Y, Ishida K, Uzui H, Tada H. Is epicardial adipose tissue associated with recurrences of atrial fibrillation following catheter ablation? 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Amami K, Yamada S, Hijioka N, Kaneshiro T, Kamioka M, Takeishi Y. Monitoring efficacy of ventricular arrhythmia for the prediction of heart failure patient prognosis. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Hijioka N, Kamioka M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The feasibility and safety of high-power and short-duration ablation for pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. 第 67 回日本

不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

遠藤圭一郎, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 國井浩行, 藤宮剛, 高瀬信弥, 中里和彦, 竹石恭知. 大動脈四尖弁に経カテーテル大動脈弁留置術を施行した一例. 第 11 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会; 20210827-28; Web.

Ueda K, Ishida M, Sakai C, Kobayashi Y, Yoshizumi M, Ishida T. Cigarette smoke-induced nuclear and mitochondrial DNA damage evokes an innate immune response. 第 5 回日本循環器学会基礎研究フォーラム (5th JCS Council Forum on Basic CardioVascular Research) ; 20210911-12; Web.

寶槻優, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 君島勇輔, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 石田隆史, 竹石恭知. Glasgow-Blatchford スコアによる心不全入院患者における退院後の消化管出血の予測. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

及川雅啓, 八重樫大輝, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン誘発性 CTRCD 発症予測におけるトロポニン I の有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

鈴木聡, 関根虎之介, 野崎祐司, 安藤卓也, 佐藤悠, 湯田春世. チーム医療と新規心不全治療薬の相乗効果で再入院を回避できている重症心不全の一例. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソンニズムと心臓交感神経障害を合併した野生型 ATTR アミロイドーシスの一例. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

菅原由紀子, 義久精臣, 佐藤悠, 一條靖洋, 寶槻優, 渡邊孝一郎, 大原妃美佳, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 竹石恭知. 心不全患者における肝静脈血流波形パターンの臨床的意義. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者における血小板分布幅と予後との関係. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

大原妃美佳, 義久精臣, 菅原由紀子, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 安齋文弥, 佐藤悠, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者における腹部エコーを用いた Shear wave dispersion 評価の有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

渡邊孝一郎, 義久精臣, 佐藤悠, 寶槻優, 安齋文弥, 一條靖洋, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者の Cardio-Ankle Vascular Index は運動耐容能低下と予後を予測する. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

渡邊孝一郎, 義久精臣, 佐藤悠, 寶槻優, 安齋文弥, 一條靖洋, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者の腎血行動態評価における腹部エコーの有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

遠藤圭一郎, 清水竹史, 武藤雄紀, 君島勇輔, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 動脈の高度石灰化を伴う急性冠症候群をきたした偽性偽性副甲状腺機能低下症の一例. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 動脈硬化指標 CAVI は心不全患者の脳卒中発症を予測する. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

天海一明, 山田慎哉, 脇岡奈保子, 野寺穰, 金城貴士, 義久精臣, 竹石恭知. 慢性心不全患者における心臓交感神経障害および慢性腎臓病の有無と致死性不整脈イベントの関連. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

天海一明, 山田慎哉, 根橋健, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. Isochronal late activation map にて効率的にカテーテルアブレーションを施行しえた不整脈原性右室心筋症の一例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2021; 20210923-25; Web.

深津真彦, 王新濤, 大河原浩, アルケシプロブナ, 古川未希, 深見美和, 深見伸一, 杉本浩一, 小川一英, 池添隆之. Mer 阻害を標的とした敗血症性 ALI/ARDS 治療: LPS 誘発モデルにおける炎症反応の抑制効果の検討. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923; Web.

Suzuki S, Sato Y, Ando T, Nozaki Y, Sekine T. A case of heart failure patients with various benefit by induction of sacubitrill-valsartan. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

田中成美, 湯田春世, 渡部リエ, 諏訪純子, 生亀友紀, 鈴木聡. ACP を用いたステージ C の心不全患者との関わり. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index is associated with impaired exercise capacity and predicts poor prognosis in patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Isomatsu D, Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate in heart failure with preserved ejection fraction and sinus rhythm. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Misumi K, Matsue Y, Nogi K, Kagiya N, Kitai T, Ohishi S, Akiyama E, Suzuki S, Yamamoto M, Kida K, Okumura T, Nogi M, Ishihara S, Ueda T, Kawakami R, Saito Y, Minamino T. Derivation and validation of machine learning-based risk prediction model for in-hospital mortality in patients with acute heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Effect of cardio-ankle vascular index on predicting new onset stroke in heart failure patients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Effect of glasgow-blatchford score on post-discharge prediction of gastrointestinal bleeding in heart failure inpatients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. High platelet distribution width is associated with increased mortality in heart failure patients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Shear wave dispersion predicts liver fibrosis and adverse outcomes in patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. TRACP-5b is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

湯田春世, 及川愛, 生亀友紀, 鈴木聡. 当院における多職種での心不全カンファレンス. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

八重樫大輝, 石田隆史, 菊田淳, 及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 佐野秀樹, 田代聡, 竹石恭知. 小児がんサバイバーにおける DNA 損傷定量の意義. 第 4 回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20211012-14; Web.

上田桂太郎, 石田万里, 坂井千恵美, 小林佑輔, 吉栖正生, 石田隆史. タバコ煙抽出物が血管内皮細胞に炎症を引き起こすメカニズムの探索—核とミトコンドリア DNA 損傷の観点から. 第 62 回日本脈管学会総会; 20211014-16; 札幌/Web. 脈管学. 61(Suppl):S143.

上田桂太郎, 石田万里, 坂井千恵美, 小林佑輔, 吉栖正生, 石田隆史. タバコ煙抽出物の内皮細胞に及ぼす影響—核とミトコンドリア DNA 損傷の観点から. 第 43 回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web.

星出聡, 義久精臣, 土田文宏, 水野裕之, 寺川宏樹, 葛西隆敏, 小糸仁史, 安藤眞一, 渡辺尚彦, 竹石恭知, 苅尾七臣. 睡眠時無呼吸症候群を疑われた患者での pulse transit time (PTT) でとらえた beat-to beat 血圧と定時測定血圧の差: PTT 血圧・SAS 研究会. 第 43 回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web.

鈴木聡, 関根虎之介, 大原妃美佳, 野崎祐司, 根橋健, 中村裕一. 拡張した冠動脈に大量の血栓を伴った急性冠症候群の一例. 第 49 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20210130; Web.

武藤雄紀, 國井浩行, 谷哲矢, 菅原由紀子, 赤間浄, 安齋文弥, 清水竹史, 及川雅啓, 小林淳, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知, 藤宮剛, 高瀬信弥, 横山齊. 狭小弁輪で左室流出路の石灰化がありデバイス選択に苦慮し

た TAVI の一例. 第 49 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20210130; Web.

遠藤圭一郎, 國井浩行, 佐藤勇太郎, 谷哲矢, 武藤雄紀, 清水竹史, 及川雅啓, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 高度石灰化病変に対する PCI 中にガイドエクステンション断裂を来した 1 例. 第 49 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20210130; Web.

天海一明, 金城貴士, 野寺穰, 山田慎哉, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アブレーションにより逆伝導のみ離断され術後慢性期に順伝導も消失した傍ヒス束起源 WPW 症候群の 1 例. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

富田湧介, 三阪智史, 和田健斗, 君島勇輔, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 拡張型心筋症における血液細胞のエピジェネティックな変化: FKBP5 遺伝子の DNA メチル化の意義. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

遠藤圭一郎, 清水竹史, 武藤雄紀, 君島勇輔, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 高度の冠動脈石灰化を伴う急性冠症候群をきたした偽性偽性副甲状腺機能低下症の一例. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

廣坂諒, 及川雅啓, 芳賀文香, 赤間浄, 武藤雄紀, 喜古崇豊, 小林淳, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心房中隔欠損と卵円孔開存の併存が考えられた奇異性脳梗塞の一例. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

大橋尚人, 武藤雄紀, 清水竹史, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. 脳梗塞を発症した心房中隔欠損症合併周産期心筋症の 1 例. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

佐久間裕也, 清水竹史, 黒沢雄太, 武藤雄紀, 君島勇輔, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 竹石恭知. スコア化した日本版 HBR 評価基準の有用性. 第 48 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会; 20210710; Web.

根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 野寺穰, 天海一明, 竹石恭知. 不整脈原性右室心筋症による心室頻拍のカテーテルアブレーションにおいて Isochronal late activation map が有効であった 1 例. 第 1 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20210717; 仙台/Web.

天海一明, 山田慎哉, 根橋健, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. SICD 植込み後早期の原因不明な不適切作動を継続シール不良が原因と判断し再発と再手術を回避できた一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

大橋尚人, 小林淳, 佐藤栄奈, 菅原由紀子, 武藤雄紀, 八巻尚洋, 中里和彦, 竹石恭知. 感染性心内膜炎により膜性中隔穿孔をきたした大動脈一尖弁の一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

池田彩乃, 佐藤崇匡, 黒沢雄太, 安齋文弥, 清水竹史, 竹石恭知. 植込み型補助人工心臓装着後の心不全に対しサクビトリルバルサルタンが著効した一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

岡部亮斗, 阿部諭史, 和田健斗, 渡邊孝一郎, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心室細動で搬送さ

れ、VA-ECMO と IMPELLA 挿入により良好な経過を辿った左冠動脈主幹部急性心筋梗塞の一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

大原妃美佳, 三阪智史, 義久精臣, 一條靖洋, 菅原由紀子, 富田湧介, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者における心臓-肝臓連関の病態評価と肝臓由来ホルモン・ヘパトカインの意義. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

佐久間裕也, 及川雅啓, 佐藤栄奈, 大橋尚人, 武藤雄紀, 小林淳, 杉本浩一, 八巻尚洋, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 慢性血栓塞栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効した G6PD 異常症の一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

八重樫大輝, 及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index によるがん治療関連心筋障害の予測の検討. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

横川哲朗, 義久精臣, 清水竹史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Residual Gensini score は経皮的冠動脈形成術を施行した虚血性心筋症患者の長期予後予測因子となる. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

赤間浄, 及川雅啓, 菅原由紀子, 喜古崇豊, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. β 遮断薬の投与が有効であった右室流出路狭窄合併肥大型心筋症の一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

及川雅啓, 八重樫大輝, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン誘発性 CTRCD 発症予測におけるトロポニン I の有用性. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソンニズムと心臓交感神経障害を合併した ATTR アミロイドーシスの一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

三阪智史, 一條靖洋, 義久精臣, 寶槻優, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 君島勇輔, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. ヘパトカイン・セレノプロテイン P は心不全における肝臓低灌流と関連する. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

野寺穰, 帰山知己, 向井萌, 石田健太郎, 宇隨弘泰, 多田浩. リスクファクターを有さない若年女性に発症した周産期心筋症の 1 例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

和田健斗, 三阪智史, 富田湧介, 安齋文弥, 君島勇輔, 横川哲朗, 義久精臣, 竹石恭知. 拡張型心筋症における末梢白血球の FKBP5 DNA メチル化の臨床的意義. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

佐藤勇太郎, 及川雅啓, 菅原由紀子, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症精査にて判明した女性ファブリー病の一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

廣坂諒, 及川雅啓, 佐藤勇太郎, 菅原由紀子, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症精査にて判明した女性ファブリー病の一例. 第 41 回福島心疾患治療談話会; 20210515; Web.

野寺穰, 天海一明, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 上室性および心室性不整脈において HD Grid を用いた EnSite Sparkle Map が有用であった 2 症例. 第 18 回福島不整脈懇話会; 20210715; Web.

〔シンポジウム〕

Misaka T. Clonal hematopoiesis and cardiovascular diseases: Hematopoietic JAK2V617F mutation in cardiovascular remodeling (Symposium). Cardiovascular and Metabolic Week 2021: The 38th Annual Scientific Meeting of the Japanese Section of the International Society for Heart Research (ISHR); 20211210-11; Web.

喜古崇豊, 竹石恭知. シンポジウム 4 フュージョンイメージングの最前線 PET/MRI 装置を用いた心臓イメージングの最前線 (シンポジウム). 第 31 回日本心臓血管画像動態学会; 20210108-9; Web.

Sato T. Efficacy and safety of ivabradine for advanced heart failure in acute phase (プレナリーセッション). 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

喜古崇豊, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. FDG PET/MRI を用いた心サルコイドーシスの予後評価について (シンポジウム). 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

義久精臣, 石橋伸治, 堀越裕子, 松田美津子, 山寺幸雄, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 消化器 5 エラストグラフィーの使い道 心不全患者における肝うっ血および線維化指標としてのエラストグラフィーの有用性 (パネルディスカッション). 日本超音波医学会 第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48 (Suppl):S290.

義久精臣. 心不全の睡眠呼吸障害 ～治療どうしますか?～: CSA 優位な心不全 (HFpEF) (ワークショップ). 日本睡眠学会第 46 回定期学術集会; 20210923; 福岡/Web.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 会長特別企画 4 本音で語ろう新しい心不全治療薬 (SGLT2 阻害薬、イバブラジン): 心不全診療における心拍数の重要性 (シンポジウム). 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-3; Web.

石田万里, 坂井千恵美, 石田隆史, 吉栖正生. 脈管系をどう守る?—DNA 損傷・細胞老化の側面から (シンポジウム). 第 62 回日本脈管学会総会; 20211014-16; 札幌/Web. 脈管学. 61(Suppl):S121.

〔特別講演〕

佐藤崇匡. 特別講演: 心不全診療における心拍数の重要性. 循環器疾患と糖尿病治療を考える会 in 相馬郡; 20210125; 相馬/Web.

中里和彦. 特別講演: 肺高血圧症診療の進歩と課題～この 10 年で何が変わったか～. 第 8 回群馬肺高血圧症画像研究会; 20210205; Web.

竹石恭知. 特別講演: 慢性心不全治療の新展開. 相馬郡医師会学術講演会; 20210205; 南相馬/Web.

佐藤崇匡. 特別講演：心不全治療における心拍数の重要性. Episode Discussion Meeting in IWAKI; 20210210; いわき/Web.

義久精臣. 特別講演：ARNI を取り入れた心不全診療の新展開. 石川臨床懇話会; 20210318; Web.

佐藤崇匡. 特別講演：新しい心不全治療と疾病管理. 米沢心不全カンファレンス; 20210318; 米沢.

義久精臣. 特別講演：慢性心不全の診断とこれからの治療. 第9回郡山地区臨床疾患勉強会; 20210519; Web.

義久精臣. 特別講演：循環器合併症を踏まえた2型糖尿病治療. 福島糖尿病学術講演会; 20210527; 福島/Web.

義久精臣. Special Lecture：循環器疾患からみた COPD の発掘意義—心不全を中心に—. Scientific Exchange Meeting in Fukushima; 20210608; 福島/Web.

鈴木聡. 特別講演：エンレストの使用経験から考える今後の心不全診療. Aizuwakamatsu Heart Failure Forum; 20210609; Web.

國井浩行. 特別講演：自己拡張型生体弁 Evolut による TAVI の可能性. 循環器疾患最新医療セミナー; 20210618; Web.

小林淳. 特別講演：慢性心不全における新たな薬物治療選択. 循環器疾患最新医療セミナー; 20210618; Web.

竹石恭知. 特別講演：慢性心不全治療の新展開. 安達太良心不全講演会; 20210708; 二本松/Web.

中里和彦. 特別講演：慢性血栓塞栓性肺高血圧症（CTEPH）の治療の進歩と課題～この10年間で何が変わったか～. 東北 PH 診療 Up to Date; 20210910; Web.

鈴木聡. 特別講演：心不全における糖尿病治療薬の有用性—エビデンスと経験を活かすための会津心不全地域連携を目指して—. 会津医学会 学術講演会～会津地域の心臓を守る～; 20210927; 会津若松/Web.

竹石恭知. 特別講演：心不全パンデミックにおける高齢者心不全の治療戦略. Sapporo Af-HF Seminar; 20211006; Web.

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に活かす取り組み. Expert Meeting in Hokkaido; 20211111; Web.

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に活かす取り組み. 第23回会津薬薬連携講習会; 20211126; 会津若松.

中里和彦. 特別講演：肺高血圧症診療の進歩と課題～この20年間で何が変わったか～. 福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部 2021年（令和3年）12月合同研修会; 20211208; 福島/Web.

金城貴士. Special Lecture：心不全管理におけるカテーテルアブレーションの役割. 第1回 Meet the Specialists in Fukushima; 20211207; Web.

鈴木聡. 特別講演：会津地区心不全連携の取り組みについて. 会津地区心不全連携 看護師スキルアップセミナー; 20211208; Web.

鈴木聡. 特別講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に生かす取り組み. 米沢心不全診療連携カンファレンス; 20211216; Web.

〔招待講演〕

Kaneshiro T. High power-short duration RFCA. 2021 THRS Autumn Forum; 20210925-26; Web.

山田慎哉. 講演：心不全に伴う頻脈性不整脈に対する腎交感神経除神経の有用性. 令和2年度福島医学会受賞記念講演会; 20210128; Web. 福島医学雑誌. 71(1):48-49.

金城貴士. 講演：心房細動アブレーションに伴う食道関連合併症のメカニズムより安全な治療を目指して. 令和2年度福島医学会受賞記念講演会; 20210128; Web. 福島医学雑誌. 71(1):49-50.

石田隆史. 講演：医療放射線被ばくの人体影響評価. 第2回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ; 20210209; Web.

義久精臣. Lecture：心不全治療における SGLT2 阻害薬の可能性. 心不全治療戦略会議 in 福島; 20210219; 福島 /Web.

佐藤崇匡. 講演：VAD チーム立ち上げ及び植込み実施施設認定後の経験. 内科医から見た補助人工心臓治療; 20210224; Web.

金城貴士. 講演：2020年改訂版 不整脈薬物治療ガイドライン改訂のポイント. 不整脈薬物治療 Web セミナー; 20210308; Web.

山田慎哉. 講演：心房細動アブレーション周術期の生活習慣病の管理. 不整脈薬物治療 Web セミナー; 20210308; Web.

義久精臣. Lecture：心不全治療における SGLT2 阻害薬の可能性. 心不全治療戦略会議 in 福島; 20210312; 福島 /Web.

中里和彦. 講演：AFTER HEART ATTACK～ACS 患者への早期からの厳格な脂質管理の重要性～. CV Expert Summit in 東北支部; 20210318; Web.

石田隆史. 講演：新型コロナウイルスと高血圧. 減塩サミット 2021 in 福島; 20210321; Web/誌上. 福島民友, 2021.3.21:12.

金城貴士. 講演：Freezor MAX による CTI ablation：特性と有用性. CRYSTAL in North Japan; 20210510; Web.

山田慎哉. 講演：日常臨床における直接経口抗凝固薬使用の問題点について. Eliquis Meet the Specialist WEB セミナー; 20210520; Web.

金城貴士. 基調講演：術式不詳の僧帽弁形成術後に生じた incisional AFL に対し、カテーテルアブレーションを施行した 1 例. 福島循環器学術講演会; 20210602; Web.

金城貴士. 不整脈医の視点から心不全増悪因子を考える. One for All, All for Fukushima Seminar—慢性心不全の未来を考える—; 20210712; Web.

中里和彦. 講演：福島県における心筋梗塞治療の現状と課題. CVD Management Consensus Meeting in 福島; 20210909; Web.

鈴木聡. 講演：非 HFrEF 症例に対する ARNI の使用経験から. 福島県 Expert Meeting 2021; 20210910; Web.

石田隆史. 講演：高血圧の包括的治療 UPDATE—減塩をはじめとする非薬物療法の重要性—. 第 34 回日本臨床内科医学会; 20210919-20; Web. 日本臨床内科医会会誌. 36(3):S88.

清水竹史. 講演：福島県心筋梗塞死亡実態調査の結果より～死亡診断書作成時の注意点～. 第 11 回福島心不全研究会; 20211007; Web.

義久精臣. ランチョンセミナー10：睡眠呼吸障害管理における PTT 血圧測定の意義. 第 43 回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web.

鈴木聡. 講演：変わりゆく心不全治療と地域医療に活かす取り組み. 心不全 WEB セミナー; 20211029; Web.

竹石恭知. 講演：共催セミナー「Onco-Cardiology への取り組み—CAT の抗凝固療法も含めて—」. 第 126 回日本循環器学会北海道地方会; 20211127; Web.

清水竹史. 共催ミニレクチャー：MASTER DAPT 試験からの知見. 岩手リアルワールドライブ 2021; 20211202-03; Web.

〔その他〕

石田万里, 上田桂太郎, 坂井千恵美, 石田隆史, 田代聡. 喫煙習慣による DNA 損傷の炎症惹起・活性化を起因とした動脈硬化発症における役割. 喫煙科学研究財団令和 2 年度助成研究発表会; 20210902; Web.

義久精臣. 心不全予防のための睡眠時無呼吸症候群管理のポイント. 日本高血圧学会 心不全予防のための Web 講座; 20211001; Web.

義久精臣. 慢性心不全における呼吸療法 ASV. 日本心不全学会 e-learning; 20211001; Web.

血液内科学講座

論 文

〔原 著〕

Shimizu H, Sato S, Suzuki T, Sasajima T, Takahata Y, Shinohara N, Hideshima K, Yokokawa Y, Matsuhashi N, Ichii O, Tai M, Ejiri Y, Yano K, Ikezoe T, Ohira H, Migita K. Intestinal Behcet's disease complicated by myelodysplastic syndrome and secondary pulmonary alveolar proteinosis: a case report. *BMC Gastroenterol.* 2021; 21(1):488.

Fukatsu M, Ohkawara H, Takahashi H, Mori H, Yaginuma M, Endo M, Shichishima-Nakamura A, Sano T, Harada-Shirado K, Kimura S, Ogawa K, Hashimoto Y, Ikezoe T. A case of acquired von Willebrand syndrome complicated by Acute Myelomonocytic leukemia. *Case Reports in Oncology.* 2021; 14(2):1152-1158.

Li R, Sun N, Chen X, Li X, Zhao J, Cheng W, Hua H, Fukatsu M, Mori H, Takahashi H, Ohkawara H, Fukami M, Okamoto M, Hamazaki Y, Zheng K, Yang J, Ikezoe T. *JAK2^{V617F}* mutation promoted IL-6 production and glycolysis via mediating PKM1 stabilization in macrophages. *Frontiers in Immunology.* 2021; 11:589048.

Chen X, Sun N, Li R, Sang X, Li X, Zhao J, Han J, Yang J, Ikezoe T. Targeting HLA-F suppresses the proliferation of glioma cells via a reduction in hexokinase 2-dependent glycolysis. *International Journal of Biological Sciences.* 2021; 17(5):1263-1276.

Sun N, Meng F, Zhao J, Li X, Li R, Han J, Chen X, Cheng W, Yang X, Kou Y, Zheng K, Yang J, Ikezoe T. Aurka deficiency in the intestinal epithelium promotes age-induced obesity via propionate-mediated AKT activation. *International Journal of Biological Sciences.* 2021; 17(5):1302-1314.

Ikezoe T. Advances in the diagnosis and treatment of disseminated intravascular coagulation in haematological malignancies. *International Journal of Hematology.* 2021; 113(1):34-44.

Mori H, Ohkawara H, Togawa R, Rikimaru M, Shibata Y, Ikezoe T. Diagnosis and treatment of disseminated intravascular coagulation in COVID-19 patients: a scoping review. *International Journal of Hematology.* 2021; 113(3):320-329.

Alkebsi L, Wang X, Ohkawara H, Fukatsu M, Mori H, Ikezoe T. Dasatinib induces endothelial-to-mesenchymal transition in human vascular-endothelial cells: counteracted by cotreatment with bosutinib. *International Journal of Hematology.* 2021; 113(3):441-455.

Mori H, Fukatsu M, Ohkawara H, Oka Y, Kataoka Y, Taito S, Ikezoe T. Heterogeneity in the diagnosis of plasmablastic lymphoma, plasmablastic myeloma, and plasmablastic neoplasm: a scoping review.

International Journal of Hematology. 202112; 114(6):639-652.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, E Nollet K, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving Calr frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. Journal of Hematology & Oncology. 202103; 14(1):52.

Murai K, Ureshiro H, Kumagai T, Tanaka H, Nishiwaki K, Wakita S, Inokuchi K, Fukushima T, Yoshida C, Uoshima N, Kiguchi T, Mita M, Aoki J, Kimura S, Karimata K, Usuki K, Shimono J, Chinen Y, Kuroda J, Matsuda Y, Nakao K, Ono T, Fujimaki K, Shibayama H, Mizumoto C, Takeoka T, Ito K, Kondo T, Miura M, Minami Y, Ikezoe T, Imagawa J, Takamori A, Kawaguchi A, Sakamoto J, Kimura S. Low-dose dasatinib in older patients with chronic myeloid leukaemia in chronic phase (DAVLEC): a single-arm, multicentre, phase 2 trial. Lancet Haematology. 202112; 8(12):e902-e911.

Toritsuka M, Yoshino H, Makinodan M, Ikawa D, Kimoto S, Yamamuro K, Okamura K, Akamatsu W, Okada Y, Matsumoto T, Hashimoto K, Ogawa Y, Saito Y, Watanabe K, Aoki C, Takada R, Fukami SI, Hamano-Iwasa K, Okano H, Kishimoto T. Developmental dysregulation of excitatory-to-inhibitory GABA-polarity switch may underlie schizophrenia pathology: A monozygotic-twin discordant case analysis in human iPS cell-derived neurons. Neurochemistry international. 202111; 150:105179.

Azami Y, Tsuyama N, Abe Y, Sugai-Takahashi M, Kudo K, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Saji S, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Chromosomal translocation t(11;14) and p53 deletion induced by the CRISPR/Cas9 system in normal B cell-derived iPS cells. Scientific Reports. 202103; 11(1):5216.

Chen X, Wang C, Sun N, Pan S, Li R, Li X, Zhao J, Tong H, Tang Y, Han J, Qiao J, Qiu H, Wang H, Yang J, Ikezoe T. *Aurka* loss in CD19⁺ B cells promotes megakaryocytopoiesis via IL-6/STAT3 signaling-mediated thrombopoietin production. Theranostics. 202103; 11(10):4655-4671.

Mori H, Ikezoe T. Potential benefit of soluble thrombomodulin in coping with COVID-19/SARS-CoV-2-induced coagulopathy. Thrombosis & Haemastasis Research. 202105; 5(2):1061.

〔総説等〕

池添隆之. 急性白血病に合併する DIC の発症機序. 日本検査血液学会雑誌. 202102; 22(1):68-75.

〔その他〕

池添隆之. 特集<Clinical Science>造血細胞移植後 GVHD. 炎症と免疫. 202102; 29(2):135-136.

池添隆之. 自己免疫性溶血性貧血. 日本医事新報. 202102; (5051):37-38.

池添隆之. 自己免疫性溶血性貧血 (AIHA). 日本医事新報. 202110; (5088):48-49.

池添隆之. 播種性血管内凝固 (DIC) . 日本医事新報. 202111; (5089):40-41.

著 書・訳 書

池添隆之, 深津真彦. 悪性リンパ腫・多発性骨髄腫. In: 日本がん治療認定医機構教育委員会 編集. がん治療認定医教育セミナーテキスト 第15版. 東京: 日本がん治療認定医機構教育委員会. 202108. p.221-227.

研究発表等

〔研究発表〕

Scarpa M, Arash-Kaps L, Barbato A, Diaz GA, Gallagher RC, Giugliani R, Guffon N, Guelbert NB, Hollak C, Ikezoe T, Jones SA, Mengel E, Lachmann R, Lidove O, Mabe P, Senates E, Tchan M, Villarrubia J, Wasserstein M, Chen Y, Furey S, Ortemann-Renon C, Zhang Q, Kumar M. Impact of olipudase alfa enzyme replacement therapy on pulmonary, visceral and hematologic manifestations of acid sphingomyelinase deficiency: 1-year results of clinical trials in children and adults. 25th European Hematology Association Virtual Congress; 20210609-17; Web. HemaSphere. 5(52):317-318.

Ueda Y, Hosokawa K, Ishiyama K, Takamori H, Yonemura Y, Obara N, Noji H, Ando K, Shichishima T, Ikezoe T, Chiba S, Ninomiya H, Kawaguchi T, Nishimura J, Kanakura Y, Nakao S. Clinical significance of small PNH-Type cell populations in bone marrow failure syndromes- an Interim Analysis of Japanese Multicenter Prospective Study. 63rd ASH Annual Meeting and Exposition; 20211211-14; Web. Blood. 138(Supplement1):1122-1124.

Kumagai T, Murai K, Ureshino H, Tanaka H, Nishiwaki K, Wakita S, Inokuchi K, Fukushima T, Yoshida C, Mita M, Uoshima N, Kiguchi T, Aoki J, Kimura S, Karimata K, Usuki K, Shimono J, Chinen Y, Kuroda J, Matsuda Y, Nakao K, Ono T, Fujimaki K, Shibayama H, Mizumoto C, Takeoka T, Ito K, Kondo T, Miura M, Minami Y, Ikezoe T, Imagawa J, Takamori A, Kawaguchi A, Sakamoto J. Very low-dose dasatinib is a safe and effective therapy for elderly patients with newly-diagnosed chronic-phase chronic myeloid leukemia: Results from the Davlec Study, a Single-Arm, Multicenter, Phase 2 Trial. 63rd ASH Annual Meeting and Exposition; 20211211-14; Web. Blood. 138(Supplement1):3601-3603.

遠藤麻美子, 高橋裕志, 森博隆, 佐野隆浩, 大河原浩, 池添隆之, 松本雅則, 酒井和哉. リツキシマブ抵抗性 TTP の 1 例. 第 222 回日本内科学会 東北地方会; 20210220; Web.

福地恒一郎, 深津真彦, 柳沼真維, 原田佳代, 木村哲, 遠藤麻美子, 森博隆, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 橋本優子, 池添隆之. 緩徐進行型の経過を示し脳梗塞として加療されていた血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫 (IVBCL) の 1 例. 第 131 回日本血液学会 東北地方会; 20210221; Web.

遠藤麻美子, 高橋裕志, 森博隆, 大河原浩, 柳沼真維, 深津真彦, 原田佳代, 木村哲, 池添隆之. 臍帯血移植に伴う SOS/VOD に DF と rTM の併用が有効であった MPAL の一例. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会; 20210305-7; Web.

Suzuki K, Wechalekar AD, Kim K, Shimazaki C, Kim JS, Ikezoe T, Min C, Zhou F, Iida S, Katoh N, Fujisaki T, Shin H, Tran N, Qin X, Vasey SY, Tromp B, Weiss BM, Vermeulen J, Comenzo RL, Kastiris E, Lu J. Subcutaneous daratumumab+bortezomib/cyclophosphamide/dexamethasone(D-VCD) in newly diagnosed al amyloidosis: asian subgroup analysis from andromeda. 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会; 20210529-30; 福島.

半沢雄助, 佐藤康子, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 木村哲, 池添隆之, 風間順一郎. 成熟 T/NK 細胞腫瘍の診断に影響した末梢血塗抹標本の作成方法について. 第 52 回福島医学検査学会; 20210529-30; いわき.

尾張真維, 原田佳代, 深津真彦, 佐藤佑紀, 福地恒一郎, 遠藤麻美子, 高橋裕志, 大河原浩, 木村哲, 尾崎司, 惣宇利正善, 一瀬白帝, 池添隆之. MALT リンパ腫再発診断時に止血困難をきたした後天性フォンヴィレブランド症候群の一例. 第 132 回日本血液学会 東北地方会; 20210612; Web.

橋本万理, 深津真彦, 原田佳代, 佐藤佑紀, 尾張真維, 木村哲, 福地恒一郎, 遠藤麻美子, 高橋裕志, 大河原浩, 大塚幹夫, 池添隆之. 複視の出現で中枢神経浸潤が明らかとなった菌状息肉症腫瘍期の 1 例. 第 132 回日本血液学会 東北地方会; 20210612; Web.

濱崎洋一, 阿久津和子, 齋敏明, 柳沼真維, 深津真彦, 原田佳代, 木村哲, 池添隆之. アザシチジン療法により 20 ヶ月間 EB-2 を維持した後の白血化に対しベネトクラクス投与中の一例. 第 132 回日本血液学会 東北地方会; 20210612; Web.

植田康敬, 細川晃平, 石山謙, 高森弘之, 米村雄士, 小原直, 野地秀義, 安藤潔, 七島勉, 池添隆之, 千葉滋, 二宮治彦, 川口辰哉, 西村純一, 金倉譲, 中尾眞二. 骨髄不全患者における、PNH 型血球割合と PNH 関連の臨床症状を経時的にみる観察研究 (SUPREMACY) —中間解析報告—. 第 57 回日本補体学会学術集会; 20210910-11; 大阪.

遠藤麻美子, 高橋裕志, 福地恒一郎, 佐藤佑紀, 柳沼真維, 森博隆, 原田佳代, 木村哲, 大河原浩, 池添隆之. 出血症状を繰り返し治療に難渋した後天性血友病 A の 1 例. 第 224 回日本内科学会 東北地方会; 20210918; Web.

Kai T, Furukawa M, Shiga T, Kimura H, Mori H, Sano T, Endo M, Ohkawara H, Ikezoe T. Gilteritinib as a bridging therapy to CBT for a patient with extramedullary relapse of FLT3-ITD AML. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

Matsumoto H, Nishimura S, Nakamura K, Nozawa Y, Ikezoe T, Mita M. Minor BCR-ABL positive therapy-related myeloid neoplasm in a patient treated for breast cancer. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

阿左見祐介, 津山尚宏, 阿部悠, 高橋美咲, 工藤健一, 深見美和, 太田明伸, Sivasundaram K, 村松萌, 重村倫成, 笹谷めぐみ, 橋本優子, 佐治重衡, 神谷研二, 花村一朗, 池添隆之, 小野寺雅史, 坂井晃. 正常 B リンパ球由来 iPS 細胞を用いた骨髄腫起源細胞の探索. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

臼杵憲祐, 池添隆之, 石山謙, 神田善伸, 後藤明彦, 松田貴久, 下野明彦, 秋山仁泉, 小原直, 西村純一. 発作性夜間ヘモグロビン尿症患者 (PNH) に対するラブリズマブ特定使用成績調査の中間解析. 第 83 回日本血液

学会学術集会; 20210923-25; Web.

木村哲, 柳沼真維, 深津真彦, 原田佳代, 遠藤麻美子, 森博隆, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 小川一英, 竹石恭知, 橋本優子, 池添隆之. メルファラン・デキサメタゾン療法が著効した心アミロイドーシスの一例. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

原田佳代, 柳沼真維, 深津真彦, 木村哲, 遠藤麻美子, 森博隆, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 山田晋吾, 池添隆之. 造血幹細胞移植後における血栓性疾患への核内タンパク関与の可能性. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

深津真彦, 王新涛, 大河原浩, アルケブシロブナ, 古川未希, 深見美和, 深見伸一, 杉本浩一, 小川一英, 池添隆之. Mer 阻害を標的とした敗血症性 ALI/ARDS 治療: LPS 誘発モデルにおける炎症反応の抑制効果の検討. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

古川瑛次郎, 大西康, 遠宮靖雄, 原崎頼子, 深津真彦, 池添隆之, 亀岡吉弘, 高橋直人, 八田俊介, 勝岡優奈, 濱田宏之, 村井一範, 小宅達郎, 伊藤薫樹, 甲斐龍幸, 助川真純, 中島真治, 柳谷稔, 石澤賢一, 山口公平, 高橋太郎, 張替秀郎. 成人初期前駆 T 細胞性急性リンパ性白血病の臨床的特徴と予後に関する後方視的研究: THF-24. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

前田峻大, 小宅達郎, 久保恒明, 高畑武功, 玉井佳子, 亀岡吉弘, 高橋直人, 宮入泰郎, 村井一範, 下瀬川健二, 吉田こず恵, 菅原健, 猪倉恭子, 福原規子, 張替秀郎, 佐藤諒, 石澤賢一, 田嶋克史, 齊藤宗一, 深津真彦, 池添隆之, 角田三郎, 神林裕行, 三田正行, 森甚一, 古和田周吾, 伊藤薫樹. 再発難治性ホジキンリンパ腫に対する免疫チェックポイント阻害薬治療の後方視的解析: THF26. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

皆川敬治, 佐藤友香, 植田航希, 高橋沙樹, 渡邊万央, 小野智, 川畑絹代, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. Chimerism analysis by novel KMRtype reagent for Japanese allo-HSCT recipients. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

森博隆, 和泉透, 遠藤麻美子, 佐野隆浩, 高橋裕志, 大河原浩, 池添隆之. CSF3R 変異陽性の慢性好中球性白血病から慢性骨髓単球性白血病に移行した 1 例. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

下山彩希, 栗生木美穂, 趙景敏, 右近直之, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之, 趙松吉. ヒト急性骨髄性白血病マウスモデルにおける 211At 標識抗 CD33 抗体の体内動態. 第 61 回日本核医学学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

趙松吉, 栗生木美穂, 趙景敏, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之. 急性骨髄性白血病における 211At 標識 CD82 抗体の治療効果. 第 61 回日本核医学学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

趙松吉, 栗生木美穂, 下山彩希, 趙景敏, 右近直之, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之. ヒト急性骨髄性白血病マウスモデルにおける 211At 標識抗 CD82 抗体の体内動態. 第 61 回日本核医学学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

窪田淳子, 笠原龍一, 神保良平, 大橋友香, 渡邊恭子, 古川未希, 森博隆, 志賀隆, 木村秀夫, 甲斐龍幸. 臍帯血移植に向け外来にて減量運動プログラムを実施した AML の一症例. 第 55 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20211218; 福島.

佐野隆浩, 佐藤佑紀, 尾張真維, 深津真彦, 原田佳代, 木村哲, 池添隆之, 池田和彦. 再発を繰り返す AITL に対して臍帯血移植を実施して寛解を得た 1 例. 第 55 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20211218; 福島.

渡邊万央, 皆川敬治, 小野智, 佐藤友香, 高橋沙樹, 川畑絹代, 植田航希, 安斎紀, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. KMRtype&KMRtrack を用いた移植後キメラリズムモニタリングの検討. 第 55 回福島造血幹細胞移植治療研究会; 20211218; 福島.

〔シンポジウム〕

Ikezoe T. Cancer-stem-cell-targeted radioimmunotherapy for acute myeloid leukemia using 211 At-CD82 monoclonal antibody. International Symposium on Immunometabolism; 20211127; Web.

原田佳代. 造血幹細胞移植後の血液凝固異常と核内蛋白の関連. 第 15 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20210227; Web.

森博隆. COVID-19 患者の播種性血管内凝固の診断と抗凝固療法: スコーピング・レビュー. 第 15 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20210227; Web.

和田英夫, 本田剛一, 河野徳明, 内山俊正, 川杉和夫, 窓岩清治, 竹迫直樹, 鈴木圭, 関義信, 池添隆之, 岡本好司, 射場敏明. 後天性の著明アンチトロンビン低下は、線溶抑制を伴い、DIC の予後を著しく悪くするーリコモジュリン市販後調査成績の解析ー. 第 15 回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム; 20210227; Web.

池添隆之, 森博隆, 原田佳代, 河野徳明, 早川峰司, 関義信, 内山俊正, 山川一馬, 石倉宏恭, 入江悠平, 西尾健治, 矢田憲孝, 真弓俊彦, 岡本好司. 日本血栓止血学会 DIC 診断基準 2017 年版の有用性の評価と新規予後予測マーカーの探索. 日本血栓止血学会・日本救急医学会ジョイントシンポジウム; 20210528; Web.

〔特別講演〕

池添隆之. SOS/VOD に対するデフィブロチドの治療効果と作用機序. SOS/VOD を考える会 in 東海 web セミナー; 20210127; Web.

池添隆之. SOS/VOD 診療の新展開. HSCT Forcus Meeting In KANAGAWA; 20210218; 横浜.

池添隆之. SOS/VOD に対するデフィブロチドの治療効果と作用機序. 九州 HSCT フォーラム; 20210227; Web.

池添隆之. TA-TMA/SOS の診断と治療. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会; 20210305-07; Web.

池添隆之. 日常臨床に潜む PNHー早期診断とフォローアップのコツー. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会; 20210305-07; Web.

深津真彦. Imatinib 長期服用中の腎機能障害の 1 例. Hematology Web Seminar～CML 診療の How to について～; 20210309; Web.

木村哲. イサツキシマブ追加が著効した IMiDs 単独療法による維持困難な多発性骨髄腫の 1 例. FUKUSHIMA Myeloma Web セミナー; 20210413; Web.

池添隆之. がん関連血栓症 (cancer-associated thrombosis:CAT) の病態と予防・治療. Myeloma Total Care Web セミナー; 20210521; Web.

池添隆之. 再発・難治性 ALL におけるベスポンサの役割と AE マネジメント. 静岡 East Pfizer Leukemia Summer Forum; 20210603; Web.

池添隆之. TMA の診断と治療. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京.

池添隆之. PNH 診断と治療の pitfallー抗 C5 抗体治療と感染症予防の注意点ー. 東北 PNH web セミナー PNH 診療の最前線; 20210617; Web.

池添隆之. TMA の診断と治療. 第 39 回日本血液学会北陸地方会 ; 20210710; Web.

池添隆之. 造血細胞移植後に合併する DIC の診断と治療. Thrombomodulin Basic&Clinical Seminar; 20210910; Web.

池添隆之. 血液内科医が遭遇する止血検査コンサルテーションへのアプローチ. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

池添隆之. 急性骨髄性白血病 (AML) 治療成績のさらなる向上を目指して. 第 491 回福島医学会学術研究集会; 20211028; 福島.

池添隆之. がん関連血栓症の病態と予防・治療. BMS AKITA HEMATOLOGY WEB SEMINAR; 20211118; Web.

高橋裕志. 福島医大における血液内科・小児腫瘍内科・整形外科での血友病患者の関節評価の取り組み. 小児血友病 A 学術講演会; 20211125; Web.

消化器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant Chemotherapy Induces IL34 Signaling and Promotes Chemoresistance via Tumor-Associated Macrophage Polarization in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Nakayama N, Uemura H, Uchida Y, Imai Y, Tomiya T, Terai S, Yoshiji H, Genda T, Ido A, Inoue K, Kato N, Sakaida I, Shimizu M, Takikawa Y, Abe M, Abe R, Chayama K, Hasegawa K, Inui A, Kasahara M, Ohira H, Tanaka A, Takikawa H, Mochida S. Nationwide survey for patients with acute-on-chronic liver failure occurring between 2017 and 2019 and diagnosed according to proposed Japanese criteria. *Journal of Gastroenterology*. 202112; 56(12):1092-1106.

Matsubashi T, Hatta W, Hikichi T, Fukuda S, Mikami T, Tatsuta T, Nakamura J, Abe Y, Onozato Y, Ogata Y, Masamune A, Ohyauchi M, Ito H, Hanabata N, Araki Y, Yanagita T, Imamura H, Tsuji T, Sugawara K, Horikawa Y, Ohara S, Kondo Y, Dohmen T, Kakuta Y, Nakamura T, Iijima K. A simple prediction score for in-hospital mortality in patients with nonvariceal upper gastrointestinal bleeding. *Journal of Gastroenterology*. 202108; 56(8):758-768.

Hayashi S, Takenaka M, Kogure H, Yakushijin T, Maruyama H, Hori Y, Yoshio T, Ikezawa K, Takagi T, Asai S, Matsunaga K, Matsumoto K, Tsumura H, Yamaguchi S, Sumiyoshi T, Nagaike K, Tamaru Y, Hara K, Fujisawa T, Oda I, Ohnita K, Kato M, Nebiki H, Mikami T, Nishihara A, Egawa S, Minami R, Hosono M, Nishida T. A questionnaire survey on radiation protection among 282 medical staff from 26 endoscopy-fluoroscopy departments in Japan. *DEN Open*. 202104; 1(1):e5.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 202102; 100(6):e24177.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Takahashi A, Ohira H, Abe K, Zeniya M, Abe M, Arinaga-Hino T, Torimura T, Yoshizawa K, Takaki A, Kang JH, Suzuki Y, Nakamoto N, Inui A, Tanaka A, Takikawa H. Differences in autoimmune hepatitis based on inflammation localization. *Medical Molecular Morphology*. 202103; 54(1):8-13.

Takahashi A, Anzai Y, Tanji N, Imaizumi H, Fujita M, Hayashi M, Abe K, Ohira H. Association of equol with obesity in postmenopausal women. *Menopause*. 202103; 28(7):807-810.

Saito H, Tanabe H, Kudo A, Machii N, Higa M, Yamaguchi S, Maimaituxun G, Abe K, Takahashi A, Tanaka K, Asahi K, Masuzaki H, Ohira H, Kazama JJ, Shimabukuro M. High FIB₄ index is an independent risk factor of diabetic kidney disease in type 2 diabetes. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):11753.

Abe K, Fujita M, Hayashi M, Takahashi A, Ohira H, Mikhail N, Soliman R, Shiha G. Multicentre external validation of the GES score for predicting HCC risk in Japanese HCV patients who achieved SVR following DAAs. *Liver Cancer International*. 202111; 2(3):102-109.

Abe K, Fujita M, Hayashi M, Takahashi A, Ohira H. The Efficacy of Levocarnitine Treatment in Relieving Fatigue in Patients with Cirrhosis but without Overt Hepatic Encephalopathy. *Internal Medicine*. 202100; 60(22):3533-3542.

Suzuki R, Ishii S, Watanabe H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Hikichi T, Ito H, Ohira H. Splenic volume as a prognostic indicator for unresectable pancreatic cancer. *World Academy of Sciences Journal*. 202101; 3(1):9.

Minamidate A, Onizawa M, Saito C, Hikichi R, Mochimaru T, Murakami M, Sakuma C, Asakawa T, Hiraoka Y, Oshima S, Nagaishi T, Tsuchiya K, Ohira H, Okamoto R, Watanabe M. A potent endocytosis inhibitor Ikarugamycin up-regulates TNF production. *Biochemistry and Biophysics Reports*. 202107; 27:101065.

Asakawa T, Onizawa M, Saito C, Hikichi R, Yamada D, Minamidate A, Mochimaru T, Asahara SI, Kido Y, Oshima S, Nagaishi T, Tsuchiya K, Ohira H, Okamoto R, Watanabe M. Oral administration of D-serine prevents the onset and progression of colitis in mice. *Journal of Gastroenterology*. 202108; 56(8):732-745.

Gunji N, Katakura K, Abe K, Kawashima K, Fujiwara T, Onizawa M, Takahashi A, Ohira H. Upregulation of complement C1q reflects mucosal regeneration in a mouse model of colitis. *Medical Molecular Morphology*. 202106; 54(2):87-94.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Mirogabalin vs pregabalin for chemotherapy-induced peripheral neuropathy in pancreatic cancer patients. *BMC Cancer*. 202112; 21(1):1319.

Sugimoto M, Abe K, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Dysbiosis of the duodenal microbiota as a diagnostic marker for pancreaticobiliary cancer. *World Journal of Gastrointestinal Oncology*. 202112; 13(12):2088-2100.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Hashimoto M, Kato T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Kikuchi H, Waragai Y, Kobayakawa M, Yamasaki M, Ohira H. Efficacy of sodium carboxymethylcellulose compared to sodium hyaluronate as submucosal injectant for gastric endoscopic submucosal dissection: a randomized controlled trial. *Digestion*. 2021; 102(5):753-759.

Nakamura J, Hikichi T, Hashimoto M, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Efficacy and safety of peroral endoscopic myotomy for esophageal achalasia and achalasia-related diseases in patients aged 75 years and over. *Healthcare*. 202112; 9(12):1668.

Kikuchi H, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Obara K, Ohira H. Effectiveness of L-Menthol Spray Application on Lesions for the Endoscopic Clarification of Early Gastric Cancer: Evaluation by the Color Difference. *Digestion*. 2021; 102(2):274-282.

Konno N, Suzuki R, Takagi T, Sugimoto M, Asama H, Sato Y, Irie H, Hikichi T, Ohira H. Clinical utility of a newly developed microfluidic device for detecting circulating tumor cells in the blood of patients with pancreatico-biliary malignancies. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 202101; 28(1):115-124.

Fukushima T, Morimoto M, Kobayashi S, Ueno M, Sano Y, Kawano K, Asama H, Nagashima S, Maeda S. Repeated transarterial chemoembolization with epirubicin-loaded superabsorbent polymer microspheres vs. conventional transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma. *Molecular and Clinical Oncology*. 202106; 14(6):119.

Kobayashi S, Ueno M, Nagashima S, Sano Y, Kawano K, Fukushima T, Asama H, Tezuka S, Morimoto M. Association between time to stent dysfunction and the anti-tumour effect of systemic chemotherapy following stent placement in patients with pancreaticobiliary cancers and malignant gastric outlet obstruction: a retrospective cohort study. *BMC Cancer*. 202105; 21(1):576.

Kawashima K, Abe S, Koga M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Hikichi T, Ohira H, Saito Y. Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection versus endoscopic submucosal dissection according to lesion size. *Diseases of the Esophagus*. 202105; 34(5):doaa096.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kikuchi H, Waragai Y, Watanabe K, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Hayashi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. A Pilot Randomized Crossover Trial of Wet Suction and Conventional Techniques of Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration for Upper Gastrointestinal Subepithelial Lesions. *Gastroenterology Research and Practice*. 202103; 2021:4913107.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Usefulness of a Fork-Tip Needle in Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Biopsy for Gastric Subepithelial Lesions. *Diagnostics*. 202110; 11(10):1883.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. Usefulness of Endoscopic Ultrasound with the Jelly-Filling Method for Esophageal Varices. *Diagnostics*. 202109; 11(9):1726.

Hashimoto M, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Takasumi M, Kato T, Suzuki R, Sugimoto M, Irie H, Takagi T, Ohira H. Clinical Characteristics of Intramucosal Gastric Cancers with Lymphovascular Invasion Resected by Endoscopic Submucosal Dissection. *Digestion*. 2021; 102(4):546-553.

Hashimoto M, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Hoteya S, Doyama H, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Fujishiro M, Masamune A, Ohira H. Rebleeding in patients with delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer. *Digestive Endoscopy*. 202111; 33(7):1120-1130.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 林芳和, 愛澤正人, 歌野健一, 竹澤敬人, 相良裕一, 朱欣, 澁川悟朗, 山本博徳, 富樫一智. AIは何をみて大腸pT1bを診断しているか? Class Activation Mapping からみた検討. *Gastroenterological Endoscopy*. 202106; 63(6):1232-1240.

〔総説等〕

大平弘正, 阿部和道, 高橋敦史. 【肝・胆道系症候群 (第3版) —その他の肝・胆道系疾患を含めて—肝臓編 (上)】自己免疫性肝炎. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 202101; No.13:151-154.

永田浩一, 松岡正樹, 遠藤俊吾, 大平弘正. 特集 大腸癌のスクリーニングとサーベイランスの標準化に向けて—新しい知見から I. スクリーニング (8) 大腸癌スクリーニングにおける大腸 CT 検査の役割. *Intestine*. 202105; 25(1):84-88.

永田浩一, 木島茂喜, 馬嶋健一郎, 遠藤俊吾, 松岡正樹, 大平弘正. 大腸スクリーニングにおける大腸 CT 検査の現状と将来展望. *臨床消化器内科*. 202107; 36(8):167-172.

引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 大久保義徳, 小橋亮一郎, 高住美香, 川島一公, 高木忠之. 消化器内視鏡検査・治療実施の適応と受診前後の管理. *消化器ナーシング*. 202108; 26(8):710-717.

引地拓人, 加藤恒孝, 高住美香. 早期胃癌の境界がわかりにくく, 同定しにくい場合には1-メントールを腫瘍自体にまくとよい! *消化器内視鏡*. 202102; 33(2):230-233.

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 【肝・胆道系症候群 (第3版) —その他の肝・胆道系疾患を含めて—肝臓編 (上)】感染症 肝寄生虫症 肝住血吸虫症. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 202101; No.13:59-62.

高橋敦史, 阿部和道, 大平弘正. 【小児期発症慢性肝疾患における移行期医療の現状と課題—小児と成人のダイアログ—】自己免疫性肝炎 小児期にステロイド導入例の transition での対応. *肝胆膵*. 202103; 82(3):357-361.

阿部和道, 大平弘正. 【いまさら聞けない! 肝胆膵疾患—みなさんのギモンに答えます】肝機能異常をみたら薬物性肝障害の対処. *Medicina*. 202103; 58(3):402-408.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 小橋亮一郎, 高住美香, 高木忠之, 小原勝敏, 大平弘正. 【緊急内視鏡の今】上部消化管領域の緊急内視鏡 食道・胃静脈瘤出血に対する内視鏡治療. *消化器内視鏡*. 202104; 33(4):702-707.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 入江大樹, 小橋亮一郎, 橋本陽. 食道・胃噴門部静脈瘤に対する内視鏡治療. *臨床消化器内科*. 202110; 36(12):1495-1503.

〔症例報告〕

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. The Dramatic Haemostatic Effect of Covered Self-expandable Metallic Stents for Duodenal and Biliary Bleeding. *Internal Medicine*. 202103; 60(6):883-889.

Hayashi M, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Muto M, Ishigame T, Okada R, Marubashi S, Ohira H. Intratumor Abscess in a Posttraumatic Hepatic Inflammatory Pseudotumor Spreading Out of the Liver. *Internal Medicine*. 202101; 60(2):235-240.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Takahashi A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Ohira H. Pazopanib-induced mixed liver injury in a patient with soft-tissue sarcoma, but without the UGT1A1*28 mutation: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202102; 14(1):224-228.

Hayashi M, Wada J, Fujita M, Asano T, Matsuoka N, Fujita Y, Temmoku J, Matsumoto H, Yashio-Furuya M, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Ryoichiro K, Waragai Y, Suzuki E, Kiko Y, Abe K, Takahashi A, Masuda T, Hashimoto Y, Migita K, Ohira H. TAFRO syndrome complicated by porto-sinusoidal vascular liver disease with portal hypertension: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202112; 14(6):1711-1717.

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Ohira H. Endoscopic Images before the Onset of Cronkhite-Canada Syndrome. *Internal Medicine*. 202112; 60(24):3999-4000.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Okubo Y, Satake S, Oka Y, Yamada S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Two cases of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation resected by endoscopic submucosal dissection. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202106; 14(3):736-744.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Hanayama H, Saze Z, Kobayakawa M, Kono K, Ohira H. Gastric carcinoma with lymphoid stroma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202104; 14(2):471-477.

Ishizaki Y, Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Spontaneous disappearance of common bile duct stones following the insertion of a new dumbbell-shaped, covered self-expandable metallic stent in a patient with benign biliary stricture. *Clinical Case Reports*. 202105; 9(5):e04093.

Shimizu H, Sato S, Suzuki T, Sasajima T, Takahata Y, Shinohara N, Hideshima K, Yokokawa Y, Matsuhashi N, Ichii O, Tai M, Ejiri Y, Yano K, Ikezoe T, Ohira H, Migita K. Intestinal Behçet's disease complicated by myelodysplastic syndrome and secondary pulmonary alveolar proteinosis: a case report. *BMC Gastroenterology*. 202112; 21(1):488.

Noguchi Y, Sugimoto M, Kiko Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Hikichi T, Ohira H. Hilar Malignant Biliary Obstruction Treated with Four Metallic Stents Involving a New Slim Device. *Internal Medicine*. 202106; 60(12):1871-1876.

Hashimoto C, Hikichi T, Hashimoto M, Waragai Y, Takasumi M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Satake S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Localized gastric amyloidosis diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202108; 14(4):1036-1041.

著 書・訳 書

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 中島淳 編集. 最新ガイドラインに基づく消化器疾患診療指針. 東京: 総合医学社. 202104. p.225-231.

大平弘正. 自己免疫性肝炎. In: 小池和彦, 山本博徳, 瀬戸泰之 編集. 消化器疾患最新の治療 2021-2022. 東京: 南江堂. 202102. p.260-262.

大平弘正. 原発性胆汁性胆管炎. In: 下瀬川徹, 渡辺守 監修. 専門医のための消化器病学 第3版. 東京: 医学書院. 202111. p.417-422.

引地拓人, 高木忠之, 小原勝敏. 孤立性胃静脈瘤治療の実際 II. 待期・予防例への対応 1. 内視鏡的組織接着剤注入法を中心とした治療法. In: 入澤篤志, 於保和彦, 中村真一 編集. 食道・胃静脈瘤 改訂第4版. 東京: 日本メディカルセンター. 202106. p.243-252.

引地拓人, 高木忠之, 小原勝敏. 孤立性胃静脈瘤治療の実際 待期・予防例への対応 III. 難治性胃静脈瘤に対する治療法 1. 内視鏡治療困難例に対する対処法—腎静脈系短絡路閉塞下硬化療法 (SO-EIS) . In: 入澤篤志, 於保和彦, 中村真一 編集. 食道・胃静脈瘤 改訂第4版. 東京: 日本メディカルセンター. 202106. p.272-277.

研究発表等

〔研究発表〕

Hayashi M, Fujita M, Furukawa S, Soeda S, Abe K, Takahashi A, Fujimori K, Ohira H. A case of ovarian cancer with complete response to chemotherapy and radiofrequency ablation for liver metastasis. 7th Asian Conference on Tumor Ablation; 20211015-17; Tokyo.

Nakajima Y, Guo Z, Nemoto D, Peng B, Zhang R, Zhu X, Aizawa M, Utano K, Yamashina T, Hayashi Y, G Hewett D, Togashi K. COMPUTER-AIDED DIAGNOSIS FOR COLORECTAL SERRATED LESIONS USING NON-MAGNIFIED WHITE LIGHT ENDOSCOPIC IMAGES. Digestive Disease Week 2022; 20210522-25; San Diego, USA. Gastrointestinal Endoscopy. 93(6 Supplement):AB206.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 引地拓人, 大平弘正. 超音波気管支ファイバービデオスコープ (EBUS) を用いた経消化管的 EUS-FNA の有用性. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210516; 広島/Web. 日本消化器内視鏡学会誌. 63(Suppl.1):982.

高木忠之, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 高住美香, 入江大樹, 小橋亮一郎, 二階堂雄文, 大平弘正. IgG4 関連疾患に合併した胃静脈瘤の 1 例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):125.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 紺野直紀, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 胃空腸バイパス術後症例における ERCP の検討. 第 57 回日本胆道学会総会; 20211007-08; 東京/Web. 胆道. 35(3):425.

高木忠之, 入江大樹, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. 選択的な EUS-FNA が診断に寄与した膵頭部腫瘍の 1 例. 第 225 回日本内科学会東北地方会; 20220219; Web. 第 225 回東北地方会. 34(1):40.

高橋敦史, 田中篤, 大平弘正. 全国調査からみた薬物と自己免疫性肝炎. 第 25 回日本肝臓学会大会 (JDDW2021) ; 20211104-07; 神戸/Web. 肝臓. 62(Suppl.2):A512.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 自己免疫性肝炎における血中エクソソームの網羅的 miRNA 解析の検討. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A207.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 自己免疫性肝炎における血清 25-ヒドロキシビタミン D 濃度と病態との関連. 第 57 回日本肝臓学会総会; 20210617-18; 札幌/Web. 肝臓. 62(Suppl.1):A210.

阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. GES score を用いた C 型肝炎患者に対する DAA 治療 SVR 後の肝発癌リスク予測の検討. 第 25 回日本肝臓学会大会 (JDDW2021) ; 20211104-07; 神戸/Web. 肝臓. 62(Suppl.2):A545.

郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 大平弘正. 当院での irAE 腸炎の対策について. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 大平弘正. 高齢発症のステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎 (UC) に対しインフリキシマブが著効したと考えられた一例. 第 32 回日本老年医学会東北地方会; 20211030; Web.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 後期高齢者の食道アカラシアおよび類縁疾患に対する経口内視鏡的筋層切開術の安全性と有用性. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会 (GI week 2021) ; 20210219; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):281.

中村純, 引地拓人, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 大平弘正. 福島市胃がん内視鏡検診の発見胃癌からみた問題点と精度管理の必要性. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210304; 大阪. 日本胃癌学会総会記事. 93 回:271.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 入江大樹, 小橋亮一郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 大久保義徳, 大平弘正, 小原勝敏. 食道・胃静脈瘤に対する EIS 習得のステップ. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210917; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):115.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 入江大樹, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 胃静脈瘤に対する NBCE/EO 法の有用性と安全性. JDDW2021; 20211105; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 63 巻(Suppl.2):2068.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 75 歳以上の食道アカラシアおよびアカラシア類縁疾患患者に対する経口内視鏡的筋層切開術の有用性と安全性. JDDW2021; 20211104; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 63 巻(Suppl.2):2016.

紺野直紀, 鈴木玲, 杉本充, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵癌診断における新規マイクロ流体デバイスを用いた血中循環腫瘍細胞検出の有用性の検証. 第 118 回日本内科学会総会; 20210409-11; 東京. 日本内科学会誌. 110(Suppl.):155.

林学, 藤田将史, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 自己免疫性肝炎の病態と血中補体 Factor H の関連. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A342.

浅間宏之，鈴木玲，高木忠之，杉本充，紺野直紀，佐藤雄紀，入江大樹，大久保義徳，中村純，高住美香，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，引地拓人，大平弘正. 当院における切除不能膵癌に対するがんゲノム医療の現状. 第52回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web. 膵臓 36(3):A284.

浅間宏之. 当院における慢性便秘症治療. 慢性便秘症を考える会; 20210623; 福島.

佐藤智基，浅間宏之，菅野有紀子，児玉健太，紺野直紀，大平怜，遠藤豪一，田崎和洋，黒田聖仁. 腸閉塞を契機に診断された回腸癌の1例. 日本消化器病学会東北支部第211回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 211回:32.

小笠原啓，川島一公，小林玲子，村上舞，佐久間千陽，郡司直彦，鬼澤道夫，大平弘正. PR3-ANCA陽性の高齢発症潰瘍性大腸炎の1例. 日本内科学会第224回東北地方会; 20210918; Web.

高住美香，引地拓人，中村純，橋本陽，加藤恒孝，小橋亮一郎，佐竹隼輔，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大久保義徳，大平弘正. 胃粘膜下病変に対する新しいFNB針と直視コンベックス型超音波内視鏡を用いたEUS-FNA. 第101回日本消化器内視鏡学会総会; 20210515; 広島/Web.

高住美香，引地拓人，橋本陽. 食道粘膜下病変に対するEUS-FNA. 第166回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

高住美香，引地拓人，橋本陽，中村純，加藤恒孝，小橋亮一郎，高木忠之，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，入江大樹，大久保義徳，大平弘正. 大腸粘膜下病変や大腸壁外病変に対するEUS-FNAの有用性. JDDW2021; 20211104; 神戸.

佐藤雄紀，鈴木玲，高木忠之，杉本充，入江大樹，大久保義徳，引地拓人，中村純，高住美香，加藤恒孝，橋本陽，小橋亮一郎，大平弘正. Circulating extracellular vesicle-encapsulated microRNA as screening biomarkers for intraductal papillary mucinous neoplasm (血中細胞外小胞 microRNA による膵管内乳頭状粘液性腫瘍の良悪性診断法の開発). JDDW2021; 20211105; 神戸. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増大会):A737.

藤田将史，阿部和道，林学，高橋敦史，大平弘正. レンパチニブで加療された肝細胞癌患者における骨格筋量低下と予後の関連性についての検討. 消化器病学会東北支部第210回例会; 20210206; Web. プログラム・抄録集. 55.

藤田将史，林学，阿部和道，高橋敦史，大平弘正. 当院におけるirAE肝障害への対応と重症例についての検討. 日本消化器病学会東北支部第211回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 44.

藤田将史，阿部和道，大平弘正，及川隆喜，二宮匡史，奥本和夫，佐藤亘，遠藤哲，田邊暢一，滝川康裕，上野義之. 骨格筋量の推移からみたレンパチニブ治療と生命予後の検討～東北地方多施設共同検討～. 第29回日本消化器関連学会週間; 20211104; 神戸/Web. 肝臓 62 卷(Suppl.2):A555.

橋本陽，引地拓人，中村純，高住美香，加藤恒孝，鈴木玲，杉本充，佐藤雄紀，小橋亮一郎，高木忠之，大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対するLECSの現状. 第93回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 日本胃癌学会総会記事. 93回:303.

橋本陽, 引地拓人, 大平弘正, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 高木忠之. 十二指腸表在型腫瘍に対する UEMR の現状. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):881.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 食道・胃静脈瘤の治療歴のない十二指腸静脈瘤出血の一例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 202108; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):152.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 食道 ESD 時に判明した限局的筋層欠損. JDDW2021; 20211105; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2050.

中島勇貴, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 松井田元, 五十畑則之, 高畑陽介, 遠藤俊吾, 富樫一智. 潰瘍性大腸炎の経過中に癌が発生した 5 症例の検討. 第 94 回大腸癌研究会; 20210121-22; 東京.

中島勇貴, 根本大樹, 添田暢俊. 術中穿孔なく一括切除しえた表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の経験 当院での工夫. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210702-03; Web.

中島勇貴, 歌野健一, 根本大樹, 愛澤正人, 富樫一智. 大腸 CT 検査における工夫: 下剤の減量、バリウムによる fecal tagging、線量の低減. 第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; 東京/Web.

中島勇貴, 根本大樹, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 佐久間芽衣, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. クリニカルパス逸脱予測因子の検討 日帰り大腸 ESD は可能性か? 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112-13; 広島/Web.

入江大樹, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. 当院における nanoliposomal irinotecan + 5-FU/LV 併用療法の使用経験. 第 52 回日本脾臓学会大会; 20210923; 東京/Web. 脾臓. 36(3):A344.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 術後胆汁漏れに対する内視鏡的経乳頭胆道ドレナージ術の治療成績. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW2021); 20211104; 神戸. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増大会).

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 大平弘正. 上部消化管出血に対する内視鏡的止血術の変化. 第 165 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210205; Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 高住美香, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 佐藤雄紀, 鈴木玲, 杉本充, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 抗血栓薬服用中の食道静脈瘤症例に対する内視鏡的硬化療法の周術期管理の現状. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会 (GI week 2021); 20210219-21; Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 表在型十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍に対する Underwater EMR の有用性と課題. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会 (GI week2021); 20210219-21; Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大

久保義徳, 大平弘正. 抗凝固薬服用者における PGA シートと自己フィブリン糊貼付による胃癌 ESD 後出血予防策. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 抗凝固薬服用者における PGA シートと自己フィブリン糊貼付による胃 ESD 後出血予防策. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 大平弘正. 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」発表前後における胃 ESD の周術期管理の検証. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 大平弘正. コロナ禍における消化器内視鏡診療～COVID-19 患者に対する緊急内視鏡の経験を含めて～. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 高住美香, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS の要点と課題. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web.

高畑陽介, 根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 根本鉄太郎, 松井田元, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸 ESD におけるクリニカルパス逸脱例の検討(在院日数の短縮は可能か?). 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web.

柳田拓実, 藁谷雄一, 清水広, 橋本長一朗, 熊川宏美. 悪性遠位胆管閉塞に対する self-expandable metallic stent を用いたドレナージに関する検討. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. プログラム・抄録集. 50.

柳田拓実, 藁谷雄一, 高橋裕太, 阿部直人, 清水広, 橋本長一朗, 八巻英郎, 高山純, 三浦佑一, 熊川宏美. 発熱を契機に発見された小腸平滑筋腫の 1 例. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. プログラム・抄録集. 289.

柳田拓実, 藁谷雄一, 高橋裕太, 阿部直人, 清水広, 橋本長一朗, 熊川宏美. 総胆管結石治療における結石 CT 値に関する検討. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A407.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. ESD を施行された 49 歳以下の胃癌症例の検討. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. プログラム・抄録集. 68.

柳田実, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 大腸静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後に菌血症を来した肝外門脈大循環短絡症の 1 例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. プログラム・抄録集. 140.

柳田拓実, 藁谷雄一, 高橋裕太, 清水広, 橋本長一朗, 熊川宏美. 悪性遠位胆管閉塞に対する self-expandable metallic stent の逸脱に関する検討. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸. Gastroenterological

Endoscopy. 63(Suppl.2):2078.

佐久間千陽, 引地拓人, 中村純, 浅間宏之, 児玉健太, 菅野有紀子, 黒田聖仁, 田崎和洋, 大平弘正. ピロリ感染を背景とした幽門腺腫由来胃癌の1例. 日本消化器病学会東北支部第211回例会; 20210702; Web. 抄録集. 67.

佐久間千陽, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木玲, 中村純, 杉本充, 高住美香, 佐藤雄紀, 橋本陽, 加藤恒孝, 入江大樹, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 大平弘正. 食道静脈瘤の術前評価における内視鏡用視野確保ゲルを用いたEUSの実際. 第28回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. プログラム・抄録集. 120.

佐竹隼輔, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. ESDを施行されたpT1a-MM食道扁平上皮癌. 第101回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web.

佐竹隼輔, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対する光線力学療法. 第102回日本消化器内視鏡学会総会 (JDDW 2021); 20211105; 神戸.

持丸友昭, 引地拓人, 高住美香, 橋本陽, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 上部消化管粘膜下病変のEUS-FNAにおける穿刺針内生理食塩液充滿法と従来法のランダム化クロスオーバー試験. 第17回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):217.

持丸友昭, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤治療後あるいは同時合併の表在食道癌に対するESD. 第101回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):873.

持丸友昭, 林学, 藤田将史, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. レンバチニブ治療中に黄疸とびまん性浸潤型増悪を呈した肝細胞癌の1例. 日本消化器病学会東北支部第211回例会; 20210702; Web.

石崎優斗, 郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 引地拓人, 大平弘正. 高安静脈炎 (TA) 合併クローン病 (CD) の治療中に胎児性横紋筋肉腫を発症した難治性CDの一例. 日本消化器病学会東北支部第210回例会; 20210206; Web. プログラム・抄録集. 38.

石崎優斗, 川島一公, 鬼澤道夫, 郡司直彦, 大平弘正. 遺伝子解析により感染経路が推定された大腸鞭虫症の1例. 第165回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210205; Web. プログラム・抄録集. 60.

石崎優斗, 川島一公, 鬼澤道夫, 郡司直彦, 大平弘正. 遺伝子解析により感染経路が推定された大腸鞭虫症の1例. 第101回日本消化器内視鏡学会総会; 20210515; 広島/Web. プログラム・抄録集. 589.

大塚充, 渡辺晃, 藤原達雄, 菊田佳子, 大澤賢人, 大友駆, 石幡良一. 早期胃癌様の形態を呈しESDを施行した乳癌胃転移の1例. 第165回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210205; Web.

大塚充, 佐藤雄紀, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 大久保義徳, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋

本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 急性膵炎後の Walled-off necrosis に対して Lumen apposing metal stent を用いて効果的に内視鏡的ネクロセクトミーを施行した一例. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

木村友哉, 根本大樹, 和田淳, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 澁川悟朗. GAVE 出血と H.pylori 既感染のため診断に苦慮した自己免疫性胃炎に伴う悪性貧血の一例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

佐藤賢太郎, 今村秀道, 橋本健明, 間浩正, 綿引優, 鈴木宏幸, 佐竹隼輔, 藁谷雄一, 熊川宏美, 迎慎二. 慢性リンパ性白血病に対する化学療法 13 年後に HBV 再活性化による急性肝炎を発症した悪性リンパ腫の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

清水広, 藁谷雄一, 高橋裕太, 佐藤匡記, 柳田拓実, 橋本長一郎, 阿部直人, 熊川宏美. 高齢者に対する胃 ESD の安全性と Charlson Risk Index の検討. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 日本胃癌学会総会記事. 93 回:313.

清水広, 藁谷雄一, 高橋裕太, 佐藤匡記, 柳田拓実, 橋本長一郎, 熊川宏美. 高齢者に対する胃 ESD の安全性と Charlson Risk Index の後方視的検討. 第 101 回消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):967.

清水広, 藁谷雄一, 高橋裕太, 佐藤匡記, 柳田拓実, 橋本長一郎, 熊川宏美. 高齢者に対する胃 ESD の安全性と Charlson Comorbidity Index の後方視的検討. 第 29 回日本消化器関連学会週間; 20211104; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2056.

清水広, 藁谷雄一, 高橋裕太, 佐藤匡記, 柳田拓実, 橋本長一郎, 熊川宏美. 虚血性腸炎で発症した腸間膜悪性リンパ腫の一例. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. プログラム・抄録集. 43.

清水広, 藁谷雄一, 柳田拓実, 阿部直人, 橋本長一郎, 三浦佑一, 高山純, 八巻英郎, 郡司直彦, 引地拓人, 熊川宏美. 直腸の腸管子宮内膜症由来の漿液性癌と大細胞型神経内分泌癌の混合癌の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 41.

竹田悠太郎, 石野敦, 八島玲, 牛尾純, 大平弘正. 左右肝管に狭窄を呈し、Spy Glass DS を用いて右後区域枝の肝内胆管癌と診断し、治癒切除に至った 1 例. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

竹田悠太郎, 石野敦, 亀岡英介, 鈴木友里子, 八島玲, 牛尾純, 大平弘正. 小腸遠隔転移による腸閉塞をきたした心臓原発未分化多形肉腫の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

竹田悠太郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌術後の挙上空腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の有用性の検討. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web.

竹田悠太郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵外科術後の挙上空腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の有用性の検討. 第 29 回日本消化器関連学会週間; 20211104-07; 神戸/Web.

村上舞, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 残胃癌に対する ESD. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 日本胃癌学会総会記事. 93 回:314.

村上舞, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 残胃癌に対する ESD. 第 101 回消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):937.

村上舞, 林学, 藤田将史, 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正. 出血の機序を考察し得た脾癌による転移性肝腫瘍破裂の一部検例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 72.

大友駆, 藤原達雄, 石幡良一, 渡辺晃, 菊田佳子, 大澤賢人, 夏谷華帆. 腹部超音波検査で診断した結腸腫瘍による腸重積症の一例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 63.

大平怜, 菅野有紀子, 木村友哉, 小嶋裕紀, 佐久間千陽, 浅間宏之, 児玉健太, 黒田聖仁, 角田圭一, 青砥慶太, 大須賀文彦, 遠藤豪一. 診断に難渋した右傍十二指腸ヘルニアを伴う成人腸回転異常症の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. プログラム・抄録集. 35.

大平怜, 浅間宏之, 菅野有紀子, 児玉健太, 紺野直紀, 田崎和洋, 黒田聖仁. 急速な経過で死亡に至った肉腫様変化を伴う肝内胆管癌の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 72.

鈴木宏幸, 藁谷雄一, 佐竹隼輔, 佐藤賢太郎, 渡邊一男, 熊川宏美. 胃 ESD 前の精査で発見した食道原発 MALT リンパ腫の一例. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

【特別講演】

大平弘正. 肝硬変合併症の対応. 日本内科学会東北地方会第 76 回生涯教育講演会; 20210220; 仙台.

大平弘正. 肝硬変合併症の対応. 肝臓学術講演会; 20210423; Web.

大平弘正. 自己免疫性肝炎の話題—周辺疾患も含めて. 第 3 回 KOBE Liver Conference; 20210626; Web(神戸).

大平弘正. 免疫チェックポイント阻害薬による肝障害. 第 3 回 irAE を考える会 in 福島; 20211027; Web(福島).

大平弘正. 地域で目指すウイルス肝炎撲滅—眼科医のための B 型・C 型肝炎. 福島県眼科医会講演会; 20211110; Web(福島).

大平弘正. 自己免疫性肝炎診療のアップデート. 兵庫県肝疾患医療従事者研修会; 20210313; Web.

大平弘正. 原発性胆汁性胆管炎の理解のために. 令和 3 年度難病医療相談会・交流会; 20210928; Web.

大平弘正. AIH・PBC の最近の話題. 日本肝臓学会後期教育講演会; 20211210; 岡山.

高木忠之. 慢性膵炎ガイドライン改訂に関して (切除不能膵癌患者における膵外分泌機能不全についてを含む) .
リパクレオンフォーラム福島 膵疾患診療最前線; 20210622; Web(福島).

高木忠之. 膵癌早期発見のために～リスク因子と診断法～. 第 59 回日本消化器がん検診学会東北支部例会 第 19
回超音波研修委員会研修会; 20210703; Web(福島).

高木忠之. ERCP 時の介助のコツ. 第 36 回福島県消化器内視鏡技師研究会; 20210821; Web(福島).

高木忠之, 竹田悠太郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝,
小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵外科術後の挙上空腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の有用性の検
討. 第 34 回東北膵・胆道癌研究会; 20211128; 仙台/Web.

高橋敦史. NAFLD/NASH 診療ガイドライン Up to Date. 大日本住友製薬ガイドライン改訂ポイント講演会;
20210120; Web.

高橋敦史. 更年期女性の肥満と腸内細菌. 第 2 回福島県腸内細菌学術講演会; 20210525; Web.

高橋敦史. C 型慢性肝炎治療の取り組み. アッヴィ社内研修会; 20210607; 郡山.

高橋敦史. 非アルコール性脂肪性肝疾患における糖尿病治療. KOWA Web Conference; 20210716; Web.

高橋敦史. NAFLD/NASH 診療ガイドライン改訂のポイント. 肝がん撲滅運動医療講演会・肝炎医療コーディネー
タ養成研修会; 20210911; 郡山.

高橋敦史. 肝炎医療コーディネーターが知っておくべき肝疾患診療のポイント. 令和 3 年度福島県肝炎医療コーデ
ィネータースキルアップ研修会; 20211016; 郡山.

高橋敦史. 肝疾患拠点病院としての活動実績と課題. 令和 3 年度肝炎対策ブロック会議; 20211025; 仙台.

高橋敦史. 閉経後女性の脂肪肝と腸内細菌. ビオフェルミン製薬 腸内細菌を考える会 in 宮城; 20211216; 仙台.

阿部和道. With コロナ時代の NAFLD/AIH 診療に関する現状と最新トピックス～逆流性食道炎の話題も含めて
～. 第 10 回 Next Expert Gastroenterologist Meeting in Koriyama; 20210219; Web.

阿部和道. 肝細胞癌の新規薬物治療. 福島県肝疾患 Web セミナー; 20210123; Web.

阿部和道. irAE 肝障害. 第 3 回 irAE を考える会 in 福島; 20211027; 福島.

阿部和道. 当科における高アンモニア血症/肝性脳症に対するリファキシミン使用の現状. 福島県リフキシマ Web
講演会; 20210802; Web.

阿部和道. C 型肝炎の知識と開業医へ伝えるメッセージ. バイタルネット MS 向け勉強会; 20211008; Web.

阿部和道. B型肝炎・C型肝炎治療の現状. 肝がん撲滅運動医療講演会・肝炎コーディネータ養成研修会; 20210911; 郡山.

阿部和道. 当科におけるテセントリク・アバスチンの現状. 中外製薬社外講師勉強会; 20211116; Web.

阿部和道. SVR後の肝発癌リスク層別化とサーベイランス法について. All 東北肝細胞癌eセミナー; 20210628; Web.

阿部和道. カルニチンと筋症状/疲労. 肝硬変診療若手勉強会 Web Seminar; 20210319; Web.

阿部和道. 肝細胞癌に対する薬物療法の進歩. 福島県病院薬剤師福島支部・福島薬剤師会; 20210520; Web.

阿部和道. 肝と薬物代謝. School of Hepatology 2021 in Aichi; 20211023; Web.

阿部和道. 免疫関連有害事象 (irAE) の肝障害検査項目 IgG 追加に関して. 3th FICER by ACiST; 20210322; Web.

郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 大平弘正. 潰瘍性大腸炎における治療選択. 福島 IBD ウェブセミナー in 福島; 20210128; Web.

郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 佐久間千陽, 村上舞, 小林玲子, 大平弘正. PR3-ANCA が陽性であった高齢発症潰瘍性大腸炎の一例. 3rd Interactive Meeting in Fukushima; 20210521; 福島.

郡司直彦. 潰瘍性大腸炎の治療戦略ーこれまでの10年、これからの10年. IBD Expert Seminar on Fukushima; 20210708; 福島.

杉本充. 膝癌における化学療法と末梢神経性疼痛のマネジメント. 県北肝代謝疾患研究会; 20210216; 福島.

杉本充. EST後出血に難渋した一例. 福島胆膵治療セミナー; 20210928; Web.

林学. 慢性肝疾患・肝細胞癌における合併症を考える. 慢性肝疾患患者におけるサルコペニアと骨粗鬆症の関連について; 20210705; 福島.

林学. 肝細胞癌の化学療法の進歩. 肝がん撲滅運動医療講演会・肝炎医療コーディネータ養成研修会; 20210911; 郡山.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 当院での外傷性膵損傷における内視鏡治療経験. 第44回福島県消化器治療内視鏡研究会; 20210619; Web(郡山).

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 引地拓人, 大平弘正. 選択的なEUS-FNAが診断に寄与した膵頭部腫瘍の1例. 第24回福島県超音波内視鏡研究会; 20211113; 福島.

小橋亮一郎, 引地拓人, 今村秀道, 橋本健明, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 佐竹隼輔, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 迎慎二, 大平弘正. 胃 ESD 時に穿孔をきたした食道胃接合部癌の一例. 第 6 回 ESD 研究会; 20210305; Web(大阪).

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. コロナ禍での消化器内視鏡診療～COVID-19 患者に対する緊急内視鏡の経験を含めて～. 第 7 回内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会; 20211107; 神戸/Web.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 症例提示. 第 374 回福島消化器病研究会; 20210716; 福島.

清水広, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 入江大樹, 杉本充, 鈴木玲, 高木忠之, 大平弘正. 閉塞性化膿性胆管炎による DIC に対してリコンビナント・トロンボモジュリンの併用が有効であった症例. 福島消化器疾患セミナー; 20210914; 福島.

リウマチ膠原病内科学講座

論 文

〔原 著〕

Miyawaki Y, Shimizu S, Ogawa Y, Sada KE, Katayama Y, Asano Y, Hayashi K, Yamamura Y, Hiramatsu-Asano S, Ohashi K, Morishita M, Watanabe H, Takano-Narazaki M, Matsumoto Y, Yajima N, Yoshimi R, Shimojima Y, Ohno S, Kajiyama H, Ichinose K, Sato S, Fujiwara M, Yamazaki H, Yamamoto Y, Wada J, Fukuhara S. Association of glucocorticoid doses and emotional health in lupus low disease activity state (LLDAS): a cross-sectional study. *Arthritis Research & Therapy*. 202103; 23(1):79.

Fujita Y, Yago T, Matsumoto H, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yashiro-Furuya M, Suzuki E, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. Cold-inducible RNA-binding protein (CIRP) potentiates uric acid-induced IL-18 production. *Arthritis Research & Therapy*. 202104; 23(1):128.

Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Asano T, Sato S, Watanabe H, Suzuki E, Tsuji S, Fukui S, Umeda M, Iwamoto N, Kawakami A, Migita K. Serum checkpoint molecules in patients with IgG4-related disease (IgG4-RD). *Arthritis Research & Therapy*. 202105; 23(1):148.

Koga T, Furukawa K, Migita K, Morimoto S, Shimizu T, Fukui S, Umeda M, Endo Y, Sumiyoshi R, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Origuchi T, Maeda T, Yachie A, Kawakami A. Granulocyte-macrophage colony-stimulating factor and tumor necrosis factor- α in combination is a useful diagnostic biomarker to distinguish familial Mediterranean fever from sepsis. *Arthritis Research & Therapy*.

202110;23(1):260.

Yoshida S, Yamada S, Yokose K, Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yoshiro-Furuya M, Watanabe H, Migita K. Interferon- γ induces interleukin-6 production by neutrophils via the Janus kinase (JAK)-signal transducer and activator of transcription (STAT) pathway. *BMC Research Notes*. 202112; 14(1):447.

Tsuji S, Iwamoto N, Horai Y, Fujikawa K, Fujita Y, Fukui S, Ideguchi R, Michitsuji T, Nishihata S, Okamoto M, Tsuji Y, Endo Y, Shimizu T, Sumiyoshi R, Koga T, Kawashiri SY, Igawa T, Ichinose K, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Kudo T, Kawakami A. Comparison of the quantitative measurement of 18F-FDG PET/CT and histopathological findings in IgG4-related disease. *Clinical and Experimental Rheumatology*. 202112; 39(6):1338-1344.

Asselta R, Paraboschi EM, Gerussi A, Cordell HJ, Mells GF, Sandford RN, Jones DE, Nakamura M, Ueno K, Hitomi Y, Kawashima M, Nishida N, Tokunaga K, Nagasaki M, Tanaka A, Tang R, Li Z, Shi Y, Liu X, Xiong M, Hirschfield G, Siminovitch KA; Canadian-US PBC Consortium; Italian PBC Genetics Study Group; UK-PBC Consortium; Japan PBC-GWAS Consortium; Carbone M, Cardamone G, Duga S, Gershwin ME, Seldin MF, Invernizzi P. X Chromosome Contribution to the Genetic Architecture of Primary Biliary Cholangitis. *Gastroenterology*. 202106; 160(7):2483-2495.

Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Tohma S, Yatsuhashi H, Migita K. Genetic risk factors for autoimmune hepatitis: implications for phenotypic heterogeneity and biomarkers for drug response. *Human Genomics*. 202101; 15(1):6.

Suzuki E, Yoshiro-Furuya M, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Hazama M, Asano T, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Kanno T, Migita K. Comparison of renal remission and relapse-free rate in initial- and delayed-onset lupus nephritis. *International Journal of Rheumatic Diseases*. 202112; 24(12):1500-1509.

Cordell HJ, Fryett JJ, Ueno K, Darlay R, Aiba Y, Hitomi Y, Kawashima M, Nishida N, Khor SS, Gervais O, Kawai Y, Nagasaki M, Tokunaga K, Tang R, Shi Y, Li Z, Juran BD, Atkinson EJ, Gerussi A, Carbone M, Asselta R, Cheung A, de Andrade M, Baras A, Horowitz J, Ferreira MAR, Sun D, Jones DE, Flack S, Spicer A, Mulcahy VL, Byan J, Han Y, Sandford RN, Lazaridis KN, Amos CI, Hirschfield GM, Seldin MF, Invernizzi P, Siminovitch KA, Ma X, Nakamura M, Mells GF; PBC Consortia; Canadian PBC Consortium; Chinese PBC Consortium; Italian PBC Study Group; Japan-PBC-GWAS Consortium(Migita K, et al.); US PBC Consortium; UK-PBC Consortium. An international genome-wide meta-analysis of primary biliary cholangitis: Novel risk loci and candidate drugs. *Journal of Hepatology*. 202109;75(3):572-581.

Sato S, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Yoshiro-Furuya M, Asano T, Suzuki E, Watanabe H, Kanno T, Migita K. Sustained Long-Term Retention Rates of Abatacept in Combination with Conventional Synthetic Disease-Modifying Antirheumatic Drugs in Elderly Patients with Rheumatoid Arthritis. *Medicina*. 202108; 57(9):914.

Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Urano T, Furuya MY, Asano T, Sato S, Matsumoto H, Watanabe H, Kozuru H, Yatsuhashi H, Kawakami A, Migita K. Uric acid-mediated inflammasome activation in IL-6 primed

innate immune cells is regulated by baricitinib. *Modern Rheumatology*. 202101; 31(1):270-275.

Hidaka Y, Fujimoto K, Matsuo N, Koga T, Kaieda S, Yamasaki S, Nakashima M, Migita K, Nakayama M, Ohara O, Hoshino T, Nishikomori R, Ida H. Clinical phenotypes and genetic analyses for diagnosis of systemic autoinflammatory diseases in adult patients with unexplained fever. *Modern Rheumatology*. 202103;31(3):704-709.

Matsuda N, Abe D, Fujita Y, Kanai K. MRI mapping of muscle denervation in mononeuropathy multiplex due to eosinophilic granulomatosis with polyangiitis. *Neurology and Clinical Neuroscience*. 202109; 9(5):406-407.

Fujita Y, Yago T, Asano T, Matsumoto H, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yashiro-Furuya M, Suzuki E, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. Clinical relevance for circulating cold-inducible RNA-binding protein (CIRP) in patients with adult-onset Still's disease. *PLOS ONE*. 202108; 16(8):e0255493.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Yashiro-Furuya M, Yokose K, Yoshida S, Suzuki E, Yago T, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. Association between inflammatory cytokines and immune-checkpoint molecule in rheumatoid arthritis. *PLOS ONE*. 202111; 16(11):e0260254.

Matsumoto H, Yashiro-Furuya M, Fujita Y, Asano T, Mori T, Sato S, Temmoku J, Matsuoka N, Watanabe H, Suzuki E, Migita K. Vascular Behcet's Disease Preceded by Fever of Unknown Origin: Usefulness of Ultrasonography for the Detection of Large-Vessel Vasculitis. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202110; 255(2):163-169.

Suzuki E, Temmoku J, Fujita Y, Yashiro-Furuya M, Asano T, Kanno T, Migita K. Clinical Characteristics of Japanese Patients with Elderly-Onset Adult-Onset Still's Disease. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202111; 255(3):195-202.

Fujita Y, Sato S, Matsumoto H, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Asano T, Yokose K, Yoshida S, Ohtsuka M, Watanabe H, Migita K. Adult-Onset Still's Disease Complicated by Immunoglobulin A Vasculitis and anti-CCP Antibody-Positive Arthritis. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202112; 255(4):297-301.

Suzuki R, Ishii S, Watanabe H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Hikichi T, Ito H, Ohira H. Splenic volume as a prognostic indicator for unresectable pancreatic cancer. *World Academy of Sciences Journal*. 202101; 3(1):9.

〔総説等〕

天目純平, 右田清志, 大石和徳. 関節リウマチ患者に対する肺炎球菌ワクチンの有用性. *リウマチ科*. 202101; 65(1):131-136.

〔症例報告〕

Fujita Y, Asano T, Sakai A, Norikawa N, Yamamoto T, Matsumoto H, Sato S, Temmoku J, Yashiro-Furuya

M, Matsuoka N, Watanabe H, Migita K. A case of Schnitzler's syndrome without monoclonal gammopathy successfully treated with canakinumab. *BMC Musculoskeletal Disorders*. 202103; 22(1):257.

Shimizu H, Sato S, Suzuki T, Sasajima T, Takahata Y, Shinohara N, Hideshima K, Yokokawa Y, Matsuhashi N, Ichii O, Tai M, Ejiri Y, Yano K, Ikezoe T, Ohira H, Migita K. Intestinal Behçet's disease complicated by myelodysplastic syndrome and secondary pulmonary alveolar proteinosis: a case report. *BMC Gastroenterology*. 202112; 21(1):488.

Hayashi M, Wada J, Fujita M, Asano T, Matsuoka N, Fujita Y, Temmoku J, Matsumoto H, Yashiro-Furuya M, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Ryoichiro K, Waragai Y, Suzuki E, Kiko Y, Abe K, Takahashi A, Masuda T, Hashimoto Y, Migita K, Ohira H. TAFRO syndrome complicated by porto-sinusoidal vascular liver disease with portal hypertension: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202112; 14(6):1711-1717.

Sumida H, Migita K, Ida H, Asano Y, Shimizu J, Kagami S, Sugaya M, Kadono T, Sato S. Dermatomyositis-like eruptions and fasciitis with novel compound heterozygous MEFV mutations: Newly recognized features of a variant of familial Mediterranean fever. *Journal of Dermatology*. 202109;48(9):1453-1456.

Asano T, Saito Y, Matsuoka N, Temmoku J, Fujita Y, Hattori K, Kobayashi S, Ojima A, Takahashi T, Matsumoto H, Yashiro-Furuya M, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Yano K, Sasajima T, Fujihara K, Migita K. Acute retrobulbar optic neuritis with anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease complicated with microscopic polyangiitis: A case report. *Medicine*. 202104; 100(15):e24889.

Matsumoto H, Tokimura R, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Yoshida K, Takahashi R, Tanaka S, Itagaki Y, Honma M, Matsuda N, Watanabe H, Migita K, Kanai K. Meningoencephalitis in relapsing polychondritis: A case report. *Medicine*. 202106; 100(24):e26315.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Sato S, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Watanabe H, Suzuki E, Migita K. An unusual case of familial Mediterranean fever complicated with protracted peritonitis A case report. *Medicine Case Reports and Study Protocols*. 202103; 2(5):e0105.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Suzuki E, Kiko Y, Suzuki O, Matsuda M, Sato S, Temmoku J, Furuya M, Matsuoka N, Suzuki E, Watanabe H, Migita K. Resolution of large vessel stenosis in giant cell arteritis (GCA) by tocilizumab A case report. *Medicine Case Reports and Study Protocols*. 202106; 2(6):e0099.

Fujita Y, Matsumoto H, Asano T, Sato S, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Temmoku J, Nakatani-Enomoto S, Kimura S, Hoshi K, Uematsu M, Watanabe H, Migita K. Hemophagocytic Lymphohistiocytosis Associated with Disseminated Nontuberculous Mycobacterial Infection in a Patient with Mesenteric Panniculitis. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202102; 253(2):151-157.

Sasajima T, Fujita Y, Ejiri Y, Suzuki T, Wada J, Yokose K, Yoshida S, Matsumoto H, Asano T, Sato S, Yashiro-Furuya M, Matsuoka N, Temmoku J, Yago T, Watanabe H, Migita K. Immunoglobulin A Vasculitis in a Japanese Patient with Complete Familial Mediterranean Fever Carrying MEFV Exon 10 Mutation. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202110; 255(2):157-162.

研究発表等

〔研究発表〕

藤田雄也, 八子徹, 松本聖生, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 川上純, 右田清志. 成人スチル病の自己炎症バイオマーカーの探索. 第4回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会; 20210206-07; 東京.

藤田雄也, 八子徹, 松本聖生, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 川上純, 右田清志. 成人スチル病の疾患病態を反映するバイオマーカーの探索. 第30回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20210213-14; 秋田.

天目純平, 鈴木英二, 藤田雄也, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 菅野孝, 渡辺浩志, 右田清志, 宮田昌之. 多発性筋炎・皮膚筋炎患者の臨床経過と筋炎特異自己抗体の関連. 第30回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20210213-14; 秋田.

松本聖生, 浅野智之, 藤田雄也, 天目純平, 松岡直紀, 古谷牧子, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 腸間膜脂肪織炎に播種性非結核性抗酸菌症を合併し血球貪食症候群に至った一例. 第30回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会; 20210213-14; 秋田.

小林浩子. リウマチ性疾患とB型肝炎ウイルス関連. Tochigi Expert Web Seminar; 20210225; Web.

佐藤秀三. 関節リウマチの薬物治療. 令和2年度北海道・東北地区リウマチの治療とケア教育研修会; 20210314; 福島.

佐藤秀三. 当科における最近のSLE治療についての現状. WoCBAにおける膠原病診療を考える会; 20210326; いわき/Web.

松岡直紀, 浅野智之, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 古谷牧子, 佐藤秀三, 鈴木英二, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. SLEにおけるTIM-3/Galectin-9 pathwayの臨床的意義. 第65回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸. プログラム・抄録集. 381.

浅野智之, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 古谷牧子, 佐藤秀三, 小林浩子, 渡辺浩志, 右田清志. 高安静脈炎再燃例に対するトシリズマブの有効性. 第65回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸. プログラム・抄録集. 402.

松本聖生, 藤田雄也, 浅野智之, 佐藤秀三, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 鈴木英二, 渡辺浩志, 右田清志. 巨細胞性動脈炎に対するトシリズマブ monotherapyの有効性とエコーによる画像評価の重要性. 第65回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸. プログラム・抄録集. 405.

藤田雄也, 松本聖生, 天目純平, 古谷牧子, 松岡直紀, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 川上純, 右田清志. 成人スチル病の新規炎症性バイオマーカー「Cold-inducible RNA-binding protein (CIRP)」の同定. 第65回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸. プログラム・抄録集. 447.

天目純平, 松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 鈴木英二, 渡辺浩志, 右田清志. 免疫チェックポイント分子のインフラマソーム活性化に対する作用. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸. プログラム・抄録集. 448.

Fujita Y, Matsumoto H, Temmoku J, Furuya M, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Kawakami A, Migita K. The role of immune checkpoint molecules in clinical phenotype of rheumatic diseases. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

Matsumoto H, Fujita Y, Asano T, Matsuoka N, Temmoku J, Sato S, Furuya M, Watanabe H, Migita K. Role of T cell immunoglobulin and mucin domain-3(TIM-3) in determining clinical phenotype of RA. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

Sato S, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Asano T, Watanabe H, Migita K. Sustained Long-term Retention Rates of Abatacept in Elderly Patients with Rheumatoid Arthritis in Daily Clinical Practice: a two-Centered Cohort Study. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

天目純平, 松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 右田清志. ステロイド療法が奏功した脳実質病変を合併した IgG4 関連疾患の一例. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

古谷牧子, 佐藤秀三, 松本聖生, 天目純平, 藤田雄也, 松岡直紀, 浅野智之, 渡辺浩志. 当科におけるサリルマブ使用例の臨床的検討. 第 65 回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

浅野智之. 当科における JAK 阻害剤の使用経験. RA 診療を考える会; 20210602; 福島/

浅野智之. 関節エコーを用いた鑑別診断. 第 9 回東北関節エコー研究会; 20210717; 福島/

古谷牧子. EGPA 治療のこれから～メボリズマブの臨床経験を踏まえて～. 福島 EGPA・SLE Web seminar 2021; 20210730; Web.

吉田周平, 松岡直紀, 藤田雄也, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 右田清志, 矢口貴絵, 曾田哲朗. アトピー性皮膚炎様皮疹で発症した若年性皮膚筋炎の一例. 第 224 回日本内科学会東北支部主催東北地方会; 20210919; 福島.

松本聖生, 藤田雄也, 松岡直紀, 天目純平, 古谷牧子, 浅野智之, 佐藤秀三, 渡辺浩志, 鈴木英二, 辻創介, 福井翔一, 梅田雅孝, 岩本直樹, 川上純, 右田清志. IgG4 関連疾患における免疫チェックポイント分子の有用性. 第 29 回日本シェーグレン症候群学会学術集会; 20210924-25; 札幌.

古谷牧子. ANCA 関連血管炎治療の現状. Next Generation Conference in Fukushima; 20211002; 福島.

浅野智之. 当科における JAK 阻害剤の使用経験. 関節リウマチ肺炎球菌ワクチンフォーラム; 20211005; 福島.

佐藤秀三. Fli-1 とループス腎炎の関連について. Next Generation Fellowship in Rheumatology; 20211019; 福島.

浅野智之. リウマチ診療における関節エコーの有用性. 福島リウマチチームワークショップ; 20211106; 福島.

佐藤秀三. BLISS-LN データから考えるペリムラブの新たな治療戦略. 全身性エリテマトーデス WEB セミナー; 20211117; Web.

〔シンポジウム〕

右田清志. 家族性地中海熱の診療ガイドラインの改訂. 第4回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会; 20210206-07; 東京.

右田清志, 藤田雄也, 松本聖生, 中村正. SAA 機能の多様性. 第8回日本アミロイドーシス学会学術集会; 20211119; 東京.

〔特別講演〕

右田清志. 内科領域で経験する自己炎症性疾患. 第30回日本リウマチ学会近畿支部学術集会; 20210905; 奈良.

右田清志. 関節リウマチ膠原病における帯状疱疹とワクチン. 第62回九州リウマチ学会; 20210911-12; 熊本.

〔招待講演〕

右田清志. 内科領域で経験する自己炎症性疾患. 第10回東北免疫不全症研究会; 20210227; 仙台.

右田清志. パイリン関連自己炎症性疾患. 第65回リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; 神戸.

右田清志. サイトカインからリウマチ性疾患の炎症病態を考える. 第34回日本臨床内科医学会; 20210919; 福島.

〔その他〕

浅野智之. 手関節手技解説. 関節リウマチエコーセミナー; 20210109; 山形.

右田清志. 自己免疫疾患に対する診断と治療. 旭化成ファーマ株式会社社内勉強会; 20210209; 福島.

藤田雄也. 関節リウマチ診療の現状とチーム医療. 関節リウマチ WEB セミナー; 20210219; Web.

藤田雄也. 関節リウマチ診療の現状とチーム医療. RA Nurse Seminar in Tohoku; 20210227; 福島.

藤田雄也. 成人スチル病の自己炎症バイオマーカーの探索. 第5回福島県 RA セミナー; 20210305; 福島.

右田清志. オルミエントの有効性を考える. RA Experts Online Seminar; 20210309; Web.

浅野智之. 壊疽性膿皮症と併存疾患/パネリスト. 壊疽性膿皮症診療連携セミナー; 20210311; 福島.

右田清志. 高齢 RA の治療について治療標的としての TNF の意義. 福島県リウマチ WEB セミナー; 20210312; Web.

浅野智之. 関節リウマチの病態・診断. 令和 2 年度北海道・東北地区リウマチの治療とケア教育研修会; 20210314; Web.

右田清志. 自己炎症性疾患の診断と治療. 高知県膠原病・リウマチセミナー; 20210326; 福島.

右田清志. オルミエントの有効性について考える. Lilly JAK WEB Seminar; 20210413; Web.

古谷牧子. 関節リウマチの診療と治療. 旭化成ファーマ株式会社社外部講師招聘講演会; 20210423; Web.

右田清志. 自己炎症性の診断と治療. いわて免疫セミナー; 20210513; 福島.

天目純平. 関節エコーを用いた外来診療. 臨床的寛解とエコー寛解について. Northern Japan Echo Symposium; 20210521; 福島.

藤田雄也. リウマチ膠原病内科における自己炎症性疾患・自己免疫性疾患の一例. 3rd Interactive Meeting in Fukushima～自己炎症性疾患、自己免疫性疾患の診断と治療を考える～; 20210521; 福島.

右田清志. 家族性地中海熱 up-to date. 3rd Interactive Meeting in Fukushima～自己炎症性疾患、自己免疫性疾患の診断と治療を考える～; 20210521; 福島.

浅野智之. 関節エコーと撮像手技の解説と実技. 盛岡ハンズオンセミナー; 20210522; 福島.

右田清志. RA 治療の変革と JAK 阻害剤について. RA 診療を考える会 in 会津若松; 20210602; 福島.

藤田雄也. Cold inducible RNA binding protein (CIRP) によるインフラマソーム活性化機構. Rheumatology conference; 20210612; 福島.

松本聖生. 炎症性サイトカインと免疫チェックポイント分子による関節リウマチの病型分類. Rheumatology conference; 20210612; 福島.

右田清志. サルコイ ドーシスにおける呼吸器症状. 難治性疾患研究 in Fukushima; 20210628; 福島.

右田清志. 高齢 RA の治療について～治療標的としての TNF の意義～. シンボニー発売 10 周年記念 WEB セミナー; 20210708; Web.

右田清志. 関節エコーによる PsA の鑑別と治療. PsA Web Seminar in Fukushima; 20210907; Web.

古谷牧子. 関節リウマチ総論と治療における TNF 阻害薬の重要性. 田辺三菱製薬株式会社関節リウマチ社内講師研究会; 20210929; 福島.

藤田雄也. 感染リスクの高いリウマチ患者さんの治療方針を考える. Comorbidities Seminar in 福島; 20211008;

福島.

右田清志. ASD における診断・治療の現状と課題とは? ASD を考える会 in 南東北; 20211013; 福島.

天目純平. 全身性エリテマトーデスの概要と希少病態. 福島リウマチチームワークショップ 2021; 20211106; 福島.

吉田周平. 当科における高安静脈炎治療 TCZ 使用例と非使用例での比較. 第 7 回福島県 IL-6 講演会; 20211217; 福島.

腎臓高血圧内科学講座

論 文

〔原 著〕

Hatano Y, Yano Y, Fujimoto S, Sato Y, Iseki K, Konta T, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T. The population-attributable fraction for premature mortality due to cardiovascular disease associated with stage 1 and 2 hypertension among Japanese. *American Journal of Hypertension*. 202102; 34(1):56-63.

Tanaka K, Watanabe T, James K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro M, Asahi K. Status of Anemia According to Underlying Renal Disease in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort. *Annals of Clinical Epidemiology*. 2021; 3(1):27.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: The Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research and Care*. 202109; 9(1):e002007.

Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association between serum potassium levels and adverse outcomes in chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202104; 25(4):410-417.

Wakasugi M, Kazama JJ. Hematuria, bone health, and cardiovascular mortality. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202105; 25(5):562-563.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of Polypharmacy with Kidney Disease Progression in Adults with CKD.

Clinical Journal of the American Society of Nephrology. 202112; 16(12):1797-1804.

Wakamatsu T, Iwasaki Y, Yamamoto S, Matsuo K, Goto S, Narita I, Kazama JJ, Tanaka K, Ito A, Ozasa R, Nakano T, Miyakoshi C, Onishi Y, Fukuma S, Fukuhara S, Yamato H, Fukagawa M, Akizawa T. Type I Angiotensin II Receptor Blockade Reduces Uremia-Induced Deterioration of Bone Material Properties. *Journal of Bone and Mineral Research*. 202101; 36(1):67-79.

Sato H, Kondo N, Kurosawa Y, Hasegawa E, Wakamatsu A, Kobayashi D, Nakatsue T, Kazama JJ, Kuroda T, Suzuki Y, Endo N, Narita I. Lower trabecular bone score is associated with an increased incidence of localized femoral periosteal thickening. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*. 202111; 39(6):952-961.

Nishiwaki H, Niihata K, Shimizu S, Shibagaki Y, Yamamoto R, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Okada H, Narita I, Isaka Y, Kurita N, Imai E, Maruyama S, Sato T, Sato H, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Yokoyama H, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Sugiyama H, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Matsuo S. Incidence and factors associated with prescribing renin-angiotensin-system inhibitors in adult idiopathic nephrotic syndrome: A nationwide cohort study. *Journal of Clinical Hypertension*. 202105; 23(5):999-1007.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Saito AC, Higashi T, Fukazawa Y, Otani T, Tauchi M, Higashi AY, Furuse M, Chiba H. Occludin and tricellulin facilitate formation of anastomosing tight-junction strand network to improve barrier function. *Molecular Biology of the Cell*. 202104; 32(8):772-738.

Kimura H, Kalantar-Zadeh K, Rhee CM, Streja E, Sy J. Polypharmacy and Frailty among Hemodialysis Patients. *Nephron*. 2021; 145(6):624-632.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary patterns and progression of impaired kidney function in japanese adults: A longitudinal analysis for the fukushima health management survey, 2011–2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Sato H, Takai C, Kondo N, Kurosawa Y, Hasegawa E, Wakamatsu A, Kobayashi D, Nakatsue T, Abe A, Ito S, Ishikawa H, Kazama JJ, Kuroda T, Suzuki Y, Endo N, Narita I. Cumulative incidence of femoral localized periosteal thickening (beaking) preceding atypical femoral fractures in patients with rheumatoid arthritis. *Osteoporosis International*. 202102; 32(2):363-375.

Tanaka K, Fujiwara M, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Tani Y, Asai J, Suzuki H, Sato K, Kazama JJ. Hyporesponsiveness to long-acting erythropoiesis-stimulating agent is related to the risk of cardiovascular disease and death in Japanese patients on chronic hemodialysis: observational cohort study. *Renal Replacement Therapy*. 2021; 7:13.

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Xanthine oxidase inhibitors are associated with reduced risk of cardiovascular disease. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1380.

Saito H, Tanabe H, Kudo A, Machii N, Higa M, Yamaguchi S, Maimaituxun G, Abe K, Takahashi A, Tanaka K, Asahi K, Masuzaki H, Ohira H, Kazama JJ, Shimabukuro M. High FIB4 index is an independent risk factor of diabetic kidney disease in type 2 diabetes. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):11753.

Watanabe M, Higashi T, Ozeki K, Higashi AY, Sugimoto K, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H, Chiba H. CLDN15 is a novel diagnostic marker for malignant pleural mesothelioma. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):12554.

Higashi AY, Higashi T, Furuse K, Ozeki K, Furuse M, Chiba H. Claudin-9 constitutes tight junctions of folliculo-stellate cells in the anterior pituitary gland. *Scientific Reports*. 202111; 11(1):21642.

木村浩, 風間順一郎. 【サルコペニア・フレイルの栄養療法・運動療法】腎機能障害時のサルコペニア・フレイル発症原因 リン代謝不全症候群、klotho ノックアウトマウスの表現型としてのサルコペニア. 腎と透析. 202103; 90(3):373-376.

風間順一郎. 【腎疾患治療薬 update】(第2章)慢性腎臓病・透析合併症 CKD-MBD 治療薬 骨粗鬆症治療薬 ロモゾマブ. 腎と透析. 202108; 91(増刊):283-287.

佐藤弘恵, 近藤直樹, 黒澤陽一, 長谷川絵理子, 若松彩子, 小林大介, 中枝武司, 黒田毅, 風間順一郎, 遠藤直人, 成田一衛. 膠原病リウマチ患者における非定型大腿骨骨折の前兆である限局性大腿骨外側骨皮質肥厚と骨質指標の解析 最適な骨粗鬆症予防と治療対策を目指して. 新潟県医師会報. 202102; (851):8-9.

風間順一郎. 透析医療における Current Topics 2020 (WEB 開催) どこまでできる? ・透析診療に遠隔医療. 日本透析医会雑誌. 202104; 36(1):18-23.

藤井理子, 丹治良, 福地恒一郎, 佐藤恵, 関根黎, 鈴木エリ奈, 菅野真理, 風間順一郎. 致命的な呼吸不全に至った顕微鏡的多発血管炎の1例. 福島医学雑誌. 202108; 71(2):87-93.

研究発表等

〔研究発表〕

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林文和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規慢性腎臓病発症と有意に関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

木村浩, 田中健一, 江尻博紀, 藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. Polypharmacy が CKD 患者の予後に及ぼす影響に関する検討. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. キサンチンオキシターゼ阻害薬は糖尿病合併 CKD の心血管リスク減少と関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 慢性腎臓病患者における赤血球分布幅 (RDW) と予後の関連について. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

田中健一, 木村浩, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 栄養状態不良と慢性腎臓病患者の予後の関連に関する検討. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

木村浩, 田中健一, 旭浩一, 井関邦敏, 守山敏樹, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 藤本昭一, 成田一衛, 今田恒夫, 近藤正英, 笠原正登, 柴垣有吾, 渡辺毅, 風間順一郎. CKD 患者の健康行動に対する行動変容ステージと生命予後の関連. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210620; Web.

風間順一郎. CKD-MBD の骨形態計測分類を再考する. 第 41 回日本骨形態計測学会; 20210702; 東京.

坂部琢磨, 小田朗, 佐藤孝紀, 江尻博紀, 秦慧, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 菅野真理, 東淳子, 田中健一, 風間順一郎. 頻回のステロイドパルス療法に抵抗性を示し追加治療を要した腎限局型顕微鏡的多発血管炎の 1 例. 第 51 回日本腎臓学会東部学術大会; 20210925; Web.

秦慧, 小田朗, 佐藤孝紀, 坂部琢磨, 江尻博紀, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 菅野真理, 東淳子, 田中健一, 風間順一郎. ラムシルマブ、ニボルマブによる薬剤性腎障害の一例. 第 51 回日本腎臓学会東部学術大会; 20210925; Web.

佐藤孝紀, 小田朗, 坂部琢磨, 江尻博紀, 秦慧, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 菅野真理, 東淳子, 田中健一, 風間順一郎. 多彩な自己抗体が陽性となったコレステロール塞栓症の一例. 第 51 回日本腎臓学会東部学術大会; 20210926; Web.

木村浩, 田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. Polypharmacy と CKD 患者の腎予後の関連についての検討. 日本臨床疫学会第 4 回年次学術大会;

20211031; Web.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 木村浩, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 慢性腎臓病患者における赤血球分布幅 (RDW) および平均赤血球容積 (MCV) と予後. 日本臨床疫学会第 4 回年次学術大会; 20211031; Web.

田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 木村浩, 風間咲美, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 透析導入前慢性腎臓病患者における脈拍数と長期予後の関連について. 日本臨床疫学会第 4 回年次学術大会; 20211031; Web.

〔シンポジウム〕

風間順一郎, 藤原もも子. 多発性骨髄腫とその周辺疾患の腎病変. 第 46 回日本骨髄腫学会学術集会; 20210529; 福島/Web.

風間順一郎. 情報技術による維持透析診療の遠隔サポート. 第 66 回日本透析医学会学術集会・総会; 20210604; Web.

風間順一郎. 福島のこの 10 年. 第 66 回日本透析医学会学術集会・総会; 20210606; Web.

木村浩, 田中健一, 風間順一郎. 保存期 CKD におけるビタミン D の補充 Con. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210619; Web.

風間順一郎. タブーなき災害時の血液浄化. 第 32 回日本急性血液浄化学会学術集会; 20211003; さいたま/Web.

〔特別講演〕

田中健一. 鉄代謝からみた腎性貧血治療の問題点－HIF¹ PH 阻害薬の可能性. Medical Staff Online Seminar; 20210119; Web.

風間順一郎. パーサビブの最適な使用方法について. CDK-MBD セミナーin 北多摩; 20210126; Web.

風間順一郎. パーサちゃんと共に考える二次性福甲状腺亢進症治療. CDK-MBD セミナーin 松本; 20210127; Web.

風間順一郎. 骨粗鬆症治療の考え方とピートル. 腎不全若手勉強会; 20210128; Web.

田中健一. 血清カリウムレベルと CKD 患者の予後～高カリウム血症の是正が予後を改選するか～. 高血圧診療を考える; 20210226; Web.

田中健一. 糖尿病と慢性腎臓病の重症化予防のために～現状と課題～. 糖尿病・腎臓病セミナーin 会津; 20210308; Web.

風間順一郎. ぶっちゃけどうすれば CKD は進行しないの? 第 19 回白河地区透析医療勉強会; 20210309; 白河.

風間順一郎. 高カリウム血症治療について～ここでこっそり語りましょう～. 腎とカリウム Symposium; 20210315; Web.

田中健一. 腎臓内科医から見た糖尿病治療～糖尿病重症化予防のために～. Fukushima Diabetes Web Confence; 20210319; Web.

田中健一. 腎性貧血の現状と問題点～Roxadustat の可能性～. 柴田郡医師会学術講演会; 20210329; Web.

風間順一郎. みんなで考える脆弱性骨折予防. 第5回弘前骨粗鬆症ネットワークを考える会; 20210401; Web.

田中健一. DKD 診療における貧血管理の意義. DKD 研究会 2021; 20210406; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と課題. CKD セミナー; 20210408; Web.

風間順一郎. 透析患者における新規高カリウム血症治療剤 ロケルマの位置づけ. Hemodialysis Symposium In Fukushima; 20210415; Web.

風間順一郎. オルケちゃんがくる. 第7回北大阪 腎・透析・移植地域連携カンファレンス; 20210417; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と問題点～Roxadustat の可能性～. 新たな腎性貧血治療を考える会; 20210421; 福島.

風間順一郎. 作用機序から考える経口リン吸着薬. CKD-MBD オンライン講演会; 20210421; Web.

風間順一郎. 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. Dialysis-Related Amyloidosis WEB Conference; 20210422; Web.

風間順一郎. 腎性貧血治療の現状と問題点～Roxadustat の可能性～. 福島県病院薬剤師会会津支部 学術講演会; 20210427; 会津若松.

風間順一郎. 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. 透析アミロイド症講演会@Web; 20210427; Web.

田中健一. オルケちゃんがくる. 透析合併症対策講演会; 20210511; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と課題. 透析合併症対策講演会; 20210511; Web.

風間順一郎. タバコ・生活習慣と慢性腎臓病. 第30回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会; 20210522; 福島 /Web.

田中健一. CKD 診療における課題とロケルマへの期待. ロケルマ発売1周年記念講演会; 20210522; 東京.

風間順一郎. 高カリウム血症治療しちゃうぞ. ロケルマ発売1周年記念講演会; 20210526; Web.

田中健一. 糖尿病治療の現状と今後～腎臓内科の視点から～. Iwaki Diabetes Web Conference 腎臓を考慮した

糖尿病治療; 20210601; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と問題点～Roxadustat の可能性～. 第 114 回会津循環器病懇話会; 20210604; 会津若松.

風間順一郎. 血清カリウムレベルと CKD 患者の予後. Scientific Exchange Meeting in Tokyo; 20210610; Web.

風間順一郎. 高カリウム血症治療しちゃうぞ. 糖尿病治療スキルアップセミナー; 20210622; Web.

田中健一. CKD 診療におけるカリウム管理の意義～ロケルマの可能性～. 高カリウム血症勉強会; 20210708; Web.

田中健一. オルケちゃんがくる. Web セミナーオルケディア錠発売 3 周年記念; 20210708; Web.

田中健一. CKD 診療連携の現状と今後～福島における取り組み～. 学術講演会 2021; 20210714; 福島.

田中健一. CKD リスク管理における高尿酸血症治療の意義. 高尿酸血症フォーラム in 福島; 20210715; Web.

田中健一. CKD 診療におけるロケルマの可能性～東日本大震災の経験も踏まえて～. LOKELMA Week in Tohoku; 20210716; Web.

風間順一郎. 福島医大における ADPKD 診療の現状と課題～サムスカの可能性～. 多発性嚢胞腎連携の会; 20210803; Web.

田中健一. CKD リスク管理における高尿酸血症治療の意義. 腎性貧血治療を考える in Fukushima; 20210817; Web.

田中健一. CKD 診療における課題とロケルマへの期待. Kidney online symposium in はちのへ; 20210824; Web.

風間順一郎. てか、どーしてピートルなの? ピートル WEB 講演会; 20210826; Web.

風間順一郎. 血液透析遠隔管理システムの展望. 第 47 回東北腎不全研究会; 20210828; Web.

風間順一郎. 透析アミロイドーシスの病態とリクセルの新展開. 第 47 回東北腎不全研究会; 20210828; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と課題. バフセオ錠発売 1 周年記念講演 in 東北; 20210902; Web.

風間順一郎. 腎臓内科医が考える糖尿病治療課～東日本大震災の経験を踏まえて～. 東北 Diabetes WEB 講演会; 20210907; Web.

田中健一. CKD リスク管理における貧血治療の現状と課題. 第 34 回日本臨床内科医学会; 20210919; Web.

小田朗. 俺の血圧管理. Fukushima Resident Assembly for Medicine; 20210921; 福島.

風間順一郎. CKD の治療が変わっちゃう. Diabetes Symposium in Yamagata 2021; 20210924; Web.

渡辺秀平. PD（腹膜透析）療法について. TERUMO PD Nurse Seminar; 20211002; Web.

風間順一郎. 骨粗鬆症治療の診断学の向上と治療学の確立、知識普及、地域医療への貢献. 第34回日本臨床整形外科学会学術集会; 20211013; Web.

風間順一郎. みんなで取り組む脆弱性骨折予防. 第34回日本臨床整形外科学会学術集会; 20211013; Web.

風間順一郎. CKD の治療が変わっちゃう. Forxiga TV symposium 2021 in 東北; 20211020; Web.

風間順一郎. ウパシタの好適症例とは？ カルシメティクスの可能性を考える会 in 佐賀; 20211026; Web.

田中健一. 腎性貧血治療の現状と課題～ダプロデュスタットへの期待～. ダーブロック錠発売1周年記念講演会; 20211026; WEB 開催.

風間順一郎. 新しい時代を迎える慢性腎臓病治療. 慢性腎臓病治療戦略会議 in 県北; 20211101; 福島.

風間順一郎. ウパシタ参上！～SHPT 治療のアシタから. ふくしま透析特別講演会; 20211116; Web.

田中健一. 福島医大における ADPKD 診療の現状と課題. ASPKD web Seminar; 20211124; Web.

風間順一郎. CKD の診療が変わる！ 臨床医のための最新治療勉強会; 20211201; Web.

田中健一. CKD 重症化予防の課題と今後～福島 CKD コホート研究より～. 慢性腎臓病 Web セミナー in 会津若松; 20211206; Web.

田中健一. CKD 診療の課題と現状～ダバグリフロジンでの期待～. CKD Online Symposium; 20211210; Web.

風間順一郎. CKD の診療が変わる！ 県中 CKD 治療セミナー; 20211213; Web.

田中健一. 腎性貧血の現状と課題～ダプロデュスタットへの期待～. 腎性貧血治療学術講演会; 20211220; Web.

田中健一. CKD 診療の今後～ダバグリフロジンへの期待～. 第774回奥州医師会医学講演会 令和3年度奥州薬剤師会研修会; 20211221; Web.

〔その他〕

田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 木村浩, 風間順一郎. 遠隔透析管理システムの現状と今後の課題. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210619; Web.

風間順一郎. 正しく知ろう糖尿病腎症の予防と治療. 2021 糖尿病予防キャンペーン東日本地区 in 福島; 20211113; Web.

糖尿病内分泌代謝内科学講座

論 文

〔原 著〕

Tanaka K, Watanabe T, Kazama JJ, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro Michio, Asahi K. Status of Anemia According to Underlying Renal Disease in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort. *Annals of Clinical Epidemiology*. 2021; 3(1):27-35.

Ueki K, Tanizawa Y, Nakamura J, Yamada Y, Inagaki N, Watada H, Shimomura I, Nishimura R, Miyoshi H, Abiko A, Katagiri H, Hayashi M, Shimada A, Naruse K, Fujimoto S, Fujiwara M, Shikata K, Okada Y, Araki E, Yamazaki T, Kadowaki T; J-BRAND Registry Group. Long-term safety and efficacy of alogliptin, a DPP-4 inhibitor, in patients with type 2 diabetes: a 3-year prospective, controlled, observational study (J-BRAND Registry). *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202101; 9(1):e001787.

Hirai Hiroyuki, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro Michio. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Tanaka A, Shimabukuro Michio, Teragawa H, Okada Y, Takamura T, Taguchi I, Toyoda S, Tomiyama H, Ueda S, Higashi Y, Node K; EMBLEM Investigators. Reduction of estimated fluid volumes following initiation of empagliflozin in patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease: a secondary analysis of the placebo-controlled, randomized EMBLEM trial. *Cardiovascular Diabetology*. 202106; 20(1):105.

Tanaka A, Shimabukuro Michio, Teragawa H, Okada Y, Takamura T, Taguchi I, Toyoda S, Tomiyama H, Ueda S, Higashi Y, Node K; EMBLEM Investigators. Comparison of the clinical effect of empagliflozin on glycemic and non-glycemic parameters in Japanese patients with type 2 diabetes and cardiovascular disease treated with or without baseline metformin. *Cardiovascular Diabetology*. 202107; 20(1):160.

Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association between serum potassium levels and adverse outcomes in chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202104; 25(4):410-417.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of Polypharmacy with Kidney Disease Progression in Adults with CKD. *Clinical Journal of the American Society of Nephrology*. 202112; 16(12):1797-1804.

Tanabe Hayato, Masuzaki H, Shimabukuro Michio. Novel strategies for glycaemic control and preventing

diabetic complications applying the clustering-based classification of adult-onset diabetes mellitus: A perspective. *Diabetes Research and Clinical Practice*. 202110; 180:109067.

Sasaki A, Yokote K, Naitoh T, Fujikura J, Hayashi K, Hirota Y, Inagaki N, Ishigaki Y, Kasama K, Kikkawa E, Koyama H, Masuzaki H, Miyatsuka T, Nozaki T, Ogawa W, Ohta M, Okazumi S, Shimabukuro Michio, Shimomura I, Nishizawa H, Saiki A, Seki Y, Shojima N, Tsujino M, Ugi S, Watada H, Yamauchi T, Yamaguchi T, Ueki K, Kadowaki T, Tatsuno I; Joint Committee in the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, the Japan Society for the Study of Obesity. Metabolic surgery in treatment of obese Japanese patients with type 2 diabetes: a joint consensus statement from the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, and the Japan Society for the Study of Obesity. *Diabetology International*. 202111; 13(1):1-30.

Sasaki A, Yokote K, Naitoh T, Fujikura J, Hayashi K, Hirota Y, Inagaki N, Ishigaki Y, Kasama K, Kikkawa E, Koyama H, Masuzaki H, Miyatsuka T, Nozaki T, Ogawa W, Ohta M, Okazumi S, Shimabukuro Michio, Shimomura I, Nishizawa H, Saiki A, Seki Y, Shojima N, Tsujino M, Ugi S, Watada H, Yamauchi T, Yamaguchi T, Ueki K, Kadowaki T, Tatsuno I; Joint Committee in the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, the Japan Society for the Study of Obesity. Correction to: Metabolic surgery in treatment of obese Japanese patients with type 2 diabetes: a joint consensus statement from the Japanese Society for Treatment of Obesity, the Japan Diabetes Society, and the Japan Society for the Study of Obesity. *Diabetology International*. 202112; 13(1):33-34.

Nakayama Y, Yamaguchi S, Shinzato Y, Okamoto S, Millman JF, Yamashiro K, Takemoto N, Uema T, Arakaki K, Higa M, Koizumi H, Shimabukuro Michio, Masuzaki H. Retrospective exploratory analyses on gender differences in determinants for incidence and progression of diabetic retinopathy in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus. *Endocrine Journal*. 202106; 68(6):655-669.

Pham PT, Fukuda D, Nishimoto S, Kim-Kaneyama JR, Lei XF, Takahashi Y, Sato T, Tanaka K, Suto K, Kawabata Y, Yamaguchi K, Yagi S, Kusunose K, Yamada H, Soeki T, Wakatsuki T, Shimada K, Kanematsu Y, Takagi Y, Shimabukuro Michio, Setou M, Barber GN, Sata M. STING, a cytosolic DNA sensor, plays a critical role in atherogenesis: a link between innate immunity and chronic inflammation caused by lifestyle-related diseases. *European Heart Journal*. 202111; 42(42):4336-4348.

Maimaituxun G, Kusunose K, Yamada H, Fukuda D, Yagi S, Torii Y, Yamada N, Soeki T, Masuzaki H, Sata M, Shimabukuro Michio. Deleterious Effects of Epicardial Adipose Tissue Volume on Global Longitudinal Strain in Patients With Preserved Left Ventricular Ejection Fraction. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 202101; 7:607825.

Watanabe Kiriko, Higa M, Hasegawa Y, Kudo Akihiro, Allsopp RC, Willcox BJ, Willcox DC, Sata M, Masuzaki H, Shimabukuro Michio. Regional Variations of Insulin Secretion and Insulin Sensitivity in Japanese Participants With Normal Glucose Tolerance. *Frontiers in Nutrition*. 202103; 8:632422.

Higa M, Zaha A, Takushi A, Morishima N, Majikina T, Touma T, Shimabukuro Michio, Masuzaki H, Honda M, Hasegawa T. Novel STAR gene variant in a patient with classic lipoid congenital adrenal hyperplasia and combined pituitary hormone deficiency. *Human Genome Variation*. 202102; 8(1):6.

Horiuchi S, Shinohara R, Otawa S, Kushima M, Akiyama Y, Ooka T, Kojima R, Yokomichi H, Miyake K, Hirai Hiroyuki, Hashimoto K, Shimabukuro Michio, Yamagata Z; Japan Environment and Children's Study Group. Influence of Maternal Active and Secondhand Smoking during Pregnancy on Childhood Obesity at 3 Years of Age: A Nested Case-Control Study from the Japan Environment and Children's Study (JECS). *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(23):12506.

Iso H, Cui R, Takamoto I, Kiyama M, Saito I, Okamura T, Miyamoto Y, Higashiyama A, Kiyohara Y, Ninomiya T, Yamada M, Nakagawa H, Sakurai M, Shimabukuro Michio, Higa M, Shimamoto K, Saito S, Daimon M, Kayama T, Noda M, Ito S, Yokote K, Ito C, Nakao K, Yamauchi T, Kadowaki T. Risk Classification for Metabolic Syndrome and the Incidence of Cardiovascular Disease in Japan With Low Prevalence of Obesity: A Pooled Analysis of 10 Prospective Cohort Studies. *Journal of the American Heart Association*. 202112; 10(23):e020760.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro Michio, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement 1):i129-i139.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro Michio, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro Michio, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Millman JF, Okamoto S, Teruya T, Uema T, Ikematsu S, Shimabukuro Michio, Masuzaki H. Extra-virgin olive oil and the gut-brain axis: influence on gut microbiota, mucosal immunity, and cardiometabolic and cognitive health. *Nutrition Reviews*. 202111; 79(12):1362-1374.

Iwasaki Mariko, Kudo Akihiro, Asahi K, Machii Noritaka, Iseki K, Satoh H, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro Michio. Fast walking is a preventive factor against new-onset diabetes mellitus in a large cohort from a Japanese general population. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):716.

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro Michio, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Xanthine oxidase inhibitors are associated with reduced risk of cardiovascular disease. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1380.

Saito Haruka, Tanabe Hayato, Kudo Akihiro, Machii Noritaka, Higa M, Yamaguchi S, Maimaituxun G, Abe K, Takahashi A, Tanaka K, Asahi K, Masuzaki H, Ohira H, Kazama JJ, Shimabukuro Michio. High FB4 index is an independent risk factor of diabetic kidney disease in type 2 diabetes. Scientific Reports. 202106; 11(1):11753.

Yamaguchi Satoshi, Manabe Osamu, Abe Masami, Chiba Itaru, Arasaki Osamu, Shimabukuro Michio. Fractional Flow Reserve Value of Reverse Redistribution in 201-Thallium Stress Scintigraphy. Vascular Failure. 202108; 4(2):46-53.

田辺隼人, 島袋充生. 【心腎連関から考える2型糖尿病の治療戦略～SGLT2阻害薬を中心に～】インスリン抵抗性と心腎連関. 月刊糖尿病. 202105; 13(5):19-28.

山口怜, 島袋充生. 【糖尿病専門医に必要な心不全の知識 update】チアゾリジン薬と心不全. 糖尿病・内分泌代謝科. 202103; 52(3):242-245.

〔総説等〕

根本雄飛, 島袋充生. 【女性の生活習慣病—新たな展開—】体脂肪分布と生活習慣病. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY. 202103; 28(1):25-32.

島袋充生. 【糖尿病患者の心不全を防ぐ！疾患と治療のキホンと療養指導のコツ】心不全の予防と糖尿病治療 糖尿病薬物療法と心不全. 糖尿病ケア. 202103; 18(3):234-240.

島袋充生. 【内分泌疾患・糖尿病・代謝疾患-診療のエッセンス】(II章) 糖尿病 薬物療法 注射薬による治療 インスリン療法. 日本医師会雑誌. 202110; 150(特別2):S195-S198.

佐々木章, 内藤剛, 横手幸太郎, 稲垣暢也, 益崎裕章, 綿田裕孝, 小川渉, 下村伊一郎, 山内敏正, 石垣泰, 笠間和典, 野崎剛弘, 島袋充生, 藤倉純二, 宮塚健, 庄嶋伸浩, 西澤均, 廣田勇士, 卯木智, 太田正之, 岡住慎一, 吉川絵梨, 小山英則, 齋木厚人, 関洋介, 辻野元祥, 林果林, 山口崇, 龍野一郎, 植木浩二郎, 門脇孝, 日本肥満症治療学会, 日本糖尿病学会, 日本肥満学会, 日本人の肥満2型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術の適応基準に関する3学会合同委員会. 日本人の肥満2型糖尿病患者に対する減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント. 肥満研究. 202108; 27(2):1-74.

益崎裕章, 根本雄飛, 照屋太輝, 島袋康貴, 上間次己, 仲地佐和子, 島袋充生, 岡本土毅. 加齢に伴う摂食低下のメカニズム. 老年内科. 202109; 4(3):276-281.

研究発表等

〔研究発表〕

田辺隼人. 日本人集団における成人発症糖尿病サブタイプの臨床的特徴と合併症予測能. 東北糖尿病若手研究会 2020; 20210227; 福島.

島袋充生. クラスター分類からみた糖尿病の合併症・依存症-新しい薬剤選択基準を考える-. Diabetes New Strategy Conference; 20210301; 福島.

田辺隼人, 齋藤悠, 工藤明宏, 待井典剛, 平井裕之, Gulinu Maimaituxun, 田中健一, 渡辺毅, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 日本人における成人発症糖尿病サブタイプの臨床的特徴と合併症リスク-福島糖尿病コホート研究-. 第94回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web.

岡本土毅, 島袋充生, 益崎裕章. 玄米機能成分 γ -オリザノールによるアルコール依存軽減の新規脳内メカニズム. 第94回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):288.

田辺隼人, 齋藤悠, 工藤明宏, 待井典剛, 平井裕之, Gulinu Maimaituxun, 田中健一, 渡辺毅, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 日本人における成人発症糖尿病サブタイプの臨床的特徴と糖尿病合併症リスク-福島糖尿病コホート研究. 第94回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):326.

齋藤悠, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 山口瑞希, 滝口善規, 武田光樹, 田辺隼人, 鴻野央征, 待井典剛, 黒田純子, 鈴木悟, 横谷進, 島袋充生. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害の発症頻度-福島県立医科大学における検討. 第94回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):366.

齋藤悠, 田辺隼人, 待井典剛, 佐藤柳子, 大橋裕子, Gulinu Maimaituxun, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 山口瑞希, 滝口善規, 武田光樹, 鴻野央征, 岩崎麻里子, 平井裕之, 渡邊桐子, 工藤明宏, 山口怜, 比嘉盛文, 田中健一, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 若年発症2型糖尿病患者における慢性腎臓病発症リスク-多施設共同コホート研究. 第64回日本糖尿病学会年次学術集会; 20210520-22; Web. 糖尿病. 64(Suppl.1):P-33-1.

高木玄教, 松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 齋藤悠, 田辺隼人, 島袋充生, 鈴木弘行. 異所性ACTH産生の定型カルチノイドとクリプトコッカス感染症を合併した一例. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; 長崎/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO92-7.

田中健一, 木村浩, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 栄養状態不良と慢性腎臓病患者の予後の関連に関する検討. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):465.

木村浩, 田中健一, 江尻博紀, 藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 渡辺秀平, 小田朗, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. PolypharmacyがCKD患者の予後に及ぼす影響に関する検討. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):463.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 慢性腎臓病患者における赤血球分布幅(RDW)と予後の関連について. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):458.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. キサンチンオキシダーゼ阻害薬は糖尿病合併CKDの心血管リスク減少と関連する. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):428.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林史和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規

慢性腎臓病発症と有意に関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):425.

島袋充生. 糖尿病早期治療のコンセプトとエビデンス. 第 34 回日本臨床内科医学会; 20210919-20; Web. 日本臨床内科医学会誌. 36(3):s95.

佐藤直哉, 岡田良, 見城明, 田辺隼人, 西間木淳, 鈴志野聖子, 月田茂之, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡辺淳一郎, 木村隆, 武藤亮, 島袋充生, 丸橋繁. 本邦における膵臓移植・脾臓移植の位置づけ 膵臓移植と膵臓移植の現状 膵臓移植レシピエント登録の推進に向けた取り組み. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web. 膵臓. 36(3):A270.

田中健一, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 木村浩, 風間咲美, 旭浩一, 島袋充生, 渡辺毅, 風間順一郎. 脈拍数と高血圧合併慢性腎臓病患者の予後の関連について. 第 43 回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web. プログラム・抄録集. 320.

盛島菜美, 瀬名波耕二, 座覇明子, 眞境名豊文, 澤紙亜希子, 當眞武, 島袋充生, 比嘉盛文. 認知機能低下症例のインスリン手技習得可否における認知機能検査の有用性の検討. 第 58 回日本糖尿病学会九州地方会; 20211016; Web. 糖尿病. 64(3):248.

堀田悠貴, 田辺隼人, 佐藤雅紘, 滝口善規, 渡邊桐子, 齋藤悠, 岩崎麻里子, 村田強志, 山口明子, 藤森敬也, 島袋充生. 糖尿病性腎症 5 期で自然妊娠し周産期管理に難渋した 1 例. 日本糖尿病学会第 59 回東北地方会; 20211106; 仙台/Web.

長尾匡則, 大平哲也, 岡崎可奈子, 林史和, 中野裕紀, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 抄録集. 343.

過年業績

佐藤雅紘, 鴻野央征, 根本雄飛, 滝口善規, 山口瑞希, 齋藤悠, 武田光樹, 田辺隼人, 待井典剛, 島袋充生. SAP 療法導入により良好な血糖管理が得られたミトコンドリア糖尿病合併妊娠の 1 例. 日本糖尿病学会第 58 回東北地方会; 20201107-16; Web. 糖尿病. 64(4):306.

〔シンポジウム〕

島袋充生. Four practical approaches to reduce cardiovascular diseases in diabetic patients. 19th International Symposium on Atherosclerosis (ISA2021); 20211024-27; 京都/Web.

島袋充生. 高齢糖尿病患者に合併する病態の特徴 高齢糖尿病と動脈硬化性心臓血管病・心不全・心房細動 revisited. 第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会; 20210520-22; Web. 糖尿病. 64(Suppl.1):S23-2.

〔特別講演〕

島袋充生. 糖尿病早期治療のコンセプトとエビデンス. Diabetes Online Seminar in 東北; 20210123; Web.

島袋 充生. コロナ禍における糖尿病治療. 会津医学会学術講演会; 20210127; 会津若松.

島袋 充生. 糖尿病と心不全を考えるーJDS/JCS コンセンサスステートメントを読み解く. FORXIGA TOTAL CARE SYMPSIUM; 20210128; 福島.

島袋 充生. 実践に役立つ 2 型糖尿病治療のエビデンスとプラクティス. T2DM Forum in Tokatsu; 20210201; Web.

島袋 充生. 日常診療における糖尿病のみかた ABCDE. Diabetes WebSeminar in Fukushima; 20210209; Web.

島袋 充生. 糖尿病診療における心臓血管合併症のみかたーJDS/JCS 合同ステートメントを読み解く. T2DM Forum in 東埼玉; 20210210; Web.

島袋 充生. 動脈硬化とはどのような病態かーメタボ・2 型糖尿病と心臓血管病. 第 12 回より良い特定健診・保健指導のためのスキルアップ講座; 20210214; Web.

島袋 充生. 糖尿病と心臓血管合併症ー日常診療における治療方針 ABCDE. 第 6 回 COPD・CKD・糖尿病と心臓血管疾患研究会; 20210220; Web.

島袋 充生. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌代謝有害事象ー病態・診断・治療の up to dateー. 第 2 回 irAE を考える会 in 福島; 20210324; 福島.

島袋 充生. クラスター分類からみた糖尿病の合併症・依存症ー新しい薬剤選択基準を考えるー. 合併症に配慮した糖尿病治療を考える会; 20210331; 福島.

島袋 充生. 糖尿病と心不全を考えるーJDS/JCS コンセンサスステートメントを読み解く. Online Seminar 2021ーSGLT2 阻害薬の新たな位置づけー; 20210421; Web.

島袋 充生. 異所性脂肪と生活習慣病. 第 3 回 DKD SeminarーDiabetic Kidney Disease を考えるー; 20210528; 郡山.

島袋 充生. 糖尿病診療のエビデンスとプラクティスー個別化診療への展開. 第 39 回福岡糖尿病アゴラ; 20210605; 福岡.

島袋 充生. クラスター分類からみた糖尿病の合併症・依存症ー新しい薬剤選択基準を考えるー. Diabetes Web Seminar; 20210609; Web.

島袋 充生. 血糖降下治療法のエビデンスとプラクティスー心臓血管病・癌・生命予後ー. マルチケアフォーラム in 土浦; 20210610; Web.

島袋 充生. 糖尿病と高血圧の診断と治療 up-to-date. 伊達の糖尿病と関連疾患を考える会第 1 回糖尿病と高血圧; 20210616; 福島.

島袋 充生. 日常診療における糖尿病のみかた ABCDE. 糖尿病の未来を考える会; 20210622; 栃木.

島袋充生. 糖尿病と心不全を考えるーJDS/JCS コンセンサスステートメントを読み解くー. Diabetes & Heart Failure Seminar; 20210628; 福島.

島袋充生. 糖尿病と動脈硬化性心臓血管病・心不全・心房細動 再考. 米沢・糖尿病連携 meeting; 20210630; 米沢.

島袋充生. メタボリックシンドロームと2型糖尿病 糖尿病合併症のパターンを読む. 岩手メタボリックシンドローム研究会第18回学術講演会; 20210709; 盛岡/Web.

島袋充生. 糖尿病早期治療のコンセプトとエビデンス. DiaMond Seminar Fukushima; 20210720; 福島.

島袋充生. 糖尿病と心不全 診断と治療のこつ. 福島 Diabetes Online Seminarーこれからの福島県の糖尿病治療の展望ー; 20210728; Web.

島袋充生. 2型糖尿病とNAFLD?MAFLD 病態と治療の関連. KOWA WEBカンファレンス; 20210803; Web.

島袋充生. 心腎代謝連関から考える糖尿病 診断と治療のこつ. 新しい糖尿病治療戦略を考える会; 20210825; 福島.

島袋充生. クラスター分類からみた糖尿病の合併症・依存症 薬物選択を考える. Diabetes Symposium in Fukushima; 20210915; 郡山.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症の治療方針 誰に、何を、どう行うか. いわて脂質異常症カンファレンス; 20210917; Web.

島袋充生. 糖尿病診療における脂質異常症のみかた up to date. 糖尿病と脂質代謝について考える会; 20210929; 福島.

島袋充生. 糖尿病診療における心臓血管病の診かたー冠動脈疾患、心不全、心房細動. 東北 Diabetes WEB 講演会; 20211004; Web.

島袋充生. 糖尿病の合併症・依存症を見据えた薬剤選択のアルゴリズム. 第115回会津循環器懇話会; 20211105; 会津若松.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症の治療方針 誰に、何を、どう行うか. Lipid Management Seminar; 20211125; 岐阜/Web.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症の治療方針 誰に、何を、どう行うか. Lipid Seminar in Yonezawa; 20211126; 米沢.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症の治療方針 誰に、何を、どう行うか. 脂質異常症セミナー; 20211129; 東京/Web.

島袋充生. 病態とアウトカムを考えた糖尿病の治療戦略. 明日からの糖尿病治療を考える会; 20211130; 沖縄/Web.

島袋充生. 糖尿病早期治療のコンセプトとエビデンス. DiaMond Seminar in Tohoku 循環器内科医の為の糖尿病セミナーin 東北; 20211202; 福島/Web.

島袋充生. 日常診療における脂質異常症の治療方針 誰に、何を、どう行うか. 秋脂質異常症 WEB 講演会; 20211208; 秋田/Web.

渡邊桐子. Flash Glucose Monitoring を用いた糖尿病治療経験. ダイアベティスケア WEB セミナー in Fukushima; 20211210; Web.

〔招待講演〕

田辺隼人, 猪狩翔吾, 佐藤恵, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 滝口善規, 山口瑞希, 堀田悠貴, 渡邊桐子, 齋藤悠, 岩崎麻里子, 島袋充生. 臨床研究からみた糖尿病性腎臓病ー糖尿病内科医の視点ー. DKD 研究会 2021; 20210406; 福島.

田辺隼人, 佐藤柳子, 大橋裕子, 猪狩翔吾, 佐藤恵, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 滝口善規, 山口瑞希, 堀田悠貴, 渡邊桐子, 齋藤悠, 岩崎麻里子, 待井典剛, 平井裕之, 田中健一, 工藤明宏, 益崎裕章, 渡辺毅, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 福島糖尿病コホートから考える糖尿病診療の現状と展望ークラスター分類からの考察ー. 福島糖尿病 UPDATE セミナー; 20210729; Web.

田辺隼人, 佐藤柳子, 大橋裕子, 猪狩翔吾, 佐藤恵, 根本雄飛, 佐藤雅紘, 滝口善規, 山口瑞希, 堀田悠貴, 渡邊桐子, 齋藤悠, 岩崎麻里子, 待井典剛, 平井裕之, 田中健一, 工藤明宏, 益崎裕章, 渡辺毅, 旭浩一, 風間順一郎, 島袋充生. 新しい糖尿病分類と心血管病リスク. Diabetes Online Seminarー糖尿病と大血管症ー; 20210917; Web.

脳神経内科学講座

論文

〔原 著〕

Matsuda N, Ootsuki K, Kobayashi S, Nemoto A, Kubo H, Usami SI, Kanani K. A novel case of concurrent occurrence of demyelinating-polyneuropathy-causing PMP22 duplication and SOX10 gene mutation producing severe hypertrophic neuropathy. BMC Neurology. 202106; 21(1):243.

Okano T, Daikoku T, Ugawa Y, Kanai K, Yumoto M. Perceptual uncertainty modulates auditory statistical learning: A magnetoencephalography study. International Journal of Psychophysiology. 202110; 168:65-71.

Matsumoto H, Tokimura R, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Temmoku J, Yashiro-Furuya M, Yoshida K, Takahashi R, Tanaka S, Itagaki Y, Honma M, Matsuda N, Watanabe H, Migita K, Kanai K. Meningoencephalitis in relapsing polychondritis: A case report. *Medicine*. 202106; 100(24):e26315.

Hayashida A, Li Y, Yoshino H, Daida K, Ikeda A, Ogaki K, Fuse A, Mori A, Takanashi M, Nakahara T, Yoritaka A, Tomizawa Y, Furukawa Y, Kanai K, Nakayama Y, Ito H, Ogino M, Hattori Y, Hattori T, Ichinose Y, Takiyama Y, Saito T, Kimura T, Aizawa H, Shoji H, Mizuno Y, Matsushita T, Sato M, Sekijima Y, Morita M, Iwasaki A, Kusaka H, Tada M, Tanaka F, Sakiyama Y, Fujimoto T, Nagara Y, Kashiwara K, Todo H, Nakao K, Tsuruta K, Yoshikawa M, Hara H, Yokote H, Murase N, Nakamagoe K, Tamaoka A, Takamiya M, Morimoto N, Nokura K, Kako T, Funayama M, Nishioka K, Hattori N. The identified clinical features of Parkinson's disease in homo-, heterozygous and digenic variants of PINK1. *Neurobiology of Aging*. 202101; 97:146.e1-146.e13.

Matsuda N, Abe D, Fujita Y, Kanai K. MRI mapping of muscle denervation in mononeuropathy multiplex due to eosinophilic granulomatosis with polyangiitis. *Neurology and Clinical Neuroscience*. 202109; 9(5):406-407.

研究発表等

〔その他〕

赤沼春菜, 板垣裕也, 阿部暖, 吉田健二, 林田有紗, 松田希, 金井数明, 岩橋兼尚, 小島隆生, 浅野智之, 右田清志, 小林靖幸, 内海滉人, 橋本優子. 巨細胞性動脈炎に脳梗塞、くも膜下出血を合併した 85 歳男性例. 第 26 回福島脳血管障害治療研究会; 20210626; Web.

呼吸器内科学講座

論文

〔原 著〕

Machida H, Inoue S, Shibata Y, Kimura T, Sato K, Abe K, Murano H, Yang S, Nakano H, Sato M, Nemoto T, Sato C, Nishiwaki M, Yamauchi K, Igarashi A, Tokairin Y, Watanabe M. Thymus and activation-regulated chemokine (TARC/CCL17) predicts decline of pulmonary function in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Allergology International*. 202101; 70(1):81-88.

Shirai T, Tanino Y, Nikaido T, Takaku Y, Hashimoto S, Taguchi Y, Baba T, Ogura T, Kataoka K, Nakayama M, Yamada Y, Matsushima S, Nakayama S, Miyazaki Y. Screening and diagnosis of acute and chronic bird-

related hypersensitivity pneumonitis by serum IgG and IgA antibodies to bird antigens with ImmnoCAP®. *Allergy International*. 202104; 70(2):208-214.

Gono T, Masui K, Nishina N, Kawaguchi Y, Kawakami A, Ikeda K, Kirino Y, Sugiyama Y, Tanino Y, Nunokawa T, Kaneko Y, Sato S, Asakawa K, Ukichi T, Kaieda S, Naniwa T, Okano Y, Kuwana M; the Multicenter Retrospective Cohort of Japanese Patients with Myositis-Associated ILD (JAMI) Investigators. Risk stratification modeling based on a combination of initial serum biomarkers in myositis-associated interstitial lung disease: JAMI risk score. *Arthritis & Rheumatology*. 202104; 73(4):677-686.

Sakamoto S, Kataoka K, Kondo Y, Kato M, Hoshino T, Mukae H, Bando M, Suda T, Kido T, Tanino Y, Kishaba T, Hattori N, Taguchi Y, Saitoh T, Nishioka Y, Kuwano K, Kishi K, Inase N, Sasaki S, Takizawa H, Johkoh T, Sakai F, Homma S, Homma S; Diffuse Lung Diseases Research Group of the Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan. Pirfenidone plus inhaled N-acetylcysteine for idiopathic pulmonary fibrosis: a randomized trial. *European Respiratory Journal*. 202101; 57(1):2000348.

Kawashima Y, Harada T, Fujita Y, Nakagawa T, Watanabe K, Morikawa N, Takamura K, Kanazawa K, Kuda T, Usui K, Sekine A, Inoue A, Sugawara S. Randomized phase II trial of carboplatin + nab-paclitaxel versus cisplatin + gemcitabine for chemotherapy-naïve squamous cell carcinoma: North Japan lung cancer study group 1302. *International Journal of Clinical Oncology*. 202103; 26(3):515-522.

Machida H, Inoue S, Shibata Y, Kimura T, Ota T, Ishibashi Y, Murano H, Furuyama K, Yang S, Nakano H, Sato K, Sato M, Nemoto T, Nishiwaki M, Yamauchi K, Igarashi A, Watanabe M. The incidence and risk analysis of lung cancer development in patients with chronic obstructive pulmonary disease: Possible effectiveness of annual ct-screening. *International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease*. 202103; 16:739-749.

Mori H, Ohkawara H, Togawa R, Rikimaru M, Shibata Y, Ikezoe T. Diagnosis and treatment of disseminated intravascular coagulation in COVID-19 patients: a scoping review. *International Journal of Hematology*. 202103; 113(3):320-329.

Sato S, Saito J, Fukuhara A, Uematsu M, Suzuki Y, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Koizumi T, Togawa R, Sato Y, Nikaïdo T, Minemura H, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Association Between Sleep Characteristics and Asthma Control in Middle-Aged and Older Adults: A Prospective Cohort Study. *Journal of Asthma and Allergy*. 202104; 14:325-334.

Anan K, Kataoka Y, Okabayashi S, Yamamoto R, Namkoong H, Yamamoto Y. Diagnostic accuracy of *Aspergillus*-specific antibodies for chronic pulmonary aspergillosis: A systematic review and meta-analysis. *Mycoses*. 202107; 64(7):701-715.

COVID-19 Host Genetics Initiative(Shibata Y, Tanino Y, Sato Y, et al). Mapping the human genetic architecture of COVID-19. *Nature*. 202112; 600(7889):472.

Sakaue S, Yamaguchi E, Inoue Y, Takahashi M, Hirata J, Suzuki K, Ito S, Arai T, Hirose M, Tanino Y, Nikaïdo T, Ichiwata T, Ohkouchi S, Hirano T, Takada T, Miyawaki S, Dofuku S, Maeda Y, Nii T, Kishikawa T,

Ogawa K, Masuda T, Yamamoto K, Sonehara K, Tazawa R, Morimoto K, Takaki M, Konno S, Suzuki M, Tomii K, Nakagawa A, Handa T, Tanizawa K, Ishii H, Ishida M, Kato T, Takeda N, Yokomura K, Matsui T, Watanabe M, Inoue H, Imaizumi K, Goto Y, Kida H, Fujisawa T, Suda T, Yamada T, Satake Y, Ibata H, Hizawa N, Mochizuki H, Kumanogoh A, Matsuda F, Nakata K, Hirota T, Tamari M, Okada Y. Genetic determinants of risk in autoimmune pulmonary alveolar proteinosis. *Nature Communications*. 202102; 12(1):1032.

Matsunaga K, Kuwahira I, Hanaoka M, Saito J, Tsuburai T, Fukunaga K, Matsumoto H, Sugiura H, Ichinose M, Japanese Respiratory Society Assembly on Pulmonary Physiology. An official JRS statement: The principles of fractional exhaled nitric oxide (FeNO) measurement and interpretation of the results in clinical practice. *Respiratory investigation*. 202101; 59(1):34-52.

Mukae H, Kaneko T, Obase Y, Shinkai M, Katsunuma T, Takeyama K, Terada J, Niimi A, Matsuse H, Yatera K, Yamamoto Y, Azuma A, Arakawa H, Iwanaga T, Ogawa H, Kurahashi K, Gon Y, Sakamoto H, Shibata Y, Tamada T, Nishioka Y, Haranaga S, Fujieda S, Miyashita N, Mochizuki H, Yokoyama A, Yoshihara S, Tamaoki J. The Japanese respiratory society guidelines for the management of cough and sputum (digest edition). *Respiratory Investigation*. 202105; 59(3):270-290.

Hisata S, Bando M, Homma S, Kataoka K, Ogura T, Izumi S, Sakamoto S, Watanabe K, Saito Y, Shimizu Y, Kato M, Nishioka Y, Hara H, Waseda Y, Tanino Y, Yatera K, Hashimoto S, Mukae H, Inase N; Diffuse Lung Diseases Research Group of the Ministry of Health, Labor and Welfare, Japan. Safety and tolerability of combination therapy with pirfenidone and nintedanib for idiopathic pulmonary fibrosis: a multicenter retrospective observational study in Japan. *Respiratory Investigation*. 202111; 59(6):819-826.

Watanabe K, Toi Y, Nakamura A, Chiba R, Akiyama M, Sakakibara-Konishi J, Tanaka H, Yoshimura N, Miyauchi E, Nakagawa T, Igusa R, Minemura H, Mori Y, Fujimoto K, Matsushita H, Takahashi F, Fukuhara T, Inoue A, Sugawara S, Maemondo M; North Japan Lung Cancer Study Group, Sendai, Japan. Randomized phase II trial of uracil/tegafur and cisplatin versus pemetrexed and cisplatin with concurrent thoracic radiotherapy for locally advanced unresectable stage III non-squamous non-small cell lung cancer: NJLCG1001. *Translational Lung Cancer Research*. 202102; 10(2):712-722.

齋藤純平. アレルギー用語解説シリーズ 顆粒球減少型喘息 (Paucigranulocytic asthma) . アレルギー. 202106; 70(4):321-322.

柴田陽光. 【慢性咳嗽ー古い症状・新しい知見】慢性閉塞性肺疾患, カレントセラピー. 202108; 39(8):732-737.

齋藤純平. 好中球性炎症のバイオマーカーH2S. 呼吸器内科. 202104; 39(4):335-342.

井上純人, 柴田陽光. 日本発の COPD コホート研究 山形高畠研究. 呼吸器内科. 202104; 39(4):355-359.

柴田陽光. 【呼吸器疾患ガイドライン (改訂/発刊) がもたらしたものと、次回改訂に向けた課題】 COPD 診断と治療のためのガイドライン 2018 (日本呼吸器学会) 2018 年 4 月改訂. 呼吸器内科. 202105; 39(5):384-387.

柴田陽光. 【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第 1 章) 呼吸器 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) . 内科.

202104; 127(4):516-518.

〔総説等〕

Suzuki Y, Saito J, Munakata M, Shibata Y. Hydrogen sulfide as a novel biomarker of asthma and chronic obstructive pulmonary disease. *Allergology International*. 202104; 70(2):181-189.

谷野功典. 【呼吸器症候群（第3版）—その他の呼吸器疾患を含めて—】びまん性肺炎疾患 じん肺および室内・大気環境汚染による肺疾患 炭坑夫肺. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 202110; No.19:218-222

〔症例報告〕

Suzuki Y, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Umeda T, Rikimaru M, Onuma T, Naito S, Takiguchi Y, Tomita H, Kawamata T, Togawa R, Sato Y, Uematsu M, Morimoto J, Kitakawa K, Tsukada Y, Nakamura K, Kanemitsu K, Iseki K, Shibata Y. Severe Coronavirus Disease 2019 That Recovered from Respiratory Failure by Treatment That Included High-dose Intravenous Immunoglobulin. *Internal Medicine*. 202102; 60(3):457-461.

〔その他〕

Shibata Y, Muro S, Yokoyama A, Hashimoto S. Statement from the Japanese Respiratory Society: Working diagnosis and initial management of COPD during the COVID-19 pandemic. *Respiratory Investigation*. 202107; 59(4):385-388.

柴田陽光, 室繁郎, 横山彰仁, 橋本修. 診療ガイドライン at a glance COVID-19 流行期日常診療における慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の作業診断と管理手順. *日本内科学会雑誌*. 202104; 110(4):785-793.

著 書・訳 書

齋藤純平 (分担執筆). In: 「喘息予防・管理ガイドライン 2021」作成委員 作成, 協和企画 編集. 喘息予防・管理ガイドライン 2021. 東京: 協和企画; 202110.

研究発表等

〔研究発表〕

Kawamata T, Tanino Y, Nikaido T, Sato Y, Togawa R, Yamada R, Sato R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Umeda T, Rikimaru M, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Efficacy of concurrent administration of tocilizumab with corticosteroids for patients with COVID-19. 25th Congress of the APSR; 20211120; Kyoto.

Nikaido T, Tanino Y, Sato Y, Togawa R, Kawamata T, Fukuhara N, Yamada R, Fujii R, Onuma T, Tomita H,

Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Umeda T, Morimoto J, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. Clinical significance of serum heart-type fatty acid-binding protein (H-FABP) in acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias. 25th Congress of the APSR; 20211120; Kyoto.

Rikimaru M, Saito J, Suzuki Y, Fukuhara A, Tanino Y, Shibata Y. The time course of type 2 biomarkers in asthmatics treated with dupilumab. 25th Congress of the APSR; 20211120; Kyoto.

Sato Y, Tanino Y, Nikaido T, Togawa R, Kawamata T, Fukuhara N, Fuji R, Yamada R, Onuma T, Tomita H, Saito M, Watanabe N, Rikimaru M, Umeda T, Suzuki Y, Minemura H, Saito J, Kanazawa K, Shibata Y. High incidence of MPO-ANCA positive interstitial pneumonia during the COVID-19 pandemic. 25th Congress of the APSR; 20211120; Kyoto.

Suzuki Y, Saito J, Rikimaru M, Fukuhara A, Kawamata T, Togawa R, Sato Y, Nikaido T, Fukuhara N, Tanino Y, Shibata Y. Clinical application of serum and sputum YKL-40 in Asthma, ACO and COPD. 25th Congress of the APSR; 20211120; Kyoto.

森本樹里亜, 鈴木康仁, 大沼巧, 梅田隆志, 力丸真美, 峯村浩之, 二階堂雄文, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 珪肺に全身性強皮症とシェーグレン症候群を合併した一例. 第222回日本内科学会東北地方会; 20210220; Web.

鈴木康仁, 齋藤純平, 佐藤俊, 福原敦朗, 植松学, 力丸真美, 大沼巧, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 齋藤美加子, 梅田隆志, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 当科における重症成人喘息患者に対する生物学的製剤の使用経験. Allergist in Tohoku Online Meeting; 20210310; Web.

東川隆一, 谷野功典, 二階堂雄文, 河俣貴也, 佐藤佑樹, 河俣貴也, 福原奈緒子, 大沼巧, 富田ひかる, 齋藤美加子, 梅田隆志, 力丸真美, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. IPF以外の特発性間質性肺炎における進行性フェノタイプ (PF-ILD) の臨床的特徴. 第61回日本呼吸器学会学術講演会; 20210423-25; 東京/Web.

二階堂雄文, 谷野功典, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 福原奈緒子, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 梅田隆志, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 植松学, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 特発性間質性肺炎急性増悪における血中心臓由来脂肪酸結合蛋白の臨床的有用性の検討. 第61回日本呼吸器学会学術講演会; 20210423; 東京/Web.

河俣貴也, 谷野功典, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 梅田隆志, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 植松学, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. COVID-19患者に対するトシリズマブ・メチルプレドニゾロン併用療法の効果. 第61回日本呼吸器学会学術講演会; 20210424; 東京/Web.

佐藤佑樹, 谷野功典, 二階堂雄文, 東川隆一, 河俣貴也, 福原奈緒子, 大沼巧, 富田ひかる, 力丸真美, 梅田隆志, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. COVID-19パンデミックにおいてMPO-ANCA陽性間質性肺炎が増加している. 第61回日本呼吸器学会学術講演会; 20210424; 東京/Web.

鈴木康仁, 二階堂雄文, 梅田隆志, 齋藤美加子, 東川隆一, 佐藤佑樹, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 急

速な進行を呈した肺 *Aspergillus niger* 症の 2 例. 第 223 回日本内科学会東北地方会; 20210619; Web.

梅田隆志, 峯村浩之, 金沢賢也, 平井健一郎, 大沼巧, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 齋藤美加子, 力丸真美, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 鈴木康仁, 植松学, 二階堂雄文, 福原敦朗, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 当科におけるクライオバイオプシーの実施経験. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web.

鈴木康仁, 齋藤純平, 福原敦朗, 力丸真美, 大沼巧, 富田ひかる, 渡邊菜摘, 齋藤美加子, 梅田隆志, 河俣貴也, 森本樹里亜, 東川隆一, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 二階堂雄文, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 重症成人喘息患者に対してメボリズムマブからベンラリズムマブへの切り替えで効果が得られた 1 例. みちのく SALINK #3; 20210727; 福島/Web.

力丸真美, 鈴木康仁, 佐藤理子, 大沼巧, 富田ひかる, 梅田隆志, 河俣貴也, 森本樹里亜, 佐藤佑樹, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. 肺 M. abscessus 感染症を契機に特発性間質性肺炎急性増悪を発症したと考えられた一例. 第 113 回日本呼吸器学会東北地方会/第 143 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会; 20210904; Web.

力丸真美, 齋藤純平, 福原敦朗, 鈴木康仁, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光. 当院の重症喘息におけるデュピルマブの治療効果と Type2 炎症のバイオマーカーとの関係. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会; 20211008; 横浜/Web.

鈴木康仁, 齋藤純平, 力丸真美, 福原敦朗, 佐藤俊, 谷野功典, 柴田陽光. 気管支喘息, ACO, COPD 患者における尿中 NGAL の臨床的検討. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会; 20211010; 横浜/Web.

峯村浩之, 金沢賢也, 梅田隆志, 東川隆一, 谷野功典, 柴田陽光. 非小細胞肺癌に対する 1 次治療における免疫チェックポイント阻害薬単剤療法と化学療法併用療法の比較. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211127; 横浜.

齋藤純平, 酒井千賀, 吉田真奈美, 吉田祐樹, 寺島玄, 杉山拓洋, 新実彰男. Pep Up®におけるアンケートとレセプトデータによる新規研究手法: 咳嗽に関する研究から. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

齋藤純平. 喘息診断・管理における Type2 炎症マーカーとしての呼気 NO 測定意義. 第 30 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20210319; 京都/Web.

齋藤純平. 呼気ガスを用いた気道炎症の評価法. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210625; 名古屋/Web.

谷野功典. 福島県立医科大学における COVID-19 診療の取り組み. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; 福島.

齋藤純平. 喘息における non-type2 炎症の病態と期待されるバイオマーカー. 第 2 回日本喘息学会総会学術大会; 20210717; 大阪.

齋藤純平. 閉塞性肺疾患における好中球性炎症のバイオマーカー. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会; 20211008; 横浜/Web.

谷野功典. 過敏性肺炎診断における血中鳥特異的 IgG の臨床的な役割について. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会; 20211009; 横浜/Web.

〔特別講演〕

齋藤純平. デュピクセントが切り開く新たな重症喘息治療～生物学的製剤をどう選択するか～. AIRWAY Meeting; 20210123, 20210207, 20210226; Web.

齋藤純平. これだけはおさえておきたい！～喘息の吸入療法～. Asthma Live Seminar in Fukushima; 20210311; 福島.

齋藤純平. 良好な喘息コントロールを得るために必要な抗炎症療法とそのモニタリング. 東北レルベア WEB 講演会; 20210322; Web.

齋藤純平. Type2 炎症のバイオマーカーを用いた重症喘息治療への取り組み～当科における生物学的製剤の治療成績を含めて～. IgE Forum 2021; 20210415; Web.

齋藤純平. 福島県内のアレルギー診療充実に向けて. Fukushima Allergic Seminar; 20210520; 福島.

齋藤純平. これだけはおさえておきたい！～気管支喘息の診断と治療～. 米沢市医師会学術講演会; 20210526; Web.

谷野功典. サルコイ ドーシスの呼吸器病変を考える. 難治性疾患研究会～サルコイ ドーシスにおける臓器別病態の理解を深める～; 20210628; 福島.

齋藤純平. 好酸球の視点から見る重症喘息の治療戦略. 重症喘息治療を考える会; 20210707; 福島.

齋藤純平. Type2 炎症のバイオマーカーを用いた重症喘息治療への取り組み～トリプル製剤と生物学的製剤のポジショニング～. Asthma Forum in East Saitama; 20210712; Web.

齋藤純平. 喘息の長期管理において吸入薬をどう使い分けていくか？～デュアル製剤か？トリプル製剤か？～. 第 40 回西横浜喘息・COPD 懇話会; 20210910; Web.

齋藤純平. 重症喘息においてデュピクセントが切り開く新たな治療戦略. Sanofi Asthma Treatment Strategy Forum WEB; 20210927; Web.

齋藤純平. 喘息の吸入薬の選択～デュアルとトリプルどちらを選択するか？～. GSK Asthma Web Seminar; 20211025; Web.

齋藤純平. 重症喘息においてデュピクセントが切り開く新たな治療戦略. 第 3 回多摩重症喘息治療研究会; 20211028; 東京.

〔その他〕

河俣貴也, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 齋藤美加子, 富田ひかる, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 谷野功典, 柴田陽光. Capillary leak syndrome が疑われステロイドパルス療法により救命できた膿疱性乾癬の一例. 第 112 回日本呼吸器学会東北地方会; 20210313; Web.

鈴木康仁. 喘息治療の総論と重症喘息に対する生物学的製剤. サノフィ社内講演会; 20210428; 福島/Web.

力丸真美. デュピルマブを投与した重症難治性喘息患者のまとめ. Fukushima Allergic Seminar; 20210520; 福島/Web.

鈴木康仁. 喘息治療の総論と重症喘息に対する生物学的製剤. アストラゼネカ社内講演会; 20210526; 福島/Web.

鈴木康仁. 喘息の診断・治療と COVID-19 の総論・治療について. Respiratory CARAVAN in TOHOKU; 20210604; 福島/Web.

峯村浩之, 金沢賢也, 梅田隆志, 二階堂雄文, 佐藤佑樹, 河俣貴也, 森本樹里亜, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 東川隆一, 鈴木康仁, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. クライオバイプシーを用いた経気管支肺生検により遺伝子パネル検査で KRAS 遺伝子変異を検出できた浸潤性粘液産生腺癌の一例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会/第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web.

大沼巧, 鈴木康仁, 峯村浩之, 東川隆一, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 金沢賢也, 齋藤純平, 谷野功典, 柴田陽光. 胃粘膜下の胃癌が原発と考えられ、皮膚転移を来した癌性リンパ管症の 1 例. 第 224 回日本内科学会東北地方会; 20210918; Web.

渡邊菜摘, 谷野功典, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 東川隆一, 河俣貴也, 佐藤理子, 山田龍輝, 大沼巧, 富田ひかる, 齋藤美加子, 力丸真美, 梅田隆志, 森本樹里亜, 鈴木康仁, 峯村浩之, 齋藤純平, 金沢賢也, 柴田陽光. 血清 IgG4 高値と抗リン脂質抗体陽性を示し肺野多発結節影を呈した 1 例. 東北びまん性肺疾患研究会; 20211106; 福島.

消化管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Neupane P, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Ito M, Thar Min AK, Saito K, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. The Expression of Immune Checkpoint Receptors and

Ligands in the Colorectal Cancer Tumor Microenvironment. *Anticancer Research*. 202110; 41(10):4895-4905.

Kawamura H, Honda M, Takiguchi K, Kamiga T, Saito K, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Saji S, Kono K, Konno S. Clinical Impact of Primary Tumor Site in Stage IV Colorectal Cancer: A Statewide Cohort Study. *Anticancer Research*. 202111; 41(11):5693-5702.

Miyanaga A, Matsumoto M, Beck JA, Horikawa I, Oike T, Okayama H, Tanaka H, Burkett SS, Robles AI, Khan M, Lissa D, Seike M, Gemma A, Mano H, Harris CC. EML4-ALK induces cellular senescence in mortal normal human cells and promotes anchorage-independent growth in hTERT-transduced normal human cells. *BMC Cancer*. 202103; 21(1):310.

Saze Z, Kase K, Nakano H, Yamauchi N, Kaneta A, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Momma T, Kono K. Functional benefits of the double flap technique after proximal gastrectomy for gastric cancer. *BMC Surgery*. 202111; 21(1):392.

Thar Min AK, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Therapeutic potential of anti-VEGF receptor 2 therapy targeting for M2-tumor-associated macrophages in colorectal cancer. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202102; 70(2):289-298.

Momma T, Okayama H, Kanke Y, Fukai S, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Ohki S, Kono K. Validation of Gene Expression-Based Predictive Biomarkers for Response to Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Locally Advanced Rectal Cancer. *Cancers*. 202109; 13(18):4642.

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promotor hypermethylation. *Carcinogenesis*. 202102; 42(1):21-30.

Watanabe M, Tachimori Y, Oyama T, Toh Y, Matsubara H, Ueno M, Kono K, Uno T, Ishihara R, Muro K, Numasaki H, Tanaka K, Ozawa S, Murakami K, Usune S, Takahashi A, Miyata H; Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society. Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2013. *Esophagus*. 202101; 18(1):1-24.

Ujiie D, Matsumoto T, Endo E, Okayama H, Fujita S, Kanke Y, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Ohki S, Kono K. Circulating tumor cells after neoadjuvant chemotherapy are related with recurrence in esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus*. 202107; 18(3):566-573.

Yamada L, Saito M, Thar Min AK, Saito K, Ashizawa M, Kase K, Nakajima S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Selective sensitivity of EZH2 inhibitors based on synthetic lethality in ARID1A-deficient gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202101; 24(1):60-71.

Mimura K, Kua LF, Xiao JF, Asuncion BR, Nakayama Y, Syn N, Fazreen Z, Soong R, Kono K, Yong WP. Combined inhibition of PD-1/PD-L1, Lag-3, and Tim-3 axes augments antitumor immunity in gastric cancer-T

cell coculture models. *Gastric Cancer*. 202105; 24(3):611-623.

Nakayama Y, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Takiguchi K, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Benefit of intensive chemotherapy for elderly patients aged 80 years or older with metastatic colorectal cancer: a state-wide multicenter cohort study. *International Journal of Clinical Oncology*. 202107; 26(7):1248-1256.

Takao M, Yamaguchi T, Eguchi H, Yamada T, Okazaki Y, Tomita N, Nomizu T, Momma T, Takayama T, Tanakaya K, Akagi K, Ishida H. APC germline variant analysis in the adenomatous polyposis phenotype in Japanese patients. *International Journal of Clinical Oncology*. 202109; 26(9):1661-1670.

Hori S, Honda M, Kobayashi H, Kawamura H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. A grading system for predicting the prognosis of gastric cancer with liver metastasis. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202111; 51(11):1601-1607.

Sakamoto W, Ohki S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Long-term Outcomes of Lower Rectal Cancer Patients Treated with Total Mesorectal Excision and Lateral Pelvic Lymph Node Dissection after Preoperative Radiotherapy or Chemoradiotherapy. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 202104; 5(2):129-136.

Neupane P, Bhandari D, Tsubokura M, Shimazu Y, Zhao T, Kono K. The Nepalese health care system and challenges during COVID-19. *Journal of Global Health*. 202102; 11:03030.

Suzuki K, Gonda K, Kishimoto Y, Katsumoto Y, Takenoshita S. Potential curing and beneficial effects of Ooitabi (*Ficus pumila* L.) on hypertension and dyslipidaemia in Okinawa. *Journal of Human Nutrition and Dietetics*. 202104; 34(2):395-401.

Yang HK, Ji J, Han SU, Terashima M, Li G, Kim HH, Law S, Shabbir A, Song KY, Hyung WJ, Kosai NR, Kono K, Misawa K, Yabusaki H, Kinoshita T, Lau PC, Kim YW, Rao JR, Ng E, Yamada T, Yoshida K, Park DJ, Tai BC, So JBY; EXPEL study group. Extensive peritoneal lavage with saline after curative gastrectomy for gastric cancer (EXPEL): a multicentre randomised controlled trial. *Lancet Gastroenterology & Hepatology*. 202102; 6(2):120-127.

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant Chemotherapy Induces IL34 Signaling and Promotes Chemoresistance via Tumor-Associated Macrophage Polarization in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Gonda K, Kanazawa H, Maeda G, Matayoshi C, Hirose N, Katsumoto Y, Kono K, Takenoshita S. Ingestion of Okinawa Island Vegetables Increases IgA Levels and Prevents the Spread of Influenza RNA Viruses. *Nutrients*. 202105; 13(6):1773.

Gonda K, Suzuki K, Sunabe Y, Kono K, Takenoshita S. *Ficus pumila* L. improves the prognosis of patients

infected with HTLV-1, an RNA virus. *Nutrition Journal*. 202102; 20(1):16.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Kobayashi Y, Kumamoto K, Okayama H, Matsumoto T, Nakano H, Saito K, Matsumoto Y, Endo E, Kanke Y, Watanabe Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Downregulation of PAICS due to loss of chromosome 4q is associated with poor survival in stage III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 202102; 16(2):e0247169.

Gonda K, Horita S, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Soluble interleukin-2 receptor as a predictive and prognostic marker for patients with familial breast cancer. *Science Progress*. 202107; 104(3):368504211039590.

Nakano H, Saito M, Nakajima S, Saito K, Nakayama Y, Kase K, Yamada L, Kanke Y, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Goto A, Kono K. PD-L1 overexpression in EBV-positive gastric cancer is caused by unique genomic or epigenomic mechanisms. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1982.

Petersen SH, Kua LF, Nakajima S, Yong WP, Kono K. Chemoradiation induces upregulation of immunogenic cell death-related molecules together with increased expression of PD-L1 and galectin-9 in gastric cancer. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):12264.

Nakajima S, Mimura K, Matsumoto T, Thar Min AK, Ito M, Nakano H, Neupane P, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Momma T, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Kono K. The effects of T-DXd on the expression of HLA class I and chemokines CXCL9/10/11 in HER2-overexpressing gastric cancer cells. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16891.

Takeshita E, Ishibashi K, Koda K, Oda N, Yoshimatsu K, Sato Y, Oya M, Yamaguchi S, Nakajima H, Momma T, Maekawa H, Tsubaki M, Yamada T, Kobayashi M, Tanakaya K, Ishida H. The updated five-year overall survival and long-term oxaliplatin-related neurotoxicity assessment of the FACOS study. *Surgery Today*. 202108; 51(8):1309-1319.

Kawamura H, Ogawa Y, Yamazaki H, Honda M, Kono K, Konno S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Impact of Primary Tumor Resection on Mortality in Patients with Stage IV Colorectal Cancer with Unresectable Metastases: A Multicenter Retrospective Cohort Study. *World Journal of Surgery*. 202110; 45(10):3230-3239.

鷹翔太郎, 巖康仁, 佐藤公太, 千代延記道, 坂井義博, 丸山裕也, 杉本桃子, 深井智司, 赤繁徹, 遠藤久仁, 伊藤泰輔, 山田睦夫, 石井芳正, 今村秀道, 山崎繁. COVID-19 パンデミックによる当院での急性胆嚢炎診療への影響. 太田総合病院学術年報. 202109; 56:11-18.

望月翔太郎, 山田玲央, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 中島隆宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 術前確定診断された肺癌胃転移に対して腹腔鏡下切除術を施行した1例. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1057-1060.

三村耕作, 菊池智宏, 河野浩二. 【腸内細菌とがん微小環境のかかわり】大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌と腫瘍浸潤免疫担当細胞の関連について. 癌と化学療法. 202109; 48(9):1093-1095.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損大腸癌における糖鎖抗原を標的とした免疫療法の可能性. 癌と化学療法. 202110; 48(10):1275-1277.

大木進司, 岡山洋和, 千田峻, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. High Risk Stage II 大腸癌における Glasgow Prognostic Score の意義と治療戦略. 癌と化学療法. 202112; 48(13):1770-1773.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. 日本外科学会雑誌. 202101; 122(1):90-92.

小野澤寿志, 山田玲央, 菅家康之, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之. 敗血症と DIC を合併した非穿孔性急性虫垂炎の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌. 202106; 74(6):364-368.

仲野宏, 渡辺洋平, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う胃十二指腸動脈瘤により出血性十二指腸潰瘍をきたした1例. 日本腹部救急医学会雑誌. 202109; 41(6):449-452.

白岩彩, 古川茂宜, 藤森実杜, 福田冬馬, 植田牧子, 遠藤雄大, 小島学, 小野澤寿志, 坂本渉, 添田周, 渡邊尚文, 鈴木博志, 藤森敬也. 卵巣腫瘍茎捻転との鑑別を要し、腹腔鏡下に整復し得た子宮広間膜ヘルニアの一例. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):41-45.

河野浩二. FOCUS 複合的免疫療法 放射線照射とがん免疫療法の併用療法. 臨床外科. 202103; 76(3):356-361.

〔総説等〕

Ujiie D, Okayama H, Kono K. The role of KRT17 in colorectal cancer. Aging. 202108; 13(16):19950-19951.

Saito M, Kono K. Landscape of EBV-positive gastric cancer. Gastric Cancer. 202109; 24(5):983-989.

河野浩二. 胃癌の免疫療法. 医学と薬学. 202109; 78(10):1183-1190.

鷹翔太郎, 巖康仁, 佐藤公太, 千代延記道, 坂井義博, 丸山裕也, 杉本桃子, 深井智司, 赤繁徹, 遠藤久仁, 伊藤泰輔, 山田睦夫, 石井芳正, 山崎繁. 「《緊急特別企画》パンデミック状況下における外科診療と教育」 COVID-19 パンデミックによる急性胆嚢炎診療への影響. 日本外科学会雑誌. 202109; 122(5):561-564.

〔症例報告〕

Miyabe K, Saito M, Koyama K, Umakoshi M, Ito Y, Yoshida M, Kudo-Asabe Y, Saito K, Nanjo H, Maeda D, Matsusaka K, Goto A, Kono K. Collision of Epstein-Barr virus-positive and -negative gastric cancer, diagnosed by molecular analysis: a case report. BMC Gastroenterology. 202103; 21(1):97.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Hanayama H, Saze Z, Kobayakawa M, Kono K, Ohira H. Gastric carcinoma with lymphoid stroma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. Clinical Journal of Gastroenterology. 202104; 14(2):471-477.

小島つかさ, 小山善久, 伊藤美郷, 早瀬傑, 齋藤勝, 阿美弘文, 内海康文, 川名聡. がん検診で発見された Solid-pseudopapillary neoplasm の一例. 大原記念財団年報. 202108; 57:37-43.

角田圭一, 青砥慶太, 大須賀文彦, 田崎和洋, 遠藤豪一. Rhabdoid feature を呈し急速に進行した横行結腸癌の1例. 日本臨床外科学会雑誌. 202107; 82(7):1376-1380.

竹村真生子, 岡崎護, 羽成直行, 徳田恵美, 田辺真彦, 林嗣博, 水谷知央, 林孝朗, 中村優飛, 根本悠里, 佐久間芽衣, 叶多諒, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾, 山口佳子, 興石直樹. Everolimus+Exemestane 療法後に腫瘍崩壊症候群をきたした進行乳癌の一例. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):35-40.

〔その他〕

河野浩二, 藤原俊義. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミック時の食道癌手術で気をつけることは? ICU の機能低下や、人工呼吸器不足、医療チームのマンパワーなどを慎重に判断して、食道癌の手術療法を実施する必要がある. 日本医事新報. 202101; (5046):50-51.

研究発表等

〔研究発表〕

Kono K. Immunoradiotherapy for Gastric Cancer. 12TH SGCC ASM; 20210714-15; Singapore/Web.

Kono K, Mimura K Ogata T, Yoshimoto Y, Yoshida D, Nakajima S, Sato H, Machida N, Yamada T, Watanabe Y, Tamaki T, Fujikawa H, Inokuchi Y, Onozawa H, Hayase S, Hanayama H, Saze Z, Katoh H, Oshima T, Suzuki Y. Phase I/II clinical trial of combination of anti-PD-1 mAb, nivolumab with radiotherapy for unresectable and recurrent gastric cancer who failed to standard chemotherapy (CIRCUIT trial). ESMO Congress 2021; 20210916-21; Paris, France/Web.

和栗聡, 河野浩二 (司会). ワークショップ: 一歩先の癌免疫治療. 第29回日本癌病態治療研究会; 20210114-15; 誌上.

柴田昌彦（特別発言）．ワークショップ：一歩先の癌免疫治療．第 29 回日本癌病態治療研究会; 20210114-15; 誌上.

大平怜，菅野有紀子，木村友哉，小嶋祐紀，佐久間千陽，浅間宏之，児玉健太，黒田聖仁，角田圭一，青砥慶太，大須賀文彦，遠藤豪一．診断に難渋した右傍十二指腸ヘルニアを伴う成人腸回転異常症の 1 例．日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web.

大木進司，山田玲央，加瀬晃志，花山寛之，渡辺洋平，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．当科における EB ウィルス関連胃癌の臨床病理学歴検討．第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

金田晃尚，加瀬晃志，山内直人，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．胃癌術後補助化学療法の実態．第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

佐瀬善一郎，加瀬晃志，山内直人，金田晃尚，菅家康之，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，河野浩二．神経温存および腹腔内フラップ作成による胃 GIST に対する腹腔鏡下噴門側胃切除術上川法再建．第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

花山寛之，加瀬晃志，山内直人，金田晃尚，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．当院における HER2 陽性進行再発胃癌に対する化学療法の治療成績．第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

渡辺洋平，仲野宏，加瀬晃志，山内直人，伊藤美郷，松本拓朗，金田晃尚，菅家康之，花山寛之，早瀬傑，佐瀬善一郎，三村耕作，河野浩二．切除不能進行・再発胃癌における nab-PTX+RAM の検討．第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

仲野宏，加瀬晃志，山内直人，金田晃尚，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．正中弓状韧带压迫症候群に伴う胃十二指腸動脈瘤による出血性十二指腸潰瘍を来した 1 例．第 57 回日本腹部救急医学会総会; 20210311-12; Web.

伊藤美郷，山田玲央，小野澤寿志，岡山洋和，坂本渉，藤田正太郎，齋藤元伸，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．悪性黒色腫の小腸転移による腸重積に対し外科的切除を施行した 3 例の検討．第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

遠藤英成，金澤匡司，坂本渉，松本拓朗，氏家大輔，芦澤舞，中島隆宏，岡山洋和，藤田正太郎，門馬智之，佐瀬善一郎，三村耕作，大木進司，河野浩二．スマートフォンを用いた CT 画像遠隔読影の正確性の検討．第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

小野澤寿志，伊藤美郷，山田玲央，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，遠藤久仁，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．閉塞性大腸癌に対する Bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績．第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

加瀬晃志，渡辺洋平，伊藤美郷，仲野宏，山内直人，松本拓朗，山田玲央，金田晃尚，菅家康之，花山寛之，小野澤寿志，早瀬傑，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．胃癌における当院での MSI 検査の現況．第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

金田晃尚, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 菅家康之, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌手術における術前細菌培養検査の意義. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

草間大輔, 菊池智宏, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. pMMR/MSI-L/MSS 大腸癌における抗 PD-1 抗体を用いた免疫治療の可能性. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

近内政美, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの浸潤傾向について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

齋藤元伸, 仲野宏, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子 PD-L1、MSI/MMR、EBV についての検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

坂本渉, 伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科における直腸癌に対する低位前方切除術後縫合不全リスク因子解析と予防戦略～開腹・腹腔鏡・ロボットアプローチ併存世代～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

佐瀬善一郎, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 噴門側胃切除術上川法再建における吻合部狭窄についての検討ー腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の比較ー. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

鈴木博也, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現機構について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

中島隆宏, M Renken Stefanie, Stina Wickström, 河野浩二, Kiessling Rolf. KEAP1-Nrf2-ARE 経路の活性化はエフェクター細胞の酸化ストレスを軽減する. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

仲野宏, 齋藤元伸, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 松本拓朗, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌の臨床病理学的特徴と PD-L1 高発現の機序の解明. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

花山寛之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対する胃全摘術の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

林下宗平, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EMT を起こした食道扁平上皮癌に対する抗 PD-1 療法の可能性. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

早瀬傑, 仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 松本拓朗, 菅家康之, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎,

河野浩二. 骨格筋量変化からみた胃上部癌に対する噴門側胃切除術の有用性の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 仲野宏, 山田玲央, 松本拓朗, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. MSI 検査の現況. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

三村耕作, 菊池智宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 吉村清, 角田卓也, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌叢に伴う免疫抑制について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

望月翔太郎, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

門馬智之, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 仲野宏, 山田玲央, 松本拓朗, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. がん診療における遺伝性腫瘍診療の今後の課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

山内直人, 菅家康之, 加瀬晃志, 仲野宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 早瀬傑, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現による予後予測因子としての有用性の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

山田玲央, 齋藤元伸, 遠藤英成, 仲野宏, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 松本拓朗, 菅家康之, 花山寛之, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 岡山洋和, 早瀬傑, 坂本渉, 藤田正太郎, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 胃癌発生に関与する CDX2 と IL-6/STAT3 シグナルの検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

渡辺洋平, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 早瀬傑, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 切除不能進行・再発胃癌に対する三次治療以降の化学療法. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

大木進司, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. High risk stage II 大腸癌における Glasgow prognostic score の意義と治療戦略. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

河野浩二, 市川靖史 (座長). 主題 5 基礎医学・ゲノム医療. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

柴田昌彦, 植竹宏之 (座長). 主題 1-1 集学的治療 下部消化管. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

花山寛之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 進行胃癌に対する Ramucirumab+Nab-Paclitaxel 療法中に十二指腸断端ろうを生じた 1 例. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における技術認定医「量産」への取り組みと腹腔鏡補助下／ロボット支援下低位前方切除縫合不全との闘い. 第32回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

佐瀬善一郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. ひとり立ちまでを目標とする内視鏡外科技術認定医(胃)取得に向けた手技指導. 第32回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第42回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

柴田昌彦(司会). 主題Ⅰ 新規免疫療法への戦略とエビデンス. 第42回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. dMMR大腸癌におけるTn抗原の発現と免疫抑制. 第42回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web.

犬飼惇, 島貫公義, 岡本浩和, 長谷川翔, 畠達夫, 中島隆宏, 旭修司, 天野穂高, 井上典夫. 胃癌の精索転移の一例. 第179回東北外科集談会／第105回日本胸部外科学会東北地方会／第37回日本血管外科学会東北地方会／第94回日本小児外科学会東北地方会; 20210612; Web.

佐瀬善一郎(ディスカッサント). 上部消化管 3. 179回東北外科集談会／第105回日本胸部外科学会東北地方会／第37回日本血管外科学会東北地方会／第94回日本小児外科学会東北地方会; 20210612; Web.

中島隆宏, 山口大輝, 岡本浩和, 犬飼惇, 長谷川翔, 畠達夫, 旭修司, 天野穂高, 島貫公義, 井上典夫, 河野浩二. 子宮内膜症合併Nuck管水腫の1例. 第179回東北外科集談会／第105回日本胸部外科学会東北地方会／第37回日本血管外科学会東北地方会／第94回日本小児外科学会東北地方会; 20210612; Web.

掛地吉弘, 河野浩二(座長). パネルディスカッション3 外科系各科におけるがん免疫療法. 第46回日本外科学系連合学会学術集会; 20210617-19; 東京/Web.

植田牧子, 渡邊尚文, 福田冬馬, 村田強志, 遠藤雄大, 大原美希, 石橋真輝帆, 菅家康之, 赤間孝典, 門馬智之, 安田俊, 藤森敬也. 横膈膜腫瘍を契機に診断されたLynch症候群の1症例. 第27回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

遠藤雄大, 徳田恵美, 門馬智之, 赤間孝典, 竹村真生子, 渡邊尚文. 当院で経験したLi-Fraumeni症候群の一例. 第27回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

加瀬晃志, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. APC遺伝子大規模欠損を伴う家族性大腸腺腫症に伴った腹腔内デスマイド腫瘍が破綻し腹膜炎をきたした1例. 第27回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

加瀬晃志, 立花和之進, 磯上弘貴, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 添田周, 渡邊尚文, 大竹徹. 子宮に転移を認めた乳癌再発の1例. 第29回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03;

横浜/Web.

河野浩二（座長）. スポンサーセミナー2 IBD における生物学的製剤治療の進歩と外科治療. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

佐瀬善一郎, 八田和久（司会）. パネルディスカッション1 LECS, 鏡視下手術と内視鏡治療のコラボレーション. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃 GIST に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）の適応と治療成績. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

門馬智之（座長）. スポンサーセミナー1 大腸癌に対する集学的治療と最新の低侵襲手術治療. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2 マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

岡山洋和, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 直腸癌に対する術前放射線化学療法効果を予測する multi-gene assay の in silico メタアナリシス. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における他臓器浸潤局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy(TNT)の導入. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

加瀬晃志, 齋藤元伸, 仲野宏, 山田玲央, 芦澤舞, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. EBV 関連胃癌におけるエビジェネティック修飾による ARID1A 発現制御の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

金田晃尚, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌術後乳び瘻症例の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

河村英恭, 本多通孝, 絹田俊爾, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 河野浩二. StageIV 大腸癌における炎症・栄養指標と予後との関連: 多施設共同研究. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

菅家康之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 河野浩二. CY1, P0 胃癌症例に対する外科切除の意義の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

河野浩二, 山崎誠（司会）. ワークショップ 7 【食道】高齢者食道癌患者に対する治療戦略. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

齋藤元伸, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 消化器癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連. 第 76 回日本消化器外科

学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

坂本渉, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法的安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

佐瀬善一郎, 仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 噴門側胃切除術上川法再建におけるロボット支援下手術の有用性とビットフォール. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

鈴木創太, 河村英恭, 本多通孝, 絹田俊爾, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 河野浩二. UICC8 版ステージ IV 大腸癌分類の妥当性検証: リアルワールドコホート研究. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

中島隆宏, Wickström Stina, 岡本浩和, 犬飼惇, 畠達夫, 天野穂高, 島貫公義, 井上典夫, Rolf Kiessling, 河野浩二. 酸化ストレスに対する Nrf2/ARE 経路の活性化. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う動脈瘤による出血性胃十二指腸潰瘍を来した 2 例. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

畠達夫, 天野穂高, 中島隆宏, 犬飼惇, 岡本浩和, 長谷川翔, 旭修司, 島貫公義, 井上典夫. 臍頭十二指腸切除後のドレーン培養陽性所見が術後合併症に与える影響. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

花山寛之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対する胃切除術の長期成績. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

早瀬傑, 仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃上部癌に対する胃全摘術と噴門側胃切除術の術後炎症反応, 栄養状態に関する検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 経仙骨と経腹の 2 方向からのアプローチで切除した骨盤内巨大直腸 GIST の 1 例. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

松本拓朗, 大木進司, 山内直人, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 切除可能進行胃癌における予後予測因子としての Systemic Inflammation Score(SIS)の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における抗 PD-1 抗体を用いた複合免疫療法の開発. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都

/Web.

門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 潰瘍性大腸炎, 家族性大腸腺腫症における大腸全摘・回腸囊肛門吻合後の排便機能の評価. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

山内直人, 菅家康之, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌間質における癌関連線維芽細胞およびその関連分子の発現による再発予測因子としての有用性. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

渡辺洋平, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 金田晃尚, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 切除不能進行・再発胃癌に対する三次治療以降のイリノテカンの治療成績. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

早瀬傑, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道癌におけるNLRの検討. 福島I-O Web Conference; 20210730; Web.

早瀬傑, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における術前化学療法の成績. Esophageal Cancer IO Seminar in 南東北; 20210827; 福島.

掛地吉弘, 河野浩二 (司会). ワークショップ3 高齢者における食道癌手術の現状と課題. 第75回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

金田晃尚, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 高齢者に対する食道癌手術の短期成績. 第75回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

仲野宏, 早瀬傑, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 大動脈食道瘻に対してステントグラフト術および3期的食道再建術を施行し救命し得た1例. 第75回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

渡辺洋平, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 遊離空腸再建術後に頸部外傷により遊離空腸が断裂した1例. 第75回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

中嶋正太郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌の術前化学療法が誘導するIL-34がマクロファージのM2分極と薬剤感受性低下を促進する. 第80回日本癌学会学術総会; 20210930-1002; 横浜/Web.

佐瀬善一郎 (コメンテーター). 教育講演1 胃癌内視鏡外科手術の現況と展望. 日本臨床外科学会第7回福島県支部学術集会; 20211002; Web.

門馬智之 (座長). 教育講演3 閉塞性左側大腸癌に対する治療一後ろ向き多施設共同研究の結果. 日本臨床外科学会第7回福島県支部学術集会; 20211002; Web.

片方雅紀. 食道癌術後再建胃管癌の検討. 第41回福島県食道癌胃癌研究会; 20211016; Web.

河野浩二（司会）．ミニレクチャー①．第 41 回福島県食道癌胃癌研究会; 20211016; Web.

早瀬傑．胃癌周術期化学療法．第 41 回福島県食道癌胃癌研究会; 20211016; Web.

河野浩二．消化器癌に対するがん免疫療法の新展開．日本消化器病学会東北支部第 23 回教育講演会; 20211017; Web.

伊藤美郷，三村耕作，金田晃尚，松本拓朗，岡山洋和，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，大塚幹夫，山本俊幸，河野浩二．転移性悪性黒色腫に対する ICI 治療中の免疫逃避メカニズムについて．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

岩田亜弓，松本拓朗，氏家大輔，遠藤英成，岡山洋和，藤田正太郎，菅家康之，多田武志，渡辺洋平，花山寛之，早瀬傑，佐瀬善一郎，大木進司，河野浩二．食道扁平上皮癌の術前補助化学療法前後での circulating tumor cells の評価．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

岡山洋和，松本拓朗，遠藤英成，中嶋正太郎，金田晃尚，伊藤美郷，菅家康之，小野澤寿志，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，河野浩二．MSI/dMMR 大腸癌の subclassification．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

小野澤寿志，深井智司，菅家康之，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，齋藤元伸，門馬智之，河野浩二．pStageII/III 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

片方雅紀，金田晃尚，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，門馬智之，佐瀬善一郎，河野浩二．胃 NET 内視鏡的治療後 10 年以上経過し遅発性にリンパ節再発をきたした 1 例．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

金田晃尚，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，佐瀬善一郎，河野浩二．高齢者に対する食道癌手術の治療成績．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅家康之，山内直人，齋藤勝治，岡山洋和，山田匠希，中嶋正太郎，花山寛之，渡辺洋平，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，三村耕作，大木進司，橋本優子，河野浩二．食道扁平上皮癌間質での CAF 関連分子の発現は予後に関連する．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

齋藤元伸，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，坂本渉，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．連携病院におけるエキスパートパネルを通じてのがんゲノム教育．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

坂本渉，深井智司，菅家康之，小野澤寿志，岡山洋和，藤田正太郎，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，河野浩二．当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討．第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

佐瀬善一郎，片方雅紀，佐藤孝洋，仲野宏，松本拓朗，金田晃尚，多田武志，花山寛之，渡辺洋平，早瀬傑，

門馬智之, 河野浩二. 部分切除困難な胃噴門部 GIST に対する完全神経温存噴門側胃切除術 上川法再建. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

佐藤孝洋, 佐瀬善一郎, 片方雅紀, 仲野宏, 松本拓朗, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 河野浩二. 有茎空腸による食道再建術の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅原良太, 菅家康之, 深井智司, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 交差癒合腎合併進行大腸癌に対し蛍光尿管ステントを用い鏡視下手術を施行した症例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

添田周, 古川茂宜, 佐藤哲, 加茂矩士, 植田牧子, 遠藤雄大, 野村真司, 小島学, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 見城明, 渡邊尚文, 藤森敬也. 進行再発卵巣癌に対する腫瘍減量手術完遂のための他科との連携についての検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

多田武志, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 咽喉頭食道摘出術に対する遊離空腸再建術 25 例の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

東條華子, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における腫瘍随伴マクロファージへの術前補助化学療法の効果について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

中島隆宏, 吉森大悟, 犬飼惇, 長谷川翔, 畠達夫, 旭修司, 天野穂高, 島貴公義, 井上典夫, 河野浩二. アブスコパル効果により腫瘍縮小を示した再発胃癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

仲野宏, 渡辺洋平, 岩田亜弓, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 伊藤美郷, 松本拓朗, 金田晃尚, 多田武志, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 化学放射線療法後に 3 回の救済手術を施行し長期生存が得られている食道癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

中山祐次郎, 河村英恭, 滝口光一, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 本多通孝, 河野浩二, 紺野慎一. 80 歳以上ステージ IV 大腸癌患者に対する FOLFOX/FOLFIRI 療法の有用性 多施設共同研究. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

長谷川誠, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. NAC が誘導する IL-34 が ESCC の TAM の M2 分極に及ぼす影響. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

早瀬傑, 岩田亜弓, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 術前化学放射線療法後の食道癌患者における炎症マーカーと予後に関する検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. Pembrolizumab 療法から Ipilimumab+Nivolumab 療法に変更して治療した大腸癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

松本拓朗, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌における染色体 8p 上の遺伝子 SH2D4A の不活化. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

三村耕作, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における抗 PD-1 療法のバイオマーカーと複合免疫療法の開発について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

森友輔, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 悪性黒色腫の消化管転移 4 例の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

門馬智之, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. がん診療における遺伝性腫瘍への対応. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

山口大輝, 三村耕作, 中嶋正太郎, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境の M2 腫瘍関連マクロファージにおける VEGF レセプター 2 発現について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

山田玲央, 齋藤元伸, 大木進司, 菅家康之, 花山寛之, 鈴木博也, 望月翔太郎, 遠藤英成, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 食道癌術後後縦隔再建症例における内頸静脈中心とした血栓症の重要性に関する検証. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

渡辺洋平, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 多田武志, 花山寛之, 早瀬傑, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 切除不能進行・再発胃癌に対する Nivolumab の治療成績. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

河野浩二 (司会). ブレックファーストセミナー27. 第 19 回日本消化器外科学会大会 (JDDW 2021 KOBE); 20211104-07; 神戸/Web.

小野澤寿志, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web.

岩田亜弓, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 小腸原発の髄外性形質細胞腫の一例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

岡山洋和, 矢部信成 (座長). 一般演題 (口演) 35 大腸・良性・炎症性腸疾患・腸炎. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

木暮憲道, 多田武志 (座長). 一般演題 (示説) 10 胃・化学療法. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌術後のサーベイランスにおける CEA、CA19-9 の意義. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

深井智司, 大関篤, 丸山裕也, 遠藤久仁, 伊藤泰輔, 石井芳正. 非閉塞性腸間膜虚血症と消化管アミロイドーシスを合併した 1 例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

門馬智之, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐藤善一郎, 河野浩二. 地方大学における直腸癌ロボット支援下手術導入により見えてきた課題: 新規導入施設の現状②. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 佐久間芽衣, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステントによる減圧後の腹腔鏡手術に関する検討. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腹腔鏡下低位前方切除術後に発症した左下肢コンパートメント症候群の 1 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

加瀬晃志, 早瀬傑, 仲野宏, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胸部食道に発生した気管支嚢胞に対し胸腔鏡下嚢胞切除術を施行した 1 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 腹腔鏡下に切除した Persistent Descending Mesocolon を伴う S 状結腸癌の 2 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

門馬智之, 河野浩二, 鈴木眞一. 甲状腺、副腎ロボット手術 消化器外科医からのアプローチ. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 金田晃尚, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 悪性黒色腫における免疫チェックポイント阻害薬抵抗性のメカニズムについて. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

金田晃尚, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. dMMR/MSI-H 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

河野浩二, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 伊藤美郷, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作. 複合免疫療法における免疫環境の最適化には? 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法の安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

中嶋正太郎, 三村耕作, 伊藤美郷, 金田晃尚, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 河野浩二. 術前補助化学療法が食道扁平上皮癌微小環境に及ぼす影響. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

三村耕作, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 金田晃尚, 渡辺洋平, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における抗 PD-1 抗体と放射線治療を用いた複合がん免疫療法の開発. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔シンポジウム〕

佐瀬善一郎 (司会). シンポジウム 免疫性チェックポイント阻害薬による消化器合併症と対策. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web.

河野浩二. 日本癌治療学会「がん診療ガイドラインホームページ jscorpg.jp」運営とアクセス状況. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

河野浩二, 藤井誠志 (司会). 会長企画シンポジウム 12 Evidence based pathology 構築を目指して. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

河野浩二, 松井邦彦 (司会). がん診療ガイドライン統括・連絡委員会企画シンポジウムがん診療ガイドラインの Update 2021. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

河野浩二, 谷眞至 (座長). シンポジウム 3 複合がん免疫療法 (放射線、分子標的剤). 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔特別講演〕

河野浩二. 基調講演 食道扁平上皮がんにおける免疫チェックポイント阻害剤の現状－臨床が知るべき免疫の基礎－. 第 31 回日本気管食道科学会認定 気管食道科専門医大会; 20210227-28; Web.

〔招待講演〕

河野浩二. 消化器がんにおける免疫環境を考える－免疫チェックポイント阻害剤の最適化には? 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web.

河野浩二. HER2 陽性胃がん～新たなエビデンスとマネジメント～. 第 32 回日本消化器病発生学会総会; 20211126-27; Web.

〔その他〕

柴田昌彦 (司会). 特別講演 1 VEGF 受容体活性化シグナル制御による腫瘍微小環境の改善. 第 30 回日本癌病態治療研究会; 20210611; 鎌倉/Web.

齋藤元伸. 消化器がん領域における遺伝子パネル検査の実際について. 大腸癌 Web セミナー福島; 20210625; Web.

河野浩二 (座長). 特別講演 ダブルバルーン内視鏡の活用－小腸疾患診療から ERCP, 大腸 ESD まで－. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

河野浩二. 閉会の辞. 第 41 回福島県食道癌胃癌研究会; 20211016; Web.

齋藤元伸. がん遺伝子パネル検査の対象と治療について. 福島県がん遺伝子パネル検査セミナー; 20211028; 福島.

肝胆膵・移植外科学講座

論 文

〔原 著〕

Ma M, Liu Y, Gotoh M, Takahashi A, Marubashi S, Seto Y, Endo I, Y Ko C, E Cohen M. Validation Study of the ACS NSQIP Surgical Risk Calculator for Two Procedures in Japan. *American Journal of Surgery*. 202111; 222(5):877-881.

Marubashi S, Nagano H. Laparoscopic living-donor hepatectomy: Review of its current status. *Annals of Gastroenterological Surgery*. 202103; 5(4):484-493.

Marubashi S, Takahashi A, Kakeji Y, Hasegawa H, Ueno H, Eguchi S, Endo I, Goi T, Saiura A, Sasaki A, Takiguchi S, Takeuchi H, Tanaka C, Hashimoto M, Hiki N, Horiguchi A, Masaki T, Yoshida K, Gotoh M, Konno H, Yamamoto H, Miyata H, Seto Y, Kitagawa Y; National Clinical Database. Surgical outcomes in gastroenterological surgery in Japan: Report of the National Clinical Database 2011-2019. *Annals of Gastroenterological Surgery*. 202104; 5(5):639-658.

Sugimoto M, Irie H, Takasumi M, Hashimoto M, Oka Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A simple method for diagnosing gallbladder malignant tumors with subserosa invasion by endoscopic ultrasonography. *BMC Cancer*. 202103; 21(1):288.

Haga J, Sato N, Anazawa T, Kimura T, Kenjo A, Gotoh M, Marubashi S. Comprehensive analysis of gene expression of isolated pancreatic islets during pretransplant culture. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):17-26.

Sato N, Kenjo A, Nishimagi A, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Yamada S, Hashimoto Y, Marubashi S. Accuracy comparison of MR elastography and biological markers in detecting liver fibrosis and predicting postoperative ascites. *HPB*. 202109; 23(9):1383-1391.

Sato N, Marubashi S. Induction of Immune Tolerance in Islet Transplantation Using Apoptotic Donor Leukocytes. *Journal of Clinical Medicine*. 202111; 10(22):5306.

Kakeji Y, Yamamoto H, Ueno H, Eguchi S, Endo I, Sasaki A, Takiguchi S, Takeuchi H, Hashimoto M, Horiguchi A, Masaki T, Marubashi S, Yoshida K, Miyata H, Konno H, Gotoh M, Kitagawa Y, Mori M, Seto Y. Development of gastroenterological surgery over the last decade in Japan: analysis of the National Clinical Database. *Surgery Today*. 202102; 51(2):187-193.

Sato N, Kenjo A, Suzushino S, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Marubashi S. Predicting Post-Hepatectomy Liver Failure Using Intra-Operative Measurement of Indocyanine Green Clearance in Anatomical Hepatectomy. *World Journal of Surgery*. 202112; 45(12):3660-3667.

丸橋繁. 書評 いのちを問う 臓器移植とニッポン. *Organ Biology*. 2021; 28(1):85-86.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. *日本外科学会雑誌*. 202101; 122(1):90-92.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 時代が求める外科医の働き方 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. *日本外科学会雑誌*. 202103; 122(2):250-252.

丸橋繁, 掛地吉弘, 宮田裕章, 瀬戸泰之, 北川雄光, Hu Lina, Ko Clifford, 後藤満一. NCD (National Clinical Database) の10年を振り返る—課題と展望— ACS-NSQIP に学ぶ、外科医療成績向上に向けた取り組み. *日本外科学会雑誌*. 202103; 122(2):265-268.

鈴木一司, 佐藤佳宏, 千葉裕仁, 芳賀淳一郎, 東孝泰. 病理学的な炎症の残存に着目した急性虫垂炎の待機的腹腔鏡下虫垂切除術の検討. *日本腹部救急医学会雑誌*. 202105; 41(4):215-221.

東孝泰, 佐藤佳宏, 千葉裕仁, 芳賀淳一郎, 石井芳樹. 急性出血性胃潰瘍患者のショックの発症予測因子としての脈圧の検討. *日本腹部救急医学会雑誌*. 202105; 41(4):223-228.

〔総説等〕

小船戸康英, 丸橋繁, 掛地吉弘, 瀬戸泰之, 宮田裕章, 後藤満一. National Clinical Database の利活用. 胆と膵. 202111; 42(11):1353-1359.

小船戸康英, 後藤満一, 丸橋繁. 高齢者消化器がん手術の現状と NCD 高齢者アウトカム予測法の確立. 老年内科. 202111; 4(5):497-501.

〔症例報告〕

Hayashi M, Fujita M, Abe K, Takahashi A, Muto M, Ishigame T, Okada R, Marubashi S, Ohira H. Intratumor Abscess in a Posttraumatic Hepatic Inflammatory Pseudotumor Spreading Out of the Liver. *Internal Medicine*. 202101; 60(2):235-240.

東孝泰, 佐藤佳宏, 千葉裕仁, 芳賀淳一郎, 橋本敏夫, 菅野博隆. 横隔膜下膿瘍、肝膿瘍を併発した胆嚢穿孔

に対し外胆嚢瘻造設術を行い治療し得た一例. 米沢市立病院医学雑誌. 202103; 40(1):19-25.

横山龍人, 佐藤佳宏, 東孝泰, 芳賀淳一郎, 小林敏一, 大江倫太郎, 角田力彌, 橋本敏夫, 菅野博隆. 貧血で発症し、CT と小腸内視鏡で診断し、内視鏡マーキングをもとに完全腹腔鏡下小腸切除術を施行した小腸海綿状血管腫の一例. 米沢市立病院医学雑誌. 202103; 40(1):42-46.

石井芳樹, 佐藤佳宏, 東孝泰, 千葉裕仁, 芳賀淳一郎, 橋本敏夫, 菅野博隆. 憩室炎を併発した腎摘出術後腹壁癒痕ヘルニア嵌頓の1例. 米沢市立病院医学雑誌. 202103; 40(1):52-55.

〔その他〕

山内麻里子, 西野結愛, 伊藤瑞歩, 稲田賢嗣, 大田裕介, 齋藤周也, 齋藤直人, 瓜生原葉子, 丸橋繁. 「脳死臓器提供」についての意識調査: 今, 若い世代は何を考えているか? -福島県の高校生・大学生のアンケート結果から-. Organ Biology. 2021; 28(1):59-66.

著 書・訳 書

岡田良, 丸橋繁. サージカルディベート 3 Pringle 法 (1) 行う立場から (開腹下・腹腔鏡下). In: 新田浩幸編. ディベートから学ぶ手技の選択と秘訣 肝臓編. 東京: メジカルビュー社; 202106. p.51-59.

研究発表等

〔研究発表〕

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 志村龍男, 丸橋繁. 大動脈周囲リンパ節再発に対して集学的治療を施行した膵神経内分泌腫瘍の一例. 第 51 回日本膵臓学会大会; 20210108-09; 神戸/Web.

丸橋繁. PD の膵再建を考える～膵吻合法の工夫～. 第 51 回日本膵臓学会大会; 20210108-09; 神戸/Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆管空腸吻合法の工夫. 第 38 回日本肝移植学会学術集会; 20210212-13; Web.

Ishigame T, Kimura T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Clinical characteristics of local complications of acute pancreatitis requiring surgical management. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Shimura T, Marubashi S. Impact of operative time on outcomes after Pancreaticoduodenectomy. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R,

Kimura T, Kenjo A, Tatsuo S, Marubashi S. Risk factor analysis of surgical treatment for intrahepatic cholangiocarcinoma. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Muto M, Kimura T, Nishimagi A, Suzushino S, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Successful surgical resection for a case with carcinosarcoma of the gallbladder. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Nishimagi A, Sato N, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A case of intraductal biliary metastasis of rectal cancer after curative surgery. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Muto M, Suzushino S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Preoperative FDG PET scan for pancreatic neuroendocrine neoplasm. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Suzushino S, Ishigame T, Nishimagi A, Muto M, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Exploration of predictive prognostic factors for early recurrence after neoadjuvant chemoradiation therapy for pancreatic cancer. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Laparoscopic spleen-preserving distal pancreatectomy for pancreatic metastasis. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Short-term outcome of laparoscopic liver lobectomy. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

石亀輝英. 妊娠中に診断された MEN 1 型に伴うインスリノーマの切除例. 東北 GEPNET セミナー; 20210327; Web.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 組織学的癌遺残 (R1) を伴う胆管癌における予後因子の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝切除術の術中出血量に対する考察. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修修了者を増やしタスクシフトを推進するための課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 多発性内分泌腫瘍症 1 型に発生した膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の予後～MEN1 vs 非 MEN1～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

鈴木野聖子, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小島戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝細胞と脂肪由来間葉系幹細胞との二層化シートによる効果. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小島戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 頭体移行部癌に対する至適術式の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

土佐太郎, 小島戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 1cm 以下の非機能性 NET G1/G2 をどうするか? 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

西間木淳, 小島戸康英, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 成人に対する先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常症の術後成績について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

武藤亮, 吉田寛, 阿部幹, 斎藤拓朗, 宮澤正紹, 土屋貴男, 小山善久, 八島玲, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術における術前胆道ドレナージが手術に与える影響. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 鈴木野聖子, 武藤亮, 小島戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻に対する取り組み～柿田変法と Blumgart 法の比較～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

岡田良, 石亀輝英, 小島戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝胆膵外科領域における低侵襲手術への挑戦. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

Azuma T, Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Successful treatment for median arcuate ligament syndrome with aneurysm: a case report. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Ishigame T, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Marubashi S. Prediction of intrahepatic recurrence after surgery for hepatocellular carcinoma. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Suzushino S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. Early and Late-onset Complications of Living Donor Hepatectomy. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. The impact of hand grip strength and gait speed for fall risk among patients after pancreaticoduodenectomy. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Muto M, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Marubashi S. MicroRNA-1 suppresses tumor growth in cholangiocarcinoma. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Nishimagi A, Ishigame T, Tsukida S, Muto M, Watanabe J, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Metastatic renal cell carcinoma to the common bile duct 16 years after curative nephrectomy: a case report. 第33回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Preoperative dual SRS/FDG-PET CT imaging in gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors. 第33回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Tsukida S, Ishigame T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of neuroendocrine neoplasm that was difficult to distinguish between neuroendocrine tumor grade 3 and neuroendocrine carcinoma preoperatively. 第33回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Watanabe J, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Kohunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Evaluation of outcome after splenectomy for ITP. 第33回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

小船戸康英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 肝移植後抗体関連拒絶患者に対する mTOR 阻害剤の使用経験. 第39回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

田浦康二郎, 丸橋繁, 岡田良, 加茂直子, 長井和之, 小山幸法, 西尾太宏, 姚思遠, 小木曾聡, 穴澤貴行, 伊藤孝司, 秦浩一郎, 波多野悦朗. 原発性硬化性胆管炎に伴う肝門部胆管癌に対する生体肝部分肝移植の経験. 第39回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

西間木淳, 見城明, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 肝移植待機した非移植術症例の転機と検討. 第39回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 臨床的臍液瘻のない膵体尾部切除後の術後早期アウトカムの検討. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脾空腸吻合における Open up 法の有用性. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. Cadaver surgical training を有効利用するための包括的外科手技トレーニングシステムの構築. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 肝切除術後の胆汁漏に関する検討. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.

PET/MRI による胆嚢腫瘍の診断能. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

佐藤直哉, 西間木淳, 見城明, 岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村隆, 丸橋繁. MR elastography と線維化マーカーの比較: 肝線維化の診断精度は肝切除術後合併症の予測に関連する. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞を用いた二層化肝細胞シートによる皮下移植の成績. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 通常型膵癌の膵頭十二指腸切除術における NCD Risk Calculator の検証. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

西間木淳, 小船戸康英, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 高齢者に対する腹腔鏡下肝切除術の術後短期成績の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

武藤亮, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 膵癌手術前後の筋肉量・体脂肪量と栄養学的指標の変化. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 十二指腸乳頭部癌切除症例における予後因子の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝内胆管癌におけるリンパ節郭清の意義. 第 57 回日本肝癌研究会; 20210722-23; 鹿児島/Web.

石亀輝英, 武藤亮, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝胆膵領域手術における周術期骨格筋量と短期成績の関連の検討. 第 7 回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会; 20210904; Web.

小船戸康英. 消化器外科領域の高齢者リスクモデルの確立とその活用. 福島消化器疾患セミナー; 20210914; Web.

丸橋繁. 生体肝ドナー手術の現状と今後の展望. 第 57 回日本移植学会総会; 20210918-20; 東京/Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における成人肝移植の短期・長期成績. 第 57 回日本移植学会総会; 20210918-20; 東京/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 家族性膵癌の外科治療成績. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-24; 東京/Web.

佐藤直哉, 岡田良, 見城明, 田辺隼人, 西間木淳, 鈴志野聖子, 月田茂之, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 木村隆, 武藤亮, 島袋充生, 丸橋繁. 膵島移植と膵臓移植の現状～膵島移植レシピエント登録の推進に向けた取り組み～. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-24; 東京/Web.

渡邊淳一郎. 胆道癌に対する術後補助化学療法. うつくしま肝胆膵外科フォーラム 2021; 20210925; Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後の膵癌患者の栄養学的指標と予後の関連性の検討. 日本外科代謝栄養学会第 58 回学術集会; 20211007-09; 神戸/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆管癌に対する肝外胆管切除術の検討. 第 57 回日本胆道学会学術集会; 20211007-08; 東京/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 退形成性膵管癌成分を伴った膵腺扁平上皮癌の 1 例. 第 25 回日本外科病理学会学術集会; 20211014-15; 千葉.

丸橋繁. 臓器提供と肝移植/膵・膵島移植の現状と展望. 福島医学会第 491 回学術研究集会; 20211028; Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. MEN1 に伴うインスリノーマの周産期管理および治療経験. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 遺伝性膵癌の治療成績. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆道原発神経内分泌癌 6 例の検討. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 残膵全摘術を施行した再発 IPMC の 4 例. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

西間木淳, 佐藤直哉, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝内胆管癌との鑑別が困難であった大腸癌肝転移の 2 例. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 早期再発を来した十二指腸乳頭部癌切除症例の検討. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

岡田良, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下膵体尾部切除術の安全な導入. 第 13 回膵臓内視鏡外科研究会; 20211117; 東京/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝尾状葉切除術の 3 例. 第 15 回肝臓内視鏡外科研究会; 20211117; 東京/Web.

月田茂之, 岡田良, 藤井あゆみ, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の安全な導入. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

藤井あゆみ, 岡田良, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 耳下腺腺房細胞癌脾臓転移に対して腹腔鏡下脾臓摘出術を施行した一例. 第34回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

渡邊淳一郎. 肝外胆管癌に対する術後補助化学療法の検討. 第34回東北膵・胆道癌研究会; 20211127; Web.

〔シンポジウム〕

丸橋繁, 小船戸康英, 掛地吉弘, 瀬戸泰之, 今野弘之, 宮田裕章, 隈丸拓, 高橋新, 後藤満一. 消化器外科手術における高齢者指標とリスクモデルの作成. 第8回日本サルコペニア・フレイル学会大会; 20211106-07; 大阪/Web.

〔特別講演〕

岡田良. 当科における膵癌の外科治療. 大鵬薬品社外講師招聘研修会; 20210618; Web.

川井大地, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾, 見城明. 特定看護師へのタスクシフトには組織的かつ計画的な対応が必要である. 第83回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

見城明, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾. チーム医療の推進：外科医の働き方改革と特定看護師へのタスク・シフト. 第83回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

丸橋繁. 肝移植医療に取り組んだ20年と、福島での奮闘. 第4回山口肝移植診療検討会; 20211125; 宇部.

呼吸器外科学講座

論 文

〔原 著〕

Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. CTLA-4 Expression in Tumor-infiltrating Lymphocytes Is Irrelevant to PD-L1 Expression in NSCLC. Anticancer Research. 202112; 41(12):6267-6272.

Okumura N, Soh J, Suzuki H, Nakata M, Fujiwara T, Nakamura H, Sonobe M, Fujinaga T, Kataoka K, Gemba K, Kataoka M, Hotta K, Yoshioka H, Matsuo K, Sakamoto J, Date H, Toyooka S. Randomized phase II study of daily and alternate-day administration of S-1 for adjuvant chemotherapy in completely-resected stage I non-small cell lung cancer: results of the Setouchi Lung Cancer Group Study 1301. BMC

Cancer. 202105; 21(1):506.

Takagi H, Muto S, Yamaguchi H, Mine H, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Our experience of lung resection in patients who decline blood transfusion for religious reasons. General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202107; 69(7):1105-1111.

Ohtaki Y, Shimizu K, Suzuki H, Suzuki K, Tsuboi M, Mitsudomi T, Takao M, Murakawa T, Ito H, Yoshimura K, Okada M, Chida M; Japanese Association for Chest Surgery. Salvage surgery for non-small cell lung cancer after tyrosine kinase inhibitor treatment. Lung Cancer. 202103; 153:108-116.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Kanno R, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Yamazaki S, Kikuchi H, Sakakibara-Konishi J, Oizumi S, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Honjo O, Minami Y, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Nakamura K, Inano A, Isobe H, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) as a possible therapeutic target and its application to radioimmunotherapy using ¹²⁵I-labelled anti-DLK1 antibody in lung cancer models (HOT1801 and FIGHT004). Lung Cancer. 202103; 153:134-142.

Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Amano T, Ohkuri T, Yamazaki S, Kikuchi H, Oizumi S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Higuchi M, Honjo O, Minami Y, Watanabe N, Nishimura M, Suzuki H, Dosaka-Akita H, Isobe H. Prognostic significance of OX40⁺ lymphocytes in tumor stroma of surgically resected small-cell lung cancer. OncoImmunology. 202109; 10(1):1971430.

Muto S, Ozaki Y, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Nanamiya H, Imai JI, Isogai T, Watanabe S, Suzuki H. Tumor β -catenin expression is associated with immune evasion in non-small cell lung cancer with high tumor mutation burden. Oncology Letters. 202103; 21(3):203.

Takahashi N, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Dobashi Y, Katahira K, Ishihara H, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. Construction of *in vitro* patient-derived tumor models to evaluate anticancer agents and cancer immunotherapy. Oncology Letters. 202105; 21(5):406.

Watanabe M, Higashi T, Ozeki K, Higashi AY, Sugimoto K, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H, Chiba H. CLDN15 is a novel diagnostic marker for malignant pleural mesothelioma. Scientific Reports. 202106; 11(1):12554.

Matsuo T, Imai K, Nanjo H, Takashima S, Hiroshima Y, Atari M, Kuriyama S, Ishii Y, Wakamatsu Y, Sato Y, Motoyama S, Matsumura Y, Suzuki H, Nomura K, Minamiya Y. Harmonization across programmed death ligand 1 (PD-L1) assays for lung cancer by immunohistochemistry using noncontact alternating current electric field mixing. Thoracic Cancer. 202104; 12(8):1187-1194.

〔総説等〕

鈴木弘行. Current Organ Topics: Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌 総括. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1012-1013.

武藤哲史, 鈴木弘行. Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌 局所進行非小細胞肺癌に対する治療戦略の進歩. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1027-1032.

尾崎有紀, 鈴木喜貴, 西山恭子, 錫谷達夫, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬 (抗 PD-1 抗体) による免疫療法と腸内細菌叢の関係. 癌と化学療法. 202109; 48(9):1096-1099.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. 日本外科学会雑誌. 202101; 122(1):90-92.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 時代が求める外科医の働き方 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. 日本外科学会雑誌. 202103; 122(2):250-252.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 非小細胞肺癌に対する周術期治療としての免疫チェックポイント阻害薬の有用性. 肺癌. 202112; 61(7):919-923.

樋口光徳, 鈴木弘行. 【呼吸器症候群 (第3版) (V) —その他の呼吸器疾患を含めて—】縦隔疾患 その他の縦隔疾患 縦隔腫外造血. 別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ. 202112; No.21:309-312.

〔症例報告〕

Muto S, Ozaki Y, Inoue T, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. Diffuse Cystic Metastases in the Lung after Nivolumab Treatment in a Patient with Non-Small Cell Lung Cancer: A Case Report. Case Reports in Oncology. 202102; 14(1):34-38.

Higuchi M, Kawamata T, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Matsumura Y, Suzuki H. Pathological Complete Response after Immune-Checkpoint Inhibitor Followed by Salvage Surgery for Clinical Stage IV Pulmonary Adenocarcinoma with Continuous Low Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio: A Case Report. Case Reports in Oncology. 202107; 14(2):1124-1133.

Kumazawa M, Arakawa H, Maeda S, Nakazato Y, Ohsugi J, Kaji Y. A Case of Pulmonary Venous Malformation Accidentally Discovered in an Adolescent Boy. Journal of Thoracic Imaging. 202111; 36(6):W118-W120.

Okabe N, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Muto S, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Pulmonary large cell carcinoma, highly positive for PD-L1, shows marked response to pembrolizumab: A case report. Thoracic Cancer. 202104; 12(7):1141-1144.

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Yamaura T, Fukuhara M, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. A patient with ALK-positive lung adenocarcinoma who

survived alectinib-refractory postoperative recurrence for 4 years by switching to ceritinib. Thoracic Cancer. 202108; 12(15):2225-2228.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一, 本多通孝. 経輪状甲状靱帯・細径気管支鏡ガイド下で外科的気道確保した縦隔気管内腫瘍の1例. 気管支学. 202109; 43(5):535-538.

大杉純, 長谷川剛生, 野沢佳弘, 藤生浩一, 叢岳. 左肺下葉原発 ciliated muconodular papillary tumor の1切除例 本邦報告例の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌. 202101; 35(1):44-51.

〔その他〕

鈴木弘行. 特集 炉辺閑話 2021 新型コロナウイルス感染症と医師の働き方改革. 日本医事新報. 202101; (5045):59.

鈴木弘行. 編集後記 今月号のトピックス. 日本呼吸器外科学会雑誌. 202103; 35(2).

鈴木弘行. 編集後記. 日本免疫治療学会誌. 202112; 9:33.

鈴木弘行. 福島県病院協会理事就任にあたり. 福島県病院協会会報. 202101; 112:3.

著 書・訳 書

樋口光徳, 鈴木弘行. X.胸膜 4.急性膿胸. In: 日本呼吸器外科学会, 呼吸器外科専門医合同委員会 編集. 呼吸器外科テキスト: 外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 改訂第2版. 東京: 南江堂; 202104. p.419-423.

研究発表等

〔研究発表〕

Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Study of Relationship Between Proportion of CTLA-4 Positive Tregs in Tumor Infiltrating Lymphocytes and PD-L1 TPS. IASLC 2020 World Conference on Lung Cancer; 20210128-31; Web(Singapore). Journal of Thoracic Oncology. 16(3 Supplement):S569.

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. PD1-Positive Tertiary Lymphoid Structure as a Predictive Factor of Durable Clinical Effect in Immunotherapy for NSCLC. IASLC 2021 World Conference on Lung Cancer; 20210908-14; Web. Journal of Thoracic Oncology. 16(10 Supplement):S912.

山口光, 武藤哲史, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 気管支鏡検査後自然消退し、4ヵ月後再増大を認めた扁平上皮癌の一例. 第37回東北肺癌研究談話会; 20210206; Web.

岡部直行, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. CBDCA+nab-PTX にて完全奏効となった胸腺癌術後再発症例の一例. 第 40 回日本胸腺研究会; 20210206-28; Web.

Tanaka H, Mimori K, Goto Y, Shimizu H, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Left lower lobectomy and lingulectomy with VATS for a child with CPAM: A case report. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 癌に対する複合免疫療法の新展開～外科医でなければできないこと～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SP-7-6.

尾崎有紀, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当科におけるワークライフバランスの取り組み. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-041-4.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 外科的切除を施行した胸腺癌における腫瘍免疫関連因子の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-070-1.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. がん免疫療法のバイオマーカー探索は外科医に有利である: 肺癌切除検体において評価可能な PD1 高発現胚中心を有する三次リンパ様構造は長期抗腫瘍効果の十分条件となる可能性がある. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-070-6.

高木玄教, 武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 宗教上の信条による輸血拒否症例への肺切除術 11 例の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-046-2.

塩豊, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 山浦匠, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. ロボット支援下肺葉切除術の導入には術前 3 次元 CT 画像が有用である. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-047-7.

峯勇人, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. ロボット支援下手術は低侵襲手術か. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-047-8.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修修了者を増やしタスクシフトを推進するための課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-094-8.

奥村典仁, 宗淳一, 鈴木弘行, 中田昌男, 藤原俊哉, 中村廣繁, 園部誠, 藤永卓司, 片岡和彦, 玄馬顕一, 片岡正文, 堀田勝幸, 吉岡弘鎮, 松尾恵太郎, 坂本純一, 伊達洋至, 豊岡伸一. 病理病期 I 期 NSCLC 切除例に対する S-1 隔日投与補助化学療法に関する多施設共同無作為化第 II 相試験 (SLCG1301). 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):RO12-5.

武藤哲史, 猪俣頌, 山光, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における, β -catenin の発現と免疫チェックポイント阻害薬による治療効果. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):RO24-2.

松村勇輝, 山光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法の効果予測に外科病理学は必要か? 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO10-4.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術後の気管支瘻を Dumon stent で閉鎖し, 呼吸不全から回復し得た 1 例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO32-7.

藤生浩一, 叢岳, 大杉純, 小田誠. 当院での肺癌ロボット手術の経験. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO58-6.

峯勇人, 山光, 高木玄教, 尾崎有紀, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. ロボット支援下手術は低侵襲手術か. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO58-8.

山光, 猪俣頌, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 原発性肺癌、悪性リンパ腫との鑑別に難渋した肺硝子化肉芽腫の一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO68-5.

長谷川剛生, 大杉純. 術後複数の感染症管理を要した肺クリプトコッカス症の一切除例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO71-4.

猪俣頌, 山光, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺内転移と臨床診断したが、びまん性特発性神経内分泌細胞過形成を合併した stage I 肺腺癌であった一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO79-1.

岡部直行, 猪俣頌, 山光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺腺扁平上皮癌の根治的切除 20 例の検討. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO85-1.

高木玄教, 松村勇輝, 猪俣頌, 山光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 齋藤悠, 田辺隼人, 島袋允生, 鈴木弘行. 異所性 ACTH 産生の定型カルチノイドとクリプトコッカス感染症を合併した一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO92-7.

尾崎有紀, 山光, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺結節を呈した Colloid adenocarcinoma の 1 例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO101-3.

岡部直行, 猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当科におけるロボット支援下肺葉切除～ロボット支援下手術は低侵襲手術か～. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522;

Web.

大杉純. 縦隔型非小細胞肺癌に対するイミフィンジの使用経験. Lung Cancer Roundtable Meeting in Koriyama; 20210527; Web.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌における腫瘍浸潤リンパ球の CTLA-4 発現率と, 腫瘍の PD-L1 発現率との関係. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法において PD1 高発現三次リンパ様構造は独立した長期抗腫瘍効果予測因子である. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 気管切開とマギール鉗子を用いた大量喀血後の凝血塊による気道閉塞の解除方法. 第 179 回東北外科集談会・第 105 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210612; Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 気管切開後気管腕頭動脈瘻に対して 3 期に分けた段階処置と胸腔鏡を用いた根治手術で良好な結果を得られた 1 例. 第 179 回東北外科集談会・第 105 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210612; Web.

武藤哲史. 肺がん手術の新たな術式. 福島県肺がん治療セミナー; 20210615; Web.

大杉純. 当院における肺がん手術の現状. 福島県肺がん治療セミナー; 20210615; Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. N-butyl-2-cyanoacrylate による気管支塞栓で機材汚染予防・非塞栓予定気管支保護のための Lipiodol coating. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S178.

大杉純, 叢岳, 近江史人, 長谷川剛生, 本荘浩, 藤生浩一. 縦隔型肺扁平上皮癌による気管狭窄への AERO ステント留置後の治療が奏功し, 軟性気管支鏡下に抜去し得た 1 例. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S222.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 気胸の気腫部位検索のための生理食塩水胸腔内注入肺超音波検査 (Saline-Filled Lung Ultrasonography, SFLU). 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S237.

長谷川剛生, 大杉純. 膿胸に対する線維素溶解療法後生じた血胸に対して胸腔鏡手術を施行した 1 例. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S323.

高木玄教, 武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 術中操作が原因と考えられた術後気管支穿孔の 2 例. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S340.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌の腫瘍浸潤リンパ球における CTLA-4 発現率と, 腫瘍の PD-L1 発現率との関係. 第 25 回日本がん免疫学会

総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 186.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法において PD1 高発現三次リンパ様構造は独立した長期抗腫瘍効果予測因子である. 第 25 回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 190.

堀池篤, 楠本壮二郎, 白石英晶, 酒谷俊雄, 和久井大, 宮内栄作, 下川恒夫, 細見幸生, 塩豊, 竹ノ下祥子, 龍家主, 三邊武彦, 今村知世, 田坂定智, 井上永介, 和田聡, 吉村清, 相良博典, 小林真一, 角田卓也. PD-L1 高発現未治療進行非小細胞肺癌に対するネシツムマブ+ペムブロリズマブ療法の第 II 相試験 (K-TAIL-202). 第 25 回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 192.

大杉純. 非小細胞肺癌における悪液質の診断・治療を考える (症例提示). がん悪液質診断・治療 WEBカンファランス〜エドルミズの位置づけを考える〜; 20210706; Web.

高木玄教. 小細胞肺癌における DLL3 に次ぐ新規標的候補分子の臨床病理学的解析. 第 47 回北海道肺癌臨床研究会; 20210710; Web.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺内転移と臨床診断したが、びまん性特発性神経内分泌細胞過形成 (DIPNECH) を合併した早期肺腺癌であった一例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1003.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. CBDCA+nab-PTX にて完全奏効を得た胸腺癌術後再発症例の一例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1003-1004.

藤生浩一, 内海裕, 鈴木志恒, 鈴木弘行. ニボルマブ投与中に発症した後腹膜線維症の 1 例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1005.

武藤哲史. 外科医が行う腫瘍免疫トランスレーショナルリサーチ. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium in 南東北; 20210903; Web.

大杉純. 当院における EGFR-TKI の治療経験. 肺癌治療セミナー in Fukushima; 20210916; Web.

山口光, 塩豊, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. 肺癌術後 3 か月で発症した肺アスペルギルス症による続発性気胸の 1 例. 第 25 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会; 20210917-18; Web. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌. 21(2):115.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. COVID-19 感染拡大のため EGFR-TKI 内服を手術に先行し、血管形成を回避できた一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 鎖骨骨折を伴う多発肋骨骨折によって生じた胸郭変形に対して外固定を行なった一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

比佐奨, 高木玄教, 福原光朗, 鈴木弘行. 乳糜胸と縦隔リンパ節腫大を伴い胸腔鏡下生検術により診断した悪性リンパ腫の一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

山浦匠. シークエンス治療を見据えた EGFR 変異非小細胞肺癌治療～EGFR-TKI Ramucirumab 併用療法について～. Lilly NSCLC Web Conference in Fukushima; 20210928; Web.

松村勇輝. 次世代シークエンサーによる遺伝子検査を目的とした組織検体採取への当院での取り組み. 福島希少肺癌フォーラム 2021; 20211007; Web.

大杉純. がん悪液質「アナモレリン塩酸塩」の使用により得られたもの. がん悪液質治療セミナー-ONLINE; 20211027; Web.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. ダンベル型左後縦隔腫瘍の 2 例に対する側臥位と腹臥位 VATS アプローチの経験. 第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

山口大輝, 渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 気管分岐部に発生した腺様嚢胞癌の一切除例. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌と食道癌の重複癌が疑われ術前補助化学療法として FP (5-FU+CDDP) 療法後に同時手術した 3 例の報告. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

佐藤宏樹, 岡部直行, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 上咽頭転移を来した肺腺癌の一例. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

渡部晶之, 山口大輝, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当院における降下性壊死性縦隔炎の 3 例についての検討. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

見城明, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾. チーム医療の推進: 外科医の働き方改革と特定看護師へのタスク・シフト. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S51.

川井大地, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾, 見城明. 特定看護師へのタスクシフトには組織的かつ計画的な対応が必要である. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S72.

北堀有希, 岩館学, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行, 鈴木眞一. 甲状腺癌手術 25 年以上経過して発見された肺転移の 2 切除症例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S888.

岡部直行. 実臨床における Nivo+Ipi±Chemo の使用経験. 腫瘍免疫から考える東北肺癌治療セミナー; 20211120; Web.

長谷川剛生. 肺がん治療の最新情報. 白河医科歯科がん治療勉強会; 20211126; 西郷.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への ICI 投与における内分泌障害の検討. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):620.

尾崎有紀, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬と殺細胞性抗癌剤併用療法後の二次治療の検討. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):631.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. NSCLC における腫瘍局所の制御性 T 細胞及び CD8 T 細胞の CTLA-4 発現率と PD-L1 TPS との関係. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):646.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 抗 PD-1 抗体+抗 CTLA-4 抗体併用療法によって Pseudoprogression を認めた胸腺癌の一例. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):659.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. PD1 陽性胚中心を有する三次リンパ様構造は非小細胞肺癌に対する免疫療法の長期臨床効果予測因子である. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):677.

山口光, 武藤哲史, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における β -catenin の発現と免疫チェックポイント阻害薬による治療効果. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):678.

原田敏之, 横内浩, 山崎成夫, 浦本秀隆, 菊池創, 秋江研志, 菅谷文子, 藤田結花, 高村圭, 小島哲弥, 樋口光徳, 本庄統, 南幸範, 渡部直己, 大泉聡史, 西村正治, 鈴木弘行, 秋田弘俊, 磯部宏. 小細胞肺癌患者の予後予測因子としての OX40 陽性リンパ球の重要性. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):679.

渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 術後再発 LCNEC に対するプラチナ併用療法+ICI による治療効果の検討. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):681.

要知輝, 武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 松村勇輝, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 対側肺の副腫瘍結節と診断したが, ICI 併用化学療法が片側にのみ著効し, 手術に至った同時多発肺癌の一例. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):728.

山口大輝, 武藤哲史, 要知輝, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌術後の FDG-PET/CT において頸部リンパ節転移と考えられたが神経鞘腫であった 1 例. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/ Web. 肺癌. 61(6):733.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. COVID-19 感染拡大のため, EGFR-TKI 内服後に手術し血管形成を回避できた一例. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):740.

山口光, 武藤哲史, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 自然消退後に再増大を認めた肺扁平上皮癌の 1 切除例～腫瘍微小環境からみた機序の考察～. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔シンポジウム〕

高木玄教. irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～ (ディスカッサント). 第 2 回 irAE を考える会 in 福島; 20210324; Web.

山口光, 松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 樋口光徳, 鈴木弘行. 複合免疫療法後に病理学的完全寛解を得られた非小細胞肺癌における病理学的, 免疫組織学的検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. WS-03-3.

樋口光徳, 鈴木弘行. AI を活用した肺癌検診画像支援. 第 61 回日本呼吸器学会学術講演会; 20210423-25; 東京 /Web. 日本呼吸器学会誌. 10(増刊):44.

鈴木弘行. パネルディスカッション ニボ+イピ+ケモをどうやって使っていくか? (パネリスト). I-O Next Steps Seminar 2021; 20210516; Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 4D-CT thoracography と HoloeyesMR による局所麻酔胸腔鏡下肺瘻閉鎖術の手術計画. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S143.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 単孔式胸腔鏡下肺区域切除術における区域間先行形成の利点. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支学. 43(Suppl):S151.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 免疫療法の進歩、現状と課題～腫瘍の微小環境をふまえて～. 第 25 回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 45.

岡部直行. 非小細胞肺癌における悪液質の診断・治療を考える (パネリスト). がん悪液質診断・治療 WEB カンファレンス～エドルミズの位置づけを考える～; 20210729; Web.

鈴木弘行. Panel Discussion 医療 AI の臨床応用を阻む障壁と成功事例から学ぶ対応策 (パネリスト). National Scientific Exchange Meeting 2021; 20210923; Web.

山浦匠. パネルディスカッション irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～ (パネリスト). 第 3 回 irAE を考える会 in 福島; 20211027; Web.

大杉純. パネルディスカッション (パネリスト). 福島県がん遺伝子パネル検査セミナー; 20211028; Web.

武藤哲史. パネルディスカッション 施設における肺癌治療の現状とこれから (ディスカッサント). 基礎・臨床・参画セミナー; 20211028; Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 樋口光徳, 塩豊. 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬療法後サルベージ手術の検討. 第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

大杉純. Presentation & Case Discussion 切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌に対する CRT 実施可否判断とイミフィンジ継続基準について (パネリスト). Ⅲ期非小細胞肺癌治療を考える会 in Fukushima; 20211111; Web.

長谷川剛生. Presentation & Case Discussion 切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌に対する CRT 実施可否判断とイミフィンジ継続基準について (ディスカッサント). Ⅲ期非小細胞肺癌治療を考える会 in Fukushima; 20211111; Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 肺癌の微小環境からみた免疫チェックポイント阻害薬療法後サルベージ手術の有効性. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):504.

堀池篤, 楠本壮二郎, 白石英晶, 酒谷俊雄, 和久井大, 宮内栄作, 下川恒生, 細見幸生, 塩豊, 竹ノ下祥子, 龍家主, 三邊武彦, 今村知世, 田坂定智, 井上永介, 和田聡, 吉村清, 相良博典, 小林真一, 角田卓也. PD-L1 高発現未治療進行非小細胞肺癌に対するネシツムマブ+ペムブロリズマブ療法の第 II 相試験 (K-TAIL-202). 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌における β -catenin に注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌における irAE の経験とその盲点. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔特別講演〕

鈴木弘行. がん免疫療法の新たな展開. 第 39 回岡山免疫懇話会; 20210303; 岡山/Web.

鈴木弘行. 肺癌免疫療法の進歩～日常臨床における疑問解決に向けて～. Niigata Lung Cancer Clinical Research Seminar; 20210305; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における複合免疫療法の意義. NSCLC エリア WEB セミナー; 20210326; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における複合免疫療法の意義. 第 4 回鹿児島呼吸器外科免疫チェックポイント阻害薬実務の会; 20210416; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 山形県肺癌免疫療法セミナー2021; 20210529; Web.

鈴木弘行. Ⅲ期非小細胞肺癌に対する PACIFIC レジメンの有用性. NSCLC Seminar in TOKUSHIMA; 20210611; 徳島.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 第3回 Immuno Oncology Seminar in Kanagawa; 20210709; 横浜.

鈴木弘行. 肺癌治療の今後の展望. 第44回新潟肺癌研究会総会; 20210821; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 非小細胞肺癌 IO-IO セミナー; 20210827; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium in 南東北; 20210903; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. 第3回 The Seeds Seminar; 20210924; Web.

鈴木弘行. 早期肺癌治療の変遷と最新の話題. Lung Cancer Scientific Exchange Meeting 2021 in 北海道東北; 20211106; Web.

鈴木弘行. 外科医が考える進行肺癌に対する治療戦略. AstraZeneca Lung Cancer Seminar; 20211109; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における薬物療法の進歩. Oncology 医療連携セミナー; 20211203; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. KPUM Thoracic Surgery Meeting; 20211210; 京都/Web.

〔招待講演〕

鈴木弘行. 肺癌免疫療法の進歩～外科医目線での ICI の使い方～. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. ALL West JAPAN Meet the Expert～Lead the next～; 20210702; Web.

鈴木弘行. エドルミズの作用とがん悪液質の機序の関係. がん悪液質診断・治療 WEBカンファレンス～エドルミズの位置づけを考える～; 20210706; Web.

鈴木弘行. エドルミズの作用とがん悪液質の機序の関係. がん悪液質診断・治療 WEBカンファレンス～エドルミズの位置づけを考える～; 20210729; Web.

大杉純. アイスブレイキング・療養場所の選択と地域連携. 白河厚生総合病院緩和ケア講習会; 20210828; 白河.

鈴木弘行. 肺癌診療における AI の役割を考える～臨床医の立場から～. National Scientific Exchange Meeting 2021; 20210923; Web.

鈴木弘行. タバコの弊害と肺癌治療の現状. 令和3年度健康教育推進者研修会; 20211004; 下郷町.

鈴木弘行. ドライバー遺伝子変異陽性肺癌治療の現状と課題. 福島希少肺癌フォーラム 2021; 20211007; Web.

武藤哲史. 肺癌と化学療法～研究の紹介と経口抗癌剤～. 基礎・臨床・参画セミナー; 20211028; Web.

武藤哲史. これ1回で完全マスター! ALK 肺癌の段! ～薬剤師向け～. Pharmacist Web Seminar 病棟薬剤師に知って欲しい肺がん医療; 20211109; Web.

〔その他〕

尾崎有紀. がん患者の SARS-COV-2 抗原に対する免疫反応の検討. 令和2年度男女共同参画推進本部 FMU 成果報告会; 20210312; 福島・会津若松/Web.

鈴木弘行. 中外製薬提供肺癌啓発ラジオ放送. ラジオ福島; 20210802.

岡部直行. 福島県立医科大学における呼吸器外科医のスタート. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20210921; Web.

山浦匠. 呼吸器外科医としてのキャリア形成. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20210921; Web.

鈴木弘行. 医学研究と医療の近未来像を議論しよう! ～肺癌の外科療法と薬物療法を例に～. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20210921; Web.

松村勇輝. 肺 縦隔・胸壁疾患 (ディスカッサント). 第180回東北外科集談会・第106回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

樋口光徳, 永田毅, 橋本潤, 鈴木弘行. 肺癌検診への人工知能 (Artificial Intelligence, AI) 実用化に向けた研究. 第4回福島テックプランングランプリ; 20211127; 郡山.

その他の業績・作品等

武藤哲史. アレセンサが自信を持って勧められる薬剤であることを実感した症例 (中外製薬社内教育用資料). 2021.

乳腺外科学講座

論 文

〔原 著〕

Kurebayashi J, Shiba E, Toyama T, Matsumoto H, Okazaki M, Nomizu T, Ohtake T, Fujii T, Ohashi Y. A follow-up study of a randomized controlled study evaluating safety and efficacy of leuprorelin acetate every-3-month depot for 2 versus 3 or more years with tamoxifen for 5 years as adjuvant treatment in premenopausal patients with endocrine-responsive breast cancer. *Breast Cancer*. 202105; 28(3):684-697.

Maiti A, Okano I, Oshi M, Okano M, Tian W, Kawaguchi T, Katsuta E, Takabe K, Yan L, Patnaik S, Hait NC. Altered Expression of Secreted Mediator Genes That Mediate Aggressive Breast Cancer Metastasis to Distant Organs. *Cancers*. 202105; 13(11):2641.

Oshi M, Murthy V, Takahashi H, Huyser M, Okano M, Tokumaru Y, Omar M Rashid, Matsuyama R, Endo I, Takabe K. Urine as a Source of Liquid Biopsy for Cancer. *Cancers*. 202105; 13(11):2652.

Okano M, Oshi M, Mukhopadhyay S, Qi Q, Yan L, Endo I, Ohtake T, Takabe K. Octogenarians' Breast Cancer Is Associated with an Unfavorable Tumor Immune Microenvironment and Worse Disease-Free Survival. *Cancers*. 202106; 13(12):2933.

Okano M, Nomizu T, Tachibana K, Nagatsuka M, Matsuzaki M, Katagata N, Ohtake T, Yokoyama S, Arai M, Nakamura S. The relationship between BRCA-associated breast cancer and age factors: an analysis of the Japanese HBOC consortium database. *Journal of Human Genetics*. 202103; 66(3):307-314.

阿左見亜矢佳, 勝部暢介, 赤間孝典, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 立花和之進, 大竹徹, 野水整. 乳癌術式決定に遺伝学的検査が有用であった遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)の一卵性双生児症例. 遺伝性腫瘍. 202108; 21(2):41-46.

長塚美樹, 片方直人, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 二瓶光博, 野水整. 乳癌膵臓転移 17 例の治療成績. 乳癌の臨床. 202108; 36(4):287-293.

〔総説等〕

Ozaki A, Tachibana K, Ohtake T. Challenges and future directions in breast cancer care in Fukushima prefecture in Japan: correspondence to “A survey on the current status of clinical resources for diagnosis and treatment of breast cancer in rural hospitals of the Tohoku region in Japan”. *Breast Cancer*. 202109; 28(5):1163-1164.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべ

きグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. 日本外科学会雑誌. 202101; 122(1):90-92.

〔症例報告〕

阿左見祐介, 和田仁, 瀬戸一郎, 阿左見亜矢佳, 佐藤直, 鈴木伸康, 寺西寧, 立花和之進, 大竹徹. 乳癌脊髄髄内転移に対し緊急放射線療法が著効した進行乳癌の1例. 癌と化学療法. 202105; 48(5):705-707.

東條華子, 阿部貞彦, 立花和之進, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 磯上弘貴, 添田周, 渡邊尚史, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 浸潤性乳管癌術後に子宮転移を認めた1例. 癌と化学療法. 202112; 48(13):1885-1888.

鉄地川原香恵, 濱田晃市, 堀川宜範, 志波慶樹, 永橋堯之, 福島大造, 西野徳之, 阿左見亜矢佳, 佐久間秀夫, 大竹徹. 直腸転移をきたした乳腺浸潤性小葉癌の1例. 日本消化器病学会雑誌. 202110; 118(10):952-958.

桑川知之, 岡野舞子, 勝部暢介, 林下宗平, 長塚美樹, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 喜古雄一郎, 二瓶光博, 野水整. 家族歴から遺伝性乳癌を疑い、BRCA1/2 遺伝学的検査後に予定術式を変更した1例. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):29-34.

研究発表等

〔研究発表〕

徳田恵美, 立花和之進, 山口明子, 福田冬馬, 阿左見祐介, 木村礼子, 佐々木栄作, 大竹徹, 佐治重衡. 妊娠中に周術期化学療法を行った乳癌患者への多職種連携支援の重要性. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20210218-21; Web.

阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 磯上弘貴, 渡部尚文, 添田周, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 浸潤性乳管癌術後に子宮転移を認めた1例. 第18回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

佐川有理子, 岡野舞子, 岩倉敬, 東條華子, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 若手セッション 巨大な乳房を認めた良性対称性脂肪腫症 (Madelung 症) の1例. 第18回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

東條華子, 岡野舞子, 勝部暢介, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 若手セッション 対側リスク低減乳房切除術を行った遺伝性乳癌卵巣癌症候群の3例. 第18回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 村上祐子, 星信大, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. FDG-PET/CTによる乳癌術前化学療法のリンパ節転移に対する治療効果予測. 第18回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

立花和之進, 稲野彰洋, 趙松吉, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 佐々木茂貴, 大竹徹. トリチウムによる放射活性標識を用いた核酸医薬 (RPN2siRNA-A6K) の組織内動態の技術構築. 第121回日本外科学会定期

学術集会; 20210408-10; Web.

星信大, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 立花和之進, 和栗聡, 大竹徹. 乳癌におけるクラスリンアダプター分子 AP-1 の発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

阿左見亜矢佳, 鈴木伸康, 佐藤直, 阿左見祐介, 立花和之進, 大竹徹. 当院における乳癌地域連携診療とパスの運用状況. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

阿左見祐介, 阿左見亜矢佳, 鈴木伸康, 佐藤直, 立花和之進, 大竹徹. StageIV乳癌症例に対する局所治療の意義. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹, 岡野舞子. 乳腺悪性腺筋上皮腫の 1 例. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

大竹徹 (座長). 厳選口演 5 患者支援. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

岡野舞子, 勝部暢介, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 当院においてコンパニオン診断としての BRCA1/2 遺伝学的検査を行った症例についての検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

加瀬晃志, 立花和之進, 磯上弘貴, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 添田周, 渡邊尚文, 大竹徹. 子宮に転移を認めた乳癌再発の 1 例. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

片方直人, 大河内千代, 後藤かおり, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 野水整, 二瓶光博. 乳癌骨転移に対するビスホスホネート製剤投与中に生じた非定型大腿骨骨折の 1 例. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

後藤かおり, 岡野舞子, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整, 二瓶光博. 乳癌術前化学療法後 pCR と関連する因子についての検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

鈴木伸康, 阿左見亜矢佳, 佐藤直, 阿左見祐介, 立花和之進, 大竹徹. 当院における CDK4/6 阻害薬の治療成績. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. 当科における BRCA1/2 遺伝学的検査の実施状況と今後の課題. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 術後補助内分泌療法中の骨粗鬆症への対応についての解析. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021; 横浜/Web.

東條華子, 岡野舞子, 喜古雄一郎, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 橋本優子, 佐治重衡, 野水整. 良悪性の鑑別に難渋した乳腺悪性腺筋上皮腫の一例. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜

/Web.

長塚美樹, 野水整, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 喜古雄一郎, 橋本優子, 本間美和子. ルミナルタイプ乳癌における CK2 の検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. FDG-PET/CT による乳癌術前化学療法の治療効果判定についての検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

星信大, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. ホルモン受容体陽性進行・再発乳癌における CDK4/6 阻害薬の当施設での使用状況. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

松寄正實, 長塚美樹, 岡野舞子, 後藤かおり, 片方直人, 野水整, 二瓶光博. マンモグラフィーにおける『高濃度乳房』形成要因の探索. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

村上祐子, 阿部貞彦, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. エリブリンの効果予測因子の検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

渡部茉佑, 岡野舞子, 勝部暢介, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 多重癌の既往歴と濃厚な家族歴から Lynch 症候群が疑われたが遺伝性乳癌卵巣癌症候群であった 1 例. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

後藤かおり, 岡野舞子, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 二瓶光博, 野水整. 当院で施行した乳房温存手術後断端陽性症例における局所再発の検討. 第 18 回福島県乳癌研究会; 20211030; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 近赤外光カメラシステム LIGHTVISION を用いた ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検. 第 18 回福島県乳癌研究会; 20211030; Web.

村上祐子. エリブリンの効果予測因子の検討. 第 5 回福島県乳癌外科研究会; 20211105; Web.

〔シンポジウム〕

立花和之進 (座長). HR 陽性 HER2 陰性 MBC の治療戦略を考える. ファイザーインターネットシンポジウム in 東北 JOIN 2021 Join on IBRANCE New strategy; 20210216; Web.

石田孝宣, 南條博, 寺田かおり, 谷内亜衣, 高橋絵梨子, 村上祐子. 教育セミナー (パネルディスカッション). 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

勝部暢介, 赤間孝典, 後藤かおり, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 遺伝性乳癌診療の現状と課題 当院における遺伝性乳癌診療の歩みと今後の展望. 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

立花和之進, 赤間孝典, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 遺伝性乳癌診

療の現状と課題 1 当科における遺伝性乳癌診療の現状と課題 (BRCA1/2 遺伝学的検査を中心に) . 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

長塚美樹, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 遺伝性乳癌診療の現状と課題 2 HBOC に対する BRCA 遺伝学的検査の疾病・病診連携. 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

佐治重衡, 金沢賢也, 高木玄教, 立花和之進. irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～. 第 2 回 irAE を考える会 in 福島; 20210324; Web.

立花和之進 (司会) . 患者さんが安心できる服薬指導を目指した、医師と薬剤師の連携. 乳癌チームケアセミナー in Fukushima; 20210521; Web.

新倉直樹, 片方直人, 安田満彦, 旭修司, 立花和之進. COVID19 禍における HER2 陽性/HER2 陰性周術期乳がん化学療法について. 乳癌 FN マネージメント 2021 1st announcement; 20210528; Web.

勝部暢介, 赤間孝典, 後藤かおり, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 野水整. ポスターディスカッション 5 遺伝性乳癌 2 遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)における家族歴の濃厚さについての検討. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210701-03; 横浜/Web.

佐治重衡, 竹村真生子, 岡野舞子, 尾崎章彦, 阿左見亜矢佳, 星信大. Discussion. Fukushima Breast Cancer Symposium; 20210713; Web.

旭修司, 阿左見亜矢佳, 竹村真生子, 立花和之進, 山田睦夫. CDK4/6 阻害剤の課題を改めて考える～臨床と患者さんの視点から～. 郡山乳癌オンラインセミナー; 20210831; Web.

大竹徹. がんの個性に合わせた治療 (基調講演) . 第 34 回日本臨床内科医学会; 20210919; 郡山.

立花和之進 (コメンテーター) . Discussion. Breast Cancer Web Seminar; 20211028; Web.

岡野舞子 (座長) . Session2. 第 18 回福島県乳癌研究会; 20211030; Web.

川口英俊, 橋本直人, 宇佐美伸, 立花和之進. 総合討論. 進行・再発乳がんの治療戦略を考える会 in 東北; 20211124; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 阿部宣子, 吉田清香, 大竹徹. 検診はサイエンス～次世代を担う若手医師、技師が目指す乳がん検診～ 地域医療から切り拓く次世代の乳がん検診. 第 31 回乳癌検診学会学術総会; 20211126-27; 京都/Web.

〔特別講演〕

立花和之進. 知ってください「乳がん」のこと. 福島県「学生予防サポーター養成事業」出前講義 (桜の聖母学院高等学校) ; 20210114; 福島.

立花和之進. 乳がん診療におけるチーム医療～医師の立場から見た薬剤師の関わり～. 薬剤師がん治療 Web セミ

ナーin 福島; 20210119; Web.

立花和之進. 転移再発 Luminal type 乳癌の治療戦略について. 大鵬薬品社内研修会; 20210126; Web.

立花和之進. 乳癌と疼痛管理について. 久光製薬株式会社社内医薬情報担当者勉強会; 20210202; 福島.

立花和之進. 乳癌薬物療法の治療方針 PD-L1 検査 (SP142) の実際について. 中外製薬社内研修会; 20210225; 福島.

大竹徹 (座長). スポンサーセミナー5 CDK4/6 阻害薬による乳がん治療のパラダイムシフト. 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

立花和之進. 乳がん治療について. がん診療連携拠点病院の薬局薬剤師研修支援事業研修会; 20210311; Web.

立花和之進. 当院における骨粗鬆症への対応と工夫. WEB 講演会～骨粗鬆症治療をニューノーマルな視点から再考する～; 20210319; Web.

立花和之進. 当院における進行再発 TNBC 薬物治療戦略について. 県北乳がん診療 Small Meeting; 20210513; Web.

立花和之進. 乳がんの治療戦略. ノバルティスファーマ株式会社社内研修会; 20210708; Web.

立花和之進. 転移再発 Luminal type 乳癌治療における Fulvestrant の位置づけ. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20210904; 郡山.

大竹徹. 乳癌外科治療の進歩 (特別講演). エチコン・ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社社内研修会; 20210910; 福島.

大竹徹. 福島県のがん対策とがん診療の課題 (特別講演). 第 4 回福島県がんシンポジウム; 20210911; 福島.

立花和之進. トリプルネガティブ乳癌に対する治療戦略と irAE への対応. 福島県乳がんチーム医療ワークショップ; 20211002; Web.

立花和之進. がんを学ぶ～乳癌を中心に～. 健康教育推進者研修会; 20211014; 田村.

大竹徹. 乳癌個別治療 Update (特別講演). いわき乳腺疾患研究会; 20211015; Web.

大竹徹 (司会). 学術セミナー45 頭皮冷却装置による脱毛予防効果の実際と工夫. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

立花和之進. 乳がん治療における免疫チェックポイント阻害薬の使い方と副作用マネジメントのピットフォール. 第 16 回日本乳がん看護研究会; 20211107; Web.

立花和之進. 乳癌患者へのメンタルヘルスケアとクリニカルパスについて. MR 研修会; 20211116; 福島.

大竹徹. 乳癌の個別化医療（特別講演）. がん治療懇話会; 20211119; 郡山.

立花和之進. 中外製薬社内講演. 中外製薬社内研修会; 20211125; 福島.

立花和之進. がんを学ぶ～乳癌を中心に～. 健康教育推進者研修会; 20211125; 中島村.

立花和之進. 乳がんについて. 学生予防サポーター養成セミナー; 20211126; Web.

立花和之進. 協和キリン社内講演. 協和キリン社内研修会; 20211203; 福島.

野田勝. 福島県における乳癌検診の現状. 大鵬薬品社外講師招聘研修会; 20211222; Web.

立花和之進. 乳癌領域におけるジクトルテープの使い所. ジクトルテープ 75mg Web Seminar; 20211223; Web.

〔招待講演〕

立花和之進. CDK4/6i 時代のフルベストラントの役割を考える. AstraZeneca Breast Cancer TV セミナー; 20211029; Web.

〔その他〕

西村顕正, 立花和之進. 若手セッション座長. 第 18 回日本乳癌学会東北地方会; 20210306-31; Web.

大竹徹. 専門医に聞く～乳がんについて～. テレビ放映「げっきん S」; 20211027; テレビユー福島.

野田勝（座長）. Session1. 第 18 回福島県乳癌研究会; 20211030; Web.

大竹徹. 専門医に聞く～乳がん治療法～. テレビ放映「げっきん S」; 20211103; テレビユー福島.

大竹徹. 専門医に聞く～乳がん予防検診を専門医に聞く～. テレビ放映「げっきん S」; 20211110; テレビユー福島.

心臓血管外科学講座

論 文

〔原 著〕

Igarashi T, Satokawa H, Sato Y, Takase S, Wakamatsu H, Seto Y, Kurosawa H, Iwai-Takano M, Fujimiya T, Shinjo H, Ishida K, Yokoyama H. Long-term results of modified bentall procedures: 18-year experience of the flanged technique. Fukushima Journal of Medical Science. 202112; 67(3):119-127.

Takano T, Katada Y, Komaki N, Onozawa S, Yokoyama H. A technique for creating an experimental type Ia endoleak model in the thoracic aorta of swine. Japanese Journal of Radiology. 202111; 39(11):1127-1132.

Fujimiya T, Seto Y, Ishida K, Takase S, Satokawa H, Yokoyama H. Impending rupture of abdominal aortic aneurysm due to spontaneous obstruction of aortocaval fistula after endovascular abdominal aortic aneurysm repair. Journal of Vascular Surgery Cases and Innovative Techniques. 202102; 7(2):219-222.

Takano T, Iwai-Takano M, Tsuboko Y, Shiraishi Y, Yambe T, Igarashi T, Yokoyama H. Reflected wave intensity increases based on aortic diameter after endovascular aortic therapy in a goat model. Scientific Reports. 202102; 11(1):3830.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. 日本外科学会雑誌. 202101; 122(1):90-92.

松宮護郎, 鈴木孝明, 横山斉. 心臓手術時の肺動脈カテーテル使用と関連合併症に関するアンケート調査. 日本心臓血管外科学会雑誌. 202101; 50(1):1-7.

永田恵実, 五十嵐崇, 佐戸川弘之, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 冠血流障害により虚血性心筋症を発症した A 型大動脈解離の 1 例. 日本心臓血管外科学会雑誌. 202107; 50(4):279-282.

研究発表等

〔研究発表〕

武藤雄紀, 國井浩行, 大河内諭, 和田健斗, 井山慶大, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 藤宮剛, 瀬戸夕輝, 高瀬信弥, 石田隆文, 竹石恭知. 経カテーテルの大動脈弁植込み術で大動脈解離を発症した右側大動脈弓合併例. 第 29 回日本心臓血管インターベンション治療学会; 20210218-28; Web.

五十嵐崇, 佐戸川弘之, 瀬戸夕輝, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 臓器灌流障害を合併する急性 A 型

大動脈解離の治療戦略. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 横山齊. 2-debranching TEVAR 施行後 10 年経過して発症した逆行性 A 型大動脈解離に対する緊急手術の一例. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山齊. 2-debranching TEVAR の合併症を予防するためには何が必要か? 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山齊. 高度粥腫を伴った非解離性胸部大動脈瘤に対する TEVAR の治療成績. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

藤宮剛, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 新城宏治, 石田圭一, 横山齊. 静脈穿破を伴った腹部大動脈瘤症例の検討. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山齊. 当院の癌関連静脈血栓症 (CAT) の発生状況と使用薬剤の状況. 第 41 回日本静脈学総会; 20210907; Web.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 横山齊. 上大静脈再建術を施行した胸部悪性腫瘍の 4 例. 第 6 回東北静脈フォーラム; 20210925; Web(仙台).

外科研修支援担当

論文

〔原著〕

Neupane P, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Ito M, Thar Min AK, Saito K, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. The Expression of Immune Checkpoint Receptors and Ligands in the Colorectal Cancer Tumor Microenvironment. Anticancer Research. 202110; 41(10):4895-4905.

Miyanaga A, Matsumoto M, Beck JA, Horikawa I, Oike T, Okayama H, Tanaka H, Burkett SS, Robles AI, Khan M, Lissa D, Seike M, Gemma A, Mano H, Harris CC. EML4-ALK induces cellular senescence in mortal normal human cells and promotes anchorage-independent growth in hTERT-transduced normal human cells. BMC Cancer. 202103; 21(1):310.

Min AKT, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z,

Momma T, Ohki S, Kono K. Therapeutic potential of anti-VEGF receptor 2 therapy targeting for M2-tumor associated macrophages in colorectal cancer. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202102; 70(2):289-298.

Momma T, Okayama H, Kanke Y, Fukai S, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Ohki S, Kono K. Validation of Gene Expression-Based Predictive Biomarkers for Response to Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Locally Advanced Rectal Cancer. *Cancers*. 202109; 13(18):4642.

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promotor hypermethylation. *Carcinogenesis*. 202102; 42(1):21-30.

Ujiie D, Matsumoto T, Endo E, Okayama H, Fujita S, Kanke Y, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Ohki S, Kono K. Circulating tumor cells after neoadjuvant chemotherapy are related with recurrence in esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus*. 202107; 18(3):566-573.

Haga J, Sato N, Anazawa T, Kimura T, Kenjo A, Gotoh M, Marubashi S. Comprehensive analysis of gene expression of isolated pancreatic islets during pretransplant culture. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):17-26.

Igarashi T, Satokawa H, Sato Y, Takase S, Wakamatsu H, Seto Y, Kurosawa H, Iwai-Takano M, Fujimiya T, Shinjo H, Ishida K, Yokoyama H. Long-term results of modified bentall procedures: 18-year experience of the flanged technique. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):119-127.

Sato N, Kenjo A, Nishimagi A, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Yamada S, Hashimoto Y, Marubashi S. Accuracy comparison of MR elastography and biological markers in detecting liver fibrosis and predicting postoperative ascites. *HPB*. 202109; 23(9):1383-1391.

Sakamoto W, Ohki S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Long-term Outcomes of Lower Rectal Cancer Patients Treated with Total Mesorectal Excision and Lateral Pelvic Lymph Node Dissection after Preoperative Radiotherapy or Chemoradiotherapy. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 202104; 5(2):129-136.

Fujimiya T, Seto Y, Ishida K, Takase S, Satokawa H, Yokoyama H. Impending rupture of abdominal aortic aneurysm due to spontaneous obstruction of aortocaval fistula after endovascular abdominal aortic aneurysm repair. *Journal of Vascular Surgery Cases and Innovative Techniques*. 202102; 7(2):219-222.

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant Chemotherapy Induces IL34 Signaling and Promotes Chemoresistance via Tumor-Associated Macrophage Polarization in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano

H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Kobayashi Y, Kumamoto K, Okayama H, Matsumoto T, Nakano H, Saito K, Matsumoto Y, Endo E, Kanke Y, Watanabe Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Downregulation of PAICS due to loss of chromosome 4q is associated with poor survival in stage III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 202102; 16(2):e0247169.

Nakano H, Saito M, Nakajima S, Saito K, Nakayama Y, Kase K, Yamada L, Kanke Y, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Goto A, Kono K. PD-L1 overexpression in EBV-positive gastric cancer is caused by unique genomic or epigenomic mechanisms. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1982.

Sato N, Kenjo A, Suzushino S, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Marubashi S. Predicting Post-Hepatectomy Liver Failure Using Intra-Operative Measurement of Indocyanine Green Clearance in Anatomical Hepatectomy. *World Journal of Surgery*. 202112; 45(12):3660-3667.

望月翔太郎, 山田玲央, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 中島隆宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 術前確定診断された肺癌胃転移に対して腹腔鏡下切除術を施行した1例. *癌と化学療法*. 202108; 48(8):1057-1060.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損大腸癌における糖鎖抗原を標的とした免疫療法の可能性. *癌と化学療法*. 202110; 48(10):1275-1277.

大木進司, 岡山洋和, 千田峻, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. High risk stage II 大腸癌における Glasgow prognostic score の意義と治療戦略. *癌と化学療法*. 202112; 48(13):1770-1773.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. *日本外科学会雑誌*. 202101; 122(1):90-92.

永田恵実, 五十嵐崇, 佐戸川弘之, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 冠血流障害により虚血性心筋症を発症したA型大動脈解離の1例. *日本心臓血管外科学会雑誌*. 202107; 50(4):279-282.

〔総説等〕

Ujiie D, Okayama H, Kono K. The role of KRT17 in colorectal cancer. *Aging*. 202108; 13(16):19950-19951.

研究発表等

〔研究発表〕

田中秀明, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆管空腸吻合法の工夫. 第38回日本肝移植学会学術集会; 20210212-13; Web.

武藤雄紀, 國井浩行, 大河内諭, 和田健斗, 井山慶大, 阿部諭史, 及川雅啓, 小林淳, 藤宮剛, 瀬戸夕輝, 高瀬信弥, 石田隆文, 竹石恭知. 経カテーテル的大動脈弁植込み術で大動脈解離を発症した右側大動脈弓合併例. 第29回日本心血管インターベンション治療学会; 20210218-28; Web.

伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 悪性黒色腫の小腸転移による腸重積に対し外科的切除を施行した3例の検討. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

遠藤英成, 金澤匡司, 坂本渉, 松本拓朗, 氏家大輔, 芦澤舞, 中島隆宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. スマートフォンを用いたCT画像遠隔読影の正確性の検討. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 山田玲央, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対するBridge to surgeryを目的とした大腸ステント留置症例の治療成績. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

加瀬晃志, 渡辺洋平, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 山田玲央, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における当院でのMSI検査の現況. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

草間大輔, 菊池智宏, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. pMMR/MSI-L/MSS大腸癌における抗PD-1抗体を用いた免疫治療の可能性. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

近内政美, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの浸潤傾向について. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

齋藤元伸, 仲野宏, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子PD-L1、MSI/MMR、EBVについての検討. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

坂本渉, 伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 手術合併症に対する大腸外科医の引き出し—その予防とリカバリーショット— 当科における直腸癌に対する低位前方切除術後縫合不全リスク因子解析と予防戦略 開腹・腹腔鏡・ロボットアプローチ併存世代. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

鈴木博也, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現機構について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

仲野宏, 齋藤元伸, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 松本拓朗, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌の臨床病理学的特徴と PD-L1 高発現の機序の解明. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

林下宗平, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EMT を起こした食道扁平上皮癌に対する抗 PD-1 療法の可能性. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

三村耕作, 菊池智宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 吉村清, 角田卓也, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌叢に伴う免疫抑制について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

望月翔太郎, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

山内直人, 菅家康之, 加瀬晃志, 仲野宏, 遠藤英成, 松本拓朗, 花山寛之, 渡辺洋平, 岡山洋和, 早瀬傑, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における間質の CAFs 関連分子発現による予後予測因子としての有用性の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

山田玲央, 齋藤元伸, 遠藤英成, 仲野宏, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 松本拓朗, 菅家康之, 花山寛之, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 岡山洋和, 早瀬傑, 坂本渉, 藤田正太郎, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 胃癌発生に関与する CDX2 と IL-6/STAT3 シグナルの検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

大木進司, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. High risk stage II 大腸癌における Glasgow prognostic score の意義と治療戦略. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

五十嵐崇, 佐戸川弘之, 瀬戸夕輝, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 臓器灌流障害を合併する急性 A 型大動脈解離の治療戦略. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 横山斉. 2-debranching TEVAR 施行後 10 年経過して発症した逆行性 A 型大動脈解離に対する緊急手術の一例. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

瀬戸夕輝, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 2-debranching TEVAR の合併症を予防するためには何が必要か? 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 高度粥腫を伴った非解離性胸部大動脈瘤に対する TEVAR の治療成績. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

藤宮剛, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 静脈穿破を伴った腹部大動脈瘤症例の検討. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

村松賢一, 渡邊正明, 藤宮剛. ベーチェット病に発症した急性 A 型大動脈解離の一例. 第 49 回日本血管外科学会学術集会; 20210519-21; Web.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における技術認定医「量産」への取り組みと腹腔鏡補助下／ロボット支援下低位前方切除縫合不全との関わり. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2 マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. dMMR 大腸癌における Tn 抗原の発現と免疫抑制. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

加瀬晃志, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. APC 遺伝子大規模欠損を伴う家族性大腸腺腫症に伴った腹腔内デスマイト腫瘍が破綻し腹膜炎をきたした 1 例. 第 27 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2 マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

岡山洋和, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 直腸癌に対する術前放射線化学療法効果を予測する multi-gene assay の in silico メタアナリシス. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における他臓器浸潤局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy (TNT) の導入. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

齋藤元伸, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 消化器癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

坂本渉, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法の安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 経仙骨と経腹の2方向からのアプローチで切除した骨盤内巨大直腸 GIST の1例. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における抗 PD-1 抗体を用いた複合免疫療法の開発. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 潰瘍性大腸炎, 家族性大腸腺腫症における大腸全摘・回腸囊肛門吻合後の排便機能の評価. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

山内直人, 菅家康之, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌間質における癌関連線維芽細胞およびその関連分子の発現による再発予測因子としての有用性. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

高瀬信弥, 佐戸川弘之, 若松大樹, 黒澤博之, 瀬戸夕輝, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 石田圭一, 横山斉. 当院の癌関連静脈血栓症 (CAT) の発生状況と使用薬剤の状況. 第41回日本静脈学総会; 20210907; Web.

石田圭一, 佐戸川弘之, 高瀬信弥, 若松大樹, 瀬戸夕輝, 黒澤博之, 五十嵐崇, 藤宮剛, 新城宏治, 横山斉. 上大静脈再建術を施行した胸部悪性腫瘍の4例. 第6回東北静脈フォーラム; 20210925; Web(仙台).

伊藤美郷, 三村耕作, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大塚幹夫, 山本俊幸, 河野浩二. 転移性悪性黒色腫に対するICI治療中の免疫逃避メカニズムについて. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

岩田垂弓, 松本拓朗, 氏家大輔, 遠藤英成, 岡山洋和, 藤田正太郎, 菅家康之, 多田武志, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 大木進司, 河野浩二. 食道扁平上皮癌の術前補助化学療法前後での circulating tumor cells の評価. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

岡山洋和, 松本拓朗, 遠藤英成, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 伊藤美郷, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. MSI/dMMR 大腸癌の subclassification. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

小野澤寿志, 深井智司, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. pStageII/III 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅家康之, 山内直人, 齋藤勝治, 岡山洋和, 山田匠希, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 橋本優子, 河野浩二. 食道扁平上皮癌間質での CAF 関連分子の発現は予後に関連する. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

齋藤元伸, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 連携病院におけるエキスパートパネルを通じてのがんゲノム教育. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23;

横浜/Web.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅原良太, 菅家康之, 深井智司, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 交差癒合腎合併進行大腸癌に対し蛍光尿管ステントを用い鏡視下手術を施行した症例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

東條華子, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における腫瘍随伴マクロファージへの術前補助化学療法の効果について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

長谷川誠, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. NAC が誘導する IL-34 が ESCC の TAM の M2 分極に及ぼす影響. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. Pembrolizumab 療法から Ipilimumab+Nivolumab 療法に変更して治療した大腸癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

松本拓朗, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌における染色体 8p 上の遺伝子 SH2D4A の不活化. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

三村耕作, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における抗 PD-1 療法のバイオマーカーと複合免疫療法の開発について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

森友輔, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 悪性黒色腫の消化管転移 4 例の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

門馬智之, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. がん診療における遺伝性腫瘍への対応. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

小野澤寿志, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112-13; 広島/Web.

岩田亜弓, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 小腸原発の髄外性形質細胞腫の一例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腹腔鏡下低位前方切除術後に発症した左下肢コンパートメント症候群の1例. 第34回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 金田晃尚, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 悪性黒色腫における免疫チェックポイント阻害薬抵抗性のメカニズムについて. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

金田晃尚, 中嶋正太郎, 伊藤美郷, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作, 河野浩二. dMMR/MSI-H 大腸癌における cGAS-STING 経路の発現. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

河野浩二, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 伊藤美郷, 岡山洋和, 齋藤元伸, 三村耕作. 複合免疫療法における免疫環境の最適化には? 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法の安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔特別講演〕

藤宮剛. 外科医と考える大動脈瘤・大動脈解離: 超音波で如何に診るか. ECHO TOHOKU 2021; 20211127; Web.

〔その他〕

岡山洋和 (座長). 上部消化管2. 第179回東北外科集談会, 第105回日本胸部外科学会東北地方会, 第37回日本血管外科学会東北地方会, 第94回日本小児外科学会東北地方会; 20210612; Web.

岡山洋和, 矢部信成 (座長). 大腸・良性・炎症性腸疾患・腸炎. 第83回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京.

脳神経外科学講座

論 文

〔原 著〕

Yamaguchi S, Hirata K, Okamoto M, Shimosegawa E, Hatazawa J, Hirayama R, Kagawa N, Kishima H, Oriuchi N, Fujii M, Kobayashi K, Kobayashi H, Terasaka S, Nishijima KI, Kuge Y, Ito YM, Nishihara H, Tamaki N, Shiga T. Determination of Brain Tumor Recurrence using ^{11}C -methionine Positron Emission

Tomography after Radiotherapy. *Cancer Science*. 202110; 112(10):4246-4256.

Hiruta R, Sato T, Itakura T, Fujii M, Sakuma J, Bakhit M, Kojima T, Ichikawa M, Iwatate K, Saito K. Intraoperative transcranial facial motor evoked potential monitoring in surgery of cerebellopontine angle tumors predicts early and late postoperative facial nerve function. *Clinical Neurophysiology*. 202104; 132(4):864-871.

Iwatate K, Kikuchi Y, Sato S, Bakhit M, Hyodo A. A Ruptured Spetzler and Martin Grade V Arteriovenous Malformation in a Child Treated With Radiotherapy Followed by Embolization: A Case Report and Literature Review. *Cureus*. 202107; 13(7):e16605.

Fujii M, Kobayakawa M, Saito K, Inano A, Morita A, Hasegawa M, Mukasa A, Mitsuhara T, Goto T, Yamaguchi S, Tamiya T, Nakatomi H, Oya S, Takahashi F, Sato T, Bakhit M; On Behalf Of The BeatNF Trial Investigators. Rationale and Design of BeatNF2 Trial: A Clinical Trial to Assess the Efficacy and Safety of Bevacizumab in Patients with Neurofibromatosis Type 2 Related Vestibular Schwannoma. *Current Oncology*. 202101; 28(1):726-739.

Yokoi S, Nishio N, Fujimoto Y, Fujii M, Iwami K, Hayashi Y, Takanari K, Hiramatsu M, Maruo T, Mukoyama N, Tsuzuki H, Wada A, Kamei Y, Sone M. Feasibility of virtual surgical simulation in the head and neck region for soft tissue reconstruction using free flap: a comparison of preoperative and postoperative volume measurement. *International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*. 202103; 50(3):316-322.

Ito Y, Kojima T, Sato N, Oinuma M, Horiuchi K, Ichikawa T, Oda K, Maeda T, Saito K. Results of Mechanical Thrombectomy 6 Hours after Stroke Onset: Analysis of Multiple Stroke Centers in Fukushima Prefecture. *Journal of Neuroendovascular Therapy*. 202104; 15(4):220-227.

Iwami K, Fujii M, Nishio N, Maruo T, Fujimoto Y, Takanari K, Kamei Y, Yamada M, Ogawa T, Osuka K, Saito K. Skull Base Invasion Patterns of Malignant Head and Neck Tumors: A Neurosurgical Perspective. *Journal of neurological surgery. Part B, Skull base*. 202107; 82(Suppl 3):e120-e130.

Iwami K, Fujii M, Jinguji S, Kishida Y, Watanabe T, Oosuka K, Saito K. Skull Base Reconstruction Using a Temporoparietal Galeal Flap in Simultaneous Transnasal and Transcranial Surgery for the Prevention of Carotid Blowout Syndrome: A Report of 3 Cases. *Journal of neurological surgery. Part B, Skull base*. 202107; 82(Suppl 3):e236-e242.

Hoshi K, Ito H, Abe E, Fuwa TJ, Kanno M, Murakami Y, Abe M, Murakami T, Yoshihara A, Ugawa Y, Saito T, Saido TC, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Furukawa K, Arai H, Kanai M, Miyajima M, Arai H, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Tateno H, Honda T, Hashimoto Y. Transferrin Biosynthesized in the Brain Is a Novel Biomarker for Alzheimer's Disease. *Metabolites*. 202109; 11(9):616.

Sato T, Itakura T, Bakhit M, Iwatate K, Sasaki H, Kishida Y, Jinguji S, Fujii M, Sakuma J, Saito K. A novel needle electrode for intraoperative fourth cranial nerve neurophysiological mapping. *Neurosurgical Review*. 202108; 44(4):2355-2361.

Iwami K, Fujii M, Nishio N, Maruo T, Yoshida T, Mukoyama N, Osuka K, Takanari K, Murotani K, Kamei Y, Sone M, Fujimoto Y, Saito K. Surgical Classification of Radical Temporal Bone Resection and Transcranial Tympanotomy: A Retrospective Study from the Neurosurgical Perspective. *World Neurosurgery*. 202107; 151:e192-e207.

二村美也子, 藤井正純, 前澤聡. 【マルチリンガルブレイン】マルチリンガルと電気刺激による言語機能マッピング. *BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩*. 2021030; 73(3):0247-0255.

橋野洸平, 佐藤拓, 岸田悠吾, 黒見洋介, 喜古雄一郎, 山田昌幸, 丹原正夫, 佐久間潤, 齋藤清. トルコ鞍内から鞍上部に存在した上衣腫の 1 例. *Neurological Surgery*. 202101; 49(1):185-191.

藤井正純. 覚醒下手術と認知神経科学の邂逅、そして「高次脳機能解剖学」へ. *認知神経科学*. 202112; 23(2):69-76.

藤井正純, Bakhit M. 【未開拓の知：脳局所解剖ジオメトリー】Sagittal stratum（矢状層）を再訪する. *脳神経外科ジャーナル*. 202109; 30(9):632-638.

過年業績

Nakashima T, Kojima T, Hatano N, Takasu S, Fuse Y, Seki Y. Long-Term Effects on Preventing Stroke after Endovascular Treatment or Bypass Surgery for Intracranial Arterial Stenosis. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 201904; 28(4):1107-1112.

Fuse Y, Kojima T, Shintai K, Seki Y. Long-term Outcomes of Carotid Artery Stenting: A Single-center Experience. *Neurologia Medico-Chirurgica*. 202003; 60(3):121-125.

Miura S, Yoshihisa A, Misaka T, Yamaki T, Kojima T, Toyokawa M, Ogawa K, Shimura H, Yamamoto N, Kasahara K, Takeishi Y, Kitazume S. Amyloid precursor protein 770 is specifically expressed and released from platelets. *Journal of Biological Chemistry*. 202009; 295(38):13194-13201.

〔症例報告〕

Hiruta R, Sato N, Ishikawa T, Endo K, Endo Y, Kikuta H, Bakhit M, Kojima T, Fujii M, Ota M. Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke Caused by Prosthetic Aortic Valve Endocarditis Due to *Exophiala dermatitidis* Infection: A Case Report. *NMC Case Report Journal*. 202112; 8(1):835-840.

研究発表等

〔研究発表〕

岩楯兼尚, 佐藤拓, 丹原正夫, 飯島綾子, 蛭田亮, 二村美也子, 佐々木寛人, 市川優寛, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤清. 視交叉原発の視神経膠腫手術において視覚誘発電位が有用であった 2 症例. 第 31 回日本間脳下垂体腫瘍学会; 20210219-20; Web.

伊藤裕平, 小島隆生, 佐久間潤, 根本末緒, 飯島綾子, 齋藤清. PIAL AVF の治療経験: 直達術と塞栓術. 第 43 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20210403; Web.

小島隆生. 複数領域にわたる脳主幹動脈閉塞. JUST in 福島; 20210409; Web.

佐藤拓, 松重俊憲, Karsten Wrede, Ulrich Sure, 齋藤清. 血栓化脳動脈瘤に対する造影 7T-MRI を用いた vessel wall imaging. 第 44 回日本脳神経 CI 学会総会; 20210409-10; Web.

小島隆生, 佐久間潤, 齋藤清. 脊髄硬膜動静脈瘻の治療経験. 第 43 回福島脊椎脊髄疾患研究会; 20210410; Web.

伊藤裕平. 脳卒中の診断と治療. 第 39 回いわき脳卒中地域連携研究会; 20210616; Web.

佐藤拓, 丹原正夫, 渡邊督, 岸田悠吾, 神宮宇伸哉, 槇英樹, 山田昌幸, 佐久間潤, 齋藤清, 藤井正純. 鞍結節部髄膜腫の治療成績. 第 33 回日本頭蓋底外科学会; 20210701-02; 東京/Web.

佐藤拓, 板倉毅, 蛭田亮, 岩楯兼尚, 佐々木寛人, バキットムダシル, 藤井正純. 滑車神経マッピングの開発とその限界. 第 27 回日本脳神経モニタリング学会; 20210703; Web.

伊藤裕平. 福島労災病院の脳卒中診療. 福島労災病院脳神経外科開設記念講演会; 20210820; Web.

伊藤裕平, 小島隆生, 藤井正純. 複数領域にわたる閉塞血管を有する症例に対する血栓回収療法. 第 44 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20210904; Web.

蛭田亮, 佐藤直樹, 石川敏仁, 遠藤勝洋, 遠藤雄司, 太田守, 菊田春彦, 小林亨, 後藤健, 藤井正純. 真菌 (Exophiala dermatitidis) による大動脈生体弁の感染性心内膜炎を起因とした急性脳塞栓症の一例. 第 61 回日本脳神経外科学会東北支部会; 20210904; Web.

黒沢瑞穂, 蛭田亮, 鎌村美歩, 長井健一郎, 橋野洸平, 飯島綾子, 丹原正夫, 岩楯兼尚, 藤井正純. 発達障害で発見された巨大脳室内成熟奇形腫の一例. 第 26 回日本脳腫瘍の外科学会; 20210909; 東京.

黒見洋介, 市川優寛, 蛭田亮, 岩楯兼尚, 藤井正純, 佐久間潤, 齋藤清. 脳神経外科におけるラコサミドの治療効果と副作用の検討. 第 54 回日本てんかん学会学術集会; 20210923-25; 名古屋.

黒見洋介, 市川優寛, 飯島綾子, 蛭田亮, 山田昌幸, 丹原正夫, 岩楯兼尚, 佐藤拓, 小島隆生, 藤井正純. 新規発症てんかん発作に対する当院におけるレベチラセタム点滴静注薬の使用経験. 日本脳神経外科学会第 80 回学術総会; 20211027-30; 横浜/Web.

佐藤拓, 松重俊憲, Karsten Wrede, Ulrich Sure, 藤井正純. 7T-MRI による部分血栓化脳動脈瘤壁と血栓の関係. 日本脳神経外科学会第 80 回学術総会; 20211027-30; 横浜/Web.

黒見洋介, 丹原正夫, 蛭田亮, 佐藤拓, 藤井正純. 神経内視鏡下生検術の診断率と問題点について. 第 28 回日本神経内視鏡学会; 20211118-19; 名古屋.

佐藤拓, 丹原正夫, 鳴瀬悠, 蛭田亮, 岩楯兼尚, 山田昌幸, 黒見洋介, 小島隆生, 藤井正純. 鞍結節部髄膜腫に対する endoscopic contralateral supraorbital approach の経験. 第 28 回日本神経内視鏡学会; 20211118-19; 名古屋.

蛭田亮, 二村美也子, 嶋原和昭, 芥川奈央, 大井直住, 飯島綾子, 市川優寛, 藤井正純. 覚醒下手術における頭頂葉性の高次運動機能を評価する術中タスクの開発. 第 39 回日本脳腫瘍学会; 20211205-07; 神戸.

過年業績

Kojima T, Sato N, Oinuma M, Horiuchi K, Ichikawa T, Oda K, Maeda T, Saito K. Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke in Anticoagulated Patients. 15th Congress of World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology; 20191021-24; Naples, Italy.

小島隆生. 同門病院での血栓回収療法データベース. 第 20 回福島県立医科大学脳神経外科同門会「何必会」総会; 20190112; 福島.

小島隆生, 佐藤直樹, 生沼雅博, 堀内一臣, 市川剛, 織田恵子, 前田卓哉, 齋藤清. 抗凝固療法中患者への脳梗塞急性期機械的血栓回収療法. 一般社団法人日本脳神経外科学会第 78 回学術総会; 20191009-12; 大阪.

小島隆生, 佐藤直樹, 生沼雅博, 堀内一臣, 市川剛, 織田恵子, 前田卓哉, 佐久間潤, 齋藤清. 脳梗塞急性期機械的血栓回収療法の普及: 福島県における実践と検討. 第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会; 20191121-23; 福岡.

〔シンポジウム〕

蛭田亮, 佐藤拓, 板倉毅, 藤井正純, 岩楯兼尚, 佐々木寛人, 市川優寛, 小島隆生, 佐久間潤, 齋藤清. 経頭蓋刺激による顔面 MEP の新たな刺激法の有用性—術後早期および長期の顔面神経機能予測—. 第 27 回日本脳神経モニタリング学会; 20210703; Web.

〔特別講演〕

小島隆生. 脳動脈瘤に対する血管内治療: 準備と実践. 7th Fukushima Angio Technology Seminar; 20211120; 福島.

過年業績

小島隆生. 脳梗塞急性期における治療と診療体制. ストップ! NO 卒中プロジェクト in 福島 2020; 20201112; Web.

〔招待講演〕

小島隆生. データから見る福島県の血栓回収療法. Fukushima Stroke Seminar; 20210520; Web.

過年業績

小島隆生. 脳主幹動脈急性閉塞に対する診療：現状と今後について. 日本ストライカーAIS 社内講演会; 20190111; 仙台.

小島隆生. 硬膜動静脈瘻の基礎的知識. 日本メドトロニック社内講演会; 20190201; 仙台.

小島隆生. 脳主幹動脈急性期閉塞に対する診療の現状. 福島県北脳心連携の会; 20190529; 福島.

小島隆生. 脳動脈瘤治療の実践と抑えておきたいポイント. 第3回 Fukushima Neuro IVR Seminar; 20190622; 福島.

小島隆生. 脳動脈瘤に対する血管内治療の実践. パイエル薬品社内勉強会; 20191126; 福島.

〔その他〕

小島隆生. 脳血管内治療. 福島労災病院勉強会; 20210301; いわき.

過年業績

小島隆生. 脳血管内治療ミニレクチャー. 2020 年脳神経外科研修医勉強会; 20200913; 福島.

小島隆生. ブレインハートチームで取り組む脳梗塞 2 次予防の閉鎖治療「脳卒中医から」. ブレインハートチームで取り組む脳梗塞 2 次予防の閉鎖治療; 20201002; Web.

小島隆生. Lasso technique. CERENOVUS Lasso technique summit; 20201218; Web.

整形外科科学講座

論文

〔原 著〕

Honda M, Hori S, Kobayashi H, Hamada K, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Miyakawa T, Takano Y, Sato A, Konno S. Comparison of ethanol concentrations after drinking in patients who underwent total gastrectomy versus healthy controls. ANZ Journal of Surgery. 202107; 91(7-8):E474-E478.

Tominaga R, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202101; 92:104256.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Arthroscopic Elbow Debridement Using Anterocentral Transbrachialis Portal. *Arthroscopy Techniques*. 202105; 10(6):e1425-e1430.

Kurisunkal V, Laitinen MK, Kaneuchi Y, Kapanci B, Stevenson J, Parry MC, Reito A, Fujiwara T, Jeys LM. Is 2 mm a wide margin in high-grade conventional chondrosarcomas of the pelvis? *Bone & Joint Journal*. 202106; 103-B(6):1150-1154.

Saita K, Sumitani M, Nikaido T, Sekiguchi M, Inoue R, Abe H, Konno S, Uchida K. Exponential correlations among neuropathic components, pain intensity, and catastrophic thoughts in patients with musculoskeletal pain disorder. *Current Medical Research and Opinion*. 202108; 37(8):1341-1348.

Lex JR, Kurisunkal V, Kaneuchi Y, Fujiwara T, Sherriff J, Wigley C, Stevenson JD, Parry MC, Jeys LM. Pelvic Ewing sarcoma: Should all patients receive pre-operative radiotherapy, or should it be delivered selectively? *European Journal of Surgical Oncology*. 202110; 47(10):2618-2626.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. *European Spine Journal*. 202110; 30(10):3019-3027.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Handa J, Konno S. Abdominal oblique muscle injury at its junction with the thoracolumbar fascia in a high school baseball player presenting with unilateral low back pain. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):49-52.

Kobayashi H, Otani K, Handa J, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a self-administered questionnaire for the screening of cervical myelopathy. Part 2, investigation of its characteristics in surgical cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):102-106.

Otaki H, Otani K, Watanabe T, Sekiguchi M, Konno SI. Associations between clinical neck symptoms and various evaluations of cervical intervertebral disc degeneration by magnetic resonance imaging. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):107-118.

Fushimi Y, Otani K, Tominaga R, Nakamura M, Sekiguchi M, Konno SI. The association between clinical symptoms of lumbar spinal stenosis and MRI axial imaging findings. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):150-160.

Takahashi Y, Hatashita S, Shinden Y, Ito M, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Periprosthetic Fracture Resembling Atypical Femoral Fracture After Fixation With Retrograde Intramedullary Nail in Elderly Women: A Report of Two Cases. *In Vivo*. 202105; 35(3):1837-1842.

Nakayama Y, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Takiguchi K, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Benefit of intensive chemotherapy for elderly patients aged 80 years or older with metastatic colorectal cancer: a state-wide multicenter cohort study. *International Journal of Clinical Oncology*. 202107; 26(7):1248-1256.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Yabuki S, Konno SI. Grip Strength as a Screening Index for Severe Degenerative Cervical Myelopathy in Primary Care: Development of Cutoff Values Using Receiver Operating Curve Analysis. *International Journal of General Medicine*. 202112; 14:9863-9872.

Hori S, Honda M, Kobayashi H, Kawamura H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. A grading system for predicting the prognosis of gastric cancer with liver metastasis. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202111; 51(11):1601-1607.

Yoshida S, Celaire J, Pace C, Taylor C, Kaneuchi Y, Evans S, Abudu A. Delay in diagnosis of primary osteosarcoma of bone in children: Have we improved in the last 15 years and what is the impact of delay on diagnosis? *Journal of Bone Oncology*. 202103; 28:100359.

Kato K, Hakozaiki M, Mashiko R, Konno SI. Familial development of lumbar spondylolysis: a familial case report of 7- and 4-year-old brothers and their father. *Journal of International Medical Research*. 202105; 49(5):3000605211015559.

Kato K, Otoshi K, Hakozaiki M, Konno SI. Progressive enlargement of thoracic ossification of the ligamentum flavum in professional baseball pitchers: a report of two cases. *Journal of International Medical Research*. 202111; 49(11):3000605211059465.

Itoh N, Tsuji T, Ishida M, Ochiai T, Konno S, Uchio Y. Efficacy of duloxetine for multisite pain in patients with knee pain due to osteoarthritis: An exploratory post hoc analysis of a Japanese phase 3 randomized study. *Journal of Orthopaedic Science*. 202101; 26(1):141-148.

Otani K, Kikuchi SI, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Konno SI. The Change of Lumbar Spinal Stenosis Symptoms over a Six-Year Period in Community-Dwelling People. *Medicina*. 202110; 57(10):1116.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Kurita N, Konno SI. Association Between Musculoskeletal Pain and Psychological Stress Responses in High School Baseball Players: A Cross-sectional Study. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 202111; 9(11):23259671211054422.

Kasahara S, Niwa SI, Matsudaira K, Sato N, Oka H, Fujii T, Konno SI, Kikuchi SI, Yamada Y. High attention-deficit/hyperactivity disorder scale scores among patients with persistent chronic nonspecific low back pain. *Pain Physician*. 202105; 24(3):E299-E307.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Usefulness of the Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) for Predicting Poor Outcomes in Patients Undergoing Lumbar Decompression Surgery. *Pain Research & Management*. 202112;

2021;2589865.

Hirai T, Otani K, Sekiguchi M, Kikuchi SI, Konno SI. Epidemiological study of cervical cord compression and its clinical symptoms in community-dwelling residents. PLOS ONE. 202108; 16(8):e0256732.

Suzuki T, Kaneuchi Y, Hakozaki M, Yamada H, Yamada S, Konno S. Visualization of hidden soft-tissue recurrence of giant cell tumor of bone enabled by preoperative denosumab treatment: a case description. Quantitative Imaging in Medicine and Surgery. 202108; 11(8):3893-3897.

小林洋, 紺野慎一. 【エイジング】成熟と老化 整形外科からみた老化. Clinical Neuroscience. 202101; 39(1):42-45.

菊地忠志, 紺野慎一. TKA における各種抗血小板薬の周術期休薬期間. JOSKAS. 202105; 46(2):384-385.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. 【腰椎分離症—病態・診断・治療】野球選手における腰椎分離症. 脊椎脊髄ジャーナル. 202101; 34(1):41-49.

結城拓也, 寺本司, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 紺野慎一. 足関節不安定性が存在した開放性足関節脱臼骨折術後偽関節に対して遠位脛骨斜め切り術が有用であった 1 例. 日本足の外科学会雑誌. 202108; 42(1):239-241.

江尻荘一, 利木成広, 佐々木信幸, 紺野慎一, 川上亮一. 重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術治療成績と合併症. 日本手外科学会雑誌. 202112; 38(3):301-307.

風間咲美, 宮川明美, 風間順一郎, 紺野慎一, 谷川攻一, 齋藤清. なぜ、双葉地域に骨粗鬆症対策が必要か—原子力発電所事故後に福島県双葉郡に開設された病院における骨粗鬆症対策—. 福島県医師会報. 202012; 82(12):1075-1079.

加藤欽志, 紺野慎一. 【運動器疼痛】運動器疼痛の現状 運動器疼痛の評価. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S33-S40.

小林洋, 矢吹省司. 【脊柱の外傷・障害に対する理学療法診断の進め方】脊柱の外傷・障害の病態特性. 理学療法. 202105; 38(5):388-396.

〔総説等〕

紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療に対する課題. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202106; 58(6):661-666.

山田仁, 紺野慎一. 【整形外科疾患の運動法—最近の進歩】骨粗鬆症に対する運動の効果. 整形・災害外科. 202104; 64(4):451-456.

二階堂琢也. 【整形外科医の職業被曝】整形外科医の職業被曝を考える 手の放射線障害の現状と課題. 整形・災害外科. 202105; 64(6):759-764.

関口美穂, 紺野慎一. 【腰痛の臨床－病態から治療まで】腰痛が慢性化する脳メカニズム. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1182.

紺野慎一. 【腰痛の臨床－病態から治療まで】腰痛の診察法・評価法. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1187-1189.

紺野慎一. 慢性疼痛. 日本整形外科学会雑誌. 202110; 95(10):857-862.

二階堂琢也, 紺野慎一. 【運動器疼痛】運動器疼痛を対象とした医療体制 運動器疼痛に対するリエゾンアプローチと医療体制. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S241-S246.

高橋直人. 【運動器疼痛】運動器疼痛の健康障害 運動器疼痛が就労に与える影響. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S277-S287.

二階堂琢也. 【慢性疼痛の診断と治療－新ガイドラインを紐解く－】疾患編 慢性腰痛. ペインクリニック. 202108; 42(8):1003-1008.

青田恵郎, 紺野慎一. 手、股関節、膝関節の変形性関節症のACR/AF診療ガイドライン. リウマチ科. 202101; 65(1):116-122.

〔症例報告〕

Kameda T, Yokota T, Ejiri S, Konno SI. Forearm compartment syndrome due to acquired hemophilia that required massive blood transfusions after fasciotomy: A case report. World journal of clinical cases. 202111; 9(31):9592-9597.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一, 本多通孝. 経輪状甲状靱帯・細径気管支鏡ガイド下で外科的気道確保した縦隔気管内腫瘍の1例. 気管支学. 202109; 43(5):535-538.

〔研究報告書〕

二階堂琢也, 日本整形外科学会脊椎脊髓病委員会. 脊椎内視鏡下手術の現状 2019年1月～12月手術施行状況調査・インシデント報告集計結果. 日本整形外科学会雑誌. 202101; 95(1):53-60.

〔その他〕

紺野慎一. なんでも健康相談. NHK きょうの健康. 202102; (395):106.

二階堂琢也. 脊椎脊髓手術におけるインフォームドコンセントに思う. 整形外科. 202108; 72(9):948.

田中栄, 紺野慎一, 竹下克志. 【腰痛の臨床－病態から治療まで】腰痛の病態から治療まで. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1157-1166.

著 書・訳 書

高橋直人. 慢性痛の入院型ペインマネジメントプログラム. In: 明智龍男, 杉浦健之. こころとからだにチームでのぞむ慢性疼痛ケースブック. 東京: 医学書院; 202107. p.90-94.

高橋直人. Case32 院型ペインマネジメントプログラムによるアプローチ・1. In: 明智龍男, 杉浦健之. こころとからだにチームでのぞむ慢性疼痛ケースブック. 東京: 医学書院; 202107. p. 275-283.

二階堂琢也. 思春期特発性側弯症に対する保存療法, 特発性側弯症の手術療法. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.590-591.

小林洋. 脊髄出血. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.570.

小林洋. 頸椎性脊髄症. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.633.

小林洋. 肋骨骨折. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.660.

小林洋. 腰椎椎間板ヘルニア. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.662.

研究発表等

〔研究発表〕

Kaneuchi Y, Fujiwara T, Tsuda Y, Yoshida S, Stevenson J, Abudu A. Chondrosarcoma of bone in skeletally immature patients. 13th Asia Pacific Musculoskeletal Tumor Society Meeting; 20210421-23; Okayama/Web.

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary inpatient pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. IASP 2021 Virtual World Congress on pain; 20210609-18; Web.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

横田武尊, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. Bow-hunter 症候群に対する後方固定術により患側椎骨動脈の一時的な血流途絶を認めた一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

Cong Y. A trial of virtual reality thoracoscopy (VRT) using computed tomography thoracography. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

Kobayashi H, Michitaka H, Sato T, Hori S, Waragai M, Miyakawa T, Kawamura H, Todate Y, Nakayama Y, Suzuk N, Takano Y. Video Feedback in Training of Laparoscopic Distal Gastrectomy. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 宮川哲平, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 肉眼的に腹膜転移を認めない腹腔洗浄細胞診陽性胃癌に対する原発切除の意義. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; 千葉/Web.

江尻莊一, 利木成広, 川前恵史, 紺野慎一, 川上亮一. 重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術の治療成績 5例報告. 第64回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

亀田拓哉, 横田武尊, 江尻莊一, 紺野慎一. 後天性血友病による非外傷性前腕コンパートメント症候群で筋膜切開後に多量輸血と凝固因子製剤を要した一例. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

川前恵史, 江尻莊一, 利木成広, 佐々木信之, 紺野慎一. 非定型抗酸菌による手指腱滑膜炎の臨床的検討. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

利木成広, 江尻莊一, 川前恵史, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 小林一貴, 紺野慎一. キーンバック病に対する橈骨楔状骨切り術における仮STT固定術併用の意義. 第64回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

畑下智, 古月顕宗, 坂本和陽, 江尻莊一, 川上亮一, 高橋洋子, 小林一貴, 亀田拓哉, 平井亨, 紺野慎一. 遠位橈尺関節症に伴う伸筋腱皮下滑裂を反対側にも発症した症例の検討. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 頸椎症性脊髄症に対する頸椎椎弓骨切り術におけるいわゆるC5麻痺の発生頻度. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

兼子陽太, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 小林賢司, 中村正隆, 紺野慎一. 一般住民における腰椎矢状面のX線学的指標と腰痛の関係—南会津スタディー. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

寒竹司, 紺野慎一, 筑田博隆, 川上守, 関口美穂, 橋爪洋, 金山雅弘, 金森昌彦, 細野昇, 竹内大作, 福井充, 土井田稔, 佐藤公昭, 和田英路, 加藤壯, 本郷道生. 単一椎間腰椎変性すべり症に対する手術術式の比較—患者立脚型評価を用いた多施設前向き研究—. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における10年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛関連QOLとの関連の検討—南会津スタディー. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄

(症)における歩行障害の術後経過一足10病テストを用いた予後予測一. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

富永亮司, 関口美穂, 米本孝二, 角間辰之, 紺野慎一. 2つの腰部脊柱管狭窄診断支援ツールの診断精度 (DISTO プロジェクト) -North American Spine Society の定義との比較一. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の中長期成績一椎間関節の矢状化は内視鏡下除圧術の術後成績に影響するか一. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

土方保和, 紙谷司, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一, 竹上未紗, 福原俊一, 山本洋介. 地域在住高齢者における後弯姿勢と要介護および死亡との関連性. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

伏見友希, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant never root (馬尾弛緩) の臨床的意義. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

中村正隆, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 腰椎傍脊柱筋の脂肪浸潤割合に関連する因子の検討. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

渡邊剛広, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. MRI の腰椎椎間板変性と前屈時腰痛, 後屈時腰痛との関係. 第50回日本脊椎椎髓病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

叢岳. 気胸のイメージガイド下治療: 4DCT 胸腔造影で行う術前エアリークテストと HoloeyeXR を用いた仮想胸腔鏡. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web.

叢岳. 牽引糸の気管支吻合後結紮留置を用いた気管支形成術: Extended sleeve lobectomy type C の一例. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 胸腔鏡下左肺上区域切除に気管支先行切離を行うための上舌区 区域間先行形成. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web.

青田恵郎, 大橋寛憲, 佐藤法義, 荒文博, 新田夢鷹, 草野敬悟, 波入雄大, 紺野慎一. 後上方アプローチにおける低侵襲性一DSA のピットフォールと将来性一. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. 自己効力感と運動器慢性疼痛やロコモティブ シンドロームとの関係. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. ロコモティブシンドロームの進行と認知機能との関係. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

菊地忠志, 遠藤裕司, 小川到, 紺野慎一. 人工膝関節置換術後における深部静脈血栓症の補助診断マーカー一可溶性フィブリンモノマー複合体と D-dimer の比較検討一. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における 10 年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛発生との関連の検討—南会津スタディー. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

紺野慎一. 慢性腰痛—bench-to-bedside—. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

伏見友希, 大谷晃司, 中村正隆, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant never root の臨床的意義. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 心理社会的因子が、腰部脊柱管狭窄症の術後に及ぼす影響—JOABPEQ を用いた多目的評価、術後 3 年間のコホート研究—. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 前十字靱帯損傷後の変型性膝関節症に対する手術. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

菊地忠志, 紺野慎一. 人工膝関節置換術後における深部静脈血栓症の補助診断マーカー—SFMC と D-dimer の比較検討—. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

菊地忠志, 紺野慎一. 人工膝関節置換術における膝蓋骨の骨切り量が膝屈曲角に与える影響. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

紺野慎一, 加藤欽志. アスリーートの脊椎障害に対する手術療法のエビデンス. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

高橋洋二郎, 吉田勝浩, 紺野慎一. 成人に発症した可能性膝蓋骨骨髓炎の 1 例. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. ジャンパー膝に対する、eccentric decline squat (EDS) と対外衝撃波治療 (ESWT) を組み合わせた治療経験. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 渡邊和之, 紺野慎一. 頸椎外傷を契機に先天性頸椎椎弓根欠損と診断されたプロサッカー選手—一例報告—. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

叢岳. 気胸の気腫部位検索のための生理食塩水胸腔内注入肺超音波検査 (Saline-Filled Lung Ultrasoundography, SFLU). 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. N-butyl-2-cyanoacrylate による気管支塞栓で機材汚染予防・非塞栓予定気管支保護のための Lipiodol coating. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 櫻井悠人, 藁谷暢, 河村英恭, 鈴木伸康, 高野祥直, 阿部幹, 寺西寧. 術前画像陰性の少量腹膜転移を有する胃癌に対する治療戦略. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 田地野崇宏, 山田匠希, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 四肢および表在体幹発生の異型

脂肪腫様腫瘍／高分化型脂肪肉腫に対する辺縁切除術の臨床成績. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

國島麻実子, 山田仁, 渡邊一男, 荒文博, 紺野慎一. 超高齢者に発症した脱分化型骨外性粘液性軟骨肉腫の 1 例. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

新田夢鷹, 箱崎道之, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 大腿骨近位部骨肉腫に対して spherical periacetabular osteotomy による股関節包外切除術と人工股関節全置換術を行った 1 例. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 田地野崇宏, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法による重度粘膜障害. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 紺野慎一. 骨・軟部腫瘍診療における FDG PET の有用性. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

遠藤裕司, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. アテトーゼ型脳性麻痺に伴う上位頸髄症に対する環椎後弓切除術の手術成績 2 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

亀田拓哉, 佐々木信幸, 小林一貴, 畑下智, 紺野慎一. 高所墜落による前腕 Essex-Lopresti 損傷に対し, 人工靱帯による骨間膜再建を行った一例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

川前恵史, 畑下智, 千葉紀之, 反町光太郎, 佐藤俊介, 伊藤雅之, 紺野慎一. 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後にインプラント周囲の骨融解が生じ明らかとなった, Myofibrosarcoma による病的骨折の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

草野敬悟, 新田夢鷹, 佐藤法義, 山岸栄紀, 荒文博, 大橋寛憲, 青田恵郎, 紺野慎一. 人工股関節置換術後に閉鎖孔脱臼をきたした一例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科領域の低侵襲手術の実際 頸椎内視鏡を用いた低侵襲治療による, QOL の改善効果. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

鈴木丈夫, 金内洋一, 山田仁, 箱崎道之, 紺野慎一. 多骨性線維性骨異形成症の高齢者に生じた二次性骨肉腫の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 草野敬悟, 紺野慎一. コロナ関節形成術後に対する人工股関節置換術. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

平井亨, 箱崎道之, 関敬大, 紺野慎一. 舟状骨に生じた骨内ガングリオン 1 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

山田仁, 紺野慎一. 骨軟部腫瘍診療における血液疾患 医療連携の重要性. 第 70 回東日本整形災害外科学会;

20210917-18; 盛岡.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 当院における膝関節疾患に対する体外衝撃波の治療経験. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術の長期成績 手術範囲から除外した無症候性狭窄と術後新規症状の出現に関与する因子の検討. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 藁谷暢, 鈴木伸康, 高野祥直, 寺西寧. 術前筋肉量低値と食道癌術後合併症との関連. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

堀創史, 本多通孝, 小林拓史, 河村英恭, 外館幸敏, 中山祐次郎, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 食道亜全摘術が嚥下機能に与える影響と臨床的評価. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

山田仁, 紺野慎一. ロモソズマップによる疼痛改善効果. 第 23 回日本骨粗鬆症学会; 20211008-10; Web.

亀田拓哉, 関口美穂, 紺野慎一. 椎間板細胞における TRAP1、TRPV1 発現と活性化. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における腰椎椎間関節変性と椎間板変性の関連性の検討ー南会津スタディー. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

二階堂琢也, 関口美穂, 矢吹省司, 紺野慎一. 脳イメージングから見た腰痛のメカニズム. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

中山祐次郎, 河村英恭, 滝口光一, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 本多通孝, 河野浩二, 紺野慎一. 高齢者癌に対する薬物療法 80 歳以上ステージ IV 大腸癌患者に対する FOLFOX/FOLFIRI 療法の有用性 多施設共同研究. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web. 抄録集. WS11-3.

本多通孝, 河村英恭, 小林拓史, 堀創史, 濱田晃市, 中山祐次郎, 外館幸敏, 宮川哲平, 高野祥直, 紺野慎一. 自宅病院の Accessibility がステージ 4 胃癌患者の予後・入院日数に与える影響. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web. 抄録集. O51-6.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒文博, 山岸栄紀, 佐藤法義, 草野敬悟, 紺野慎一. 後方アプローチにおける骨付き外閉鎖筋修復法の検討. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20211022-23; 奈良/Web.

草野敬悟, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒文博, 山岸栄紀, 佐藤法義, 新田夢鷹, 紺野慎一. Schanz 骨切り術後の人工股関節全置換術の症例. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20211022-23; 奈良/Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 慢性疼痛センターにおける集学的痛み治療の効果: 入院を含む群と外来のみ群との比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web. プログラム・抄録集. 116.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤鉄志, 小林洋, 小林良浩, 紺野慎一. 難治性慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ: 多面的評価からみた慢性一次性筋骨格痛と慢性術後痛の比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

松平浩, 井上真輔, 笠原諭, 加藤実, 高橋直人, 高橋紀代, 鉄永倫子, 唐司寿一, 二瓶健司, 福井聖, 岡敬之. 休職中の難治性慢性腰痛に対する集学的アプローチ: 全国で運用可能なフラッグシステムの構築を目指して. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 矢吹省司, 紺野慎一. LOHAS 発腰痛診療のエビデンス. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一, 滝浪学, 本多通孝. 気管切開後気管腕頭動脈瘻に対して 3 期に分けた段階処置と胸腔鏡+頸部アプローチを用いた根治手術で良好な結果を得られた 1 例. 第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

川原田圭, 大内一夫, 紺野慎一. アキレス腱付着部障害を伴ったアキレス腱断裂の 1 手術例. 第 46 回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

結城拓也, 浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆, 紺野慎一. 高位脛骨骨切り術後に増悪した変形性足関節症に対する足関節骨切り術の治療経験. 第 46 回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

堀創史, 本多通孝, 小林拓史, 俊山聖史, 宮川哲平, 中尾詠一, 外館幸敏, 中山祐次郎, 高野祥直, 寺西寧. 胃癌術後患者の栄養管理を行なうスマホアプリと栄養指導補助システムの開発. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

佐藤恵美, 荒瀬洋子, 笠原諭, 高橋直人, 矢吹省司. 家族からの批判により自己主張を回避し慢性疼痛を訴える高校生への心理療法の経験: 1 例報告. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 身体活動が異なる慢性疼痛患者の治療効果の相違. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 疼痛による機能性側弯に対し 3D バックスキャナーでフォローした症例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 内服のタイミングの変更により日中の活動量が増加し再就職に繋がった一例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

谷津田尊寛, 高橋直人, 二瓶健司, 春山祐樹, 松本大典, 本幸枝, 矢吹省司. 慢性疼痛センターで就労支援を行った慢性広範囲一次性疼痛の 1 例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

二階堂琢也, 紺野慎一. 脊椎内視鏡下手術 (MED) の最前線—技術的進歩とそれを支える制度— 脊椎内視鏡下手術の医療安全 技術認定制度と合併症調査. 第 34 回日本内視鏡学会総会; 20211202-04; 神戸/Web. 日本内視鏡外科学会雑誌. 26(7):SY9-6.

関口美穂, 紺野慎一. 賦活時と安静時の両面から探る痛みの脳内機構 脳イメージングからみる腰痛 磁気共鳴スペクトロスコピー. 第 43 回日本疼痛学会; 20211210-11; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. ICD-11 分類別でみた運動器慢性痛に対する集学的入院プログラムの治療効果. 第 43 回日本疼痛学会; 20211210-11; Web.

〔シンポジウム〕

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 薬剤師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web(新潟).

本幸枝, 高橋直人, 谷本真実, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 看護師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web(新潟).

金内洋一, 紺野慎一. 若手整形外科医へ伝えたい骨・軟部腫瘍の魅力. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 転移性骨腫瘍に対する治療戦略 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状についてのアンケート調査. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

二瓶健司, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 谷本真実, 福地朋子, 荒瀬洋子, 佐藤恵美, 森山由紀, 金澤美香, 谷津田尊寛, 松本大典, 春山祐樹, 岩崎稔, 船尾亜里香, 富永桂子, 恩田啓, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 集学的治療現状と課題／システム作りと運営・経営 星総合病院慢性疼痛センターでの集学的痛み診療の現状と課題. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

〔招待講演〕

青田恵郎. 後方アプローチにおける関節包修復の重要性. エチコン研修会; 20210206; Web.

二階堂琢也. MED 術式解説・技術認定医取得のコツ. 第 1 回とうほく脊椎内視鏡ハンズオンセミナー; 20210911; Web.

〔その他〕

二階堂琢也. 脊椎疾患による神経障害性疼痛を”診る” ～Mechanism Based Treatment の実践～. 第 50 回日本脊椎脊髓病学会学術集会; 20210423; 京都/Web.

二階堂琢也. 腰痛診療ガイドラインに基づく最新の薬物療法～有効性と安全性からみた薬剤選択のポイント～. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210523; 東京/Web.

高橋直人. 痛みの基本的概念と治療. 令和 3 年度 R&M 支援センター主催 疼痛セミナー; 20210621; Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 4D-CT thoracography と HoloeyesMR による局所麻酔胸腔鏡下肺瘻閉鎖術の手術計画.

第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 単孔式胸腔鏡下肺区域切除術における区域間 先行形成の利点. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web.

二階堂琢也. 脊椎疾患による神経障害性疼痛 Up to Date—Mechanism Based Treatment を意識する—. 第 28 回日本脊椎・脊髄神経手技学会; 20210903; 京都/Web.

叢岳, 大杉純, 藤生浩一. 4D-CT thoracography と CT ガイド下穿刺を用いたイメージガイド下気胸治療. 第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 宮城研修会; 20211103; Web.

高橋直人. 集学的アプローチによる痛み治療. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 東北地区講演会; 20211114; Web.

二階堂琢也. 神経障害性疼痛の治療満足度向上に向けて. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211128; Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 秋田地区講演会・研修会; 20211128; Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 福島・山形合同研修会; 20211226; Web.

その他の業績・作品等

過年業績

高橋直人, 矢吹省司. 多職種連携集学的痛み治療—長引く痛みをよくするために—. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 矢吹省司. 痛みを長引かせないカラダの動かし方について—理学療法士の立場から—. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

形成外科学講座

論文

〔原 著〕

藤田宗純, 齋藤昌美, 小山明彦. 【ペット咬創への初期治療と機能・整容の改善 [3] 一顔面の組織欠損を伴うイヌ咬創 (2) 口唇以外】再建に苦慮した鼻翼欠損を伴うイヌ咬創の1例. 形成外科. 202104; 64(4):409-414.

川鍋仁, 岡志央理, 松村賢史, 根本奈央子, 村杉嶺, 福井和徳, 小山明彦. 口唇口蓋裂患者に対するチーム医療. 東北矯正歯科学会雑誌. 202112; 29(1):69-73.

研究発表等

〔研究発表〕

Kitamura S. Partial toe transfer nourished very short pedicle with vein graft: a case report. 第5回アジア太平洋マイクロサージャリー学会; 20211201-03; つくば.

Sato J. Three cases of tensor fasciae latae perforator flap transplation for buccal augmentation. 第5回アジア太平洋マイクロサージャリー学会; 20211201-03; つくば.

藤田宗純. 頭頸部の血管奇形の治療戦略—当科の取り組み—. 第64回日本形成外科学会総会・学術集会; 20210415-16; 東京.

〔シンポジウム〕

小山明彦. 小耳症耳介形成が「うまくいく」ためのトレーニング. 第38回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会; 20211112-13; 東京.

〔その他〕

小山明彦. 口唇・口蓋裂. 2021年度日本形成外科学会秋季学術講習会; 20211006; 東京.

産科婦人科学講座

論文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Suzuki E, Yazawa R, Yasuda S, Kanno A, Yamaguchi A, Hashimoto Y, Fujimori K. Labor dystocia and risk of histological chorioamnionitis and funisitis: a study from a single tertiary referral center. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202103; 21(1):263.

Ishiguro T, Nishikawa N, Ishii S, Yoshihara K, Haino K, Yamaguchi M, Adachi S, Watanabe T, Soeda S, Enomoto T. PET/MR imaging for the evaluation of cervical cancer during pregnancy. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):288.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Morokuma S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):295.

Ueda M, Ota K, Takahashi T, Suzuki S, Suzuki D, Kyozuka H, Jimbo M, Soeda S, Watanabe T, Fujimori K. Successful pregnancy and term delivery after treatment of unicornuate uterus with non-communicating rudimentary horn pregnancy with local methotrexate injection followed by laparoscopic resection: a case report and literature review. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202110; 21(1):715.

Murata T, Endo Y, Furukawa S, Ono A, Kiko Y, Soeda S, Watanabe T, Takahashi T, Fujimori K. Successful laparoscopic resection of ovarian abscess caused by *Staphylococcus aureus* in a 13-year-old girl: a case report and review of literature. *BMC Women's Health*. 202105; 21(1):198.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Endo Y, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels and small-for-gestational age infants: a prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. *BMJ Open*. 202112; 11(12):e054156.

Suzuki N, Murata T, Fukuda T, Kanno A, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Retraction notice to "Pyoderma gangrenosum in a cesarean section wound in a woman with myelodysplastic syndrome: A case report" [Case Reports in Women's Health 28 (2020) e00253]. *Case Reports in Women's Health*. 202101;

30:e00291.

Murata T, Yoshimoto Y, Shibano Y, Nakamura S, Yamauchi R. Gallbladder wall thickening in a woman with postpartum preeclampsia: A case report. *Case Reports in Women's Health*. 202111; 33:e00370.

Imaizumi K, Yasuda S, Toba N, Okazaki T, Fukuda T, Murata T, Kann A, Ishibashi M, Kyojuka H, Ito F, Yamaguchi A, Fujimori K. Pregnancy complicated by central diabetes insipidus and oligohydramnios. *Clinical Case Reports*. 202108; 9(8):e04590.

Okoshi C, Takahashi T, Ota K, Suganuma R, Fujimori K. Severe Hemoperitoneum After Oocyte Retrieval Due to Ovarian Hemorrhage Possibly Caused by Violent Cough Under General Anesthesia With Propofol and Pentazocine: A Case Report and Literature Review. *Cureus*. 202110; 13(10):e18724.

Yoshida-Komiya H, Ami M, Suganuma R, Mitsuma T. Sho-Based Kampo Medicine Combined With Assisted Reproductive Technology Is Effective for Refractory Infertility and Early Recurrent Miscarriage: A Case Report. *Frontiers in Nutrition*. 202111; 8:761199.

Ishibashi M, Watanabe T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Sato K, Sato M, Go H, Fujimori K. Perinatal diagnosis of a fetus with an unbalanced translocation 46,XY,der(10)t(6;10)(p22;q26.1) with multiple malformations: a case report and literature review. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):83-88.

Matsuo K, Nishio S, Matsuzaki S, Iwase H, Kagami S, Soeda S, Usui H, Nishikawa R, Mikami M, Enomoto T. Surgical margin status and recurrence pattern in invasive vulvar Paget's disease: A Japanese Gynecologic Oncology Group study. *Gynecologic Oncology*. 202103; 160(3):748-754.

Murata T, Kyojuka H, Endo Y, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment Children's Study Jecs Group. Preterm Deliveries in Women with Uterine Myomas: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(5):2246.

Rahman A, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Furukawa S, Watanabe T, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Reduced Claudin-12 Expression Predicts Poor Prognosis in Cervical Cancer. *International Journal of Molecular Sciences*. 202104; 22(7):3774.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyojuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS). Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Yamaguchi A, Kyojuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan Environment and Children's Study: a prospective cohort study. *Journal of Affective Disorders*. 202103; 283:223-

Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 202111; 12(11):2071-2079.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Ono T, Proks P, Yoshida-Komiya H, Ueta Y, Nishimori K, Misaka S, Shimomura K. Identification of oxytocin receptor activating chemical components from traditional Japanese medicines. *Journal of Food and Drug Analysis*. 202112; 29(4):653-675.

Ichizuka K, Toyokawa S, Ikenoue T, Satoh S, Hasegawa J, Ikeda T, Tamiya N, Nakai A, Fujimori K, Maeda T, Kanayama N, Masuzaki H, Iwashita M, Suzuki H, Takeda S. Risk factors for cerebral palsy in neonates due to placental abruption. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202101; 47(1):159-166.

Fukuda T, Kyozuka H, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Preventing recurrent preterm birth with 125 mg of 17-alpha-hydroxyprogesterone caproate. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202109; 47(9):3119-3126.

Sasaki Y, Yamada T, Tanaka S, Sekizawa A, Hirose T, Suzumori N, Kaji T, Kawaguchi S, Hasuo Y, Nishizawa H, Matsubara K, Hamanoue H, Fukushima A, Endo M, Yamaguchi M, Kamei Y, Sawai H, Miura K, Ogawa M, Tairaku S, Nakamura H, Sanui A, Mizuuchi M, Okamoto Y, Kitagawa M, Kawano Y, Masuyama H, Murotsuki J, Osada H, Kurashina R, Samura O, Ichikawa M, Sasaki R, Maeda K, Kasai Y, Yamazaki T, Neki R, Hamajima N, Katagiri Y, Izumi S, Nakayama S, Mihar N, Yokohama Y, Hirose M, Kawakami K, Ichizuka K, Sase M, Sugimoto K, Nagamatsu T, Shiga T, Tashima L, Taketani T, Matsumoto M, Hamada H, Watanabe T, Okazaki T, Iwamoto S, Katsura D, Ikenoue N, Kakinuma T, Hamada H, Egawa M, Kasamatsu A, Ida A, Kuno N, Kuji N, Ito M, Morisaki H, Tanigaki S, Hayakawa H, Miki A, Sasaki S, Saito M, Yamada N, Sasagawa T, Tanaka T, Hirahara F, Kosugi S, Sago H; Japan N. I. P. T. Consortium. Evaluation of the clinical performance of noninvasive prenatal testing at a Japanese laboratory. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202110; 47(10):3437-3446.

Murata T, Aoyagi Y, Okimura H, Ueda A. Report from "International Workshop for Junior Fellows 2: Tocolytic treatment for prevention of preterm birth" at the 73rd Annual Congress of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202111; 47(11):3758-3760.

Jin T, Kyozuka H, Fukuda T, Fujimori M, Murata T, Nomura S, Suzuki D, Nomura Y, Imamura T, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Effect of gestational weight gain on placental weight: A single tertiary referral center study of Japanese women. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202112; 47(12):4241-4249.

Watanabe T, Nanamiya H, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Tamura H, Ryufuku M, Tanaka D, Isogai T, Imai JI, Watanabe S, Fujimori K. Identification and clinical significance of somatic oncogenic mutations in epithelial ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 202110; 14(1):129.

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and Evaluation of Life-

planning Lecture to Enhance Perspective-Taking among High School Students: A School-based Nonrandomized Waitlist Intervention Study in Japan. *JMA Journal*. 202110; 4(4):339-346.

Kojima M, Sugimoto K, Kobayashi M, Ichikawa-Tomikawa N, Kashiwagi K, Watanabe T, Soeda S, Fujimori K, Chiba H. Aberrant Claudin-6-Adhesion Signaling Promotes Endometrial Cancer Progression via Estrogen Receptor α . *Molecular Cancer Research*. 202107; 19(7):1208-1220.

Kyozuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202105; 85:111129.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Yamaguchi A, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association between maternal ritodrine hydrochloride administration during pregnancy and childhood wheezing up to three years of age: The Japan environment and children's study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202110; 32(7):1455-1463.

Kyozuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Kyozuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Ohara M, Yoshida-Komiya H, Ono-Okutsu M, Yamaguchi-Ito A, Takahashi T, Fujimori K. Metformin reduces androgen receptor and upregulates homeobox A10 expression in uterine endometrium in women with polycystic ovary syndrome. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 202105; 19(1):77.

Iwasawa T, Takahashi T, Maeda E, Ishiyama K, Takahashi S, Suganuma R, Matsuo K, Tachibana M, Fukuhara R, Shirasawa H, Sato W, Kumazawa Y, Terada Y. Effects of localisation of uterine adenomyosis on outcome of in vitro fertilisation/intracytoplasmic sperm injection fresh and frozen-thawed embryo transfer cycles: a multicentre retrospective cohort study. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 202106; 19(1):84.

Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal pre-pregnancy body mass index and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4350.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS)

Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202104; 11(1):8664.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Author Correction: Gestational weight gain and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202104; 11(1):8906.

Watanabe T, Nanamiya H, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Tanaka D, Isogai T, Imai JI, Watanabe S, Fujimori K. Clinical relevance of oncogenic driver mutations identified in endometrial carcinoma. Translational Oncology. 202103; 14(3):101010.

山口明子, 磯上弘貴, 菅野亜矢, 藤森敬也. 【日本の周産期メンタルヘルス事情 update】食生活から始める周産期メンタルヘルスケア. 産婦人科の実際. 202106; 70(6):631-634.

安田俊, 福田冬馬, 藤森敬也. 【新 経膈分娩を成功させる 29 の提言】CTG の判読 「読みすぎ」を防ぐポイント. 周産期医学. 202101; 51(1):58-62.

小宮ひろみ. 【ライフステージでみる女性診療 at a glance! —よくあるプロブレムを網羅しピンポイントで答えます。】(I 章) さまざまな角度からみる女性診療 「産婦人科医」からみる女性診療. 総合診療. 202103; 31(3):288-289.

森村豊, 羽野健汰, 栗田和香子, 寅磐亮子, 神尾淳子, 佐藤哲, 植田牧子, 加茂矩士, 遠藤雄大, 藤森敬也. 子宮頸がん集団検診における AGC (atypical glandular cells) 症例の追跡結果. 日本臨床細胞学会雑誌. 202103; 60(2):94-101.

白岩彩, 古川茂宜, 藤森実杜, 福田冬馬, 植田牧子, 遠藤雄大, 小島学, 小野澤寿志, 坂本渉, 添田周, 渡邊尚文, 鈴木博志, 藤森敬也. 卵巣腫瘍茎捻転との鑑別を要し、腹腔鏡下に整復し得た子宮広間膜ヘルニアの一例. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):41-45.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の 4 ヶ月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

山口明子, 高橋俊文, 小宮ひろみ. 【月経異常に対するホルモン療法を極める!—最新エビデンスと処方の実例】月経困難症・過多月経 LEP 製剤 OC・LEP 製剤の黄体ホルモンによる違い. 臨床婦人科産科. 202111; 75(11):1038-1043.

小児科学講座

論 文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Morokuma S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):295.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Endo Y, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels and small-for-gestational age infants: a prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. *BMJ Open*. 202112; 11(12):e054156.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Iida T, Miura K, Ban H, Ando T, Shirai Y, Ishiwa S, Shiratori A, Kaneko N, Yabuuchi T, Ishizuka K, Takaiwa M, Suyama K, Hisano M, Hattori M. Valganciclovir prophylaxis for cytomegalovirus infection in pediatric kidney transplant recipients: a single-center experience. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202105; 25(5):531-536.

Kume Y, Sakuma H, Sekine H, Sumikoshi M, Sugimura Y, Hosoya M. Lymphocytic infundibuloneurohypophysitis with positive anti-rabphilin-3A antibodies nine years post-onset of central diabetes insipidus. *Clinical Pediatric Endocrinology*. 2021; 30(1):65-69.

Maeda H, Hashimoto K, Go H, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Towards the development of a human in vitro model of the blood-brain barrier for virus-associated acute encephalopathy: assessment of the time- and concentration-dependent effects of TNF- α on paracellular tightness. *Experimental Brain Research*. 202102; 239(2):451-461.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Miyazaki K, Maeda H, Ichikawa H, Chishiki M, Kashiwabara N, Kume Y,

Ogasawara K, Sato M, Hosoya M. Biomarker Potential of the Soluble Receptor for Advanced Glycation End Products to Predict Bronchopulmonary Dysplasia in Premature Newborns. *Frontiers in Pediatrics*. 202104; 9:649526.

Takeyama A, Suzuki K, Ito M, Sato M, Hashimoto K, Katayose M, Hosoya M. Clinical course and background of nasopharyngeal antibiotic-resistant bacteria carriers among preschool children hospitalized for lower respiratory tract infection. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):143-149.

Murata T, Kyojuka H, Endo Y, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment Children's Study Jecs Group. Preterm Deliveries in Women with Uterine Myomas: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(5):2246.

Horiuchi S, Shinohara R, Otawa S, Kushima M, Akiyama Y, Ooka T, Kojima R, Yokomichi H, Miyake K, Hirai H, Hashimoto K, Shimabukuro M, Yamagata Z; Japan Environment And Children's Study Group. Influence of Maternal Active and Secondhand Smoking during Pregnancy on Childhood Obesity at 3 Years of Age: A Nested Case-Control Study from the Japan Environment and Children's Study (JECS). *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(23):12506.

Shima E, Go H, Maeda H, Ogasawara K, Imamura T, Sasaki M, Koh Y, Nollet KE, Ikeda K, Ohto H, Hosoya M. Down syndrome with neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-HLAA31 and B61 antibodies. *International Journal of Hematology*. 202106; 113(6):945-949.

Hashimoto K, Maeda H, Miyazaki K, Watanabe M, Norito S, Maeda R, Kume Y, Ono T, Chishiki M, Suyama K, Sato M, Hosoya M. Antiviral Effect of Favipiravir (T-705) against Measles and Subacute Sclerosing Panencephalitis Viruses. *Japanese Journal of Infectious Diseases*. 202103; 74(2):154-156.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyojuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Japan Environment and Children's Study (JECS). Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Yamaguchi A, Kyojuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan Environment and Children's Study: a prospective cohort study. *Journal of Affective Disorders*. 202103; 283:223-228.

Mammoto T, Fujie K, Taguchi N, Ma E, Shimizu T, Hashimoto K. Short-Term Effects of Early Postoperative Celecoxib Administration for Pain, Sleep Quality, and Range of Motion After Total Knee Arthroplasty: A Randomized Controlled Trial. *Journal of Arthroplasty*. 202102; 36(2):526-531.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M,

Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 2021; 12(11):2071-2079.

Ito Y, Takeichi T, Igari S, Mori T, Ono A, Suyama K, Takeuchi S, Muro Y, Ogi T, Hosoya M, Yamamoto T, Akiyama M. MEDNIK-like syndrome due to compound heterozygous mutations in AP1B1. *Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology*. 2021; 35(5):e345-e347.

Sato M, Takashita E, Katayose M, Nemoto K, Sakai N, Fujisaki S, Hashimoto K, Hosoya M. Detection of variants with reduced baloxavir marboxil and oseltamivir susceptibility in children with influenza A during the 2019-2020 influenza season. *Journal of Infectious Diseases*. 2021; 224(10):1735-1741.

Go H, Saito Y, Maeda H, Maeda R, Yaginuma K, Ogasawara K, Kashiwabara N, Kawasaki Y, Hosoya M. Serum cytokine profiling in neonates with hypoxic ischemic encephalopathy. *Journal of Neonatal-Perinatal Medicine*. 2021; 14(2):177-182.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 2021; 62(Supplement_1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 2021; 100(6):e24177.

Hashimoto K, Hosoya M. Advances in Antiviral Therapy for Subacute Sclerosing Panencephalitis. *Molecules*. 2021; 26(2):427.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 2021; 13(1):168.

Kyozuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 2021; 85:111129.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Yamaguchi A, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association between maternal ritodrine hydrochloride administration during pregnancy and childhood wheezing up to three years of age: The Japan environment and children's study. *Pediatric Allergy and*

Immunology. 202110; 32(7):1455-1463.

Go H, Ono J, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Kume Y, Maeda H, Chishiki M, Haneda K, Ichikawa H, Kashiwabara N, Kanai Y, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Nunomura S, Izuhara K, Hosoya M. Can serum periostin predict bronchopulmonary dysplasia in premature infants? *Pediatric Research*. 202210; 92(4):1108-1114.

Tanaka T, Kato N, Yokoya S, Ono A, Isojima T, Yokomichi H, Yamagata Z, Tanaka S, Matsubara H, Ishikuro M, Kikuya M, Chida S, Hosoya M, Kuriyama S, Kure S. Changes in height standard deviation scores during early life are affected by nutrition. *Pediatrics International*. 202106; 63(6):710-715.

Kyozuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Yamamoto-Hanada K, Suzuki Y, Yang L, Saito-Abe M, Sato M, Mezawa H, Nishizato M, Kato N, Ito Y, Hashimoto K, Ohya Y; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Persistent eczema leads to both impaired growth and food allergy: JECS birth cohort. *PLOS ONE*. 202112; 16(12):e0260447.

Kyozuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Nakaoka H, Hisada A, Matsuzawa D, Yamamoto M, Mori C, Japan Environment and Children's Study (JECS) Group, Kamijima M, Yamazaki S, Ohya Y, Kishi R, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, Ito S, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Iso H, Shima M, Kurozawa Y, Suganuma N, Kusuhara K, Katoh T. Associations between prenatal exposure to volatile organic compounds and neurodevelopment in 12-month-old children: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Science of the Total Environment*. 202111; 794:148643.

Murata T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal pre-pregnancy body mass index and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4350.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):7221.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's

Study. Scientific Reports. 202104; 11(1):8664.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Author Correction: Gestational weight gain and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. Scientific Reports. 202104; 11(1):8906.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Author Correction: Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. Scientific Reports. 202107; 11(1):14218.

Kume Y, Kawasaki Y, Suyama K, Maeda R, Takahashi Y, Hoshino M, Suzuki S, Mitomo M, Nozawa R, Namai Y, Sakuma H, Kaneko M, Oda S, Murai H, Kanno S, Nagasawa K, Ito M, Suzuki H, Ohara S, Go H, Goto A, Hosoya M. Incidence and Relapse Triggers of Childhood Idiopathic Nephrotic Syndrome between 2006 and 2016: A Population-Based Study in Fukushima, Japan. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202102; 253(2):125-134.

橋本浩一. 【アレルギー疾患とワクチン接種～COVID-19 へのワクチンを含めて～】導入が期待されるワクチンと世界の動向 RS ウイルスワクチン. Allos Ergon. 202106; 1(1):70-78.

鈴木雄一, 細矢光亮. 【エイジング】成熟と老化 神経系の成長. Clinical Neuroscience. 202101; 39(1):20-22.

鈴木雄一, 細矢光亮. 【脳・神経系の感染症-診断と治療の最前線】脳・神経系の感染症を知る、診る 神経感染症の臨床検査. 医学のあゆみ. 202104; 277(1):10-15.

川島綾子, 橋本浩一, 武山彩, 伊藤正樹, 鈴木理恵, 北川和寛, 佐藤晶論, 川崎幸彦, 細矢光亮. 福島県相馬双葉地域における急性胃腸炎の発生動向とロタウイルスワクチン導入の効果についての検討. 感染症学雑誌. 202109; 95(5):360-366.

佐藤晶論. 【新興・再興感染症、輸入感染症と周産期医学】その他、知っておくべき新興・再興、輸入感染症 エンテロウイルス. 周産期医学. 202103; 51(3):425-429.

細矢光亮. 【災害時の小児医療～災害の経験を今後活かす～】原発事故と広域避難、その後 子どもたちの健康状態、疾病構造の変化. 小児科診療. 202103; 84(3):363-369.

佐久間一理, 郷勇人, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 知識美奈, 清水裕美, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒, 細矢光亮, 福田豊, 有賀裕道. 動脈管早期収縮の発症に母体レイボスティーの過剰摂取の関連が疑われた3例. 小児科臨床. 202108; 74(8):991-996.

鈴木健太, 柳沼和史, 浅野裕一郎, 渡部真裕, 佐藤晶論, 細矢光亮. Stenotrophomonas maltophilia による中心静脈カテーテル関連血流感染症をきたした神経性食思不振症患者の1例. 小児感染免疫. 202111; 33(4):366-372.

黒澤寛史, 青景聡之, 池山貴也, 賀来典之, 川崎達也, 小泉沢, 齊藤修, 居石崇志, 竹内宗之, 武田充人, 西村奈穂, 清水直樹, 志馬伸朗, 西田修, 多屋馨子, 神谷元, 天羽清子, 大城誠, 勝田友博, 菅秀, 津川毅,

西村直子, 菱木はるか, 藤岡雅司, 細矢光亮, 水野由美, 吉川哲史, 和田泰三, 尾内一信, 齋藤昭彦, 森内浩幸, 日本集中治療医学会小児集中治療委員会日本小児集中治療連絡協議会 COVID-19 ワーキンググループ. 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会および日本集中治療医学会小児集中治療委員会 日本小児集中治療連絡協議会 COVID-19 ワーキンググループ活動報告 (第2報). 日本小児科学会雑誌. 202103; 125(3):521-527.

木村菜央, 小野敦史, 陶山和秀, 伊藤正樹, 細矢光亮. 皮膚と共に舌からの出血を認めた血汗症. 日本小児科学会雑誌. 202109; 125(9):1328-1333.

柳沼和史, 桃井伸緒, 宗像未来, 八重樫未来, 中澤満美子, 齋藤康, 陶山和秀, 細矢光亮. 改訂ガイドライン発行後の新生児・乳児ビタミン K 欠乏性出血症の発症状況. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1666-1673.

橋本浩一. 【ウイルス感染症の検査診断法】感染症別の検査診断法 RS ウイルス・ヒトメタニューモウイルス感染症. 臨床と微生物. 202103; 48(2):125-131.

【その他】

宗像美来, 柳沼和史, 中澤満美子, 齋藤康, 陶山和秀, 細矢光亮. ビタミン K2 製剤 3 回予防内服を完遂した後にビタミン K 欠乏性頭蓋内出血を発症した 2 乳児例. 日本小児科学会雑誌. 202107; 125(7):1098.

中津秀幸, 佐藤晶論, 渡部真裕, 柳沼和史, 齋藤康, 浅野裕一郎, 野寺真樹, 小野敦史, 鈴木雄一, 橋本浩一, 細矢光亮. 当院 PICU に入室しけいれん重積もしくは急性脳症と診断された症例における病原診断と予後に関する検討. 日本小児科学会雑誌. 202107; 125(7):1099.

石綿翔, 小笠原啓, 市川弘隆, 羽田謙太郎, 知識美奈, 前田創, 金井祐二, 郷勇人, 佐藤真紀, 山田美香, 野寺真樹, 鈴木雄一, 加藤朝子, 桃井伸緒, 細矢光亮. 片側巨脳症に伊藤白斑を合併し、難治性痙攣に対し半球離断術を行った 1 例. 日本小児科学会雑誌. 202107; 125(7):1099-1100.

嶋恵理子, 城田淳, 竹田悠佳, 増山郁, 加藤一夫, 佐久間弘子, 前田亮, 小野敦史, 陶山和秀. 肝逸脱酵素上昇の精査から診断に至った小児 SLE. 日本小児科学会雑誌. 202107; 125(7):1100.

渡邊みずき, 前田亮, 桑名健太, 山元みいる, 山田美香, 浅野裕一郎, 野寺真樹, 小野敦史, 鈴木雄一, 陶山和秀, 細矢光亮. 肺病変を合併したクローン病の 4 歳女児例. 日本小児科学会雑誌. 202107; 125(7):1100.

石綿翔, 鈴木雄一, 山田美香, 浅野裕一郎, 前田亮, 小野敦史, 加藤朝子, 佐藤晶論, 陶山和秀, 細矢光亮. 脳症症状を呈した MELAS の 1 例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1719.

片寄菜生, 市川弘隆, 蛭田俊, 知識美奈, 金井祐二, 小笠原啓, 郷勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒, 細矢光亮. 先天性食道閉鎖症に広範囲の気管軟化症を合併した男児例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1719.

鈴木健太, 山田美香, 浅野裕一郎, 野寺真樹, 前田亮, 小野敦史, 鈴木雄一, 陶山和秀, 佐藤晶論, 加藤朝子, 細矢光亮. 急性弛緩性麻痺の鑑別に苦慮した脊椎腫瘍の 5 歳例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1719-1720.

浅野裕一郎, 佐藤晶論, 細矢光亮. 福島県立医科大学附属病院小児科における抗菌薬適正使用支援プログラムの

効果. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1720.

中津秀幸, 高橋信久, 小林正悟, 大原喜裕, 工藤新吾, 望月一弘, 佐野秀樹, 菊田敦, 細矢光亮. 皮膚腫瘍切除後にユーイング肉腫と診断された2例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1720.

上田万純, 岡部永生, 中澤満美子, 柳沼和史, 齋藤康, 陶山和秀, 細矢光亮. 新生児・乳児消化管アレルギーにより非代償性ショックに陥ったと考えられる新生児例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1721.

渡邊みずき, 桃井伸緒, 根本浩太, 山元みいる, 中澤満美子, 柳沼和史, 齋藤康, 川島綾子, 富田陽一, 林真理子, 青柳良倫, 細矢光亮. Bystander CPR にて後遺症なく救命し得た先天性QT延長症候群の1例. 日本小児科学会雑誌. 202112; 125(12):1721.

著 書・訳 書

佐藤晶論, 細矢光亮. 肺炎(肺炎球菌、インフルエンザ菌を含む). In: 水口雅, 山形崇倫 編集. クリニカルガイド小児科: 専門医の診断・治療. 東京: 南山堂; 202105. p.591-600.

眼科学講座

論 文

〔原 著〕

Wu H, Sekiryu T, Sugano Y, Itagaki K, Kasai A, Shintake H. A modified measuring method to investigate the choriocapillaris flow void of polypoidal choroidal vasculopathy with swept source optical coherence tomography angiography. Quantitative Imaging in Medicine and Surgery. 2021; 11(7):3164-3156.

Tomita R, Sekiryu T, Shintake H, Saito K. Retinal microstructure in poems syndrome. Retinal Cases & Brief Reports. 2021; 15(1):71-76.

Tanaka K, Oguchi Y, Omori T, Ishida Y, Shintake H, Tomita R, Kasai A, Ogasawara M, Sugano Y, Itagaki K, Ojima A, Machida T, Sekine H, Sekiryu T. Changes in complement activation products after anti-VEGF injection for choroidal neovascularization in age-related macular degeneration and pachychoroid disease. Scientific Reports. 2021; 11(1):8464.

Wu H, Sugano Y, Itagaki K, Kasai A, Shintake H, Sekiryu T. The characteristics of choriocapillaris flow void in the unilateral polypoidal choroidal vasculopathy fellow eyes. Scientific Reports. 2021; 11(1):23059.

新田美和, 森隆史, 酒井大典, 笠井彩香, 橋本禎子, 石龍鉄樹. 3 歳児健診要精査児におけるアトロピン点眼による調節麻痺前後の眼球生体計測値の変化. 眼科臨床紀要. 2021; 14(3):166-172.

前原紘基, 横井則彦, 石龍鉄樹. 瞬目方法の違いがフルオレセイン涙液層破壊時間とフルオレセイン破壊パターンに及ぼす影響. 日本眼科学会雑誌. 2021; 125(10):947-953.

大口泰治, 塩谷浩, 石龍鉄樹. 屈折矯正が不適当なコンタクトレンズの使用で愁訴を認めた 3 例. 日本コンタクトレンズ学会誌. 2021; 63(1):8-13.

鈴木美加, 松野希望, 齋藤章子, 笠井彩香, 新田美和, 森隆史, 橋本禎子, 石龍鉄樹. 3 歳児健康診査要精査児での Spot™ Vision Screener における屈折値の再現性の検討. 日本視能訓練士協会誌. 2021; 50:31-37.

黒澤供美, 松野希望, 鈴木美加, 森隆史, 笠井彩香, 新田美和, 齋藤章子, 石龍鉄樹. 健常成人を対象としたスポット™ビジョンスクリーナの再現性の検討. 日本視能訓練士協会誌. 2021; 50:39-46.

早勢恵介, 深津有佳里, 関向秀樹, 則川晃希, 前田駿介, 辻真伍, 岡本正博, 石龍鉄樹. 脈絡膜血管 3 次元モデル計測値の再現性の検討. 日本視能訓練士協会誌. 2021; 50:75-80.

深津有佳里, 関向秀樹, 早勢恵介, 前田駿介, 則川晃希, 田中啓一郎, 辻真伍, 岡本正博, 小島彰, 石龍鉄樹. ポリープ状脈絡膜血管症像眼の脈絡膜血管 3 次元モデル解析. 日本視能訓練士協会誌. 2021; 50:81-86.

本庄純一郎, 伊勢重之, 石龍鉄樹. 両眼に梅毒性視神経網膜炎をきたした後天性梅毒の 1 例. 臨床眼科. 2021; 75(5):623-628.

前田駿介, 菅野幸紀, 辻真伍, 岡本正博, 深津有佳里, 関向秀樹, 石龍鉄樹. 3 次元モデルを用いた脈絡膜血管構造の加齢性変化. 臨床眼科. 2021; 75(8):1043-1049.

〔総説等〕

森隆史. 機器・薬剤紹介 手持ち眼底カメラ オーロラ (キーラー・アンド・ワイナー). 眼科. 2021; 63(12):1187-1189.

石龍鉄樹. 眼底自発蛍光の臨床的意義. 眼科. 2021; 63(6):549-555.

著 書・訳 書

森隆史. 小児・斜視弱視 小児眼科. In: 大鹿哲郎 監修. 最新主要文献でみる 眼科学レビュー 2021-'22. 東京: 総合医学社. 2021. p.222-226.

石龍鉄樹. OCT・COTA を撮る前に グレースケール画像 VS カラー画像. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.4-5.

石龍鉄樹. OCT・COTA を撮る前に 断層画像 VS マップ画像. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手

帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.6-7.

小島彰. 視神経病変 視神経乳頭腫脹. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.30-31.

大口泰治. 視神経病変 視神経萎縮 (常染色体優性視神経萎縮). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.32-33.

笠井暁仁. 網膜動脈閉塞症/急性期 (CRAO). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.112-113.

笠井暁仁. 網膜動脈閉塞症/陳旧期 (BRAO). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.114-115.

菅野幸紀. 網膜細動脈瘤/漿液性網膜剥離 (SRD). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.116-117.

菅野幸紀. 網膜細動脈瘤/黄斑下血種. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.118-119.

小笠原雅. 強度近視, 傾斜乳頭症候群 近視性脈絡膜新生血管 (CNV). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.134-135.

石龍鉄樹. 強度近視, 傾斜乳頭症候群 dome-shaped macula. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.136-137.

新竹広晃. 強度近視, 傾斜乳頭症候群 傾斜乳頭症候群. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.138-139.

菅野幸紀. 強度近視, 傾斜乳頭症候群 intrachoroidal cavitation (ICC). In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.140-141.

田中啓一郎. 強度近視, 傾斜乳頭症候群 強度近視に合併する網膜血管周囲異常. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.142-143.

富田隆太郎. 裂孔原性網膜剥離 裂孔原性網膜剥離. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.144-145.

笠井暁仁. 遺伝性網膜変性 網膜色素変性/典型症例. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.148.

笠井暁仁. 遺伝性網膜変性 網膜色素変性/CME 合併症例. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.149.

菅野幸紀. 遺伝性網膜変性 先天網膜分離症. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.150-151.

石龍鉄樹. 遺伝性網膜変性 occult macular dystrophy (OMD) . In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.156-157.

小島彰. 網膜外層病変 急性帯状潜在性網膜外層症 (AZOOR) . In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.160-161.

菅野幸紀. ぶどう膜炎 原田病/網膜剥離型. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.166.

菅野幸紀. ぶどう膜炎 原田病/乳頭浮腫型. In: 白神史雄, 他 編集. 新 OCT・OCTA 便利手帖. 東京: メジカルビュー社. 2021. p.167.

研究発表等

〔研究発表〕

前原紘基. DSAEK と白内障手術による視力改善に伴い視野改善が得られた緑内障の 1 例. 角膜カンファランス; 20210210-12; 金沢.

加藤寛. Genetic Polymorphism and Intraocular Complement Activation. 第 125 回日本眼科学会; 20210408-11; Web.

田中啓一郎. Intraocular complement activation after intravitreal anti-VEGF therapy for nAMD. 第 125 回日本眼科学会; 20210408-11; Web.

本庄純一郎. Epidemiology of Central Serous Chorioretinopathy. 第 125 回日本眼科学会; 20210408-11; Web.

森隆史. 光学式生体計測装置で観察した学童期における眼軸長の経年変化. 第 46 回小児眼科学会; 20210604-06; Web.

森隆史. 内斜視または弱視に対する治療用眼鏡装用後の眼球形態変化. 第 77 回日本弱視斜視学会; 20210702-03; Web.

松本翔平. 悪性リンパ腫に合併したサイトメガロウイルス虹彩炎の 1 例. フォーサム 2021; 20210723-25; 仙台.

田中啓一郎. 結膜悪性黒色腫の臨床像と治療成績. 第 38 回日本眼腫瘍学会; 20210904-05; 福岡.

前原紘基. 結膜悪性黒色性腫に対し羊膜移植を施行した 1 例. 第 38 回日本眼腫瘍学会; 20210904-05; 福岡.

菅野幸紀. 中心性漿液性脈絡網膜症の脈絡膜 3 次元画像解析. 第 37 回日本眼循環学会; 20210924-26; Web.

菊地有希久. Pachychoroid 疾患における中心窩下脈絡膜厚と年齢の関連. 第 37 回日本眼循環学会; 20210924-26; Web.

村上裕也. 網膜中心動脈閉塞症に合併した短後毛様動脈閉塞症の光干渉断層血管撮影. 第 37 回日本眼循環学会; 20210924-26; Web.

田中啓一郎. Intracocular complement activation after intravitreal anti-VEGF therapy for nAMD. 第 75 回日本臨床眼科学会; 20211028-31; 福岡/Web.

富田隆太郎. 加齢黄斑変性に対する brolicizumab 硝子体注射前後の前房フレア値についての検討. 第 75 回日本臨床眼科学会; 20211028-31; 福岡/Web.

則川晃希. 加齢黄斑変性 (AMD) の抗 VEGF 薬長期投与例の眼内補体活性化産物. 第 75 回日本臨床眼科学会; 20211028-31; 福岡/Web.

前田駿介. PCV と PNV における Pachydrusen と前房内補体活性化産物の検討. 第 75 回日本臨床眼科学会; 20211028-31; 福岡/Web.

前原紘基. 内眼手術前後の涙液性状と涙液中補体活性化. 第 75 回日本臨床眼科学会; 20211028-31; 福岡/Web.

今村拓未. 治療用眼鏡装用児のアトロピン点眼による調節麻痺下での脈絡膜血管形態の変化. 第 62 回日本視能矯正学会; 20211120-21; Web.

鈴木美加. 3 歳児における Spot™ Vision Screener の屈折値の異常判定基準についての考察. 第 62 回日本視能矯正学会; 20211120-21; Web.

成田真帆. 3～8 歳児における眼軸長と角膜曲率半径と月齢による等価球面屈折値の予測式の検討. 第 62 回日本視能矯正学会; 20211120-21; Web.

深津有佳里. 網脈絡膜変性疾患の脈絡膜血管形態の検討. 第 62 回日本視能矯正学会; 20211120-21; Web.

板垣可奈子. PCV と PNV に対するアフリベルセプト 2 年治療成績. 第 60 回日本網膜硝子体学会; 20211203-05; 東京/Web.

菅野幸紀. 典型滲出型加齢黄斑変性の脈絡膜血管三次元画像解析. 第 60 回日本網膜硝子体学会; 20211203-05; 東京/Web.

田中啓一郎. 滲出型加齢黄斑変性における前房水中 HTRA1 濃度と補体活性化産物. 第 60 回日本網膜硝子体学会; 20211203-05; 東京/Web.

【その他】

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性への対処法. 新・眼科診療アップデートセミナー2021 in Kyoto; 20210220; Web.

前原紘基. 日常診療に役立つドライアイの診断と治療. 福島県参天製薬株式会社オンライン学術講演会; 20210304; Web.

石龍鉄樹. 補体と加齢黄斑変性. 第 110 回秋田県眼科集談会; 20210424; Web.

前原紘基. デュピルマブ投与に伴うアレルギー性結膜炎の対応. Fukushima Allergic Seminar; 20210520; Web.

石龍鉄樹. 震災、コロナ。災害下の加齢黄斑変性治療を検証する! 第 91 回九州眼科学会; 20210528-29; Web.

前原紘基. 大御所に直談判〜この患者さんどうしてあげたよいですか?〜. 第 14 回箱根ドライアイクラブ; 20210528-29; Web.

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性における抗 VEGF 薬と炎症. 第 6 回 Yamaguchi Retina Forum; 20210603; Web.

森隆史. 小児の斜視と弱視の診察. 第 3 回福島オフサルミックセミナー; 20210610; Web.

板垣可奈子. 各大学におけるベオビュ使用経験. AMD Expert Meeting; 20210626; Web.

石龍鉄樹. 炎症と加齢黄斑変性. 第 24 回沖縄眼疾患フォーラム; 20210717; Web.

森隆史. 小児眼科診療のアップデート 乳幼児健診アップデート. 日本眼科医会第 80 回生涯教育講座; 20210717-0829; Web.

森隆史. 小児眼科診療のポイント. 眼科臨床実践講座; 20210821; Web.

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性と炎症. 第 20 回奈良県眼科万葉フォーラム; 20210904; Web.

石龍鉄樹. サステナブル加齢黄斑変性治療. Retina Today in Kurume; 20210917; Web.

森隆史. 知っておきたい小児眼科・斜視弱視 小児眼科診療のポイント. 眼科臨床実践講座; 20210910-30; Web.

森隆史. 斜視の臨床的特徴と観血治療. 日本視能訓練士協会生涯教育制度専門教育プログラム II; 20210919; Web.

石龍鉄樹. 加齢黄斑変性と炎症. 第 23 回兵庫県眼科フォーラム; 20211002; Web.

板垣可奈子. 福島県立医科大学でのベオビュ投与症例. 第 24 回東北黄斑研究会学術講演会; 20211024; Web.

板垣可奈子. エビデンスに基づいた AMD 治療. EYLEA 9th Anniversary in Hokkaido/Tohoku Vol.1; 20211116; Web.

笠井暁仁. 黄斑疾患に対する抗 VEGF 薬とレーザー治療 CSC/PNV. 第 5 回福島オフサルミックセミナー; 20211125; Web.

皮膚科学講座

論文

〔原著〕

Ishikawa M, Yamamoto T. Antifibrotic effects of C-C chemokine receptor type 2 antagonist in a bleomycin-induced scleroderma model. *Experimental Dermatology*. 2021; 30(1):179-184.

Yamamoto T, Ohtsuki M, Kawada A. Early psoriatic arthritis in Japan: post-hoc analyses from a survey by the Japanese Society of Psoriasis Research. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(6):902-906.

山本俊幸. 自己炎症性角化症としての掌跖膿疱症に対する治療. *Visual Dermatology*. 2021; 20(7):731-734.

大塚幹夫. Melanoma and Non-Melanoma Skin Cancers メラノーマ・皮膚癌 菌状息肉症治療の最前線. 癌と化学療法. 2021; 48(4):508-512.

竹田悠佳, 佐久間弘子, 増山郁, 鈴木奈緒子, 岡部永生, 山根景志, 加藤一夫, 星美智子, 花見由華. クロタミトン含有外用薬による小児の接触皮膚炎とまとめ. *小児科臨床*. 2021; 74(10):1211-1216.

菊池信之, 山本俊幸, 朴澤博之, 岡崎正晃. 本邦壊疽性膿皮症患者の実態調査 大規模診療報酬明細データベースの解析結果. *皮膚科の臨床*. 2021; 63(5):629-934.

大塚幹夫. 医療事故の対策と問題点 クレーマー事例. *皮膚病診療*. 2021; 43(6):566-569.

〔総説等〕

Yamamoto T. An update of adalimumab for pyoderma gangrenosum. *Drugs of Today*. 2021; 57(9):535-542.

Ohtsuka M, Hamada T, Miyagaki T, Shimauchi T, Yonekura K, Kiyohara E, Fujita H, Izutsu K, Okuma K, Kawai K, Koga H, Sugaya M. Outlines of the Japanese guidelines for the management of primary cutaneous lymphomas 2020. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(2):e49-e71.

Yamamoto T. Similarity and difference between palmoplantar pustulosis and pustular psoriasis. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(6):750-760.

山本俊幸. 小児の乾癬. *日本小児皮膚科学会雑誌*. 2021; 40(2):105-115.

山本俊幸, 山崎研志, 山中恵一, 岡昌宏, 小宮根真弓. 壊疽性膿皮症に対するアダリムマブの使用手引き. 日本皮膚科学会雑誌. 2021; 131(3):479-489.

大塚幹夫. 【皮膚悪性腫瘍（第2版）下ー基礎と臨床の最新研究動向ー】皮膚リンパ腫 病期分類と予後. 日本臨床. 2021; 79(増刊 3):437-443.

大塚幹夫. 【皮膚悪性腫瘍（第2版）下ー基礎と臨床の最新研究動向ー】皮膚リンパ腫 皮膚リンパ腫の診断と治療 その他の皮膚T細胞リンパ腫. 日本臨床. 2021; 79(増刊 3):528-533.

山本俊幸. Morbihan 病と肉芽腫性眼瞼炎. 皮膚病診療. 2021; 43(1):18-23.

山本俊幸. 小児膠原病の natural course. 皮膚病診療. 2021; 43(3):220-227.

山本俊幸. 好中球性皮膚症 最近の考え方. 皮膚病診療. 2021; 43(5):397-405.

山本俊幸. 乾癬性紅皮症. 皮膚病診療. 2021; 43(9):779-785.

山本俊幸. 脂腺の増殖について. 皮膚病診療. 2021; 43(12):1072-1077.

山本俊幸. 内臓悪性腫瘍のデルマトローム〜最近の動向〜. 皮膚病診療. 2021; 43(Suppl):16-29.

山本俊幸. エリテマトーデスの皮膚症状とその治療. リウマチ科. 2021; 65(3):265-272.

大塚幹夫. 【最近のトピックス 2021 Clinical Dermatology 2021】皮膚科医のための臨床トピックス 皮膚リンパ腫診療ガイドライン 2020. 臨床皮膚科. 2021; 75(5):158-160.

〔症例報告〕

Yamamoto M, Yamamoto T. Discoid lupus erythematosus in a patient with alopecia totalis. Actas Dermo-Sifiliograficas. 2021; 112(1):77-79.

Mori T, Ito T, Kikuchi N, Kato Y, Yamamoto T. Ulcerative lupus erythematosus profundus in a patient with limited cutaneous systemic sclerosis. Actas Dermo-Sifiliograficas. 2021; 112(8):767-768.

Ishikawa M, Yamamoto T. Plaque Psoriasis in a Patient With Sarcoidosis. Actas Dermo-Sifiliograficas. 2021; 112(9):865-866.

Ishikawa M, Yamamoto T. Etanercept-induced palisaded neutrophilic granulomatous dermatitis. Anais Brasileiros de Dermatologia. 2021; 96(1):117-119.

Mori T, Yamamoto T. Skin metastasis of malignant mesothelioma. Anais Brasileiros de Dermatologia. 2021; 96(5):642-643.

Ishikawa M, Ohtsuka M, Yamamoto T. Pigmented eccrine poroma on the scalp clinically mimicking basal cell carcinoma. *Anais Brasileiros de Dermatologia*. 2021; 96(6):793-795.

Yamamoto T. Verrucous pemphigus or post-pemphigus acanthomata? Reply from authors. *Clinical and Experimental Dermatology*. 2021; 46(1):189.

Mori T, Hiraiwa T, Hanami Y, Yamamoto T. Verruciform Xanthoma Occurring after Surgery for Genital Paget's Disease. *Indian Dermatology Online Journal*. 2021; 12(1):174-175.

Endo M, Yamamoto T. Natural course of pretibial myxedema after a 14-year interval. *International Journal of Dermatology*. 2021; 60(1):e24-e25.

Irie K, Matsumura N, Hoshi M, Yamamoto T. Inverse Gottron's papules in patients with dermatomyositis: an underrecognized but important sign for interstitial lung disease. *International Journal of Dermatology*. 2021; 60(2):e62-e65.

Ito T, Mori T, Miura T, Yamamoto T. Pediatric-onset solitary morphea profunda. *International Journal of Dermatology*. 2021; 60(3):e116-e117.

Endo M, Ohtsuka M, Watanabe Y, Igari S, Kikuchi N, Taniguchi K, Yoshino T, Yamamoto T. TdT-positive primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma, leg type phenotypically mimicking B-lymphoblastic lymphoma. *Journal of Cutaneous Pathology*. 2021; 48(5):722-724.

Watanabe Y, Saito M, Yamamoto T. Lupus miliaris disseminatum faciei in a patient with systemic lupus erythematosus and Sjögren syndrome. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(1):110-113.

Hanami Y, Kumekawa M, Yamamoto T. Psoriasis vulgaris in a patient with antisynthetase syndrome. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(1):e39-e40.

Irie K, Matsumura N, Yamamoto T. Linear lichen planus in a patient with sarcoidosis. *Journal of Dermatology*. 2021; 48(10):e492-e493.

Kusano M, Matsumura N, Hiraiwa T, Yamamoto T. Apocrine hidrocystoma of the scalp: additional case report. *Our Dermatology Online*. 2021; 12(1):94-95.

Himori C, Kawakami Y, Kariyama K, Oda W, Yamamoto T. A case of generalized morphea complicated by autoimmune hepatitis. *Our Dermatology Online*. 2021; 12(1):99-100.

Yamamoto T. A pediatric case of scleroderma en coup de sabre and segmental vitiligo. *Our Dermatology Online*. 2021; 12(3):339-340.

Matsumura N, Yamamoto T. Linear lichen planus associated with primary aldosteronism. *Our Dermatology Online*. 2021; 12(4):468-469.

Matsumoto H, Yashiro-Furuya M, Fujita Y, Asano T, Mori T, Sato S, Temmoku J, Matsuoka N, Watanabe H, Suzuki E, Migita K. Vascular Behcet's Disease Preceded by Fever of Unknown Origin: Usefulness of Ultrasonography for the Detection of Large-Vessel Vasculitis. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 2021; 255(2):163-169.

菊池信之, 山本俊幸. 当科における化膿性汗腺炎 31 例の臨床的検討. *皮膚病診療*. 2021; 43(5):412-417.

伊藤崇, 山本俊幸. 水疱を伴った疱疹状膿痂疹. *皮膚病診療*. 2021; 43(5):456-459.

森龍彦, 山本俊幸. 著明な好酸球浸潤をきたし薬疹との鑑別を要した成人発症 Still 病. *皮膚病診療*. 2021; 43(6):528-531.

松村奈津子, 山本俊幸. イキセキズマブ投与中に間質性肺炎を発症し、リサンキズマブへのバイオスイッチが奏効した乾癬. *皮膚病診療*. 2021; 43(9):830-833.

猪狩翔平, 大塚幹夫, 山本俊幸. 当教室において過去 11 年間に経験した乳房外 Paget 病 65 例の臨床的検討. *臨床皮膚科*. 2021; 75(6):379-385.

〔その他〕

花見由華. リレーエッセイ 私のワークライフバランス 妻は世帯主でQな医局長. *皮膚病診療*. 2021; 43(12):1148-1149.

山本俊幸. 乾癬と掌蹠膿疱症 診療を楽しもう. マルホ皮膚科セミナー 放送内容集. 2021; 14-17.

著 書・訳 書

山本俊幸. 多形滲出性紅斑. In: 高橋健造, 佐伯秀久 編集. *皮膚疾患最新の治療* 2021-2022. 東京: 南江堂. 2021. p.69-70.

研究発表等

〔研究発表〕

Igari S, Akama K, Yamamoto T. Anti-inflammation effects of decanoic acid in a mouse of contact hypersensitivity: on a possible new drug for inflammatory skin disease. 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 20211203-05; Web.

Irie K, Igari S, Yamamoto T. Effects of decanoic acid on imiquimod-induced psoriasis-like dermatitis in mice. 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 20211203-05; Web.

Ishikawa M, Yamamoto T. Antifibrogenic effects of sunitinib in a bleomycin-induced scleroderma model. 46th

Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 20211203-05; Web.

Ito T, Yamamoto T. A murine model of human eosinophilic fasciitis: role of IL-17 family poster; 3 minutes presentation. 46th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology; 20211203-05; Web.

猪狩翔平, 草野美沙希, 佐藤真由, 平岩朋子, 大塚幹夫, 山本俊幸. ニボルマブ、イピリムマブ投与中に腸炎がみられ、腸生検を行い診断した1例. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210108-09; Web(横浜).

猪狩翔平, 平岩朋子, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. Mucinous carcinoma の2例. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210108-09; Web(横浜).

菊池信之, 大塚幹夫, 山本俊幸, 星美智子. 下肢の紫斑を主症状としたNK/T細胞リンパ腫の1例. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210108-09; Web(横浜).

平岩朋子, 石川真郷, 大塚幹夫, 山本俊幸. 同側の異なる手指に悪性黒色腫とボーエン病を生じた1例. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210108-09; Web(横浜).

本多皓, 石崎莉子, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 猪狩翔平, 平岩朋子, 山本俊幸. パブロンゴールドA錠の関与を疑った線状IgA水疱性皮膚症の1例. 第42回水疱症研究会; 20210122-23; Web.

本多皓, 石崎莉子, 高田満喜, 遠藤麻衣, 猪狩翔平, 伊藤崇, 平岩朋子, 森龍彦, 山本俊幸, 石井文人. 臨床的に後天性表皮水疱症を考えた1例. 第42回水疱症研究会; 20210122-23; Web.

入江絹子, 山本俊幸. 骨髓異形成症候群に合併し、広範囲に皮疹を認めた皮膚アミロイドーシスの1例. 日本皮膚科学会東北6県合同地方会学術大会 394 第回例会; 20210320-21; 仙台/Web.

本多皓, 森龍彦, 平岩朋子, 花見由華, 山本俊幸. ファビピラビル (アビガン®) による播種状紅斑型薬疹の1例. 日本皮膚科学会東北6県合同地方会学術大会 394 第回例会; 20210320-21; 仙台/Web.

山本俊幸. 手掌に生じた皮膚線維腫. 日本皮膚科学会東北6県合同地方会学術大会 394 第回例会; 20210320-21; 仙台/Web.

山本俊幸. 結節性紅斑様皮疹を呈し、組織学的にサルコイド血管炎を認めた1例. 第295回日本皮膚科学会東海地方会; 20210321; Web.

山本俊幸. 脂漏性角化症の自然消退現象について. 第295回日本皮膚科学会東海地方会; 20210321; Web.

菊池信之, 花見由華, 山本俊幸, 星美智子. 水疱を形成した疥癬の2例. 第37回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会; 20210424-25; 東京/Web.

森龍彦, 山本俊幸. Pencil-core granuloma の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第393回例会; 20210429; 福島.

猪狩翔平, 渡邊幸奈, 山本俊幸. 歯科治療で改善した肉芽腫性口唇炎の1例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大

会第 393 回例会; 20210429; 福島.

伊藤崇, 山本俊幸. giant cell tumor of the tendon sheath の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 393 回例会; 20210429; 福島.

入江絹子, 高田満喜, 猪狩翔平, 伊藤崇, 松村奈津子, 菊池信之, 山本俊幸. 腎細胞癌を合併した Mucha-Habermann disease の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 393 回例会; 20210429; 福島.

遠藤麻衣, 山本俊幸. 外陰部に生じた汗管腫の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 393 回例会; 20210429; 福島.

草野美沙希, 高田満喜, 遠藤麻衣, 猪狩翔平, 森龍彦, 本多皓, 山本俊幸. トニックウォーターに含まれるキニーネによる接触皮膚炎を考えた 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会学術大会第 393 回例会; 20210429; 福島.

石川真郷, 山本俊幸. サルコイドーシスの癬痕浸潤における resident memory T cells の検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

伊藤崇, 山本俊幸. 好酸球性筋膜炎における IL-17 ファミリー発現パターンの検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

入江絹子, 石崎莉子, 高田満喜, 草野美沙希, 遠藤真衣, 山本俊幸. 当科において最近 10 年間に経験した水疱性類天疱瘡 146 例の臨床的検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

大塚幹夫. 皮膚リンパ腫診療ガイドラインと最新の治療. 第 120 回日本皮膚科学会総会教育講演; 20210610-13; 横浜/Web.

菊池信之, 伊藤崇, 猪狩翔平, 石川真郷, 森龍彦, 平岩朋子, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 乾癬の治療中に乾癬性関節炎を発症した 5 例の検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

高田満喜, 菊池信之, 山本俊幸. 乾癬患者における臍病変の検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

森龍彦, 菊池信之, 山本俊幸. 乾癬の爪病変に対する生物学的製剤の治療効果の検討. 第 120 回日本皮膚科学会総会; 20210610-13; 横浜/Web.

遠藤麻衣, 高田満喜, 渡邊幸奈, 大塚幹夫, 山本俊幸. 両側腋窩と鼻根部に生じた基底細胞癌の 1 例. 第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210709-10; 松本/Web.

佐藤真由, 渡邊幸奈, 猪狩翔平, 松村奈津子, 森龍彦, 平岩朋子, 菊池信之, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. 外陰部 Paget 病の手術から 8 年後に両側腋窩 Paget 病を発症した 1 例. 第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210709-10; 松本/Web.

森龍彦, 山本俊幸. 当科における脂腺癌のまとめ. 第 37 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210709-10; 松本/Web.

大塚幹夫. 日常診療で知っておきたい医療安全の基礎知識. 第 67 回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210717-18; 福島/Web.

菊池信之, 森龍彦, 山本俊幸. 100 歳女性の外陰部に生じた扁平苔癬の 1 例. 第 17 回加齢皮膚医学研究会; 20210821-22; 名古屋.

石川真郷, 伊藤崇, 山本俊幸. 陳旧性肥厚性癬痕とその周囲に生じた乾癬病変における resident memory T cells の検討. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

入江絹子, 菊池信之, 山本俊幸. 本邦人乾癬性紅皮症の臨床的分類の試み. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

菊池信之, 遠藤麻衣, 入江絹子, 山本美友貴, 伊藤崇, 猪狩翔平, 石川真郷, 松村奈津子, 森龍彦, 平岩朋子, 本多皓, 花見由華, 大塚幹夫, 山本俊幸. Palmoplantar psoriasis 11 例の検討. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

高田満喜, 山本俊幸. インフルエンザワクチン接種後に発症した尋常性乾癬. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

平岩朋子, 山本俊幸. 関節症状が皮膚症状に先行した掌蹠膿疱症性骨関節炎の 6 例. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

平岩朋子, 山本俊幸. 掌蹠膿疱症における爪病変と遠位指節間関節炎の関連～掌蹠膿疱症性骨関節炎と乾癬性関節炎の相違について～. 第 36 回日本乾癬学会学術大会; 20210903-04; 浦安/Web.

森龍彦, 山本俊幸. 褥瘡との鑑別を要した有棘細胞癌の 1 例. 第 23 回日本褥瘡学会学術集会; 20210910-11; Web.

石川真郷, 山本俊幸. 顔面播種状粟粒性狼瘡における、病変部の M1, M2 マクロファージ優位性と治療反応性との関連. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

伊藤崇, 山本俊幸. 臀部の慢性膿皮症から巨大有棘細胞癌を生じた 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

遠藤麻衣, 石崎莉子, 大塚幹夫, 山本俊幸. 前立腺癌のリンパ浮腫に伴って生じた Stewart-Treves 症候群の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

菊池信之, 松村奈津子, 本多皓, 花見由華, 山本俊幸. 線状 IgA 水疱性皮膚症と診断されてから 7 年後に壞疽性膿皮症を生じた 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

菊池信之, 山本俊幸. 透析患者の爪白癬治療. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

草野美沙希, 高田満喜, 松村奈津子, 山本俊幸. 顔面播種状粟粒性狼瘡と考えた小児に外陰部にも皮疹を認めた

1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

高田満喜, 山本俊幸, 三浦貴子. 小児の好酸球性膿疱性毛包炎と診断した 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

則川菜摘, 佐藤真由, 山本俊幸. 肺癌が発見された強皮骨膜炎の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

山本美友貴, 渡邊幸奈, 森龍彦, 山本俊幸, 陳科榮. 皮膚動脈炎を合併した壞疽性膿皮症の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 20210918-19; 札幌/Web.

入江絹子, 平岩朋子, 山本俊幸. 掌蹠の病変が難治であった抗ラミニンγ1 類天疱瘡の 1 例. 日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会第 395 回例会; 20210923; Web.

遠藤麻衣, 大塚幹夫, 山本俊幸, 岩月啓氏, 山上淳. パンコマイシンにより誘発された線状 IgA 水疱性皮膚症の 1 例. 日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会第 395 回例会; 20210923; Web.

佐藤真由, 渡邊幸奈, 山本俊幸. 抗 BP230 抗体のみ陽性であった水疱性類天疱瘡の 1 例. 日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会第 395 回例会; 20210923; Web.

高田満喜, 石崎莉子, 則川菜摘, 遠藤麻衣, 山本美友貴, 伊藤崇, 平岩朋子, 花見由華, 山本俊幸, 岩月啓氏. ニボルマブ誘発性の水疱性類天疱瘡の 1 例. 日本皮膚科学会福島・山形・宮城 3 県合同地方会第 395 回例会; 20210923; Web.

本多皓, 石川真郷, 池田雅一, 山本俊幸. Nivolumab 投与後に生じた cutaneous sarcoid/sarcoid-like lesion の 1 例. 第 41 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会; 20211029-30; 大阪/Web.

平岩朋子, 入江絹子, 本多皓, 山本俊幸. 腎癌に対してニボルマブ・イピリムマブ投与後に生じた Acquired Reactive Perforating Collagenosis の 1 例 ～びまん性紅斑 A の消退後に RPC が出現した例～. 第 73 回日本皮膚科学会西部支部学術大会; 20211030-31; 宮崎/Web.

入江絹子, 花見由華, 山本俊幸. 四肢を中心に多発した痛風結節の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

則川菜摘, 高田満喜, 伊藤崇, 森龍彦, 本多皓, 山本俊幸. 正補体血症性蕁麻疹様血管炎の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

花見由華, 入江絹子, 山本俊幸. 直腸癌術後補助療法中に円板状エリテマトーデス様皮疹が出現した 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

平岩朋子, 山本俊幸. 扁平苔癬を合併した全身性強皮症の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

本多皓, 入江絹子, 花見由華, 山本俊幸, 三浦貴子. デュピルマブで効果減弱したぶどう膜炎合併アトピー性皮

膚炎に経口 JAK 阻害剤を使用した 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

森龍彦, 草野美沙希, 山本俊幸. COVID-19 ワクチン接種後より出現した痒疹の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

渡邊幸奈, 高田満喜, 入江絹子, 伊藤崇, 松村奈津子, 菊池信之, 山本俊幸, 岩月啓氏. *Mycobacterium chelonae* による非結核性抗酸菌症の 1 例. 日本皮膚科学会福島地方会第 396 回例会; 20211103; 郡山.

猪狩翔平, 佐藤真由, 石川真郷, 平岩朋子, 山本俊幸. 再発性 Sweet 病に耳介軟骨炎が認められた 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20211113-14; 東京/Web.

入江絹子, 高田真喜, 草野美沙希, 森龍彦, 山本俊幸. 骨髓異形成症候群に合併した、Pathergy を伴う Sweet syndrome の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20211113-14; 東京/Web.

高田満喜, 石川真郷, 山本俊幸. 化学療法後に陰茎亀頭部に限局して生じた annular lichen planus の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20211113-14; 東京/Web.

平岩朋子, 山本俊幸, 平岩幹. 二度目の妊娠後期に壞疽性膿皮症の再燃を疑った 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20211113-14; 東京/Web.

山本美友貴, 山本俊幸. 手掌と手指に限局して生じた扁平苔癬の 1 例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会; 20211113-14; 東京/Web.

菊池信之, 山本俊幸. GVHD 患者にみられた鞍鼻. 第 72 回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 20211120-21; 奈良/Web.

則川菜摘, 本多皓, 山本俊幸. Turner 症候群の女兒にみられた再発性 tumoral calcinosis. 第 72 回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 20211120-21; 奈良/Web.

猪狩翔平, 赤間洋一, 山本俊幸. デカン酸軟膏は接触過敏症モデルマウスにおいて、皮膚炎症を抑制する ～新たな創薬の可能性～. 第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 20211126-28; 東京/Web.

猪狩翔平, 浅野智之, 山本俊幸. 全身性エリテマトーデス患者の異なる部位に生じた interstitial granulomatous dermatitis と Winkelmann 肉芽腫の 1 例～両者の病態について～. 第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 20211126-28; 東京/Web.

遠藤麻衣, 石崎莉子, 猪狩翔平, 松村奈津子, 平岩朋子, 山本俊幸. ヒドロキシクロロキンによる重症薬疹を生じた hypertrophic DLE の 1 例. 第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 20211126-28; 東京/Web.

則川菜摘, 山本俊幸, 陳科榮. 動脈炎を呈したリウマトイド血管炎の 1 例. 第 51 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 20211126-28; 東京/Web.

本多皓, 高田満喜, 則川菜摘, 伊藤崇, 森龍彦, 藤田雄也, 古谷牧子, 浅野智之, 喜古雄一郎, 市村裕輝, 小西里沙, 沖山奈緒子, 猪狩由美子, 山本俊幸. Rosai-Dorfman 病を合併した抗 SAE 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例.

泌尿器科学講座

論文

〔原 著〕

Numakura Kazuyuki, Muto Yumin, Naito Sei, Hatakeyama Shingo, Kato Renpei, Koguchi Tomoyuki, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Kandori Syuya, Kawamura Sadafumi, Arai Yoichi, Ito Akihiro, Nishiyama Hiroyuki, Kojima Yoshiyuki, Obara Wataru, Ohyama Chikara, Tsuchiya Norihiko, Habuchi Tomonori. Outcomes of axitinib versus sunitinib as first-line therapy to patients with metastatic renal cell carcinoma in the immune-oncology era. *Cancer Medicine*. 202109; 10(17):5839-5846.

Hoshi Seiji, Meguro Satoru, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Yoshida Yuki, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaiata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Upregulation of glucocorticoid receptor-mediated glucose transporter 4 in enzalutamide-resistant prostate cancer. *Cancer Science*. 202105; 112(5):1899-1910.

Naito Sei, Kato Tomoyuki, Numakura Kazuyuki, Hatakeyama Shingo, Koguchi Tomoyuki, Kandori Shuya, Kawasaki Yoshihide, Adachi Hisanobu, Kato Renpei, Narita Shintaro, Yamamoto Hayato, Ogawa Soichiro, Kawamura Sadafumi, Obara Wataru, Ito Akihiro, Nishiyama Hiroyuki, Kojima Yoshiyuki, Ohyama Chikara, Habuchi Tomonori, Tsuchiya Norihiko. Prognosis of Japanese metastatic renal cell carcinoma patients in the targeted therapy era. *International Journal of Clinical Oncology*. 202110; 26(10):1947-1954.

Hatakeyama Shingo, Naito Sei, Numakura Kazuyuki, Kato Renpei, Koguchi Tomoyuki, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Kandori Shuya, Kawamura Sadafumi, Tsushima Eiki, Nishiyama Hiroyuki, Ito Akihiro, Kojima Yoshiyuki, Habuchi Tomonori, Obara Wataru, Tsuchiya Norihiko, Ohyama Chikara. Impact of cytoreductive nephrectomy in patients with primary metastatic renal cell carcinoma receiving systemic tyrosine kinase inhibitor therapy: A multicenter retrospective study. *International Journal of Urology*. 202104; 28(4):369-375.

Hata Junya, Onagi Akifumi, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Sato Yuichi, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Haga Nobuhiro, Kojima Yoshiyuki. Prevalence and predictors of postoperative detrusor underactivity after robot-assisted radical prostatectomy: A prospective observational study. *International Journal of Urology*. 202107; 28(7):734-740.

Hata Junya, Matsuoka Yuta, Onagi Akifumi, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Sato Yuichi, Akaiata Hidenori, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao, Hosoi Takayuki, Kojima Yoshiyuki. Usefulness of the

mayo adhesive probability score as a predictive factor for renal function deterioration after partial nephrectomy: a retrospective case-control study. *International Urology and Nephrology*. 202111; 53(11):2281-2288.

Meguro Satoru, Haga Nobuhiro, Imai Hitomi, Yoshida Yuki, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Association Between Surgical Stress and Biochemical Recurrence After Robotic Radical Prostatectomy. *JSLs*. 202101; 25(1):e2020.00078.

Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Hata Junya, Tanji Ryo, Honda-Takinami Ruriko, Onagi Akifumi, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. L-Theanine Protects Bladder Function by Suppressing Chronic Sympathetic Hyperactivity in Spontaneously Hypertensive Rat. *Metabolites*. 202111; 11(11):778.

Takezawa Kentaro, Fujita Kazutoshi, Matsushita Makoto, Motooka Daisuke, Hatano Koji, Banno Eri, Shimizu Nobutaka, Takao Tetsuya, Takada Shingo, Okada Koichi, Fukuhara Shinichiro, Kiuchi Hiroshi, Uemura Hirotugu, Nakamura Shota, Kojima Yoshiyuki, Nonomura Norio. The Firmicutes/Bacteroidetes ratio of the human gut microbiota is associated with prostate enlargement. *Prostate*. 202112; 81(16):1287-1293.

Okita Kazutaka, Hatakeyama Shingo, Naito Sei, Numakura Kazuyuki, Kato Renpei, Koguchi Tomoyuki, Kojima Takahiro, Kawasaki Yoshihide, Kandori Shuya, Kawamura Sadafumi, Nishiyama Hiroyuki, Ito Akihiro, Kojima Yoshiyuki, Habuchi Tomonori, Obara Wataru, Tsuchiya Norihiko, Ohya Chikara. External validation of the REMARCC model for the selection of cytoreductive nephrectomy in patients with primary metastatic renal cell carcinoma: A multicenter retrospective study. *Urologic Oncology*. 202112; 39(12):836.e11-836.e17.

Haga Nobuhiro, Okabe Yu, Miyazaki Takeshi, Tsubouchi Kazuna, Akaihata Hidenori, Hata Junya, Honda Ruriko, Matsuoka Kanako, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. The effect of β_3 -adrenoceptor gene polymorphisms on lower urinary tract function in males. *World Journal of Urology*. 202108; 39(8):3035-3040.

〔総説等〕

秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 片岡政雄, 小島祥敬. 【前立腺癌の外科治療】RARP 尿禁制を最大にするための方策. *Prostate Journal*. 202104; 8(1):27-31.

赤井畑秀則, 針金佑樹, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 小名木彰史, 本田(滝浪)瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 【事例でひもとく泌尿器科の外来・入院にかかる医療費の実際 チームで取り組む排尿自立指導】(chapter 4) 事例でみる排尿自立指導 カテーテル抜去後尿閉患者さんに対する排尿自立指導. *Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure*. 202102; 26(1):70-73.

赤井畑秀則, 松岡香菜子, 秦淳也, 小島祥敬. 【過活動膀胱に進む病態解明と広がる治療選択肢】薬物療法 性差と病態に基づいた選択. *カレントセラピー*. 202102; 39(2):135-139.

秦淳也, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 【腎疾患治療薬

update】(第3章) 泌尿器科疾患 排尿障害(前立腺肥大症) α 1遮断薬、腎と透析. 202108; 91(増刊):636-639.

赤井畑秀則. Male LUTS 患者における前立腺質的变化の意義と下部尿路症状発症機序の解明 遺伝子発現プロファイリング解析による MRI/ADC 値を規定する遺伝子群の同定. 排尿障害プラクティス. 202112; 29(2):172-173.

小島祥敬, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 小名木彰史, 丹治亮, 本田(滝浪)瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 片岡政雄. 【前立腺がんの診断と治療—update 2021】治療 ロボット支援前立腺全摘除術 術後尿失禁のリスクファクターと尿禁制保持のための術式の工夫. 泌尿器科. 202101; 13(1):19-30.

佐藤雄一, 針金佑樹, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 丹治亮, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 【小児泌尿器診療のトレンド】先天性疾患診療のトレンド 先天性水腎症 (UPJO) の診療. 泌尿器科. 202102; 13(2):106-113.

小島祥敬, 長谷川暁久, 八木沼恵, 吉田祐樹, 本田(滝浪)瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 佐藤雄一. 【尿路形成・再建のコツとポイント】腹腔鏡下・ロボット支援腎盂形成術のコツとポイント. 泌尿器科. 202106; 13(6):656-667.

佐藤雄一, 松岡香菜子, 小川総一郎, 小島祥敬. 【後期研修医がおさえておきたい泌尿器疾患 TOP30 2021】疾患 上部尿路閉塞(腎盂尿管移行部通過障害). 泌尿器外科. 202112; 34(特別):307-319.

赤井畑秀則, 小島祥敬. 【下部尿路症状】下部尿路症状の原因疾患に対する治療戦略! 治療薬の選び方と使い方 夜間頻尿. 薬局. 202106; 72(7):2632-2638.

松岡香菜子, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 【朝まで待てない! 夜間頻尿完全マスター】夜間頻尿の疫学と病態 膀胱蓄尿障害による夜間頻尿の病態. 臨床泌尿器科. 202101; 75(1):24-27.

秦淳也, 松岡香菜子, 赤井畑秀則. 【前立腺肥大症 (BPH) 薬物治療のニューノーマル—"とりあえず"ではなくベストな処方を目指して】単剤療法 1st ライン 第一選択薬としての α 1 遮断薬. 臨床泌尿器科. 202106; 75(7):488-491.

小川総一郎, 佐藤雄一, 小島祥敬. 【ED 診療のフロントライン—この一冊で丸わかり!】ED の治療 内服治療 (PDE5 阻害薬・漢方). 臨床泌尿器科. 202108; 75(9):650-653.

片岡政雄, 秦淳也, 赤井畑秀則. 【THE ロボット支援手術—現状と展望/ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) の徹底理解】RARP 機能温存手術 尿失禁防止術. 臨床泌尿器科. 202110; 75(11):826-828.

佐藤雄一, 小島祥敬. 【THE ロボット支援手術—ロボット支援腎部分切除術 (RAPN) /ロボット支援膀胱全摘除術 (RARC) /新たな術式の徹底理解】ロボット支援腎盂形成術・仙骨脛固定術 ロボット支援腎盂形成術. 臨床泌尿器科. 202111; 75(12):902-906.

【症例報告】

Meguro Satoru, Kirihana Yusuke, Kumekawa Tomoyuki, Kobayashi Masato, Kameoka Hiroshi. Case of

vaginal cuff dehiscence and small bowel evisceration after laparoscopic radical cystectomy. IJU Case Reports. 202107; 4(6):351-354.

片岡政雄, 今井仁美, 目黒了, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. Native tissue repair にて修復した化学繊維による接触性皮膚炎を伴う膀胱瘤の1例. 日本女性骨盤底医学会誌. 202101; 17(1):46-49.

〔その他〕

秦淳也, 他. 2019 研究実績 前立腺肥大症増殖過程における自己抗原認識による補体活性化機構. ANNUAL REPORT 2019; 202101. 11.

泌尿器科・副腎内分泌外科. 診療におけるトピックス 附属病院 泌尿器科・副腎内分泌外科が「女性のための泌尿器科外来」を強化. ANNUAL REPORT 2019; 202101. 14.

赤井畑秀則. コメント「失禁を有する小児における行動上の問題の併存、過体重および肥満：1,638 例の解析」. Broad View of Urology Topics. 2021; 3(6):2-3.

赤井畑秀則. コメント「健常成人における強い尿意による脳機能ネットワークの変化：グラフ理論解析」. Broad View of Urology Topics. 2021; 3(6):4-5.

秦淳也. コメント「1 型糖尿病ラットモデルにおける糖尿病性膀胱機能障害による低活動膀胱/排尿筋低活動の治療標的としての EP2 受容体および EP3 受容体」. Broad View of Urology Topics. 2021; 3(6):6-7.

秦淳也. コメント「ラットにおける酢酸誘発性排尿筋過活動に対する猪苓湯（漢方薬）の治療効果」. Broad View of Urology Topics. 2021; 3(6):8-9.

小島祥敬. 編集後記. Broad View of Urology Topics. 2021; 3(6):22.

松岡香菜子. コメント「ヒト膀胱の電氣的活動の検出における心臓電気生理学的検査用多電極カテーテルの使用経験」. Broad View of Urology Topics. 2021; 4(2):2-3.

松岡香菜子. コメント「機能的脳画像における尿意切迫感誘発のための新規注入・吸引プロトコールの検討」. Broad View of Urology Topics. 2021; 4(2):4-5.

星誠二. コメント「女性の薬剤抵抗性過活動膀胱に対する薬物療法への認知行動療法の追加の臨床的実現性および忍容性:探索的単群研究」. Broad View of Urology Topics. 2021; 4(2):6-7.

星誠二. コメント「広汎子宮全摘術後の神経因性下部尿路機能障害患者の QOL に対する清潔間欠導尿の影響:横断研究」. Broad View of Urology Topics. 2021; 4(2):8-9.

小島祥敬. KUR Special Interview 福島の医療を build-up—四半世紀をかけた挑戦—. KISSEI KUR. 202104; 14(2):2-7.

小島祥敬. なんでも健康相談 泌尿器科 頻尿で外出もままなりません. NHK きょうの健康. 202105; (399):109.

小島祥敬. 下回りのちょっと出ちゃうをどうにかしたい編. UOMO. 202104; (6):144.

小島祥敬. おしっこ悩み、あきらめていませんか？ 一般社団法人オフィスウロロジー医会 (Web 掲載). 202105.

小島祥敬. 「尿と便」漏れ問題 もう怖くない. 週刊朝日. 202110; 126(49):120-123.

小島祥敬. 編集後記のススメ 泌尿器科界・稀代の「二刀流」. 第 109 回日本泌尿器科学会総会攻略本. 2021; 154.

小川総一郎. 環境省での駆け出し医系技官生活. 福島県立医科大学大学医師会会報. 202111; (157):1-2.

秦淳也. トピックス 2 本学発信—学術研究成果・新発見等紹介 (3) 補体経路活性化を介した前立腺肥大症増殖機序の解明. 福島県立医科大学医学部同窓会報. 202102; (50):50.

小島祥敬. 特集 朝まで待てない！夜間頻尿完全マスター 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 202101; 75(1):5.

小島祥敬. 書評 査読を制する者は論文を制する 医学論文査読のお作法. 臨床泌尿器科. 202101; 75(1):70.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202106; 75(3):268.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202106; 75(7):536.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202109; 75(10):774.

小島祥敬. 特集 THE ロボット支援手術—現状と展望／ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) の徹底理解 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 202110; 75(11):778.

小島祥敬. 特集 THE ロボット支援手術—ロボット支援腎部分切除術 (RAPN) ／ロボット支援膀胱全摘除術 (RARC) ／新たな術式の徹底理解 企画にあたって. 臨床泌尿器科. 202111; 75(12):854.

小島祥敬. 編集後記. 臨床泌尿器科. 202112; 75(13):1000.

著 書・訳 書

小島祥敬. 頻尿. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針：私はこう治療している 2021 年版. 東京: 医学書院; 202101. p.1257-1258.

小島祥敬. II 小児泌尿器科学総論 B. 治療総論 4 小児のロボット支援手術. In: 日本小児泌尿器科学会 編集. 小児泌尿器科学. 東京: 診断と治療社; 202102. p.88-91.

佐藤雄一. III小児泌尿器科学各論 E. 陰嚢内容の異常 7 急性陰嚢症 (2) —その他の原因疾患. In: 日本小児泌尿器科学会 編集. 小児泌尿器科学. 東京: 診断と治療社; 202102. p.225-227.

小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101.

柳田知彦. 第2章 副腎腫瘍. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.12-28.

小川総一郎. 第3章 腎がん 腎部分切除術 (開腹手術・ロボット支援手術). In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.48-60.

櫛田信博. 第4章 腎盂尿管がん. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.62-79.

松岡香菜子. 第5章 膀胱がん. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.82-95.

丹治亮, 秦淳也. 第5章 膀胱がん 根治的膀胱全摘除術. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.96-111.

胡口智之. 第5章 膀胱がん 尿路変向術 (尿管皮膚瘻・回腸導管). In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.112-126.

片岡政雄. 第5章 膀胱がん 尿路変向術 (代用膀胱). In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.127-134.

本田 (滝浪) 瑠璃子, 亀岡浩, 佐藤雄一. 第6章 前立腺がん. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.136-168.

星誠二. 第7章 精巣がん. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊). 大阪: メディカ出版; 202101. p.171-184.

赤井畑秀則. 第7章 精巣がん 後腹膜リンパ節郭清術. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure

別冊) . 大阪: メディカ出版; 202101. p.185-193.

小名木彰史. 第8章 陰茎がん. In: 小島祥敬, 羽賀宣博, 小川総一郎, 片岡政雄. 泌尿器がん術前・術後管理のすべて: フローチャートでつながる診断・治療・看護の流れ (Uro-Lo: 泌尿器 care&cure 別冊) . 大阪: メディカ出版; 202101. p.196-209.

小島祥敬. 第7章 小児泌尿器疾患. In: 市川智彦, 久米春喜 編集. 標準泌尿器科学 第10版. 東京: 医学書院; 202103. p.112-131.

研究発表等

〔研究発表〕

Hata Junya, Endo Yu, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Matsuoka Kanako, Onagi Akifumi, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Developmental mechanism of benign prostatic hyperplasia by NLRP3 inflammasome thorough complement pathway. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210910; Web.

Ogawa Soichiro, Yaginuma Kei, Hasegawa Akihisa, Makabe Syunta, Harigane Yuki, Endo Yu, Imai Hitomi, Matsuoka Yuta, Meguro Satoru, Tanji Ryo, Onagi Akifumi, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Kayama Emina, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Impacts of neoadjuvant hormonal therapy prior to robot-assisted radical prostatectomy on postoperative hormonal- and sexual-related quality of life - Assessment by patient-reported questionnaire -. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210911; Web.

Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Hakozaki Yusuke, Kiriwana Yusuke, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Yoshioka Shunsuke, Imai Hitomi, Onagi Akifumi, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Clinical characteristics of male LUTS patients without vesical adaptation response to diuresis using 3-day sensory-related frequency volume charts. 15th Pan-Pacific Continence Society Meeting; 20210911; Matsumoto.

Endo Yu, Yoshida Yuki, Matsuoka Yuta, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Usefulness of the Mayo adhesive probability score as a predictive factor for renal dysfunction after partial nephrectomy. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210913; Web.

Harigane Yuki, Hata Junya, Yaginuma Kei, Hasegawa Akihisa, Makabe Syunta, Endo Yu, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Predictive factors of long-term deterioration of renal function after robot-assisted partial nephrectomy-Analysis by histopathological findings of preserved kidney-. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210913; Web.

Hata Junya, Endo Yu, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Matsuoka Kanako, Onagi Akifumi, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Long-term prognosis of lower urinary tract function after robot-assisted radical prostatectomy in patients with preoperatively low bladder contractility. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210913; Web.

Kataoka Masao, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Onagi Akifumi, Honda Ruriko, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Elucidation of urinary incontinence mechanism after robot-assisted radical prostatectomy by anatomical and functional analysis of the urethral support mechanism. 2021 Annual Meeting of the American Urological Association; 20210913; Web.

Hata Junya, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Long-term prognosis of lower urinary tract function after robot-assisted radical prostatectomy in patients with preoperative low bladder contractility. International Continence Society 2021; 20211014; Web.

Matsuoka Kanako, Akaihata Hidenori, Hakozaiki Yusuke, Kirihaana Yusuke, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Yoshioka Shunsuke, Makabe Syunta, Hasegawa Akihisa, Onagi Akifumi, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Preventive effects of L-γ-Glutamylethylamide on lower urinary tract dysfunction induced by chronic sympathetic hyperactivity in rats. International Continence Society 2021; 20211014; Web.

Akaihata Hidenori, Hakozaiki Yusuke, Kirihaana Yusuke, Natsuya Hiroki, Kumekawa Tomoyuki, Yoshioka Shunsuke, Makabe Syunta, Hasegawa Akihisa, Onagi Akifumi, Honda-Takinami Ruriko, Matsuoka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Kataoka Masao, Kojima Yoshiyuki. Endothelial nitric oxide synthase uncoupling cause lower urinary tract dysfunction associated with pelvic arterial occlusion. International Continence Society 2021; 20211014-17; Web.

Honda-Takinami Ruriko, Kataoka Masao, Yaginuma Kei, Hasegawa Akihisa, Makabe Syunta, Harigane Yuki, Endo Yu, Tanji Ryo, Onagi Akifumi, Matsuoka Kanako, Hoshi Seiji, Koguchi Tomoyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki. Impact of nocturnal enuresis on QOL after robot-assisted radical prostatectomy. International Continence Society 2021; 20211014-17; Web.

Haga Nobuhiro, Miyazaki Takeshi, Okabe Yu, Tsubouchi Kazuna, Kojima Yoshiyuki. Does Gene Polymorphism of Beta-3 Adrenoceptor Effect on the Lower Urinary Tract Function in Men? International Continence Society 2021; 20211016; Web.

今井仁美, 片岡政雄, 吉田祐樹, 目黒了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. TVT 術後の膀胱内メッシュ露出に対する経尿道的摘除術の工夫. 第 22 回 日本女性骨盤底医学会; 20210116-17; Web.

片岡政雄, 今井仁美, 吉田祐樹, 目黒了, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 骨盤臓器脱修復術後の蓄尿症状の予測における cineMRI による Vesical

neck movement 測定の意義. 第 22 回日本女性骨盤底医学会; 20210116-17; Web.

亀岡浩, 目黒了, 小林正人, 片岡政雄, 小島祥敬. 当科における LSC の後壁修復. 第 22 回日本女性骨盤底医学会; 20210116-17; Web.

小川総一郎, 八木沼恵, 針金佑樹, 遠藤侑, 長谷川暁久, 眞壁俊太, 吉田祐樹, 今井仁美, 松岡優太, 目黒了, 本田瑠璃子, 丹治亮, 小名木彰史, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 男性不妊症患者における精巣 MRI の信号変化と診療への応用の可能性. 日本アンドロロギ一学会第 39 回学術大会; 20210116; Web.

秦淳也, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後に発症する排尿筋低活動の危険因子. 第 13 回日本ロボット外科学会学術集会; 20210123; Web.

眞壁俊太, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 八木沼恵, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 全身及び局所の脂肪量がロボット支援前立腺全摘除術の術後長期尿失禁に及ぼす影響. 第 13 回日本ロボット外科学会学術集会; 20210123; Web.

吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 精巣發育不全を呈した CHARGE 症候群の 1 例ーステロイド合成及び造精機能の転写活性に着目した病態の考察ー. 第 29 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210131; Web.

羽賀宣博, 佐藤雄一, 松岡弘文, 入江慎一郎, 小島祥敬. The Role of Robotic Surgery in Pediatric Urology in Japan -Focus on robot-assisted pyeloplasty-. 第 29 日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210201; 東京.

片岡政雄, 今井仁美, 吉田祐樹, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 腹腔鏡下尿管摘除術における reduced port surgery の試み. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; Web.

赤井畑秀則, 針金佑樹, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の QOL 向上にむけた尿禁制確保の工夫. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210311; Web.

片岡政雄, 今井仁美, 目黒了, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬. 骨盤臓器脱修復術後の蓄尿症状困窮度憎悪因子の同定. 第 14 回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会; 20210326-27; Web.

今井仁美, 横山純, 櫛田信博, 吉田純也. 経尿道的前立腺レーザー核出術 (HoLEP) 後における尿道狭窄の検討. 第 262 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20210417; Web.

長谷川暁久, 佐藤雄一, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 遠藤侑, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 膀胱粘膜下に発生した海綿状血管腫の一例. 第 262 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20210417; Web.

眞壁俊太, 胡口智之, 長谷川暁久, 針金佑樹, 八木沼恵, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 放射線治療によって病勢制御を得た前立腺基底細胞癌. 第 262 回日本泌尿器科学会東北地方会; 20210417; Web.

小名木彰史, 遠藤侑, 吉田祐樹, 松岡優太, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 細井隆之, 小島祥敬. 高齢者に対するロボット支援腎部分切除術の安全性. 第 34 回日本老年泌尿器科学会; 20210513-0614; Web.

今井仁美, 横山純, 櫛田信博, 吉田純也. CRE (カルバペネム耐性腸内細菌科細菌) の 2 例. 第 88 回福島泌尿器科研究会; 20210612; 福島.

佐藤雄一, 夏谷広樹, 桑川知之, 吉岡駿佑, 長谷川暁久, 胡口智之, 秦淳也, 片岡政雄, 小島祥敬. 腎盂尿管移行部通過障害に対するロボット支援腎盂形成術. 第 88 回福島泌尿器科研究会; 20210612; 福島.

松岡香菜子, 赤井畑秀則, 箱崎佑輔, 桐花悠介, 眞壁俊太, 小名木彰史, 秦淳也, 片岡政雄, 小島祥敬. 自己免疫性 GFAP アストロサイトパチー治療後に残存した下部尿路機能障害の 1 例. 第 88 回福島泌尿器科研究会; 20210612; 福島.

吉田祐樹, 佐藤雄一, 遠藤侑, 星誠二, 細井隆之, 小島祥敬. 精巣発育不全を呈した CHARGE 症候群の 1 例ーステロイド合成及び造精機能の転写活性に着目した病態の考察ー. 第 88 回福島泌尿器科研究会; 20210612; 福島.

片岡政雄, 今井仁美, 松岡優太, 目黒了, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 骨盤臓器脱修復術後の腹圧性尿失禁 (SUI) 残存および de novo SUI 予測における cine MRI による urethral mobility と vesical neck movement 評価の意義. 第 30 回骨盤外科機能温存研究会; 20210613; Web.

長谷川暁久, 小川総一郎, 箱崎佑輔, 夏谷広樹, 桐花悠介, 吉岡駿佑, 桑川知之, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 遠藤侑, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 精巣腫瘍サバイバーにおける性機能障害の危険因子ーIIIEF を用いた評価ー. 日本アンドロロジー学会第 40 回学術大会; 20210613; Web.

八木沼恵, 佐藤雄一, 長谷川暁久, 吉田祐樹, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 小島祥敬. 5 歳未満に対する腹腔鏡下腎盂形成術の安全性と有効性. 第 30 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210703; Web.

佐藤雄一, 八木沼恵, 長谷川暁久, 吉田祐樹, 松岡香菜子, 本田瑠璃子, 星誠二, 胡口智之, 小川総一郎, 小島祥敬. 超音波エラストグラフィを用いた精巣固定術の手術時期と精巣硬度の関連. 第 30 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210704; Web.

長谷川暁久, 八木沼恵, 吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 佐藤雄一, 小川総一郎, 小島祥敬. 尿管周囲静脈から発症した膀胱海綿状血管腫ー病理組織学的解析による発症機序の考察ー. 第 30 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210704; Web.

片岡政雄, 長谷川曉久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 小名木彰史, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 骨盤臓器脱修復術後の蓄尿症状困窮度増悪因子の同定. 第23回日本女性骨盤底医学会; 20210717; Web.

赤井畑秀則, 箱崎佑輔, 桐花悠介, 夏谷広樹, 糸川知之, 吉岡駿佑, 眞壁俊太, 長谷川曉久, 小名木彰史, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 馬目雅彦, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後尿失禁への治療選択における排尿効率の有用性と意義. 第86回日本泌尿器科学会東部総会; 20210903; Web.

桐花悠介, 松岡香菜子, 箱崎佑輔, 夏谷広樹, 小名木彰史, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 自己免疫性 GFAP アストロサイトパチーに起因する下部尿路機能障害. 第28回日本排尿機能学会; 20210909; Web/松本.

竹澤健太郎, 栗林宗平, 岡田紘一, 関井洋輔, 松下慎, 福原慎一郎, 木内寛, 藤田和利, 川村憲彦, 高田晋吾, 中村昇太, 小島祥敬, 野々村祝夫. 腸内細菌叢の Firmicutes/Bacteroidetes 比は前立腺腫大と関連する. 第28回日本排尿機能学会; 20210909; Web/松本.

秦淳也, 桐花悠介, 糸川知之, 夏谷広樹, 箱崎佑輔, 吉岡駿佑, 松岡香菜子, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術における術前膀胱収縮力低下症例の下部尿路機能長期予後. 第28回日本排尿機能学会; 20210909; Web/松本.

眞壁俊太, 赤井畑秀則, 糸川知之, 吉岡駿佑, 長谷川曉久, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後下部尿路機能障害発症の予測因子としての下腹部皮下脂肪の有用性. 第28回日本排尿機能学会; 20210909; Web/松本.

赤井畑秀則, 夏谷広樹, 糸川知之, 吉岡駿佑, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. Male LUTS 患者における前立腺質的变化の意義と下部尿路症状発症機序の解明—遺伝子発現プロファイリング解析による MRI/ADC 値を規定する遺伝子群の同定—. 第28回日本排尿機能学会; 20210910; Web/松本.

松岡香菜子, 赤井畑秀則, 箱崎佑輔, 長谷川曉久, 小名木彰史, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 非夜間多尿患者における夜間利尿率の意義と利尿に伴う夜間特異的な膀胱蓄尿障害の病態解明. 第28回日本排尿機能学会; 20210910; Web/松本.

箱崎佑輔, 赤井畑秀則, 桐花悠介, 糸川知之, 夏谷広樹, 吉岡駿佑, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 術後9年に孤発転移を残存尿管に來した嫌色素性腎細胞癌の一例. 第263回日本泌尿器科学会東北地方会; 20210918; Web.

胡口智之, 小名木彰史, 吉岡駿佑, 糸川知之, 夏谷広樹, 桐花悠介, 箱崎佑輔, 長谷川曉久, 眞壁俊太, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 新規腎癌治療標的におけるミオイノシトール代謝制御の意義. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021; Web.

内藤整, 畠山真吾, 神鳥周也, 沼倉一幸, 加藤廉平, 胡口智之, 川村貞文, 安達尚宣, 伊藤明宏, 小島祥敬, 小原航, 羽瀨友則, 西山博之, 大山力, 土谷順彦. 局所進行腎細胞癌における再発の術前予測モデルの構築. 第59回日本癌治療学会学術集会; 20211021; Web.

赤井畑秀則, 吉岡駿佑, 夏谷広樹, 桑川知之, 今井仁美, 小名木彰史, 胡口智之, 秦淳也, 馬目雅彦, 小島祥敬. 高齢者へのロボット支援前立腺全摘除術の安全性. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

江本大紀, 藤川愛子, 富永光将, 郡家直敬, 宮崎健, 岡部雄, 松崎洋吏, 松岡弘文, 小島祥敬, 羽賀宣博. ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) において術中体位が横紋筋挫滅に及ぼす影響. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

小名木彰史, 遠藤侑, 松岡優太, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 細井隆之, 小島祥敬. 高齢者に対するロボット支援腎部分切除術の安全性. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

片岡政雄, 夏谷広樹, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 膀胱に対する腹腔鏡手術 膀胱部分切除術. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

片岡政雄, 箱崎佑輔, 夏谷広樹, 桐花悠介, 今井仁美, 松岡香菜子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. cineMRI による骨盤・尿生殖隔膜解析による RARP 術後尿禁制メカニズムの解明. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

亀岡浩, 八木沼恵, 目黒了, 片岡政雄, 小島祥敬. 当科での LSC のテンショニングについて. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

佐藤雄一, 吉岡駿佑, 箱崎佑輔, 桑川知之, 桐花悠介, 小名木彰史, 松岡香菜子, 秦淳也, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 腎盂尿管移行部通過障害に対するロボット支援バイパス腎盂形成術. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

秦淳也, 夏谷広樹, 桐花悠介, 桑川知之, 箱崎佑輔, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 骨盤腔関連指数によるロボット支援前立腺全摘除術後の下部尿路機能の予測. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

赤井畑秀則, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 長谷川暁久, 本田瑠璃子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 千葉茂寿, 小島祥敬. Urothelial barrier dysfunction causes lower urinary tract dysfunction associated with chronic ischemia. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

泉浩二, 島崇, 三田耕司, 加藤佑樹, 神家満学, 田中宣道, 井上省吾, 岡村武彦, 星誠二, 高原志津子, 角野佳史, 溝上敦. 去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドとアピラテロンの有効性に関する多施設共同前向きランダム化比較試験 (ENABLE study for PCa) . 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

片岡政雄, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. 尿道括約筋-尿道支持機構の解剖学的・機能的評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁メカニズムの解明-MRI および尿道内圧測定を用いた検討-. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

胡口智之, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 長谷川暁久, 遠藤侑, 本田瑠璃子, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 腎癌進行過程における ISYNA1 を介した myo-inositol 代謝経路の意義. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

佐藤雄一, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Relationship between the timing of orchiopexy for undescended testes and testicular hardness with Elastasonography. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

竹澤健太郎, 栗林宗平, 岡田紘一, 関井洋輔, 松下慎, 福原慎一郎, 木内寛, 藤田和利, 川村憲彦, 高田晋吾, 中村昇太, 小島祥敬, 野々村祝夫. The Firmicutes/Bacteroidetes ratio of the gut microbiota is associated with prostate enlargement. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

長谷川暁久, 秦淳也, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Morphological change and characteristics of myofibroblast in growth process of benign prostatic hyperplasia. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

秦淳也, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. 前立腺肥大症の重症化に伴う線維化過程における活性化補体経路のシフトチェンジ. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

松岡香菜子, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 遠藤侑, 本田瑠璃子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 村上房夫, 小島祥敬. 慢性的な交感神経緊張状態が誘発する下部尿路障害に対するテアニンの予防効果. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

目黒了, 片岡政雄, 亀岡浩, 小林正人, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の無症候性血栓症の評価と予測因子の検討. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

吉田祐樹, 細井隆之, 小名木彰史, 松岡優太, 小島祥敬. 栄養状態やフレイルの指標であるアルブミンおよび腸腰筋指数がカバジタキセル投与開始の指標として有用. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

赤井畑秀則, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 長谷川暁久, 本田瑠璃子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 千葉茂寿, 小島祥敬. 排尿効率を用いた排尿筋過活動の予測とそのロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁鑑別における有用性. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

今井仁美, 横山純, 櫛田信博, 吉田純也, 小島祥敬. 筋層非浸潤性膀胱癌に対する TURBT と経尿道的膀胱腫瘍一塊切除術 (TURBO) の再発率の比較. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

小名木彰史, 遠藤侑, 吉田祐樹, 松岡優太, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 細井隆之, 小島祥敬. 高齢者に対するロボット支援腎部分切除術の安全性. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

松岡優太, 小名木彰史, 吉田祐樹, 細井隆之, 小島祥敬. 高難度腎腫瘍に対するロボット支援腎部分切除術の有用性. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

赤井畑秀則, 箱崎佑輔, 桐花悠介, 夏谷広樹, 桑川知之, 吉岡駿佑, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香葉子, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 尿路上皮バリア機構障害に起因する下部尿路機能障害発症機序. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

小名木彰史, 片岡政雄, 針金佑樹, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 松岡香葉子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. Postoperative ileus and bowel obstruction due to drainage tube placement after robot-assisted radical prostatectomy. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

片岡政雄, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 八木沼恵, 松岡香葉子, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 小島祥敬. Usefulness of Vesical neck movement measurement by cineMRI in predicting stress urinary incontinence after pelvic organ prolapse repair surgery. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

加山恵美奈, 小川総一郎, 丹治亮, 柳田知彦, 村上房夫, 小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術後の患者満足度向上のための課題. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

胡口智之, 土谷順彦, 羽渕友則, 小原航, 西山博之, 大山力, 伊藤明宏, 荒井陽一, 小島祥敬. 非淡明細胞型腎細胞癌転移症例に対する TKIs の有効性: みちのくデータベース解析. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

胡口智之, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 長谷川暁久, 遠藤侑, 本田瑠璃子, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Atherosclerosis as a predictor of transient aggravation of overactive bladder symptoms after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

小西栄, 畠山慎吾, 胡口智之, 小島崇宏, 川崎芳英, 神鳥周也, 荒井陽一, 伊藤明宏, 小島祥敬, 羽渕友則, 土谷順彦, 小原航, 大山力. 転移性腎細胞癌に対する Cytoreductive nephrectomy の有効性: みちのく mRCC データベース研究. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

蘇武竜太, 沼倉一幸, 内藤整, 川村貞文, 小原航, 荒井陽一, 伊藤明宏, 西山博之, 小島祥敬, 土谷順彦, 大山力, 羽渕友則. 転移性腎癌における VEGFR-TKI 早期中止の予測因子. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

羽賀宣博, 岡部雄, 宮崎健, 小川総一郎, 星誠二, 胡口智之, 小島祥敬. 筋層浸潤性膀胱癌における経尿道的膀胱腫瘍切除術後の血中循環腫瘍細胞の発現からみた術中腫瘍細胞播種の可能性. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

秦淳也, 遠藤侑, 長谷川暁久, 針金佑樹, 眞壁俊太, 本田瑠璃子, 松岡香葉子, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Developmental mechanism of benign prostatic hyperplasia by NLRP3 inflammasome thorough complement pathway. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

針金佑樹, 秦淳也, 八木沼恵, 長谷川暁久, 眞壁俊太, 遠藤侑, 小名木彰文, 松岡香葉子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Predictive factors of long-term deterioration of renal function after robot-assisted partial nephrectomy-Analysis by histopathological findings-. 第109回日本泌尿器

科学会総会; 20211209; 横浜.

星誠二, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. Increase of glucose transporter 4-mediated glucose uptake in the process of acquiring resistance to Enzalutamide in prostate cancer. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

松岡香菜子, 八木沼恵, 眞壁俊太, 針金佑樹, 遠藤侑, 本田瑠璃子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 村上房夫, 小島祥敬. Overactive bladder and benign prostatic enlargement affect the lack of vesical adaptation response to diuresis in elderly men with lower urinary tract symptoms. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

武藤弓奈, 沼倉一幸, 土谷順彦, 大山力, 小原航, 小島祥敬, 西山博之, 伊藤明宏, 荒井陽一, 羽瀨友則. 転移性腎細胞癌における一次治療 VEGFR-TKI としてのアキシチニブの有効性の検討. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211209; 横浜.

〔シンポジウム〕

赤井畑秀則. 高齢者のロボット支援前立腺全摘除術—手術の安全性と術後の QOL に着目した高齢者への適応について—. 第34回日本老年泌尿器科学会; 20210514; Web.

赤井畑秀則, 針金佑樹, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 八木沼恵, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小川総一郎, 小島祥敬. ガイドラインに基づく二分脊椎患児の排尿管理. 第49回日本小児神経外科学会; 20210605; 福島.

小島祥敬, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小川総一郎. ロボット支援前立腺全摘除術—癌制御と機能温存の両立に向けた術式の工夫—. 第46回日本外科系連合学会学術集会; 20210618; Web.

胡口智之, 長谷川暁久, 眞壁俊太, 小名木彰史, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 小児泌尿器科疾患の基礎研究〜集えリサーチマインドを持った若手医師たちよ!〜医師としてのキャリアにおける研究の意義: 尿道下裂の研究から得たもの. 第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210703; Web.

松岡香菜子, 赤井畑秀則, 桐花悠介, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 小名木彰史, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬. 男性利尿適応性障害に対する診療の最適化. 第86回日本泌尿器科学会東部総会; 20210903; Web.

佐藤雄一, 長谷川暁久, 眞壁俊太, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 小児の尿失禁治療を網羅する; 内科的管理から外科的療法まで 後部尿道弁に対する尿道内視鏡手術. 第28回日本排尿機能学会; 20210910; Web/松本.

片岡政雄, 桐花悠介, 今井仁美, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小島祥敬. 骨盤内構造の温存・再建・補強による尿禁制温存を考慮した RARP. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

松岡香菜子, 佐藤雄一, 箱崎佑輔, 桐花悠介, 今井仁美, 胡口智之, 秦淳也, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 先天性副腎リポイド過形成症に対する腹腔鏡の意義. 第35回日本泌尿器内視鏡学会総会; 20211111-13; 横浜/Web.

胡口智之, 箱崎佑輔, 桐花悠介, 夏谷広樹, 糸川知之, 吉岡駿佑, 小名木彰史, 松岡香菜子, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 遺伝子レベルからみた尿道下裂との関係. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

秦淳也, 桐花悠介, 糸川知之, 夏谷広樹, 箱崎佑輔, 吉岡駿佑, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. $\alpha 1$ 受容体サブタイプによる前立腺肥大症の個別化診断. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207; 横浜.

小川総一郎, 眞壁俊太, 長谷川暁久, 小名木彰史, 今井仁美, 松岡香菜子, 星誠二, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 片岡政雄, 小島祥敬. 再建と補強に着目した術後尿禁制保持のための工夫. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

片岡政雄. 膀胱腔瘻の保存的治療. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

小島祥敬, 長谷川暁久, 眞壁俊太, 今井仁美, 小名木彰史, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 赤井畑秀則, 小川総一郎, 片岡政雄. DSD の遺伝子解析アプローチの歴史と今後. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

〔特別講演〕

小島祥敬, 佐藤雄一, 小川総一郎, 羽賀宣博. スペシャルレクチャー4「The 腎盂形成」小児泌尿器科における腹腔鏡下手術とロボット支援手術—現状と未来展望—. 第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会; 20210201; Web.

小島祥敬. 過活動膀胱の病態と治療. 岐阜泌尿器科医会第79回例会; 20210307; 岐阜.

小島祥敬. 男性と女性の排尿障害. 田村医師会学術講演会; 20210608; 田村.

小島祥敬. 前立腺肥大症の発症原因と薬物療法. 第114回千葉泌尿器科集談会・第66回千葉県泌尿器科医会学術集会; 20210619; 千葉.

小島祥敬. 下部尿路機能障害の病態と治療. Desmopressin Expert Web-Seminar; 20210715; Web.

小島祥敬. 蓄尿障害—夜間頻尿から術後尿失禁まで—. 第589回岩手泌尿器科懇話会; 20210917; 盛岡.

〔招待講演〕

Kojima Yoshiyuki, Hata Junya, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Ogawa Soichiro, Kataoka Masao. Urinary incontinence following robot-assisted radical prostatectomy: intraoperative techniques to improve surgical

outcome. 37th KOREA-JAPAN Urological Congress; 20211030; Yonago.

小島祥敬. 停留精巣の発症原因を考えるー放射性物質が関与するという”科学的根拠（エビデンス）”はあるのか？ー. 環境省主催 令和2年度放射線の健康影響に関する情報発信の実施業務; 20210123; 郡山.

小島祥敬. 泌尿器科の救急疾患とその対処法について. 星総合病院ステップアップセミナー; 20210329; 郡山.

八木沼恵. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 星総合病院ステップアップセミナー; 20210329; 郡山.

佐藤雄一. 腎盂尿管移行部通過障害に対する腹腔鏡下・ロボット支援腎盂形成術. 第32回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

小島祥敬. ロボット支援前立腺全摘除術ー術後失禁の予測因子と術式の工夫ー. 第25回奈良県医師会泌尿器科部会 Current Topics In Urology 研究会; 20210528; Web.

小島祥敬. 過活動膀胱の病態と治療. 第5回山形前立腺癌研究会特別企画 泌尿器疾患医療連携セミナー; 20210617; 山形.

小島祥敬. 泌尿器科救急疾患とその対処法. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20210707; 福島.

眞壁俊太. 福島県立医科大学泌尿器科学講座医局紹介. 大原総合病院泌尿器科勉強会; 20210707; 福島.

赤井畑秀則. 下部尿路機能障害. 第31回東北ストーマリハビリテーション講習会; 20210921-1120; Web.

小島祥敬. 必見！腎がんの基礎知識講座. 第82回うつくしま泌尿器科研究会; 20210930; 福島.

本田瑠璃子. 仕事も家庭もしなやかに強く. 第82回うつくしま泌尿器科研究会; 20210930; 福島.

松岡香菜子. 専攻医どう選ぶ？卒後23か月悩んだ私の選び方. 第82回うつくしま泌尿器科研究会; 20210930; 福島.

小島祥敬. 停留精巣の発症原因を考えるー放射性物質が関与するという”科学的根拠（エビデンス）”はあるのか？ 福島災害医療セミナー2021 オンラインコース 2; 20211002; Web.

片岡政雄. 前立腺全摘除術における基本手技の再考ー頸部離断と神経温存ー. 第6回ロボット支援手術ビデオ講習会; 20211004; Web.

小島祥敬. 尿道カテーテル挿入のいろは. 南相馬市立総合病院看護師・研修医向け勉強会; 20211005; 南相馬.

小島祥敬. 夜間頻尿の病態と治療. 二本松薬剤師会秋の特別講演会; 20211019; Web.

小島祥敬. 蓄尿障害ー夜間頻尿から術後尿失禁までー. 第18回滋賀排尿障害研究会; 20211021; Web.

小川総一郎. 環境省の取り組みについて. 福島第一原子力発電所事故後の健康影響についての勉強会; 20211102;

南相馬.

小島祥敬. 停留精巣の発症原因を考えるー放射性物質が関与するという“科学的根拠（エビデンス）”はあるのか？ 福島第一原子力発電所事故後の健康影響についての勉強会; 20211102; 南相馬.

星誠二. エンザルタミド耐性前立腺癌でのグルコシルコイト受容体により制御されるグルコーストランスポーター4の亢進. Prostate Cancer UPDATE in Fukushima; 20211104; Web.

柳田知彦. mHSPC に対する新規ホルモン剤早期導入の意義について考える. Prostate Cancer UPDATE in Fukushima; 20211104; Web.

胡口智之. 腎癌の新規治療標的としての ISYNA1 発現によるミオイノシトール代謝制御. 腎細胞癌 WEB 講演会ー東北から最新の腎細胞癌治療を考えるー; 20211117; Web.

小島祥敬. 小児泌尿器科領域におけるロボット支援手術ー腎盂形成術ー. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211120; 東京.

秦淳也. 第 14 回ヤングリサーチグラント受賞者記念講演 CRSPR/Cas システムによる補体 B 因子ノックアウトラットを用いた前立腺肥大症の免疫学的増殖機構の解明. 第 109 回日本泌尿器科学会総会; 20211208; 横浜.

小島祥敬. どうして、自分が？高齢化社会の問題 排尿トラブル. 医療機器重点分野等開発促進事業 次世代の医療機器開発に向けたセミナー; 20211214; 郡山.

〔その他〕

Ogawa Soichiro. How do you treat this patient? Differences in approaches? AUA/JUA International Affiliate Society Meeting 2021; 20210912; Web.

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会. 一杉会に学会医療賞 復興への取り組み評価. 福島民報; 20210425; 3.

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会. 震災時の透析医療尽力 日本泌尿器科学会賞に. 福島民友; 20210426; 4.

秦淳也. 腹腔鏡下腎摘除術ー技術認定医取得までの過程で学んだことー. 令和時代の腎細胞癌治療を考える会 in 南東北; 20210619; Web.

小島祥敬. 中高年男性は要注意！前立腺がんー検診の大切さと最新の治療方法ー. 福島県医師会シリーズ 83 (テレビ放映) ; 20211010.

小川総一郎. 何が真実！？ 科学情報とエビデンス. ラジエーションカレッジ; 20211012; 福島.

小川総一郎. 「情報読み解く力が大事」環境省、福島医大でセミナー. 福島民友; 20211014; 10.

耳鼻咽喉科学講座

論文

〔原 著〕

Murono S, Kakinouchi K, Imaizumi M, Nomoto M, Suzuki M. Decannulation after cricotracheostomy: a comparison of partial cricoid cartilage resection with conventional tracheostomy. *Acta Oto-Laryngologica*. 202104; 141(4):403-407.

Suzuki M, Nakaegawa Y, Kawase T, Ikeda M, Murono S. The role of frozen section biopsy for submandibular gland tumors. *Acta Oto-Laryngologica*. 202108; 141(8):808-811.

Murono S, Komori T, Endo K, Kondo S, Wakisaka N, Yoshizaki T. Intra-arterial chemotherapy targeting metastatic cervical lymph nodes in head and neck cancer. *Acta Oto-Laryngologica*. 202112; 141(12):1063-1069.

Kakinouchi K, Yoshie S, Tsuji S, Murono S, Hazama A. Dysfunction of Cl⁻ channels promotes epithelial to mesenchymal transition in oral squamous cell carcinoma via activation of Wnt/ β -catenin signaling pathway. *Biochemical and Biophysical Research Communications*. 202105; 555: 95-101.

Imaizumi M, Nakamura R, Nakaegawa Y, Dirja B-T, Tada Y, Tani A, Sugino T, Tabata Y, Omori K. Regenerative potential of basic fibroblast growth factor contained in biodegradable gelatin hydrogel microspheres applied following vocal fold injury : Early effect on tissue repair in a rabbit model. *Brazilian Journal of Otorhinolaryngology*. 202105-06; 87(3):274-282.

Shiga K, Nibu K, Fujimoto Y, Asakage T, Homma A, Mitani H, Ogawa T, Okami K, Murono S, Hirano S, Ueda T, Hanai N, Tsukahara K, Ota I, Yoshimoto S, Shinozaki T, Iwae S, Katagiri K, Saito D, Kiyota N, Tahara M, Takahashi F, Hayashi R. Sites of invasion of cancer of the external auditory canal predicting oncologic outcomes. *Head & Neck*. 202110; 43(10):3097-3105.

Shiga K, Nibu K, Fujimoto Y, Asakage T, Homma A, Mitani H, Ogawa T, Okami K, Murono S, Hirano S, Ueda T, Hanai N, Tsukahara K, Ota I, Yoshimoto S, Shinozaki T, Iwae S, Katagiri K, Saito D, Kiyota N, Tahara M, Takahashi F, Hayashi R. Multi-institutional survey of squamous cell carcinoma of the external auditory canal in Japan. *Laryngoscope*. 202103; 131(3):E870-E874.

Ito T, Furukawa T, Ohshima S, Takahashi K, Takata Y, Furukawa M, Hiraumi H, Yamauchi D, Yuasa Y, Goto S, Sasaki A, Koizumi K, Otsuki K, Imaizumi M. Multicenter study of congenital middle ear anomalies. Report on 246 ears. *Laryngoscope*. 202107; 131(7):E2323-E2328.

Sekino H, Ishii S, Sato H, Nomoto M, Kawana S, Suenaga H, Kurooiwa D, Ito H. Three cases of organized hematoma of the maxillary sinus in patients who underwent preoperative arterial embolization. *Radiology*

Case Reports. 202110; 16(12):3945-3949.

室野重之, 佐藤廣仁, 尾股千里, 野本美香. 福島市におけるスギ花粉飛散予測モデルの構築. 耳鼻咽喉科臨床. 202101; 114(1):27-33.

菊地大介, 今泉光雅, 大槻好史, 室野重之. 残存聴力活用型人工内耳の選択における遺伝子検査の有用性. 耳鼻咽喉科臨床. 202106; 114(6):415-419.

松塚崇, 小林徹郎, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 長谷川泰久, 室野重之. 唾液腺腫瘍の VTIQ 所見による良悪性鑑別の可能性. 頭頸部癌. 202104; 47(1):30-34.

松塚崇, 鈴木政博, 垣野内景, 室野重之. 梨状陥凹瘻 2 例の超音波所見. 頭頸部外科. 202102; 30(3):379-384.

〔総説等〕

Harabuchi Y, Kishibe K, Tateyama K, Morita Y, Yoshida N, Okada M, Kunimoto Y, Watanabe T, Inagaki A, Yoshida T, Imaizumi M, Nakamura T, Matsunobu T, Kobayashi S, Iino Y, Murakami S, Takahashi H, Tono T. Clinical characteristics, the diagnostic criteria and management recommendation of otitis media with antineutrophil cytoplasmic antibody (ANCA)-associated vasculitis (OMAAV) proposed by Japan Otological Society. Auris Nasus Larynx. 202102; 48(1):2-14.

Murono S. Virus-associated biomarkers in oropharyngeal and nasopharyngeal cancers and recurrent respiratory papillomatosis. Microorganisms. 202105; 9(6):1150.

鹿野真人. 【“口腔咽頭・頸部” 私の day & short stay surgery—コツと経験—】輪状軟骨切開（開窓）術. ENTONI. 202106; 259:57-67.

今泉光雅. 【耳鼻咽喉科外来処置での局所麻酔】局所麻酔で行う喉頭・下咽頭処置と外来手術—麻酔のポイントと手技—. ENTONI. 202111; 264:53-58.

鹿野真人, 長谷川博, 野本幸男, 鈴木亮, 高取隆, 國井美羽, 桑畑直史, 佐藤廣仁, 小針健大. リスク回避を目的とした新たな気管切開術—輪状軟骨切開術の開発—. 大原記念財団年報. 202108; 57:25-30.

今泉光雅. 【人工聴覚器手術の Tips & New developments】聴神経腫瘍に対する人工聴覚器手術の適応及び術後経過について：聴性脳幹インプラント手術および人工内耳埋め込み術. Otology Japan. 202102; 31(1):7-13.

室野重之. 喉頭気管乳頭腫の疫学. 喉頭. 202112; 33(2):86-88.

鈴木聡明. 【小児中耳炎を究める】急性中耳炎 急性中耳炎の難治化の要因を探る. JOHNS. 202103; 37(3):250-252.

今泉光雅. カラー図説 難治性の特発性髄液耳漏に対する硬膜内操作を伴う inlay 法を中心とする多層再建. 耳鼻咽喉科臨床. 202105; 114(5):334-335.

過年業績

室野重之. 【耳鼻咽喉科医が知っておくべきワクチン医療】各種ワクチンの最新動向 ヒト乳頭腫ウイルスワクチン. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202004; 92(4):330-335.

室野重之. 【今さら聞けない自己免疫疾患の基礎知識】サルコイドーシス. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 202009; 92(10):831-836.

〔症例報告〕

Kikuchi D, Ikeda M, Murono S. Endoscopic removal of a fish bone foreign body in the hypopharynx with the modified Killian's method. Auris Nasus Larynx. 202110; 48(5):1035-1037.

Nakamura H, Tada Y, Ogawa T, Nakaegawa Y, Murono S, Fujimoto Y. Rare case of angiomylipoma of the larynx. Clinical Case Reports Journal. 202112; 9(12):e05244.

Ikeda M, Fujii S, Morishita Y, Hayashi R. Value of intraoperative pathological diagnosis in decision-making regarding resection of well-differentiated retropharyngeal liposarcoma: A case report. International Journal of Surgery Case Reports. 202111; 88:106466.

三ッ井瑞季, 松見文晶, 室野重之. 篩骨洞放線菌症の1例. 頭頸部外科. 202110; 31(2):203-207.

過年業績

Imaizumi M, Tada Y, Tani A, Ikeda M, Nakaegawa Y, Omori K. Two cases of laryngeal myxoma misdiagnosed as a vocal fold polyp. Journal of Otology & Rhinology. 201801; 7:1.

室野重之. 咽頭が主の節外性NK/T細胞リンパ腫, 鼻型の1例. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌. 202004; 8(2):161-164.

室野重之. 臨床ノート 皮膚筋炎において嚥下障害に関連する自己抗体. 耳鼻咽喉科免疫アレルギー. 202003; 38(1):25-27.

〔その他〕

室野重之. 【鼻がムズムズ、鼻水タラタラ花粉症を何とかして】花粉症の対策を一緒に考えよう. いごころ. Vol.21: 20210226.

馬場陽子. 【生き生き！ライフ】加齢性難聴. 福島民友（新聞）. 20210906.

室野重之. 【耳の日】耳を大切に. 福島民報（新聞）. 20210303.

室野重之. 【耳の日】耳を大切に. 福島民友（新聞）. 20210303.

著 書・訳 書

過年業績

室野重之. 上咽頭癌. In: 香取幸夫 監修. 今日の疾患辞典 デジタル版 (Current Decision Support) . 東京: プレシジョン; 201908.

室野重之. II 疾患編 19. 耳鼻咽喉疾患 上咽頭癌. In: 永井良三 総編集. 今日の診断指針 第8版. 東京: 医学書院; 202003. p.1691-1693.

多田靖宏. 【喉頭総論】喉頭の症候. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.284-285.

多田靖宏. 【喉頭総論】喉頭の診察・検査. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.286-291.

多田靖宏. 【喉頭総論】喉頭の治療. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.292-293.

多田靖宏. 【喉頭疾患】喉頭疾患総論. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.294-295.

多田靖宏. 【喉頭疾患】クループ症候群. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.296.

多田靖宏. 【喉頭疾患】急性喉頭蓋炎. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.297-298.

多田靖宏. 【喉頭疾患】声帯ポリープ. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.299.

多田靖宏. 【喉頭疾患】声帯結節. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.300-301.

多田靖宏. 【喉頭疾患】ポリープ様声帯. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.302.

多田靖宏. 【喉頭疾患】喉頭乳頭腫. In: 松村譲児, 他 監修. 病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科. 東京: メディックメディア; 202012. p.303.

研究発表等

〔研究発表〕

Imaizumi M, Suyama K, Hosoya M, Muro S. A flowchart for selecting a surgical airway in pediatric intubated patients in intensive care unit. 101th Annual Meeting of the American Broncho-Esophagological Association-COSM(Combined Otolaryngology Spring Meetings) 2021 Virtual; 20210407-08; Web.

Hashimoto H, Matsuzuka T, Muro S. Effectiveness of traditional Chinese medicine Shin'iseihaito (Magnolia Flower, Lung-Cleaning Decoction) on postnasal drip. 28th European Rhinologic Society 2021; 20210926-30; Web.

三ッ井瑞季, 池田雅一, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 中村宏舞, 鈴木政博, 室野重之. 腫瘍内出血を来した耳下腺基底細胞腺癌の1例. 第137回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20210328; 福島. 抄録1.

鈴木康士, 大谷巖. 打撲による内耳振盪症が疑われた心因性難聴の一例. 第137回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20210328; 福島. 抄録2.

尾股千里, 佐藤廣仁, 鈴木俊彦, 野本美香, 室野重之. 急性副鼻腔炎から眼窩骨膜下腫瘍を来した一例. 第4回福島県こどもの感染症研究会; 20210424; Web.

松見文晶, 三ッ井瑞季, 斎藤友紀子, 室野重之. 涙道外・経内眼角ライトガイド下に行う涙道ステントを留置しない涙嚢鼻腔吻合術鼻内法の治療成績. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210512-15; 京都/Web. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4):596.

垣野内景, 今泉光雅, 野本美香, 鈴木政博, 室野重之. 気管切開孔の閉鎖: 通常法と輪状軟骨鉗除法の比較. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210512-15. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4):616.

橋本英樹, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 気管環状切除・一期的端々吻合にて寛解を得た気管原発腺様嚢胞癌の1例. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210512-15; 京都/Web. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4):617.

佐藤廣仁, 野本美香, 尾股千里, 川瀬友貴, 仲江川雄太, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 他臓器癌が鼻副鼻腔に転移した3症例. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210515; 京都/Web. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4):677.

川瀬友貴, 仲江川雄太, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 当科で経験した頭頸部 myxofibrosarcoma の3例. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18; 浦安/Web. 頭頸部癌.47(2):191.

鈴木政博, 池田雅一, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 室野重之. 頭頸部皮膚原発の悪性病変から耳下腺転移を来した症例の検討. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210707-31; 浦安/Web. 頭頸部癌.47(2):242.

仲江川雄太, 川瀬友貴, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 当科における Pembrolizumab の使用状況と著効した1例について. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210707-31; 浦安/Web. 頭頸部癌.47(2):251.

尾股千里, 佐藤廣仁, 野本美香, 室野重之. Endoscopic modified medial maxillectomy を施行した上顎洞含歯

性嚢胞の1例. 第83回耳鼻咽喉科臨床学会; 20210626-0731; 札幌/Web. 耳鼻咽喉科臨床. 補冊 157:79.

三ッ井瑞季, 池田雅一, 鈴木政博, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 中村宏舞, 室野重之. 腫瘍内出血を来した耳下腺基底細胞腺癌の1例. 第83回耳鼻咽喉科臨床学会; 20210626-0731; 札幌/Web. 耳鼻咽喉科臨床. 補冊 157:97.

佐藤廣仁, 野本美香, 三ッ井瑞季, 池田雅一, 今泉光雅, 室野重之. 界面活性剤誤飲による腐食性咽頭喉頭食道粘膜炎の1症例. 第83回耳鼻咽喉科臨床学会; 20210626-0731; 札幌/Web. 耳鼻咽喉科臨床. 補冊 157:105.

平岡美菜, 松見文晶, 橋本千織, 鶴岡美果. 中咽頭まで進展した Chondro-osseous respiratory epithelial adenomatoid hamartoma(COREAH)の1例. 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210717-18; 福島/Web. 抄録集.21.

尾股千里, 野本美香, 垣野内景, 佐藤廣仁, 室野重之. Endoscopic modified medial maxillectomy を施行した上顎洞含菌性嚢胞の一例. 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210717-18; 福島/Web. 抄録集.22.

佐久間琴子, 仲江川雄太, 川瀬友貴, 池田雅一, 鈴木政博, 室野重之. 肺転移を有する中咽頭癌に対し Pembrolizumab が著効した一例. 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210717-18; 福島/Web. 抄録集.30.

菊地大介. 当科における小児機能性難聴の検討. 第28回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20210904; 郡山/Web.

鈴木雪恵. 福島県総合療育センターにおいて NHS パス後、両側難聴と診断された42例の検討. 第28回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20210904; 郡山/Web.

室野重之. 福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み. 福島医学会第491回学術研究集会; 20211028; 福島.

三ッ井瑞季. 後鼻漏に対する辛夷清肺湯の効果. 第12回福島県立医大東洋医学研究会; 20211028; 福島/Web.

仲江川雄太. 頭頸部癌標準治療である化学放射線同時併用療法による口腔粘膜炎に対する半夏瀉心湯の有効性について. 第12回福島県立医大東洋医学研究会; 20211028; 福島/Web.

松崎健太, 垣野内景, 久保田叡, 佐久間琴子, 橋本穂奈美, 三ッ井瑞季, 尾股千里, 鈴木政博, 室野重之. 頸部化膿性脊椎炎から波及した咽後膿瘍の1例. 第139回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20211107; 福島. 抄録.1.

鈴木聡崇, 佐藤和則, 國井美羽, 佐藤聡, 斎藤友紀子. 当院における茎突舌骨筋化骨化を認めた症例とその治療経過. 第139回日本耳鼻咽喉科学会福島県地方部会学術講演会; 20211107; 福島. 抄録.2.

今泉光雅, 室野重之, 大森孝一. 高齢者施設入居者に対する嚥下スクリーニングの必要性ー福島で実施された誤嚥検診で得られた結果よりー. 第72回日本気管食道科学会; 20211111-1201; Web. 予稿集.133.

過年業績

Ikeda M, Imaizumi M, Yoshie S, Otsuki K, Omori K. Differentiation of mouse induced pluripotent stem cell into tracheal epithelial cells. 13th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery; 20151203-04; Tokyo. Abstracts.192.

橋本千織. 16年前の卵巣癌の再発が疑われた頸部腫瘍の一例. 第82回腫瘍カンファレンス; 20200625; 郡山.

〔シンポジウム〕

野本美香. シンポジウム8 働き方改革と男女共同参画—自身の経験と当大学のとりくみ—. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210512-15; 京都/Web. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4):405.

室野重之, 川瀬友貴, 仲江川雄太. 学会臨床研究発表会 2019年度: 喉頭乳頭腫に関する全国疫学調査. 第72回日本気管食道科学会; 20211111-12; Web. 予稿集.66.

〔招待講演〕

室野重之. 指定講演 自主モデルによるスギ花粉飛散予測の試み 2021. 福島県耳鼻咽喉科オンライン学術講演会; 20210204; Web.

佐藤廣仁. 講演1 鼻アレルギー診療ガイドライン 2020年版における改定点および当科で行っている重症アレルギー性鼻炎に対する手術加療について. 福島 IgE ミーティング; 20210316; Web.

今泉光雅. 手術手技セミナー3 嚥下障害に対する手術 小児に対する気道・嚥下手術. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210512-15; 京都/Web. 日本耳鼻咽喉科学会会報.124(4): 483.

今泉光雅. 講演 嚥下障害、誤嚥性肺炎、嚥下リハビリテーション. 双葉町社会福祉協議会主催南相馬ひだまりサロン; 20210616; 南相馬.

今泉光雅. 講演 高度難聴になってもあきらめない最新難聴克服法. きこえの公開講座; 20210619; 福島.

垣野内景, 吉江進, 挟間章博, 室野重之. Research Forum III 舌癌由来細胞の上皮間葉移行における Cl-チャネルの役割. 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210717-18; 福島/Web. 抄録集.17.

池田雅一. 症例発表・discussion 急性期患者の栄養療法. On-line Discussion; 20210823; Web.

室野重之. 指定講演 福島市におけるスギ花粉飛散予測の試み 2021. 第28回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20210904; 郡山/Web.

〔その他〕

垣野内景. 市民公開講座 話す・聞くの科学～はじめての耳鼻咽喉科～. 第122回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会; 20210515; 京都/Web.

垣野内景. サマーポスターセッション Cl-チャネル阻害は口腔扁平上皮癌における上皮間葉移行を促進する. 福

島県立医科大学大学院医学研究科大学院研究発表会・サマーポスターセッション; 20210719-27; 福島.

今泉光雅. 研究概要発表. FMU 成果報告会; 20210312; 福島.

鈴木聡明. インストラクター 側頭骨組織病理供覧ならびにインタラクティブ・レクチャー. 第31回日本耳科学会; 20211014; 東京.

神経精神医学講座

論文

〔原著〕

Kishi T, Sakuma K, Okuya M, Matsuda Y, Esumi S, Hashimoto Y, Hatano M, Miyake N, Miura I, Mishima K, Iwata N. Effects of a conventional mood stabilizer alone or in combination with second-generation antipsychotics on recurrence rate and discontinuation rate in bipolar I disorder in the maintenance phase: A systematic review and meta-analysis of randomized, placebo-controlled trials. *Bipolar Disorders*. 202112; 23(8):789-800.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Yoshihara S, Jiang X, Morikawa M, Ogawa T, Ichinose S, Yabe H, Kakita A, Toyoshima M, Kunii Y, Yoshikawa T, Tanaka Y, Hirokawa N. Betaine ameliorates schizophrenic traits by functionally compensating for KIF3-based CRMP2 transport. *Cell Reports*. 202104; 35(2):108971.

Mori Y, Hoshino H, Osakabe Y, Wada T, Kanno K, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Omission mismatch negativity of speech sounds reveals a functionally impaired temporal window of integration in schizophrenia. *Clinical Neurophysiology*. 202105; 132(5):1144-1150.

Mori Y, Miura I, Nozaki M, Osakabe Y, Izumi R, Akama T, Kimura S, Yabe H. Electroconvulsive Therapy for

Parkinson's Disease with Depression and Neuroleptic Malignant Syndrome: A Case Report. *Clinical Psychopharmacology and Neuroscience*. 202108; 19(3):572-575.

Izumi R, Hino M, Wada A, Nagaoka A, Kawamura T, Mori T, Sainouchi M, Kakita A, Kasai K, Kunii Y, Yabe H. Detailed Postmortem Profiling of Inflammatory Mediators Expression Revealed Post-inflammatory Alternation in the Superior Temporal Gyrus of Schizophrenia. *Frontiers in Psychiatry*. 202103; 12:653821.

Tokunaga A, Yoshida K, Orita M, Urata H, Itagaki S, Mashiko H, Yabe H, Maeda M, Oishi K, Inokuchi S, Iwanaga R, Tanaka G, Nakane H, Takamura N. The mental health status of children who have been evacuated or migrated from rural areas in Fukushima prefecture after the Fukushima daiichi nuclear power station accident: results from the Fukushima health management survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):8-16.

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Ito M, Itagaki S, Matsumoto T, Kumakura T, Yabe H. Differential diagnosis of memory impairment in areas affected by a natural disaster: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):38-44.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions, and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(2):71-82.

Takeuchi H, Takekita Y, Hori H, Oya K, Miura I, Hashimoto N, Yasui-Furukori N. Pharmacological treatment algorithms for the acute phase, agitation, and maintenance phase of first-episode schizophrenia: Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology treatment algorithms. *Human Psychopharmacology*. 202111; 36(6):e2804.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Determinants of the evacuation destination for psychiatric hospital inpatients following the Fukushima nuclear disaster. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202112; 66:102600.

Harigane M, Imuta H, Yasumura S, Hayashi F, Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K. Factors Hindering Social Participation among Older Residents from Evacuation Zones after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202104; 18(9):4426.

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S, Ohira T; Mental Health Group of The Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan

Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202106; 18(11):6054.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10283.

Eguchi E, Ohira T, Nakano H, Hayashi F, Okazaki K, Harigane M, Funakubo N, Takahashi A, Takase K, Maeda M, Yasumura S, Yabe H, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Association between Laughter and Lifestyle Diseases after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12699.

Kunii Y, Matsumoto J, Izumi R, Nagaoka A, Hino M, Shishido R, Sainouchi M, Akatsu H, Hashizume Y, Kakita A, Yabe H. Evidence for Altered Phosphoinositide Signaling-Associated Molecules in the Postmortem Prefrontal Cortex of Patients with Schizophrenia. *International Journal of Molecular Sciences*. 202107; 22(15):8280.

Miura I, Nosaka T, Yabe H, Hagi K. Antidepressive Effect of Antipsychotics in the Treatment of Schizophrenia: Meta-Regression Analysis of Randomized Placebo-Controlled Trials. *International Journal of Neuropsychopharmacology*. 202103; 24(3):200-215.

Ichinose M, Miura I, Horikoshi S, Matsumoto J, Osakabe Y, Yabe H. Memantine for Behavioral Symptoms of Hepatic Encephalopathy Associated with Alcoholic Cirrhosis: A Case Report. *Journal of Clinical Psychopharmacology*. 202101; 41(1):85-86.

Shiga T, Hoshino H, Ochiai H, Osakabe Y, Kanno K, Horikoshi S, Miura I, Yabe H. Effects of benzodiazepine and orexin receptor antagonist on cognitive function revealed by auditory event-related potentials. *Journal of Psychopharmacology*. 202112; 35(12):1488-1495.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Ichinose M, Miura I, Horikoshi S, Yamamoto S, Kanno-Nozaki K, Watanabe K, Yabe H. Effect of Switching to Brexpiprazole on Plasma Homovanillic Acid Levels and Antipsychotic-Related Side Effects in Patients with

Schizophrenia or Schizoaffective Disorder. *Neuropsychiatric Disease and Treatment*. 202104; 17:1047-1053.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Gotoh D, Kunii Y, Terui T, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Yabe H. Markedly higher mortality among psychiatric inpatients mandatorily evacuated after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 202101; 75(1):29-30.

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Kumakura T, Fukushima T, Yabe H, Kawakatsu S. Effects of the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on behavioural and psychological symptoms of dementia among patients. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):709-715.

Mori Y, Kittaka H, Yabe H. Anorexia nervosa related to type 2 diabetes mellitus in an elderly woman: a case report. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):839-840.

Ochiai H, Shiga T, Hoshino H, Horikoshi S, Kanno K, Wada T, Osakabe Y, Miura I, Yabe H. Effect of oxytocin nasal spray on auditory automatic discrimination measured by mismatch negativity. *Psychopharmacology*. 202107; 238(7):1781-1789.

Hirai S, Miwa H, Tanaka T, Toriumi K, Kunii Y, Shimbo H, Sakamoto T, Hino M, Izumi R, Nagaoka A, Yabe H, Nakamachi T, Shioda S, Dan T, Miyata T, Nishito Y, Suzuki K, Miyashita M, Tomoda T, Hikida T, Horiuchi J, Itokawa M, Arai M, Okado H. High-sucrose diets contribute to brain angiopathy with impaired glucose uptake and psychosis-related higher brain dysfunctions in mice. *Science Advances*. 202111; 7(46):eabl6077.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5330.

Terui T, Kunii Y, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Fukushima T, Anzai N, Gotoh D, Miura I, Yabe H. Long-term observation of mortality among inpatients evacuated from psychiatric hospitals in Fukushima prefecture following the Fukushima nuclear disaster. *Scientific Reports*. 202107; 11(1):14651.

長岡敦子, 國井泰人, 日野瑞城, 泉竜太, 穴戸理紗, 齊ノ内信, 柿田明美, 矢部博興. 【ブレインバンク／死

後脳研究】統合失調症死後脳におけるタンパク定量解析—ALDH4A1 とその発現に影響する遺伝子多型. 日本生物学的精神医学会誌. 202112; 32(4):186-190.

國井泰人, 長岡敦子, 日野瑞城, 泉竜太, 宍戸理紗, 矢部博興. 【ブレインバンク/死後脳研究】精神疾患ブレインバンクと死後脳研究の現在. 日本生物学的精神医学会誌. 202112; 32(4):179-185.

刑部有祐, 和田知紘, 松本貴智, 三浦至, 矢部博興. 【臨床脳波の現状と未来: clinical tool か research topic か?】精神科領域における clinical tool および research topic としての脳波. 臨床神経生理学. 202106; 49(3):158-161.

矢部博興. 島菌賞受賞: 支えてくださった皆様に感謝を込めて. 臨床神経生理学. 202104; 49(2):93-97.

三浦至. 【新規抗精神病薬 lurasidone】統合失調症治療における lurasidone のエビデンスと海外ガイドラインでの位置づけ. 臨床精神薬理. 202104; 24(4):337-346.

〔その他〕

照井稔宏, 國井泰人, 星野大, 各務竹康, 日高友郎, 福島哲仁, 安西信雄, 後藤大介, 三浦至, 矢部博興. 福島第一原子力発電所事故による精神科避難病院患者の転院後死亡に関する検討. Journal of Epidemiology. 202101; 31(Suppl.1):122.

宍戸理紗, 國井泰人, 泉竜太, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 血中カフェイン高濃度下における向精神薬の使用についての一考察—カフェイン過量服薬で透析治療を要した統合失調症例を通して. 精神神経学雑誌. 202106; 123(6):372.

矢部博興, 樋口悠子, 刑部有祐, 志賀哲也, 住吉太幹. 統合失調症バイオマーカーとしての MMN: 早期発見と保険収載—統合失調症発症前状態と MMN. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):329.

志賀哲也, 平山緑香, 羽金裕也, 森湧平, 戸田亘, 落合晴香, 堀越翔, 星野大, 菅野和子, 三浦至, 矢部博興. 統合失調症バイオマーカーとしての MMN: 早期発見と保険収載—統合失調症治療と MMN. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):330.

森湧平, 星野大, 刑部有祐, 和田知紘, 菅野和子, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 統合失調症バイオマーカーとしての MMN: 早期発見と保険収載—統合失調症における MMN 異常をもたらす TWI の機能的障害. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):330.

星野大, 荒川英香, 刑部有祐, 志賀哲也, 板垣俊太郎, 三浦至, 矢部博興. 第5回 MMN 研究会—時間統合窓の後半で起こる周波数変化はミスマッチ陰性電位の発生が減衰する. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):373.

星野大, 荒川英香, 錫谷研, 刑部有祐, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 疋田雅之, 松本貴智, 上田由桂, 和田知紘, 森湧平, 高橋雄一, 佐藤彩, 河本竜太, 板垣俊太郎, 松岡貴志, 三浦至, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位は時間統合窓の後半で起こる周波数変化に対して減弱する. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):383.

錫谷研, 星野大, 河本竜太, 刑部有祐, 志賀哲也, 菅野和子, 野崎途也, 疋田雅之, 松本貴智, 上田由桂,

高橋雄一, 大西真央, 和田知紘, 森湧平, 佐藤彩, 荒川英香, 板垣俊太郎, 三浦至, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位を用いた標準音の違いによる音脈分凝発生の差異の検討. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):383.

平山緑香, 志賀哲也, 星野大, 落合晴香, 堀越翔, 戸田亘, 森湧平, 羽金裕也, 菅野和子, 三浦至, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位に反映される時間統合窓の処理時間についての検討. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):383.

落合晴香, 平山緑香, 志賀哲也, 星野大, 羽金裕也, 戸田亘, 森湧平, 堀越翔, 菅野和子, 三浦至, 矢部博興. MMN を用いてベンゾジアゼピン系睡眠薬減量による認知機能に与える影響の検討. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):384.

和田知紘, 板垣俊太郎, 星野大, 刑部有祐, 菅野和子, 荒川英香, 河本竜太, 錫谷研, 佐藤彩, 大西真央, 高橋雄一, 上田由桂, 松本貴智, 森湧平, 野崎途也, 疋田雅之, 志賀哲也, 松岡貴志, 矢部博興. 神経性やせ症における体重回復前後でのミスマッチ陰性電位と前頭葉機能の変化についての中間報告. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):384.

戸田亘, 板垣俊太郎, 大西隆, 松本純弥, 三浦至, 伊藤浩, 矢部博興. 成人期発達障害患者における 123I-FP-CIT によるドーパミントランスポーターの評価. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):389.

羽金裕也, 志賀哲也, 戸田亘, 三浦至, 阿部十也, 金井数明, 伊藤浩, 矢部博興. MMN による軽度認知機能障害とパーキンソン病の縦断的研究. 臨床神経生理学. 202110; 49(5):395.

放射線医学講座

論 文

〔原 著〕

Oyama-Suzuki K, Fukushima K, Egi R, Nakano S, Muramatsu T. Cardiac Sarcoidosis Mimicking Anterior Myocardial Infarction. Annals of Nuclear Cardiology. 202108; 7(1):73-76.

Ito H, Kubo H, Takahashi K, Nishijima KI, Ukon N, Nemoto A, Sugawara S, Yamakuni R, Ibaraki M, Ishii S. Integrated PET/MRI scanner with oxygen-15 labeled gases for quantification of cerebral blood flow, cerebral blood volume, cerebral oxygen extraction fraction and cerebral metabolic rate of oxygen. Annals of Nuclear Medicine. 202104; 35(4):421-428.

Yamane T, Fukushima K, Shirotake S, Nishimoto K, Okabe T, Oyama M, Seto A, Kuji I. Test-retest repeatability of quantitative bone SPECT/CT. Annals of Nuclear Medicine. 202103; 35(3):338-346.

Matsuo Y, Nagao M, Yamamoto A, Ando K, Nakao R, Fukushima K, Momose M, Sakai A, Sato K, Sakai S.

Coronary flow quantification estimated by dynamic 320-detector CT angiography: validation by ^{13}N ammonia PET myocardial flow reserve. *British Journal of Radiology*. 202111; 94(1127):20201415.

Kohsaka S, Fukushima K, Watanabe I, Manabe S, Niimi N, Gatate Y, Sawano M, Nakano S. Contemporary Management of Stable Coronary Artery Disease: Implications of the ISCHEMIA Trial. *Circulation Journal*. 202110; 85(11):1919-1927.

Yaginuma Y, Utano K, Utano Y, Nemoto D, Aizawa M, Matsuida H, Isohata N, Endo S, Togashi K. Diverticular hemorrhage of terminal ileum successfully treated by ultra-selective transcatheter arterial embolization using triaxial system: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202104; 14(2):517-521.

Matsusaka Y, Yamane T, Fukushima K, Seto A, Matsunari I, Kuji I. Can the function of the tubarial glands be evaluated using $^{99\text{m}}\text{Tc}$ pertechnetate SPECT/CT, ^{18}F FDG PET/CT, and ^{11}C methionine PET/CT? *EJNMMI Research*. 202103; 11(1):34.

Zhao J, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Tan C, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Nan G, Zhao S, Ito H, Shimomura K. Evaluation of effect of Ninjin'yoeito on regional brain glucose metabolism by ^{18}F -FDG autoradiography with insulin loading in aged mice. *Frontiers in Nutrition*. 202105; 8:657663.

Tashiro M, Kubo H, Kanezawa C, Ito H. A proposed combination of flat-panel detector and mobile X-ray systems for low-dose image-guided central venous catheter insertion. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(3):161-167.

Kojima T, Nagao M, Yabuuchi H, Yamasaki Y, Shirasaka T, Kawakubo M, Fukushima K, Kato T, Yamamoto A, Nakao R, Sakai A, Watanabe E, Sakai S. New transluminal attenuation gradient derived from dynamic coronary CT angiography: diagnostic ability of ischemia detected by ^{13}N -ammonia PET. *Heart and Vessels*. 202104; 36(4):433-441.

Kurose S, Kubota M, Takahata K, Yamamoto Y, Fujiwara H, Kimura Y, Ito H, Takeuchi H, Mimura M, Suhara T, Higuchi M. Relationship between regional gray matter volumes and dopamine D_2 receptor and transporter in living human brains. *Human Brain Mapping*. 202108; 42(12):4048-4058.

Yamamoto A, Nagao M, Ando K, Nakao R, Fukushima K, Matsuo Y, Momose M, Sakai S, Hagiwara N. Risk stratification in coronary artery using NH_3 -PET myocardial flow reserve and CAD-RADS on coronary CT angiography. *International Journal of Cardiovascular Imaging*. 202111; 37(11):3335-3342.

Sekino H, Ishii S, Kuroiwa D, Fujimaki H, Sugawara S, Suenaga H, Hakozaiki M, Yamakuni R, Watanabe H, Hasegawa O, Ito H. Usefulness of Model-Based Iterative Reconstruction in Brain CT as Compared With Hybrid Iterative Reconstruction. *Journal of Computer Assisted Tomography*. 202107; 45(4):600-605.

Ishii S, Ohkawara H, Endo Y, Hara J, Hotsumi H, Yamakuni R, Sugawara S, Sekino H, Ito H. Evaluation of Computed Tomography Attenuation Value of Proximal Femoral Marrow to Diagnose and Differentiate Hematologic Malignancies, Myelofibrosis, and Aplastic Anemia. *Journal of Computer Assisted Tomography*. 202111; 45(6):912-918.

Yamamoto A, Nagao M, Watanabe E, Imamura Y, Suzuki A, Fukushima K, Ando K, Nakao R, Sakai A, Momose M, Sakai S, Hagiwara N. Prognosis and recurrence in cardiac sarcoidosis: Serial assessment of BMIPP-SPECT and FDG-PET. *Journal of Nuclear Cardiology*. 202106; 28(3):919-929.

Yamamoto Y, Takahata K, Kubota M, Takano H, Takeuchi H, Kimura Y, Sano Y, Kurose S, Ito H, Mimura M, Higuchi M. Differential associations of dopamine synthesis capacity with the dopamine transporter and D2 receptor availability as assessed by PET in the living human brain. *Neuroimage*. 202102; 226:117543.

Kubo H, Takahashi K, Shimoyama S, Zhao S, Ukon N, Ito H. Simulation of the distribution of astatine-211 solution dispersion in a lab room. *Nuclear Medicine Communications*. 202109; 42(9):1052-1059.

Yamamoto T, Miwa K, Wagatsuma K, Shigemoto Y, Sato N, Akamatsu G, Ito H, Matsuda H. Centiloid scale analysis for ^{18}F -THK5351 PET imaging in Alzheimer's disease. *Physica Medica*. 202102; 82:249-254.

Kubo H, Nemoto A, Ukon N, Ito H. Evaluation of a model-based attenuation correction method on whole-body ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Radiological Physics and Technology*. 202103; 14(1):70-81.

Sekino H, Ishii S, Sato H, Nomoto M, Kawana S, Suenaga H, Kuroiwa D, Ito H. Three cases of organized hematoma of the maxillary sinus in patients who underwent preoperative arterial embolization. *Radiology Case Reports*. 202110; 16(12):3945-3949.

Zhao J, Tan C, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Ito H, Nan G, Zhao S, Shimomura K. Evaluation of organ glucose metabolism by ^{18}F -FDG accumulation with insulin loading in aged mice compared with young normal mice. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):7421.

Yamane T, Takahashi M, Matsusaka Y, Fukushima K, Seto A, Kuji I, Matsunari I. Satisfactory quantitative value can be acquired by short-time bone SPECT/CT using a whole-body cadmium-zinc-telluride gamma camera. *Scientific Reports*. 202112; 11(1):24320.

Suzuki R, Ishii S, Watanabe H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Hikichi T, Ito H, Ohira H. Splenic volume as a prognostic indicator for unresectable pancreatic cancer. *World Academy of Sciences Journal*. 202101; 3(1):9.

江木竜太, 福島賢慈. 【機能情報を極める核医学】心アミロイドーシスの画像診断. *映像情報 Medical*. 202111; 53(12):52-56.

久慈一英, 山根登茂彦, 福島賢慈, 瀬戸陽. SUVの定量性と臨床利用～SPECTとPETにて～ 定量骨SPECT/CTによるSUVの造骨性バイオマーカーとしての臨床的有用性について. *核医学技術*. 202101; 41(1):65-67.

福島賢慈. 【安定型冠動脈疾患のパラダイムシフト: ISCHEMIA後の診療体制を模索する】Diagnostic Flowカテで診るか? CTで診るか? そしてシンチの役割は? *心臓*. 202109; 53(9):897-902.

貝本葉子, 福島賢慈, 長尾充展, 金谷和子, 阿部光一郎, 千田浩一. 同一クリスタルを用いた世代別 PET 装置の性能評価 微小病変のイメージコントラストについて. 臨床放射線. 202108; 66(8):835-841.

〔症例報告〕

Ishiguro T, Nishikawa N, Ishii S, Yoshihara K, Haino K, Yamaguchi M, Adachi S, Watanabe T, Soeda S, Enomoto T. PET/MR imaging for the evaluation of cervical cancer during pregnancy. BMC Pregnancy and Childbirth. 202104; 21(1):288.

Egi R, Sugi K, Oyama-Suzuki k, Nakajima Y, Fukushima K, Nakano S. Right-Sided Infectious Endocarditis and Pulmonary Septic Embolism Associated with Intravenous Drug Use. Cardiovascular Imaging in Asia. 202107; 5(3):114-117.

Seki K, Egi R, Sugi K, Fukushima K, Nakano S. Multiple Extracardiac Anastomosis of the Coronary Arteries. Circulation Cardiovascular Imaging. 202106; 14(6):e012126.

Yamada Y, Sugi K, Gatate Y, Senbonmatsu T, Inoue I, Fukushima K, Iguchi A, Nakajima H, Muramatsu T. Premature acute myocardial infarction in a young patient with sisterolemia. CJC Open. 202105; 3(8):1085-1088.

Ishii S, Sugawara S, Yamakuni R, Sekino H, Ito H. Hypertrophic Pachymeningitis Demonstrated by Whole-Body 67Ga Scintigraphy. Clinical Nuclear Medicine. 202202; 47(2):e149-e151.

Matsuo K, Nakano S, Katayama M, Hasegawa S, Fukushima K. Multi-modal and multi-postural assessment of platypnea-orthodeoxia syndrome triggered by stroke: A case report. Journal of Cardiology Cases. 202109; 25(3):163-165.

〔研究報告書〕

歌野健一, 根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 柳沼佑基, 歌野有香, 富樫一智. 【大腸内視鏡スキルアップー挿入から診断まで】挿入法スキルアップ 挿入不能例どう対応する? 大腸カプセル内視鏡検査と大腸 CT 検査. 消化器内視鏡. 202110; 33(10):1553-1557.

研究発表等

〔研究発表〕

Fukushima K, Yamane T, Matsusaka Y, Seto A, Egi R, Oyama-Suzuki K, Okano N, Sugi K, Nakano S, Muramatsu T, Matsunari I, Kuji I. Clinical significance of quantitative bone SPECT measurement for left ventricular myocardial deformation in patients with cardiac amyloidosis. SNM Annual Meeting; 20210611-15; Web.

Kaimoto Y, Asanuma M, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Fukushima K, Nagao M, Tanaka I, Chida K. Optimization of Injected Dose for Myocardial Flow Quantification in ¹³N ammonia PET with Time of Flight

Scanner Noise Equivalent Count Rate analysis. SNM Annual Meeting; 20210611-15; Web.

Okano N, Fukushima K, Oyama-Suzuki K, Egi R, Matsusaka Y, Seto A, Yamane T, Nakano S, Muramatsu T, Matsunari I, Kuji I. Discordance between left ventricular synchronicity and wall kinetics despite normal function and perfusion in patients after heart transplantation. SNM Annual Meeting; 20210611-15; Web.

Kawakubo M, Nagao M, Yamamoto A, Nakao R, Matsuo Y, Fukushima K, Watanabe E, Sakai A, Sasaki M, Sakai S. 13N-アンモニア PET ストレイン解析による右室壁運動と心筋血流予備能の関連. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Shiraia Y, Kawakubo M, Nagao M, Yamamoto A, Matsuo Y, Momose M, Nakao R, Fukushima K, Sasaki M, Sakai S. 13N-ammonia PET-derived myocardial strain: first challenge for patients with coronary artery disease. 第 80 回日本医学放射線学会総会; 20210415; 横浜.

関野啓史, 石井士朗, 箱崎元晴, 山國遼, 末永博紀, 黒岩大地, 藤巻秀樹, 尾股千里, 佐藤廣仁, 野本美香, 伊藤浩. 上顎洞内の血腫腫に対し、術前塞栓を施行した 3 例の検討. 第 50 回日本 IVR 学会総会; 20210520-22; Web.

山國遼, 穂積宏俊, 原純子, 遠藤吉樹, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 末永博紀, 黒岩大地, 関野啓史, 池田雅一, 石井士朗, 室野重之, 伊藤浩. 放射線併用動注化学療法により完全奏効を得た cT3N0M0 声門癌の 4 例. 第 50 回日本 IVR 学会総会; 20210520-22; Web.

関野啓史. 症例検討会. 第 1 回東北 NR 懇話会; 20210626; Web.

関野啓史, 長谷川靖, 川本菜摘, 八巻杏奈, 遠藤吉樹, 原純子, 小檜山歩那美, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國遼, 末永博紀, 黒岩大地, 石井士朗, 伊藤浩. 髄膜脳炎の合併が疑われた再発性多発軟骨炎の 1 例. 第 144 回日本医学放射線学会・第 89 回日本核医学会 北日本地方会; 20210702; Web.

関野啓史. 頭部 CT への逐次近似再構成の応用—灰白質の描出が明瞭化する—. 第 25 回画像診断セミナー; 20210728; Web.

関野啓史. Case-based Discussion—皆で共有する知識と経験—. 第 34 回北日本インターベンショナルラジオロジー—研究会; 20210903; Web.

関野啓史. CQ 解決 パネルディスカッション. 福島 HCC 診療を考える会—LEN-TACE Academy—; 20210906; Web.

石井士朗. 大腿骨骨髓 CT 濃度測定による血液疾患診断能の検討. 第 57 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20210917-19; Web.

関野啓史, 石井士朗, 川本菜摘, 八巻杏奈, 遠藤吉樹, 原純子, 小檜山歩那美, 渡邊宏剛, 箱崎元晴, 山國遼, 末永博紀, 黒岩大地, 長谷川靖, 伊藤浩. 胸部病変におけるアスピレーションタイプのセミオートマチックタイプ生検針の有用性の検討. 第 57 回日本医学放射線学会秋季臨床大会; 20210917-19; Web.

江木竜太, 福島賢慈. バルサルバ洞瘤による右室流出路狭窄を経食道心エコーと心臓MRI. 第69回日本心臓病学会学術集会; 20210918; 米子/Web.

福島賢慈. post ISCHEMIA—循環器画像診断のこれから. 第1回 Gifu Cardiac Imaging Conference; 20211028; Web.

伊藤浩, 茨木正信, 山國遼, 箱崎元晴, 菅原茂耕, 関野啓史, 石井士朗, 久保均, 右近直之, 高橋和弘. 健常者における脳酸素摂取率 (OEF) の脳内局所差について. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋.

福島賢慈. 心筋脂肪酸代謝イメージングの展望. 読影道場 in 虎ノ門; 20211125; Web.

保谷洋貴, 福島賢慈. SPECT/CT を用いた Tc 製剤の心筋集積定量と洗平市の有用性の検討. 第24回心世代核医学研究会; 20211127; Web.

〔シンポジウム〕

福島賢慈. 右室・肺循環における核医学の貢献. 第6回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会; 20210508; 東京.

福島賢慈. 心臓アミロイドーシスにおける核医学の貢献. 心臓核医学会・米国心臓核医学会ジョイントセミナー; 20210626; Web.

〔特別講演〕

福島賢慈. ATTR アミロイドーシスの画像診断におけるピットフォール. 心アミロイドーシス画像診断勉強会; 20210422; Web.

伊藤浩. 特別講演Ⅱ 強かな核医学—診断と治療の融合—. 日本核医学技術学会第26回東北地方会; 20210925; Web.

〔招待講演〕

伊藤浩. PET/MRI での O-15 ガス検査. 日本脳神経核医学研究会 脳PET ワークショップ; 20210422; Web.

石井士朗. 呼吸器核医学の基礎と臨床. 第21回日本核医学会春季大会; 20210507-31; Web.

伊藤浩. PET 核医学エキスパートセミナー 臨床1 脳神経. 第21回日本核医学会春季大会; 20210507-31; Web.

伊藤浩. PET 研修セミナー 指針と考え方2 PET 臨床研究の注意点. 第21回日本核医学会春季大会; 20210507-31; Web.

福島賢慈. 核医学指導者コース—心臓核医学における最近のトピック—. 第21回日本核医学会春季大会; 20210507-31; Web.

福島賢慈. 核医学専門医受験者コース—心筋シンチの読影のコツ—. 第21回日本核医学会春季大会; 20210507-31;

Web.

福島賢慈. 心筋 SPECT 集積定量への挑戦. 第 31 回心臓核医学会総会・学術集会; 20210626; 福島.

福島賢慈. 不安定プラークを検出するモダリティ比較. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210918; 米子/Web.

福島賢慈. post ISCHEMIA—心臓核医学の今後のあり方と展望. 第 45 回愛媛心臓核医学談話会; 20211023; Web.

〔その他〕

山國遼. 片側もやもや病を原因とした脳出血の超急性期 CT 所見. 第 2 回東北 NR 懇話会; 20211127; Web.

麻醉科学講座

論 文

〔原 著〕

Morimoto I, Koyama Y, Murakawa M. Increase in blood pressure by local injection of ketamine into the amygdala in rats. *Biological and Pharmaceutical Bulletin*. 202104; 44(4):544-549.

Okuda C, Inoue S, Kawaguchi M. Anesthesia-related care dissatisfaction: a cohort historical study to reveal related risks. *Brazilian Journal of Anesthesiology*. 202104; 71(2):103-109.

Konda M, Inoue S, Naito Y, Egawa J, Kawaguchi M. Life-threatening airway obstruction caused by angioedema in a morbidly obese postoperative patient: a case report. *JA Clinical Reports*. 202101; 7(1):1.

Uemura K, Inoue S, Kawaguchi M. A case of shock after 10 days systemic corticosteroid therapy for COVID-19. *JA Clinical Reports*. 202101; 7(1):7.

Hasegawa T, Obara S, Oishi R, Shiota S, Honda J, Kurosawa S. Transient maintenance of tracheal patency upon the insertion of a flexible bronchoscope in a patient with an anterior mediastinal mass: a case report. *JA Clinical Reports*. 202104; 7(1):39.

Kotani T, Inoue S, Uemura K, Kawaguchi M. Radiating pain during epidural needle insertion and catheter placement cannot be associated with postoperative persistent paresthesia: a retrospective review. *JA Clinical Reports*. 202108; 7(1):64.

Maru H, Obara S, Inoue S. Remifentanyl-induced penile erection in elderly patients undergoing urethroscopic

surgery. JA Clinical Reports. 202111; 7(1):82.

Oishi R, Nakamura K, Yahagi Y, Ohashi K, Takano Y, Harada R, Obara S, Inoue S, Kanemitsu K, Murakawa M. Evaluation of microbial contamination on cuff syringe, cuff pressure gauge, and their surroundings in the operating room. JA Clinical Reports. 202112; 7(1):83.

Obara S. Anesthesiologist behavior and anesthesia machine use in the operating room during the COVID-19 pandemic: awareness and changes to cope with the risk of infection transmission. Journal of Anesthesia. 202106; 35(3):351-355.

Obara S, Syroid N, Ogura T, Pace NL, Johnson KB, Albert R, Agutter J, Stuart AR, Egan TD. A pharmacokinetic-pharmacodynamic real-time display may change anesthesiologists' behavior. Journal of Clinical Monitoring and Computing. 202105; 35(3):547-556.

Iseki Y, Ono Y, Hibi C, Tanaka S, Takeshita S, Maejima Y, Kurokawa J, Murakawa M, Shimomura K, Sakamoto K. Opening of intermediate conductance Ca^{2+} -activated K^{+} channels in C2C12 skeletal muscle cells increases the myotube diameter via the Akt/mTOR pathway. Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics. 20210301; 376(3):454.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Noji Y, Ebana H, Isosu T, Kurosawa S, Murakawa M. Update on the SedLine® algorithm for calculating the Patient State Index of older individuals during general anesthesia: a randomized controlled trial. Minerva Anestesiologica. 202107; 87(7):774-785.

Kuwana K, Obara S, Tanaka S, Sato Y, Yoshida K, Hanayama C, Hakozaki T. The use of the Sanuki airway™ in three patients with suspected difficult airway. SAGE Open Medical Case Reports. 202107; 9:2050313X211031311.

椿康輔, 井上聡己, 恵川淳二, 内藤祐介, 位田みつる, 川口昌彦. 腹腔鏡下肝臓切除術中に左心系へ気腹ガスの流入を認めた3症例の検討. Cardiovascular Anesthesia. 202109; 25(1):71-74.

吉田圭佑, 田中詩織, 奥山由佳, 宮下徹也, 伊藤秀和, 芝順太郎, 鈴木昭広. 症例カンファレンス 人工呼吸管理中に判明した声門直下の気道異物. LiSA. 202103; 28(3):313-328.

甲谷太一, 井上聡己, 恵川淳二, 川口昌彦. 小児 VA-ECMO 症例における送脱血管径の選択に難渋した一症例. 蘇生. 202109; 40(2):73-76.

前川敦史, 小西康司, 井上聡己, 米田龍生. 奈良県立医科大学附属病院における AN69ST 膜の使用経験. 奈良県医師会透析部会誌. 202101; 26(1):55-59.

小原伸樹. 麻酔・集中治療とマンマシンインターフェイス. 麻酔・集中治療とテクノロジー. 202103; 2020:18-21.

小野寺広希, 井上聡己, 曾碩真弘, 小西康司, 畠中利英, 川口昌彦. 集中治療室の騒音レベルについての調査. 臨床麻酔. 202104; 45(4):605-607.

内藤祐介, 小川哲平, 小橋郁美, 岡本佐和子, 井上聡己, 川口昌彦. COVID-19 ICU における特定行為看護師の有用性. 臨床麻酔. 202110; 45(10):1333-1336.

本田潤, 箱崎貴大, 五十洲剛, 井上聡己, 野地善恵. Meigs 症候群疑いの患者において再膨張性肺水腫をきたすことなく管理できた 1 症例. 臨床麻酔. 202111; 45(11):1462-1464.

〔症例報告〕

Kotani T, Inoue S, Kawaguchi M. A Case of Bilateral Tension Pneumothorax After Video-Assisted Thoracoscopic Esophagectomy With Gastric Conduit Reconstruction After Bilateral Chest Tube Placement. Asian Journal of Anesthesiology. 202106; 59(2):76-78.

Kadoya Y, Nishida T, Inoue S, Kawaguchi M. Postpartum Thrombocytopenia Mimicking Thrombotic Thrombocytopenic Purpura May Prevent Appropriate Selection of Therapeutic Options. Asian Journal of Anesthesiology. 202106; 59(2):79-80.

Uemura K, Inoue S, Kawaguchi M. Successful application of early tracheostomy in an intubated patient who suffered from irritative stimuli by an oral tracheal tube. Saudi Journal of Anaesthesia. 202101; 15(1):50-52.

佐藤友彦, 赤津賢彦, 島津勇三, 服部尚士, 小西晃生, 管桂一, 大槻理恵, 足立国大, 半沢浩一. 膝関節全置換術後痛に対する硬膜外鎮痛と局所浸潤鎮痛の有効性の比較検討. 麻酔. 202104; 70(4):392-396.

〔その他〕

Tokimura S, Obara S, Hosono A, Hakozaiki T, Kurosawa S. Severe liver dysfunction that required transfusion therapy after laparoscopic antireflux surgery. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 2021; 13:12.

Yoshida K, Tanaka S, Watanabe K. Starting induction of general anesthesia after complete preparation for emergency surgical drainage in all patients with cardiac tamponade. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 2021; 13:69.

Kotani T, Inoue S, Uemura K, Kawaguchi M. Point of Care Supraglottic Airway Devices for Safe Percutaneous Tracheostomy in Patients With Coronavirus Disease 2019. Asian Journal of Anesthesiology. 202109; 59(3):115-116.

Kase S, Yoshida K, Hakozaiki T. Efforts on Education by Using Social Media for Young Anesthesiologists in the COVID-19 Pandemic. Asian Journal of Anesthesiology. 202112; 59(4):172-173.

Tanaka S, Takatsuki S, Obara S. SARS-CoV-2 vaccination modelling for safe surgery to save lives: data from international prospective cohort study. British Journal of Surgery. 202109; 108(9):1056-1063.

Yoshida K, Tanaka S, Watanabe K. A case of intravenous line occlusion when using Acetated Ringer's solution and remimazolam. Journal of Clinical Anesthesia. 202106; 70:110190.

中野裕子. 文献抄訳 Mild traumatic brain injury is associated with effect of inflammation on structural changes of default mode network in those developing chronic pain. ペインクリニック. 202101; 42(1):127.

瀬田川裕紀子, 小原伸樹. 【麻酔薬体内動態・薬力学 back-to-basics】薬物動態基本パラメーターと薬物動態モデル. 麻酔. 202103; 70(3):231-239.

著 書・訳 書

小原伸樹. 27. 全静脈麻酔 (TIVA)、鎮静 (MAC) . In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2021. 東京: 総合医学社; 202105. p.148-152.

黒澤伸. 28. 手術室危機管理・安全対策. In: 山蔭道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2021. 東京: 総合医学社; 202105. p.153-156.

吉田圭佑. オペナースの疑問、3分で解説します! 大阪: メディカ出版; 202107.

研究発表等

〔研究発表〕

Sato K, Sato K, Naito T. Revealing the importance of patient-centered pain control through personal attitude construct analysis. ICP2020; 20210720; Web.

三部徳恵, 本田潤, 井石雄三, 細野敦之, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤伸. 褐色細胞腫摘出5年後の転移性肝腫瘍摘出術に対する周術期管理の経験. 第48回日本集中治療医学会学術集会; 20210212-14; Web(香川).

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 高齢患者における大量の両側胸水を伴う Meigs 症候群に対する周術期管理の経験. 第33回日本老年麻酔学会; 20210220-21; Web(太宰府). プログラム・抄録集. 46.

大石理江子, 小原伸樹, 三部徳恵, 小幡英章, 黒澤伸. 胸鎖乳突筋深部への薬液注入は星状神経節ブロックとなるか. 日本区域麻酔学会第8回学術集会; 20210409-10; 岡山/Web.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 汎発性腹膜炎による敗血症性ショックの循環管理にフロートトラックシステムが有用だったと考えられた一例. 第32回日本臨床モニター学会総会; 20210423-24; Web. 臨床モニター. 32(Suppl)49.

田中詩織, 渡部和弘, 吉田圭佑. 気管挿管中の患者における声門直下の気道異物摘出の経験. 日本麻酔科学会第68回学術集会; 20210603-709; Web(神戸).

長谷川貴之, 赤津賢彦, 若原志保, 佐藤友彦, 福田智恵. ダサチニブによる薬剤関連胸水の増悪で術後人工呼吸管理が必要になった一例. 日本集中治療医学会第5回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 29.

佐藤薫, 花山千恵, 大石理江子, 中野裕子. 炎症性胸腹部大動脈瘤によると考えられる痛みのコントロールに難渋した一症例. 日本ペインクリニック学会第 55 回学術集会; 20210724; 富山. 日本ペインクリニック学会誌, 28(プログラム)O23-7.

中野裕子, 大石理江子, 小原伸樹, 三部徳恵, 佐藤薫, 小幡英章, 五十洲剛, 黒澤伸. 当院脊椎外来に通院する慢性痛患者における内因性鎮痛系の定量的評価. 日本ペインクリニック学会第 55 回学術集会; 20210724; 富山. 日本ペインクリニック学会誌, 28(プログラム)O27-6.

松岡智恵, 長谷川貴之, 大石理江子, 五十洲剛, 井上聡己. 前縦隔腫瘍の上大静脈浸潤に対して合併切除を施行し上大静脈の遮断を要した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 26.

桑名圭祐, 荒木英治, 加瀬彩織, 本田潤, 黒澤伸, 井上聡己. 胃瘻造設後の内視鏡的食道粘膜下層剥離術中に腹腔内へのガス漏出から呼吸・循環に影響が及んだ一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 29.

オズミンスキー真理, 薬師寺たつみ, 田中詩織, 箱崎貴大, 井上聡己. Sotos 症候群を合併した患児の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 32.

白石太一, 井石雄三, 高木麻美, 三部徳恵, 井上聡己. 心アミロイドーシス患者の経皮的大動脈弁置換術中に発症した心停止に対し人工心肺使用し救命できた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 32.

松本木綿子, 井石雄三, 瀬田川裕紀子, 小原伸樹, 井上聡己. ロボット支援下腎部分切除術を行った発作性夜間ヘモグロビン尿症の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 32.

平田日向子, 長谷川貴之, 遠藤千麻, 望月夏紀, 若原志保, 赤津賢彦. 巨大卵巣腫瘍摘出後に無気肺と再膨張性肺水腫を合併した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 33.

加瀬彩織, 高月沙織, 吉田圭佑, 中野裕子, 細野敦之, 井上聡己. コロナ禍における SNS を用いた若手麻酔科医の教育・学習における取り組み. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム, 34.

長谷川貴之, 野地善恵, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. Total cavopulmonary connection (TCPC) 術後の伏臥位手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術大会; 20211023-24; Web(金沢). Cardiovascular Anesthesia. 25(suppl):122.

田中詩織, 吉田圭佑, 渡部和弘. 心タンポナーデでは緊急外科的ドレナージの準備を万端にしてから全身麻酔を開始すべきである. 日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術大会; 20211023-24; Web(金沢). Cardiovascular Anesthesia. 25(suppl):148.

甲谷太一, 井上聡己, 位田みつる, 内藤祐介, 川口昌彦. 手術前握力値と術後せん妄症発症率の関連について
後ろ向き調査研究. 日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術大会; 20211023-24; Web(金沢). Cardiovascular Anesthesia.
25(suppl):169.

板倉佑弥, 江花英朗, 出羽明子. フィブリノゲン製剤を原因としたアナフィラキシーショックが強く疑われた 1
例. 日本臨床麻酔学会第 41 回大会; 20211105; Web(札幌). 日本臨床麻酔学会誌. 41(6):S223.

三部徳恵, 井上聡己, 桑名圭祐, 薬師時たつみ, 石堂瑛美, 高木麻美. 両側ブラまた凝固系延長のため、神経
ブロックによって大腿骨頸部骨折手術を管理した症例. 日本臨床麻酔学会第 41 回大会; 20211106; Web(札幌). 日
本臨床麻酔学会誌. 41(6):S234.

野地善恵, 五十洲剛, 井上聡己. 下肢骨折に対する手術の周術期に肺血栓塞栓症を発症した 2 例の検討. 日本蘇
生学会第 40 回大会; 20211112; 奈良/Web. 日本蘇生学会雑誌. 40(3):194.

桑名圭祐, 小原伸樹, 松岡智恵, 加瀬彩織, 光井誠子, 野地善恵, 井上聡己. 新しい筋弛緩モニタ TOF-Cuff[®]
を用いたロクロニウムの薬物動態・薬力学モデルの後ろ向き検証. 第 28 回日本静脈麻酔学会; 20211127; 福井. プロ
グラム・抄録集. 30.

〔シンポジウム〕

井上聡己. 領域 WG 企画シンポジウム 百寿社会における周術期循環管理. 日本麻酔科学会第 68 回学術集会;
20210603-709; Web(神戸).

小原伸樹. シンポジウム医学生・臨床研修医(初期)招待企画 出身大学でキャリアを積み～地方公立大学におけ
る経験～. 日本麻酔科学会第 68 回学術集会; 20210603-709; Web(神戸).

井上聡己. 共催シンポジウム 2 救急集中治療における Effective Medical Creation (EMC) の実践 集中治療
部での EMC の実践と効果. 日本蘇生学会第 40 回大会; 20211112; 奈良/Web. 日本蘇生学会雑誌. 40(3):159.

〔その他〕

小原伸樹. 麻酔科領域講習(リフレッシュャーコース)・アドバンスト 小児の TIVA と薬物動態. 日本麻酔科学会
第 68 回学術集会; 20210603-709; Web(神戸).

箱崎貴大. 教育講演 3 循環モニタリング. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島).
プログラム・抄録集. 21.

細野敦之, 本田潤, 井石雄三, 大石理江子, 箱崎貴大, 五十洲剛. 血管輪による気管・気管支狭窄に対する思
春期における予防的修復術の周術期管理. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プ
ログラム・抄録集. 33.

箱崎貴大, 井石雄三, 本田潤, 細野敦之, 小原伸樹, 五十洲剛. スタンフォード A 型急性大動脈解離術後に横
紋筋融解症を起こした 2 例. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄
録集. 38.

一ノ瀬仁美, 高橋諒, 田口遼, 箱崎貴大, 渡部ますい. ICUにおける早期経腸栄養開始に向けての取り組み. 日本集中治療医学会第5回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 45.

井上聡己. 教育講演3 私と小児麻酔のかかわり. 日本小児麻酔学会第26回大会; 20211016-17; Web(仙台). プログラム. 57.

小原伸樹. 教育講演6 薬の血中濃度と周術期管理. 日本小児麻酔学会第26回大会; 20211016-17; Web(仙台). プログラム. 63.

小原伸樹. 教育講演22 レミマゾラムと脳波モニタリング. 日本臨床麻酔学会第41回大会; 20211106; Web(札幌). 日本臨床麻酔学会誌. 41(6):S147.

救急医療学講座

論 文

〔原 著〕

Hattori S, Yokota H, Takada T, Horikoshi T, Takishima H, Mikami W, Mukai H, Funakoshi H, Naganuma T, Yano T, Terada K, Inokuchi R, Tsuchiya S, Akutsu A, Saiga A, Kubota Y, Wada T, Takada A, Fujimoto H, Uno T. Impact of clinical information on CT diagnosis by radiologist and subsequent clinical management by physician in acute abdominal pain. *European Radiology*. 202108; 31(8):5454-5463.

Suzuki Y, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Umeda T, Rikimaru M, Onuma T, Naito S, Takiguchi Y, Tomita H, Kawamata T, Togawa R, Sato Y, Uematsu M, Morimoto J, Kitakawa K, Tsukada Y, Nakamura K, Kanemitsu K, Iseki K, Shibata Y. Severe Coronavirus Disease 2019 That Recovered from Respiratory Failure by Treatment That Included High-dose Intravenous Immunoglobulin. *Internal Medicine*. 202102; 60(3):457-461.

Katayama K, Nishizaki Y, Shinozaki T, Saitoh Y, Yano T, Aoki T, Noguchi M, Tokuda Y. The impact of autopsy participation on clinical residency. *Journal of General and Family Medicine*. 202105; 22(5):278-287.

Onodera M, Tsukada Y, Suzuki T, Sorimachi K, Ebihara K, Sato L, Zenda R, Ueno S, Sugaya K, Iseki K. Development of delayed neurologic sequelae in acute carbon monoxide poisoning cases caused by briquette-based kotatsu: A case-control study. *Medicine*. 202104; 100(16):e25009.

上野智史, 小野寺誠, 武藤憲哉, 矢野徹宏, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 超高齢の偶発性低体温症に対しVA-ECMOにより復温し救命し得た1例. 日本救急医学会雑誌. 202110; 32(10):523-528.

研究発表等

〔研究発表〕

菊田春彦, 小島隆生, 鳴瀬悠, 山ノ井優, 飯島綾子, 岩楯兼尚, 佐久間潤, 伊関憲, 齋藤清. 県をまたいだドクターヘリ搬送により早期に治療し得た急性期脳主幹動脈閉塞の2例. 第26回日本脳神経外科救急学会; 20210205-06; Web. Neurosurgical Emergency. 25(3):504.

海老原研一, 塚田泰彦, 反町光太郎, 菅谷一樹, 伊関憲. 来院後に2度の心停止を来した上部消化管出血の1例. 第48回日本集中治療医学会学術集会; 20210212; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 28(2):435.

菅谷一樹, 海老原研一, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. COVID-19肺炎の管理中に生じた高カリウム血症にジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物が有効だった1例. 第48回日本集中治療医学会学術集会; 20210212; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 28(2):456.

菅谷一樹, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. 爆傷により脳脱を呈したが、神経学的に改善を認めた1例. 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20210610-12; Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 24(2):228.

菅谷一樹, 海老原研一, 金悠路, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. 遅発性喉頭浮腫をきたした顔面熱傷の1例. 第35回東北救急医学会総会・学術集会; 20210710; Web. プログラム・抄録集. 52.

関根萌, 鈴木剛, 鈴木光子, 全田吏栄, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 武田紗希, 伊関憲. シュウ酸カルシウム結晶尿が早期診断に有用であったエチレングリコール中毒の一例. 第43回日本中毒学会総会・学術集会; 20211015-31; Web. 中毒研究. 34(3):245.

鈴木光子, 塚田泰彦, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 全田吏栄, 大久保怜子, 矢野徹宏, 金悠路, 小野寺誠, 伊関憲. 心停止で搬送された急性喉頭蓋炎の一例. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211123; 東京. 日本救急医学会雑誌. 32(12):2410.

小澤昌子, 金子忠弘, 佐藤光弥, 伊関憲. 発症早期から造影MRIを施行するも診断に苦慮した、化膿性脊椎炎の1例. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211123; 東京. 日本救急医学会雑誌. 32(12):2550.

〔シンポジウム〕

小野寺誠, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 上野智史, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木光子, 金悠路, 三澤友誉, 矢野徹宏, 大久保怜子, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. COVID-19患者に対する当院の診療体制と重症患者における多職種連携. 第35回東北救急医学会総会・学術集会; 20210710; Web. プログラム・抄録集. 45.

病理病態診断学講座

論 文

〔原 著〕

Suzuki O. Regulation of cell adhesion to galectins by glycosylation: a new concept in lymphoma cell adhesion. *Advances in Cancer Biology-Metastasis*. 202112; 3:100016.

Sugimoto M, Irie H, Takasumi M, Hashimoto M, Oka Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A simple method for diagnosing gallbladder malignant tumors with subserosa invasion by endoscopic ultrasonography. *BMC Cancer*. 202103; 21(1):288.

Murata T, Endo Y, Furukawa S, Ono A, Kiko Y, Soeda S, Watanabe T, Takahashi T, Fujimori K. Successful laparoscopic resection of ovarian abscess caused by *Staphylococcus aureus* in a 13-year-old girl: a case report and review of literature. *BMC Women's Health*. 202105; 21(1):198.

Homma MK, Kiko Y, Hashimoto Y, Nagatsuka M, Katagata N, Masui S, Homma Y, Nomizu T. Intracellular localization of CK2 α as a prognostic factor in invasive breast carcinomas. *Cancer Science*. 202102; 112(2):619-628.

Hayashi M, Abe K, Fujita M, Takahashi A, Kobayashi Y, Hashimoto Y, Ohira H. Pazopanib-induced mixed liver injury in a patient with soft-tissue sarcoma, but without the UGT1A1*28 mutation: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202102; 14(1):224-228.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Okubo Y, Satake S, Oka Y, Yamada S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Two cases of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation resected by endoscopic submucosal dissection. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202106; 14(3):736-744.

Hayashi M, Wada J, Fujita M, Asano T, Matsuoka N, Fujita Y, Temmoku J, Matsumoto H, Yashio-Furuya M, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Ryoichiro K, Waragai Y, Suzuki E, Kiko Y, Abe K, Takahashi A, Masuda T, Hashimoto Y, Migita K, Ohira H. TAFRO syndrome complicated by porto-sinusoidal vascular liver disease with portal hypertension: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202112; 14(6):1711-1717.

Sato N, Kenjo A, Nishimagi A, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Yamada S, Hashimoto Y. Accuracy comparison of MR elastography and biological markers in detecting liver fibrosis and predicting postoperative ascites. *HPB*. 202109; 23(9):1383-1391.

Noguchi Y, Sugimoto M, Kiko Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J,

Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Hikichi T, Ohira H. Hilar malignant biliary obstruction treated with four metallic stents involving a new slim device. *Internal Medicine*. 202106; 60(12):1871-1876.

Mori H, Fukatsu M, Ohkawara H, Oka Y, Kataoka Y, Taito S, Ikezoe T. Heterogeneity in the diagnosis of plasmablastic lymphoma, plasmablastic myeloma, and plasmablastic neoplasm: a scoping review. *International Journal of Hematology*. 202112; 114(6):639-652.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Suzuki T, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Yamada H, Yamada S, Konno S. Visualization of hidden soft-tissue recurrence of giant cell tumor of bone enabled by preoperative denosumab treatment: A case description. *Quantitative Imaging in Medicine and Surgery*. 202108; 11(8):3893-3897.

Sekino H, Ishii S, Sato H, Nomoto M, Kawana S, Suenaga H, Kuroiwa D, Ito H. Three cases of organized hematoma of the maxillary sinus in patients who underwent preoperative arterial embolization. *Radiology Case Reports*. 202110; 16(12):3945-3949.

橋野洗平, 佐藤拓, 岸田悠吾, 黒見洋介, 喜古雄一郎, 山田昌幸, 丹原正夫, 佐久間潤, 齋藤清. トルコ鞍内から鞍上部に存在した上衣腫の1例. *Neurological Surgery*. 202101; 49(1):185-191.

小島つかさ, 小山善久, 伊藤美郷, 早瀬傑, 齋藤勝, 阿美弘文, 内海康文, 川名聡. がん検診で発見された Solid-pseudopapillary neoplasm の一例. *大原記念財団年報*. 202108; 57:37-43.

東條華子, 阿部貞彦, 立花和之進, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 磯上弘貴, 添田周, 渡邊尚史, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 浸潤性乳管癌術後に子宮転移を認めた1例. *癌と化学療法*. 202112; 48(13):1885-1888.

桑川知之, 岡野舞子, 勝部暢介, 林下宗平, 長塚美樹, 大河内千代, 松壽正實, 片方直人, 喜古雄一郎, 二瓶光博, 野水整. 家族歴から遺伝性乳癌を疑い、BRCA1/2 遺伝学的検査後に予定術式を変更した1例. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):29-34.

堀切将, 喜古雄一郎. 下口唇に発生した日光口唇炎の一例. *福島医学雑誌*. 202108; 71(2):81-86.

研究発表等

〔研究発表〕

岡佑香, 鈴木理, 橋本優子. 肺門部腫瘍の1例. 第91回日本病理学会東北支部学術集会; 20210214; Web.

岡佑香, 橋本優子. 抗酸菌感染を伴う原発性甲状腺 MALT リンパ腫の 1 例. 第 110 回日本病理学会総会; 20210422-24; 東京/Web.

鈴木理, 橋本優子. びまん性大細胞型 B リンパ腫における N 型糖鎖構造改変と galectin、MBP、DC-SIGN および DC-SIGNR との相互作用について. 第 110 回日本病理学会総会; 20210422-24; 東京/Web.

川名聡, 北條洋, ノーシャリナ・ビンティ・シェイクスピア, 喜古雄一郎, 橋本優子. 肝細胞・胆管上皮を含む多彩な分化を伴った肝原発ラプドイド腫瘍の一例. 第 67 回日本病理学会秋期特別総会; 20211104-05; 岡山. 日本病理学会会誌. 110(2):103.

〔その他〕

岡佑香, 橋本優子. Cytokeratin-positive interstitial reticulum cell (CIRC) tumor と癌の転移の鑑別に苦慮する肺門部腫瘍の 1 例. 第 61 回日本リンパ網内系学会総会; 20210624-26; 岡山/Web.

臨床検査医学講座

論 文

〔原 著〕

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. Fukushima Journal of Medical Science. 202108; 67(2):53-63.

Horikoshi Y, Katsuda SI, Fujikura Y, Hazama A, Shimura H, Shimizu T, Shirai K. Opposing Responses of the Calcium Channel Blocker Nicardipine to Vascular Stiffness in the Elastic and Muscular Arteries in Rabbits. Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 202112; 28(12):1340-1348.

Ohira T, Shimura H, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Response to the Letter to the Editor: 'Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake', by Ohira et al. Journal of Radiation Research. 202103; 62(3):425-426.

Ito Y, Furuya F, Taki K, Suzuki H, Shimura H. NKX2-1 re-expression induces cell death through apoptosis and necrosis in dedifferentiated thyroid carcinoma cells. PLOS ONE. 202111; 16(11):e0259558.

Toyokawa M, Ohana N, Ueda A, Imai M, Tanno D, Honda M, Takano Y, Ohashi K, Saito K, Shimura H.

Identification and antimicrobial susceptibility profiles of *Nocardia* species clinically isolated in Japan. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16742.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwadate M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

丹野大樹, 庄司龍弥, 坂本有子, 高野由喜子, 大橋一孝, 豊川真弘, 山寺幸雄, 志村浩己. GBS スクリーニング検査における新規 GBS 増菌培地の基礎的検討とラテックス凝集法併用の有用性. *検査医学*. 202101; 70(1):15-22.

〔総説等〕

Shimura H, Matsumoto Y, Murakami T, Fukunari N, Kitaoka M, Suzuki S. Diagnostic Strategies for Thyroid Nodules Based on Ultrasonographic Findings in Japan. *Cancers*. 202109; 13(18):4629.

Sakamoto A, Hirokawa M, Ito M, Naganuma H, Suzuki O, Hashimoto Y, Suzuki S, Shimura H. Introduction of histological classification and cytology reporting format of the Japanese General Rules for the Description of Thyroid Cancer with a special focus on the differences of the WHO Histological Classification and The Bethesda System of Thyroid Cytology. *Endocrine Journal*. 202106; 68(6):621-630.

Horiguchi K, Yoshida Y, Iwaku K, Emoto N, Kasahara T, Sato J, Shimura H, Shindo H, Suzuki S, Nagano H, Furuya F, Makita N, Matsumoto F, Manaka K, Mitsutake N, Miyakawa M, Yokoya S, Sugitani I. Position paper from the Japan Thyroid Association task force on the management of low-risk papillary thyroid microcarcinoma (T1aN0M0) in adults. *Endocrine Journal*. 202107; 68(7):763-780.

志村浩己. 【検査ごとに学ぶ 甲状腺疾患へのアプローチ】検査領域別に見たアプローチ 超音波検査. *Medical Technology*. 202109; 49(9):944-953.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの評価と課題. *日本甲状腺学会雑誌*. 202110; 12(2):133-138.

志村浩己. 『痛みを伴う甲状腺疾患』オーバービューと甲状腺嚢胞による疼痛. *乳腺甲状腺超音波医学*. 202101; 10(1):13-17.

志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格の概要. *乳腺甲状腺超音波医学*. 202107; 10(3):13-16.

志村浩己. 福島県県民健康調査甲状腺検査の 10 年とこれから. *福島県医師会報*. 202109; 83(9):810-812.

志村浩己. 【よくある質問にパッと答えられる一見開き！検査相談室】生理機能 甲状腺の腫瘍評価において、コロイド嚢胞と腺腫様結節を判断するポイントを教えてください. *臨床検査*. 202104; 65(4):474-475.

著 書・訳 書

志村浩己, 鈴木悟, 岩館学, 鈴木聡, 大平哲也, 横谷進. 2. 甲状腺検査. In: 神谷研二, 大戸斉, 安村誠司 編. 福島県「県民健康調査」報告書 2011～2020. 福島: 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター; 202102. p.43-67.

研究発表等

〔研究発表〕

松田美津子, 山寺幸雄, 石橋伸治, 志村浩己. 経過観察により診断し得た TIPIC 症候群 (Carotidynia) の一例. 日本超音波医学会第 61 回東北地方会学術集会; 20210307; Web. プログラム・抄録集. 15.

幕田倫子, 松田美津子, 加藤由美子, 石橋伸治, 林学, 志村浩己, 風間順一郎. 超音波検査で経過観察し得た打撲による肝炎症性偽腫瘍の 1 例. 第 70 回日本医学検査学会; 20210515-0614; Web. 医学検査. 70(別冊):54.

松田美津子, 山寺幸雄, 石橋伸治, 幕田倫子, 藤田雄也, 志村浩己, 風間順一郎. 超音波検査にて経過観察し得た巨細胞性動脈炎の 1 例. 第 70 回日本医学検査学会; 20210515-0614; Web. 医学検査. 70(別冊):55.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 超音波ドプラ法やエラストグラフィが悪性診断に有用であった甲状腺腫瘍の 1 例. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl.):S144.

長嶺夏希, 鈴木聡, 高橋智里, 坂上敏江, 佐藤綾子, 黒須由美子, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 小児および若年者における甲状腺内異所性胸腺の検討: 福島県県民健康調査. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl.):S144.

志村浩己, 鈴木眞一. 日本乳腺甲状腺超音波医学会甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格の概要. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺穿刺細胞を用いた遺伝子診断. 第 33 回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S61.

高橋智里, 西山翔子, 黒須由美子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 岩館学, 鈴木聡, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺超音波検査におけるファントム画像の経時変化に対する影響因子. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 10(4):109.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 『甲状腺乳頭癌』古典型乳頭癌の超音波診断. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(1):61-64.

鈴木眞一，塩功貴，松本佳子，鈴木聡，岩館学，中野恵一，水沼廣，鈴木悟，志村浩己. 甲状腺用語診断基準委員会企画「小児の甲状腺超音波所見」3. 小児甲状腺癌のリンパ節転移の超音波所見. 第47回日本乳癌甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web.

岩館学，松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，山谷幸恵，金子裕眠，志村浩己，鈴木眞一. 特別企画3：濾胞性腫瘍に対する画像診断の工夫と追加補助診断 甲状腺結節に対する血流評価とエラストグラフィを組み合わせた鑑別診断. 第54回日本内分泌外科学会学術大会; 20211029; Web.

金子垂矢，大沼秀知，熊谷麻子，佐藤ゆかり，松田美津子，山寺幸雄，志村浩己，風間順一郎. 心エコー図検査が正しい診断につながった成人先天性心疾患の1例. 令和3年度日臨技北日本支部医学検査学会（第9回）；20211101-30; Web. 抄録集. 48.

幕田倫子，松田美津子，石橋伸治，山寺幸雄，志村浩己. 腹部超音波検査が経過観察に有用であった非肝硬変性肝外門脈大循環短絡の1例. 令和3年度日臨技北日本支部医学検査学会（第9回）；20211101-30; Web. 抄録集. 51.

鈴木崇斗，松田美津子，佐藤ゆかり，堀越由紀子，山寺幸雄，志村浩己. 肥満患者において CAVI が過少評価となる要因の検討. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 59(92):35.

小川斗夢，松田美津子，石橋伸治，山寺幸雄，志村浩己. VA 造設により鎖骨下動脈盗血現象をきたした1例. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき. 一般社団法人福島県臨床検査技師会誌. 59(92):38.

金子裕眠，高橋智里，松本佳子，岩館学，鈴木眞一，志村浩己. Digital PCR 法を用いた甲状腺癌の細胞診検体における遺伝子変異同定の検討. 第68回日本臨床検査医学会学術集会; 20211111-14; 富山. 日本臨床検査医学会誌. 69(補冊):108.

鈴木英明，小菅優子，小林浩二，黒崎祥史，石井直仁，市川尊文，志村浩己. ヒートショックプロテイン 72 はADP およびコラーゲンによる血小板凝集を亢進させ血栓形成に関与する. 第68回日本臨床検査医学会学術集会; 20211111-14; 富山. 日本臨床検査医学会誌. 69(補冊):125.

志村浩己，金子裕眠，高橋智里，山谷幸恵，塩功貴，松本佳子，岩館学，鈴木眞一. Digital PCR 法を用いた甲状腺癌の細胞診検体における TERT 遺伝子変異同定の検討. 第64回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(5):1134.

瀬藤乃理子，吉田房江，行形裕子，鈴木悟，岩館学，横谷進，志村浩己. 福島県県民健康調査における甲状腺検査二次検査の受診者とその家族に対するアンケート調査 第2報：家族の不安の推移と関連要因. 第64回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(5):1163.

〔シンポジウム〕

Shimura H, Kamiya K. Current progress and future challenges of Thyroid Ultrasound Examination Program in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association; 20210121-22; Web(Seoul, Korea).

志村浩己. セッション2「甲状腺検査の現況と展望」2-1 甲状腺検査の現状と検査3回目までの結果. 2021年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; 福島/Web.

志村浩己. 人間ドックにおける甲状腺超音波検診の問題点とその対策. 第46回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-0615; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 10(2):50.

志村浩己, 鈴木眞一. 日本乳腺甲状腺超音波医学会甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医の概要. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S390.

志村浩己. 甲状腺結節の超音波診断とFNAC実施におけるリスク評価の海外のガイドラインとの比較. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S594.

志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の創設の目的と概要. 第33回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S60.

Shimura H. Management of papillary thyroid microcarcinoma with the implementation guideline of FNAC in Japan. 第47回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 10(4):90.

〔特別講演〕

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状. 第94回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):208.

志村浩己. 甲状腺超音波のみかた. 第34回日本臨床内科医学会; 20210919-20; Web. 日本臨床内科医会誌. 36(3):s61.

志村浩己. 福島県県民健康調査甲陽線検査における超音波ガイド下穿刺吸引細胞診の実際. 第47回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 10(4):104.

感染制御学講座

論文

〔原著〕

Yamashita Y, Maruyama Y, Satokawa H, Nishimoto Y, Tsujino I, Sakashita H, Nakata H, Okuno Y, Ogihara Y, Yachi S, Toya N, Shingaki M, Ikeda S, Yamamoto N, Aikawa S, Ikeda N, Hayashi H, Ishiguro S, Iwata E, Umetsu M, Kondo A, Iwai T, Kobayashi T, Mo M, Yamada N; Taskforce of VTE and COVID-19 in Japan

Study. Incidence and clinical features of venous thromboembolism in hospitalized patients with coronavirus disease 2019 (COVID-19) in Japan. *Circulation Journal*. 202111; 85(12):2208-2214.

Kitai Y, Sato K, Tanno D, Yuan X, Umeki A, Kasamatsu J, Kanno E, Tanno H, Hara H, Yamasaki S, Saijo S, Iwakura Y, Ishii K, Kawakami K. Role of Dectin-2 in the phagocytosis of *Cryptococcus neoformans* by dendritic cells. *Infection and Immunity*. 202109; 89(10):e0033021.

Suzuki Y, Tanino Y, Nikaido T, Minemura H, Umeda T, Rikimaru M, Onuma T, Naito S, Takiguchi Y, Tomita H, Kawamata T, Togawa R, Sato Y, Uematsu M, Morimoto J, Kitakawa K, Tsukada Y, Nakamura K, Kanemitsu K, Iseki K, Shibata Y. Severe Coronavirus Disease 2019 That Recovered from Respiratory Failure by Treatment That Included High-dose Intravenous Immunoglobulin. *Internal Medicine*. 202102; 60(3):457-461.

Oishi R, Nakamura K, Yahagi Y, Ohashi K, Takano Y, Harada R, Obara S, Inoue S, Kanemitsu K, Murakawa M. Evaluation of microbial contamination on cuff syringe, cuff pressure gauge, and their surroundings in the operating room. *JA Clinical Reports*. 202112; 7(1):83.

Nakamura K, Hara Y, Harada R, Tanno D, Kashiwazaki J, Kobari S, Kitabatake M, Yui S, Ohashi K, Hidaka T, Arai K, Kanemitsu K. Evaluation of the antimicrobial effectiveness of ozonated water for handwashing in the presence of organic material contamination using the ASTM E2946-13 standard test method. *Journal of Food Protection*. 202111; 84(11):1922-1924.

Toyokawa M, Ohana N, Ueda A, Imai M, Tanno D, Honda M, Takano Y, Ohashi K, Saito K, Shimura H. Identification and antimicrobial susceptibility profiles of *Nocardia* species clinically isolated in Japan. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16742.

Sato K, Matsumoto I, Suzuki K, Tamura A, Shiraiishi A, Kiyonari H, Kasamatsu J, Yamamoto H, Miyasaka T, Tanno D, Miyahara A, Zong T, Kagesawa T, Oniyama A, Kawamura K, Kitai Y, Umeki A, Kanno E, Tanno H, Ishii K, Tsukita S, Kawakami K. Deficiency of lung-specific claudin-18 leads to aggravated infection with *Cryptococcus neoformans* through dysregulation of the microenvironment in lungs. *Scientific Reports*. 202110; 11(1):21110.

仲村 究. 【感染症診療これだけエッセンシャル 外来・在宅・高齢者施設でなにを？どこまで？】シチュエーション別 在宅医療において 感染症治療を行う上での注意点、内服困難な患者における吸入・点滴治療など. *G ノート*. 202104; 8(3):482-488.

橋本重厚, 大井川百合, 小野寺健士, 一条和枝, 金澤ヨオ子, 小針健大, 山中克郎, 原靖果, 仲村 究, 金光敬二, 大田雅嗣. 【COVID-19 感染拡大状況における医療安全】福島県立医科大学会津医療センター附属病院における COVID-19 院内クラスターの発生と対応. *安全医学*. 202105; 17(2):24-29.

丹野大樹, 庄司龍弥, 坂本有子, 高野由喜子, 大橋一孝, 豊川真弘, 山寺幸雄, 志村浩己. GBS スクリーニング検査における新規 GBS 増菌培地の基礎的検討とラテックス凝集法併用の有用性. *医学検査*. 202101; 70(1):15-22.

二見花菜, 澤田貴稔, 原靖果, 緑川雄貴, 緑川夏紀, 森祐介. 鎖骨骨幹部骨折に対する早期の観血的整復固定術は呼吸機能に影響するか. 東北整形災害外科学会雑誌. 202106; 64(1):10-12.

仲村究, 原靖果, 金光敬二. 【呼吸器症候群（第3版）—その他の呼吸器疾患を含めて—[IV]】呼吸器感染症 細菌感染症 百日咳. 別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ. 202111; No.20:41-45.

研究発表等

〔研究発表〕

Tanno D, Saito K, Ohashi K, Toyokawa M, Yamadera Y, Shimura H. A Novel Strategy Using MALDI-TOF MS for Rapid Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women. World Microbe Forum, An ASM & FEMS Collaboration Congress; 20210620-24; Web.

金光敬二. 新型コロナウイルス感染症の対策～これまでの歩み ここからの歩み～. シスメックスイムノロジーセミナーin 仙台; 20210116; 仙台.

金光敬二. 福島県における新型コロナウイルス感染の現状. 令和2年度看護管理者新春のつどい; 20210116; 郡山.

仲村究. 多分野から見る感染症との闘い. 令和2年度第51回市民大学講座; 20210117; 福島.

仲村究. 新型コロナウイルス感染症の今. 郡山市議会議員研修会; 20210126; 郡山.

仲村究. 新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の課題. 福島県青色申告連合会新春研修会; 20210202; 福島.

金光敬二. 感染症の診断と治療について. 感染症 Live Seminar In Fukushima; 20210203; 福島.

仲村究. 新型コロナウイルスワクチン接種の有効性と安全性. 新型コロナウイルスワクチン接種に係る職員研修会; 20210302; 南相馬.

仲村究. 県内のクラスター事例への対応協力の振り返り. 第10回福島感染制御ネットワークセミナー; 20210313; Web.

金光敬二. COVID19の経緯と今後. 令和2年度学術講演会; 20210324; 福島.

金光敬二. 新型コロナウイルス感染症における今後の展開. 令和2年度救急医療研修会; 20210331; 福島.

金光敬二. 地域における感染症医の役割. 第95回日本感染症学会学術講演会・第69回日本化学療法学会総会合同学会; 20210507-09; 横浜.

丹野大樹, 富井康明, 中塚由香利, 上地幸平, 大橋一孝, 羽田敦子, 豊川真弘. 妊婦GBSスクリーニング検査におけるGBS選択増菌培地の有用性評価—全国多施設共同研究報告—. 第95回日本感染症学会学術講演会・第69回日本化学療法学会総会合同学会; 20210507-09; 横浜.

原靖果. サービス付き高齢者向け住宅における感染予防対策. 新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会; 20210524; 郡山.

仲村究. オリンピックとメディカルサポート. JOSKAS/JOSSM meeting 2021; 20210618; 札幌.

仲村究. 医療機関等におけるクラスター対策の実際. シスメックスイムノロジーセミナー; 20210626; Web.

金光敬二. 新型コロナウイルス感染症を通観する. 二本松薬剤師会第3回感染症セミナー; 20210707; 二本松.

仲村究. 新型コロナウイルスに関する基礎知識2: クラスター対策に関する解説. 高齢者施設職員向け新型コロナウイルス感染対策セミナー; 20210803-07; Web.

仲村究. 新型コロナウイルスの検査法: PCR 検査と抗原検査の違いと活用法. 高齢者施設職員向け新型コロナウイルス感染対策セミナー; 20210803-07; Web.

仲村究. 新型コロナウイルス感染症の最近の動向について. 令和3年度郡山看護業務連絡協議会研修会; 20210803; 郡山.

金光敬二. 県内の新型コロナウイルス感染症について. 肺炎 Webinar in Fukushima; 20210916; 福島.

仲村究. AMR 体制下における肺炎治療について. 肺炎 Webinar in Fukushima; 20210916; 福島.

金光敬二. COVID-19 の感染対策と地域連携. 第36回日本環境感染学会総会・学術集会; 20210920; 名古屋.

仲村究. カンジダ症の感染制御. 第36回日本環境感染学会総会・学術集会; 20210919; 名古屋.

金光敬二. 新型コロナウイルス感染症対策と社会に与える影響. 福島県中小企業家同友会第30期同友会大学; 20210928; Web.

仲村究. WRS におけるイベントコントロール. 県北感染症地域公開講座; 20211015; 福島.

金光敬二. 新型コロナウイルスの感染メカニズムと人の免疫について. 令和3年度勤労青少年ホーム事業「ナイトカレッジ」; 20211019; 郡山.

仲村究. 新型コロナウイルスクラスター対策を通じて気付いたこと. 令和3年度新興・再興感染症対策特別講演会; 20211023; Web.

仲村究. COVID-19 クラスターへの対応事例と今後の課題. 第7回福島県感染看護研究会; 20211120; 郡山.

仲村究. 呼吸器感染症の診断・治療のポイント. 第7回福島県薬剤師感染制御・抗菌化学療法研究会 Web 研修会; 20211211; Web.

仲村究. 真菌感染症の診断と治療. 真菌感染症勉強会; 20211221; 福島.

〔シンポジウム〕

仲村 究. 節足動物が媒介する感染症. 第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第68回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会; 20211029; 東京.

〔その他〕

仲村 究. COVID-19 クラスター対応事例から学ぶ感染対策の基本. 第69回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学術講演会; 20210718; 福島.

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

論 文

〔原 著〕

Neupane P, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Ito M, Thar Min AK, Saito K, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. The Expression of Immune Checkpoint Receptors and Ligands in the Colorectal Cancer Tumor Microenvironment. *Anticancer Research*. 202110; 41(10):4895-4905.

Ueda K, Kumari R, Schwenger E, Wheat JC, Bohorquez O, Narayanagari SR, Taylor SJ, Carvajal LA, Pradhan K, Bartholdy B, Todorova TI, Goto H, Sun D, Chen J, Shan J, Song Y, Montagna C, Xiong S, Lozano G, Pellagatti A, Boulwood J, Verma A, Steidl U. MDMX acts as a pervasive preleukemic-to-acute myeloid leukemia transition mechanism. *Cancer Cell*. 202104; 39(4):529-547.e7.

Min AKT, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Therapeutic potential of anti-VEGF receptor 2 therapy targeting for M2-tumor-associated macrophages in colorectal cancer. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202102; 70(2):289-298.

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promoter hypermethylation. *Carcinogenesis*. 202102; 42(1):21-30.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Waragai T, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effectiveness of T-Cell Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Refractory/Relapsed B Cell Acute Lymphoblastic Leukemia in Children and Adolescents. *Frontiers in Pediatrics*. 202110; 9:743294.

Yamada L, Saito M, Thar Min AK, Saito K, Ashizawa M, Kase K, Nakajima S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Selective sensitivity of EZH2 inhibitors based on synthetic lethality in ARID1A-deficient gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202101; 24(1):60-71.

Mimura K, Kua LF, Xiao JF, Asuncion BR, Nakayama Y, Syn N, Fazreen Z, Soong R, Kono K, Yong WP. Combined inhibition of PD-1/PD-L1, Lag-3, and Tim-3 axes augments antitumor immunity in gastric cancer-T cell coculture models. *Gastric Cancer*. 202105; 24(3):611-623.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Morishita S, Komatsu N, Ikeda K, Takeishi Y. Crucial role of hematopoietic *JAK2V617F* in the development of aortic aneurysms. *Haematologica*. 202107; 106(7):1910-1922.

Shima E, Go H, Maeda H, Ogasawara K, Imamura T, Sasaki M, Koh Y, Nollet KE, Ikeda K, Ohto H, Hosoya M. Down syndrome with neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-HLAA31 and B61 antibodies. *International Journal of Hematology*. 202106; 113(6):945-949.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and *JAK2V617F* mutations in patients with cardiovascular disease. *JACC: CardioOncology*. 202103; 3(1):134-136.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, Nollet KE, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving *Calr* frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. *Journal of Hematology & Oncology*. 202103; 14(1):52.

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant chemotherapy induces IL-34 signaling and promotes chemoresistance via tumor-associated macrophage polarization in esophageal squamous cell carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Ueda K, Steidl U. Epigenetic Achilles' heel of AML. *Nature Cancer*. 202105; 2(5):481-483.

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Iwama A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with *JAK2V617F* promotes pulmonary hypertension with *ALK1* upregulation in lung neutrophils. *Nature Communications*. 202110; 12(1):6177.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal

squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Takahashi N, Mochizuki K, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Decline of serum albumin precedes severe acute GVHD after haploidentical HSCT. *Pediatrics International*. 202109; 63(9):1048-1054.

Nakano H, Saito M, Nakajima S, Saito K, Nakayama Y, Kase K, Yamada L, Kanke Y, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Goto A, Kono K. PD-L1 overexpression in EBV-positive gastric cancer is caused by unique genomic or epigenomic mechanisms. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1982.

Nakajima S, Mimura K, Matsumoto T, Thar Min AK, Ito M, Nakano H, Neupane P, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Momma T, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Kono K. The effects of T-DXd on the expression of HLA class I and chemokines CXCL9/10/11 in HER2-overexpressing gastric cancer cells. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16891.

Tamai Y, Ohto H, Takahashi H, Kitazawa J; Pediatric RBC Alloimmunization Consortium. Transfusion-Related Alloimmunization to Red Blood Cell Antigens in Japanese Pediatric Recipients. *Transfusion Medicine Reviews*. 202101; 35(1):29-36.

Tamai Y, Ohto H, Yasuda H, Takeshita A, Fujii N, Ogo H, Yazawa Y, Hato T, Mitani K, Suzuki K, Yokohama A, Kato Y, Abe M, Kumagawa M, Ueda Y, Nollet KE, Cooling L, Kitazawa J; Pediatric RBC Alloimmunization Consortium. Allo-anti-M: Detection peaks around 2 years of age, but may be attenuated by red blood cell transfusion. *Transfusion*. 202109; 61(9):2718-2726.

Furumaki H, Takeshita A, Ohto H, Yamada C, Fujihara H, Ishizuka K, Shibata H, Shinba T, Nemoto N, Ino K, Ozawa A, Watanabe H, Kawabata K, Obata Y. A newly devised flow cytometric antibody binding assay helps evaluation of dithiothreitol treatment for the inactivation of CD38 on red blood cells. *Vox Sanguinis*. 202107; 116(6):725-734.

Tanaka A, Yokohama A, Fujiwara SI, Fujii Y, Kaneko M, Ueda Y, Abe T, Kato Y, Hasegawa Y, Ikeda K, Fujino K, Matsumoto M, Makino S, Kino S, Takeshita A, Muroi K. Transfusion-associated circulatory overload and high blood pressure: A multicentre retrospective study in Japan. *Vox Sanguinis*. 202108; 116(7):785-792.

望月翔太郎, 山田玲央, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 中島隆宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 術前確定診断された肺癌胃転移に対して腹腔鏡下切除術を施行した1例. *癌と化学療法*. 202108; 48(8):1057-1060.

三村耕作, 菊池智宏, 河野浩二. 【腸内細菌とがん微小環境のかかわり】大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌と腫瘍浸潤免疫担当細胞の関連について. *癌と化学療法*. 202109; 48(9):1093-1095.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野

浩二. ミスマッチ修復機構欠損大腸癌における糖鎖抗原を標的とした免疫療法の可能性. 癌と化学療法. 202110; 48(10):1275-1277.

仲野宏, 渡辺洋平, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う胃十二指腸動脈瘤により出血性十二指腸潰瘍をきたした1例. 日本腹部救急医学会雑誌. 202109; 41(6):449-452.

過年業績

奥田誠, 池本純子, 石丸健, 内川誠, 梶原道子, 北澤淳一, 国分寺晃, 小山典久, 竹下明裕, 三浦邦彦, 安田広康, 松本雅則, 松下正. 赤血球型検査 (赤血球系検査) ガイドライン (改訂3版). 日本輸血細胞治療学会誌. 202012; 66(6):695-717.

〔総説等〕

池田和彦. 【慢性骨髄性白血病 (CML) および骨髄増殖性腫瘍 (MPN) 診療の最近の進歩】 原発性骨髄線維症に対する治療戦略. 血液内科. 202103; 82(3):355-362.

〔その他〕

藤原慎一郎, 竹下明裕, 室井一男, 池田和彦, 紀野修一, 田中朝志, 長谷川雄一, 藤野恵三, 牧野茂義, 松本真弓, 横濱章彦. 【二次出版】 Secondary Publication 非血縁ドナーからの骨髄採取における自己血輸血の臨床的意義. 日本輸血細胞治療学会誌. 202102; 67(1):58-64.

阿部真, 國井華子, 北澤淳一, 日本輸血・細胞治療学会東北支部情報委員会. 例会を Web で 自分たちの力と創意工夫で Web 開催. 日本輸血細胞治療学会誌. 202112; 67(6):607-613.

君島勇輔, 三阪智史, 竹石恭知, 池田和彦. 肺高血圧症の発症の仕組み 血液細胞の遺伝子変異の関与を解明. 福島民報. 20211029; 26.

君島勇輔, 三阪智史, 竹石恭知, 池田和彦. 難病・肺高血圧症を解明. 福島民友. 20211029; 3.

著 書・訳 書

池田和彦, 菊田敦. XII-1-4) 顆粒球輸血療法と顆粒球. In: 菅野仁, 長村登紀子 編集者代表. 細胞治療認定管理師制度指定カリキュラム. 東京: 中外医学社; 202108. p.143-147.

亀崎健次郎, 日野雅之, 中世古知昭, 田野崎隆二, 池田和彦, 矢部普正, 井上雅美, 牧野茂義, 安井昌博, 井口晶裕, 豊嶋崇徳, 宮本敏浩 (日本造血・免疫細胞療法学会ガイドライン委員会 造血幹細胞採取部会). 造血細胞移植ガイドライン 造血幹細胞採取 (JSTCT monograph Vol.82). 日本造血・免疫細胞療法学会; 202109.

池田和彦. Q&A. In: 骨髄増殖性腫瘍患者・家族会 MPN-JAPAN. 骨髄増殖性腫瘍について 第8版. 2021.

研究発表等

〔研究発表〕

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Iwama A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. Cardiovascular and Metabolic Week 2020: 37th Annual Meeting of the ISHR-Japanese Section; 20210312-13; Web.

皆川敬治, 佐藤友香, 高橋沙樹, 渡邊万央, 小野智, 川畑絹代, 安斎紀, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. KMRtype を用いた移植後キメラリズム評価に向けた検討. 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):479.

玉井佳子, 大戸斉, 安田広康, 竹下明裕, 藤井伸治, 小郷博昭, 矢澤百合香, 羽藤高明, 三谷絹子, 鈴木啓二郎, 横濱章彦, 加藤陽子, 阿部操, 熊川みどり, 上田恭典, Nollet Kenneth E, Cooling Laura, 北澤淳一, 小児輸血協議会. 未成年において検出された抗 M の特徴 (小児多施設共同研究の結果から). 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):480.

北澤淳一, 松岡佐保子, 浜口功. 血液製剤を対象にしたトレーサビリティ構築に関する研究. 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):482-483.

高橋信久, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 大原喜裕, 工藤新吾, 池田和彦, 坂田尚己, 菊田敦. ALK 阻害剤で寛解導入し施行した造血幹細胞移植後再発未分化大細胞型リンパ腫に対する T 細胞充満ハプロ移植. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会; 20210305-07; 東京/Web.

原口京子, 奥山美樹, 高橋敦子, 高橋典子, 高杉淑子, 橋本京子, 金子誠, 池田和彦, 長村登紀子, 高梨美乃子, 上田恭典, 田野崎隆二. 非血縁者間末梢血幹細胞移植における採取施設と移植施設の CD34 測定値に関する実態調査. 第 43 回日本造血細胞移植学会総会; 20210305-07; 東京/Web.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Sugimoto K, Ishida T, Ikeda K, Takeishi Y. Crucial role of JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm on the development of aortic aneurysm. Cardiovascular and Metabolic Week 2020: 第 28 回日本血管生物医学会学術集会; 20210312-13; Web.

阿部真, 國井華子, 北澤淳一, 日本輸血・細胞治療学会東北支部情報委員会. 支部例会の Web 開催について. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):281.

玉井佳子, 大戸斉, 藤井伸治, 小郷博昭, 矢澤百合香, 谷内田尚美, 羽藤高明, 土居靖和, 三谷絹子, 篠原茂, 鈴木啓二郎, 山本晃士, 横濱章彦, 木村かよ子, 加藤陽子, 阿部操, 熊川みどり, 上田恭典, 北澤淳一, 小児輸血協議会. 未成年者 (20 歳未満) の抗 M 保有に関する多施設共同研究. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):297.

皆川敬治, 佐藤友香, 高橋沙樹, 渡邊万央, 小野智, 川畑絹代, 池田和彦. KMRtype における日本人の識別率. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):324.

牧野茂義, 菅野仁, 岡本好雄, 北澤淳一, 山本晃士, 安村敏, 米村雄士, 横濱章彦, 松下正. 改善されてきたわが国の輸血医療、その現状と課題. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):336.

薬師神公和, 吉原哲, 池田和彦, 石田明, 大戸斉, 小原明, 梶原道子, 菊田敦, 原田京子, 藤原慎一郎, 藤原実名美, 山崎理絵, 長村登紀子, 田野崎隆二, 奥山美樹, 藤盛好啓, 上田恭典. 本邦の細胞治療（造血幹細胞採取等）に関する実態調査（細胞治療合同委員会造血幹細胞移植関連委員会からの報告）その 1. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):339.

吉原哲, 薬師神公和, 池田和彦, 石田明, 大戸斉, 小原明, 梶原道子, 菊田敦, 原田京子, 藤原慎一郎, 藤原実名美, 山崎理絵, 長村登紀子, 田野崎隆二, 奥山美樹, 藤盛好啓, 上田恭典. 本邦の細胞治療（造血幹細胞採取等）に関する実態調査（細胞治療合同委員会造血幹細胞移植関連委員会からの報告）その 2. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):340.

小野智, 皆川敬治, 佐藤友香, 高橋沙樹, 渡邊万央, 川畑絹代, 植田航希, 安斎紀, 池添隆之, 菊田敦, 池田和彦. HLA-KMR assay を用いた造血幹細胞移植患者の移植後キメラリズムモニタリングの検討. 第 29 回日本組織適合性学会大会; 20210903-05; Web. 日本組織適合性学会誌. 28(2):103.

本田昌樹, 能登谷武, 奥津美穂, 國井華子, 高館潤子, 奈良崎正俊, 成田香魚子, 佐々木俊一, 北澤淳一. デジタルツールを活用した検査技師教育の試み. 第 119 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210911; 福島/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(6):623.

〔シンポジウム〕

田中朝志, 奥田誠, 北澤淳一, 藤田浩, 長井一浩, 高梨一夫, 石田明, 長谷川雄一. 輸血製剤の有効利用に向けての各方面での取り組み 厚労省研究班での検討結果と今後の展望. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):230.

池田和彦. 造血細胞の輸注時有害事象. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):234.

Ikeda K, Misaka T, Kimishima Y, Yokokawa T, Minakawa K, Ueda K, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Nakajima O, Iwama A, Takeishi Y. Hematopoietic cells with MPN driver mutations promote pulmonary hypertension. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

Minakawa K, Sato Y, Ueda K, Takahashi S, Watanabe M, Ono S, Kawabata K, Ikezoe T, Kikuta A, Ikeda K. Chimerism analysis by novel KMRtype reagent for Japanese allo-HSCT recipients. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

Ikeda K, Misaka T, Kimishima Y, Yokokawa T, Minakawa K, Ueda K, Iwama A, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis (CH) with JAK2-V617F mutation promotes pulmonary hypertension (PH) through ALK1

(Acvrl1). 第 80 回日本癌学会学術総会; 20210930-1002; 横浜/Web.

〔特別講演〕

池田和彦. 骨髄増殖性腫瘍におけるドライバー変異と心血管系合併症. MPN WEB Seminar; 20211125; Web.

〔招待講演〕

池田和彦. 診療における JAK2 変異解析検査の意義. Novartis Hematology Web Seminar; 20211216; Web.

〔その他〕

阿部真, 國井華子, 北澤淳一, 日本輸血・細胞治療学会東北支部情報委員会. 支部例会の Web 開催について 東北支部情報委員会の活動を通じて. 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):483.

安田広康. 赤血球型検査（赤血球系検査）ガイドライン改訂 3 版の改正点. 輸血テクニカルセミナー2020; 20210320; Web.

北澤淳一. 在宅・小規模施設での輸血. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):243.

池田和彦. 採取モードの違いを理解しよう：OptiaMNC モードと CMNC モード. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):266.

高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 渡邊万央, 山田舞衣子, 皆川敬治, 渡部文彦, 小野智, 川畑絹代, 奥津美穂, 菅原亜紀子, 三浦里織, 三村耕作, 池田和彦. 当院における初療室常備赤血球製剤の使用実態について. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):329.

池田和彦 (Abstract Reviewer) . AABB Virtual 2021; 20210919; Web.

玉井佳子, 大戸斉, 北澤淳一. 【認定輸血検査技師更新必須講座】新生児期の赤血球輸血では同種抗体産生を認めない 未成年者の抗赤血球抗体に関する多施設共同研究解析結果. 第 28 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム; 20211008-09; 浜松/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(5):巻末 59.

高橋直人, 池田和彦, 村井一範, 近藤健, 和泉透. CML 治療の現在と未来 第 3 世代 TKI アイクルシグへの期待. 大塚製薬株式会社 アイクルシグ座談会; 20211111; Web. 記録集. 01-05.

池田和彦. 活性化好中球を標的とした心血管疾患に対する新規治療法の開発. ライフサイエンス～医療系大学～新技術説明会; 20211118; Web.

その他の業績・作品等

池田和彦. 輸血：どんな治療？治療を受けるべき人は？治療内容や代替手段、リスク、合併症は？ お医者さんオンライン; 20201111-.

地域・家庭医療学講座

論文

〔原 著〕

Olde Hartman TC, Bazemore A, Etz R, Kassai R, Kidd M, Phillips RL Jr, Roland M, van Boven K, van Weel C, Goodyear-Smith F. Developing measures to capture the true value of primary care. BJGP Open. 202104; 5(2):BJGPO.2020.0152.

Noknøy S, Kassai R, Sharma N, Nicodemus L, Canhota C, Goodyear-Smith F. Integrating public health and primary care: the response of six Asia-Pacific countries to the COVID-19 pandemic. British Journal of General Practice. 202107; 71(708):326-329.

Tsuboi S, Mine T, Kanke S, Ohira T. All-Cause mortality after the great East Japan earthquake in Fukushima Prefecture: trends from 2009 to 2016 and variation by displacement. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202112; 15(6):703-706.

van Weel-Baumgarten E, Benson J, Hoshi G, Hurle C, Mendive J, Dowrick C, Kassai R. Co-creation and collaboration: A promising approach towards successful implementation. Experience from an integrated communication and mental health skills training programme for Japanese General Practice. Patient Education and Counseling. 202110; 104(10):2386-2392.

〔総説等〕

葛西龍樹. 質の高いプライマリ・ヘルス・ケア専門職の育成を急げ. 健康保険. 202108; 75(8):14-19.

菅家智史. プライマリ・ケアの理論と実践（第 86 回） 行動変容に取り組む医療者の心の持ち方 行動を変えない患者にイライラしてしまう！ 日本医事新報. 202101; (5046):12-13.

〔その他〕

中澤祐太郎, Stanyon M, 菅家智史, 井伊雅子, 葛西龍樹. ビデオレビューを積極的に取り入れたカナダでの家庭医療専門研修～家庭医療先進国研修ツアー報告～. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 202103; 44(1):20-22.

著 書・訳 書

葛西龍樹（監訳）. In: Stewart Moira, Brown Judith Belle, Weston W Wayne, McWhinney Ian R, McWilliam Carol L, Freeman Thomas R. 患者中心の医療の方法 原著第3版. 東京: 羊土社; 202104.

菅家智史. ビデオレビューのプロセスとポイント. In: 日本プライマリ・ケア連合学会 編. 日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック 改訂3版. 東京: 南山堂; 202112. p.482-488.

研究発表等

〔研究発表〕

吉田一隆, 中村光輝, 菅家智史, 星吾朗, 後藤あや, 葛西龍樹. 家庭医診療所における家庭医と看護師による患者の孤独の気づきに関する横断研究. 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20210521-23; Web.

〔シンポジウム〕

菅家智史. AYA がん医療におけるプライマリ・ケアの可能性. 第3回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会; 20210321; Web.

菅家智史. インタラクティブセッション 家庭医療専門研修・総合診療専門研修におけるビデオレビューのノウハウ. 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20210521-23; Web.

菅家智史. これからの『がん診療』の話をしよう～がん患者と家族を地域で支えていくために～. 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 20210521-23; Web.

Kassai R. The Patient-Centered Clinical Method: Qualitative Studies. Nozawa Research Meeting; 20210821; 野沢温泉村.

〔招待講演〕

Kassai R. Fukushima - 10 Years On. Australia Japan Society Queensland Inc Online Event; 20210331; Web.

菅家智史. そうだったのか! 患者中心の医療. 第18回秋季生涯教育セミナー; 20210920; Web.

菅家智史. 行動変容を引き出すコミュニケーション. 新潟県看護協会研修会; 20211018; 新潟.

Kassai R. 2011 Japan Tsunami Experience & Fukushima Nuclear Disaster. 23rd World Conference of Family Doctors 2021; 20211122-27; Web.

葛西龍樹. 令和3年度元気モールを核とした心の復興プロジェクト事業. 震災復興 with コロナ学習会 2021; 20211202; 南相馬.

葛西龍樹. 医療で何を学ぶのか ～プライマリ・ヘルス・ケアの観点から～. 福島県立原町高等学校 県立医大教授による医療系講演会; 20211221; 南相馬.

〔その他〕

中村光輝, 菅家智史, 星吾朗, 菅藤佳奈子, 森冬人, 本多由李恵, 遠藤芽依, 岡崎愛弥伽, 原國悠, 佐々木聡子. 家族まるごと診るっておもしろい! ～事例で学ぶ、家族志向ケアのエッセンス～. 第33回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー; 20210807; Web.

菅家智史. アドバンス・ケア・プランニング. 令和3年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療体制整備事業」本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会; 20210829; Web.

菅家智史. アドバンス・ケア・プランニング. 令和3年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療体制整備事業」本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会; 20210926; Web.

放射線健康管理学講座

論 文

〔原 著〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. Development of an application tool to support returnees in Fukushima. Annals of the ICRP. 202106; 50(1_suppl):187-193.

Hori A, Sawano T, Ozaki A, Tsubokura M. Exacerbation of Subthreshold PTSD Symptoms in a Great East Japan Earthquake Survivor in the Context of the COVID-19 Pandemic. Case Reports in Psychiatry. 202102; 2021:6699775.

Ozaki A, Kanemoto Y, Wada M, Kurokawa T, Kawamoto A, Sawano T, Bhandari D, Tsubokura M, Tanimoto T, Ejiri T, Kanzaki N. A call for individualized evacuation strategies for floods: A case report of secondary surgical site infection in a postsurgery breast cancer patient in Fukushima, Japan, following Typhoon Hagibis in 2019. Clinical Case Reports. 202101; 9(3):1212-1214.

Shimazu Y, Kobashi Y, Zhao T, Nishikawa Y, Sawano T, Ozaki A, Obara D, Tsubokura M. Mental distress in a clinical nurse due to a false-positive COVID-19 antibody test result during the COVID-19 epidemic in Japan: A case report. Clinical Case Reports. 202105; 9(5):e04122.

Saito H, Nishikawa Y, Mizuno Y. Patient Outcomes and Environment May Affect Adherence to *Helicobacter pylori* Testing. *Clinical Gastroenterology and Hepatology*. 202106; 19(6):1297-1298.

Ozaki A, Kanemoto Y, Morita T, Nishikawa Y, Sawano T, Fujioka S, Shimada Y, Higuchi A, Tsubokura M, Kanzaki N. Nail Wound and Cellulitis Following Typhoon Hagibis in Fukushima, Japan. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202110; 15(5):540-542.

Ohba T, Tanigawa K, Liutsko L. Evacuation after a nuclear accident: Critical reviews of past nuclear accidents and proposal for future planning. *Environment International*. 202103; 148:106379.

Nomura S, Murakami M, Ozaki A, Sawano T, Leppold C, Nishikawa Y, Saito H, Oikawa T, Tsubokura M. Comparative risk assessment of non-communicable diseases by evacuation scenario: a retrospective study in the 7 years following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. *Global Health Action*. 202101; 14(1):1918886.

Ozaki A, Murakami M, Nomura S, Sawano T, Tsubokura M, Ono K, Takebayashi Y, Tsukada M, Yamaoka K, Nakata Y, Ohira H. Overall health information exposure, its barriers and impacts on attitude toward healthcare among cancer patients. The long-term aftermath of the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan: A single institution cross-sectional study. *Health Informatics Journal*. 202104; 27(2):1460458221996420.

Kobashi Y, Shimazu Y, Nishikawa Y, Kawamura T, Kodama T, Obara D, Tsubokura M. The difference between IgM and IgG antibody prevalence in different serological assays for COVID-19: lessons from the examination of healthcare workers. *International Immunopharmacology*. 202103; 92:107360.

Kobashi Y, Nishikawa Y, Kawamura T, Kodama T, Shimazu Y, Obara D, Zhao T, Tsubokura M. Seroprevalence of SARS-CoV-2 antibodies among hospital staff in rural Central Fukushima, Japan: a historical cohort study. *International Immunopharmacology*. 202109; 98:107884.

Murakami M, Takebayashi Y, Ono K, Kubota A, Tsubokura M. Corrigendum to “The decision to return home and wellbeing after the Fukushima disaster” [*Int. J. Disaster Risk Reduct.* 47 (2020) 101538]. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202106; 60:102374.

Kobashi Y, Haque SE, Nishikawa Y, Morita T, Nagami H, Sakisaka K, Mubassara S, Tsubokura M. The Increase in Frequency of Protective Behavior against Pesticide Poisoning in Narail, Bangladesh through Use of an Easy Paper Checklist: an Interventional Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(17):9349.

Yumiya Y, Ohba T, Murakami M, Nakano H, Nollet KE, Goto A. User-Guided Design of a Digital Tool for Health Promotion and Radiation Protection: Results from an Internet Needs Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12007.

Orui M, Nakayama C, Moriyama N, Tsubokura M, Watanabe K, Nakayama T, Sugita M, Yasumura S. Those Who Have Continuing Radiation Anxiety Show High Psychological Distress in Cases of High Post-Traumatic Stress: The Fukushima Nuclear Disaster. *International Journal of Environmental Research and*

Public Health. 202111; 18(22):12048.

Ohba T, Goto A, Yumiya Y, Murakami M, Nakano H, Honda K, Nollet KE, Schneider T, Tanigawa K. Tailoring Digital Tools to Address the Radiation and Health Information Needs of Returnees after a Nuclear Accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12704.

Kobashi Y, Chou K, Slaiman N, Neun P, Hayashi Y, Tsubokura M, Okawada M. Improving the Rural-Urban Balance in Cambodia's Health Services. *International Journal of Health Policy and Management*. 202106; 10(6):358-359.

Kobashi Y, Cheam S, Hayashi Y, Tsubokura M, Ly V, Noun C, Kozuma T, Nit B, Okawada M. Regional Differences in Admission Rates of Emergency Patients Who Visited a Private General Hospital in the Capital City of Cambodia: A Three-Year Observational Study. *International Journal of Health Policy and Management*. 20210519; doi: 10.34172/ijhpm.2021.44.

Nishikawa Y, Suzuki C, Takahashi Y, Sawano T, Kinoshita H, Clero E, Laurier D, Phan G, Nakayama T, Tsubokura M. No significant association between stable iodine intake and thyroid dysfunction in children after the Fukushima Nuclear Disaster: an observational study. *Journal of Endocrinological Investigation*. 202106; 44(7):1491-1500.

Saito H, Nishikawa Y, Masuzawa Y, Tsubokura M, Mizuno Y. Helicobacter pylori Infection Mass Screening for Children and Adolescents: A Systematic Review of Observational Studies. *Journal of Gastrointestinal Cancer*. 202106; 52(2):489-497.

Saito H, Nishikawa Y, Masuzawa Y, Tsubokura M, Mizuno Y. Correction to: Helicobacter pylori Infection Mass Screening for Children and Adolescents: A Systematic Review of Observational Studies. *Journal of Gastrointestinal Cancer*. 202106; 52(2):498.

Neupane P, Bhandari D, Tsubokura M, Shimazu Y, Zhao T, Kono K. The Nepalese health care system and challenges during COVID-19. *Journal of Global Health*. 202102; 11:03030.

Nit B, Kobashi Y, Vory S, Lim S, Chea S, Ito S, Tsubokura M. The introduction of telemedicine is required immediately in Cambodia: Barriers and lessons from COVID-19. *Journal of Global Health*. 202103; 11:03047.

Tamaki T, Ozaki A, Sato H, Tsubokura M, Suzuki Y. Alleviating the consequences of nuclear disasters on views on radiation risks among physicians and patients: Fukushima experience. *Journal of Global Health*. 202104; 11:03069.

Yoshida M, Sawano T, Senoo Y, Ozaki A, Nishikawa Y, Zhao T, Saito H, Shimazu Y, Nonaka S, Moto Y, Yamamoto C, Tsubokura M. Importance of individualized disaster preparedness for hospitalized or institutionalized patients: Lessons learned from the legal revisions made to the Basic Act on Disaster Management in Japan following the Fukushima nuclear disaster. *Journal of Global Health*. 202110; 11:03108.

Murakami M, Takebayashi Y, Ono K, Tsubokura M. Risk trade-off analysis of returning home and radiation

exposure after a nuclear disaster using a happy life expectancy indicator. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i101-i106.

Sawano T, Shigetomi S, Ozaki A, Nishikawa Y, Hori A, Oikawa T, Maeda M, Tsubokura M. Successful emergency evacuation from a hospital within a 5-km radius of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: the importance of cooperation with an external body. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i122-i128.

Yasui K, Takebayashi Y, Motoya R, Aoki S, Horiuchi T, Hatsuzawa T, Nakano K, Ohba T, Yoshida K, Midorikawa S, Ohtsuru A, Murakami M. Trajectory and factors of radiation risk perception of students aged 10-12 years at the time of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. *Journal of Radiological Protection*. 202111; 41(4):1166-1183.

Murakami M, Tsubokura M. Deepening community-aligned science in response to wavering trust in science. *Lancet*. 202103; 397(10278):969-970.

Yamamoto C, Sawano T, Nishikawa Y, Ozaki A, Shimada Y, Morita T, Zhao T, Hasegawa A, Oikawa T, Tsubokura M. Evaluation of the emergency medical system in an area following lifting of the mandatory evacuation order after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: A retrospective cross-sectional observational study. *Medicine*. 202101; 100(25):e26466.

Ozaki A, Toyooki S, Tsukada M, Shimada Y, Kawamoto A, Wang JW, Bhandari D, Tsubokura M, Ohira H. Potential association of prolonged patient interval and advanced anatomic stage in breast cancer patients in the area affected by the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan: Retrospective observational study. *Medicine*. 202108; 100(32):e26830.

Murakami M, Miura F, Kitajima M, Fujii K, Yasutaka T, Iwasaki Y, Ono K, Shimazu Y, Sorano S, Okuda T, Ozaki A, Katayama K, Nishikawa Y, Kobashi Y, Sawano T, Abe T, Saito MM, Tsubokura M, Naito W, Imoto S. COVID-19 risk assessment at the opening ceremony of the Tokyo 2020 Olympic Games. *Microbial Risk Analysis*. 202112; 19:100162.

Suzuki Y, Zhao T, Tsubokura M. Once-Weekly Insulin for Type 2 Diabetes without Previous Insulin Treatment. *New England Journal of Medicine*. 202102; 384(8):e26.

Kosaka M, Kobashi Y, Kato K, Okawada M, Tsubokura M. Lessons from COVID-19's impact on medical tourism in Cambodia. *Public Health in Practice*. 202111; 2:100182.

Matsuo Y, Nakai K, Tatsuta N, Inanami O, Yamamoto K, Mizukawa H, Nagasaka H, Mizutani F, Chisaki Y, Aiba T, Ohba T, Watanabe I, Nabeshi H, Higuchi T, Koga Y, Matsumoto H, Nishimuta K, Miyamoto H, Haraguchi T, Ryuda N, Ueno D. Using the larvae of caddisfly as a biomonitor to assess the spatial distribution and effective half-life of radiocesium in riverine environments in Fukushima, Japan. *Physics Open*. 202102; 6:100060.

Sawano T, Ito N, Ozaki A, Nishikawa Y, Nonaka S, Kobashi Y, Higuchi A, Tsubokura M. Evacuation of

Residents in a Natural Disaster during the COVID-19 Era. QJM. 202111; 114(7):445-446.

Nirasawa T, Tsubokura M, Murakami M. Changes in radiation protection measures after the Fukushima Daiichi nuclear accident: Evaluation of meeting minutes of the Nuclear Regulation Authority, Japan. Radioprotection. 202104; 56(2):153-160.

Sawano T, Murakami M, Ozaki A, Nishikawa Y, Fukuda A, Oikawa T, Tsubokura M. Prevalence of non-communicable diseases among healthy male decontamination workers after the Fukushima nuclear disaster in Japan: an observational study. Scientific Reports. 202111; 11(1):21980.

Saito H, Ozaki A, Murakami M, Nishikawa Y, Sawano T, Fujioka S, Shimada Y, Zhao T, Oikawa T, Kanazawa Y, Tsubokura M. The long term participation trend for the colorectal cancer screening after the 2011 triple disaster in Minamisoma City, Fukushima, Japan. Scientific Reports. 202112; 11(1):23851.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, and Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. Studies in Health Technology and Informatics. 202105; 281:1091-1092.

伊東尚美. 列島ランナー 福島県相馬市の「相馬井戸端長屋」の取り組み 東日本大震災後の孤独死対策から、これからの地域の高齢者の暮らし方を考える. 公衆衛生. 202110; 85(10):687-690.

坪倉正治. 【東日本大震災から10年】東日本大震災から10年 福島原発事故による健康影響の現状とその取り組み. 心と社会. 202112; 52(4):32-36.

黒田佑次郎, 江本節子, 坪倉正治. 地域住民との協同による心の復興に関する聞き取り調査 南相馬市を事例として. 福島県保健衛生雑誌. 202103; 36:2-7.

Hori A, Sawano T, Ozaki A, Tsubokura M. The Importance of Providing Systematic Mental Health Care in the COVID-19 Pandemic: Reflecting on the 2011 Fukushima Nuclear Accident. リスク学研究. 202101; 30(2):97-99.

神田玲子, 本間俊充, 高原省五, 坪倉正治, 大迫政浩, 川口勇生, 加藤尊秋. 原子力災害の防護方策の意思決定 リスクトレードオフとステークホルダー関与. リスク学研究. 202104; 30(3):133-139.

過年業績

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Yoshida K, Yumiya Y, Honda K, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. Implementing eHealth with radiation records: a new support package for evacuees returning to areas around the Fukushima Daiichi nuclear power station. Radioprotection. 202010; 55(4):291-295.

〔総説等〕

Cléro E, Leuraud K, Laurier D, Tsubokura M. Conséquences sanitaires 35 ans et 10 ans après les accidents

nucléaires de Tchernobyl et de Fukushima. Environnement, Risques & Santé. 202111; 20(6):525-534.

〔その他〕

Uprety A, Kobashi Y, Ozaki A, Shrestha D, Ghimire B, Sedain G, Sigdel S, Higuchi A, Tsubokura M, Singh YP. Awareness and Knowledge of the Surgical Safety Checklist among Healthcare Professionals in University Teaching Hospital, Kathmandu, Nepal. Kathmandu University Medical Journal. 202101; 19(73):29-34.

Yamashita E, Ozaki A, Tsubokura M, Takita M, Tanimoto T, Kami M, Rodriguez-Morales AJ. Safety of SARS-CoV-2 BNT162b2 Vaccine in Elderly Patients from Japan - A Preliminary Assessment and A Call on Careful Pharmacovigilance. Revista Panamericana de Enfermedades Infecciosas. 202108; 4(1):e8.

Normile D. Nuclear medicine: After 10 years advising survivors of the Fukushima disaster about radiation, Masaharu Tsubokura thinks the evacuations posed a far bigger health risk. Science. 202103; 371(6533):978-982.

大葉隆. 世界の放射線防護関連論文紹介①. 放射線防護部会誌. 202104; 21(1):52-57.

大葉隆. 世界の放射線防護関連論文紹介①. 放射線防護部会誌. 202110; 21(2):46-50.

研究発表等

〔研究発表〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Tanigawa K. Linking returnees with health professionals after the Fukushima accident: Adaptation of recommendations from the SHMISEN-SINGS project. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208-09; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. 31st Medical Informatics Europe Conference; 20210529-31; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an application for sustainable support of returning residents displaced by the Fukushima nuclear accident. MedInfo2021; 20211002-04; Web.

大葉隆, 後藤あや, 熊谷敦史, 大平哲也, 谷川攻一, Liudmila Liutsko, Elisabeth Cardis. 福島の帰還住民と保健福祉関係者のリンク : SHMISEN-SINGS プロジェクト推奨事項の適応. 第 91 回日本衛生学会学術総会; 20210306-08; Web.

大葉隆, 後藤あや, 中野裕紀, ケネスノレット, 村上道夫, 児山洋平, 本田香織, 吉田和樹, 弓屋結, 黒田佑次郎. 福島の帰還住民へのデジタルツールを活用した支援システムの開発. 第 91 回日本衛生学会学術総会;

20210306-08; Web.

中野裕紀, 後藤あや, 大葉隆, 吉田和樹, ケネスレット, 村上道夫, 大平哲也, 熊谷敦史, 谷川攻一. 福島県における帰還住民のための健康支援アプリケーション開発. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210528-0615; Web.

佐藤良信, 井山慶大, 安井清孝, 大葉隆, 野地成子, 長谷川有史. 被ばく医療従事者に対する不安低減を目指して. 日本放射線看護学会第 10 回学術集会; 20210918-1018; Web.

大葉隆, 石川徹夫, 宮武裕和, 永井晴康, 長谷川有史, 義澤宣明, 鈴木元. 体表面汚染測定値から甲状腺等価線量を推計するための不確定要素の検討. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web.

鈴木元, 大葉隆, 石川徹夫, 長谷川有史, 永井晴康, 義澤宣明, 宮武裕和. 大気拡散シミュレーションと行動調査票に基づく福島第一原発事故後の小児甲状腺線量再構築. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web.

宮武裕和, 義澤宣明, 鈴木元, 永井晴康, 大葉隆, 長谷川有史, 石川徹夫, レガラド真理子. 福島第一原発事故後の水道水摂取による内部被ばく線量の推定と不確かさの検討. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24; Web.

〔シンポジウム〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Yumiya Y, Nollet E.K, Murakami M, Yoshida K, Honda K, Koyama Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Schneider T, Tanigawa K. The development of an application-enhanced communications environment to support returnees after the Fukushima Daiichi nuclear power station accident. IAEA: Technical Meeting on Radiation in Medicine Communications and Methodologies - International Perspectives and the Role of Science, Technology and Society in Low-Dose Radiation Settings; 20211109-11; Web.

齋藤清, ノレットケネス, 長谷川有史, 大葉隆, 後藤あや, 大須賀健一, 村上道夫, 神谷研二. 福島県と世界に貢献する福島県立医科大学の活動. 2021 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; Web.

大葉隆. 海外の研究／政府機関での活動事例や国際共同研究の紹介. 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20210415-18; Web.

大葉隆. 放射線事故災害における日本放射線技術学会および診療放射線技師の役割；我々は何をなすべきか. 第 77 回日本放射線技術学会総会学術大会; 20210415-18; Web.

大葉隆. 福島第一原発事故の教訓から学んだ放射線災害における診療放射線技師の役割. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

〔特別講演〕

大葉隆. 基調講演：福島第一原発事故からの診療放射線技師への教訓. 第 37 回日本診療放射線技師学術大会;

20211112-14; 東京.

〔招待講演〕

Ohba T, Liutsko L, Cardis E. Keynote lecture: Overview of the SHAMISEN project. 5th QST International Symposium on Radiation Emergency Monitoring and Medical in Nuclear Disaster; 20210921-22; Web.

甲状腺内分泌学講座

論 文

〔原 著〕

Shimura H, Matsumoto Y, Murakami T, Fukunari N, Kitaoka M, Suzuki S. Diagnostic Strategies for Thyroid Nodules Based on Ultrasonographic Findings in Japan. *Cancers*. 202109; 13(18):4629.

Sakamoto A, Hirokawa M, Ito M, Naganuma H, Suzuki O, Hashimoto Y, Suzuki S, Shimura H. Introduction of histological classification and cytology reporting format of the Japanese General Rules for the Description of Thyroid Cancer with a special focus on the differences of the WHO Histological Classification and The Bethesda System of Thyroid Cytology. *Endocrine Journal*. 202106; 68(6):621-630.

Horiguchi K, Yoshida Y, Iwaku K, Emoto N, Kasahara T, Sato J, Shimura H, Shindo H, Suzuki S, Nagano H, Furuya F, Makita N, Matsumoto F, Manaka K, Mitsutake N, Miyakawa M, Yokoya S, Sugitani I. Position paper from the Japan Thyroid Association task force on the management of low-risk papillary thyroid microcarcinoma (T1aN0M0) in adults. *Endocrine Journal*. 202107; 68(7):763-780.

Fukushima M, Fukunari N, Murakami T, Kunii Y, Suzuki S, Kitaoka M. Reconfirmation of the accuracy of the taller-than-wide sign in multicenter collaborative research in Japan. *Endocrine Journal*. 202108; 68(8):897-904.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadate M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):53-63.

Kobayashi Y, Kumamoto K, Okayama H, Matsumoto T, Nakano H, Saito K, Matsumoto Y, Endo E, Kanke Y, Watanabe Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Downregulation of PAICS due to loss of chromosome 4q is associated with poor survival in stage III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 202102; 16(2):e0247169.

Bogdanova TI, Saenko VA, Hashimoto Y, Hirokawa M, Zurnadzhly LY, Hayashi T, Ito M, Iwadate M, Mitsutake N, Rogounovitch T, Sakamoto A, Naganuma H, Miyauchi A, Tronko MD, Thomas G, Yamashita S, Suzuki S. Papillary thyroid carcinoma in Ukraine after Chernobyl and in Japan after Fukushima: different histopathological scenarios. *Thyroid*. 202109; 31(9):1322-1334.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwadate M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

鈴木眞一．【整形外科医の職業被曝】放射線被曝と身体影響 甲状腺の放射線障害 甲状腺癌・甲状腺機能異常．整形・災害外科. 202105; 64(6):751-757.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. *日本外科学会雑誌*. 202101; 122(1):90-92.

鈴木眞一, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣. 【甲状腺癌の手術手技（特に、反回神経周囲の操作、副甲状腺やベリー靱帯周囲の操作）】甲状腺癌の手術手技、特に、反回神経やBerry靱帯周囲の操作、副甲状腺の温存について. *日本内分泌外科学会雑誌*. 202106; 38(2):87-91.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 【小児甲状腺癌の取り扱い】小児若年者甲状腺癌の遺伝子変異. *日本内分泌外科学会雑誌*. 202109; 38(3):175-179.

松本佳子, 塩功貴, 長谷川翔, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣, 鈴木眞一. CNBの適応と実際. 乳腺甲状腺超音波医学. 202107; 10(3):17-21.

著 書・訳 書

鈴木眞一. 第5章 病態に応じた周術期での注意点 7 甲状腺機能障害. In: 丸山一男 編集. 周術期の薬の使い方パーフェクトガイド. 東京: じほう; 202102. p.544-550.

鈴木眞一. 甲状腺がん手術. In: 手術数でわかるいい病院 2021 (週刊朝日 MOOK). 東京: 朝日新聞出版; 202103. p.262-265.

鈴木眞一. II. 内分泌疾患 2. 甲状腺疾患 その他の甲状腺疾患 甲状腺腫瘍. In: 門脇孝, 下村伊一郎 編集. 最新ガイドラインに基づく代謝・内分泌疾患診療指針 2021-22. 東京: 総合医学社; 202109. p.369-376.

研究発表等

〔研究発表〕

鈴木博也, 松本佳子, 岩館学, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 神経線維腫症 1 型 (NF1) に合併した褐色細胞腫の 1 例. 第 34 回東北副腎研究会; 20210116; Web(仙台).

鈴木眞一. パネルディスカッション. 2021 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; Web(福島).

二見徹, 岩館学, 松本佳子, 中野恵一, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 甲状腺未分化癌との鑑別に超音波所見が有用であった甲状腺びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例. 日本超音波医学会第 61 回東北地方会学術集会; 20210307; Web.

松本佳子, 二見徹, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣, 鈴木眞一. 甲状腺ワルチン腫瘍様乳頭癌の 1 例. 日本超音波医学会第 61 回東北地方会学術集会; 20210307; Web.

岩館学, 松本佳子, 長谷川翔, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 網羅的遺伝子発現解析を用いた甲状腺濾胞癌の鑑別. 第 32 回東北甲状腺談話会; 20210313; Web.

岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 塩功貴, 水沼廣, 中野恵一, 鈴木眞一. 甲状腺濾胞癌と甲状腺両性結節を区別する遺伝子発現解析の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

塩功貴, 岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科における甲状腺濾胞性腫瘍の手術術式の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

鈴木聡, 塩功貴, 松本佳子, 中野恵一, 岩館学, 中村泉, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科で副腎手術を施行した 252 症例の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科における副甲状腺機能亢進症の術式の変遷. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣, 根本雄飛, 鈴木眞一. 小児甲状腺濾胞癌術後に下垂体転移を来した 1 例. 第 28 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会／第 40 回日本内分泌学会東北地方会; 20210410; Web.

岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 塩功貴, 鈴木眞一. 古典的乳頭がんの超音波診断. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

鈴木眞一. NIFTP について、本邦の超音波専門医・内分泌外科専門医の立場から. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

鈴木眞一. 甲状腺超音波ガイド下穿刺について. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

鈴木眞一. 超低リスク微小乳頭癌のアクティブサーベイランス「超低リスク微小乳頭癌のアクティブサーベイランス」内分泌外科学会のアンケート. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 超音波ドプラ法やエラストグラフィが
悪性診断に有用であった甲状腺腫瘍の1例. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

塩功貴, 松本佳子, 大河内千代, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一. 散発性甲状腺髄様癌の術前超音波像3
例. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

志村浩己, 鈴木眞一. 日本乳腺甲状腺超音波医学会甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格の概要. 日本超音波医学会
第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

長嶺夏希, 鈴木聡, 高橋智里, 坂上敏江, 佐藤綾子, 黒須由美子, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己.
小児および若年者における甲状腺内異所性胸腺の検討: 福島県県民健康調査. 日本超音波医学会第94回学術集会;
20210521-23; 神戸/Web.

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 鈴木眞一. 術前に悪性との鑑別が困難であった甲状腺硝子化索
状腫瘍の2例. 日本超音波医学会第94回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

鈴木眞一, 今井常夫(司会), 吉田明(司会). 未曾有の大災害: 東日本大震災から10年、内分泌外科医の貢
献と得られた科学的財産. 第33回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌.
38(Suppl.1):S45.

志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺 FNAC、CNB に関する Up-to-date 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門資格の創
設の目的と概要. 第33回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌.
38(Suppl.1):S60.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺 FNAC、
CNB に関する Up-to-date 甲状腺穿刺細胞を用いた遺伝子診断. 第33回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04;
軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S61.

松本佳子, 塩功貴, 中野恵一, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一. 女性外科医の活躍を持続可能にするために 甲状
腺・内分泌外科分野における女性医師の関わり. 第33回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内
分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S76.

松本佳子. 多発性内分泌腫瘍症診療ガイドブック MEN1 型. 第27回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19;
Web.

鈴木眞一. 指定講演 ガイドラインに基づいた本邦における甲状腺腫瘍の診断と治療について. 第21回日本内分
泌学会九州支部学術集会; 20210904; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺乳頭癌 古典型乳頭癌
の超音波診断. 第47回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 11(1):61-64.

志村浩己(座長), 尾本きよか(座長), 鈴木眞一. 震災後10年を経過した福島で発見治療された甲状腺腫
瘍. 第47回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

志村浩己（座長），鈴木眞一（座長），松本佳子，塩功貴，中野恵一，鈴木聡，岩館学．小児に特徴的な乳頭癌亜型の超音波所見．第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

鈴木眞一（座長），志村浩己（座長），塩功貴，松本佳子，鈴木聡，岩館学，中野恵一，水沼廣，鈴木悟．小児甲状腺癌のリンパ節転移の超音波所見．第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

高橋智里，西山翔子，黒須由美子，長嶺夏希，坂上敏江，佐藤綾子，山谷幸恵，岩館学，鈴木聡，鈴木眞一，志村浩己．甲状腺超音波検査におけるファントム画像の経時変化に対する影響因子．第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

松本佳子，塩功貴，中野恵一，鈴木聡，岩館学，鈴木眞一．濾胞性腫瘍．第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

岩館学，松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，山谷幸恵，金子裕眠，志村浩己，鈴木眞一．濾胞性腫瘍に対する画像診断の工夫と追加補助診断 甲状腺結節に対する血流評価とエラストグラフィを組み合わせた鑑別診断．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

北堀有希，岩館学，松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，鈴木眞一．甲状腺癌（手術）局所・頸部リンパ節再発に対して複数回の手術で対処し長期予後を得ている甲状腺乳頭癌の一例．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

塩功貴，松本佳子，鈴木聡，岩館学，鈴木眞一．濾胞性腫瘍 当科における甲状腺濾胞性腫瘍の手術術式の検討．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

鈴木眞一．専門医制度機構における内分泌外科専門医制度の現状と将来 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医およびコーディネーター資格創設について．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.2):S228.

松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，鈴木眞一．甲状腺癌（薬物療法 2、他）当院における Sorafenib 使用症例の検討．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

森友輔，岩館学，松本佳子，塩功貴，鈴木聡，水沼廣，中野恵一，鈴木眞一．放射線治療、他甲状腺扁平上皮癌に対して手術および放射線外照射にて局所制御した 1 例．第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

穴戸文男（座長），鈴木眞一．福島原発事故後 10 年を経た福島での甲状腺検診の現状．第 61 回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

岩館学，塩功貴，鈴木聡，松本佳子，中野恵一，水沼廣，菅原茂耕，志賀哲，織内昇，鈴木眞一．当科における甲状腺分化癌に対する放射性ヨウ素内用療法．第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

塩功貴，岩館学，松本佳子，鈴木聡，中野恵一，水沼廣，鈴木眞一．当科で手術を施行した甲状腺濾胞性腫瘍の術前評価の検討．第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

志村浩己, 金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一. Digital PCR 法を用いた甲状腺癌の細胞診検体における TERT 遺伝子変異同定の検討. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

鈴木眞一. 臨床重要課題 福島県民健康調査における甲状腺検査で発見された甲状腺癌について. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当院におけるレンパチニブ使用症例の検討. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

松本佳子, 塩功貴, 中野恵一, 鈴木聡, 岩館学, 水沼廣, 鈴木眞一. 完全内視鏡による甲状腺良性腫瘍について AAA-ETS. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

〔招待講演〕

鈴木眞一. 甲状腺がんの診断と治療. がん医療のスキルアップ講演会; 20210218; いわき.

〔その他〕

鈴木眞一（座長）, 貴田岡正史. 甲状腺疾患の超音波診断. 第 22 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20210212; 福島.

鈴木眞一（座長）, 志村浩己. 日本乳腺甲状腺超音波医学会 甲状腺超音波ガイド下穿刺専門資格の概要. 第 22 回うつくしま甲状腺フォーラム; 20210212; 福島.

鈴木眞一（座長）. 基調講演 チェルノブイリと福島：事故後 10 年の甲状腺への影響の比較. 2021 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213; Web(福島).

岩館学（座長）. セッション 2. 第 32 回東北甲状腺談話会; 20210313; Web.

鈴木眞一（座長）. 一般口演（症例検討含む）. 東北 GEP-NET セミナー; 20210327; Web.

鈴木眞一（座長）, 村上司（座長）, 伊藤康弘, 他. 甲状腺微小癌・active surveillance. 第 94 回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):27.

鈴木眞一（座長）, 村上司（座長）, 杉谷巖. 成人の低リスク微小乳頭癌に対する非手術経過観察：標準化のための日本甲状腺学会によるポジション・ペーパーおよび日本内分泌外科学会によるコンセンサス・ステートメントの発行. 第 94 回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):27.

鈴木眞一（座長）, 村上司（座長）, 堀口和彦, 他. 低リスク甲状腺微小乳頭癌の取扱いの現状. 第 94 回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web. 日本内分泌学会雑誌. 97(1):27.

鈴木眞一（座長）. 超低リスク微小乳頭癌のアクティブサーベイランス. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

門田伸也（座長），岩館学（座長）．甲状腺頭頸部. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/ Web.

鈴木真一（座長）．新ガイドラインから学ぶ甲状腺・頭頸部超音波医療. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/ Web.

鈴木真一（座長），志村浩己（座長）．甲状腺の超音波ガイド下穿刺に関する専門資格認定制度について. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/ Web.

鈴木真一（座長），池田雅彦，清田尚臣. 個別化医療時代に向けた、甲状腺癌薬物療法最新 TOPIC. 第 33 回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S30.

鈴木真一（座長），織内昇. 甲状腺癌の放射性ヨウ素（I-131）による核医学治療. 甲状腺癌 Precision Medicine Seminar; 20210720; Web.

鈴木真一（座長），筒井英光. レンパチニブ導入時の治療戦略と副作用管理. TC Expert Meeting in 福島; 20210824; Web.

鈴木真一（座長），太田寿. 医療安全 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断コーディネーターとしての医療安全. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

鈴木真一（座長），宮川めぐみ（座長）．甲状腺微小乳頭癌のマネージメント過去現在未来 Management of papillary thyroid micro cancer in the past, present and future. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

岩館学（座長）．濾胞性腫瘍. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

鈴木真一（座長）．旧日本甲状腺外科学会学術集会について. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

鈴木真一（座長）．七条賞受賞講演 甲状腺と自己免疫の研究. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/ Web.

鈴木真一（司会），西山謹吾（司会）．外科医は南海トラフ地震に備えるために何をすべきか？ 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/ Web.

鈴木真一（座長），五十嵐健人（座長）．甲状腺・副甲状腺疾患・乳腺における内視鏡下手術－完全内視鏡手術と内視鏡補助下施術－. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/ Web.

鈴木真一（司会），市川智彦（司会）．内分泌外科領域におけるロボット支援手術の可能性について. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/ Web.

災害こころの医学講座

論 文

〔原 著〕

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Mizuki R, Kobayashi T, Maeda M. Disruption of Child Environments and Its Psychological Consequences After the Fukushima Disaster: a Narrative Review Based on the Ecological Systems Model. *Current Psychiatry Reports*. 202107; 23(8):49.

Tokunaga A, Yoshida K, Orita M, Urata H, Itagaki S, Mashiko H, Yabe H, Maeda M, Oishi K, Inokuchi S, Iwanaga R, Tanaka G, Nakane H, Takamura N. The mental health status of children who have been evacuated or migrated from rural areas in Fukushima prefecture after the Fukushima daiichi nuclear power station accident: results from the Fukushima health management survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):8-16.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):53-63.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions, and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):71-82.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Kobayashi T, Takebayashi Y, Goto A, Nakayachi K, Murakami M. May risk communication with non-experts contribute to post-disaster restoration of normalcy? A survey on the disaster-struck prefectures after the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202109; 65:102564.

Honda K, Fujitani Y, Nakajima S, Goto A, Kumagai A, Komiya H, Kobayashi T, Takebayashi Y, Murakami M. On-site training program for public health nurses in Fukushima Prefecture, Japan: Effects on risk communication competencies. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202111; 65:102564.

Harigane M, Imuta H, Yasumura S, Hayashi F, Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K. Factors Hindering Social Participation among Older Residents from Evacuation Zones after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202104; 18(9):4426.

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S, Ohira T; Mental Health Group of The Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202106; 18(11):6054.

Oe M, Takebayashi Y, Sato H, Maeda M. Mental Health Consequences of the Three Mile Island, Chernobyl, and Fukushima Nuclear Disasters: A Scoping Review. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202107; 18(14):7478.

Kobayashi T, Maeda M, Takebayashi Y, Sato H. Traditional Gender Differences Create Gaps in the Effect of COVID-19 on Psychological Distress of Japanese Workers. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202108; 18(16):8656.

Horikoshi N, Maeda M, Harigane M, Iwasa H, Murakami M, Momoi M, Goto S, Yasumura S. Vulnerability of Evacuees Having No One to Consult after the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10075.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10283.

Eguchi E, Ohira T, Nakano H, Hayashi F, Okazaki K, Harigane M, Funakubo N, Takahashi A, Takase K, Maeda M, Yasumura S, Yabe H, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Association between laughter and lifestyle diseases after the great east Japan earthquake: The Fukushima health management survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12699.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Sawano T, Shigetomi S, Ozaki A, Nishikawa Y, Hori A, Oikawa T, Maeda M, Tsubokura M. Successful emergency evacuation from a hospital within a 5-km radius of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: the importance of cooperation with an external body. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i122-i128.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Lee A, Sugiura Y, Cho IH, Setou N, Koh E, Song GJ, Lee S, Yang HJ. In Vivo Hypoglycemic Effects, Potential Mechanisms and LC-MS/MS Analysis of *Dendropanax Trifidus* Sap Extract. *Nutrients*. 202111; 13(12):4332.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Sakai A, Yasumura S, Kamiya K. Dietary pattern changes in Fukushima residents after the Great East Japan Earthquake: the Fukushima Health Management Survey 2011-2013. *Public Health Nutrition*. 202106; 24(8):2195-2204.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5330.

Murakami M, Kobayashi T, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Takebayashi Y, Ohira T, Yasumura S, Maeda M. Associations of the COVID-19 pandemic with the economic status and mental health of people affected by the Fukushima disaster using the difference-in-differences method: The Fukushima Health Management Survey. *SSM Population Health*. 202104; 14:100801.

佐藤秀樹, 鈴木伸一. 反すうによる注意の範囲の差異—思考内容の感情価と思考時間からの検討—. *Journal of Health Psychology Research*. 202103; 33(2):93-102.

前田正治. 原発災害が与えたメンタルヘルスへの長期的影響—発災後の10年を俯瞰する. 学術の動向. 202103; 26(3):46-50.

前田正治. 【東日本大震災から10年】福島原発事故後10年の経過を振り返って—メンタルヘルスの視点から. 心と社会. 202112; 52(4):25-31.

前田正治. 【災害と睡眠—COVID-19パンデミックを受けて—】福島、パンデミック、そしてトラウマ. 睡眠医療. 202103; 15(1):9-14.

前田正治. 【行政や様々な公的機関等との協働—円滑な連携と関係構築のために—】災害時におけるメンタルヘルスケア—公的機関とよい連携を築くために. 精神科治療学. 202107; 36(7):769-773.

桃井真帆, 前田正治. 【東日本大震災から10年】福島災害被災者への精神保健支援—エビデンスに基づく電話介入. 総合リハビリテーション. 202103; 49(3):255-260.

前田正治, 松本和紀, 八木淳子, 高橋昌. 【東日本大震災：発災からの10年を振り返る】東日本大震災から10年、支援者として走り続けた経験から. トラウマティック・ストレス. 202112; 19(2):159-166.

佐藤秀樹, 関野拓紀, 伊藤理紗, 鈴木伸一. 反すうと刺激の感情価による潜在的回避行動の差異の検討. 認知療法研究. 202102; 14(1):77-86.

前田正治. 震災後の10年を振り返って：復興とメンタルヘルス. 福島県医師会報. 202109; 83(9):806-809.

村上道夫, 小林智之, 越智小枝, 後藤あや, 五十嵐泰正. 企画セッション開催報告—福島からCOVID-19を, COVID-19から福島を考える. リスク学研究. 202106; 30(4):195-202.

竹林唯, 前田正治. 【高齢者のアルコール問題】Sociologicalな側面から—トピック—新型コロナウイルス感染症と高齢者におけるアルコールと自殺の問題. 老年精神医学雑誌. 202101; 32(1):92-99.

〔総説等〕

前田正治, 瀬藤乃理子. 新型コロナウイルス感染症 Up-to-date—医療従事者を襲うメンタルヘルスの危機—新型コロナウイルス感染症対策の現場から. *Modern Media*. 202104; 67(4):153-158.

石井千賀子, 瀬藤乃理子. 家族療法による死別の支援—統合的アプローチを用いて. グリーフ&ビリーブメント研究. 202112; (2):37-45.

瀬藤乃理子, 前田正治, 本郷由美子, 他. 原発事故と避難による福島の「あいまいな喪失」—遠く離れた故郷への思い—. 現代の図書館. 202103; 59(1):17-24.

前田正治, 瀬藤乃理子, 佐藤秀樹. 【東日本大震災：発災からの10年を振り返る】福島原発災害から10年のメ

ンタルヘルス問題 WHO フレームワークの紹介. トラウマティック・ストレス. 202112; 19(2):123-131.

瀬藤乃理子. 「あいまいな喪失」と「公認されない悲嘆」 被災者のレジリエンスにおける社会的影響. 臨床心理学. 202111; 21(6):715-719.

〔研究報告書〕

瀬藤乃理子. 被災地の支援者がかかえる『あいまいな喪失』震災 10 年を振り返って. 心と社会. 202109; 52(3):75-82.

黒川雅代子, 瀬藤乃理子, 石井千賀子. あいまいな喪失とレジリエンス. 臨床心理学. 202111; 21(6):642-647.

〔その他〕

瀬藤乃理子. あなたをさがして 第 11 部いつもそばに ⑤未完の災害. 岩手日報. 20210626.

瀬藤乃理子. 家族システム論は新型コロナウイルス感染症の大流行時にどのように貢献できるのか? あいまいな喪失とレジリエンスの視点から パンデミックにおけるあいまいな喪失とレジリエンスの視点. 家族療法研究. 202108; 38(2):191-192.

前田正治. あらゆる脅威に対するメンタルヘルス対策: 自然災害、人為災害からテロまで 人為災害とメンタルヘルス問題. 精神神経学雑誌. 202109; 2021(特別):S478.

中島聡美, 伊藤亜希子, 後藤沙織, 桃井真帆, 前田正治. 福島第一原発事故による福島県外避難者のメンタルヘルスおよび放射線不安に関する研究支援機関のインタビュー調査から. 日本社会精神医学会雑誌. 202108; 30(3):275.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 神谷研二. 東日本大震災後の高 LDL コレステロール血症の発症と心理社会的要因との関連: 福島県県民健康調査. 日本循環器予防学会誌. 202105; 56(2):171.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林史和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規慢性腎臓病発症と有意に関連する. 日本腎臓学会誌. 202106; 63(4):425.

小林智之, 前田正治. 原発事故避難者の社会的アイデンティティと心理的苦痛の関係. 福島医学雑誌. 202108; 71(2):103-104.

著 書・訳 書

Setou N. Spiritually healing the grief of disaster victim: Lessons from support after the Great East Japan Earthquake. In: Naoki Kashio, Carl Becker. Spirituality as a way: the wisdom of Japan. Kyoto, Tokyo: Kyoto University Press; 202103. p.10-26.

瀬藤乃理子. 震災と遺族・行方不明者家族の支援. In: 前田正治, 松本和紀, 桃井真帆 編. 東日本大震災とこころのケア 被災地支援 10 年の軌跡. 東京: 日本評論社; 202102. p.31-40.

桃井真帆, 前田正治. 原発事故被災者に対するアウトリーチ型電話支援の試み. In: 前田正治, 松本和紀, 桃井真帆 編. 東日本大震災とこころのケア 被災地支援 10 年の軌跡. 東京: 日本評論社; 202102. p.50-59.

前田正治. 福島原発災害一発災後の 10 年を振り返って. In: 前田正治, 松本和紀, 桃井真帆 編. 東日本大震災とこころのケア 被災地支援 10 年の軌跡. 東京: 日本評論社; 202102. p.172-181.

竹林唯. EMDR. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.22.

竹林唯. エクスポージャー法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.57.

竹林唯. エクスポージャー反応妨害法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.57.

竹林唯. 現実脱感作法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.210.

竹林唯. 自己教示訓練. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.297.

竹林唯. 自己陳述. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.302.

竹林唯. 持続エクスポージャー法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.312.

竹林唯. セルフエクスポージャー法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.451.

竹林唯. 段階的エクスポージャー法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.502.

竹林唯. 注意訓練. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.519.

竹林唯. 内部感覚エクスポージャー法. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.580.

竹林唯. フラッディング. In: 子安増生, 丹野義彦, 箱田裕司 監修. 有斐閣現代心理学辞典. 東京: 有斐閣; 202102. p.676.

前田正治. 医療・介護従事者（レスポnder）支援の実際. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.2-15.

前田正治. クラスター発生時の外部支援. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.16-32.

佐藤秀樹. 医療機関における外部支援. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.33-51.

竹林唯. 介護施設における外部支援 遠隔支援の実際. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.52-68.

前田正治. 第Ⅱ部 座談会－医療・介護従事者（レスポnder）支援を考える. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.162-189.

瀬藤乃理子. 第9章 軽症者療養施設における支援. In: 前田正治 編. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房; 202112. p.131-146.

研究発表等

〔研究発表〕

Maeda M. Lessons learned for managing the mental health and emotional consequences of Fukushima Daiichi nuclear accident. the new WHO Framework for MHPSS; 20211127; Web.

大武陽一, 松岡弘道, 明智龍男, 久保田陽介, 藤森麻衣子, 瀬藤乃理子, 他. がん等の身体疾患によって重要他者を失った遺族ケアガイドラインの作成. 第34回サイコオンコロジー学会総会; 20210918-19; Web.

瀬藤乃理子, 吉田房江, 行形裕子, 鈴木悟, 岩館学, 横谷進, 志村浩己. 福島県県民健康調査における甲状腺検査二次検査の受診者とその家族に対するアンケート調査 第2報: 家族の不安の推移と関連要因. 第64回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

前田正治. 目に見えない災害との戦い: 福島原発事故とコロナ禍. 第17回日本うつ病学会総会; 20210125-31; Web.

瀬藤乃理子. 甲状腺二次検査におけるサポートの現状と課題. 2021年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; Web(福島).

前田正治. 原発災害後10年目のメンタルヘルス状況. 2022年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; Web(福島).

小林智之, 竹林唯, 前田正治. COVID-19が勤労者に与える精神的影響: 日本労働組合総連合会福島県連合会の実態調査. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web. プログラム・抄録集. 46.

前田正治, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 佐藤秀樹. クラスターの発生した医療機関・介護福祉施設に対する外部支援～福島県におけるレスポnder支援の試み～. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web. プログラム・抄録集. 55.

瀬藤乃理子. 東日本大震災におけるあいまいな喪失：行方不明者家族の支援からの学び. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web.

瀬藤乃理子, 前田正治. 福島県の COVID-19 軽症者宿泊療養施設におけるメンタルヘルス支援. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web.

前田正治. 災害時の精神医学的疫学研究の在り方：福島災害. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web.

瀬藤乃理子. パンデミックにおけるあいまいな喪失～医療従事者のレジリエンスを支える～. 日本家族療法学会第38回大会; 20210827-29; 東京/Web.

前田正治. 人為災害におけるトラウマケア：輸送災害に焦点を絞って. 第117回日本精神神経学会学術総会; 20210919-21; 京都/Web.

佐藤寛, 国里愛彦, 竹林由武, 佐藤秀樹, 高階光梨, 横光健吾. 認知行動療法研究の新時代を切り開く研究法—認知行動療法研究の質向上—さらなる高みへ向けたアプローチの最前線—. 日本認知・行動療法学会第47回大会; 20211010-11; Web.

瀬藤乃理子. 災害とあいまいな喪失～行方不明、原発災害、COVID-19の支援を通して～. 第25回日本心療内科学会学術大会; 20211023-24; Web.

前田正治. コロナ禍における医療スタッフのメンタルヘルスケア. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔招待講演〕

前田正治. コロナ対応スタッフのトラウマとそのケア. 第83回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

〔その他〕

瀬藤乃理子, 前田正治, 他. COVID-19 軽症者宿泊施設における心理的支援. 東北大学医療コンダクター型災害保健医療人材養成プログラム; 20210529; Web.

瀬藤乃理子. 遺族対応の基本～遺族支援の考え方と基本的介入～. 兵庫県こころのケアセンター「悲嘆の理解と遺族への支援」研修; 20210826; Web.

瀬藤乃理子. 新型コロナウイルス感染症と医療従事者のメンタルヘルス. 福島県理学療法士会 COVID-19 委員会主催研修会; 20211027; Web.

瀬藤乃理子. コロナ禍をしなやかに生きる力を育む～“あいまいな喪失”への対処～. 令和3年度福島県臨床心理士会こころの健康会議; 20211114; Web.

瀬藤乃理子. コロナ禍での対人支援の留意点～温かい支援を継続するために～. 令和3年度相双地域リハビリテーション推進部会研修会; 20211130; Web.

瀬藤乃理子. コロナ禍における対人援助職のセルフケア. 令和3年度大船渡市第2回在宅医療ワーキング; 20211222; Web.

放射線腫瘍学講座

論文

〔原著〕

Oike T, Sekiguchi Y, Yoshimoto Y, Oike T, Ando K, Gu W, Sasaki Y, Tokino T, Iwase A, Ohno T. Mutation Analysis of Radioresistant Early-Stage Cervical Cancer. *International Journal of Molecular Sciences*. 202112; 23(1):51.

Tamaki T, Ozaki A, Sato H, Tsubokura M, Suzuki Y. Alleviating the consequences of nuclear disasters on views on radiation risks among physicians and patients: Fukushima experience. *Journal of Global Health*. 202104; 11:03069.

Mori Y, Sato H, Kumazawa T, Permata TBM, Yoshimoto Y, Murata K, Noda SE, Kaminuma T, Ando K, Oike T, Okonogi N, Okada K, Kakoti S, Suzuki K, Ikota H, Yokoo H, Nakano T, Ohno T, Shibata A. Analysis of radiotherapy-induced alteration of CD8⁺ T cells and PD-L1 expression in patients with uterine cervical squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):446.

〔総説等〕

小此木範之, 佐藤浩央, 吉本由哉, 鈴木義行. How do we approach to the difficult-to-treat Japanese case. Combination therapy of Immunotherapy and Radiotherapy (Immuno-radiotherapy). *Skin Cancer*. 202103; 35(3):98-104.

研究発表等

〔シンポジウム〕

Suzuki Y. SBRT: Oligometastatic Disease Combination with Immunotherapy. 5th Meeting of the Federation of Asian Organizations for Radiation Oncology; 20211001-03; Web.

鈴木義行. Combination therapy of Immunotherapy and Radiotherapy. 第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20210118-19; 横浜.

鈴木義行. The basics of Immuno-Radiotherapy: 免疫放射線療法の基礎 (と臨床). 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20210218-21; Web.

鈴木義行. 免疫放射線治療の基礎 (と臨床). 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18; 浦安.

〔特別講演〕

鈴木義行. 放射線治療の臨床における酸素効果. 第11回放射線生物学セミナー; 20210220; Web.

鈴木義行. 放射線によるがん免疫の活性化と免疫放射線療法. 東京がん化学療法研究会3月例会; 20210316; Web.

吉本由哉, 鈴木義行. がん免疫と放射線治療: 基礎と臨床. 第80回日本医学放射線学会総会; 20210415-18; 横浜.

鈴木義行. 免疫放射線療法 Immuno-Radiotherapy. 日本泌尿器腫瘍学会第7回学術集会; 20211023-24; 横浜.

鈴木義行. 脳神経外科領域における放射線治療. 第24回日本臨床脳神経外科学会; 20211111-12; 沖縄.

鈴木義行. 放射線治療による抗腫瘍免疫の誘導と免疫放射線療法. 第121回九州医師会医学会分科会脳神経外科学会; 20211114; 沖縄/Web.

腫瘍内科学講座

論文

〔原著〕

Hosokawa K, Ishiyama K, Ikemoto T, Sugimori C, Noji H, Shichishima T, Obara N, Chiba S, Ninomiya H, Mai Anh Thi Nguyen, Shirasugi Y, Nakamura Y, Ando K, Ueda Y, Yonemura Y, Kawaguchi T, Nishimura J, Kanakura Y, Nakao S. The clinical significance of PNH-phenotype cells accounting for < 0.01% of total granulocytes detected by the Clinical and Laboratory Standards Institute methods in patients with bone marrow failure. Annals of Hematology. 202108; 100(8):1975-1982.

Kawamura H, Honda M, Takiguchi K, Kamiga T, Saito K, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Saji S, Kono K, Konno S. Clinical Impact of Primary Tumor Site in Stage IV Colorectal Cancer: A Statewide Cohort Study. *Anticancer Research*. 202111; 41(11):5693-5702.

Masuda N, Tamura K, Yasojima H, Shimomura A, Sawaki M, Lee MJ, Yuno A, Trepel J, Kimura R, Nishimura Y, Saji S, Iwata H. Phase 1 trial of entinostat as monotherapy and combined with exemestane in Japanese patients with hormone receptor-positive advanced breast cancer. *BMC Cancer*. 202111; 21(1):1269.

Sawaki M, Yamada A, Kumamaru H, Miyata H, Nakayama K, Shimizu C, Miyashita M, Honma N, Taira N, Saji S. Clinicopathological characteristics, practical treatments, prognosis, and clinical issues of older breast cancer patients in Japan. *Breast Cancer*. 202101; 28(1):1-8.

Kawate T, Yoshida A, Sugae S, Asaga S, Kaise H, Saji S, Yamauchi C, Miyoshi Y, Yamauchi H, Ishikawa T. Recommendations for the management of breast cancer patients during the COVID-19 pandemic from the Japan Breast Cancer Society. *Breast Cancer*. 202103; 28(2):247-253.

Ohno S, Saji S, Masuda N, Tsuda H, Akiyama F, Kurosumi M, Shimomura A, Sato N, Takao S, Ohsumi S, Tokuda Y, Inaji H, Watanabe T, Ohashi Y. Relationships between pathological factors and long-term outcomes in patients enrolled in two prospective randomized controlled trials comparing the efficacy of oral tegafur-uracil with CMF (N・SAS-BC 01 trial and CUBC trial). *Breast Cancer Research and Treatment*. 202102; 186(1):135-147.

Yamada A, Kumamaru H, Shimizu C, Taira N, Nakayama K, Miyashita M, Honma N, Miyata H, Endo I, Saji S, Sawaki M. Systemic therapy and prognosis of older patients with stage II/III breast cancer: A large-scale analysis of the Japanese Breast Cancer Registry. *European Journal of Cancer*. 202109; 154:157-166.

Shibata A, Saji S, Kamiya K, Yasumura S. Trend in Cancer incidence and mortality in Fukushima between 2008 and 2015. *Journal of Epidemiology*. 202112; 31(12):653-659.

Toi M, Imoto S, Ishida T, Ito Y, Iwata H, Masuda N, Mukai H, Saji S, Shimizu A, Ikeda T, Haga H, Saeki T, Aogi K, Sugie T, Ueno T, Kinoshita T, Kai Y, Kitada M, Sato Y, Jimbo K, Sato N, Ishiguro H, Takada M, Ohashi Y, Ohno S. Adjuvant S-1 plus endocrine therapy for oestrogen-receptor-positive, HER2-negative primary breast cancer: a randomised phase 3 trial. *Lancet Oncology*. 202101; 22(1):74-84.

Azami Y, Tsuyama N, Abe Y, Sugai-Takahashi M, Kudo KI, Ota A, Sivasundaram K, Muramatsu M, Shigemura T, Sasatani M, Hashimoto Y, Saji S, Kamiya K, Hanamura I, Ikezoe T, Onodera M, Sakai A. Chromosomal translocation t(11;14) and p53 deletion induced by the CRISPR/Cas9 system in normal B cell-derived iPS cells. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5216.

竹村真生子, 岡崎護, 羽成直行, 徳田恵美, 田辺真彦, 林嗣博, 水谷知央, 林孝朗, 中村優飛, 根本悠里, 佐久間芽衣, 叶多諒, 萩尾浩太郎, 絹田俊爾, 山口佳子, 與石直樹. Everolimus+Exemestane 療法後に腫瘍崩壊症候群をきたした進行乳癌の一例. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):35-40.

阿左見祐介, 和田仁, 瀬戸一郎, 阿左見亜矢佳, 佐藤直, 鈴木伸康, 寺西寧, 立花和之進, 大竹徹. 乳癌脊髄
髄内転移に対し緊急放射線療法が著効した進行乳癌の1例. 癌と化学療法. 202105; 48(5):705-707.

〔総説等〕

名取穰, 佐治重衡. 早期乳がんに対する2つのCDK4/6阻害薬 第III相臨床試験の結果から: PALLAS試験と
monarchE試験. がん分子標的治療. 202109; 19(1):112-115.

増田慎三, 佐治重衡, 川口耕, 陳祐晟, 大野真司. CDK4及び6阻害薬アベマシクリブの乳癌における開発. 癌
と化学療法. 202112; 48(12):1475-1483.

近藤知大, 山本佳宏, ファム・グエンクイ, 福山啓太, 木村礼子, 吉岡正博, 金井雅史, 武藤学. 切除不
能・進行・固形がんにおけるリキッドバイオプシー. 腫瘍内科. 202111; 28(5):549-555.

研究発表等

〔研究発表〕

遠山竜也, 山本豊, 岩田広治, 高橋将人, 吉波哲大, 上野貴之, 山中隆司, 高野利実, 柏葉匡寛, 増田慎三,
津川浩一郎, 長谷川善枝, 田村研治, 多田寛, 平成人, 原文堅, 佐治重衡, 森田智視, 戸井雅和, 大野真司.
PRECIOUS: Pertuzumab re-treatment for HER2-positive locally advanced/metastatic breast cancer (JBCRG-
M05). 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021); 20210220; Web.

樋口和枝, 熊倉寿江, 國分都, 菊地明日香, 下枝恵子, 馬場真由美, 柏倉富子, 守岡トシイ, 野地成子, 二
丹玲子, 伊與田友和, 金沢賢也, 佐治重衡. 大学病院外来化学療法センターにおけるCSCA (災害医療実践) を
取り入れたCOVID-19対策. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021); 20210220; Web.

阿左見祐介, 津山尚宏, 菅井美咲, 阿部悠, 工藤健一, 名取穰, 徳田恵美, 佐々木栄作, 村松萌, 橋本優子,
池添隆之, 坂井晃, 佐治重衡. Research for onset mechanism of Multiple Myeloma. Can B cell-derived iPS
cells redifferentiate into B cells? 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021); 20210301-31; Web.

徳田恵美, 立花和之進, 山口明子, 福田冬馬, 阿左見祐介, 木村礼子, 佐々木栄作, 大竹徹, 佐治重衡. 妊
娠中に周術期化学療法を行った乳癌患者への多職種連携支援の重要性. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会
(JSMO2021); 20210301-31; Web.

名取穰, 佐々木栄作, 添田周, 古川茂宜, 阿左見祐介, 徳田恵美, 神林崇, 佐治重衡. 免疫チェックポイント
阻害薬によるナルコレプシー発症のリスク. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021); 20210301-31;
Web.

河村雪乃, 森田翠, 樋口徹, 徳田恵美, 堀本義哉, 尾林紗弥香, 下村昭彦, 関根克. Postoperative endocrine
therapy for elderly patients could relate to overall survival or obesity. 第29回日本乳癌学会学術総会; 20210703;
横浜Web.

高橋俊二, 増田慎三, 米盛勸, 井上賢一, 中山貴寛, 岩田広治, 遠山竜也, 山本豊, 高橋将人, 大崎昭彦, 佐治重衡, 相良安昭, Joyce O'Shaughnessy, 大和田章一, Zhenhao Qi, Yang Qiu, 大沼宏, Om Sharma. A Phase 1/2 Study of Patritumab Deruxtecan (HER3-DXd; U3-1402) in Patients with HER3-Expressing MBC. 第 29 回日本乳癌学会総会; 20210703; 横浜/Web.

塚原美理, 鈴木友菜, 豊澤大地, 徳田恵美, 丹羽俊文, 林慎一. ER 陽性治療耐性乳癌細胞株においてドライバースIGNALは DNA 損傷と修復に関与する. 第 29 回日本乳癌学会学術総会; 20210703; 横浜/Web.

徳田恵美, 佐々木駿太, 坪井洸樹, 豊澤大地, 鈴木友菜, 塚原美理, 佐治重衡, 林慎一. ER 発現が低下した内分泌療法耐性乳癌細胞の ER 発現を PI3K 阻害薬が再発現させる機序にエピゲノム変化が関与する. 第 29 回日本乳癌学会総会; 20210703; 横浜/Web.

東條華子, 岡野舞子, 喜古雄一郎, 後藤かおり, 長塚美樹, 松崎正實, 片方直人, 橋本優子, 佐治重衡, 野水整. 良悪性の鑑別に難渋した乳腺悪性腺筋上皮腫の一例. 第 29 回日本乳癌学会総会; 20210701-0831; 横浜/Web.

植田康敬, 細川晃平, 石山謙, 高森弘之, 米村雄士, 小原直, 野地秀義, 松田貴久, 安藤潔, 七島勉, 池添隆之, 千葉滋, 二宮治彦, 川口辰哉, 西村純一, 金倉譲, 中尾眞二. 骨髄不全患者における、PNH 型血球割合と PNH 関連の臨床症状を経時的にみる観察研究 (SUPREMACY) 中間解析報告. 第 57 回日本補体学会学術集会; 20210910-11; 大阪/Web. 補体 58(1):50-51.

阿左見祐介, 津山尚宏, 阿部悠, 高橋美咲, 工藤健一, 深見美和, 太田明伸, Sivasundaram Kaman, 村松萌, 重村倫成, 笹谷めぐみ, 橋本優子, 佐治重衡, 神谷研二, 花村一朗, 池添隆之, 小野寺雅史, 坂井晃. Study for exploring myeloma-initiating cell using normal B cell-derived iPS cells. 第 83 回日本血液学会学術集会; 20210923-25; Web.

Suga J, Saito M, Saji S. Evaluation of clinical usefulness of cancer genomic profiling tests at the cancer genomic medicine cooperative hospital. 第 80 回日本癌学会学術総会; 20210930; 横浜/Web.

細貝太亮, 野村基雄, 玉置将司, 三谷洋介, 木村礼子, 廣橋研志郎, 吉岡正博, 船越太郎, 横山顕礼, 松原淳一, 森由希子, 山田敦, 金井雅史, 松本繁巳, 武藤学. ニボルマブ 240mg2 週ごとから 480mg 4 週ごとへの変更における安全性の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211022; 横浜.

〔シンポジウム〕

佐治重衡. 大規模自然災害時のがん診療とがん患者さんへのケア. 第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021) ; 20210219; Web.

佐治重衡, 岩田広治, 遠山竜也. Incorporation of novel evidence to the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline and its impact to the treatment decision. 第 29 回日本乳癌学会総会; 20210701; 横浜/Web.

Saji S, Tokuda E. Current status and research issues of late recurrence in breast cancer treatment. 第 80 回日本癌学会学術総会; 20211001; 横浜/Web.

〔特別講演〕

佐治重衡. ガンゲノム医療時代の進行再発乳がん治療とリンパ管の位置づけ. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021) ; 20210219; Web.

佐治重衡. 乳癌 (初期薬物療法) 教育講演 13 応用編. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021; 20210301-31; Web.

放射線災害医療学講座

論 文

〔原 著〕

Hasegawa A, Shiga M, Iyama K. Development of computer simulator 'Kawauchi Legends' as disaster response medical training software: overcoming the COVID-19 pandemic. Annals of the ICRP. 202107; 50(1_Suppl):181-186.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Sato Y, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Increasing Disaster Medical Assistance Teams' Intent to Engage with Specific Hazards. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202111; 18(21):11630.

Yamamoto C, Sawano T, Nishikawa Y, Ozaki A, Shimada Y, Morita T, Zhao T, Hasegawa A, Oikawa T, Tsubokura M. Evaluation of the emergency medical system in an area following lifting of the mandatory evacuation order after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: A retrospective cross-sectional observational study. Medicine. 202106; 100(25):e26466.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Survey about Intention to Engage in Specific Disaster Activities among Disaster Medical Assistance Team Members. Prehospital and disaster medicine. 202112; 36(6):684-690.

高橋司, 井山慶大, 村上道夫, 長谷川有史. 救急救命士を目指す学生の原子力災害に対応する意識に影響を与える因子とは. 日本臨床救急医学会雑誌. 202106; 24(3):320-330.

保田浩志, 吉田由香里, 王冰, 永田健斗, 長谷川有史, 高橋昭久. 確定的影響の生物学的効果比 (RBE) に関する最近の知見. 放射線生物研究. 202106; 56(2):164-207.

〔総説等〕

長谷川有史. 【災害医療 それぞれの 10 年を振り返って】放射線災害医療の 10 年 福島第一原子力発電所事故とその後の安全管理、地域の健康、復興の 10 年. 救急医学. 202103; 45(3):274-281.

長谷川有史. 福島リポート (第 33 回) なぜ、福島事故後 10 年を振り返るのか. 日本医事新報. 202103; (5055):54-57.

長谷川有史. 【治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療】放射線被ばく. 日本医事新報. 202105; (5062):84-86.

井山慶大, 長谷川有史. 【透析医療における災害対策】放射線災害 福島第一原子力発電所事故の教訓を活かす. 臨床透析. 202108; 37(8):765-771.

〔その他〕

長谷川有史. 日本救急医学会の取組と展望. 日本原子力学会誌. 202103; 63(3):218-219.

長谷川有史. 東日本大震災から 10 年をむかえて. 福島医大病院ニュースレター. 202103; (53):2.

長谷川有史. 巻頭言 東日本大震災・福島第一原発事故から 10 年をむかえて一大変化の時代に. 福島県立医科大学大学医師会会報. 202105; 154:1.

長谷川有史. 福島医大の挑戦 震災・原発事故 10 年 (5) 「被ばく医療」 知識や経験足りず 反省整理、社会に還元. 福島民報. 20210325; 3.

長谷川有史. BOOK カフェ 司馬遼太郎著 竜馬がゆく. 福島民友新聞. 20210306. 11 面.

研究発表等

〔研究発表〕

Iyama K, Hasegawa A. Suggestions for improving firefighters' intention to engage in nuclear disaster activities. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208; Web.

Iyama K, Hasegawa A. DISASTER MEDICINE SIMULATION SOFTWARE; PROPOSING A NEW TRAINING METHOD IN VIRTUAL SPACE. International Conference on Emergency Medicine 2021; 20210608-12; Web.

Iyama K, Yamashita K, Kakamu T, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. A Survey of Disaster Medical Assistance Team's intention to engage among CBRNE disasters. International Conference on Emergency Medicine 2021; 20210608-12; Web.

Hasegawa A. Educational challenges for sharing experiences, Technical Meeting on Radiation in Medicine Communications and Methodologies - International Perspectives and the Role of Science, Technology and Society in Low-Dose Radiation Settings. IAEA technical meeting; 20211110; Web.

井山慶大, 島田二郎, 山下和範, 田崎修, 長谷川有史. 特殊災害時における従事者安定供給にむけた業務意志調査. 第26回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-31; Web.

長谷川有史. 東日本大震災から10年をふりかえって(福島と原子力発電所事故). 第26回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

長谷川有史, 井山慶大. Disaster simulator “KAWAUCHI Legends”の開発—COVID-19パンデミックにおける災害対応実習. 第26回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

長谷川有史, 高橋司, 井山慶大. 原子力災害対応者の業務姿勢に影響を与える因子の検討—救急救命士養成校の学生に焦点を当てて. 第5回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20210605-06; Web.

長谷川有史. 原子力災害 初動活動の実際、交流会2 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぐ—福島での10年を振り返って、私たちがこれからできること—。日本災害看護学会第23回年次大会; 20210904; Web.

井山慶大, 佐藤良信, 長谷川有史. シャツ型心電計を用いた緊急被ばく医療研修時のストレス評価. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京.

井山慶大, 長谷川有史. 医学部学生における放射線災害医療に対する意識調査. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京.

長谷川有史. Disaster simulator "KAWAUCHI Legends"の開発と運用—COVID-19パンデミックでの災害対応実習. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京.

〔シンポジウム〕

長谷川有史. ご恩返し—支援と教訓を踏まえて. 被爆75年・HICARE設立30年・福島事故10年国際シンポジウム; 20210211; Web. 報告書. 103-114.

長谷川有史. Crisis communications after the Fukushima nuclear disaster. 5th QST International Symposium; 20210921-22; 千葉/Web. 抄録集. 31-32.

〔特別講演〕

長谷川有史. 福島の復興と人材育成：何ができて何ができなかったのか. 第49回日本小児神経外科学会; 20210604-05; 福島. 抄録集. 101.

長谷川有史. 福島第一原子力発電所事故から10年—何が起こったのか？—. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京.

〔招待講演〕

Hasegawa A. Commemorating the 10 year mark since Fukushima Daichi Nuclear Power Plant Accident - lessons learnt. 16th Coordination meeting of the WHO REMPAN; 20210322; Web.

〔その他〕

長谷川有史（座長）. トライアングルプロジェクト. 第2回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ; 20210209; Web.

長谷川有史（座長）. 東日本大震災から10年 福島県 多機関・多職種. 第26回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

長谷川有史（座長）. 放射線放射線災害の社会影響と放射線防護. 第5回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20210605-06; Web.

長谷川有史（大会会長）. 第9回日本放射線事故・災害学会; 20210904; Web.

長谷川有史（座長）. シンポジウム 福島第一原発における α 核種内部汚染のリスクと対策. 第9回日本放射線事故・災害学会; 20210904; Web.

Hasegawa A（Chair）. Radiation Monitoring with Patients and in Medicine. IAEA 主催「福島第一原発事故後10年の国際会議」; 20211110-11; Web.

井山慶大（座長）, 岡本健. 災害医療①. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京.

その他の業績・作品等

過年業績

長谷川有史. 原子力災害訓練ソフトウェア カワウチ・レジェンズ 3D版（コンピューターソフト）. 20201021.

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

論 文

〔原 著〕

Aoyama T, Tsuneyoshi I, Otake T, Ouchi K, Kawase Y, Arai M, Shibata N, Fujiwara S, Fujitani S; In-Hospital Emergency Registry in Japan Collaborators. Rapid response system in Japanese outpatient departments based on online registry: Multicentre observational study. *Resuscitation Plus*. 202101; 5:100065.

二村美也子, 藤井正純, 前澤聡. 【マルチリンガルブレイン】マルチリンガルと電気刺激による言語機能マッピング. *BRAIN and NERVE*. 202103; 73(3):0247-0255.

嶋原智彦, 大井直往, 望月一弘, 菊田敦. リハビリテーション医学研究のこれから 造血幹細胞移植を施行した小児がん患児に対するリハビリテーション医療. *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*. 202107; 58(7):798-799.

大井直往. リハビリテーションスタッフがかわるチーム医療最前線 10. 新型コロナウイルス肺炎患者に対するチームでのリハビリテーション診療について 福島県立医科大学附属病院. *Journal of Clinical Rehabilitation*. 202112; 30(14):1501-1505.

大井直往. 福島の復興とロコモ. *運動器リハビリテーション*. 202107; 32(2):218.

高橋勝, 大井直往, 大内一夫, 佐藤真理, 猪狩貴弘, 矢吹省司. 鏡視下腱板修復術後患者に対する Mirror therapy の効果. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):11-18.

今野裕樹, 大歳憲一, 加賀孝弘, 猪狩貴弘, 嶋原智彦, 福島県理学療法士会メディカルサポート委員会. 学童期ソフトボール選手の肩・肘関節障害 学童期野球選手との比較. 202109; 5:12-17.

渡辺祐樹, 柳沼里英, 伊橋光二, 小野洋子, 添田健仁, 佐藤真理, 大井直往. リスク管理を行っただけでのリハビリテーション介入により ADL 維持向上を図ることができたミトコンドリア病の一症例. *理学療法学*. 202106; 48(3):312-320.

著 書・訳 書

大井直往. 大規模災害時の運動器の健康維持. In: 日本整形外科学会, 日本運動器科学会 監修. *ロコモティブシンドローム診療ガイド*. 東京: 文光堂. 202105. p.175-177.

大井直往. 運動器不安定症. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. *今日の整形外科治療指針* 第8版. 東京: 医学書院. 202110. p.345-346.

大井直往. 転倒予防. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院. 202110. p.347-348.

大内一夫. Lisfranc 関節脱臼骨折. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院. 202110. p.863-864.

研究発表等

〔研究発表〕

柏原裕樹, 大内一夫, 佐藤真理, 嶋崎睦, 野村潤, 嶋原智彦, 菅野健一, 大井直往. 2021年2月13日福島県沖地震での福島 JRAT の動き. 第50回日本リハビリテーション医学会東北地方会/専門医・認定臨床医生涯教育研修会; 20210911; Web.

二村美也子, 藤井正純, 蛭田亮, 木之内裕子, 飯島綾子, 長井健一郎, 市川優寛, 大井直往. 悪性神経膠腫に対する初期治療患者の QOL 改善を目指す当院のチームアプローチ. 第39回日本脳腫瘍学会学術集会; 20211205-07; 神戸.

〔シンポジウム〕

二村美也子, 藤井正純, 蛭田亮, 菊田春彦, 黒沢瑞穂. 術後に拮抗失行を呈した、左頭頂葉神経膠腫の一例. 第26回日本脳腫瘍の外科学会; 20210909-10; 東京/Web.

二村美也子, 藤井正純, 前澤聡, 蛭田亮, 小林俊輔. マルチリンガルと電気刺激による言語機能マッピング. 第45回日本高次脳機能障害学会学術総会; 20211209-10; 郡山/Web.

〔特別講演〕

大井直往. 2019年台風19号災害における福島 JRAT の活動報告. 第5回石川 JRAT 研修会; 20210204; 金沢.

大井直往. 災害リハビリテーション医療. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20210610-13; 京都/Web.

大井直往. 東日本大震災から10年を迎えて. 第4回山形県災害リハビリテーション研修会; 20210710; 山形.

大井直往. 福島県での災害リハビリテーション診療の現況ー「県との協定締結」について. 第7回新潟県災害リハビリテーション研修会; 20211002; Web.

大井直往. 災害リハビリテーションー福島 JRAT の活動と今後の展望ー. 福島県作業療法士会 2021年度災害対策研修会; 20211024; Web.

〔その他〕

大井直往（座長）. 回復期リハビリテーション患者における運動器合併症と併存症. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20210610-13; 京都Web.

その他の業績・作品等

大井直往. 福島県障がい者スポーツ大会（医務）. 20210516; 福島.

大井直往. 東北北海道パラ陸上競技大会（医務）. 20211127; 郡山.

人間科学講座 生命倫理学分野

論文

〔原 著〕

Suenaga K. Bodies in the Service of the Japanese Empire: Colonial Medicine in Manchuria. Asia-Pacific Journal. 202112; 19(24):5660.

〔その他〕

末永恵子. 資料紹介 増田知貞著「細菌戦ニ就テ」. 戦争と医学. 202112; 22:72-75.

著 書・訳 書

末永恵子. 中国占領地同仁会（外地「いのち」の資料集5） 第1巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202110.

末永恵子. 中国占領地同仁会（外地「いのち」の資料集5） 第2巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202110.

研究発表等

〔研究発表〕

末永恵子. 石井部隊と軍用ワクチン. 戦争と医学医療研究会第47回定例研究会; 20211128; Web. 戦争と医学. 22:78.

〔シンポジウム〕

末永恵子. 日中戦争期の日本軍占領地におけるコレラ防疫―同仁会と軍の関係を中心に. 日本植民地研究会大会第29回全国研究大会; 20210717; Web.

自然科学講座 数理情報学分野

論 文

〔原 著〕

Adachi T. On an aggregate state-price deflator in a multi-period market model. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics. 202109; 38(3):1063-1074.

自然科学講座 先端化学分野

論 文

〔原 著〕

Taniguchi N. Zinc-Catalyzed Regioselective Addition of Alkyl Thiols to Alkenes via Anion or Radical Reaction. Arkivoc. 2021; 2021:125-137.

Sonobe K, Tanabe M, Imaoka T, Chun WJ, Yamamoto K. Low-Temperature H₂ Reduction of Copper Oxide Subnanoparticles. Chemistry a European journal. 202106; 27(23):8452-8456.

著 書・訳 書

田辺真, 山元公寿. 銅サブナノ粒子の合成とその触媒活性. In: 技術情報協会 企画編集. 金属ナノ粒子、微粒子の合成、調製と最新応用技術. 東京: 技術情報協会; 202110. p.469-478.

研究発表等

〔研究発表〕

Iriuchijima T, Fukatsu T, Sonobe K, Koizumi H, Tanabe M, Yamamoto K. Enhancement catalytic performance of subnano Cu-Pt alloy particles for CO oxidation. Pacifichem2021; 20211217-21; Web.

Huda M, 田辺真, 山元公寿. 炭化水素酸化触媒に向けた三元素サブナノ合金粒子の精密合成と活性評価. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

井田由美, 田辺真, 山元公寿. プラズマ蒸着による鉄を主元素とする極小粒子の構造評価と磁気特性. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

入内嶋貴洋, 富加津智哉, 田辺真, 山元公寿. 原子数が規定された銅-貴金属サブナノ触媒の合金効果. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

小泉宙夢, 神戸徹也, 田辺真, 山元公寿. Copper-Metal Oxide Hybrid Subnanoparticles for Catalytic Selective Oxidations. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

園部量崇, 田辺真, 今岡享稔, 田旺帝, 山元公寿. サブナノ酸化銅触媒の低温還元特性と触媒的炭化水素酸化. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

森合達也, 塚本孝政, 田辺真, 神戸徹也, 今岡享稔, 山元公寿. 貨幣合金サブナノ粒子触媒によるオレフィンの選択的ヒドロペルオキシ化反応. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

入内嶋貴洋, 園部量崇, 田辺真, 山元公寿. 銅-貴金属ハイブリッド触媒による気相酸化反応の高効率化. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

小泉宙夢, 神戸徹也, 田辺真, 山元公寿. 多元金属サブナノ粒子による炭化水素の選択的酸化反応. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

森合達也, 塚本孝政, 田辺真, 神戸徹也, 今岡享稔, 山元公寿. デンドリマーによる新規ニッケルクラスターの精密合成と温室効果ガス変換反応への応用. 第 15 回分子科学討論会; 20210918-21; Web.

〔招待講演〕

田辺真. 高選択酸化を指向する多元素サブナノ触媒の創製. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

田辺真, 山元公寿. サブナノ粒子の構造解析に基づく酸素酸化触媒の開発. ナノ構造触媒研究会; 20211210; Web.

自然科学講座 分子細胞生物学分野

論文

〔総説等〕

西山学即. 絨毛虫 *Paramecium* 属のゲノム再編集の最近の研究動向. 福島県立医科大学総合科学教育研究センター紀要. 202112; 10:1-9.

研究発表等

〔研究発表〕

五十嵐城太郎, 松岡有樹. 一酸化炭素結合によるグロビン結合型ジグアニル酸シクラーゼ DgcO の構造変化. 2021 年度日本動物学会東北支部大会; 20210801; Web.

自然科学講座 数理物質科学分野

論文

〔原 著〕

Kitou S, Tsumuraya T, Sawahata H, Ishii F, Hiraki KI, Nakamura T, Katayama N, Sawa H. Ambient-pressure Dirac electron system in the quasi-two-dimensional molecular conductor α -(BETS)2I3. *Physical Review B*. 202101; 103(3):035135.

Ozaki S, Tateishi I, Matsuura H, Ogata M, Hiraki KI. Nodal-line semimetal HMTSF-TCNQ: Anomalous orbital diamagnetism and charge density wave. *Physical Review B*. 202110; 104(15):155202.

Sari DP, Asih R, Hiraki KI, Nakano T, Nozue Y, Ishii Y, Hillier AD, Watanabe I. Distorted superconducting nodal line on a single Fermi surface in the anisotropic organic superconductor λ -(BETS)2GaCl4. *Physical Review B*. 202112; 104(22):224506.

研究発表等

〔研究発表〕

Puspita SD, Asih R, Hiraki KI, Nakano T, Nozue Y, Aizawa H, Koretsune T, Kuroki K, Seo H, Hillier A, Ishii Y, Watanabe I. μ +SR Study of the Out-of-plane London Penetration Depth in Single Crystals of λ -(BETS)2GaCl4. 日本物理学会第 76 回年次大会; 20210312-15; Web.

木俣基, 開康一, 崔亨波, 加藤礼三. HMTSF-TCNQ における磁気抵抗と Hall 効果. 日本物理学会第 76 回年次大会; 20210312-15; Web.

尾崎壮駿, 立石幾真, 松浦弘泰, 小形正男, 開康一. ノーダルライン半金属 HMTSF-TCNQ における電荷密度波と異常な軌道反磁性. 日本物理学会 2021 年度秋季大会; 20210920-23; Web.

加藤優樹, 小林拓矢, 谷口弘三, 藤山茂樹, 開康一. 127I-NQR 法による分子性導体 α -(BEDT-TTF)2I3 の電荷秩序の観測. 日本物理学会 2021 年度秋季大会; 20210920-23; Web.

生体物質研究部門

論 文

〔原 著〕

Homma MK, Kiko Y, Hashimoto Y, Nagatsuka M, Katagata N, Masui S, Homma Y, Nomizu T. Intracellular localization of CK2 α as a prognostic factor in invasive breast carcinomas. *Cancer Science*. 202102; 112(2):619-628.

Kubohara Y, Homma Y, Shibata H, Oshima Y, Kikuchi H. Dictyostelium Differentiation-Inducing Factor-1 Promotes Glucose Uptake, at Least in Part, via an AMPK-Dependent Pathway in Mouse 3T3-L1 Cells. *International journal of molecular sciences*. 202102; 22(5):2293.

Tanaka T, Iwamoto K, Wada M, Yano E, Suzuki T, Kawaguchi N, Shirasaka N, Moriyama T, Homma Y. Dietary syringic acid reduces fat mass in an ovariectomy-induced mouse model of obesity. *Menopause*. 202110; 28(12):1340-1350.

Ogura M, Endo K, Suzuki T, Homma Y. Prenylated quinolinecarboxylic acid compound-18 prevents sensory nerve fiber outgrowth through inhibition of the interleukin-31 pathway. *PLOS ONE*. 202102; 16(2):e0246630.

研究発表等

〔研究発表〕

Homma MK, Hashimoto Y, Nomizu T, Homma Y. Evaluation of nucleolar CK2a-positive staining as a new prognostic factor for invasive ductal carcinoma of the breast. Emerging Roles for the Nucleolus: The American Society for Biochemistry and Molecular Biology; 20211006-09; Web.

Homma MK, Hashimoto Y, Homma Y, Nomizu T. Association of nucleolar CKa with poor prognosis for breast carcinomas. Cell Symposium: Overcoming Therapy Resistance in Cancer; 20211108-10; Web.

小椋正人, 遠藤久美子, 鈴木俊幸, 本間好. プレニルキノリンカルボン酸誘導体-18 は、インターロイキン 31 経路の阻害を通して知覚神経線維の成長を抑制する. 第 94 回日本薬理学会年会; 20210308-10; 札幌. 要旨集. 94:1-P2-21.

和田真希, 田中照佳, 鈴木俊幸, 川口信久, 白坂憲章, 財満信宏, 森山達哉, 本間好. シリンガ酸による閉経後肥満予防効果の作用機構の検討. 第 75 回日本栄養・食糧学会大会; 20210703-04; Web.

田中照佳, 大沼広宜, 鈴木俊幸, 嶋原隆, 木村栄一, 本間好. きのか菌床培地中のシリンガ酸およびバニリン酸含量の定量と破骨細胞の分化抑制効果. 日本食品科学工学会第 68 回大会; 20210826-28; Web.

Nomizu T, Hashimoto Y, Homma MK. Intracellular localization of CK2a as a prognostic factor in invasive breast carcinomas. 第 80 回日本癌学会学術総会; 20210930-1002; 横浜/Web. プログラム. 168.

細胞科学研究部門

論 文

〔原 著〕

Inoue N. Gamete Fusion Assay in Mice. Bio-Protocol. 202111; 11(22):e4233.

Inoue N, Hagihara Y, Wada I. Evolutionarily conserved sperm factors, DCST1 and DCST2, are required for gamete fusion. eLife. 202104; 10:e66313.

Hattori T, Hanafusa K, Wada I, Hosokawa N. SEL1L degradation intermediates stimulate cytosolic aggregation of polyglutamine-expanded protein. FEBS Journal. 202108; 288(15):4637-4654.

Matsumoto N, Nemoto-Sasaki Y, Oka S, Arai S, Wada I, Yamashita A. Phosphorylation of human phospholipase A1 DDHD1 at newly identified phosphosites affects its subcellular localization. Journal of

Biological Chemistry. 202107; 297(1):100851.

Inoue N, Satouh Y, Wada I. IZUMO family member 3, IZUMO3, is involved in male fertility through the acrosome formation. Molecular Reproduction and Development. 202107; 88(7):479-481.

Ono R, Masuya M, Inoue N, Shinmei M, Ishii S, Maegawa Y, Maharjan BD, Katayama N, Nosaka T. Tet1 is not required for myeloid leukemogenesis by MLL-ENL in novel mouse models. PLOS ONE. 202103; 16(3):e0248425.

〔総説等〕

井上直和. 進化の過程で 10 億年間保存されてきた配偶子融合因子. 実験医学. 202107; 39(13):2126-2129.

生体機能研究部門

論 文

〔原 著〕

Oguchi M, Tanaka S, Pan X, Kikusui T, Moriya-Ito K, Kato S, Kobayashi K, Sakagami M. Chemogenetic inactivation reveals the inhibitory control function of the prefronto-striatal pathway in the macaque brain. Communications Biology. 202109; 4(1):1088.

Takahashi M, Fukabori R, Kawasaki H, Kobayashi K, Kawakami K. The distribution of Cdh20 mRNA demarcates somatotopic subregions and subpopulations of spiny projection neurons in the rat dorsolateral striatum. Journal of Comparative Neurology. 202111; 529(16):3655-3675.

Otsuka Y, Tsuge H, Uezono S, Tanabe S, Fujiwara M, Miwa M, Kato S, Nakamura K, Kobayashi K, Inoue K, Takada M. Retrograde transgene expression via neuron-specific lentiviral vector depends on both species and input projections. Viruses. 202107; 13(7):1387.

〔総説等〕

Osanai M, Miwa H, Tamura A, Kikuta S, Iguchi Y, Yanagawa Y, Kobayashi K, Katayama N, Tanaka T, Mushiake H. Multimodal Functional Analysis Platform: 1. Ultrathin Fluorescence Endoscope Imaging System Enables Flexible Functional Brain Imaging. Advances in Experimental Medicine and Biology. 202101; 1293:471-479.

Kato S, Nishizawa K, Kobayashi K. Thalamostriatal system controls the acquisition, performance, and

flexibility of learning behavior. *Frontiers in Systems Neuroscience*. 2021;10: 15:729389.

研究発表等

〔研究発表〕

加藤成樹, 小林和人. Input analysis to striatal subdivision with high-frequency retrograde viral vector. 第 44 回日本神経科学大会; 20210728-31; 神戸/Web.

加藤成樹, 小林和人. 線条体 subdivision への入力解析と行動機能操作. 第 44 回日本分子生物学会; 20211201-03; 横浜.

災害危機管理看護学講座（旧：災害公衆衛生看護学講座）

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤美佳, 浦田秀子, 新川哲子, 橋本真由美, 名城真弓, 上澤紀子, 小池祐未. 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぐー福島での 10 年を振り返って、私たちがこれからできることー. 日本災害看護学会第 23 回年次大会; 20210904; Web.

国際被ばく保健看護学講座（旧：国際被ばく公衆衛生看護学講座）

論文

〔原 著〕

佐藤美佳. 看護基礎教育における災害看護に関する教育体制等の現状と課題 全国実態調査から. 日本災害看護学会誌. 202105; 22(3):85-98.

研究発表等

〔研究発表〕

佐藤美佳, 浦田秀子, 新川哲子, 橋本真由美, 名城真弓, 上澤紀子, 小池祐未. 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぐー福島での10年を振り返って、私たちがこれからできることー. 日本災害看護学会第23回年次大会; 20210904; Web.

佐藤美佳, 浦田秀子, 新川哲子, 上澤紀子, 佐藤良信. 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぎみらいへー福島での10年を振り返り、私たちができることー. 日本放射線看護学会第10回学術集会; 20210918-19; Web.

佐藤美佳. 放射線健康リスクコミュニケーションに関する看護・医学研究に焦点をあてた計量テキスト分析による文献検討. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211204-05; Web.

周産期・小児地域医療支援講座

論文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Suzuki E, Yazawa R, Yasuda S, Kanno A, Yamaguchi A, Hashimoto Y, Fujimori K. Labor dystocia and risk of histological chorioamnionitis and funisitis: a study from a single tertiary referral center. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202103; 21(1):263.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Morokuma S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):295.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Endo Y, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels and small-for-gestational age infants: a prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. *BMJ Open*. 202112; 11(12):e054156.

Suzuki N, Murata T, Fukuda T, Kanno A, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Retraction notice

to "Pyoderma gangrenosum in a cesarean section wound in a woman with myelodysplastic syndrome: A case report" [Case Reports in Women's Health 28 (2020) e00253]. Case Reports in Women's Health. 202101; 30:e00291.

Imaizumi K, Yasuda S, Toba N, Okazaki T, Fukuda T, Murata T, Kann A, Ishibashi M, Kyojuka H, Ito F, Yamaguchi A, Fujimori K. Pregnancy complicated by central diabetes insipidus and oligohydramnios. Clinical Case Reports. 202108; 9(8):e04590.

Maeda H, Hashimoto K, Go H, Miyazaki K, Sato M, Kawasaki Y, Momoi N, Hosoya M. Towards the development of a human in vitro model of the blood-brain barrier for virus-associated acute encephalopathy: assessment of the time- and concentration-dependent effects of TNF- α on paracellular tightness. Experimental Brain Research. 202102; 239(2):451-461.

Hirono K, Hata Y, Ozawa SW, Toda T, Momoi N, Fukuda Y, Inuzuka R, Nagamine H, Sakaguchi H, Kurosaki K, Okabe M, Takarada S, Miyao N, Nakaoka H, Ibuki K, Origasa H, Bowles NE, Nishida N, Ichida F; for LVNC study collaborators. A burden of sarcomere gene variants in fetal-onset patients with left ventricular noncompaction. International Journal of Cardiology. 202104; 328:122-129.

Murata T, Kyojuka H, Endo Y, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment Children's Study Jecs Group. Preterm Deliveries in Women with Uterine Myomas: The Japan Environment and Children's Study. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202102; 18(5):2246.

Yamaguchi A, Kyojuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan Environment and Children's Study: a prospective cohort study. Journal of Affective Disorders. 202103; 283:223-228.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. Journal of Diabetes Investigation. 202111; 12(11):2071-2079.

Fukuda T, Kyojuka H, Murata T, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Preventing recurrent preterm birth with 125 mg of 17-alpha-hydroxyprogesterone caproate. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202109; 47(9):3119-3126.

Jin T, Kyojuka H, Fukuda T, Fujimori M, Murata T, Nomura S, Suzuki D, Nomura Y, Imamura T, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Effect of gestational weight gain on placental weight: A single tertiary referral center study of Japanese women. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 202112; 47(12):4241-4249.

Kyojuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS)

Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202105; 85:111129.

Murata T, Kyojuka H, Yasuda S, Fukuda T, Yamaguchi A, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association between maternal ritodrine hydrochloride administration during pregnancy and childhood wheezing up to three years of age: The Japan environment and children's study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202110; 32(7):1455-1463.

Kyojuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Kyojuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal pre-pregnancy body mass index and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4350.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8664.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Author Correction: Gestational weight gain and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8906.

安田俊, 福田冬馬, 藤森敬也. 【新 経腔分娩を成功させる 29 の提言】CTG の判読 「読みすぎ」を防ぐポイント. *周産期医学*. 202101; 51(1):58-62.

桃井伸緒. 【災害時の小児医療～災害の経験を今後に活かす～】原発事故と広域避難、その後 福島の小児医療の変化. *小児科診療*. 202103; 84(3):371-375.

増山郁, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 【災害時の小児医療～災害の経験を今後に活かす～】原発事故と広域避難、その後 NICU 卒業生交流キャンプ『すくすくキャンプ』. *小児科診療*. 202103; 84(3):383-387.

災害医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Kumakura T, Fukushima T, Yabe H, Kawakatsu S. Effects of the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on behavioural and psychological symptoms of dementia among patients. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):709-715.

中野渡仁, 遠藤由樹, 北川彰信, 深田靖久, 入江嘉仁. 手術の工夫 経心尖部経カテーテル的大動脈弁留置術と左開胸冠動脈バイパス術の同時施行. *胸部外科*. 202108; 74(8):574-577.

堀有伸. 【現代の解離症とその治療】東日本大震災・原発事故と解離. *精神療法*. 202102; 47(1):80-81.

〔症例報告〕

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Ito M, Itagaki S, Matsumoto T, Kumakura T, Yabe H. Differential diagnosis of memory impairment in areas affected by a natural disaster: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):38-44.

〔その他〕

Hori A, Sawano T, Ozaki A, Tsubokura M. Exacerbation of Subthreshold PTSD Symptoms in a Great East Japan Earthquake Survivor in the Context of the COVID-19 Pandemic. *Case Reports in Psychiatry*. 202102; 2021:6699775.

中野渡仁, 坪井栄俊, 遠藤由樹, 北川彰信, 深田靖久, 入江嘉仁. 「畠山靖夫奨励賞」受賞論文 僧帽弁置換術後の重症大動脈弁狭窄症に経カテーテル的大動脈弁置換術を施行した1例. *いわき市医療センター医報*. 202109; 42(1):46.

研究発表等

〔研究発表〕

Miyagawa A. Characteristics of patients with dementia after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 15th International Congress of the Asian Society Against Dementia; 20211106; Sendai/Web.

社本博, 藤原勲, 松尾孝志. 医療療養型病院での食支援～「支え」と「治す」で multi-morbidity に対応～. 第9回 KTSM 全国 WEB 大会; 20210501-0702; Web.

堀有伸. 東日本大震災・原発事故後の PTSD を合併した気分障害の症例について. 第20回日本トラウマティック・ストレス学会学術集会; 0210717-18; Web.

社本博. 多職種連携ははじめの一步! 歯科医療従事者向け Web セミナー 多職種連携の実際を知ろう season3; 20210901; Web.

平田日向子, 長谷川貴之, 遠藤千麻, 望月夏紀, 若原志保, 赤津賢彦. 巨大卵巣腫瘍摘出後に無気肺と再膨張性肺水腫を合併した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第11回学術集会; 20210904-1004; Web. プログラム, 33.

社本博. ここだけはおさえて! 脳神経から見る摂食嚥下障害. 看護・ケア従事者のための WinWin 食支援セミナー; 20211006-20; Web.

赤津賢彦. Great East Japan earthquake: anesthetists in Iwaki “The final version”. 第10回福島災害医療研究会; 20211008; Web.

入江嘉仁. 浜通りの危機を救った災害医療支援講座—心臓外科編. 第10回福島災害医療研究会; 20211008; Web.

小鷹昌明. 小高診療所における在宅医療患者の実態解析. 第10回福島災害医療研究会; 20211008; Web.

小柴貴明. 近隣施設の協力を得た公平なバスキュラーアクセス医療の提供. 第10回福島災害医療研究会; 20211008; Web.

宮川明美. 東日本大震災後の認知症高齢者が置かれた状況について. 第20回心うつくしまふくしまフォーラム; 20211019; Web.

入江嘉仁 (座長). クリニカルビデオセッション心臓1「CV 僧帽弁・不整脈」. 第74回胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

社本博. 押さえておきたい脳卒中の種類と症状 知っておきたい脳卒中の経過と合併症 脳卒中の摂食嚥下障害への包括的アプローチ. NPO 法人人口から食べる幸せを守る会 オンラインセミナー7; 20211120-1220; Web.

〔特別講演〕

入江嘉仁. 心臓外科医から心不全の話. 大塚製薬社内講演会; 20210203; Web.

入江嘉仁. TAVI 180 例の経験から得た知見と今後の病診連携への展望. いわき TAVI 連携の会; 20210322; Web.

入江嘉仁. TAVI 術前後の心機能評価～200 症例の検討から～. 医療連携 WEB セミナー; 20211007; Web.

地域救急医療支援講座

論文

〔原著〕

Onodera M, Tsukada Y, Suzuki T, Sorimachi K, Ebihara K, Sato L, Zenda R, Ueno S, Sugaya K, Iseki K. Development of delayed neurologic sequelae in acute carbon monoxide poisoning cases caused by briquette-based kotatsu: A case-control study. *Medicine*. 202104; 100(16):e25009.

〔総説等〕

小野寺誠. 【あつまれ どうしょくぶつの毒】植物毒による食中毒 キノコ. *救急医学*. 202111; 45(12):1478-1484.

〔症例報告〕

菊池哲, 千葉俊美, 藤野靖久, 小野寺誠, 佐藤正幸, 井上義博. 門脈ガス像を伴う多発食道粘膜下気泡封入血腫の1例. *Gastroenterological Endoscopy*. 202111; 63(11):2330-2336.

上野智史, 小野寺誠, 武藤憲哉, 矢野徹宏, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 超高齢の偶発性低体温症に対し VA-ECMO により復温し救命し得た1例. *日本救急医学会雑誌*. 202110; 32(10):523-528.

著書・訳書

小野寺誠. 中毒性疾患 トリカブト中毒. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. *今日の治療指針 私はこう治療している* 2021年版. 東京: 医学書院; 202101. p.158-159.

研究発表等

〔研究発表〕

海老原研一, 塚田泰彦, 反町光太郎, 菅谷一樹, 伊関憲. 来院後に2度の心停止を来した上部消化管出血の1例. 第48回日本集中治療医学会学術集会; 20210212-14; Web. *日本集中治療医学会雑誌*. 28(2):435.

菅谷一樹, 海老原研一, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. COVID-19肺炎の管理中に生じた高カリウム血症にジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物が有効だった1例. 第48回日本集中治療医学会学術集会; 20210212-14; Web. *日本集中治療医学会雑誌*. 28(2):456.

菅谷一樹, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. 爆傷により脳脱を呈したが、神経学的に改善を認めた1例. 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20210610-12; Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 24(2):228.

菅谷一樹, 海老原研一, 金悠路, 大久保怜子, 反町光太郎, 塚田泰彦, 伊関憲. 遅発性喉頭浮腫をきたした顔面熱傷の1例. 第35回東北救急医学会総会・学術集会/第31回日本救急医学会東北地方会; 20210710; Web. プログラム・抄録集. 52.

関根萌, 鈴木剛, 鈴木光子, 全田吏栄, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 武田紗希, 伊関憲. シュウ酸カルシウム結晶尿が早期診断に有用であったエチレングリコール中毒の一例. 第43回日本中毒学会総会・学術集会; 20211015-31; Web. 中毒研究. 34(3):245.

鈴木光子, 塚田泰彦, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 三澤友誉, 全田吏栄, 大久保怜子, 矢野徹宏, 金悠路, 小野寺誠, 伊関憲. 心停止で搬送された急性喉頭蓋炎の一例. 第49回日本救急医学会総会・学術集会; 20211121-23; 東京. 日本救急医学会雑誌. 32(12):2410.

〔シンポジウム〕

小野寺誠, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 上野智史, 大山亜紗美, 全田吏栄, 鈴木光子, 金悠路, 三澤友誉, 矢野徹宏, 大久保怜子, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 伊関憲. COVID-19患者に対する当院の診療体制と重症患者における多職種連携. 第35回東北救急医学会総会・学術集会/第31回日本救急医学会東北地方会; 20210710; Web. プログラム・抄録集. 45.

地域産婦人科支援講座

論 文

〔原 著〕

Murata T, Endo Y, Furukawa S, Ono A, Kiko Y, Soeda S, Watanabe T, Takahashi T, Fujimori K. Successful laparoscopic resection of ovarian abscess caused by *Staphylococcus aureus* in a 13-year-old girl: a case report and review of literature. BMC Women's Health. 202105; 21(1):198.

Rahman A, Kobayashi M, Sugimoto K, Endo Y, Kojima M, Furukawa S, Watanabe T, Soeda S, Hashimoto Y, Fujimori K, Chiba H. Reduced Claudin-12 Expression Predicts Poor Prognosis in Cervical Cancer. International Journal of Molecular Sciences. 202104; 22(7):3774.

Watanabe T, Nanamiya H, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Tamura H, Ryufuku M, Tanaka D, Isogai T, Imai JI, Watanabe S, Fujimori K. Identification and clinical significance of somatic oncogenic mutations in epithelial ovarian cancer. Journal of Ovarian Research. 202110; 14(1):129.

山口明子, 磯上弘貴, 菅野亜矢, 藤森敬也. 【日本の周産期メンタルヘルス事情 update】食生活から始める周産期メンタルヘルスケア. 産婦人科の実際. 202106; 70(6):631-634.

白岩彩, 古川茂宜, 藤森実杜, 福田冬馬, 植田牧子, 遠藤雄大, 小島学, 小野澤寿志, 坂本渉, 添田周, 渡邊尚文, 鈴木博志, 藤森敬也. 卵巣腫瘍茎捻転との鑑別を要し、腹腔鏡下に整復し得た子宮広間膜ヘルニアの一例. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):41-45.

白河総合診療アカデミー

論 文

〔原 著〕

Tominaga R, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202101; 92:104256.

Yahata S, Takeshima T, Kenzaka T, Okayama M. Fostering student motivation towards community healthcare: a qualitative study. BMJ Open. 202101; 11(1):e039344.

Hattori S, Yokota H, Takada T, Horikoshi T, Takishima H, Mikami W, Mukai H, Funakoshi H, Naganuma T, Yano T, Terada K, Inokuchi R, Tsuchiya S, Akutsu A, Saiga A, Kubota Y, Wada T, Takada A, Fujimoto H, Uno T. Impact of clinical information on CT diagnosis by radiologist and subsequent clinical management by physician in acute abdominal pain. European Radiology. 202108; 31(8):5454–5463.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. European Spine Journal. 202110; 30(10):3019–3027.

Naganuma T, Takahashi S, Takeshima T, Kurita N, Omae K, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Cohort Profile: A super-elderly population-based cohort in Japan (the Sukagawa Study). International Journal of Epidemiology. 202107; 50(3):727–727h.

Sadamatsu Y, Ono K, Hiratsuka Y, Takesue A, Tano T, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Murakami A. Prevalence and factors associated with uncorrected presbyopia in a rural population of Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. Japanese Journal of Ophthalmology. 202109; 65(5):724–730.

Miyashita J, Kohno A, Shimizu S, Kashiwazaki M, Kamihiro N, Okawa K, Fujisaki M, Fukuhara S, Yamamoto Y. Healthcare providers' perceptions on the timing of initial advance care planning discussions in Japan: A mixed-methods study. *Journal of General Internal Medicine*. 202110; 36(10):2935–2942.

Imamoto M, Takada T, Sasaki S, Kato K, Onishi Y. Salt intake per dish in the Japanese diet: a clue to help establish dietary goals at home. *Journal of Nutritional Science*. 202112; 10:e107.

Omae K, Yamamoto Y, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Ohnishi T, Ito F, Yoshioka T, Fukuhara S. Significance of Overactive Bladder as a Predictor of Falls in Community Dwelling Older Adults: 1-Year Followup of the Sukagawa Study. *Journal of Urology*. 202101; 205(1):219-225.

Miyashita J, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association between religious beliefs and discussions regarding advance care planning: A nationwide survey. *Palliative Medicine*. 202112; 35(10):1856-1864.

Hijkata Y, Kamitani T, Otani K, Konno S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association of Lumbar Spinal Stenosis with Severe Disability and Mortality Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study. *Spine*. 202107; 46(14):E784-E790.

東白川整形外科アカデミー

論 文

〔原 著〕

Iwata S, Kawai A, Ueda T, Ishii T, Yonemoto T, Kamoda H, Suzuki Y, Kikuta K, Imanishi J, Okubo T, Yazawa Y, Sotobori T, Murata H, Ozaki T, Kunisada T, Fujiwara T, Kakunaga S, Hiraoka K, Hamada T, Matsuda K, Yanagawa T, Saito K, Namba H, Kawasaki M, Nishimura S, Hashimoto K, Okamoto T, Anazawa U, Watanabe I, Hakozaiki M, Imura Y, Takenaka S, Kobayashi E, Ogura K, Yasuda T, Suzuki K, Akiyama T, Hosaka M, Watanuki M, Hayashi K, Shirai T, Terauchi R, Aiba H, Kimura H, Asanuma K, Nakamura T, Hagi T, Abe S, Sato K, Yoshida Y, Suehara Y, Akaike K, Hiraga H, Soma T, Kobayashi H, Shinoda Y, Sawada R. Symptomatic Venous Thromboembolism in Patients with Malignant Bone and Soft Tissue Tumors: A Prospective Multicenter Cohort Study. *Annals of Surgical Oncology*. 202107; 28(7):3919-3927.

Hatashita S, Kawakami R, Ejiri S, Sasaki N, Toshiki N, Ito M, Konno SI, Hakozaiki M. Acute Masquelet technique' for reconstructing bone defects of an open lower limb fracture. *European Journal of Trauma and Emergency Surgery*. 202108; 47(4):1153-1162.

〔症例報告〕

Takahashi Y, Hatashita S, Shinden Y, Ito M, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Periprosthetic fracture resembling atypical femoral fracture after fixation with retrograde intramedullary nail in elderly women: a report of two cases. *In Vivo*. 202105; 35(3):1837-1842.

Kobayashi K, Watanabe K, Kato K, Hakozaiki M, Handa J, Kobayashi H, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Konno S. Acute cauda equina syndrome due to lumbar spinal stenosis caused by prolonged supine position during cardiac catheterization: a case report. *International Journal of Case Reports*. 202104; 5:209.

Kato K, Hakozaiki M, Mashiko R, Konno SI. Familial development of lumbar spondylolysis: a familial case report of 7- and 4-year-old brothers and their father. *Journal of International Medical Research*. 202105; 49(5):3000605211015559.

Kato K, Otoshi K, Hakozaiki M, Konno SI. Progressive enlargement of thoracic ossification of the ligamentum flavum in professional baseball pitchers: a report of two cases. *Journal of International Medical Research*. 202111; 49(11):3000605211059465.

Suzuki T, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Yamada H, Yamada S, Konno S. Visualization of hidden soft-tissue recurrence of giant cell tumor of bone enabled by preoperative denosumab treatment: a case description. *Quantitative Imaging in Medicine and Surgery*. 202108; 11(8):3893-3897.

研究発表等

〔研究発表〕

Hakozaiki M, Kawakami R, Sasaki N, Toshiki N, Kaneuchi Y, Yamada H, Konno S. Reconstructing huge bone defect with Masquelet technique following wide resection for chondrosarcoma of the proximal femur with pathological fracture: a case report. 13th Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society Meeting; 20210421-23; Okayama/Web.

Yamada H, Hakozaiki M, Tajino T, Kaneuchi Y, Konno S. A suitable method of port implantation for orthopedic surgeons. 13th Asia Pacific Musculoskeletal Tumour Society Meeting; 20210421-23; Okayama/Web.

大原喜裕, 佐野秀樹, 望月一弘, 小林正悟, 高橋信久, 工藤新吾, 箱崎道之, 菊田敦. 多発転移再発に対して TMZ+VP16 療法が有効であった骨肉腫の 1 例. 第 42 回東北小児がん研究会; 20210320; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 前十字靱帯損傷後の変型性膝関節症に対する手術. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

高橋洋二郎, 吉田勝浩, 紺野慎一. 成人に発症した可能性膝蓋骨骨髓炎の 1 例. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. ジャンパー膝に対する、eccentric decline squat (EDS) と対外衝撃波治療 (ESWT) を組み合わせた治療経験. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 渡邊和之, 紺野慎一. 頸椎外傷を契機に先天性頸椎椎弓根欠損と診断されたプロサッカー選手——1例報告—. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

平井利英, 小林寛, 小林英介, 秋山達, 齊藤正徳, 菊田一貴, 中井隆彰, 塚本真治, 遠藤誠, 竹中聡, 箱崎道之, 川島寛之, 上田孝文, 河野博隆. 低悪性度骨肉腫の脱分化症例の治療成績—JMOG 多施設共同研究—. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島. 日本整形外科学会雑誌. 95(6):S1268.

新田夢鷹, 箱崎道之, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 大腿骨近位部骨肉腫に対して spherical periacetabular osteotomy による股関節包外切除術と人工股関節全置換術を行った 1 例. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島. 日本整形外科学会雑誌. 95(6):S1304.

山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 紺野慎一. 骨・軟部腫瘍診療における FDG PET の有用性. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島. 日本整形外科学会雑誌. 95(6):S1324.

箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 田地野崇宏, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法による重度粘膜障害. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島. 日本整形外科学会雑誌. 95(6):S1336.

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 田地野崇宏, 山田匠希, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 四肢および表在体幹発生の異型脂肪腫様腫瘍／高分化型脂肪肉腫に対する辺縁切除術の臨床成績. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島. 日本整形外科学会雑誌. 95(6):S1351.

平井亨, 箱崎道之, 関敬大, 紺野慎一. 舟状骨に生じた骨内ガングリオン : 1 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):351.

鈴木丈夫, 金内洋一, 山田仁, 箱崎道之, 紺野慎一. 多骨性線維性骨異形成症の高齢者に生じた二次性骨肉腫の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):379.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 当院における膝関節疾患に対する体外衝撃波の治療経験. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

関敬大, 金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 山田匠希, 長谷川靖. 下腹部軟部腫瘍の一例. 第 28 回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20211127; Web.

〔シンポジウム〕

箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状についてのアンケート調査. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):247.

疼痛医学講座

論文

〔原 著〕

Watanabe K, Otani K, Tominaga R, Kokubun Y, Sekiguchi M, Fukuma S, Kamitani T, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Sagittal imbalance and symptoms of depression in adults: Locomotive Syndrome and Health Outcome in the Aizu Cohort Study (LOHAS). *European Spine Journal*. 202109; 30(9):2450-2456.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Handa J, Konno S. Abdominal oblique muscle injury at its junction with the thoracolumbar fascia in a high school baseball player presenting with unilateral low back pain. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):49-52.

Kobayashi K, Watanabe K, Kato K, Hakozaki M, Handa J, Kobayashi H, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Konno S. Acute cauda equina syndrome due to lumbar spinal stenosis caused by prolonged supine position during cardiac catheterization: a case report. *International Journal of Case Reports*. 2021; 5:209.

Kato K, Sumitani M, Sekiguchi M, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a severity discrimination scale based on physical quality of life for patients with chronic pain. *Journal of Orthopaedic Science*. 202111; 26(6):1124-1129.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Usefulness of the Brief Scale for psychiatric problems in orthopaedic patients (BS-POP) for predicting poor outcome in patients undergoing lumbar decompression surgery. *Pain Research and Management*. 202112; 2021:2589865.

本幸枝, 高橋直人, 谷元真実, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 慢性疼痛治療における看護師の動機づけ面接アプローチ: 面談プロセスを意識したチームでの取り組み. *日本運動器疼痛学会誌*. 202106; 13(2):86-93.

高橋勝, 大井直往, 大内一夫, 佐藤真理, 猪狩貴弘, 矢吹省司. 鏡視肩板修復術後患者に対する Mirror therapy の効果. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):11-18.

二瓶健司, 高橋直人, 笠原諭, 荒瀬洋子, 森山由紀, 佐藤恵美, 桐生亜紀, 岩崎稔, 春山祐樹, 矢吹省司. 星総合病院慢性疼痛センターにおける就学的痛み治療—多職種連携における認知行動療法の意義—. *慢性疼痛*. 202112; 40(1):22-28.

〔総説等〕

矢吹省司. 難治性慢性疼痛患者のリハビリテーション診療. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202102; 58(2):186-191.

矢吹省司. 慢性疼痛の治療戦略. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202111; 58(11):1250-1255.

吉田勝浩, 矢吹省司. 膝関節疾患に対する運動療法—最新の知見—. 整形・災害外科. 202104; 64(4):413-417.

高橋直人. 【運動器疼痛】運動器疼痛の健康障害 運動器疼痛が就労に与える影響. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S277-S287.

矢吹省司. 新ガイドラインの意義. ペインクリニック. 202108; 42(8):937-939.

著 書・訳 書

笠原諭. 心理的アプローチ. In: 慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループ 編. 慢性疼痛診療ガイドライン. 東京: 真興交易医書出版部; 202106. p.115-125.

笠原諭, 丹羽真一. 5. ケースブック 2 精神疾患と併発する慢性痛: Case11 発達障害と慢性痛 10 年間ドクターショッピングを繰り返し、うつ病・パニック症・線維筋痛症と診断された全身痛の 1 例. In: 明智龍男, 杉浦健之. こころとからだにチームでのぞむ 慢性疼痛ケースブック. 東京: 医学書院; 202107. p.153-159.

高橋直人. 慢性痛の入院型ペインマネジメントプログラム. In: 明智龍男, 杉浦健之. こころとからだにチームでのぞむ慢性疼痛ケースブック. 東京: 医学書院; 202107. p.90-94.

高橋直人. Case32 入院型ペインマネジメントプログラムによるアプローチ・1. In: 明智龍男, 杉浦健之. こころとからだにチームでのぞむ慢性疼痛ケースブック. 東京: 医学書院; 202107. p. 275-283.

研究発表等

〔研究発表〕

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary inpatient pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. IASP 2021 Virtual World Congress on pain; 20210609-18; Web.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第 31 回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 慢性疼痛センターにおける集学的痛み治療の効果: 入院を含む群と外来群との比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤鉄志, 小林洋, 小林良浩, 紺野慎一. 難治性慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ: 多面的評価からみた慢性一次性筋骨格痛と慢性術後痛の比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

松平浩, 井上真輔, 笠原諭, 加藤実, 高橋直人, 高橋紀代, 鉄永倫子, 唐司寿一, 二瓶健司, 福井聖, 岡敬之. 休職中の難治性慢性腰痛に対する集学的アプローチ: 全国で運用可能なフラッグシステムの構築を目指して. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

佐藤恵美, 荒瀬洋子, 笠原諭, 高橋直人, 矢吹省司. 家族からの批判により自己主張を回避し慢性疼痛を訴える高校生への心理療法の経験: 1 例報告. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 身体活動が異なる慢性疼痛患者の治療効果の相違. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

谷本真実, 本幸枝, 笠原諭, 荒瀬洋子, 矢吹省司. 慢性疼痛センターでの集学的教育入院型プログラムにおける Multidimensional Pain Inventory による分類別の治療効果について. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 疼痛による機能性側弯に対し 3D バックスキャナーでフォローした症例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 内服のタイミングの変更により日中の活動量が増加し再就職に繋がった一例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

谷津田尊寛, 高橋直人, 二瓶健司, 春山祐樹, 松本大典, 本幸枝, 矢吹省司. 慢性疼痛センターで就労支援を行った慢性広範囲一次性疼痛の 1 例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. ICD-11 分類別でみた運動器慢性痛に対する集学的入院プログラムの治療効果. 第 43 回日本疼痛学会; 20211210-11; Web.

〔シンポジウム〕

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 薬剤師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

本幸枝, 高橋直人, 谷本真実, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 看護師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

二瓶健司, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 谷本真実, 福地朋子, 荒瀬洋子, 佐藤恵美, 森山由紀, 金澤美香, 谷津田尊寛, 松本大典, 春山祐樹, 岩崎稔, 船尾亜里香, 富永桂子, 恩田啓, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 集学的治療現状と課題/システム作りと運営・経営 星総合病院慢性疼痛センターでの集学的痛み診療の現状と課

題. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

〔特別講演〕

笠原諭. 特別講演：慢性疼痛に対する俯瞰的評価と治療戦略ーパーソナリティ障害・発達障害の評価と対応も含めてー. 第 21 回佐賀いたみを考える会; 20210407; Web.

笠原諭. 慢性疼痛における ADHDーその評価と治療対応についてー. 第 1 回痛みセンター多職種連携研修会; 20210818; Web.

〔その他〕

笠原諭. 慢性疼痛と ADHD. 令和 2 年度厚生労働省慢性疼痛診療オンライン研修会「第 1 回エキスパートに学ぶ慢性疼痛診療 Up-to-date」. 20210201-0228; Web.

笠原諭. 慢性疼痛に対する動機づけ面接. 令和 2 年度厚労省慢性疼痛システム普及・人材養成モデル事業「動機づけ面接講演会」; 20210214; Web.

高橋直人. 痛みの基本的概念と治療. 令和 3 年度 R&M 支援センター主催 疼痛セミナー; 20210621; Web.

笠原諭. 慢性疼痛に対する動機づけ面接ー理論と実践ー. 第 16 回慢性痛の心理アセスメント研究会; 20210926; Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 宮城研修会; 20211103; Web.

高橋直人. 集学的アプローチによる痛み治療. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 東北地区講演会; 20211114; Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 秋田地区講演会・研修会; 20211128; Web.

高橋直人. 症例検討 グループディスカッション. 令和 3 年度厚生労働省慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 福島・山形合同研修会; 20211226; Web.

その他の業績・作品等

過年業績

高橋直人, 矢吹省司. 多職種連携集学的痛み治療ー長引く痛みをよくするためにー. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 矢吹省司. 痛みを長引かせないカラダの動かし方についてー理学療法士の立場

スポーツ医学講座

論 文

〔原 著〕

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Arthroscopic Elbow Debridement Using Anterocentral Transbrachialis Portal. *Arthroscopy Techniques*. 202105; 10(6):e1425-e1430.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Handa J, Konno S. Abdominal oblique muscle injury at its junction with the thoracolumbar fascia in a high school baseball player presenting with unilateral low back pain. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):49-52.

Kato K, Otoshi K, Hakozaiki M, Konno SI. Progressive enlargement of thoracic ossification of the ligamentum flavum in professional baseball pitchers: a report of two cases. *Journal of International Medical Research*. 202111; 49(11):3000605211059465.

Kato K, Otoshi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Kurita N, Konno SI. Association Between Musculoskeletal Pain and Psychological Stress Responses in High School Baseball Players: A Cross-sectional Study. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 202111; 9(11):23259671211054422.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. 【腰椎分離症一病態・診断・治療】野球選手における腰椎分離症. *脊椎脊髄ジャーナル*. 202101; 34(1):41-49.

外傷学講座

論 文

〔原 著〕

Fujita K, Sawaguchi T, Goshima K, Shigemoto K, Iwai S. Influence of lateral hinge fractures on biplanar medial closing-wedge distal femoral osteotomy for valgus knee: a new classification of lateral hinge fracture. *Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery*. 2021;1016; doi: 10.1007/s00402-021-04212-4.

Kawamura T, Minehara H, Tazawa R, Matsuura T, Sakai R, Takaso M. Biomechanical Evaluation of Extramedullary Versus Intramedullary Reduction in Unstable Femoral Trochanteric Fractures. *Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation*. 2021;102; 12:2151459321998611.

Miyamoto W, Watanabe Y, Kawano H, Matsushita T. Chipping corrective osteotomy for reconstruction of malunion with angular deformity of the lower extremity: Technical tips and preliminary clinical results. *Injury*. 2021;106; 52(6):1641-1645.

Harada S, Teramoto T, Takaki M, Asahara T, Katoh N, Takenaka N, Matsushita T, Inui T, Watanabe Y, Nishii Y, Kinugasa K, Otsuka K. Radiological assessments and clinical results of intra-articular osteotomy for traumatic osteoarthritis of the ankle. *Injury*. 2021;111; 52(11):3516-3527.

Handrich K, Kamer L, Mayo K, Sawaguchi T, Noser H, Arand C, Wagner D, Rommens PM. Asymmetry of the pelvic ring evaluated by CT-based 3D statistical modeling. *Journal of Anatomy*. 2021;105; 238(5):1225-1232.

Harada S, Teramoto T, Takenaka N, Matsushita T. Distal tibial oblique osteotomy for reconstruction of ankle joint congruity and stability. *Journal of Clinical Orthopaedics and Trauma*. 2021;109; 22:101588.

Teramoto T, Harada S, Takenaka N, Matsushita T. Tibial condylar valgus osteotomy (TCVO): Surgical technique and clinical results for knee osteoarthritis with varus deformity. *Journal of Clinical Orthopaedics and Trauma*. 2021;109; 22:101589.

Higashikawa T, Shigemoto K, Usuda D, Okura M, Sawaguchi T. The Impact of C-Reactive Protein to Albumin Ratio on 1-Year Mortality after Discharge. *Journal of Investigative Surgery*. 2021;111; 34(11):1278-1279.

Tazawa R, Minehara H, Matsuura T, Kawamura T, Sakaki R, Yoshida K, Inoue G, Takaso M. Biomechanical evaluation of internal fixation for the treatment of comminuted subtrochanteric femur fractures. *Journal of Orthopaedic Science*. 2021;105; 26(2):261-265.

Kawabata C, Magasawa T, Ono M, Tarumoto N, Katoh N, Hotta Y, Kawano H, Igarashi K, Shiokawa K, Nishimura K. Plasma acrolein level in rheumatoid arthritis increases independently of the disease

characteristics. Modern Rheumatology. 202103; 31(2):357-364.

澤口毅, 重本顕史. 【Geriatric Orthopedics : 高齢者脆弱性骨折の予防と治療】高齢者大腿骨近位部骨折治療における多職種連携診療. Geriatric Medicine. 202103; 59(3):249-255.

松下隆. 【Geriatric Orthopedics : 高齢者脆弱性骨折の予防と治療】老年病専門医にも知ってほしい高齢者大腿骨近位部骨折治療の基礎. Geriatric Medicine. 202103; 59(3):261-264.

石田善浩, 五嶋謙一, 金山智之, 澤口毅. 高位脛骨骨切り術において外側顆間隆起は下肢アライメントの解剖学的指標となりうるか? JOSKAS. 202105; 46(2):342-343.

澤口毅. 【骨盤骨折治療 Update:基礎から応用まで】骨盤輪損傷（高エネルギー損傷）骨盤輪後方要素の整復固定前方アプローチ. 関節外科. 202104; 40(4):392-399.

寺本司. 【創外固定法 Update】創外固定の歴史. 関節外科. 202108; 40(8):770-781.

原田将太, 寺本司. 【創外固定法 Update】足関節・足部の骨折に対する創外固定. 関節外科. 202108; 40(8):818-827.

寺本司. 動物の進化、人の歩行、脚、足、靴、そして関節外科の将来は? 靴の医学. 202105; 34(2):137-147.

齋藤広樹, 松浦晃正, 峰原宏昌, 河村直, 笠原峻, 高相晶士. 外傷性広範骨欠損に対し Masquelet 法を用いた治療小経験. 骨折. 202101; 43(1):105-109.

原田将太, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 下肢関節外骨折変形癒合後外傷性膝関節症に対する関節内骨切り術と関節外骨切り術の併用. 骨折. 202105; 43(3):724-728.

豊永真人, 西村健, 吉井祥二, 兵頭晃, 岡崎裕司. 小児脛骨遠位骨端線損傷に伴う extensor retinaculum syndrome の治療経験. 骨折. 202108; 43(4):1032-1035.

澤口毅. 治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 骨盤骨折. 日本医事新報. 202107; (5072):43-44.

金山智之, 堀井健志, 重本顕史, 岩井信太郎, 羽土優, 岡本駿郎, 河合燦, 五嶋謙一, 藤田健司, 澤口毅. Open wedge 高位脛骨骨切り術における CT を用いた外側ヒンジ骨折評価. 日本関節病学会誌. 202112; 40(4):414-420.

松下隆. ガイドライン FLS クリニカルスタンダード. 日本骨粗鬆症学会雑誌. 202111; 7(4):599-601.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 外傷性足関節症を生じた脛骨変形癒合 腓骨を骨切りせず脛骨緩徐変形矯正を行った 1 例. 日本創外固定・骨延長学会雑誌. 202104; 32:15-19.

松田浩美, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 高齢者脛骨近位端骨折に対するイリザロフ創外固定を用いた早期荷重訓練の経験. 日本創外固定・骨延長学会雑誌. 202104; 32:123-128.

原田将太, 寺本司, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆. 3b 期変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術が距骨傾斜に及ぼす効果. 日本足の外科学会雑誌. 202108; 42(1):91-94.

結城拓也, 寺本司, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 紺野慎一. 足関節不安定性が存在した開放性足関節脱臼骨折術後偽関節に対して遠位脛骨斜め骨切り術が有用であった 1 例. 日本足の外科学会雑誌. 202108; 42(1):239-241.

荒川郷彦, 原田将太, 森本麻美, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 脛腓骨遠位部粉碎骨折後偽関節に対し腓骨 bone transport が有用だった一例. 日本足の外科学会雑誌. 202108; 42(1):287-290.

著 書・訳 書

松下隆. 大腿骨転子部骨折: ③Oblique Locking Hip Screw (OLHS) 固定. In: 渡部欣忍 編集. スタンダード骨折手術治療 下肢. 東京: メジカルビュー社; 202101. p.60-67.

加藤成隆. 小児大腿骨骨幹部骨折: ②創外固定. In: 渡部欣忍 編集. スタンダード骨折手術治療 下肢. 東京: メジカルビュー社; 202101. p.128-135.

加藤成隆. 脛骨プラトー骨折: ④イリザロフ創外固定. In: 渡部欣忍 編集. スタンダード骨折手術治療 下肢. 東京: メジカルビュー社; 202101. p.278-287.

原田将太, 寺本司. 踵骨骨折: ③外側横皮切によるピン・プレート固定. In: 渡部欣忍 編集. スタンダード骨折手術治療 下肢. 東京: メジカルビュー社; 202101. p.418-425.

高木基行. 下肢骨折に対する一時的創外固定: ②創外固定 (リング型, 牧野牽引). In: 渡部欣忍 編集. スタンダード骨折手術治療 下肢. 東京: メジカルビュー社; 202101. p.454-458.

原田将太. 副子・ギプス包帯固定法. In: 土屋弘行, 他 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.64-66.

研究発表等

〔研究発表〕

Minehara H. Mangled extremity: Amputation VS Salvage Therapy strategies of mangled extremity injuries. 5th World Trauma Congress; 20210214-18; Web.

Minehara H. 脛骨遠位部骨折: 治療のピットフォール. AO Trauma Japan Webinar Part2; 20210214-18; Web.

Sawaguchi T. Combined Ring & Acetabular Fracture. AO Trauma Japan Online seminar; 20210218; Web.

Sawaguchi T. Case-based lecture - acetabular fracture treatment. AO Trauma Masters Seminar - Fragility Fracture; 20210314-15; Web.

Sawaguchi T. Acute multidisciplinary co-management of a patient with hip fracture a case based discussion. 2nd Virtual Asia-Pacific Pocket Meeting of the Fragility Fracture Network; 20210717; Web.

Teramoto T. Distal Tibial oblique osteotomy(DTOO): surgical technique and applicability for ankle osteoarthritis with various deformity. 21st Asia Pacific Orthopaedic Association Congress; 20210729-31; Web.

Sawaguchi T. Proximal femoral osteotomy in previos failed fixation. 27th Argentinian Orthopaedic Trauma Congress; 20210823-26; Web.

Matsushita T. Chipping technique for non-unions and/or deformity correction. Malaysia International Asami Conference 2021; 20210825-26; Web.

Sawaguchi T. Geriatric Acetabular Fractures. 2022 International congress of the Korean Hip Society The 66th Annual Meeting; 20210915-17; Web.

Sawaguchi T. Reconstruction Solutions for Failed Fixation of Hip Fractures. 2022 International congress of the Korean Hip Society The 66th Annual Meeting; 20210915-17; Web.

Teramoto T. Intrarticular Osteotomies for Ankle Arthritis -Indications and Technique-. ADVANCED FOOT & ANKLE COURSE APOA Foot & Ankle Section Initiative; 20211203-05; Web.

峰原宏昌. Proximal femur fracture: do we need augment beyond nail? AO Trauma Taiwan Seminar; 20211231; Web.

竹中信之. 難治骨折（感染と偽関節）の治療. 第30回ひまわり骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー; 20210130; Web.

松下隆. 技術との出会いが未来の医療を変える. 医療機器開発促進に向けたセミナー; 20210303; 郡山.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 森本麻美, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 高齢者の脛骨高原骨折におけるプレート固定・イリザロフ創外固定の比較. 第34回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20210327-28; Web.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 森本麻美, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 骨・関節変形矯正における創外固定の有用性. 第34回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20210327-28; Web.

竹中信之, 加藤成隆, 浅原智彦, 高木基行, 原田将太, 芳野晃, 寺本司, 松下隆. Ilizarov 法による感染性偽関節の治療 創外固定法は最も安全で有用な方法である！ 第34回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20210327-28; Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 脛骨顆外反骨切り術で加療した未治療 Blount 病後高度内反膝. 第34回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20210327-28; Web.

竹中信之. 創外固定による骨折治療と骨粗鬆症治療. 第118回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 森本麻美, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下降. 高齢者脛骨高原骨折において術後免荷はADLを低下させる. 第47回日本骨折治療学会学術集会; 20210702-03; 神戸/Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下降. Tibial Condylar Valgus Osteotomy は外傷性膝関節症にも有用か? 第47回日本骨折治療学会学術集会; 20210702-03; 神戸/Web.

竹中信之. 日本における創外固定器の発展と患者から学ぶイリザロフ法. 第26回日本運動器再建・イリザロフ法研究会; 20210828; 金沢.

松下降. 脆弱性骨折治療の最適化・レベルアップのために. 第23回日本骨粗鬆症学会; 20211008-10; Web.

原田将太, 寺本司, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 松下降. 2つの異なるタイプの内反型変形性足関節症 3b 期の X 線学的特徴と遠位脛骨斜め骨切り術後の変化. 第46回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

寺本司, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦. 外反型変形性足関節症の新しい分類法と手術的治療. 第108回長崎整形外科懇話会; 20211120; 長崎.

松下降. 翌日荷重を目指した手術手技～大腿骨近位部骨折の治療について～. 2021 Fracture Liaison Service Shoe Case; 20211127; Web.

【シンポジウム】

Teramoto T. Tibial condylar valgus osteotomy(TCVO). Malaysia International Asami Conference 2021; 20210825-26; Web.

Teramoto T. Teramoto osteotomy. 41st SICOT Orthopaedic World Congress; 20210915-18; Web.

峰原宏昌. Antibiotic Administration: Type, Timing, Route -Introduction of CLAP International Trauma Care Forum. 2021 Annual Meeting Orthopaedic Trauma Association; 20211020-23; Web.

竹中信之. 感染性偽関節に対する Ilizarov 法による安全な再建術と FDG-PET/CT を用いた正確な感染巣のターゲットリング. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

原田将太. 遠位脛骨斜め骨切り術の成績ー適応と限界ー. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下降. 市中病院における外傷センター設立効果と創外固定を駆使した外傷治療. 第118回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

澤口毅. AO Recon symposium: Case discussion. 第47回日本骨折治療学会学術集会; 20210702-03; 神戸/Web.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. FDG-PET/CT を用いた骨感染巣の局在診断. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢/Web.

澤口毅. THA after Failed Periacetabular Osteotomy. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20211022-23; 奈良/Web.

〔特別講演〕

松下隆. 創外固定と外傷・再建. 第 34 回日本創外固定・骨延長学会学術集会; 20210327-28; Web.

〔その他〕

澤口毅. Pelvic Ring Injury: Initial Evaluation and Acute Management. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

峰原宏昌, 澤口毅, 岡崎裕司. Emergency Orthopaedic Trauma Surgery in Japan. 第 47 回日本骨折治療学会学術集会; 20210702-03; 神戸/Web.

澤口毅. THA インプラント周囲骨折の治療：外傷外科から見た治療法の選択. 第 51 回日本人工関節学会; 20210707-08; 横浜/Web.

澤口毅. 骨折内固定の合併症—予防と対策—. 第 137 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会; 20211008-09; Web.

高木基行. 骨髓炎診断に対する 18-FFDG-PET/CT の有用性と治療への応用. 第 61 回日本核医学会学術集会; 20211104-06; 名古屋/Web.

原田将太, 寺本司, 浅原智彦, 高木基行, 竹中信之, 松下隆, 西井幸信, 衣笠清人, 大塚和孝. DTOO の臨床成績とレントゲン評価. 第 46 回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

外傷再建学講座

論 文

〔原 著〕

Honda M, Hori S, Kobayashi H, Hamada K, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Miyakawa T, Takano Y, Sato A, Konno S. Comparison of ethanol concentrations after drinking in patients who underwent total gastrectomy versus healthy controls. ANZ Journal of Surgery. 202107; 91(7-8):E474-E478.

Tominaga R, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. 202101; 92:104256.

Otoshi K, Kikuchi S, Kato K, Sato R, Igari T, Kaga T, Konno S. Arthroscopic Elbow Debridement Using Anterocentral Transbrachialis Portal. *Arthroscopy Techniques*. 202105; 10(6):e1425-e1430.

Saita K, Sumitani M, Nikaido T, Sekiguchi M, Inoue R, Abe H, Konno S, Uchida K. Exponential correlations among neuropathic components, pain intensity, and catastrophic thoughts in patients with musculoskeletal pain disorder. *Current Medical Research and Opinion*. 202108; 37(8):1341-1348.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. *European Spine Journal*. 202110; 30(10):3019-3027.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Handa J, Konno S. Abdominal oblique muscle injury at its junction with the thoracolumbar fascia in a high school baseball player presenting with unilateral low back pain. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):49-52.

Kobayashi H, Otani K, Handa J, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a self-administered questionnaire for the screening of cervical myelopathy. Part 2, investigation of its characteristics in surgical cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):102-106.

Otaki H, Otani K, Watanabe T, Sekiguchi M, Konno SI. Associations between clinical neck symptoms and various evaluations of cervical intervertebral disc degeneration by magnetic resonance imaging. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):107-118.

Fushimi Y, Otani K, Tominaga R, Nakamura M, Sekiguchi M, Konno SI. The association between clinical symptoms of lumbar spinal stenosis and MRI axial imaging findings. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):150-160.

Takahashi Y, Hatashita S, Shinden Y, Ito M, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Konno S. Periprosthetic Fracture Resembling Atypical Femoral Fracture After Fixation With Retrograde Intramedullary Nail in Elderly Women: A Report of Two Cases. *In Vivo*. 202105; 35(3):1837-1842.

Nakayama Y, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Takiguchi K, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Benefit of intensive chemotherapy for elderly patients aged 80 years or older with metastatic colorectal cancer: a state-wide multicenter cohort study. *International Journal of Clinical Oncology*. 202107; 26(7):1248-1256.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Yabuki S, Konno SI. Grip Strength as a Screening Index for Severe Degenerative Cervical Myelopathy in Primary Care: Development of Cutoff Values Using Receiver Operating Curve Analysis. *International Journal of General Medicine*. 202112; 14:9863-9872.

Kato K, Hakozaiki M, Mashiko R, Konno SI. Familial development of lumbar spondylolysis: a familial case report of 7- and 4-year-old brothers and their father. *Journal of International Medical Research*. 202105; 49(5):3000605211015559.

Kato K, Otsuchi K, Hakozaiki M, Konno SI. Progressive enlargement of thoracic ossification of the ligamentum flavum in professional baseball pitchers: a report of two cases. *Journal of International Medical Research*. 202111; 49(11):3000605211059465.

Itoh N, Tsuji T, Ishida M, Ochiai T, Konno S, Uchio Y. Efficacy of duloxetine for multisite pain in patients with knee pain due to osteoarthritis: An exploratory post hoc analysis of a Japanese phase 3 randomized study. *Journal of Orthopaedic Science*. 202101; 26(1):141-148.

Otani K, Kikuchi SI, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Konno SI. The Change of Lumbar Spinal Stenosis Symptoms over a Six-Year Period in Community-Dwelling People. *Medicina*. 202110; 57(10):1116.

Kato K, Otsuchi K, Tominaga R, Kaga T, Igari T, Sato R, Kurita N, Konno SI. Association Between Musculoskeletal Pain and Psychological Stress Responses in High School Baseball Players: A Cross-sectional Study. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 202111; 9(11):23259671211054422.

Kasahara S, Niwa SI, Matsudaira K, Sato N, Oka H, Fujii T, Konno SI, Kikuchi SI, Yamada Y. High attention-deficit/hyperactivity disorder scale scores among patients with persistent chronic nonspecific low back pain. *Pain Physician*. 202105; 24(3):E299-E307.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Usefulness of the Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) for Predicting Poor Outcomes in Patients Undergoing Lumbar Decompression Surgery. *Pain Research & Management*. 202112; 2021:2589865.

Hirai T, Otani K, Sekiguchi M, Kikuchi SI, Konno SI. Epidemiological study of cervical cord compression and its clinical symptoms in community-dwelling residents. *PLOS ONE*. 202108; 16(8):e0256732.

Suzuki T, Kaneuchi Y, Hakozaiki M, Yamada H, Yamada S, Konno S. Visualization of hidden soft-tissue recurrence of giant cell tumor of bone enabled by preoperative denosumab treatment: a case description. *Quantitative Imaging in Medicine and Surgery*. 202108; 11(8):3893-3897.

小林洋, 紺野慎一. 【エイジング】成熟と老化 整形外科からみた老化. *Clinical Neuroscience*. 202101; 39(1):42-45.

菊地忠志, 紺野慎一. TKA における各種抗血小板薬の周術期休薬期間. *JOSKAS*. 202105; 46(2):384-385.

加藤欽志, 大歳憲一, 紺野慎一. 【腰椎分離症一病態・診断・治療】野球選手における腰椎分離症. 脊椎脊髄ジャーナル. 202101; 34(1):41-49.

結城拓也, 寺本司, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 紺野慎一. 足関節不安定性が存在した開放性足関節脱臼骨折術後偽関節に対して遠位脛骨斜め切り術が有用であった1例. 日本足の外科学会雑誌. 202108; 42(1):239-241.

江尻荘一, 利木成広, 佐々木信幸, 紺野慎一, 川上亮一. 重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術治療成績と合併症. 日本手外科学会雑誌. 202112; 38(3):301-307.

風間咲美, 宮川明美, 風間順一郎, 紺野慎一, 谷川攻一, 齋藤清. なぜ、双葉地域に骨粗鬆症対策が必要かー原子力発電所事故後に福島県双葉郡に開設された病院における骨粗鬆症対策ー. 福島県医師会報. 202012; 82(12):1075-1079.

加藤欽志, 紺野慎一. 【運動器疼痛】運動器疼痛の現状 運動器疼痛の評価. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S33-S40.

〔総説等〕

紺野慎一. 慢性腰痛の診断と治療に対する課題. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202106; 58(6):661-666.

山田仁, 紺野慎一. 【整形外科疾患の運動法ー最近の進歩】骨粗鬆症に対する運動の効果. 整形・災害外科. 202104; 64(4):451-456.

二階堂琢也, 紺野慎一. 【運動器疼痛】運動器疼痛を対象とした医療体制 運動器疼痛に対するリエゾンアプローチと医療体制. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S241-S246.

関口美穂, 紺野慎一. 【腰痛の臨床ー病態から治療まで】腰痛が慢性化する脳メカニズム. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1182.

紺野慎一. 【腰痛の臨床ー病態から治療まで】腰痛の診察法・評価法. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1187-1189.

紺野慎一. 慢性疼痛. 日本整形外科学会雑誌. 202110; 95(10):857-862.

青田恵郎, 紺野慎一. 手、股関節、膝関節の変形性関節症のACR/AF診療ガイドライン. リウマチ科. 202101; 65(1):116-122.

〔症例報告〕

Kameda T, Yokota T, Ejiri S, Konno SI. Forearm compartment syndrome due to acquired hemophilia that required massive blood transfusions after fasciotomy: A case report. World journal of clinical cases. 202111;

9(31):9592-9597.

〔その他〕

紺野慎一．なんでも健康相談. NHK きょうの健康. 202102; (395):106.

田中栄, 紺野慎一, 竹下克志．【腰痛の臨床―病態から治療まで】腰痛の病態から治療まで. 日本医師会雑誌. 202110; 150(7):1157-1166.

研究発表等

〔研究発表〕

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一．頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

横田武尊, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一．Bow-hunter 症候群に対する後方固定術により患側椎骨動脈の一時的な血流途絶を認めた一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

江尻荘一, 利木成広, 川前恵史, 紺野慎一, 川上亮一．重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術の治療成績 5例報告. 第64回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

亀田拓哉, 横田武尊, 江尻荘一, 紺野慎一．後天性血友病による非外傷性前腕コンパートメント症候群で筋膜切開後に多量輸血と凝固因子製剤を要した一例. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

川前恵史, 江尻荘一, 利木成広, 佐々木信之, 紺野慎一．非定型抗酸菌による手指腱滑膜炎の臨床的検討. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

利木成広, 江尻荘一, 川前恵史, 佐々木信幸, 亀田拓哉, 小林一貴, 紺野慎一．キーンベック病に対する橈骨楔状骨切り術における仮STT固定術併用の意義. 第64回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

畑下智, 古月顕宗, 坂本和陽, 江尻荘一, 川上亮一, 高橋洋子, 小林一貴, 亀田拓哉, 平井亨, 紺野慎一．遠位橈尺関節症に伴う伸筋腱皮下断裂を反対側にも発症した症例の検討. 第64回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一．頸椎症性脊髄症に対する頸椎椎弓骨切り術におけるいわゆるC5麻痺の発生頻度. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

兼子陽太, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 小林賢司, 中村正隆, 紺野慎一．一般住民における腰椎矢状面の

X線学的指標と腰痛の関係ー南会津スタディー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

寒竹司, 紺野慎一, 筑田博隆, 川上守, 関口美穂, 橋爪洋, 金山雅弘, 金森昌彦, 細野昇, 竹内大作, 福井充, 土井田稔, 佐藤公昭, 和田英路, 加藤壯, 本郷道生. 単一椎間腰椎変性すべり症に対する手術術式の比較ー患者立脚型評価を用いた多施設前向き研究ー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における10年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛関連QOLとの関連の検討ー南会津スタディー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄(症)における歩行障害の術後経過ー足10病テストを用いた予後予測ー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

富永亮司, 関口美穂, 米本孝二, 角間辰之, 紺野慎一. 2つの腰部脊柱管狭窄診断支援ツールの診断精度(DISTO プロジェクト)ーNorth American Spine Societyの定義との比較ー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の中長期成績ー椎間関節の矢状化は内視鏡下除圧術の術後成績に影響するかー. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

土方保和, 紙谷司, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一, 竹上未紗, 福原俊一, 山本洋介. 地域在住高齢者における後弯姿勢と要介護および死亡との関連性. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

伏見友希, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant never root (馬尾弛緩)の臨床的意義. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

中村正隆, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 腰椎傍脊柱筋の脂肪浸潤割合に関連する因子の検討. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

渡邊剛広, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. MRIの腰椎椎間板変性と前屈時腰痛, 後屈時腰痛との関係. 第50回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web.

青田恵郎, 大橋寛憲, 佐藤法義, 荒文博, 新田夢鷹, 草野敬悟, 波入雄大, 紺野慎一. 後上方アプローチにおける低侵襲性ーDSAのピットフォールと将来性ー. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. 自己効力感と運動器慢性疼痛やロコモティブシンドロームとの関係. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. ロコモティブシンドロームの進行と認知機能との関係. 第94回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

菊地忠志, 遠藤裕司, 小川到, 紺野慎一. 人工膝関節置換術後における深部静脈血栓症の補助診断マーカー可

溶性フィブリンモノマー複合体と D-dimer の比較検討－. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における 10 年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛発生との関連の検討－南会津スタディー. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

紺野慎一. 慢性腰痛－bench-to-bedside－. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

伏見友希, 大谷晃司, 中村正隆, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant never root の臨床的意義. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-23; 東京/Web.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 心理社会的因子が、腰部脊柱管狭窄症の術後に及ぼす影響－JOABPEQ を用いた多目的評価、術後 3 年間のコホート研究－. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 前十字靱帯損傷後の変型性膝関節症に対する手術. 第 118 回東北整形災害外科学会; 20210604-05; Web.

菊地忠志, 紺野慎一. 人工膝関節置換術後における深部静脈血栓症の補助診断マーカー－SFMC と D-dimer の比較検討－. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

菊地忠志, 紺野慎一. 人工膝関節置換術における膝蓋骨の骨切り量が膝屈曲角に与える影響. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

紺野慎一, 加藤欽志. アスリーートの脊椎障害に対する手術療法のエビデンス. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

高橋洋二郎, 吉田勝浩, 紺野慎一. 成人に発症した可能性膝蓋骨骨髓炎の 1 例. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. ジャンパー膝に対する、eccentric decline squat (EDS) と対外衝撃波治療 (ESWT) を組み合わせた治療経験. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

吉田勝浩, 渡邊和之, 紺野慎一. 頸椎外傷を契機に先天性頸椎椎弓根欠損と診断されたプロサッカー選手――一例報告－. JOSKAS/JOSSM Meeting 2021; 20210617-19; Web.

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 田地野崇宏, 山田匠希, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 四肢および表在体幹発生の異型脂肪腫様腫瘍／高分化型脂肪肉腫に対する辺縁切除術の臨床成績. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

國島麻実子, 山田仁, 渡邊一男, 荒文博, 紺野慎一. 超高齢者に発症した脱分化型骨外性粘液性軟骨肉腫の 1 例. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

新田夢鷹, 箱崎道之, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 大腿骨近位部骨肉腫に

対して spherical periacetabular osteotomy による股関節包外切除術と人工股関節全置換術を行った 1 例. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 田地野崇宏, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法による重度粘膜障害. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 紺野慎一. 骨・軟部腫瘍診療における FDG PET の有用性. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

遠藤裕司, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. アテトーゼ型脳性麻痺に伴う上位頸髄症に対する環椎後弓切除術の手術成績 2 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

亀田拓哉, 佐々木信幸, 小林一貴, 畑下智, 紺野慎一. 高所墜落による前腕 Essex-Lopresti 損傷に対し, 人工靱帯による骨間膜再建を行った一例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

川前恵史, 畑下智, 千葉紀之, 反町光太郎, 佐藤俊介, 伊藤雅之, 紺野慎一. 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後にインプラント周囲の骨融解が生じ明らかとなった, Myofibrosarcoma による病的骨折の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

草野敬悟, 新田夢鷹, 佐藤法義, 山岸栄紀, 荒文博, 大橋寛憲, 青田恵郎, 紺野慎一. 人工股関節置換術後に閉鎖孔脱臼をきたした一例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科領域の低侵襲手術の実際 頸椎内視鏡を用いた低侵襲治療による, QOL の改善効果. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

鈴木丈夫, 金内洋一, 山田仁, 箱崎道之, 紺野慎一. 多骨性線維性骨異形成症の高齢者に生じた二次性骨肉腫の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 草野敬悟, 紺野慎一. コロナ関節形成術後に対する人工股関節置換術. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

平井亨, 箱崎道之, 関敬大, 紺野慎一. 舟状骨に生じた骨内ガングリオン 1 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

山田仁, 紺野慎一. 骨軟部腫瘍診療における血液疾患 医療連携の重要性. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

吉田勝浩, 高橋洋二郎, 紺野慎一. 当院における膝関節疾患に対する体外衝撃波の治療経験. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術の長期成績 手術範囲から除外した無症候性狭窄と術後新規症状の出現に関与する因子の検討. 第 70 回東日本整

形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

山田仁, 紺野慎一. ロモソズマブによる疼痛改善効果. 第 23 回日本骨粗鬆症学会; 20211008-10; Web.

亀田拓哉, 関口美穂, 紺野慎一. 椎間板細胞における TRAP1、TRPV1 発現と活性化. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における腰椎椎間関節変性と椎間板変性の関連性の検討—南会津スタディー—. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

二階堂琢也, 関口美穂, 矢吹省司, 紺野慎一. 脳イメージングから見た腰痛のメカニズム. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会; 20211014-15; 伊勢.

中山祐次郎, 河村英恭, 滝口光一, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 本多通孝, 河野浩二, 紺野慎一. 高齢者癌に対する薬物療法—80 歳以上ステージ IV 大腸癌患者に対する FOLFOX/FOLFIRI 療法の有用性—多施設共同研究. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web. 抄録集. WS11-3.

本多通孝, 河村英恭, 小林拓史, 堀創史, 濱田晃市, 中山祐次郎, 外館幸敏, 宮川哲平, 高野祥直, 紺野慎一. 自宅病院の Accessibility がステージ 4 胃癌患者の予後・入院日数に与える影響. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web. 抄録集. O51-6.

新田夢鷹, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒文博, 山岸栄紀, 佐藤法義, 草野敬悟, 紺野慎一. 後方アプローチにおける骨付き外閉鎖筋修復法の検討. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20211022-23; 奈良/Web.

草野敬悟, 青田恵郎, 大橋寛憲, 荒文博, 山岸栄紀, 佐藤法義, 新田夢鷹, 紺野慎一. Schanz 骨切り術後の人工股関節全置換術の症例. 第 48 回日本股関節学会学術集会; 20211022-23; 奈良/Web.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤鉄志, 小林洋, 小林良浩, 紺野慎一. 難治性慢性腰痛に対するリエゾンアプローチ: 多面的評価からみた慢性一次性筋骨格痛と慢性術後痛の比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤鉄志, 小林洋, 矢吹省司, 紺野慎一. LOHAS 発腰痛診療のエビデンス. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

川原田圭, 大内一夫, 紺野慎一. アキレス腱付着部障害を伴ったアキレス腱断裂の 1 手術例. 第 46 回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

結城拓也, 浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆, 紺野慎一. 高位脛骨骨切り術後に増悪した変形性足関節症に対する足関節骨切り術の治療経験. 第 46 回日本足の外科学会学術集会; 20211111-12; 東京/Web.

二階堂琢也, 紺野慎一. 脊椎内視鏡下手術 (MED) の最前線—技術的進歩とそれを支える制度— 脊椎内視鏡下手術の医療安全—技術認定制度と合併症調査. 第 34 回日本内視鏡学会総会; 20211202-04; 神戸/Web. 日本内視鏡

外科学会雑誌. 26(7):SY9-6.

関口美穂, 紺野慎一. 賦活時と安静時の両面から探る痛みの脳内機構 脳イメージングからみる腰痛 磁気共鳴スペクトロスコピー. 第43回日本疼痛学会; 20211210-11; Web.

〔シンポジウム〕

金内洋一, 紺野慎一. 若手整形外科医へ伝えたい骨・軟部腫瘍の魅力. 第70回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 転移性骨腫瘍に対する治療戦略 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状についてのアンケート調査. 第70回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

生体機能イメージング講座

論 文

〔原 著〕

Wakabayashi T, Hirose Y, Miyake K, Arakawa Y, Kagawa N, Nariai T, Narita Y, Nishikawa R, Tsuyuguchi N, Fukami T, Sasaki H, Sasayama T, Kondo A, Iuchi T, Matsuda H, Kubota K, Minamimoto R, Terauchi T, Nakazato Y, Kubomura K, Wada M. Determining the extent of tumor resection at surgical planning with ^{18}F -fluciclovine PET/CT in patients with suspected glioma: multicenter phase III trials. *Annals of Nuclear Medicine*. 202112; 35(12):1279-1292.

Beheshti I, Sone D, Maikusa N, Kimura Y, Shigemoto Y, Sato N, Matsuda H. Accurate lateralization and classification of MRI-negative ^{18}F -FDG-PET-positive temporal lobe epilepsy using double inversion recovery and machine-learning. *Computers in Biology and Medicine*. 202110; 137:104805.

Matsuda H, Yamao T, Shakado M, Shigemoto Y, Okita K, Sato N. Amyloid PET quantification using low-dose CT-guided anatomic standardization. *EJNMMI Research*. 202112; 11(1):125.

Shigemoto Y, Sone D, Maikusa N, Kimura Y, Suzuki F, Fujii H, Sato N, Matsuda H. Voxel-based correlation of ^{18}F -THK5351 accumulation with gray matter structural networks in cognitively normal older adults. *eNeurologicalSci*. 202104; 23:100343.

Mizutani M, Sone D, Sano T, Kimura Y, Maikusa N, Shigemoto Y, Goto Y, Takao M, Iwasaki M, Matsuda H, Sato N, Saito Y. Histopathological validation and clinical correlates of hippocampal subfield volumetry based on T2-weighted MRI in temporal lobe epilepsy with hippocampal sclerosis. *Epilepsy Research*. 202111;

177:106759.

Shigemoto Y, Sato N, Sone D, Maikusa N, Yamao T, Kimura Y, Chiba E, Suzuki F, Fujii H, Takayama Y, Iwasaki M, Nakagawa E, Matsuda H. Single-subject gray matter networks in temporal lobe epilepsy patients with hippocampal sclerosis. *Epilepsy Research*. 202111; 177:106766.

Ikezawa J, Yokochi F, Okiyama R, Kumada S, Tojima M, Kamiyama T, Hanakawa T, Matsuda H, Tanaka F, Nakata Y, Isozaki E. Is Generalized and Segmental Dystonia Accompanied by Impairments in the Dopaminergic System? *Frontiers in Neurology*. 202111; 12:751434.

Okita K, Kato K, Shigemoto Y, Sato N, Matsumoto T, Matsuda H. Effects of an Adenosine A_{2A} Receptor Antagonist on Striatal Dopamine D₂-Type Receptor Availability: A Randomized Control Study Using Positron Emission Tomography. *Frontiers in Neuroscience*. 202109; 15:729153.

Senda M, Ishii K, Ito K, Ikeuchi T, Matsuda H, Iwatsubo T, Iwata A, Ihara R, Suzuki K, Kasuga K, Ikari Y, Niimi Y, Arai H, Tamaoka A, Arahata Y, Itoh Y, Tachibana H, Ichimiya Y, Washizuka S, Odawara T, Ishii K, Ono K, Yokota T, Nakanishi A, Matsubara E, Mori H, Shimada H. A Japanese Multicenter Study on PET and Other Biomarkers for Subjects with Potential Preclinical and Prodromal Alzheimer's Disease. *Journal of Prevention of Alzheimer's Disease*. 202110; 8(4):495-502.

Ishibashi K, Miura Y, Wagatsuma K, Toyohara J, Ishiwata K, Ishii K. Adenosine A_{2A} Receptor Occupancy by Long-Term Istradefylline Administration in Parkinson's Disease. *Movement Disorders*. 202101; 36(1):268-269.

Wakasugi N, Togo H, Mukai Y, Nishikawa N, Sakamoto T, Murata M, Takahashi Y, Matsuda H, Hanakawa T. Prefrontal network dysfunctions in rapid eye movement sleep behavior disorder. *Parkinsonism & Related Disorders*. 202104; 85:72-77.

松田博史, 重本蓉子, 佐藤典子. ニューロサイエンスの最新情報 脳構造コネクトーム (brain structural connectome) . *Clinical Neuroscience*. 202108; 39(8):1048-1050.

松田博史. 神経精神医学 認知症鑑別におけるドパミントランスポーターSPECT. *医学のあゆみ*. 202103; 276(12):1135-1136.

著 書・訳 書

Toyohara J, Brust P, Jia H, Sakata M, Ishiwata K. PET Imaging of Sigma1 Receptors. In: Dierckx RAJO, et al. editors: Lammertsma AA, guest editor. PET and SPECT for Neurobiological Systems. Second Edition. Switzerland: Springer Nature; 2021. p.943-971.

Matsuda M. Quantification in Brain SPECT: Noninvasive Cerebral Blood Flow Measurements Using ^{99m}Tc-Labeled Tracers. In: Dierckx RAJO, et al. editors: Leenders KL, guest editor. PET and SPECT in Neurology. Second Edition. Switzerland: Springer Nature; 2021. p.53-72.

曾根大地, 松田博史. 側頭葉てんかん画像診断の進歩. In: 鈴木則宏, 荒木信夫, 宇川義一, 桑原聡, 塩川芳昭 編集. Annual Review 神経 2021. 東京: 中外医学社; 202106. p.51-58.

研究発表等

〔研究発表〕

Shigemoto Y, Sone D, Maikusa N, Kimura Y, Suzuki F, Fujii H, Sato N, Matsuda H. Voxel-based correlation of 18F-THK5351 accumulation with gray matter structural networks in cognitively normal older adults. Alzheimer's Association International Conference 2021; 20210726-30; Denver, USA/Web.

栗本健太, 仲定宏, 若原正晴, 石渡喜一, 畑澤栗本順, 加藤弘樹. ピナコールボランエステルを用いた 4-[18F]フルオロフェニルアラニンの標識合成検討. 第 61 回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

松田博史, 山尾天翔. アミロイド PET 定量ソフトウェアの開発. 第 61 回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

松田博史, 山尾天翔, 重本蓉子, 佐藤典子. 低線量 CT を用いた解剖学的標準化によるアミロイド PET 定量. 第 61 回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

松田博史. 人間ドックにおける MRI による脳年齢および脳萎縮測定. 第 40 回日本認知症学会学術集会; 20211126-28; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

松田博史. 認知症予防のための健常者レジストリ IROOP. 第 62 回日本神経学会学術大会; 20210519-22; 京都/Web.

松田博史, 曾根大地, 重本蓉子, 佐藤典子. 新規 MRI 計測・解析技術の認知症への応用. 第 40 回日本認知症学会学術集会; 20211126-28; 東京/Web.

松田博史. 南東北病院における最先端医療 最新 PET (薬剤及び装置). 第 42 回日本臨床薬理学会学術総会; 20211209-11; 仙台/Web.

〔招待講演〕

Matsuda H. Reading and quantification of Amyloid PET. Emirates International Virtual Conference in Nuclear Medicine, Molecular Imaging, and Theranostics; 20210924-25; Web.

Matsuda H. Quantitative evaluation and its clinical impact of amyloid PET. 5th Conference of Asia-Pacific Aging Protection; 20211219; Kaoshung, Taiwan/Web.

多発性硬化症治療学講座

論 文

〔原 著〕

Wingerchuk DM, Fujihara K, Palace J, Berthele A, Levy M, Kim HJ, Nakashima I, Oreja-Guevara C, Wang KC, Miller L, Shang S, Sabatella G, Yountz M, MD, Pittock, SJ; PREVENT Study Group. Long-term Safety and Efficacy of Eculizumab in Aquaporin-4 IgG-Positive NMOSD. *Annals of Neurology*. 202106; 89(6):1088-1098.

Takai Y, Misu T, Suzuki H, Takahashi T, Okada H, Tanaka S, Okita K, Sasou S, Watanabe M, Namatame C, Matsumoto Y, Ono H, Kaneko K, Nishiyama S, Kuroda H, Nakashima I, Lassmann H, Fujihara K, Itoyama Y, Aoki M. Staging of astrocytopathy and complement activation in neuromyelitis optica spectrum disorders. *Brain*. 202109; 144(8):2401-2415.

Fujimori, Fujihara K, Wattjes M, Nakashima I. Patterns of cortical grey matter thickness reduction in multiple sclerosis. *Brain and Behavior*. 202104; 11(4):e02050.

Akaishi T, Himori N, Takeshita T, Fujihara K, Misu T, Takahashi T, Fujimori J, Ishii T, Aoki M, Nakazawa T, Nakashima I. Optic neuritis after ocular trauma in anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder. *Brain and Behavior*. 202105; 11(5):e02083.

Akaishi T, Takahashi T, Fujihara K, Misu T, Fujimori J, Takai Y, Nishiyama S, Abe M, Ishii T, Aoki M, Nakashima I. Early Treatment Initiation with Oral Prednisolone for Relapse Prevention Alleviates Depression and Fatigue in Aquaporin-4-Positive Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder. *Frontiers in Neurology*. 202102; 12:608149.

Namatame C, Misu T, Takai Y, Nishiyama S, Nakashima I, Fujihara K, Aoki M. CH50 as a putative biomarker of eculizumab treatment in neuromyelitis optica spectrum disorder. *Heliyon*. 202101; 7(1):e05899.

Akaish T, Misu T, Takahashi T, Takai Y, Nishiyama S, Fujimori J, Ishi T, Aoki M, Fujihara K, Nakashima I. Progression pattern of neurological disability in reference to clinical attacks in anti-MOG antibody-associated disorders. *Journal of Neuroimmunology*. 202102; 351:577467.

Fujihara K, Hattori S, Kleiter I, Levy M, Matsuda Y, Mitsutake A, Haramura M, Palace J, Yamamura T; The Guthy-Jackson Charitable Foundation NMOSD Quality of Life Working Group. Patient-reported burden of symptoms in neuromyelitis optica: a secondary analysis on pain and quality of life. *Journal of the Neurological Sciences*. 202109; 428:117546.

Akaishi T, Takahashi T, Fujihara K, Misu T, Fujimori J, Takai Y, Nishiyama S, Kaneko K, Ogawa R, Abe M,

Ishii T, Aoki M, Nakashima I. Impact of comorbid Sjögren syndrome in anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorders. *Journal of Neurology*. 202105; 268(5):1938-1944.

Akaishi T, Misu T, Fujihara K, Takahashi T, Takai Y, Nishiyama S, Kaneko K, Fujimori J, Ishii T, Aoki M, Nakashima I. Relapse activity in the chronic phase of anti-myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease. *Journal of Neurology*. 202206; 269(6):3136-3146.

Asano T, Saito Y, Matsuoaka N, Temmoku J, Fujita Y, Hattori K, Kobayashi S, Ojima A, Takahashi T, Matsumoto H, Yashiro-Furuya M, Sato S, Kobayashi H, Watanabe H, Yano K, Sasajima T, Fujihara K, Migita K. Acute retrobulbar optic neuritis with anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease complicated with microscopic polyangiitis: a case report. *Medicine*. 202104; 100(15):e24889.

Cree BA, Bennett JL, Kim HJ, Weinshenker BG, Pittock SJ, Wingerchuk D, Fujihara K, Paul F, Cutter GR, Marignier R, Green AJ, Aktas O, Hartung HP, Williams IM, Drappa J, She D, Cimbora D, Rees W, Ratchford JN, Katz E. Sensitivity analysis of the primary endpoint from the N-MOMentum study of inebilizumab in NMOSD. *Multiple Sclerosis*. 202111; 27(13):2052-2061.

Palace J, Wingerchuk DM, Fujihara K, Berthele A, Oreja-Guevara C, Kim HJ, Nakashima I, Levy M, Terzi M, Totolyan N, Viswanathan S, Wang KC, Pace A, Yountz M, Miller L, Armstrong R, Pittock S; PREVENT Study Group. Benefits of eculizumab in AQP4+ neuromyelitis optica spectrum disorder: subgroup analyses of the randomized controlled phase 3 PREVENT trial. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202101; 47:102641.

Takai Y, Kuroda H, Misu T, Akaishi T, Nakashima I, Takahashi T, Nishiyama S, Fujihara K, Aoki M. Optimal management of neuromyelitis optica spectrum disorder with aquaporin-4 antibody by oral prednisolone maintenance therapy. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202104; 49:102750.

Kim HJ, Nakashima I, Viswanathan S, Wang KC, Shang S, Miller L, Yountz M, Wingerchuk DM, Pittock SJ, Levy M, Berthele A, Totolyan N, Palace J, Barnett MH, Fujihara K; PREVENT Study Group. Eculizumab in Asian patients with anti-aquaporin-IgG-positive neuromyelitis optica spectrum disorder: A subgroup analysis from the randomized phase 3 PREVENT trial and its open-label extension. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202105; 50:102849.

Akaishi T, Himori N, Takeshita T, Misu T, Takahashi T, Takai Y, Nishiyama S, Fujimori J, Ishii T, Aoki M, Fujihara K, Nakazawa T, Nakashima I. Five-year visual outcome after optic neuritis in anti-MOG antibody-associated disease. *Multiple Sclerosis and Related Disorders*. 202111; 56:103222.

Akaishi T, Takahashi T, Misu T, Kaneko K, Takai Y, Nishiyama S, Ogawa R, Fujimori J, Ishii T, Aoki M, Fujihara K, Nakashima I. Difference in the source of anti-AQP4-IgG and anti-MOG-IgG antibodies in CSF in patients with neuromyelitis optica spectrum disorder. *Neurology*. 202107; 97(1):e1-e12.

Marignier R, Bennett JL, Kim HJ, Weinshenker BG, Pittock SJ, Wingerchuk D, Fujihara K, Paul F, Cutter GR, Green AJ, Aktas O, Hartung HP, Lublin FD, Williams IM, Drappa J, She D, Cimbora D, Rees W, Smith M, Ratchford JN, EKatz E, Cree BAC; N-MOMentum Study Investigators. Disability outcomes in the N-

MOmentum trial of inebilizumab in neuromyelitis optica spectrum disorder. *Neurology® Neuroimmunology & Neuroinflammation*. 202103; 8(3):e978.

Shimizu F, Ogawa R, Mizukami Y, Watanabe K, Hara K, Kadono C, Takahashi T, Misu T, Takeshita Y, Sano Y, Fujisawa M, Maeda T, Nakashima I, Fujihara K, Kanda T. GRP78 antibodies are associated with blood-brain barrier-breakdown in anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disorder. *Neurology® Neuroimmunology & Neuroinflammation*. 202111; 9(1):e1038.

Akaishi T, Misu T, Fujihara K, Nakaya N, Nakamura T, Kogure M, Hatanaka R, Itabashi F, Kanno I, Takahashi T, Kuroda H, Fujimori J, Takai Y, Nishiyama S, Kaneko K, Ishii T, Aoki M, Nakashima I, Hozawa A. White blood cell count profiles in multiple sclerosis during attacks before the initiation of acute and chronic treatments. *Scientific Reports*. 202111; 11(1):22357.

過年業績

Matsumoto Y, Misu T, Mugikura S, Takai Y, Nishiyama S, Kuroda H, Takahashi T, Fujimori J, Nakashima I, Fujihara K, Aoki M. Distinctive lesions of brain MRI between MOG-antibody-associated and AQP4-antibody-associated diseases. *Journal of Neurology, Neurosurgery, and Psychiatry*. 202012; 92(6):jnnp-2020-324818.

〔総説等〕

Levy M, Fujihara K, Place J. New therapies for neuromyelitis optica spectrum disorders. *Lancet Neurology*. 202101; 20(1):60-67.

Marignier R, Hacohen Y, Cobo-Calvo A, Pröbstel AK, Aktas O, Dphil HA, Amato MP, Asgari N, Banwell B, Bennett J, Brilot F, Capobianco M, Chitnis T, Ciccarelli O, Deiva K, De Sèze J, Fujihara K, Jacob A, Kim HJ, Kleiter I, Lassmann H, Leite MI, Linington C, Meinl E, Palace J, Paul F, Petzold A, Pittock S, Reindl M, Sato DK, Selma J, Siva A, Stankoff B, Tintore M, Traboulsee A, Waters P, Waubant E, Weinshenker B, Derfuss T, Vukusic S, Hemmer B. Myelin-oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease. *Lancet Neurology*. 202109; 20(9):762-772.

研究発表等

〔招待講演〕

Fujihara K. Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders (NMOSD). 2nd Annual Congress of the Sri Lanka Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS); 20210116-17; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. Paediatric MOG-antibody-associated disease (MOGAD). 2nd Annual Congress of the Sri Lanka Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (SLCTRIMS); 20210116-17; Colombo, Sri Lanka.

Fujihara K. Lucky Science. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS) 2021 (22nd Annual Meeting); 20210609-12; Web.

Fujihara K. Prognostic factors in NMOSD. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS) 2021 (22nd Annual Meeting); 20210609-12; Web.

Fujihara K. Evolving Classification of NMO & Related Disorders. 8th Mexican Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (MEXCTRIMS); 20210619; Web.

Fujihara K. Mimickers and Differential Diagnosis of CNS Inflammatory Diseases. PACTRIMS Pan-Asian Course for Training in MS and Neuroimmunology (PACTMAN) Webinar Series 2; 20210624; Web.

Fujihara K. A 44yo man who had aphasia 5 years after brainstem encephalitis. Brazilian Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (BCTRIMS) 2021; 20210727; Web.

Fujihara K. What is new in pathogenesis and treatment of NMOSD. 24th Annual Conference of Chinese Neurological Association; 20210923; Web.

Fujihara K. NMOSD and MOGAD: evolution of the clinical and pathophysiological concepts. VIII Annual Congress of Hungarian Neuroimmunology Society; 20210924; Siofok, Hungary.

Fujihara K. HOW DO I TREAT NEUROMYELITIS OPTICA. 25th World Congress of Neurology; 20211003-07; Web.

Fujihara K. Treating NMOSD. 25th World Congress of Neurology; 20211003-07; Web.

Fujihara K. UPDATE ON TREATMENT OF THE OTHER DEMYELINATING DISEASES. 25th World Congress of Neurology; 20211003-07; Web.

Fujihara K. Personalizing Maintenance Therapy: Factors & Formula. Guthy-Jackson Charitable Foundation Pre-ECTRIMS NMOSD Roundtable Symposium Tuesday; 20211012; Web.

Fujihara K. The evolving landscape in NMOSD management. 37th Congress of European Committee on Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS); 20211013-15; Web.

Fujihara K. The power of global scientific collaboration. 37th Congress of European Committee on Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS); 20211013-15; Web.

Fujihara K. Treatment targets in NMOSD: a pathophysiological view. 37th Congress of European Committee on Treatment and Research in Multiple Sclerosis (ECTRIMS); 20211113-15; Web.

Fujihara K. Diseases associated with NMO-IgG and MOG-IgG, when to treat? 11th Congress of Latin American committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (LACTRIMS); 20211109; Web.

Fujihara K. Lessons from experimental studies. 11th Congress of Latin American committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (LACTRIMS); 20211112; Web.

Fujihara K. Is anti MOG a disease or one of the many variants of MS? 15th Congress of International Society of Neuroimmunology (ISNI); 20211112; Web.

Fujihara K. Neuromyelitis Optica: evolution of the concept and challenges. 29th Annual Meeting of the European Charcot Foundation; 20211114; Baveno, Italy/Web.

Fujihara K. Update on the Treatment of NMO. 6th Congress of Middle East North Africa Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (MENACTRIMS); 20211210-11; Dubai, UAE/Web.

低侵襲腫瘍制御学講座

論 文

〔原 著〕

Miyakawa T, Kawamura H, Yamamoto R, Hashimoto K, Kobayashi H, Yue C, Hori S, Hirano T, Honda M. Risk of postoperative urinary retention with early removal of the urinary catheter after surgery with epidural analgesia: A systematic review and meta-analysis. *Annals of Cancer Research and Therapy*. 202107; 29(2):178-187.

Saito SN, Otsuka S, Zenbutsu S, Hori S, Honda M, Nakagawa S. Generation mechanisms of bowel sounds by simultaneous measurements of X-ray fluoroscopy and bowel sounds. *Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society*. 202111; 2021:1593-1596.

Kawamura H, Honda M, Takiguchi K, Kamiga T, Saito K, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Saji S, Kono K, Konno S. Clinical Impact of Primary Tumor Site in Stage IV Colorectal Cancer: A Statewide Cohort Study. *Anticancer Research*. 202111; 41(11):5693-5702.

Honda M, Hori S, Kobayashi H, Hamada K, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Miyakawa T, Takano Y, Sato A, Konno S. Comparison of ethanol concentrations after drinking in patients who underwent total gastrectomy versus healthy controls. *ANZ Journal of Surgery*. 202107; 91(7-8):E474-E478.

Hamada K, Horikawa Y, Shiwa Y, Techigawara K, Nagahashi T, Fukushima D, Nishida S, Koyanagi R, Kawano K, Nishino N, Honda M. Clinical benefit of the multibending endoscope for gastric endoscopic submucosal dissection: a randomized controlled trial. *Endoscopy*. 202107; 53(7):683-690.

Nakayama Y, Kawamura H, Honda M, Takano Y, Takiguchi K, Kamiga T, Yamazaki S, Muto A, Shiraso S, Yamashita N, Iwao T, Kono K, Konno S. Benefit of intensive chemotherapy for elderly patients aged 80 years

or older with metastatic colorectal cancer: a state-wide multicenter cohort study. *International Journal of Clinical Oncology*. 202107; 26(7):1248-1256.

Nakayama Y, Iijima T, Inokuchi T, Kojika E, Takao M, Takao A, Koizumi K, Horiguchi SI, Hishima T, Yamaguchi T. Clinicopathological features of sporadic MSI colorectal cancer and Lynch syndrome: a single-center retrospective cohort study. *International Journal of Clinical Oncology*. 202110; 26(10):1881-1889.

Hori S, Honda M, Kobayashi H, Kawamura H, Takiguchi K, Muto A, Yamazaki S, Teranishi Y, Shiraso S, Kono K, Kamiga T, Iwao T, Yamashita N. A grading system for predicting the prognosis of gastric cancer with liver metastasis. *Japanese Journal of Clinical Oncology*. 202111; 51(11):1601-1607.

Todate Y, Honda M, Takada T, Saginoya T, Yamaguchi H, Hamada K, Nakayama Y, Kawamura H, Takano Y, Hashimoto K. The additional diagnostic impact of positron emission tomography-computed tomography for lymph node metastasis from colorectal cancer: A prospective lymph node level analysis. *Journal of Surgical Oncology*. 202112; 124(7):1085-1090.

Nishikawa M, Honda M, Kimura R, Kobayashi A, Yamaguchi Y, Hori S, Kobayashi H, Kawamura H, Nakayama Y, Todate Y, Takano Y, Yamaguchi H, Hamada K, Iketani S, Seto I, Izumi Y, Seto K. The effects of intensive oral care before surgery for gastric cancer patients. *Oral Diseases*. 202110; 27(7):1847-1853.

Shibata J, Kawamura H, Hiramatsu K, Honda M, Shibata Y, Aoba T, Fujii M, Arimoto A, Ito A, Ishii K, Omiya K, Asai M, Arakawa T, Gonda H, Asai S, Hasegawa T, Kawashima K, Kato T. Impact of chest subcutaneous fat on the occurrence of central venous port-related infectious complications in cancer patients. *Supportive Care in Cancer*. 202109; 29(9):5391-5398.

本多通孝, 比企直樹, 衛藤剛, 山下裕一, 隈丸拓. 【高齢者上部消化管癌に対する治療戦略】NCD からみた高齢者に対する腹腔鏡下胃切除術の現状と成績. *癌の臨床*. 202101; 65(4):315-320.

〔総説等〕

本多通孝. 【外科医が知っておくべき術後 QOL 評価のすべて】術後 QOL 評価法をどのように確立するか. *外科*. 202104; 83(4):315-320.

著 書・訳 書

中山祐次郎 編集. 恥をかかない 5 年目までのコンサルト: この一冊、10 年使えます! 東京: シービーアール; 202106.

研究発表等

〔研究発表〕

中山祐次郎. 若手外科医教育のための腹腔鏡下 S 状結腸切除術評価尺度の開発と妥当性・信頼性の検証. 7th Web-Surgical Education Summit; 20210227; Web.

櫻井悠人, 本多通孝, 小林拓史, 堀創史, 藁谷暢, 河村英恭, 中山祐次郎, 宮川哲平, 高野祥直, 鈴木伸康. 胃癌術後の骨格筋量減少と骨粗鬆症発生リスクに関する検討. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

Honda M, Kobayashi H, Waragai M, Nakayama Y, Kawamura H, Hori S, Miyakawa T, Takano Y. Nutritional impact of the robot-assisted pylorus preserving gastrectomy for gastric cancer. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

Kobayashi H, Michitaka H, Sato T, Hori S, Waragai M, Miyakawa T, Kawamura H, Todate Y, Nakayama Y, Suzuki N, Takano Y. Video Feedback in Training of Laparoscopic Distal Gastrectomy. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

Nakayama Y, Kawamura H, Kobayashi H, Todate Y, Miyakawa T, Yamamoto R, Takano Y, Honda M. Development and validation of a scale to evaluate the operative skill of laparoscopic sigmoidectomy. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

Todate Y, Honda M, Miyakawa t, Kobayashi h, Kawamura H, Suzuki M, Azami A, Nakayama Y, Waragai M, Suzuki N, Takano Y, Abe T. Introduction and short-term results of TaTME for lower rectal cancer. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

比企直樹, 吉田和弘, 本多通孝, 衛藤剛, 井田智, 隈丸拓, 小寺泰弘, 掛地吉弘, 今野弘之, 宮田裕章, 瀬戸泰之, 牛久秀樹, 新原正大, 細田桂, 山下継史. NCD による Real World データが胃癌における手術手技を変える可能性. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 宮川哲平, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 肉眼的に腹膜転移を認めない腹腔洗浄細胞診陽性胃癌に対する原発切除の意義. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; 千葉/Web.

外館幸敏, 本多通孝, 宮川哲平, 河村英恭, 中山祐次郎, 高野祥直. ロボット支援下直腸手術導入後の短期成績と課題. 第 95 回大腸癌研究会; 20210701-02; 旭川/Web.

堀川宜範, 濱田晃市, 舟窪彰. 粘膜筋板もしくは粘膜下層に浸潤する食道表在癌に関する多施設共同研究. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

河村英恭, 本多通孝, 絹田俊爾, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 河野浩二. StageIV 大腸癌における炎症・栄養指標と予後との関連: 多施設共同研究. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 櫻井悠人, 藁谷暢, 河村英恭, 鈴木伸康, 高野祥直, 阿部幹, 寺西寧. 術前画像陰性の少量腹膜転移を有する胃癌に対する治療戦略. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

櫻井悠人, 本多通孝, 小林拓史, 堀創史, 藁谷暢, 河村英恭, 高野祥直. StageIV 胃癌に対する R0/1 切除の成

績,多施設共同研究. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

外館幸敏, 本多通孝, 小鹿山陽介, 櫻井悠人, 佐藤孝洋, 宮川哲平, 河村英恭, 中山祐次郎, 高野祥直, 寺西寧. 局所進行下部直腸癌に対する術前治療の比較検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

中山祐次郎, 河村英恭, 小林拓史, 堀創史, 外館幸敏, 高野祥直, 本多通孝. 80 歳以上高齢者大腸癌ステージ IV 患者に対する 2 剤併用化学療法の有用性. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

本多通孝, 堀創史, 小林拓史, 藁谷暢, 河村英恭, 外館幸敏, 中山祐次郎, 高野祥直, 鈴木伸康. 高齢者に対する胃癌術後フレイル予防プログラムの開発. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

宮川哲平, 道端伸明, 本多通孝, 康永秀生. 外気温が急性胆嚢炎の発症に与える影響 : DPC データベースを用いたマルチレベル分析. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小林拓史, 本多通孝, 堀創史, 藁谷暢, 鈴木伸康, 高野祥直, 寺西寧. 術前筋肉量低値と食道癌術後合併症との関連. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

堀川宜範, 濱田晃市, 石山晃世志, 佐久間秀夫. NBI およびヨード染色を用いた食道癌 ESD マーキングにおける臨床病理学的検討. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

堀創史, 本多通孝, 小林拓史, 河村英恭, 外館幸敏, 中山祐次郎, 藁谷暢, 高野祥直, 寺西寧. 食道亜全摘術が嚥下機能に与える影響と臨床的評価. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

本多通孝, 堀創史, 小林拓史, 藁谷暢, 高野祥直, 鈴木伸康, 河村英恭, 中山祐次郎, 山本竜也. 陽子線治療 CR 後の再発に対するサルベージ手術を行った 2 例. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web.

中山祐次郎, 河村英恭, 滝口光一, 神賀貴大, 山崎繁, 武藤淳, 白相悟, 山下直行, 岩尾年康, 本多通孝, 河野浩二, 紺野慎一. 80 歳以上ステージ IV 大腸癌患者に対する FOLFOX/FOLFIRI 療法の有用性 多施設共同研究. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

本多通孝, 河村英恭, 小林拓史, 堀創史, 濱田晃市, 中山祐次郎, 外館幸敏, 宮川哲平, 高野祥直, 紺野慎一. 自宅病院の Accessibility がステージ 4 胃癌患者の予後・入院日数に与える影響. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

俊山聖史, 本多通孝, 堀創史, 中尾詠一, 宮川哲平, 小林拓史, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 高野祥直. 食道癌術後の嚥下機能低下に関連するリスク因子の探索. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

宮川哲平, 河村英恭, 山本竜也, 橋本克彦, 小林拓史, 堀創史, 本多通孝. 硬膜外麻酔を行った外科手術における尿道カテーテル早期抜去による術後尿閉のリスク : システムティックレビューメタアナリシス. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

宮川哲平, 本多通孝, 中尾詠一, 河村英恭, 中山祐次郎, 外館幸敏, 高野祥直. リアルワールドにおける腹腔

鏡下直腸癌手術の安全性評価－DPC データを用いた術後短期成績の検討. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

〔シンポジウム〕

本多通孝, 小林拓史, 中山祐次郎, 堀創史, 宮川哲平, 俊山聖史, 中尾詠一, 河村英恭, 高野祥直, 鈴木伸康. 市中病院の臨床外科医が行なう研究活動と支援体制の構築. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

中山祐次郎, 宮川哲平, 河村英恭, 外館幸敏, 中尾詠一, 高野祥直, 本多通孝. 評価者間信頼性の高い評価尺開発の提案 腹腔鏡下 S 状結腸切除評価尺度開発の経験から. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

〔その他〕

本多通孝, 山本一道. 胃癌術後患者の食生活のリアルを知るスマホアプリ開発・パイロット研究. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; Web.

本多通孝, 小林拓史, 堀創史, 河村英恭, 高野祥直, 鈴木伸康, 中山祐次郎, 櫻井悠人, 藁谷暢, 宮川哲平. 口腔内環境から見た消化器術後感染性合併症の予防策. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; 千葉/Web.

堀創史, 本多通孝, 小林拓史, 俊山聖史, 宮川哲平, 中尾詠一, 外館幸敏, 中山祐次郎, 高野祥直, 寺西寧. 胃癌術後患者の栄養管理を行なうスマホアプリと栄養指導補助システムの開発. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

心臓調律制御医学講座

論 文

〔原 著〕

Tomita Y, Yamada S, Kaneshiro T, Hijioka N, Shimizu T, Takeishi Y. A sudden rise in pacing threshold of left ventricular lead associated with myocardial ischemia. Journal of Arrhythmia. 2021; 37(3):693-695.

Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Albumin-bilirubin score for prediction of outcomes in heart failure patients treated with cardiac resynchronization therapy. Journal of Clinical Medicine. 2021; 10(22):5378.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Anti-mitochondrial antibodies in patients with dilated cardiomyopathy. *Internal Medicine*. 2021; 60(2):201-208.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioka N, Amami K, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Associations of the prognostic nutritional index with the cardiac function and survival after cardiac resynchronization therapy. *Internal Medicine*. 2021; 60(7):985-991.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of *FKBP5* gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. *Journal of the American Heart Association*. 2021; 10(21):e021101.

Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index predicts post-discharge stroke in patients with heart failure. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 2021; 28(7):766-775.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index reflects impaired exercise capacity and predicts adverse prognosis in patients with heart failure. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 2021; 8:631807.

Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Misaka T, Yokokawa T, Takeishi Y. Clinical impact of long PR-interval and presence of late gadolinium enhancement on hospitalized patients with non-ischemic heart failure. *Annals of Noninvasive Electrocardiology*. 2021; 26(2):e12818.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and JAK2V617F mutations in patients with cardiovascular disease. *JACC CardioOncology*. 2021; 3(1):134-136.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 expression via G α /RhoA/Sp-1/Rho kinase pathways in human pulmonary arterial endothelial cells. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 2021; 8: 648981.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. High-fat diet attenuates the improvement of hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice during reoxygenation. *BMC Cardiovascular Disorders*. 2021; 21(1):331.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Liver congestion assessed by hepatic vein waveforms in patients with heart failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 2021; 3(6):778-786.

Miyazaki S, Kobori A, Sasaki Y, Miyamoto K, Sato E, Hanazawa K, Morishima I, Kanzaki Y, Yamaji H, Yamao K, Kondo Y, Watanuki M, Kaneshiro T, Uchiyama T, Nakamura K, Hiramatsu S, Nakajima J,

Arimoto T, Kaneko S, Osai N, Takagi T, Kaseno K, Takahashi A, Takahashi A, Naito S, Kobayashi Y, Kobayashi Y, Hachiya H, Kusano K, Yagi T, Iesaka Y, Tada H. Real-world safety profile of atrial fibrillation ablation using a second-generation cryoballoon in Japan: Insight from a large multicenter observational study. *JACC Clinical Electrophysiology*. 2021; 7(5):604-613.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Kaneshiro T, Nakazato K, Takeishi Y. Serum TRACP5b, a marker of bone resorption, is associated with adverse cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 2021; 3(4):470-478.

Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Significance of contact force on esophageal thermal injury during relative high-power short-duration ablation of atrial fibrillation. *Circulation Arrhythmia and Electrophysiology*. 2021; 14(6): e009897.

Kiko T, Yokokawa T, Masuda A, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular function during vasodilator stress evaluated by ¹³N-ammonia hybrid PET/MRI. *Clinical Radiology*. 2021; 76(6):472.e1-472.e9.

Sekine T, Kamioka M, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Symptomatic long QT syndrome coexisting with asymptomatic acetylcholine-induced vasospasm. *Internal Medicine*. 2021; 60(13):2085-2088.

Kamioka M, Kaneshiro T, Hijioka N, Amami K, Nodera M, Yamada S, Takeishi Y. Visit-to-visit blood pressure variability predicts atrial fibrillation recurrence after pulmonary vein isolation in patients with hypertension and atrial fibrillation. *Circulation Reports*. 2021; 3(4):187-193.

〔総説等〕

Kaneshiro T, Takeishi Y. Esophageal thermal injury in catheter ablation of atrial fibrillation. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(3):95-101.

〔その他〕

金城貴士, 山田慎哉. 金城准教授らたたえる 福島医学会が表彰授与式. 福島民報. 20210129; 16.

金城貴士, 山田慎哉. 金城准教授らたたえる 福島医学会の表彰式. 福島民友. 20210129; 3.

研究発表等

〔研究発表〕

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. *American Heart Association Scientific Sessions 2021*; 20211113-15; Web. *Circulation*. 144 (Suppl1):A9031.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa S, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9546.

Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Hijioka N, Nodera M, Takeishi Y. Prognostic value of chronic kidney disease and cardiac sympathetic dysfunction assessed by ¹²³I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy for lethal arrhythmic events in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A9177.

Nodera M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The time to reach the minimum freezing temperature during cryoablation is a predictor of first-pass conductional block of cavotricuspid isthmus. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144 (Suppl1):A10638.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. Cardiovascular and Metabolic Week 2021: The 38th Annual Scientific Meeting of the Japanese Section of the International Society for Heart Research (ISHR); 20211210-11; Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. Association between platelet distribution width and prognosis in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Associations between cardio-ankle vascular index with post-discharge stroke in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

脇岡奈保子, 金城貴士, 天海一明, 山田慎哉, 上岡正志, 石田隆史, 竹石恭知. Featured Research Session : Comparisons in procedural characteristics of pulmonary vein isolation between high-power short-duration and standard settings. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Hijioka N, Kaneshiro T, Amami K, Yamada S, Ishida T, Takeishi Y. Impact of high-power short-duration ablation for produced potential delay in superior vena cava during right pulmonary vein isolation. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Yamada S, Amami K, Hijioka N, Kamioka M, Kaneshiro T, Takeishi Y. Changes in prognostic nutritional index after cardiac resynchronization therapy are associated with echocardiographic response and clinical outcome. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Kaneshiro T, Kamioka M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Takeishi Y. Characteristics of esophageal injury in high power-short duration ablation of atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Kamioka M, Amami K, Hijioka N, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. Clinical characteristics and ablation outcome in patients with asymptomatic atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Amami K, Yamada S, Hijioka N, Kaneshiro T, Kamioka M, Takeishi Y. Monitoring efficacy of ventricular arrhythmia for the prediction of heart failure patient prognosis. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

Hijioka N, Kamioka M, Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Takeishi Y. The feasibility and safety of high-power and short-duration ablation for pulmonary vein isolation in patients with atrial fibrillation. 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210701-04; Web.

渡邊孝一郎, 義久精臣, 佐藤悠, 寶槻優, 安齋文弥, 一條靖洋, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者の Cardio-Ankle Vascular Index は運動耐容能低下と予後を予測する. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

天海一明, 山田慎哉, 脇岡奈保子, 野寺穰, 金城貴士, 義久精臣, 竹石恭知. 慢性心不全患者における心臓交感神経障害および慢性腎臓病の有無と致死性不整脈イベントの関連. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

天海一明, 山田慎哉, 根橋健, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. Isochronal late activation map にて効率的にカテテルアブレーションを施行しえた不整脈原性右室心筋症の一例. カテテルアブレーション関連秋季大会 2021; 20210923-25; Web.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index is associated with impaired exercise capacity and predicts poor prognosis in patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. High platelet distribution width is associated with increased mortality in heart failure patients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

天海一明, 金城貴士, 野寺穰, 山田慎哉, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アブレーションにより逆伝導のみ離断され術後慢性期に順伝導も消失した傍ヒス束起源 WPW 症候群の 1 例. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

根橋健, 山田慎哉, 金城貴士, 野寺穰, 天海一明, 竹石恭知. 不整脈原性右室心筋症による心室頻拍のカテテルアブレーションにおいて Isochronal late activation map が有効であった 1 例. 第 1 回日本不整脈心電学会東北支部地方会; 20210717; 仙台/Web.

天海一明, 山田慎哉, 根橋健, 野寺穰, 金城貴士, 竹石恭知. SICD 植込み後早期の原因不明な不適切作動を接続シール不良が原因と判断し再発と再手術を回避できた一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204;

Web.

野寺穰, 天海一明, 山田慎哉, 金城貴士, 竹石恭知. 上室性および心室性不整脈において HD Grid を用いた EnSite Sparkle Map が有用であった 2 症例. 第 18 回福島不整脈懇話会; 20210715; Web.

〔特別講演〕

金城貴士. Special Lecture : 心不全管理におけるカテーテルアブレーションの役割. 第 1 回 Meet the Specialists in Fukushima; 20211207; Web.

〔招待講演〕

Kaneshiro T. High power-short duration RFCA. 2021 THRS Autumn Forum; 20210925-26; Web.

金城貴士. 講演 : 心房細動アブレーションに伴う食道関連合併症のメカニズムより安全な治療を目指して. 令和 2 年度福島医学会受賞記念講演会; 20210128; Web. 福島医学雑誌. 71(1):49-50.

金城貴士. 講演 : 2020 年改訂版 不整脈薬物治療ガイドライン改訂のポイント. 不整脈薬物治療 Web セミナー; 20210308; Web.

金城貴士. 講演 : Freezor MAX による CTI ablation : 特性と有用性. CRYSTAL in North Japan; 20210510; Web.

金城貴士. 基調講演 : 術式不詳の僧帽弁形成術後に生じた incisional AFL に対し、カテーテルアブレーションを施行した 1 例. 福島循環器学術講演会; 20210602; Web.

金城貴士. 不整脈医の視点から心不全増悪因子を考える. One for All, All for Fukushima Seminar—慢性心不全の未来を考える—; 20210712; Web.

肥満・体内炎症解析研究講座

論文

〔原 著〕

Neupane P, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Ito M, Thar Min AK, Saito K, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. The Expression of Immune Checkpoint Receptors and Ligands in the Colorectal Cancer Tumor Microenvironment. Anticancer Research. 202110; 41(10):4895-4905.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Res Care*. 202109; 9(1):e002007.

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promotor hypermethylation. *Carcinogenesis*. 202102; 42(1):21-30.

Yoshihara C, Tokita K, Maruyama T, Kaneko M, Tsuneoka Y, Fukumitsu K, Miyazawa E, Shinozuka K, Huang AJ, Nishimori K, McHugh TJ, Tanaka M, Itohara S, Touhara K, Miyamichi K, Kuroda KO. Calcitonin receptor signaling in the medial preoptic area enables risk-taking maternal care. *Cell Reports*. 202106; 35(9):109204.

Ito S, Ohto H, Ogiyama Y, Irino M, Omokawa S, Shibasaki I, Ogasawara K, Uchikawa M, Nollet KE, Flegel WA. A practical and effective strategy in East Asia to prevent anti-D alloimmunization in patients by C/c phenotyping of serologic RhD-negative blood donors. *EJHaem*. 202111; 2(4):750-756.

Zhao J, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Tan C, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Nan G, Zhao S, Ito H, Shimomura K. Evaluation of Effect of Ninjin'yoeito on Regional Brain Glucose Metabolism by 18 F-FDG Autoradiography With Insulin Loading in Aged Mice. *Frontiers in Nutrition*. 202105; 8:657663.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Miyazaki K, Maeda H, Ichikawa H, Chishiki M, Kashiwabara N, Kume Y, Ogasawara K, Sato M, Hosoya M. Biomarker Potential of the Soluble Receptor for Advanced Glycation End Products to Predict Bronchopulmonary Dysplasia in Premature Newborns. *Frontiers in Pediatrics*. 202104; 9:649526.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Waragai T, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effectiveness of T-Cell Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Refractory/Relapsed B Cell Acute Lymphoblastic Leukemia in Children and Adolescents. *Frontiers in Pediatrics*. 202110; 9:743294.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):53-63.

Yamada L, Saito M, Thar Min AK, Saito K, Ashizawa M, Kase K, Nakajima S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Selective sensitivity of EZH2 inhibitors based on synthetic lethality in ARID1A-deficient gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202101; 24(1):60-71.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Ono T, Proks P, Yoshida-Komiya H, Ueta Y, Nishimori K, Misaka S,

Shimomura K. Identification of oxytocin receptor activating chemical components from traditional Japanese medicines. *Journal of Food and Drug Analysis*. 202112; 29(4):653-675.

Matsumoto M, Yoshida M, Jayathilake BW, Inutsuka A, Nishimori K, Takayanagi Y, Onaka T. Indispensable role of the oxytocin receptor for allogrooming toward socially distressed cage mates in female mice. *Journal of Neuroendocrinology*. 202105; 33(6):e12980.

Iseki Y, Ono Y, Hibi C, Tanaka S, Takeshita S, Maejima Y, Kurokawa J, Murakawa M, Shimomura K, Sakamoto K. Opening of Intermediate Conductance Ca^{2+} -Activated K^{+} Channels in C2C12 Skeletal Muscle Cells Increases the Myotube Diameter via the Akt/Mammalian Target of Rapamycin Pathway. *Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics*. 202103; 376(3):454-462.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Yamada H, Shirata N, Makino S, Miyake T, Trejo JAO, Yamamoto-Nonaka K, Kikyo M, Empitu MA, Kadariswantiningsih IN, Kimura M, Ichimura K, Yokoi H, Mukoyama M, Hotta A, Nishimori K, Yanagita M, Asanuma K. MAGI-2 orchestrates the localization of backbone proteins in the slit diaphragm of podocytes. *Kidney International*. 202102; 99(2):382-395.

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant Chemotherapy Induces IL34 Signaling and Promotes Chemoresistance via Tumor-Associated Macrophage Polarization in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011-2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Maejima Y, Yokota S, Shimizu M, Horita S, Kobayashi D, Hazama A, Shimomura K. The deletion of glucagon-like peptide-1 receptors expressing neurons in the dorsomedial hypothalamic nucleus disrupts the diurnal feeding pattern and induces hyperphagia and obesity. *Nutrition & Metabolism*. 202106; 18(1):58.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Takahashi N, Mochizuki K, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Decline of serum albumin precedes severe acute GVHD after haploidentical HSCT. *Pediatrics International*. 202109; 63(9):1048-1054.

Gonda K, Horita S, Maejima Y, Takenoshita S, Shimomura K. Soluble interleukin-2 receptor as a predictive and prognostic marker for patients with familial breast cancer. *Science Progress*. 202107; 104(3):368504211039590.

Maruyama T, Stevens R, Boka A, DiRienzo L, Chang C, Yu HI, Nishimori K, Morrison C, Hsu W. BMPR1A maintains skeletal stem cell properties in craniofacial development and craniosynostosis. *Science Translational Medicine*. 202103; 13(583):eabb4416.

Nakano H, Saito M, Nakajima S, Saito K, Nakayama Y, Kase K, Yamada L, Kanke Y, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Goto A, Kono K. PD-L1 overexpression in EBV-positive gastric cancer is caused by unique genomic or epigenomic mechanisms. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1982.

Horita S, Ono T, Gonzalez-Resines S, Ono Y, Yamachi M, Zhao S, Domene C, Maejima Y, Shimomura K. Structure based analysis of K ATP channel with a DEND syndrome mutation in murine skeletal muscle. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):6668.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):7221.

Zhao J, Tan C, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Ito H, Nan G, Zhao S, Shimomura K. Evaluation of organ glucose metabolism by 18 F-FDG accumulation with insulin loading in aged mice compared with young normal mice. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):7421.

Nagano M, Saitow F, Higo S, Uzuki M, Mikahara Y, Akimoto T, Ozawa H, Nishimori K, Suzuki H. Cesarean section delivery is a risk factor of autism-related behaviors in mice. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8883.

Petersen SH, Kua LF, Nakajima S, Yong WP, Kono K. Chemoradiation induces upregulation of immunogenic cell death-related molecules together with increased expression of PD-L1 and galectin-9 in gastric cancer. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):12264.

Nakajima S, Mimura K, Matsumoto T, Thar Min AK, Ito M, Nakano H, Neupane P, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Momma T, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Kono K. The effects of T-DXd on the

expression of HLA class I and chemokines CXCL9/10/11 in HER2-overexpressing gastric cancer cells. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16891.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwade M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

Tamai Y, Ohto H, Yasuda H, Takeshita A, Fujii N, Ogo H, Yazawa Y, Hato T, Mitani K, Suzuki K, Yokohama A, Kato Y, Abe M, Kumagawa M, Ueda Y, Nollet KE, Cooling L, Kitazawa J; Pediatric RBC Alloimmunization Consortium. Allo-anti-M: Detection peaks around 2 years of age, but may be attenuated by red blood cell transfusion. *Transfusion*. 202109; 61(9):2718-2726.

Tamai Y, Ohto H, Takahashi H, Kitazawa J; Pediatric RBC Alloimmunization Consortium. Transfusion-Related Alloimmunization to Red Blood Cell Antigens in Japanese Pediatric Recipients. *Transfusion Medicine Reviews*. 202101; 35(1):29-36.

Furumaki H, Takeshita A, Ohto H, Yamada C, Fujihara H, Ishizuka K, Shibata H, Shinba T, Nemoto N, Ino K, Ozawa A, Watanabe H, Kawabata K, Obata Y. A newly devised flow cytometric antibody binding assay helps evaluation of dithiothreitol treatment for the inactivation of CD38 on red blood cells. *Vox Sanguinis*. 202107; 116(6):725-734.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損大腸癌における糖鎖抗原を標的とした免疫療法の可能性. *癌と化学療法*. 202110; 48(10):1275-1277.

〔総説等〕

Murakami M, Osuga K, Ohto H, Kamiya K, Saito K, Scholz U, Abdel-Wahab M. IAEA consultancy meeting on low-dose radiation for patients and population. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202106; 67(2):89-93.

〔症例報告〕

Shima E, Go H, Maeda H, Ogasawara K, Imamura T, Sasaki M, Koh Y, Nollet KE, Ikeda K, Ohto H, Hosoya M. Down syndrome with neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-HLAA31 and B61 antibodies. *International Journal of Hematology*. 202106; 113(6):945-949.

〔その他〕

Ohira T, Shimura H, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Response to the Letter to the Editor: Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake', by Ohira et al. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(3):425-426.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Author Correction: Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. Scientific Reports. 202107; 11(1):14218.

著 書・訳 書

大戸斉, 安田広康. 血液型不適合妊娠. In: 藤井知行 編集. 週数別妊婦健診マニュアル 第2版. 東京: 医学書院; 202111. p.118-121.

研究発表等

〔研究発表〕

玉井佳子, 大戸斉, 安田広康, 竹下明裕, 藤井伸治, 小郷博昭, 矢澤百合香, 羽藤高明, 三谷絹子, 鈴木啓二郎, 横濱章彦, 加藤陽子, 阿部操, 熊川みどり, 上田恭典, Nollet KE, Cooling L, 北澤淳一. 未成年において検出された抗 M の特徴 (小児多施設共同研究の結果から). 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-0314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):480.

萩山佳子, 伊藤正一, 李悦子, 加藤美加, 長沼良子, 成田香魚子, 梶原かおり, 菱沼智子, 名村喜一郎, 柴崎至, 面川進, 中川國利, 大戸斉. 抗 Jra 保有妊婦から出生し、胎児貧血を呈した児の Jra 抗原解析. 第 118 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-0314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 68(3):481.

中嶋正太郎, 三村耕作, 松本拓朗, 伊藤美郷, 仲野宏, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 術前補助化学療法により産生される IL-34 が食道扁平上皮癌の腫瘍随伴マクロファージ及び薬剤感受性に及ぼす影響. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web.

玉井佳子, 大戸斉, 藤井伸治, 小郷博昭, 矢澤百合香, 谷内田尚美, 羽藤高明, 土居靖和, 三谷絹子, 篠原茂, 鈴木啓二郎, 山本晃士, 横濱章彦, 木村かよ子, 加藤陽子, 阿部操, 熊川みどり, 上田恭典, 北澤淳一. 未成年者 (20 歳未満) の抗 M 保有に関する多施設共同研究. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):297.

伊藤正一, 萩山佳子, 菱沼智子, 名村喜一郎, 柴崎至, 面川進, 中川國利, 大戸斉. 単球貧食試験による献血者の DAT 陽性赤血球の評価. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):335.

萩山佳子, 伊藤正一, 李悦子, 加藤美加, 長沼良子, 成田香魚子, 梶原かおり, 菱沼智子, 名村喜一郎, 柴崎至, 面川進, 中川國利, 大戸斉. 抗 Jra により胎児貧血を呈した児の出生時 Jra 抗原発現の減少. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):335.

薬師神公和, 吉原哲, 池田和彦, 石田明, 大戸斉, 小原明, 梶原道子, 菊田敦, 原口京子, 藤原慎一郎, 藤原実名美, 山崎理絵, 長村登紀子, 田野崎隆二, 奥山美樹, 藤盛好啓, 上田恭典. 本邦の細胞治療 (造血幹細胞採取等) に関する実態調査 (細胞治療合同委員会造血幹細胞移植関連委員会からの報告) その 1. 第 69 回日本輸

血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):339.

吉原哲, 薬師神公和, 池田和彦, 石田明, 大戸斉, 小原明, 梶原道子, 菊田敦, 原口京子, 藤原慎一郎, 藤原実名美, 山崎理絵, 長村登紀子, 田野崎隆二, 奥山美樹, 藤盛好啓, 上田恭典. 本邦の細胞治療（造血幹細胞採取等）に関する実態調査（細胞治療合同委員会造血幹細胞移植関連委員会からの報告）その2. 第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):340.

中嶋正太郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌の術前化学療法が誘導する IL-34 がマクロファージの M2 分極と薬剤感受性低下を促進する. 第80回日本癌学会学術総会; 20210930-1002; 横浜/Web.

〔シンポジウム〕

大戸斉. 未来に届けたい輸血医療 プロフェッショナルからのメッセージ 未来に届けたい輸血医学・医療. 第28回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム; 20211008-09; 浜松/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(5):巻末22.

中嶋正太郎, 三村耕作, 伊藤美郷, 金田晃尚, 佐瀬善一郎, 坂本渉, 河野浩二. 術前補助化学療法が食道扁平上皮癌微小環境に及ぼす影響. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔特別講演〕

大戸斉. 母児間血液型不適合妊娠による胎児・新生児溶血性貧血：最新の考え方. 第118回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会; 20210227-0314; Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(3):477-478.

徳永勝士, 大前陽輔, 内川誠, 伊藤正一, 小笠原健一, 和田郁夫, 大戸斉. 37 番目の新たな血液型

「KANNO」の発見. 第69回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20210604-06; 東京/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(2):248.

〔その他〕

玉井佳子, 大戸斉, 北澤淳一. 認定輸血検査技師更新必須講座 新生児期の赤血球輸血では同種抗体産生を認めない—未成年者の抗赤血球抗体に関する多施設共同研究解析結果—. 第28回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム; 20211008-09; 浜松/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(5):巻末59.

川畑絹代, 山田舞衣子, 池田和彦, 大戸斉, 山田尚友, 大友直樹. 認定輸血検査技師更新必須講座 DEL 赤血球輸血による抗D産生—全国アンケート調査—. 第28回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム; 20211008-09; 浜松/Web. 日本輸血細胞治療学会誌. 67(5):巻末60.

運動器骨代謝学講座

論 文

〔原 著〕

Suzuki T, Kaneuchi Y, Hakozaki M, Yamada H, Yamada S, Konno S. Visualization of hidden soft-tissue recurrence of giant cell tumor of bone enabled by preoperative denosumab treatment: a case description. Quantitative Imaging in Medicine and Surgery. 202108; 11(8):3893-3897.

山田仁, 紺野慎一. 【整形外科疾患の運動療法-最近の進歩】骨粗鬆症に対する運動の効果. 整形・災害外科. 202104; 64(4):451-456.

〔総説等〕

山田仁, 紺野慎一. 【整形外科疾患の運動療法-最近の進歩】骨粗鬆症に対する運動の効果. 整形・災害外科. 202104; 64(4):451-456.

著 書・訳 書

Yamada H. Bone and Soft-Tissue Tumors. In: Fujii H, Nakamura H, Yasuda S. Applications of FDG PET in Oncology. Singapore: Springer; 2021. p.95-117.

山田仁. 悪性リンパ腫, 白血病. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一 編集. 今日の整形外科治療指針 第8版. 東京: 医学書院; 202110. p.187-188.

研究発表等

〔研究発表〕

金内洋一, 箱崎道之, 山田仁, 田地野崇宏, 山田匠希, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 四肢および表在体幹発生の異型脂肪腫様腫瘍／高分化型脂肪肉腫に対する辺縁切除術の臨床成績. 第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

國島麻実子, 山田仁, 渡邊一男, 荒文博, 紺野慎一. 超高齢者に発症した脱分化型骨外性粘液性軟骨肉腫の1例. 第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

新田夢鷹, 箱崎道之, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 大腿骨近位部骨肉腫に対して spherical periacetabular osteotomy による股関節包外切除術と人工股関節全置換術を行った1例. 第54回

日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 田地野崇宏, 鈴木丈夫, 紺野慎一. 骨肉腫に対する大量メトトレキサート療法による重度粘膜障害. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 紺野慎一. 骨・軟部腫瘍診療における FDG PET の有用性. 第 54 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20210715-16; 広島/Web.

鈴木丈夫, 金内洋一, 山田仁, 箱崎道之, 紺野慎一. 多骨性線維性骨異形成症の高齢者に生じた二次性骨肉腫の 1 例. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

山田仁, 紺野慎一. 骨軟部腫瘍診療における血液疾患 医療連携の重要性. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

山田仁, 紺野慎一. ロモソズマブによる疼痛改善効果. 第 23 回日本骨粗鬆症学会; 20211008-10; Web.

箱崎道之, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 転移性骨腫瘍に対する治療戦略 福島県内の整形外科医による四肢転移性骨腫瘍診療の現状についてのアンケート調査. 第 70 回東日本整形災害外科学会; 20210917-18; 盛岡.

手外科・四肢機能再建学講座

論 文

〔原 著〕

江尻荘一, 利木成広, 佐々木信幸, 紺野慎一, 川上亮一. 重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術治療成績と合併症. 日本手外科学会雑誌. 202112; 38(3):301-307.

〔症例報告〕

Kameda T, Yokota T, Ejiri S, Konno SI. Forearm compartment syndrome due to acquired hemophilia that required massive blood transfusions after fasciotomy: A case report. World Journal of Clinical Cases. 202111; 9(31):9592-9597.

研究発表等

〔研究発表〕

江尻莊一，利木成広，川前恵史，紺野慎一，川上亮一．重度分娩麻痺に対する乳幼児期での肋間神経移行術の治療成績 5 例報告. 第 64 回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

亀田拓哉，横田武尊，江尻莊一，紺野慎一．後天性血友病による非外傷性前腕コンパートメント症候群で筋膜切開後に多量輸血と凝固因子製剤を要した一例. 第 64 回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

川前恵史，江尻莊一，利木成広，佐々木信之，紺野慎一．非定型抗酸菌による手指腱滑膜炎の臨床的検討. 第 64 回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

利木成広，江尻莊一，川前恵史，佐々木信幸，亀田拓哉，小林一貴，紺野慎一．キーンバック病に対する橈骨楔状骨切り術における仮 STT 固定術併用の意義. 第 64 回日本手外科学会学術集会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

畑下智，古月顕宗，坂本和陽，江尻莊一，川上亮一，高橋洋子，小林一貴，亀田拓哉，平井亨，紺野慎一．遠位橈尺関節症に伴う伸筋腱皮下断裂を反対側にも発症した症例の検討. 第 64 回日本手外科学会学術集会; 20210422-23; 長崎/Web.

ヒト神経生理学講座

論文

〔原著〕

Murakami T, Kishi M, Ugawa Y, Hanajima R. Bilateral asterix in a patient with bilateral anterior cerebral artery infarction. *Clinical Neurology and Neurosurgery*. 202107; 206:106716.

Tokushige SI, Matsuda S, Inomata-Terada S, Hamada M, Ugawa Y, Tsuji S, Terao Y. Premature saccades: A detailed physiological analysis. *Clinical Neurophysiology*. 202101; 132(1):63-76.

Di Lazzaro V, Bella R, Benussi A, Bologna M, Borroni B, Capone F, Chen KS, Chen R, Chistyakov AV, Classen J, Kiernan MC, Koch G, Lanza G, Lefaucheur JP, Matsumoto H, Nguyen JP, Orth M, Pascual-Leone A, Rektorova I, Simko P, Taylor JP, Tremblay S, Ugawa Y, Dubbioso R, Ranieri F. Diagnostic contribution and therapeutic perspectives of transcranial magnetic stimulation in dementia. *Clinical Neurophysiology*. 202110; 132(10):2568-2607.

Sasada S, Kadowaki S, Tazoe T, Murayama T, Kato K, Nakao Y, Matsumoto H, Nishimura Y, Ugawa Y. Assessment of safety of self-controlled repetitive trans-vertebral magnetic stimulation. *Clinical Neurophysiology*. 202112; 132(12):3166-3176.

Kobayashi S, Hirose M, Akutsu Y, Hirayama K, Ishida Y, Ugawa Y. Disconnected Motor Intention and Spatial Attention in a Case of Probable Marchiafava-Bignami Disease. *Cognitive and Behavioral Neurology*. 202109; 34(3):226-232.

Chang FY, Wiratman W, Ugawa Y, Kobayashi S. Event-Related Potentials During Decision-Making in a Mixed-Strategy Game. *Frontiers in Neuroscience*. 202103; 15:552750.

Terao Y, Honma M, Asahara Y, Tokushige SI, Furubayashi T, Miyazaki T, Inomata-Terada S, Uchibori A, Miyagawa S, Ichikawa Y, Chiba A, Ugawa Y, Suzuki M. Time Distortion in Parkinsonism. *Frontiers in Neuroscience*. 202103; 15:648814.

Yamaguchi N, Matsuda S, Matsumoto J, Ugawa Y, Shimizu J, Toda T, Sonoo M, Yoshizawa T. Rippling Muscle Disease with Irregular Toe Jerks and Anti-acetylcholine Receptor Antibodies: Remission after Extended Thymectomy. *Internal Medicine*. 202205; 61(9):1439-1442.

Okano T, Daikoku T, Ugawa Y, Kanai K, Yumoto M. Perceptual uncertainty modulates auditory statistical learning: A magnetoencephalography study. *International Journal of Psychophysiology*. 202110; 168:65-71.

Hoshi K, Ito H, Abe E, Fuwa TJ, Kanno M, Murakami Y, Abe M, Murakami T, Yoshihara A, Ugawa Y, Saito T, Saido TC, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Furukawa K, Arai H, Kanai M, Miyajima M, Arai H, Ogawa N, Akatsu H, Hashizume Y, Tateno H, Honda T, Hashimoto Y. Transferrin Biosynthesized in the Brain Is a Novel Biomarker for Alzheimer's Disease. *Metabolites*. 202109; 11(9):616.

Yamashita A, Murakami T, Hattori N, Miyai I, Ugawa Y. Intensity dependency of peripheral nerve stimulation in spinal LTP induced by paired associative corticospinal-motoneuronal stimulation (PCMS). *PLOS ONE*. 202111; 16(11):e0259931.

Revankar GS, Kajiyama Y, Gon Y, Ogasawara I, Hattori N, Nakano T, Kawamura S, Ugawa Y, Nakata K, Mochizuki H. Perception of yips among professional Japanese golfers: perspectives from a network modelled approach. *Scientific Reports*. 202110; 11(1):20128.

梶龍兒, 宇川義一. Functional movement disorder は電気生理学的に診断できるか. *MDSJ Letters*. 202106; 14(1):1-3.

山本健嗣, 村上文伸, 田尻佑喜, 浜崎尚文, 宇川義一, 花島律子. H 波二重刺激試験で脊髄運動ニューロン脱抑制を示した破傷風の 1 例. *鳥取医学雑誌*. 202108; 49(1-2):40-44.

宇川義一. ヒトでの小脳機能の生理学的検査法. *脳と発達*. 202109; 53(5):335-341.

加藤弘之, 村上文伸, 田尻佑喜, 山口徳也, 宇川義一, 花島律子. 右中大脳動脈領域脳梗塞に左片側舞蹈運動を呈した 1 例. *臨床神経学*. 202105; 61(5):325-328.

望月秀樹, 青木正志, 池中建介, 井上治久, 岩坪威, 宇川義一, 岡澤均, 小野賢二郎, 小野寺理, 北川一夫, 齊藤祐子, 下畑享良, 高橋良輔, 戸田達史, 中原仁, 松本理器, 水澤英洋, 三井純, 村山繁雄, 勝野雅央,

青木吉嗣, 石浦浩之, 和泉唯信, 小池春樹, 島田斉, 高橋祐二, 徳田隆彦, 中嶋秀人, 波田野琢, 三澤園子, 渡辺宏久, 日本神経学会将来構想委員会. 脳神経疾患克服に向けた研究推進の提言 2020、総論. 臨床神経学. 202111; 61(11):709-721.

花島律子, 寺尾安生, 出江紳一, 宇川義一, 緒方勝也, 金子文成, 鬼頭伸輔, 小林正人, 中村元昭, 西田圭一郎, 野田賀大, 細見晃一, 松本英之, 日本臨床神経生理学会脳刺激法に関する小委員会. 低出力経頭蓋集束超音波刺激に関する提言. 臨床神経生理学. 202104; 49(2):114-118.

〔その他〕

沼田純希, 寺尾安生, 尾張望美, 柿崎千穂, 菅原憲一, 宇川義一, 古林俊晃. 下肢の同期タッピング課題における感覚入力の違いがリズム形成に与える影響. 理学療法学. 202112; 48(Suppl.1):2G21-05.

総合内科・臨床感染症学講座

論 文

〔原 著〕

Sando E, Suzuki M, Ishida M, Yaegashi M, Aoshima M, Ariyoshi K, Morimoto K. Definitive and Indeterminate *Pseudomonas aeruginosa* Infection in Adults with Community-acquired Pneumonia: A Prospective Observational Study. Annals of the American Thoracic Society. 202109; 18(9):1475-1481.

Miyahara R, Tsuchiya N, Yasuda I, Ko YK, Furuse Y, Sando E, Nagata S, Imamura T, Saito M, Morimoto K, Imamura T, Shobugawa Y, Nishiura H, Suzuki M, Oshitani H. Familial Clusters of Coronavirus Disease in 10 Prefectures, Japan, February-May 2020. Emerging Infectious Diseases. 202103; 27(3):915-918.

Maeda H, Sando E, Toizumi M, Arima Y, Shimada T, Tanaka T, Tashiro M, Fujita A, Yanagihara K, Takayama H, Yasuda I, Kawachi N, Kohayagawa Y, Hasegawa M, Motomura K, Fujita R, Nakata K, Yasuda J, Morita K, Kohno S, Izumikawa K, Suzuki M, Morimoto K. Epidemiology of Coronavirus Disease Outbreak among Crewmembers on Cruise Ship, Nagasaki City, Japan, April 2020. Emerging Infectious Diseases. 202109; 27(9):2251-2260.

Imamura T, Saito M, Ko YK, Imamura T, Otani K, Akaba H, Ninomiya K, Furuse Y, Miyahara R, Sando E, Yasuda I, Tsuchiya N; National COVID-19 Cluster Response Taskforce, Suzuki M, Oshitani H. Roles of Children and Adolescents in COVID-19 Transmission in the Community: A Retrospective Analysis of Nationwide Data in Japan. Frontiers in Pediatrics. 202108; 9:705882.

Furuse Y, Tsuchiya N, Miyahara R, Yasuda I, Sando E, Ko YK, Imamura T, Morimoto K, Imamura T,

Shobugawa Y, Nagata S, Tokumoto A, Jindai K, Suzuki M, Oshitani H. COVID-19 case-clusters and transmission chains in the communities in Japan. *Journal of Infection*. 202202; 84(2):248-288.

Yasuda I, Saito N, Suzuki M, Umipig DV, Solante RM, Guzman F, Sayo AR, Yasunami M, Koizumi N, Kitashoji E, Sakashita K, Ng CFS, Smith C, Ariyoshi K. Unique characteristics of new complete blood count parameters, the Immature Platelet Fraction and the Immature Platelet Fraction Count, in dengue patients. *PLOS ONE*. 202111; 16(11):e0258936.

Ngo CC, Katoh S, Hasebe F, Dhoubhadel BG, Hiraoka T, Hamaguchi S, Le ATK, Nguyen ATH, Dang AD, Smith C, Yoshida LM, Do CD, Pham TTT, Ariyoshi K. Characteristics and biomarkers of patients with central nervous system infection admitted to a referral hospital in Northern Vietnam. *Tropical Medicine and Health*. 202105; 49(1):42.

山藤栄一郎. 【国際感染症とその対策】症候群サーベイランスについて. *Precision Medicine*. 202107; 4(7):624-627.

山藤栄一郎. 【症候からアプローチする 救急医のための感染症診療】症状・症候からのアプローチ 皮疹. *救急医学*. 202107; 45(8):992-998.

山藤栄一郎. ダニ媒介感染症の現状と課題 つつが虫病の現状と課題. *日本化学療法学会雑誌*. 202103; 69(2):162-163.

山藤栄一郎. 急性の発熱と発疹を来す成人患者へのアプローチ. *日本化学療法学会雑誌*. 202104; 69(Suppl.A):183.

山藤栄一郎. 【ダニ媒介感染症-適切な理解と診断の道標】ツツガムシ病と日本紅斑熱. *臨床検査*. 202102; 65(2):146-151.

山藤栄一郎. COVID-19 の病態と臨床-サーベイランスと行政を含めて- スマホを用いた COVID-19 の症候群サーベイランス (健康管理アプリ、N-CHAT) . *臨床とウイルス*. 202105; 49(2):S20.

著 書・訳 書

山藤栄一郎. 医師指示・カルテ記載. 亀田総合病院 編集. In: 総合内科マニュアル 第2版. 東京. 医学書院. 202103; 34-40.

山藤栄一郎. 在宅診療の原則. In: 亀田総合病院 編集. 総合内科マニュアル 第2版. 東京. 医学書院. 202103. p.77-81.

山藤栄一郎. 皮膚. In: 亀田総合病院 編集. 総合内科マニュアル 第2版. 東京. 医学書院. 202103. p.417-437.

地域包括的癌診療研究講座

研究発表等

〔その他〕

柴田昌彦（特別発言）．ワークショップ：一歩先の癌免疫治療．第29回日本癌病態治療研究会; 20210114-15; 誌上.

柴田昌彦（司会）．特別企画7 癌に対する免疫治療 New era. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

柴田昌彦，植竹宏之（座長）．主題1-1 集学的治療 下部消化管. 第43回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

柴田昌彦（司会）．主題I 新規免疫療法への戦略とエビデンス. 第42回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

柴田昌彦（司会）．特別講演1 VEGF受容体活性化シグナル制御による腫瘍微小環境の改善. 第30回日本癌病態治療研究会; 20210611; 鎌倉/Web.

柴田昌彦（座長）．パネルディスカッション2 irAEにおけるピットフォール. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

先端地域生活習慣病治療学講座

論 文

〔原 著〕

Hatano Y, Yano Y, Fujimoto S, Sato Y, Iseki K, Konta T, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T. The population-attributable fraction for premature mortality due to cardiovascular disease associated with stage 1 and 2 hypertension among Japanese. American Journal of Hypertension. 202102; 34(1):56-63.

Tanaka K, Watanabe T, James K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H,

Shimabukuro M, Asahi K. Status of Anemia According to Underlying Renal Disease in Chronic Kidney Disease: The Fukushima CKD Cohort. *Annals of Clinical Epidemiology*. 2021; 3(1):27.

Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association between serum potassium levels and adverse outcomes in chronic kidney disease: the Fukushima CKD cohort study. *Clinical and Experimental Nephrology*. 202104; 25(4):410-417.

Kimura H, Tanaka K, Saito H, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Association of Polypharmacy with Kidney Disease Progression in Adults with CKD. *Clinical Journal of the American Society of Nephrology*. 202112; 16(12):1797-1804.

Saito H, Tanaka K, Iwasaki T, Oda A, Watanabe S, Kanno M, Kimura H, Shimabukuro M, Asahi K, Watanabe T, Kazama JJ. Xanthine oxidase inhibitors are associated with reduced risk of cardiovascular disease. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1380.

Saito H, Tanabe H, Kudo A, Machii N, Higa M, Yamaguchi S, Maimaituxun G, Abe K, Takahashi A, Tanaka K, Asahi K, Masuzaki H, Ohira H, Kazama JJ, Shimabukuro M. High FIB4 index is an independent risk factor of diabetic kidney disease in type 2 diabetes. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):11753.

研究発表等

〔研究発表〕

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林文和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規慢性腎臓病発症と有意に関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

木村浩, 田中健一, 江尻博紀, 藤原もも子, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. Polypharmacy が CKD 患者の予後に及ぼす影響に関する検討. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. キサンチンオキシターゼ阻害薬は糖尿病合併 CKD の心血管リスク減少と関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

齋藤浩孝, 田中健一, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 木村浩, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 慢性腎臓病患者における赤血球分布幅 (RDW) と予後の関連について. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

田中健一, 木村浩, 齋藤浩孝, 岩崎剛史, 小田朗, 渡辺秀平, 菅野真理, 島袋充生, 旭浩一, 渡辺毅, 風間順一郎. 栄養状態不良と慢性腎臓病患者の予後の関連に関する検討. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618; Web.

木村浩，田中健一，旭浩一，井関邦敏，守山敏樹，山縣邦弘，鶴屋和彦，藤本昭一，成田一衛，今田恒夫，近藤正英，笠原正登，柴垣有吾，渡辺毅，風間順一郎. CKD 患者の健康行動に対する行動変容ステージと生命予後の関連. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210620; Web.

木村浩，田中健一，齋藤浩孝，岩崎剛史，小田朗，渡辺秀平，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎. Polypharmacy と CKD 患者の腎予後の関連についての検討. 日本臨床疫学学会第 4 回年次学術大会; 20211031; Web.

齋藤浩孝，田中健一，岩崎剛史，小田朗，渡辺秀平，木村浩，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎. 慢性腎臓病患者における赤血球分布幅（RDW）および平均赤血球容積（MCV）と予後. 日本臨床疫学学会第 4 回年次学術大会; 20211031; Web.

田中健一，齋藤浩孝，岩崎剛史，小田朗，渡辺秀平，木村浩，風間咲美，島袋充生，旭浩一，渡辺毅，風間順一郎. 透析導入前慢性腎臓病患者における脈拍数と長期予後の関連について. 日本臨床疫学学会第 4 回年次学術大会; 20211031; Web.

周産期間葉系幹細胞研究講座

論 文

〔原 著〕

Ito S, Ohto H, Ogiyama Y, Irino M, Omokawa S, Shibasaki I, Ogasawara K, Uchikawa M, Nollet KE, Flegel WA. A practical and effective strategy in East Asia to prevent anti-D alloimmunization in patients by C/c phenotyping of serologic RhD-negative blood donors. *EJHaem*. 202111; 2(4):750-756.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Ono T, Proks P, Yoshida-Komiya H, Ueta Y, Nishimori K, Misaka S, Shimomura K. Identification of oxytocin receptor activating chemical components from traditional Japanese medicines. *Journal of Food and Drug Analysis*. 202112; 29(4):653-675.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwadate M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

著 書・訳 書

大戸 斉，安田 広康. 血液型不適合妊娠. In: 藤井知行 編集. 週数別妊婦健診マニュアル 第 2 版. 東京: 医学書院

肺高血圧先進医療学講座

論文

〔原著〕

Nakazato K, Sugimoto K, Kiko T, Kobayashi A, Takeishi Y. Angiographic and intravascular ultrasound images of pulmonary artery rupture during balloon pulmonary angioplasty. *European Heart Journal Cardiovascular Imaging*. 2021; 22(2):176.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Anti-mitochondrial antibodies in patients with dilated cardiomyopathy. *Internal Medicine*. 2021; 60(2):201-208.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 expression via G α /RhoA/Sp-1/Rho kinase pathways in human pulmonary arterial endothelial cells. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 2021; 8: 648981.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, Nollet KE, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving Calr frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. *Journal of Hematology & Oncology*. 2021; 14(1):52.

研究発表等

〔研究発表〕

Kimishima Y, Misaka T, Yokokawa T, Wada K, Ueda K, Sugimoto K, Minakawa K, Nakazato K, Ishida T, Oshima M, Koide S, Shide K, Shimoda K, Iwama A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1. *Cardiovascular and Metabolic Week 2020: International Society for Heart Research (ISHR), The 37th Annual Meeting of the Japanese Section*; 20210312-13; Web.

横川哲朗, 三阪智史, 君島勇輔, 和田健斗, 皆川敬治, 杉本浩一, 石田隆史, 池田和彦, 竹石恭知. Crucial role of JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm on the development of aortic aneurysm. *Cardiovascular and Metabolic Week 2020 第28回日本血管生物医学学会学術集会*; 20210312-13; Web.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Sugimoto K, Ishida T, Takeishi Y. JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm is associated with aortic aneurysm. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

総合科学部門 言語学分野

論文

〔原 著〕

中山仁. 話し言葉に特徴的な非制限的 Which 節の機能的・語用論的分析. 英語表現研究. 202106; 38:107-123.

総合科学部門 行動科学分野（心理学）

論文

〔原 著〕

三澤文紀. 看護学生が日常的に個人利用可能なストレス低減ツール開発の試み (2) ストレス・コーピングと解決志向アプローチの「例外」の日常的記録を中心に. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:9-18.

研究発表等

〔研究発表〕

大川貴子, 安保寛明, 田村達弥, 吾妻陽子, 三澤文紀. リフレクティング面接の実践者を育成する教育プログラム参加者の体験. 第 31 回日本精神保健看護学会学術集会; 20210605-06; Web(山形).

大川貴子, 三澤文紀. 精神障害者家族に対するリフレクティング面接の実施を目指した取り組み 6 ヶ月間の研修に参加した専門職のインタビュー分析. 第 52 回 (2021 年度) 日本看護学会学術集会; 20210928-29; Web.

〔シンポジウム〕

三澤文紀, 木島祐子, 矢野絵梨佳. リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討: 福島からの報告. 遠隔セミナー リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討; 20210320; Web.

大川貴子, 三澤文紀, 矢原隆行. 日本における精神保健医療福祉へのリフレクティング・プロセス導入の試み: 福島と熊本の取り組みより. リフレクティング・プロセスから展望する新たな精神保健医療福祉の展開～ノルウェーと日本での実践から～; 20211031; Web.

総合科学部門 行動科学分野 (社会学)

論文

〔原著〕

立柳聡. 児童憲章を振り返る視座: 子どもへの眼差しを変えよう (特集 児童憲章 70 年: すべての子どもの幸せを考える). 月刊社会教育. 202112; 65(12):4-11.

〔研究報告書〕

立柳聡. 国内移民の定住過程―共生を促進するホスト社会の文化と施策の研究―. 福島県立医科大学令和 2 年度研究支援事業 (育成研究) 研究成果報告書. 202105.

〔その他〕

立柳聡. 助言者コメント. 第 42 回全国公民館研究集会・第 60 回関東甲信越静公民館研究大会千葉大会報告書. 202102; 116-118.

著書・訳書

立柳聡, 吉川美華. 本書の視座. In: 松本誠一. 「共助」をめぐる伝統と創造―日韓コミュニティ比較の視座―. 東京: 岩田書院. 202102. p.7-23.

立柳聡. 契約講の構造と機能―千葉県東総地区の事例から―. In: 松本誠一. 「共助」をめぐる伝統と創造―日韓コミュニティ比較の視座―. 東京: 岩田書院. 202102. p.225-254.

研究発表等

〔研究発表〕

立柳聡. 島にこだわること、島を調査することの今日的意義. 島嶼コミュニティ学会第 11 回年次大会（10 周年記念大会）; 20210606; 東京. 研究発表抄録集. 1.

立柳聡. ボランティア活動をめぐる認識とその役割の変化. 日韓コミュニティ比較研究会; 20211128; Web.

立柳聡. 日本におけるボランティア活動の今日的な固有の立ち位置. 島嶼コミュニティ学会第 11 回研究大会; 20211218; 東京. 研究発表抄録集. 13.

〔シンポジウム〕

立柳聡. 「共助」のこれからを考えるシンポジウム—企画趣意—. 島嶼コミュニティ学会第 11 回研究大会 日韓コミュニティ比較研究会シンポジウム; 20211218; 東京. 研究発表抄録集. 7-9.

〔招待講演〕

立柳聡. 児童憲章制定 70 周年、並びに、東日本大震災 10 周年の今年を迎えて. 第 70 次東京教研集会「学校づくりと地域」分科会; 20210207; 東京.

その他の業績・作品等

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（鎮火祭）調査. 20210101. フィールドワーク.

立柳聡. 東京都八丈町民俗調査予備調査. 20210129-0202. フィールドワーク.

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（節分祭）調査. 20210202. フィールドワーク.

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（オビシヤ祭）調査. 20210211. フィールドワーク.

立柳聡. 山梨県大月市鳥沢民俗調査予備調査. 20210303. フィールドワーク.

立柳聡. 東京都八丈町八丈小島民俗調査第 2 次予備調査（東京都八丈町全域）. 20210323-25. フィールドワーク.

立柳聡. 東京都北区民俗（七社神社茅の輪くぐり）調査. 20210728. フィールドワーク.

立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（新穀感謝祭）調査. 20211123. フィールドワーク.

立柳聡. 東京都八丈町民俗（族制）調査予備調査（東京都八丈町全域）. 20211219-21. フィールドワーク.

論 文

〔原 著〕

Goto A, Yumiya Y, Ueda K. Feedback assessment from the audience as a part of the health literacy training for health professionals: a case from Fukushima after the nuclear accident. *Annals of ICRP*. 202107; 50(1 Suppl.):167-173.

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. The development of an application tool to support returnees in Fukushima. *Annals of ICRP*. 202108; 50(1 Suppl.):187-193.

Arai T, Goto A, Komatsu M, Yasumura S. Incidence of and improvement in inappropriate parental behaviors of mothers with young children: a retrospective cohort study conducted in collaboration with a local government. *Archives of Public Health*. 202103; 79(1):37.

Nomura M, Goto A, Osawa E, Miura H. Empirical evaluation of understandability and usability of health handbooks commonly used in Japan. *Frontiers in Communication*. 202109; doi: 10.3389/fcomm.2021.728934.

Nguyen VQ, Lam PV, Goto A, Nguyen TVT, Vuong TNT, Nguyen TM, Nguyen MH, Truong ATT, Tran TPT, Vo CD. Prevalence and correlates of zinc deficiency among Vietnamese women of reproductive age in Ho Chi Minh City: a single hospital-based survey. *Frontiers in Global Women's Health*. 202112; 2:733191.

Ueda K, Goto A, Imamoto T, Yamazaki Y. An inclusive early childhood intervention program for children with disabilities: possible effects on children and nursery teachers. *Frontiers in Rehabilitation Science*. 202110; 2: doi: 10.3389/fresc.2021.759932.

Yoshida K, Goto A, Takebayashi Y, Murakami M, Sasaki M. Father-child bonding among Japanese fathers of infants: A municipal-based study at the time of the 4-month child health checkup. *Infant Mental Health Journal*. 202109; 42(5):705-717.

Kobayashi T, Takebayashi Y, Goto A, Nakayachi K, Murakami M. May risk communication with non-experts contribute to post-disaster restoration of normalcy? A survey on the disaster-struck prefectures after the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202111; 65: doi: 10.1016/j.ijdrr.2021.102564.

Yumiya Y, Ohba T, Murakami M, Nakano H, Nollet K, Goto A. User-guided design of a digital tool for health promotion and radiation protection: Results from an internet needs survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12007.

Ohba T, Goto A, Yumiya Y, Murakami M, Nakano H, Honda K, Nollet K, Schneider T, Tanigawa K. Tailoring digital tools to address the radiation and health information needs of returnees after a nuclear accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12704.

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and evaluation of life-planning lecture to enhance perspective-taking among high school students: a school-based nonrandomized waitlist intervention study in Japan. *JMA Journal*. 202110; 4(4):339-346.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyojuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K. Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: the Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Belief in group interdependence: facilitating evacuee-host interactions after the Fukushima nuclear accident. *Journal of Applied Social Psychology*. 202102; 51(5):513-521.

Terui T, Yoshida K, Sasaki M, Murakami M, Goto A. The association between fathers' self-assessment of their own parenting and mothers' recognition of paternal support: a municipal-based cross-sectional study. *Journal of Epidemiology*. 202112; 31(12):608-614.

Koyama Y, Goto A. Vietnam-Japan collaboration from a global perspective: a report on 2019 Epidemiology Research Training Course in southern Vietnam. *Journal of Global Health Science*. 202112; 3(2):e10.

Kuroda Y, Goto A, Terauchi H, Suzuki S. Change in sense of food safety associated with social connectedness and information sources—A 10-year longitudinal survey before and after the Fukushima nuclear power plant accident. *Public Health*. 202105; 194:156-162.

Kume Y, Kawasaki Y, Suyama K, Maeda R, Takahashi Y, Hoshino M, Suzuki S, Mitomo M, Nozawa R, Namai Y, Sakuma H, Kaneko M, Oda S, Murai H, Kanno S, Nagasawa K, Ito M, Suzuki H, Ohara S, Go H, Goto A, Hosoya M. Incidence and relapse triggers of childhood idiopathic nephrotic syndrome between 2006 and 2016: a population-based study in Fukushima, Japan. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202102; 253(2):125-134.

阿久津和子, 後藤あや, 横山浩之. 3歳6ヵ月児健康診査の保健師確認項目と5歳児相談結果の関連. *小児保健研究*. 202103; 80(2):172-178.

岡部聡子, 伊藤慎也, 高橋徹, 星千歳, 弓屋結, 本間杏菜, 根本香, 後藤あや. 若年女性を対象とした簡便な「鉄摂取尺度」の改訂および再現性の検討. *日本家政学会誌*. 202105; 72(5):251-259.

本田香織, 後藤あや, 畠山とも子. 回復期脳血管性疾患患者の家族が認知する病気に関する不確かさと関連要因の検討. *日本ニューロサイエンス看護学会誌*. 202109; 7(1):21-28.

石井佳世子, 渡邊一代, 後藤あや. 看護大学生への夫婦間の共感性を高める育児支援プログラムの模擬体験実施とその効果. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:27-33.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の4ヵ月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

〔総説等〕

Goto A, Yumiya Y. Public health nursing in Japan: lessons from the past and present. Sasakawa Peace Foundation USA. 202105; Available from: <https://spfusa.org/research/public-health-nursing-in-japan-lessons-from-past-and-present/>

村上道夫, 小林智之, 越智小枝, 後藤あや, 五十嵐泰正. 企画セッション開催報告 福島から COVID-19 を, COVID-19 から福島を考える. リスク学研究. 202106; 30(4):195-202.

研究発表等

〔研究発表〕

大葉隆, 後藤あや, 熊谷淳史, 大平哲也, 谷川攻一, Liudmila Liutsko, Elisabeth Cardis. 福島の帰還住民と保健福祉関係者のリンク SHAMISEN-SINGS プロジェクト推奨事項の適応. 第91回日本衛生学会学術総会; 20210306-23; 富山/Web. 日本衛生学雑誌 76(Suppl.): S172.

大葉隆, 後藤あや, 中野裕紀, ケネス ノレット, 村上道夫, 児山洋平, 本田香織, 吉田和樹, 弓屋結, 黒田佑次郎. 福島の帰還住民へのデジタルツールを活用した支援システムの開発. 第91回日本衛生学会学術総会; 20210306-23; 富山/Web. 日本衛生学雑誌 76(Suppl.): S172.

中野裕紀, 後藤あや, 大葉隆, 吉田和樹, ケネス ノレット, 村上道夫, 大平哲也, 熊谷敦史, 谷川攻一. 福島県における帰還住民のための健康支援アプリケーション開発. 第57回日本循環器病予防学会学術集会; 20210528-0615; Web. 日本循環器病予防学会誌. 56(2):180.

〔シンポジウム〕

Goto A. Overview of the main challenges for the health professional to accompany the local population with regard to social and psychological problems following the accident. IRPA and EDF Radiation Protection Council webinar; 20210423; Web.

Goto A. Comment on the “Talk to the Authors: The Puzzle of Vaccine Hesitancy”. Tokyo College webinar (識者に聞く「日本とワクチン不信」); 20210527; Web.

Goto A. Psychological consequences among mothers after the Fukushima Daiichi accident in 2011 and efforts on health literacy promotion. ENSI Civil Protection Conference in Switzerland; 20211103-04; Davos,

Switzerland/Web.

Goto A. Applying health literacy in the field after the Fukushima nuclear accident. IAEA Technical Meeting “Radiation in medicine communications and methodologies – International perspectives and the role of Science, Technology and Society in low-dose radiation settings”; 20211109-11; Hiroshima /Web.

後藤あや. 福島における妊娠と育児についての母親の声：調査の結果から. 県民健康調査国際シンポジウム; 20210213-14; 福島/Web.

後藤あや. 成育基本法の推進ツールとしてのロジックモデル. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京 /Web.

〔特別講演〕

後藤あや. 国際保健のキャリアとプロジェクトの振り返り. 順天堂大学教育セミナー; 20210407; Web.

後藤あや. 患者中心の保健医療サービスの向上：ベトナムでの活動の 20 年間を振り返る. JICA 草の根技術協力事業完了報告会; 20210628; Web.

〔招待講演〕

Goto A. Working toward improving maternal and child health when facing a crisis: Short and long term responses after the nuclear accident in 2011. Oregon State University Center for Global Health Seminar; 20210310; Corvallis, USA/Web.

Goto A. Finding the best home for your paper. Ho Chi Minh City Medical Association Academic Writing Course; 20210321; Ho Chi Minh City, Vietnam/Web.

Goto A. Writing about public health. Ho Chi Minh City Medical Association Academic Writing Course II; 20211226; Ho Chi Minh City, Vietnam/Web.

その他の業績・作品等

Goto A, editor. Creative health tutorial video for teachers／先生のためのクリエイティブヘルス. 教材. Center for Integrated Science and Humanities, Fukushima Medical University. Available from: <https://www.youtube.com/watch?v=5p-RvZ4Nc2M>

後藤あや. 授業動画：福島における妊娠と育児について：エビデンスをつくり、伝える（授業動画）. 2021. 教材. 環境省：つむいでつなぐ. 次世代と考える放射線に関する情報発信 専門家の授業①. Available from: <https://www.youtube.com/watch?v=o79LSh3qDeE>

生命科学部門

論 文

〔原 著〕

Izumi R, Hino M, Wada A, Nagaoka A, Kawamura T, Mori T, Sainouchi M, Kakita A, Kasai K, Kunii Y, Yabe H. Detailed Postmortem Profiling of Inflammatory Mediators Expression Revealed Post-inflammatory Alternation in the Superior Temporal Gyrus of Schizophrenia. *Frontiers in Psychiatry*. 202103; 12: <https://doi.org/10.3389/fpsyt.2021.653821>.

Suzuki Y, Deguchi M, Furuya A, Kato S, Ohta S. Febuxostat Attenuates the Induction of Vascular Cell Adhesion Protein 1 by TNF- α in Human Umbilical Vein Endothelial Cells. *Pharmacology*. 202103; 106:218-224.

高瀬佳苗, 小川ひとみ, 三浦浅子. 病棟看護師が終末期がん患者の在宅療養に向けた支援で抱く思い. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:19-25.

〔総説等〕

藤田愛, 柴田愛, 関亦明子, 春名めぐみ. 山形大学における COVID-19 感染拡大下での J-PEACH Study の取り組み. *DOHaD 研究*, 10(1), 49-52. 202112; 10(1):49-52.

著 書・訳 書

加藤郁子. ピアサポートの実際 精神看護専門看護師の立場から. In: 前田正治. コロナ禍における医療・介護従事者への心のケア 支援の現場から. 東京: 誠信書房. 202112. p.99-110.

研究発表等

〔研究発表〕

Nagoya Y, Matsuoka M, Takenouchi N, Hirata M, Arita N, Kawakatsu K, Furuhashi T, Ishiura M, Nakatani F. Nursing practice for children in need of pediatric palliative care and end-of-life care in Japan: A nation-wide survey. 14th Asia Pacific Hospice and Palliative Care Conference; 20211113-14; Web.

吾妻陽子, 小原未央, 安保淳子, 盛重泉, 森本松子, 加藤郁子. 看護だからこそできる摂食障害患者への支援とは 食事の見守りから始める看護. 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会. 20210605. Web(山形). 日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集. 31:60.

関亦明子, 牧野貴大, 関亦正幸. マウス唾液腺上皮細胞の無血清培地による長期継代培養の試み. 第 93 回日本組織培養学会; 20210902-03; 広島. 組織培養研究. 39(1):98.

牧野貴大, 関亦明子, 関亦正幸. 唾液分泌障害予防ケア開発にむけたマウス耳下腺の長期体外培養と分化状態の観察. 第 9 回看護理工学会学術集会; 20211022-23; Web.

〔その他〕

村松真実, 笠谷美保, 中信利恵子, 風間郁子, 菅原よしえ, 今津陽子, 山田希, 岸田さな江, 岩永和代, 三浦浅子, 菅野久美, 天野薫, 加賀美千津, 佐藤大介, 村上富由子. 避難所生活を送るがん患者に必要な支援を考える ～伝えていますか? 治療継続中の患者が避難先でできるセルフケアと感染対策～. 第 35 回日本がん看護学会学術集会; 20210227-0430; Web.

基礎看護学部門

論 文

〔原 著〕

山崎久美子, 丸山育子, 高瀬佳苗. 福島県内病院における看護業務の看護補助者・他職種への委譲状況と看護師の認識との関連. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:43-52.

研究発表等

〔研究発表〕

Kuroda R, Tokumoto H. Lesson study for nursing teachers educational ability that can be acquired by studying educational cases. 7th Edition of Virtual Conference on Nursing Education and Practice; 20210322-23; Web.

Nagoya Y, Matsuoka M, Takenouchi N, Hirata M, Arita N, Kawakatsu K, Furuhashi T, Ishiura M, Nakatani F. Nursing practice for children in need of pediatric palliative care and end-of-life care in Japan: A nation-wide survey. 14th Asia Pacific Hospice and Palliative Care Conference; 20211113-14; Web.

佐藤博子, 後藤あや, 村上道夫, 川端康浩. 開発した「保護者用乳幼児スキンチェックツール」の紹介. 第 49 回福島県保健衛生学会; 20210831; 福島.

丸山育子, 林紋美, 齋藤史子, 小田真由美. 2 型糖尿病患者の信頼のあり様を分類する尺度の信頼性と妥当性の検討. 第 26 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会; 20210918-19; Web. 日本糖尿病教育・看護学会誌 25(特別号):90.

林紋美. エンパワーメントの関わりによる 2 型糖尿病患者の行動変化 A 氏との約 9 年間における看護面談から. 第 26 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会; 20210918-19; Web. 日本糖尿病教育・看護学会誌. 25(特別号):109.

高瀬佳苗, 鈴木学爾, 川島理恵. 福島第一原子力発電所事故により全村避難した自治体への長期支援を行う保健師の特徴. 第 41 回日本看護科学学会学術集会; 202101119-1228; Web. 講演集. 482.

〔その他〕

黒田るみ. 新型コロナウイルス感染症が“家族の絆”に与える影響について—看護学の立場から考える—. 第 27 回心身健康アドバイザー講習会; 20210221; Web.

成人・老年看護学部門

論 文

〔原 著〕

Satoh M, Sato N. Relationship of attitudes toward uncertainty and preventive health behaviors with breast cancer screening participation. BMC Women's Health. 202104; 21(2): <https://doi.org/10.1186/s12905-021-01317-1>.

Minami R, Sato N, Motoi F, Sato F, Unno M. Factors Associated with Fatigue 3 Months After Pancreatectomy. Pancreas. 202107; 50(6):895-903.

Takahashi C, Sato F, Sato N, Yoshida S, Shimoyama M, Inoue M, Tomizawa A. Quality of life concepts important to family caregivers of advanced cancer patients undergoing treatment in Japan. 家族看護学研究. 202103; 26(1-2):105-118.

吉田詩織, 佐藤富美子, 高橋千賀子, 井上水絵, 富澤あゆみ. 在宅進行がん患者のがん疼痛緩和に向けたオピオイド服薬セルフマネジメントの試み. 日本がん看護学会誌. 202109; 35:254-260.

霜山真, 佐藤富美子, 佐藤菜保子. 在宅非侵襲的陽圧換気療法を受けている慢性呼吸不全患者の急性増悪とセルフケア能力の関連. 日本クリティカルケア看護学会誌. 202103; 17:21-30.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育て研究の動向 1994 年から 2018 年に報告された文

献レビュー. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:1-8.

齋藤史子, 大崎瑞恵, 青柳暁美, 草野郁子, 伊藤千秋, 神田優貴. A 大学附属病院救命救急センターにおける心不全患者の心臓リハビリテーションの実施状況. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:35-42.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをする祖父母が認識している日常生活の変化. 母性衛生. 202104; 62(1):52-59.

杉本幸子, 大原宏司, 眞島崇. 看護職と薬局薬剤師の連携の実際と看護職への要望: 薬局薬剤師へのアンケート調査. 薬学雑誌. 202112; 141(12):1373-1387.

〔総説等〕

尾辻美沙, 佐藤菜保子. 普段聞く音楽の精神的健康への影響. 精神科 PSYCHIATRY. 202112; 39(6):670-677.

研究発表等

〔研究発表〕

Minami R, Sato N, Motoi F, Sato F, Unno M. Factors Associated with Fatigue 3 Months After Pancreatectomy. American Pancreatic Association 2021 Annual Meeting; 20211103-06; Miami, USA/Web.

小池朝子, 菅野久美. 生物学的製剤を使用している女性関節リウマチ患者の就労継続に影響する要因. 第15回日本慢性看護学会学術集会; 20210828-0927; Web. 日本慢性看護学会誌. 15(Suppl.):49.

鹿俣律子, 高橋香子, 坂本祐子. 避難指示が解除された地域に暮らす高齢者が肯定的感情を抱く日常生活での経験. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211204-05; Web. 講演集. 429.

齋藤史子, 鄭佳紅, 坂本祐子, 猪俣利恵. 高齢糖尿病患者への外来看護実践の過程とその結果. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211204-05; Web. 講演集. 386.

照井みのり, 佐藤菜保子. 子育て中の乳がん患者の不安および抑うつに影響する要因の検討. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211204-05; Web. 講演集. 155.

片桐和子, 麻原きよみ. 造血器腫瘍患者が感染防御をしながら治療継続する生活に関するマイクロ・エスノグラフィ. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211205; Web. 講演集. 225-226.

〔その他〕

村松真実, 笠谷美保, 中信利恵子, 風間郁子, 菅原よしえ, 今津陽子, 山田希, 岸田さな江, 岩永和代, 三浦浅子, 菅野久美, 天野薫, 加賀美千津, 佐藤大介, 村上富由子. 避難所生活を送るがん患者に必要な支援を考える ～伝えていませんか? 治療継続中の患者が避難先でできるセルフケアと感染対策～. 第35回日本がん看護学会学術集会; 20210227-0430; Web.

風間郁子, 波多江優, シュワルツ史子, 会則・渉外委員会(狩野太郎, 菅野久美, 酒井禎子). ナーシングサイエンスカフェ 2021/中高校生向けセミナー. 第 35 回日本がん看護学会学術集会; 20210227-0430; Web.

小児・精神看護学部門

論文

〔原著〕

佐藤利憲. 【東日本大震災 医療・看護の 10 年 次世代を担う看護職へ】(3 章) 報告 被災地における中長期の取り組み 福島県 喪失を体験した子どもへの支援. 看護. 202103; 73(4):127-132.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育て研究の動向 1994 年から 2018 年に報告された文献レビュー. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:1-8.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをする祖父母が認識している日常生活の変化. 母性衛生. 202104; 62(1):52-59.

研究発表等

〔研究発表〕

大川貴子, 安保寛明, 田村達弥, 吾妻陽子, 三澤文紀. リフレクティング面接の実践者を育成する教育プログラム参加者の体験. 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会; 20210605; Web(山形). 日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集. 31:53.

吾妻陽子, 小原未央, 安保淳子, 盛重泉, 森本松子, 加藤郁子. 看護だからこそできる摂食障害患者への支援とは 食事の見守りから始める看護. 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会. 20210605; Web(山形). 日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集. 31:60.

佐藤利憲, 佐々木竹美, 高山絵美. 死別体験をした子どもへの支援 こころに折り合いをつけていくプロセスをどのように見守り、支えていくのか. 日本精神保健看護学会第 31 回学術集会; 20210605. Web(山形). 日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集. 31:157.

佐藤利憲. ペアレントトレーニングの手法を応用した看護師の支援技術を開発するための基礎的検討. 第 52 回(2021 年度) 日本看護学会学術集会; 20210928-29; Web. 抄録集. 244.

大川貴子, 三澤文紀. 精神障害者家族に対するリフレクティング面接の実施を目指した取り組み 6ヶ月間の研修に参加した専門職のインタビュー分析. 第52回(2021年度)日本看護学会学術集会; 20210928-29; Web.

鈴木学爾, 金澤久美, 白土朝子, 和田久美子. NICUでの家族との関わりで看護師が抱く困難感—NICU経験2～3年の看護師のインタビューから—. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211119-1228; Web. 講演集. 350.

高瀬佳苗, 鈴木学爾, 川島理恵. 福島第一原子力発電所事故により全村避難した自治体への長期支援を行う保健師の特徴. 第41回日本看護科学学会学術集会; 202101119-1228; Web. 講演集. 482.

大川貴子, 中山洋子. 東日本大震災による精神科医療の崩壊とシステムの再構築: 「語らい」による記述研究. 第41回日本看護科学学会学術集会; 202101119-1228; Web. 講演集. 486-487.

廣田朋子, グレグ美鈴, 大熊恵子, 麻原きよみ, 山本則子, 太田喜久子, 大川貴子, 萱間真美. 看護系大学院における質的研究方法を用いた学位論文の指導プロセスの実際. 第31回日本看護科学学会; 20211202-03; 高知.

地域・公衆衛生看護学部門

論文

〔原著〕

Marutani M, Harada N, Takase K, Okuda H, Anzai Y. Culturally sensitive disaster nursing by public health nurse in Japan. Public Health Nursing. 202107; 38(6):984-996.

阿久津和子, 後藤あや, 横山浩之. 3歳6ヵ月児健康診査の保健師確認項目と5歳児相談結果の関連. 小児保健研究. 202103; 80(2):172-178.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育て研究の動向 1994年から2018年に報告された文献レビュー. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:1-8.

高瀬佳苗, 小川ひとみ, 三浦浅子. 病棟看護師が終末期がん患者の在宅療養に向けた支援で抱く思い. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:19-25.

山崎久美子, 丸山育子, 高瀬佳苗. 福島県内病院における看護業務の看護補助者・他職種への委譲状況と看護師の認識との関連. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:43-52.

秦暁子, 高橋香子, 坂本祐子, 和田久美子. 乳幼児期の孫育てをする祖父母が認識している日常生活の変化. 母性衛生. 202104; 62(1):52-59.

研究発表等

〔研究発表〕

田中啓子, 高瀬佳苗. 一般病棟の看護師が人生の最終段階にあるがん患者の死を静観しえない様相. 第26回日本緩和医療学会学術大会; 20210618-19; 横浜/Web. Palliative Care Research. 16(Suppl.):S325.

丸谷美紀, 二見茜, 高瀬佳苗, 石川志麻. 地域包括ケアシステムの質保証に向けた外国人介護職の文化に即した健康支援. 第24回日本地域看護学会学術集会; 20210827; Web.

鹿俣律子, 高橋香子, 坂本祐子. 避難指示が解除された地域に暮らす高齢者が肯定的感情を抱く日常生活での経験. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20211119-1228; Web.

高瀬佳苗, 鈴木学爾, 川島理恵. 福島第一原子力発電所事故により全村避難した自治体への長期支援を行う保健師の特徴. 第41回日本看護科学学会学術集会; 20210119-1228; Web. 講演集. 482.

秦暁子, 各務竹康, 桜沢美土里, 宗像ゆかり, 多治見公高, 高橋香子, 福島哲仁. 学校教員における生活習慣の改善意欲の推移. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web. 抄録集. 365.

綾部明江, 野尻由香, 叶多博美, 長澤ゆかり, 高瀬佳苗, 大宮朋子, 鈴木悠圭, 斉藤瑛梨, 鶴見三代子, 山口忍. 保健師学生の卒業時における健康相談技術の習得状況. 日本公衆衛生学会第80回学術集会; 20211221-23; 東京. 抄録集. 463.

母性看護・助産学部門

論文

〔原著〕

Iwasa H, Yoshida Y, Ishii K, Yasumura S. Factors associated with cognitive failure among mothers involved in child care. Cogent Psychology. 202101; 8(1): doi:10.1080/23311908.2021.1896119.

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and Evaluation of Life-planning Lecture to Enhance Perspective-Taking among High School Students: A School-based Nonrandomized Waitlist Intervention Study in Japan. JMA Journal. 202110; 4(4):339-346.

〔研究報告書〕

石井佳世子, 渡邊一代, 後藤あや. 看護大学生への夫婦間の共感性を高める育児支援プログラムの模擬体験実施とその効果. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:27-33.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の4ヵ月児健康診査時点における特徴. 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

理学療法学科

論文

〔原 著〕

Morishita S, Wakasugi T, Kaida K, Itani Y, Ikegame K, Ogawa H, Fujimori Y, Domen K. Relationship Between Corticosteroid Dose and Muscle Oxygen Consumption in Recipients of Hematopoietic Stem-Cell Transplantation. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:87-93.

Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Relationship Between the Borg Scale Rating of Perceived Exertion and Leg-Muscle Deoxygenation During Incremental Exercise in Healthy Adults. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:95-99.

Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes in the Laterality of Oxygenation in the Prefrontal Cortex and Premotor Area During a 20-Min Moderate-Intensity Cycling Exercise. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:113-117.

Kojima S, Morishita S, Hotta K, Qin W, Kato T, Oyama K, Tsubaki A. Relationship Between Decrease of Oxygenation During Incremental Exercise and Partial Pressure End-Tidal Carbon Dioxide: Near-Infrared Spectroscopy Vector Analysis. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:119-124.

Hashimoto K, Hotta K, Morishita S, Kanai R, Takahashi H, Tsubaki A. Cerebral Oxygenation Dynamics During Incremental Exercise: Comparison of Arm Cranking and Leg Cycling. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:125-130.

Qin W, Kojima S, Morishita S, Hotta K, Oyama K, Tsubaki A. Effects of 20-Minute Intensive Exercise on Subjects with Different Working Memory Bases. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:289-294.

Sato D, Morishita S, Hotta K, Ito Y, Shirayama A, Kojima S, Qin W, Tsubaki A. Supine Cycling Exercise Enhances Cerebral Oxygenation of Motor-Related Areas in Healthy Male Volunteers. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202105; 1269:295-300.

Kamide N, Sato H, Sakamoto M, Shiba Y. The effect of the interaction between fall-related self-efficacy and gait function on the occurrence of falls in community-dwelling older people. *Aging Clinical and Experimental Research*. 202110; 33(10):2715-2722.

Fu JB, Ng AH, Molinares DM, Pingenot EA, Morishita S, Silver JK, Bruera E. Rehabilitation Utilization by Cancer Patients with Pathology-Confirmed Leptomenigeal Disease Receiving Intrathecal Chemotherapy. *American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation*. 202101; 100(1):100-104.

Qin W, Kojima S, Yamazaki Y, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tsubaki A. Relationship between the Difference in Oxygenated Hemoglobin Concentration Changes in the Left and Right Prefrontal Cortex and Cognitive Function during Moderate-Intensity Aerobic Exercise. *Applied Sciences*. 202102; 11(4):1643.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Fukase Y, Kamide N, Murayama N, Kawamura A, Ichikura K, Shiba Y, Tagaya H. The influence of ageism on stereotypical attitudes among allied health students in Japan: a group comparison design. *BMC Medical Education*. 202101; 21(1):27.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Abe H, Nishiyama K, Yamamoto Y, Okanuka T, Yonezawa Y, Matsumoto K. Impact of Alternate Gait Training Using Knee-Ankle-Foot Orthoses with Oil Damper Ankle Hinge in Patients with Subacute Severe Hemiplegia. *Brain Sciences*. 202110; 11(11):1430.

Takamura Y, Fujii S, Ohmatsu S, Ikuno K, Tanaka K, Manji A, Abe H, Morioka S, Kawashima N. Interaction between spatial neglect and attention deficit in patients with right hemisphere damage. *Cortex*. 202108; 141:331-346.

Watanabe K, Otani K, Tominaga R, Kokubun Y, Sekiguchi M, Fukuma S, Kamitani T, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Sagittal imbalance and symptoms of depression in adults: Locomotive Syndrome and Health Outcome in the Aizu Cohort Study (LOHAS). *European Spine Journal*. 202109; 30(9):2450-2456.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kato K, Otoshi K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kobayashi H, Handa J, Konno S. Abdominal oblique muscle injury at its junction with the thoracolumbar fascia in a high school baseball player presenting with unilateral low back pain. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):49-52.

Ohtsu H, Togashi R, Hiramuki M, Yoshida S, Minamisawa T, Kanzaki H. How does wearing slippers affect the movement strategy while crossing over an obstacle? *Gait & Posture*. 202105; 86:17-21.

Ando M, Kamide N, Shiba Y, Sakamoto M, Sato H, Murakami T, Watanabe S. Association Between Physical Function and Neighborhood Environment in Healthy, Older Adults: An Exploratory Study Using Regression Tree Analysis. *Gerontology and Geriatric Medicine*. 202110; 7:23337214211052403.

Kobayashi K, Watanabe K, Kato K, Hakozaki M, Handa J, Kobayashi H, Nikaido T, Otani K, Yabuki S, Konno S. Acute cauda equina syndrome due to lumbar spinal stenosis caused by prolonged supine position during cardiac catheterization: a case report. *International Journal of Case Reports*. 2021; 5:209.

Inagaki Y, Sato R, Uchiyama T, Kojima S, Morishita S, Qin W, Tsubaki A. Sex Differences in the Oxygenation of the Left and Right Prefrontal Cortex during Moderate-Intensity Exercise. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202105; 18(10):5212.

Eguchi E, Ohira T, Nakano H, Hayashi F, Okazaki K, Harigane M, Funakubo N, Takahashi A, Takase K, Maeda M, Yasumura S, Yabe H, Kamiya K; on Behalf of The Fukushima Health Management Survey Group. Association between Laughter and Lifestyle Diseases after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12699.

Yokozuka M, Sato S. Differences in toe flexor strength and foot morphology between wheelchair dependent and ambulant older people in long-term care: a cross-sectional study. *Journal of Foot and Ankle Research*. 202103; 14(1):17.

Shibata K, Wakasa M, Saito A, Kimoto M, Takahashi Y, Sato H, Kamada T, Shinde T, Takahashi H, Kimura Y, Okada K. Hyperechoic and Low Morphological Changes in the Prefemoral Fat Pad in Individuals with Knee Osteoarthritis Based on Ultrasonographic Findings. *Journal of Medical Ultrasound*. 202101; 29(2):105-110.

Kato K, Sumitani M, Sekiguchi M, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a severity discrimination scale based on physical quality of life for patients with chronic pain. *Journal of Orthopaedic Science*. 202111; 26(6):1124-1129.

Takaki K, Nitta O, Kusumoto Y. Factors influencing the participation of children with disabilities in the community. *Journal of Physical Therapy Science*. 202103; 33(3):229-235.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Hotta K, Morishita S, Tsubaki A. Related Factors and Clinical Outcomes of Osteosarcopenia: A Narrative Review. *Nutrients*. 202101; 13(2):291.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Usefulness of the Brief Scale for psychiatric problems in orthopaedic patients (BS-POP) for predicting poor outcome in patients undergoing lumbar decompression surgery. *Pain Research and Management*. 202112; 2021:2589865.

Nashimoto S, Morishita S, Iida S, Hotta K, Tsubaki A. Relationship between the face scale for rating of perceived exertion and physiological parameters in older adults and patients with atrial fibrillation. *Physiological Reports*. 202103; 9(5):e14759.

Saito H, Watanabe Y, Kutsuna T, Futohashi T, Kusumoto Y, Chiba H, Kubo M, Takasaki H. Spinal movement variability associated with low back pain: A scoping review. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0252141.

Kusumoto Y, Takaki K, Matsuda T, Nitta O. Relevant factors of self-care in children and adolescents with spastic cerebral palsy. *PLOS ONE*. 202107; 16(7):e0254899.

Iwakura M, Wakasa M, Okura K, Kawagoshi A, Sugawara K, Takahashi H, Shioya T. Functionally Relevant Threshold of Quadriceps Muscle Strength in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202102; 6:20210008.

Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kai T, Yamamoto Y, Morishita S, Furukawa M, Shiga Y, Kimura H, Fukatsu M. Weight Loss Intervention before Cord Blood Transplantation in an Obese Patient with Acute Myeloid Leukemia: A Case Study. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202103; 6:20210018.

Iwakura M, Wakasa M, Okura K, Kawagoshi A, Sugawara K, Takahashi H, Shioya T. Functionally relevant

threshold of inspiratory muscle strength in patients with chronic obstructive pulmonary disease. *Respiratory Medicine*. 202111; 188:106625.

Nakano J, Fukushima T, Tanaka T, Fu JB, Morishita S. Physical function predicts mortality in patients with cancer: a systematic review and meta-analysis of observational studies. *Supportive Care in Cancer*. 202110; 29(10):5623-5634.

Wakasugi T, Morishita S, Kaida K, Ikegame K, Uchiyama Y, Domen K. Muscle oxygen extraction and lung function are related to exercise tolerance after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Supportive Care in Cancer*. 202110; 29(10):6039-6048.

Takahashi T, Nagase T, Akatsuka S, Nakanowatari T, Ohtsu H, Yoshida S, Makabe H, Ihashi K, Kanzaki H. Effects of restriction of forefoot rocker functions by immobilisation of metatarsophalangeal joints on kinematics and kinetics during walking. *Foot*. 202112; 49:101743.

井口大平, 柴喜崇, 大沼剛. 訪問リハビリテーション利用者を在宅介護する主介護者の介護負担感変化に影響を与える要因 1年間の縦断研究. *応用老年学*. 202108; 15(1):38-47.

本幸枝, 高橋直人, 谷元真実, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 慢性疼痛治療における看護師の動機づけ面接アプローチ: 面談プロセスを意識したチームでの取り組み. *日本運動器疼痛学会誌*. 202106; 13(2):86-93.

高橋仁美, 塩谷隆信. 健康寿命の延伸を目指して 歴史からみた呼吸リハビリテーション. *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌*. 202112; 30(1):8-12.

川越厚良, 柴田和幸, 渡邊暢, 佐川亮一, 原田郁, 菅原慶勇, 高橋仁美, 長谷川傑, 円山啓司, 塩谷隆信. 病院における呼吸リハビリテーション 健康寿命延伸のための取り組み. *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌*. 202112; 30(1):13-19.

川越厚良, 古川大, 岩倉正浩, 大倉和貴, 菅原慶勇, 高橋仁美, 塩谷隆信. 慢性閉塞性肺疾患患者における身体活動量と吸気筋トレーニングの関連性と可能性. *日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌*. 202112; 30(1):59-64.

楠本泰士, 渡部祥輝, 木村優希, 土屋香子, 酒井弘美. 健康成人における上肢トレーニング機器の設置位置の違いによる各関節運動の特徴. *日本福祉工学会誌*. 202105; 23(1):42-46.

楠本泰士, 高木健志, 松田雅弘, 新田収. 高校バスケットボール競技者におけるトレーニング前後の大腿直筋の筋収縮特性の変化と特徴. *日本保健科学学会誌*. 202106; 24(1):25-31.

高橋勝, 大井直往, 大内一夫, 佐藤真理, 猪狩貴弘, 矢吹省司. 鏡視肩板修復術後患者に対する Mirror therapy の効果. *福島医学雑誌*. 202104; 71(1):11-18.

二瓶健司, 高橋直人, 笠原諭, 荒瀬洋子, 森山由紀, 佐藤恵美, 桐生亜紀, 岩崎稔, 春山祐樹, 矢吹省司. 星総合病院慢性疼痛センターにおける就学的痛み治療—多職種連携における認知行動療法の意義—. *慢性疼痛*. 202112; 40(1):22-28.

高橋俊章, 加藤沙織, 渡部美穂, 永瀬外希子, 神先秀人. 脳性麻痺痙直型両麻痺児者のリーチング動作の特性. 理学療法科学. 202106; 36(3):307-311.

前田拓也, 上出直人, 戸崎精, 柴喜崇, 坂本美喜. 日本人地域在住高齢者の呼吸機能は筋力、移動能力、認知機能と関連する. 理学療法科学. 202102; 48(1):29-36.

楠本泰士, 吉田真一, 渡部祥輝, 土屋順子, 忽那俊樹, 太箸俊宏. 理学療法学生の実習における実習形態の違いが心理状態に及ぼす影響. リハビリテーション教育研究. 202103; (27):44-49.

深瀬裕子, 上出直人, 村上健, 市倉加奈子, 村瀬華子, 坂本美喜, 柴喜崇, 田ヶ谷浩邦. 地域在住高齢者の抑うつと客観的および主観的評価による口腔機能との関連. 老年社会科学. 202110; 43(3):252-261.

高橋俊章, 白田奈菜, 永瀬外希子, 赤塚清矢, 神先秀人. 坐骨がロープを乗り越える運動が座位の定位と安定性にもたらす影響—ロープ使用の有無による違い—. 山形保健医療研究. 202103; 24:47-53.

〔総説等〕

Abe H, Kadowaki K, Tsujimoto N, Okanuka T. A Narrative Review of Alternate Gait Training Using Knee-ankle-foot Orthosis in Stroke Patients with Severe Hemiparesis. Physical therapy research. 202112; 24(3):195-203.

阿部浩明. 【リハビリテーション医学における歩行分析とその臨床応用】歩行分析はどのように役立つか—理学療法士の観点から—脳卒中. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202102; 58(2):166-171.

矢吹省司. 難治性慢性疼痛患者のリハビリテーション診療. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202102; 58(2):186-191.

稲垣武, 高橋仁美. 【内部障害のリハビリテーション医学・医療の進歩】呼吸リハビリテーションの進歩. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202110; 58(10):1106-1112.

矢吹省司. 慢性疼痛の治療戦略. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 202111; 58(11):1250-1255.

大倉和貴, 高橋仁美. リハビリテーション職種が知っておくべき臨床統計—基礎から最新の話題まで—傾向スコア (propensity score) を用いた解析. Journal of Clinical Rehabilitation. 202109; 30(10):1071-1075.

吉田勝浩, 矢吹省司. 膝関節疾患に対する運動療法—最新の知見—. 整形・災害外科. 202104; 64(4):413-417.

矢吹省司. 新ガイドラインの意義. ペインクリニック. 202108; 42(8):937-939.

高橋仁美, 本間光信, 塩谷隆信. フレイルとサルコペニアを合併する COPD 患者に対する呼吸リハビリテーション. 理学療法とちぎ. 202103; 10(1):11-19.

〔その他〕

坂本美喜, 上出直人, 佐藤春彦, 柴喜崇. 地域在住女性高齢者における四肢骨格筋量および体脂肪の変化と運動機能との関連 2年間の縦断研究. *Health and Behavior Sciences*. 202103; 19(2):76.

著 書・訳 書

横塚美恵子. 3-4-1 超短波. In: 細田多穂 監修. 物理療法学テキスト 改訂第3版 (シンプル理学療法学シリーズ). 東京: 南江堂; 202101. p.228-235.

塩谷隆信, 高橋仁美 (編集). 呼吸ケア 病期別呼吸リハビリテーションとケア・サポートの技術 (リハ実践テクニック) 第4版. 東京: メジカルビュー社. 202103.

稲垣武, 高橋仁美, 塩谷隆信, 他. I 基礎編 各種疾患と呼吸器リハビリテーションの概要. In: 塩谷隆信, 高橋仁美 編集. 呼吸ケア 病期別呼吸リハビリテーションとケア・サポートの技術 (リハ実践テクニック) 第4版. 東京: メジカルビュー社; 202103. p.76-94.

柴喜崇. 第2章 老化. In: 阿部勉 監修. 在宅リハビリテーションガイドブック 導入・基礎編. 広島: RELIEF; 202103. p.28-51.

楠本泰士. 小児領域の地域理学療法. In: 牧迫飛雄馬, 吉松竜貴 編著. 地域理学療法学 (最新理学療法学講座). 東京: 医歯薬出版; 202103. p.181-201.

高橋仁美, 加賀谷斉 (編集). 今日から使えるリハビリテーションのための統計学 第2版. 東京: 医歯薬出版. 202104.

高橋仁美. 第2章 解析方法のフローチャート. In: 高橋仁美, 加賀谷斉 編. 今日から使えるリハビリテーションのための統計学 第2版. 東京: 医歯薬出版; 202104. p.24-36.

高橋仁美. 第4章 疫学・EBMのためのキーワード. In: 高橋仁美, 加賀谷斉 編. 今日から使えるリハビリテーションのための統計学 第2版. 東京: 医歯薬出版; 202104. p.84-92.

上月正博, 高橋仁美 (編集). リハビリテーション医学 (Crosslink basic リハビリテーションテキスト). 東京: メジカルビュー社. 202109.

高橋仁美. 第4章 機能障害とリハビリテーション治療 1 理学療法. In: 上月正博, 高橋仁美 編. リハビリテーション医学 (Crosslink basic リハビリテーションテキスト). 東京: メジカルビュー社; 202109. p.96-103.

高橋仁美. 第4章 機能障害とリハビリテーション治療 6-5 呼吸器リハビリテーション. In: 上月正博, 高橋仁美 編. リハビリテーション医学 (Crosslink basic リハビリテーションテキスト). 東京: メジカルビュー社; 202109. p.167-174.

柴喜崇. 第3章 神経難病理学療法ガイドライン. In: 日本理学療法士協会 監修. 理学療法ガイドライン 第2版. 東京: 医学書院; 202110. p.116-127.

楠本泰士. 第2章 11. 発達の評価 . In: 浅野大喜 編. 人間発達学 (Crosslink basic リハビリテーションテキスト) . 東京: メジカルビュー社; 202111. p.244-262.

柴喜崇, 下田信明 編集. ADL 第2版. 東京: 羊土社; 202111.

研究発表等

〔研究発表〕

Takahashi N, Takatsuki K, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary inpatient pain management program for patients with chronic musculoskeletal pain in Japan: a cohort study. IASP 2021 Virtual World Congress on pain; 20210609-18; Web.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

川越厚良, 岩倉正浩, 古川大, 解良武士, 河合恒, 大淵修一, 菅原慶勇, 高橋仁美, 塩谷隆信. Sarcopeniaを有する慢性呼吸器疾患患者の臨床的特徴と関連因子の検討. 第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20210319-20; 京都/Web. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 30(Suppl):165s.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾正則, 岡崎可奈子, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災後の高 LDL コレステロール血症の発症と心理社会的要因との関連: 福島県県民健康調査. 第57回日本循環器病予防学会学術集会; 20210605-06; Web.

楠本泰士, 網本さつき, 藤井香菜子. 運動習慣のある歩行可能な痙性麻痺児者の呼吸機能と身体機能の特徴—Pilot study—. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20210610; 京都/Web.

楠本泰士, 新田収, 高木健志, 松田雅弘. 知的障害特別支援学校高等部生徒における上肢協調運動の特徴と動的バランスとの関連. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20210610; 京都/Web.

古川大, 岩倉正浩, 川越厚良, 大倉和貴, 照井佳乃, 菅原慶勇, 高橋仁美, 佐竹将宏, 塩谷隆信. 慢性閉塞性肺疾患患者における動的肺過膨張の新しい指標と身体活動との関係. 第7回日本呼吸理学療法学会学術大会; 20210926; 大阪/Web. 呼吸理学療法. 7th.Meeting:37.

高木健志, 新田収, 楠本泰士. 発達障害を抱える中学・高校生の地域における社会参加の特徴—健常学生との比較—. 第31回日本保健科学学会学術集会; 20211010; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 慢性疼痛センターにおける集学的痛み治療の効果: 入院を含む群と外来群との比較. 第29回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

二階堂琢也, 矢吹省司, 大谷晃司, 渡邊和之, 加藤鉄志, 小林洋, 小林良浩, 紺野慎一. 難治性慢性腰痛に対

するリエゾンアプローチ：多面的評価からみた慢性一次性筋骨格痛と慢性術後痛の比較. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

松平浩, 井上真輔, 笠原諭, 加藤実, 高橋直人, 高橋紀代, 鉄永倫子, 唐司寿一, 二瓶健司, 福井聖, 岡敬之. 休職中の難治性慢性腰痛に対する集学的アプローチ：全国で運用可能なフラッグシステムの構築を目指して. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; Web.

伊藤惟, 楠本泰士, 岩田祐樹. 電子ゴニオメーターの有用性について～動的場面での可動域変化の考察とともに～. 第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会; 20211024; Web.

星真行, 荒木訓, 高橋寿和, 鈴木崇広, 渡部美聡, 渡部崇久, 相澤裕矢, 難波樹央, 小下弘嗣, 曽根稔雅. 二次予防対象高齢者における Motor Fitness Scale と関連する運動機能因子の検討 (第 2 報). 第 8 回日本予防理学療法学会学術大会／第 4 回日本産業理学療法研究会学術大会／第 5 回日本栄養・嚥下理学療法研究会学術大会; 20211113; Web. プログラム・抄録集. 69.

佐藤恵美, 荒瀬洋子, 笠原諭, 高橋直人, 矢吹省司. 家族からの批判により自己主張を回避し慢性疼痛を訴える高校生への心理療法の経験：1 例報告. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. 身体活動が異なる慢性疼痛患者の治療効果の相違. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

谷本真実, 本幸枝, 笠原諭, 荒瀬洋子, 矢吹省司. 慢性疼痛センターでの集学的教育入院型プログラムにおける Multidimensional Pain Inventory による分類別の治療効果について. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

二瓶健司, 高橋直人, 矢吹省司. 疼痛による機能性側弯に対し 3D バックスキャナーでフォローした症例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 内服のタイミングの変更により日中の活動量が増加し再就職に繋がった一例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

谷津田尊寛, 高橋直人, 二瓶健司, 春山祐樹, 松本大典, 本幸枝, 矢吹省司. 慢性疼痛センターで就労支援を行った慢性広範囲一次性疼痛の 1 例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

阿部広和, 小柳翔太郎, 楠本泰士, 樋室伸顕. 脳性麻痺児における日本語版 Edinburgh Visual Gait Score (観察的歩行評価) の信頼性・妥当性. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

加藤愛理, 楠本泰士, 岩瀬大, 脇遼太郎. 整形外科治療後に装具療法を行い歩容の変化がみられた Angelman 症候群の一症例. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

楠本泰士, 岩瀬大, 目時希恵, 高木健志. 重度脳性麻痺児における股関節観血的整復術、大腿骨骨切り術後 5 年間の股関節脱臼の変化. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

楠本泰士, 竹田智之, 高橋恵里, 高木健志, 松田雅弘. 知的障害特別支援学校生徒における体組成データの特

徴. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

楠本泰士, 中島卓也, 加藤愛理, 高木健志, 松田雅弘. 発達支援の必要な児における保護者の特性不安と家族支援状況の関係. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

佐々木優太, 中島卓也, 楠本泰士. 療育施設利用状況と乳幼児発達スケール (KIDS) との関係についての検討. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

高木健志, 新田収, 楠本泰士. 地域における社会参加と運動機能制限の関係ー健康児と障がいを抱える児童の比較ー. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

高橋克弥, 楠本泰士, 高木健志. 筋骨格モデルでの筋腱長及び筋腱伸長速度の推定における順動力学的な簡易的方法の検討ーpilot studyー. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

宮本清隆, 楠本泰士, 山際陽子, 小野知子, 川田恵祐. 集中的な電動車いす操作練習により心身機能の向上した 14 歳の重症心身障害児の 1 症例. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

脇達太郎, 楠本泰士, 高橋克弥, 加藤愛理. 脳性麻痺患者における整形外科的治療前後の Edinburgh Visual Gait Score の反応性. 第 8 回日本小児理学療法学会; 20211127-28; Web.

高橋直人, 高槻梢, 笠原諭, 矢吹省司. ICD-11 分類別でみた運動器慢性痛に対する集学的入院プログラムの治療効果. 第 43 回日本疼痛学会; 20211210-11; Web.

板垣莉央, 阿部浩明, 大木宗人, 上松野真. 脳卒中後の pusher behavior の初期重症度を加味した改善効率に関連する因子の検討. 第 19 回日本神経理学療法学会学術大会; 20211218; Web.

栗田洋平, 遠原聖矢, 上野信吾, 村野信之, 長友典子, 阿部浩明. ウェルウォークを用いた歩行練習は pusher 現象の早期改善に貢献できるか?ー他施設共同無作為割付試験ー 第 1 報一. 第 19 回日本神経理学療法学会学術大会; 20211218-19; Web.

高橋智佳, 佐藤亘, 梅木淳, 阿部浩明. 回復期リハ病棟入院中に長下肢装具を作製した患者の退院後の歩行自立度に関連する因子. 第 19 回日本神経理学療法学会学術大会; 20211218; Web.

岡崎可奈子, 平井裕之, 島袋充生, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の血糖コントロール状況と精神的健康との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

長尾匡則, 大平哲也, 岡崎可奈子, 林史和, 中野裕紀, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸齊, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

西間木ます子, 中野裕紀, 林史和, 舟久保徳美, 江口依里, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 大平哲也. 青年期の運動経験・その後の運動習慣の継続とフレイル予防との関連の研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

舟久保徳美, 岡崎可奈子, 江口依里, 西間木ます子, 林史和, 中野裕紀, 長尾匡則, 大平哲也. 福島県避難区域住民におけるオーラルフレイルと社会活動や幸福度との関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

高橋仁美, 塩谷隆信. 本邦における呼吸リハビリテーションの変遷と進化: 慢性呼吸器疾患. 第 30 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20210319-20; 京都/Web. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 30(Suppl).112s.

大倉和貴, 高橋仁美, 塩谷隆信. COPD を含む呼吸器疾患患者に呼吸筋トレーニングを行うか? Con の立場から. 第 30 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会; 20210319-20; 京都/Web. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌. 30(Suppl):124s.

金澤美香. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 栄養士の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

福地朋子, 高橋直人, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 薬剤師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

本幸枝, 高橋直人, 谷本真実, 恩田啓, 笠原諭, 矢吹省司. 「集学的治療と運動療法」慢性痛に対する集学的診療 看護師の役割. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

二瓶健司, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 谷本真実, 福地朋子, 荒瀬洋子, 佐藤恵美, 森山由紀, 金澤美香, 谷津田尊寛, 松本大典, 春山祐樹, 岩崎稔, 船尾亜里香, 富永桂子, 恩田啓, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 集学的治療現状と課題/システム作りと運営・経営 星総合病院慢性疼痛センターでの集学的痛み診療の現状と課題. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

阿部浩明. 理学療法士が脳画像を活用するために取り組むべきこととは—臨床と研究の発展に向けて—. 第 19 回日本神経理学療法学会学術大会; 20211218; Web.

〔特別講演〕

阿部浩明. 我々が取り組んできた急性期重度片麻痺例の歩行再建. 令和 2 年度第 1 回宮城県理学療法士会太白名取地区研修会; 20210109; Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺者の歩行再建を目指した早期歩行トレーニング～これまでの歩行トレーニングを振り返り、さらなる治療効果の向上を目指して～. リハオンデマンド主催 web セミナー; 20210121; Web.

阿部浩明. 注意障害・半側空間無視の画像評価. 第 23 回日本神経理学療法学会サテライトカンファレンス; 20210124; Web.

阿部浩明. 脳画像を用いた病態解釈. 理学療法士講習会; 20210213; Web.

阿部浩明. 歩行リハビリテーションの理論的背景と下肢装具を用いた急性期から取り組み. パシフィックサプライ Online セミナー; 20210220; Web.

阿部浩明. 脳卒中後の pusher 現象の基礎と臨床. リハオンデマンド主催セミナー; 20210224; Web.

阿部浩明. 下肢装具を用いた脳卒中重度片麻痺者の歩行再建. 三重県理学療法士会主催研修会; 20210508; Web.

阿部浩明. 脳卒中急性期における装具療法とそのエビデンス. Perceive 主催研修会; 20210725; Web.

阿部浩明. 脳画像に基づく病態解釈と理学療法への活用. 徳島県理学療法士会主催研修会; 20210821; Web.

阿部浩明. 下肢装具を用いた脳卒中者の歩行再建. 寿泉堂香久山病院院内研修; 20210826; 郡山.

阿部浩明. 脳画像を活用するための基礎知識と実際のみかた 1. これだけは知っておきたい脳解剖の基礎知識. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20210829; Web.

阿部浩明. 脳画像を活用するための基礎知識と実際のみかた 2. 脳画像の基礎知識・水平断面でみれる構造物の把握. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20210912; Web.

阿部浩明. 脳画像を活用するための基礎知識と実際のみかた 3. 様々な機能と関連する神経経路. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20210912; Web.

阿部浩明. 脳卒中急性期・早期の理学療法. 認定理学療法士必須研修会; 20210918; Web.

阿部浩明. 脳画像を活用するための基礎知識と実際のみかた 4. 実際の脳画像の活用. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20210919; Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺例の歩行再建（前編）. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20211002; Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺例の歩行再建（後編）. 動きと痛み Lab 主催研修会; 20211010; Web.

阿部浩明. 歩行能力と脳画像の関連性についての最新知見. 山口県理学療法士会主催研修会; 20211031; Web.

阿部浩明. 脳卒中重度片麻痺例の歩行再建. 滋賀県理学療法士会主催研修会; 20211127; Web.

〔その他〕

阿部浩明. 脳卒中後の半側空間無視～半側空間無視の無視を予防する～. 日本予防理学療法学会第6回サテライト集会; 20210703; 鶴岡.

楠本泰士. 子どもの運動器評価と研究法. 静岡県理学療法士会主催勉強会; 20210807; Web.

楠本泰士. 発達支援の中でなぜ評価が必要か? LITALICO 勉強会; 20210926; Web.

楠本泰士. 就職後の生活変化により体重増加した成人脳性麻痺に対する共有意思決定を意識した包括的な理学療法経過—Case study—. 福島県理学療法士会県北支部症例検討会; 20211018; Web.

楠本泰士. 子どものADL評価のゴールドスタンダード—PEDIの臨床応用と研究活用—. 第8回日本小児理学療法学会学術大会; 20211127-28; Web.

阿部浩明. 教育講演 歩行障害に関連する脳領域の画像形態. 第19回日本神経理学療法学会学術大会; 20211218-19; Web.

その他の業績・作品等

過年業績

高橋直人, 矢吹省司. 多職種連携集学的痛み治療—長引く痛みをよくするために—. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

春山祐樹, 高橋直人, 二瓶健司, 矢吹省司. 痛みを長引かせないカラダの動かし方について—理学療法士の立場から—. 日本いたみ財団 web アーカイブコンテンツ. 202012-.

作業療法学科

論文

〔原 著〕

Ohba M, Kobayashi R, Kirii K, Fujita K, Kanezawa C, Hayashi H, Kawakatsu S, Otani K, Kanoto M, Suzuki K. Comparison of Alzheimer's disease patients and healthy controls in the easy Z-score imaging system with differential image reconstruction methods using SPECT/CT: verification using normal database of our institution. Annals of Nuclear Medicine. 202103; 35(3):307-313.

Yamazaki T, Sugawara Y, Sone T, Tsuji I. Subgroup characteristics of the association between volunteering and the risk of functional disability among older Japanese people: The Tsurugaya project. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202109; 96:104465.

Takamura M, Sone T, Kawamura T, Suzuki R, Moriyama N, Yasumura S. A Cross-Sectional Study on the Characteristics of Physical Activity in Pre-Frail Older Adults. International Journal of Environmental Research and Public Health. 202111; 18(23):12328.

Sone T, Sugawara Y, Tanji F, Nakaya N, Tomita H, Tsuji I. The association between psychological distress and risk of incident functional disability in elderly survivors after the Great East Japan Earthquake: The mediating effect of lifestyle and bodily pain. *Journal of Affective Disorders*. 202112; 295:552-558.

Ito W, Komiyama T, Ohi T, Hiratsuka T, Matsuyama S, Sone T, Tsuji I, Watanabe M, Hattori Y. Relationship Between Oral Health and Fractures in Community-Dwelling Older Japanese Adults. *Journal of the American Medical Directors Association*. 202106; 22(6):1184-1189.e1.

Jinbo R, Fujita T, Kasahara R, Morishita S, Yamamoto Y, Jinbo K, Takano A, Kubota J, Takahashi S, Kimura H, Shiga Y, Furukawa M, Kai T. Physical therapy for severely impaired activities of daily living due to bone lesions in patients with multiple myeloma: A report of two cases. *Journal of Physical Therapy Science*. 202110; 33(10):795-800.

Fujita T, Yamamoto Y, Yamane K, Ohira Y, Otsuki K, Sone T, Iokawa K. Interactions of Cognitive and Physical Functions Associated with Toilet Independence in Stroke Patients. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 202104; 30(4):105641.

Kawakatsu S, Kobayashi R, Hayashi H, Morioka D, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Otani K. Clinicopathological heterogeneity of Alzheimer's disease with pure Alzheimer's disease pathology: Cases associated with dementia with Lewy bodies, very early-onset dementia, and primary progressive aphasia. *Neuropathology*. 202112; 41(6):427-449.

Kurita M, Fujita T, Kasahara R, Ohira Y, Otsuki K, Yamamoto Y. Cutoff value for a nutritional indicator related to gait independence in elderly fracture patients: a preliminary study. *Physical Therapy Research*. 202112; 25(1):26-30.

Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kai T, Yamamoto Y, Morishita S, Furukawa M, Shiga Y, Kimura H, Fukatsu M, Harada K, Kimura S, Ikezoe T. Weight loss intervention before cord blood transplantation in an obese patient with acute myeloid leukemia: A case study. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202103; 60:20210018.

Fujita T, Sone T, Yamamoto Y, Yamane K, Tsuchiya K, Ohira Y, Otsuki K, Iokawa K. Impact of Sensory Impairment on Improvement of Upper-limb Function in Patients under 75 Years of Age with Subacute Stroke: A Preliminary Study. *Progress in Rehabilitation Medicine*. 202111; 6:20210045.

Hayashi H, Kobayashi R, Kawakatsu S, Ohba M, Morioka D, Otani K. Comparison of the decreases in regional cerebral blood flow in the posterior cingulate cortex, precuneus, and parietal lobe between suspected non-Alzheimer's disease pathophysiology and Alzheimer's disease. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):716-721.

中岡和代, 立山清美, 倉澤茂樹, 丹葉寛之. 自閉スペクトラム症児の食行動質問紙 (Autism Spectrum Disorder-Mealtime Behavior Questionnaire:ASD-MBQ) の紹介. *大阪作業療法ジャーナル*. 202107; 35(1):48-50.

宮寺寛子, 川又寛徳, 谷村厚子, 小林法一. 仮設住宅入居高齢者が認識する生活課題の検討. *作業療法*. 202102; 40(1):61-71.

塩津裕康, 奥津光佳, 倉澤茂樹. 読み書きが苦手な子どもに対する Cognitive Orientation to daily Occupational Performance (CO-OP) を基盤とした遠隔作業療法. 作業療法. 202102; 40(1):72-78.

倉澤茂樹, 立山清美, 塩津裕康, 中岡和代, 大歳太郎. 問題行動を呈する児童への作業療法士による学校コンサルテーション. 作業療法. 202106; 40(3):359-369.

田中真, 澄川幸志, 角田真璃菜, 平野恵理, 加藤拓彦. 統合失調症患者に対する手話を用いた自己紹介プログラムの実践. 作業療法ジャーナル. 202108; 55(9):1092-1095.

川勝忍, 小林良太, 林博史, 森岡大智, 大谷浩一. アルツハイマー病病理による文の復唱障害を伴った意味性認知症の1例 神経変性疾患の神経心理を画像診断から振り返る. 神経心理学. 202109; 37(3):201-211.

川又寛徳, 五百川和明, 三橋佑平, 田中善信. 作業療法士における IoT の認識と活用状況ー福島県作業療学会に参加した作業療法士を対象としたアンケート調査ー. 福島県作業療法学. 202105; 1:3-9.

亀ヶ谷忠彦, 藤田貴昭, 相馬正之. 車椅子8の字駆動テストの開発へ向けた予備的検討. ヘルスプロモーション理学療法研究. 202101; 10(4):189-193.

Fujita T, Kisara Y, Iokawa K, Sone T, Yamane K, Yamamoto Y, Ohira Y, Otsuki K. Relationship between post stroke duration and balance function necessary for performing activities of daily living independently in stroke patients on the convalescence rehabilitation wards. 保健医療学雑誌. 202104; 12(1):24-30.

藤田貴昭, 山本優一, 山根和広, 土屋謙仕, 五百川和明. 軽症および中等症脳卒中患者の麻痺側上肢機能の改善と関連する心身機能 決定木を用いた分析. みやぎ作業療法. 202103; 14:26-31.

小池祐士, 大橋幸子, 高橋啓吾, 澄川幸志. 地域在住高齢者の外出頻度の減少に及ぼす因子の検討. 理学療法科学. 202110; 36(5):725-731.

〔症例報告〕

Hayashi H, Kobayashi R, Morioka D, Saito Y, Toyoshima T, Otani K. Improvement of Somatic Delusions with Altered Regional Cerebral Blood Flow Following Electroconvulsive Therapy in a Patient with Schizoaffective Disorder. American Journal of Case Reports. 202103; 22:e929800.

Saito Y, Noto K, Kobayashi R, Suzuki A, Morioka D, Hayashi H, Otani K. Catatonia as the Initial Manifestation of Dementia with Lewy Bodies. American Journal of Case Reports. 202107; 22:e932018.

〔その他〕

木村夏実. 作業療法士からの提案高齢者へのアプローチ～色カルタを使って～. Recrew. 202111; (696):6-7.

著 書・訳 書

五百川和明. 第Ⅲ章 2・作業療法士の教育. In: 能登真一 編集. 作業療法学概論 第4版. 東京: 医学書院 202112. p.97-108.

研究発表等

〔研究発表〕

高野綾, 山本優一, 藤田貴昭, 神保和美, 笠原龍一, 木皿紗耶加, 君島伊造, 安田満彦, 森下慎一郎. 腋窩郭清例における術後1ヶ月時点での予防的弾性着衣の効果. 第3回リンパ浮腫理学療法カンファレンス; 20210228; Web.

宮本礼子, 川又寛徳, 井口知也. 日常的作業の価値判断課題の提示方法による脳の機能的結合性の相違. 第23回日本ヒト脳機能マッピング学会; 20210304-14; Web.

木村夏実, 小林法一. 色カルタを用いた集団活動中の参加者の交流の変化. 第30回日本作業行動学会学術集会; 20210606; Web.

藤田貴昭, 曾根稔雅, 山根和広, 山本優一, 五百川和明. 混迷する感覚障害の上肢機能改善に与える影響に対する新しい解釈—年齢との交互作用. 第31回東北作業療学会; 20210701-31; Web.

大橋拓朗, 藤田貴昭, 富樫結, 木皿悠太, 山本優一. 介護者の抑うつ症状を誘発する介護負担感と関連する訪問リハビリテーション利用者の日常生活活動自立度—カットオフ値の検討—. 第55回日本作業療学会; 20210910-11; Web.

川又寛徳, 石橋裕, 井口知也. 健常成人における作業参加とヘルスリテラシーの関係. 第55回日本作業療学会; 20210910-11; Web.

藤田貴昭, 土屋謙仕, 曾根稔雅, 山根和広, 五百川和明. 脳卒中患者の感覚障害は年齢との相互作用により上肢機能の改善に影響を与える. 第55回日本作業療学会; 20210910-11; Web.

菅野和広, 藤田貴昭, 二村美也子, 菅野健一, 柳沼里英, 佐藤真理, 三瓶龍一, 大井直往. 福島県立医科大学附属病院における経口摂取の帰結に寄与する関連因子の検討—決定木による分析—. 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会; 2021112-14; 名古屋/Web.

松本大典, 二瓶健司. 通いの場参加高齢者の3か月後の活動目標に関する自己評価と要介護リスクとの関連. 第80回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

過年業績

鈴木祥夫, 滝澤佳樹, 澄川幸志. 日常生活動作におけるポジティブフィードバックが編物への取り組み増加につながった症例. 第54回日本作業療学会; 20200925-1025; Web.

澄川幸志, 佐藤ちひろ, 田中真, 加藤拓彦, 小山内隆生. 身体障がい, 精神障がい, 知的障がいに対するイメージの違い. 第 54 回日本作業療法学会; 20200925-1025; Web.

松本幸樹, 加藤拓彦, 澄川幸志, 田中真. 脳卒中患者における急性期病院退院時の認知機能, 日常生活活動能力および転帰先に対する関連要因の検討. 第 54 回日本作業療法学会; 20200925-1025; Web.

〔シンポジウム〕

二瓶健司, 高橋直人, 高槻梢, 本幸枝, 谷本真実, 福地朋子, 荒瀬洋子, 佐藤恵美, 森山由紀, 金澤美香, 谷津田尊寛, 松本大典, 春山祐樹, 岩崎稔, 船尾亜里香, 富永桂子, 恩田啓, 笠原諭, 松平浩, 矢吹省司. 星総合病院慢性疼痛センターでの集学的痛み診療の現状と課題. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

〔特別講演〕

林博史. 自殺関連行動と精神疾患. 第 43 回日本中毒学会総会; 20211015; 誌上.

〔その他〕

松本大典, 二瓶健司. 作業活動の再開へ向けて自己評価表を活用した訪問作業療法の介入. 第 55 回日本作業療法学会; 20210910-11; Web.

根本恵里, 五百川和明, 松本大典. Guillain-Barre 症候群の痛みに対する作業療法. 第 32 回福島県作業療法学会; 20211024-1114; Web.

谷津田尊寛, 高橋直人, 二瓶健司, 春山祐樹, 松本大典, 本幸枝, 矢吹省司. 慢性疼痛センターで就労支援を行った慢性広範囲一次性疼痛の 1 例. 第 14 回日本運動器疼痛学会; 20211120-1205; Web.

診療放射線科学科

論 文

〔原 著〕

Ito H, Kubo H, Takahashi K, Nishijima KI, Ukon N, Nemoto A, Sugawara S, Yamakuni R, Ibaraki M, Ishii S. Integrated PET/MRI scanner with oxygen-15 labeled gases for quantification of cerebral blood flow, cerebral blood volume, cerebral oxygen extraction fraction and cerebral metabolic rate of oxygen. Annals of Nuclear Medicine. 202104; 35(4):421-428.

Hotta M, Minamimoto R, Gohda Y, Miwa K, Otani K, Kiyomatsu T, Yano H. Prognostic value of ^{18}F -FDG PET/CT with texture analysis in patients with rectal cancer treated by surgery. *Annals of Nuclear Medicine*. 202107; 35(7):843-852.

Sato E, Fukuzawa K, Takashima H, Yamatani Y, Takatsu Y, Hata J, Hikishima K, Miwa K. Evaluation of a Polyethylene Glycol Phantom for Measuring Apparent Diffusion Coefficients Using Three 3.0 T MRI Systems. *Applied Magnetic Resonance*. 202105; 52(5):619-631.

Sagara T, Kato T, Murakami M. Biological impact of dosimetric perturbations of a fiducial marker and the daily number of fields in proton therapy for prostate cancer. *Biomedical Physics & Engineering Express*. 202101; 7(2):025007.

Matsuda N, Ootsuki K, Kobayashi S, Nemoto A, Kubo H, Usami SI, Kanani K. A novel case of concurrent occurrence of demyelinating-polyneuropathy-causing PMP22 duplication and SOX10 gene mutation producing severe hypertrophic neuropathy. *BMC Neurology*. 202106; 21(1):243.

Matsuda H, Yamao T, Shakado M, Shigemoto Y, Okita K, Sato N. Amyloid PET quantification using low-dose CT-guided anatomic standardization. *EJNMMI Research*. 202112; 11(1):125.

Shigemoto Y, Sone D, Okita K, Maikusa N, Yamao T, Kimura Y, Suzuki F, Fujii H, Kato K, Sato N, Matsuda H. Gray matter structural networks related to ^{18}F -THK5351 retention in cognitively normal older adults and Alzheimer's disease patients. *eNeurologicalSci*. 202101; 22:100309.

Shigemoto Y, Sato N, Sone D, Maikusa N, Yamao T, Kimura Y, Chiba E, Suzuki F, Fujii H, Takayama Y, Iwasaki M, Nakagawa E, Matsuda H. Single-subject gray matter networks in temporal lobe epilepsy patients with hippocampal sclerosis. *Epilepsy Research*. 202111; 177:106766.

Matsuda H, Ito K, Ishii K, Shimosegawa E, Okazawa H, Mishina M, Mizumura S, Ishii K, Okita K, Shigemoto Y, Kato T, Takenaka A, Kaida H, Hanaoka K, Matsunaga K, Hatazawa J, Ikawa M, Tsujikawa T, Morooka M, Ishibashi K, Kameyama M, Yamao T, Miwa K, Ogawa M, Sato N. Quantitative Evaluation of ^{18}F -Flutemetamol PET in Patients With Cognitive Impairment and Suspected Alzheimer's Disease: A Multicenter Study. *Frontiers in Neurology*. 202101; 11:578753.

Tashiro M, Kubo H, Kanezawa C, Ito H. A proposed combination of flat-panel detector and mobile X-ray systems for low-dose image-guided central venous catheter insertion. *Fukushima Journal of Medical Science*. 2021; 67(3):161-167.

Maikusa N, Zhu Y, Uematsu A, Yamashita A, Saotome K, Okada N, Kasai K, Okanoya K, Yamashita O, Tanaka SC, Koike S. Comparison of traveling-subject and ComBat harmonization methods for assessing structural brain characteristics. *Human Brain Mapping*. 202111; 42(16):5278-5287.

Matsubara K, Ibaraki M, Shinohara Y, Takahashi N, Toyoshima H, Kinoshita T. Prediction of an oxygen extraction fraction map by convolutional neural network: validation of input data among MR and PET images. *International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery*. 202111; 16(11):1865-1874.

Takemasa K, Kato T, Narita Y, Kato M, Yamazaki Y, Ouchi H, Oyama S, Yamaguchi H, Wada H, Murakami M. The impact of different setup methods on the dose distribution in proton therapy for hepatocellular carcinoma. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202103; 22(3):63-71.

Kato T, Sagara T, Komori S, Kato R, Takeuchi A, Narita Y. Dosimetric properties of a newly developed thermoluminescent sheet-type dosimeter for clinical proton beams. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202104; 22(4):158-165.

Narita Y, Kato T, Ono T, Oyama S, Yamazaki Y, Ouchi H, Takemasa K, Murakami M. Trend analysis of the dosimetric impact of anatomical changes during proton therapy for maxillary sinus carcinoma. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202109; 22(9):298-306.

Narita Y, Kato T, Takemasa K, Sato H, Ikeda T, Harada T, Oyama S, Murakami M. Dosimetric impact of simulated changes in large bowel content during proton therapy with simultaneous integrated boost for locally advanced pancreatic cancer. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202111; 22(11):90-98.

Fukuda A, Lin PP, Ichikawa N, Matsubara K. Determination of geometric information and radiation field overlaps on the skin in percutaneous coronary interventions with computer-aided design-based X-ray beam modeling. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202112; 22(12):140-148.

Ichikawa N, Fukuda A, Hayashi T, Matsubara K. Effect of equalization filters on measurements with kerma-area product meter in a cardiovascular angiography system. *Journal of Applied Clinical Medical Physics*. 202112; 22(12):177-185.

Tamaki T, Ozaki A, Sato H, Tsubokura M, Suzuki Y. Alleviating the consequences of nuclear disasters on views on radiation risks among physicians and patients: Fukushima experience. *Journal of Global Health*. 202104; 11:03069.

Yang Y, Morii Y, Fujiwara K, Ishikawa T, Yamashina H, Suzuki T, Nakaya J, Ogasawara K. Trend of Gini coefficient of healthcare resources in China from 1998 to 2016. *Journal of Hospital Management and Health Policy*. 202112; 5:40.

Hasegawa K, Koshino K, Higuchi T. Facile synthesis of 2-deoxy-2-[¹⁸F]fluorosorbitol using sodium borohydride on aluminum oxide. *Journal of Labelled Compounds & Radiopharmaceuticals*. 202101; 64(1):40-46.

Suzuki R, Suzuki T, Tsuji S, Fujiwara K, Yamashina H, Endoh A, Ogasawara K. A Bayesian Network-Based Browsing Model for Patients Seeking Radiology-Related Information on Hospital Websites: Development and Usability Study. *Journal of Medical Internet Research*. 202101; 23(1):e14794.

Okuda K, Hasegawa D, Kamiya T, Ichikawa H, Umeda T, Ohkubo T, Miwa K. Multicenter study of quantitative SPECT imaging: reproducibility of ^{99m}Tc quantitation using a conjugated gradient minimization reconstruction algorithm. *Journal of Nuclear Medicine Technology*. 202106; 49(2):138-142.

Suzuki S, Kato T, Murakami M. Impact of lifetime attributable risk of radiation-induced secondary cancer in proton craniospinal irradiation with vertebral-body-sparing for young pediatric patients with medulloblastoma. *Journal of Radiation Research*. 202103; 62(2):186-197.

Sato H, Kato T, Motoyanagi T, Takemasa K, Narita Y, Kato M, Matsumoto T, Oyama S, Yamaguchi H, Wada H, Murakami M. Preliminary analysis of prostate positional displacement using hydrogel spacer during the course of proton therapy for prostate cancer. *Journal of Radiation Research*. 202103; 62(2):294-299.

Kawabata S, Suzuki M, Hirose K, Tanaka H, Kato T, Goto H, Narita Y, Miyatake S. Accelerator-based BNCT for patients with recurrent glioblastoma: a multicenter phase II study. *Neuro-Oncology Advances*. 202105; 3(1):vdab067.

Miyaji N, Miwa K, Motegi K, Yamashita K, Terauchi T, Onoguchi M. Patient arm position during quantitative bone single-photon emission computed tomography/computed tomography acquisition can affect image quality and quantitative accuracy: a phantom study. *Nuclear Medicine Communications*. 202103; 42(3):267-275.

Kubo H, Takahashi K, Shimoyama S, Zhao S, Ukon N, Ito H. Simulation of the distribution of astatine-211 solution dispersion in a lab room. *Nuclear Medicine Communications*. 202109; 42(9):1052-1059.

Yamao T, Miwa K, Wagatsuma K, Shigemoto Y, Sato N, Akamatsu G, Ito H, Matsuda H. Centiloid scale analysis for ^{18}F -THK5351 PET imaging in Alzheimer's disease. *Physica Medica*. 202102; 82:249-254.

Kubo H, Nemoto A, Ukon N, Ito H. Evaluation of a model-based attenuation correction method on whole-body ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Radiological Physics and Technology*. 202103; 14(1):70-81.

Kato T, Sakagami H, Kinoshita N, Oguchi H. Evaluation of entrance window deformation in water phantom with window thickness of 5 mm for horizontal beam measurements. *Radiological Physics and Technology*. 202112; 14(4):390-395.

Hirose K, Konno A, Hiratsuka J, Yoshimoto S, Kato T, Ono K, Otsuki N, Hatazawa J, Tanaka H, Takayama K, Wada H, Suzuki M, Sato M, Yamaguchi H, Seto I, Ueki Y, Iketani S, Imai S, Nakamura T, Ono T, Endo H, Azami Y, Kikuchi Y, Murakami M, Takai Y. Boron neutron capture therapy using cyclotron-based epithermal neutron source and Borofalan (^{10}B) for recurrent or locally advanced head and neck cancer (JHN002): An open-label phase II trial. *Radiotherapy and Oncology*. 202102; 155:182-187.

Suga M, Nishii R, Miwa K, Kamitaka Y, Yamazaki K, Tamura K, Yamamoto N, Kohno R, Kobayashi M, Tanimoto K, Tsuji H, Higashi T. Differentiation between non-small cell lung cancer and radiation pneumonitis after carbon-ion radiotherapy by ^{18}F -FDG PET/CT texture analysis. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):11509.

高井良尋, 廣瀬勝己, 佐藤まり子, 加藤貴弘. 【本格化する BNCT の最前線 研究開発から臨床応用までの最新動向と将来展望】 BNCT 実施施設からの報告 施設概要から治療の実際まで 南東北 BNCT 研究センター 保険診療から 6 ヶ月・驚くべき初期効果! INNERVISION. 202101; 36(2):49-51.

高橋規之. 【DIGITAL RADIOGRAPHY NOW & FUTURE 最新 DR システムが描き出す X 線検査の未来 DIGITAL RADIOGRAPHY の技術動向と臨床の最前線】 DR システムの技術・臨床の最新動向および将来展望 DR システムにおける AI 技術の最新動向および将来展望 AI 技術を用いた検査支援. INNERVISION. 202111; 36(12):10-12.

矢野恒夫, 長谷川功紀, 山村朝雄, 渡部直史, 巽光朗, 佐藤達彦, 角永悠一郎, 樺山一哉, 深瀬浩一, 平林容子, 藤井博史, 米倉義晴. アルファ線核医学治療のための薬剤開発の考察 (その 5) IAEA Technical Meeting 報告 α 線核種並びに TAT 薬剤の最新動向. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス. 202102; 52(2):85-106.

高山香名子, 加藤貴弘, 中村達也, 阿左見祐介, 小野崇, 鈴木志恒, 高田彰憲, 山口久志, 瀬戸一郎, 中里龍彦, 和田仁, 菊池泰裕, 光藤健司, 不破信和, 村上昌雄. StageIV 舌根部腺様嚢胞癌に対する動注化学療法併用陽子線治療成績. 頭頸部癌. 202104; 47(1):21-29.

我妻慧, 三輪建太, 坂田宗之, 石橋賢士, 石井賢二. ^{18}F -florbetapir アミロイド PET イメージングの定量解析ソフトウェアの交差検証. 日本放射線技術学会雑誌. 202101; 77(1):32-40.

齋藤茂芳, 今江禄一, 瓜倉厚志, 田中利恵, 三輪建太. 「肺・呼吸器疾患」論文特集号発刊にあたって. 日本放射線技術学会雑誌. 202111; 77(11):1277-1278.

三輪建太, 宮司典明, 山下康輔, 山尾天翔, 上高祐人. 肺・呼吸器疾患 デバイスレスの data-driven respiratory gating PET/CT による呼吸制御に関する研究. 日本放射線技術学会雑誌. 202111; 77(11):1356-1365.

〔総説等〕

矢野恒夫, 長谷川功紀, 石井明子, 渡部直史, 巽光朗, 角永悠一郎, 樺山一哉, 深瀬浩一, 米倉義晴, 平林容子, 佐藤達彦, 藤井博史. アルファ線核医学治療のための薬剤開発の考察 (その 6) 標的分子・創薬化学の重要性 (前編). PHARM TECH JAPAN. 202108; 37(11):1921-1930.

矢野恒夫, 長谷川功紀, 石井明子, 渡部直史, 巽光朗, 角永悠一郎, 樺山一哉, 深瀬浩一, 米倉義晴, 平林容子, 佐藤達彦, 藤井博史. アルファ線核医学治療のための薬剤開発の考察 (その 6) 標的分子・創薬化学の重要性 (後編). PHARM TECH JAPAN. 202111; 37(14):2483-2493.

〔その他〕

山城晶弘, 五月女康作, 小池進介. 任意の T1・T2 値を作成可能な革新的 MRI ファントムの開発. 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集. 202103; 77:188.

著 書・訳 書

三輪建太. 第 4 章 PET 画像に発生するアーチファクト. In: 甲谷理温, 他 編集. アーチファクト・アトラス (MRI, CT, SPECT, PET) (放射線医療技術学叢書 38). 京都: 日本放射線技術学会出版委員会; 202102. p.127-196.

五月女康作. 高速 SE 法 T2 強画像関連①Radial scan 法. In: 高原太郎 監修 堀正明, 本杉宇太郎, 高橋光幸 編集. MRI 応用自在 第 4 版. 東京: メジカルビュー社; 202103. p.84-89.

五月女康作. 第 2 章 診療画像機器学. In: 診療放射線技師国家試験合格! My テキスト: 過去問データベース+模擬問題付 2022 年版. 東京: オーム社; 202105. p.29-96.

三輪建太, 宮司典明, 村田泰輔. 第 10 章 核医学治療. In: 榮武二, 櫻井英幸 監修 磯辺智範, 佐藤英介 編集. 放射線治療基礎知識図解ノート: 図, 表, 画像が満載! 要点がわかる! 第 2 版. 東京: 金原出版; 202103. p.278-299.

五月女康作 (医療監修). In: 横幕智裕 原作, モリタイシ 漫画. ラジエーションハウス 11 (ヤングジャンプ・コミックス GJ). 東京: 集英社; 202109.

五月女康作 (医療監修). In: 横幕智裕 原作, モリタイシ 漫画. ラジエーションハウス 12 (ヤングジャンプ・コミックス GJ). 東京: 集英社; 202112.

研究発表等

〔研究発表〕

Kato R, Kato T, Sagara T, Narita Y, Takayama K, Murakami M. Effects of the Activated Dental Metal Induced by Proton Beam Irradiation for Head and Neck Cancer: A Phantom Study. 63rd Annual Meeting & Exhibition of the American Association of Physicists in Medicine; 20210725-29; Web.

Kato R, Kato T, Sagara T, Sasaki S, Takemasa K, Narita Y, Oyama S, Takayama K, Murakami M. Fundamental study on the effects of the activated dental metal in proton therapy for head and neck cancer. 第 121 回日本医学物理学会学術大会; 20210415-18; 横浜/Web.

川端信司, 鈴木実, 廣瀬克己, 田中浩基, 加藤貴弘, 高井良尋, 後藤博美, 成田善孝, 宮武伸一. 再発悪性神経膠腫に対する加速器中性子源を用いた BNCT の第 2 相試験. 第 17 回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20210710-11; 熱海/Web.

小森慎也, 廣瀬克己, 佐藤まり子, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 本柳智章, 原田崇臣, 山崎雄平, 原田真由美, 成田優輝, 加藤貴弘, 高井良尋. 加速器を用いた頭頸部 BNCT における患者位置誤差が線量分布へ与える影響. 第 17 回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20210710-11; 熱海/Web.

佐藤まり子, 廣瀬克己, 原田真由美, 本柳智章, 原田崇臣, 小森慎也, 成田優輝, 竹内瑛彦, 山崎雄平, 加藤亮平, 加藤貴弘, 高井良尋. BNCT の保険適用後初期治療経験. 第 17 回日本中性子捕捉療法学会学術大会; 20210710-11; 熱海/Web.

廣瀬克己, 佐藤まり子, 原田真由美, 本柳智章, 小森慎也, 成田優輝, 竹内瑛彦, 原田崇臣, 山崎雄平, 加藤亮平, 加藤貴弘, 高井良尋. 頭頸部癌に対する BNCT の有害事象プロファイル解析. 第 17 回日本中性子捕捉

療学会学術大会; 20210710-11; 熱海/Web.

本柳智章, 廣瀬克己, 原田崇臣, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 成田優輝, 加藤貴弘, 佐藤まり子, 原田真由美, 高井良尋. 放射化法を用いた加速器 BNCT における出力の安定性の評価. 第 17 回日本中性子捕捉療学会学術大会; 20210710-11; 熱海/Web.

加藤亮平, 相良達彦, 成田優輝, 小山翔, 武政公大, 加藤貴弘. 拡大散乱体法を用いた陽子線治療における体内金属の影響評価. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

久保均, 高橋規之, 加藤貴弘, 長谷川功紀, 三輪建太, 福田篤志, 佐藤久志, 五月女康作, 山品博子, 田代雅実, 山尾天翔. 教育研究用医療情報システムの設計と実装. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

小森慎也, 廣瀬勝己, 竹内瑛彦, 本柳智章, 原田崇臣, 加藤亮平, 山崎雄平, 佐藤まり子, 原田麻由美, 加藤貴弘, 高井良尋. 加速器を用いたホウ素中性子捕捉療法システムにおける品質保証プログラム構築の試み. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

坂元健太郎, 加藤守, 高橋規之, 千田浩一, 笠松武, 渥美博人. 頭部、腹部領域の血管撮影患者被ばく線量評価. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

竹内瑛彦, 廣瀬勝己, 本柳智章, 原田崇臣, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 佐藤まり子, 原田麻由美, 加藤貴弘, 高井良尋. ホウ素中性子捕捉療法専用線量計算プログラムの基礎的性能評価. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

成田優輝, 佐藤啓樹, 武政公大, 坂上久記, 池田知広, 加藤雅人, 松本拓也, 小山翔, 鈴木正樹, 横田克, 加藤貴弘. 膵臓癌に対する同時ブースト法を用いた陽子線治療における治療期間中の臓器変動が線量分布に及ぼす影響. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

本柳智章, 廣瀬克己, 原田崇臣, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 小森慎也, 山崎雄平, 成田優輝, 加藤貴弘, 佐藤まり子, 原田真由美, 高井良尋. 加速器 BNCT システムにおける出力不変性試験の測定条件検討とトレンド評価. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

山尾天翔, 三輪建太, 重本蓉子, 我妻慧, 上高祐人, 伊藤浩, 松田博史. アミロイド PET に対する領域分割 Centiloid scale の評価. 第 41 回日本核医学技術学会総会学術大会; 20211104-06; 名古屋.

小森慎也, 廣瀬克己, 佐藤まり子, 竹内瑛彦, 加藤亮平, 本柳智章, 原田崇臣, 山崎雄平, 原田真由美, 成田優輝, 加藤貴弘, 高井良尋. 頭頸部 BNCT における患者位置不確かさに対するロバスト性の評価. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

小山翔, 加藤貴弘, 佐藤啓樹, 武政公大, 坂上久記, 成田優輝, 加藤雅人, 松本拓也, 横田克次, 村上昌雄. 大網充填術後骨盤腫瘍に対する陽子線治療における治療期間中の腸管線量の変化. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

佐藤まり子, 廣瀬勝己, 原田麻由美, 本柳智章, 原田崇臣, 小森慎也, 成田優輝, 竹内瑛彦, 山崎雄平, 加

藤亮平, 加藤貴弘, 高井良尋. 頭頸部癌に対する BNCT の初期経験. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

田代雅実. Ai 認定診療放射線技師からみた救急医療 Ai の課題. 第 37 回日本診療放射線技師学術大会; 20211113; 東京.

五月女康作. ラジエーションハウスと私たちの未来. 第 20 回昭和大学統括放射線技術部学術大会; 20211213; 東京.

〔特別講演〕

高橋規之. 人工知能と診療放射線技師の近未来. 第 36 回日本診療放射線技師学術大会; 20210108-31; Web.

高橋規之. 画像診断における人工知能. 第 1 回福島メディカル AI 研究会; 20210125; 福島.

五月女康作. 脳機能画像再入門～いろはの“い”～. 第 12 回「MRI を究める学術集会 : 信州 MRI ・技術と臨床」; 20210220; Web.

五月女康作. 論文の背景から研究方法を紐解く. 5th Cyber MRI Workshop; 20210304; Web.

加藤貴弘. 放射線治療技術の過去・現在・未来について考える. 第 37 回福島県放射線治療懇話会; 20210605; Web.

五月女康作. 放射線の健康影響について. 環境省令和 3 年度キックオフミーティング; 20210715; 東京.

五月女康作. ここだけは抑えておこう～放射線のいろはの”い”～. 環境省ラジエーションカレッジ 2021; 20211117; Web.

五月女康作. 私が福島でやりたいこと、福島にできること。ーたんぼぼプロジェクトー. 現場からの医療改革推進協議会 第 16 回シンポジウム; 20211128; 東京.

〔招待講演〕

Kato T. Current status and future perspectives of accelerator-based boron neutron capture therapy. 23rd Asia Australasia Conference of Radiological Technologists, 28th East Asia Conference of Radiological Technologists; 20211112-1215; Web.

五月女康作. 診療放射線技師として生きる君たちへ～ラジエーションハウスが教えてくれたこと～. 新潟県診療放射線技師会令和 2 年度下越地区会; 20210212; Web.

五月女康作. ラジエーションハウスが教えてくれた技師冥利. 第 374 回循環器画像技術研究会; 20210410; Web.

五月女康作. 五十嵐唯織にみる、診療放射線技師像とは? 第 5 回 TSUKIJI RT Conference; 20210821; Web.

五月女康作. 五十嵐唯織が教えてくれた技師（わざし）. 第75回日本放射線技術学会東京支部学術大会; 20210925; 東京.

五月女康作. ラジエーションハウスが教えてくれたこと～未来を創るキミたちへ～. 静岡市立高校「Special Science Week」; 20211206; 静岡.

高橋規之. 少量データしかない！どうする深層学習. 第11回核医学画像解析研究会; 20211211; Web.

その他の業績・作品等

田代雅実. 新型コロナウイルス感染症対策本部医療対策班での活動（福島県）. 20200407-継続中.

五月女康作. スーパーバイザー：TVドラマ「ラジエーションハウスⅡ～放射線科の診断レポート～」(フジテレビ). 20211004-20211220.

過年業績

田代雅実. 令和2年7月豪雨での災害派遣（熊本県）. 20200710-20200714.

臨床検査学科

論文

〔原著〕

Yamada S, Yoshihisa A, Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Misaka T, Yokokawa T, Takeishi Y. Clinical impact of long PR-interval and presence of late gadolinium enhancement on hospitalized patients with non-ischemic heart failure. *Annals of Noninvasive Electrocardiology*. 202103; 26(2):e12818.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. High-fat diet attenuates the improvement of hypoxia-induced pulmonary hypertension in mice during reoxygenation. *BMC Cardiovascular Disorders*. 202107; 21(1):331.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Kaneshiro T, Nakazato K, Takeishi Y. Serum TRACP5b, a marker of bone resorption, is associated with adverse cardiac prognosis in hospitalized patients with heart failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 202104; 3(4):470-478.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Liver Congestion Assessed by Hepatic Vein Waveforms in Patients With Heart Failure. *Canadian Journal of Cardiology Open*. 202106; 3(6):778-786.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk (ARC-HBR) definition predicts bleeding events in patients with heart failure. *Circulation Journal*. 202112; 86(1):147-155.

Ueda T, Kasama S, Yamamoto M, Nakano T, Ueshima K, Morikawa Y, Kawata H, Yoshihisa A, Nakayama M, Komatsu S, Soeda T, Watanabe M, Kawakami R, Okada Y, Tanaka H, Susuta Y, Kasahara M, Tsujita K, Takeishi Y, Saito Y; CANONICAL Study Group. Effect of the sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor canagliflozin for heart failure with preserved ejection fraction in patients with type 2 diabetes. *Circulation Reports*. 202107; 3(8):440-448.

Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Significance of contact force on esophageal thermal injury during relative high-power short-duration ablation of atrial fibrillation. *Circulation Arrhythmia and Electrophysiology*. 202106; 14(6):e009897.

Arai S, Kamijo T, Kaido T, Yoda M, Shinohara S, Suzuki T, Arai N, Sugano M, Uehara T, Okumura N. Automated screening procedure for the phenotypes of congenital fibrinogen disorders using novel parameters, $|min1|c$ and $Ac/|min1|c$, obtained from clot waveform analysis using the Clauss method. *Clinica Chimica Acta*. 202110; 521:170-176.

Kiko T, Yokokawa T, Masuda A, Misaka T, Yamada S, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Simultaneous assessment of coronary flow reserve and left ventricular function during vasodilator stress evaluated by ^{13}N -ammonia hybrid PET/MRI. *Clinical Radiology*. 202106; 76(6):472.e1-472.e9.

Marcks N, Aimo A, Januzzi JL Jr, Vergaro G, Clerico A, Latini R, Meessen J, Anand IS, Cohn JN, Graving J, Ueland T, Bayes-Genis A, Lupón J, de Boer RA, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Tentzeris I, Ripoli A, Passino C, Sanders-van Wijk S, Emdin M, Brunner-La Rocca HP. Re-appraisal of the obesity paradox in heart failure: a meta-analysis of individual data. *Clinical Research in Cardiology*. 202108; 110(8):1280-1291.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index reflects impaired exercise capacity and predicts adverse prognosis in patients with heart failure. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 202103; 8:631807.

Sugimoto K, Yokokawa T, Misaka T, Kaneshiro T, Yamada S, Yoshihisa A, Nakazato K, Takeishi Y. Endothelin-1 upregulates activin receptor-like kinase-1 expression via G α /RhoA/Sp-1/Rho kinase pathways in human pulmonary arterial endothelial cells. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*. 202102; 8:648981.

Sato Y, Yoshihisa A, Maki T, Takeishi Y. Effects of daily alcohol intake on glomerular filtration rate during three years. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):1-7.

Iijima J, Hoshi K, Ito H, Kanno M, Murakami Y, Takahashi K, Matsumoto K, Yamaguchi Y, Nakajima M, Miyajima M, Arai H, Kanai M, Kitazume S, Honda T, Hashimoto Y. Total transferrin in cerebrospinal fluid is a novel biomarker for spontaneous intracranial hypotension. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):64-70.

Yokokawa T, Yoshihisa A, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Takeishi Y. Anti-mitochondrial antibodies in patients with dilated cardiomyopathy. *Internal Medicine*. 202101; 60(2):201-208.

Yamada S, Yoshihisa A, Hijioaka N, Amami K, Kaneshiro T, Ishida T, Takeishi Y. Associations of the prognostic nutritional index with the cardiac function and survival after cardiac resynchronization therapy. *Internal Medicine*. 202104; 60(7):985-991.

Arai S, Kamijo T, Hayashi F, Shinohara S, Arai N, Sugano M, Uehara T, Honda T, Okumura N. Screening method for congenital dysfibrinogenemia using clot waveform analysis with the Clauss method. *International Journal of Laboratory Hematology*. 202104; 43(2):281-289.

Yokokawa T, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Minakawa K, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Ikeda K, Takeishi Y. Clonal hematopoiesis and *JAK2V617F* mutations in patients with cardiovascular disease. *JACC: CardioOncology*. 202103; 3(1):134-136.

Vergaro G, Gentile F, Meems LMG, Aimo A, Januzzi JL Jr, Richards AM, Lam CSP, Latini R, Staszewsky L, Anand IS, Cohn JN, Ueland T, Gullestad L, Aukrust P, Brunner-La Rocca HP, Bayes-Genis A, Lupón J, Yoshihisa A, Takeishi Y, Egstrup M, Gustafsson I, Gaggin HK, Eggers KM, Huber K, Gamble GD, Ling LH, Leong KTG, Yeo PSD, Ong HY, Jaufeerally F, Ng TP, Troughton R, Doughty RN, Devlin G, Lund M, Giannoni A, Passino C, de Boer RA, Emdin M. NT-proBNP for risk prediction in heart failure: Identification of optimal cutoffs across body mass index categories. *JACC: Heart Failure*. 202109; 9(9):653-663.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. *Journal of the American Heart Association*. 202110; 10(21):e021101.

Katsuda SI, Fujikura Y, Horikoshi Y, Hazama A, Shimizu T, Shirai K. Different Responses of Arterial Stiffness between the Aorta and the Iliofemoral Artery during the Administration of Phentolamine and Atenolol in Rabbits. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202106; 28(6):611-621.

Horikoshi Y, Katsuda SI, Fujikura Y, Hazama A, Shimura H, Shimizu T, Shirai K. Opposing Responses of the Calcium Channel Blocker Nicardipine to Vascular Stiffness in the Elastic and Muscular Arteries in Rabbits. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202112; 28(12):1340-1348.

Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Nodera M, Amami K, Nehashi T, Takeishi Y. Albumin-bilirubin score

for prediction of outcomes in heart failure patients treated with cardiac resynchronization therapy. *Journal of Clinical Medicine*. 202111; 10(22):5378.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, Nollet KE, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving Calr frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. *Journal of Hematology & Oncology*. 202103; 14(1):52.

Yamaguchi M, Koizumi T, Sugano M. Impact of short-term storage of plasma samples on quantitation of ultra-low levels of interleukin-6. *Journal of International Medical Research*. 202111; 49(11):3000605211056846.

Suzuki S, Yoshihisa A, Yokokawa T, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Tsuda A, Tsuda T, Ishibashi T, Konno I, Yamaguchi O, Machii H, Nozaki N, Niizeki T, Miyamoto T, Takeishi Y; multicenter randomized trial investigators. Comparison between febuxostat and allopurinol uric acid-lowering therapy in patients with chronic heart failure and hyperuricemia: a multicenter randomized controlled trial. *Journal of International Medical Research*. 202112; 49(12):3000605211062770.

Ito Y, Furuya F, Taki K, Suzuki H, Shimura H. NKX2-1 re-expression induces cell death through apoptosis and necrosis in dedifferentiated thyroid carcinoma cells. *PLOS ONE*. 202111; 16(11):e0259558.

Usami Y, Sugano M, Uehara T, Koinuma M, Ishimine N, Kawasaki K, Yamauchi K, Hamano H, Honda T. Cut-off values of serum IgG4 among three reagents, including a novel IgG4 reagent: a multicenter study. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):7280.

Toyokawa M, Ohana N, Ueda A, Imai M, Tanno D, Honda M, Takano Y, Ohashi K, Saito K, Shimura H. Identification and antimicrobial susceptibility profiles of *Nocardia* species clinically isolated in Japan. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16742.

國井浩行, 義久精臣, 竹石恭知. 【循環器疾患 緩和ケアの現状を識る】治す 末梢動脈疾患患者における緩和ケア. *Heart View*. 202104; 25(4):364-370.

菅野光俊. From LABO 信州大学方式 RCPC の特徴と現場での活用. *Medical Technology*. 202101; 49(1):74-76.

上原剛, 菅野光俊. 基礎講座 IgG4 関連疾患と臨床検査. *Medical Technology*. 202103; 49(3):273-277.

丹野大樹, 庄司龍弥, 坂本有子, 高野由喜子, 大橋一考, 豊川真弘, 山寺幸雄, 志村浩己. GBS スクリーニング検査における新規 GBS 増菌培地の基礎的検討とラテックス凝集法併用の有用性. *医学検査*. 202101; 70(1):15-22.

高橋一人, 齋藤泰智, 小笠原愛美, 中河知里, 森川知世, 佐藤多嘉之, 下山則彦. 抗がん剤感受性試験 (CD-DST) による大腸がんの予後および治療効果予測の有用性. *医学検査*. 202101; 70(1):23-31.

竹渕真由, 宇佐美陽子, 荻野結加, 遠藤里紗, 松本剛, 石嶺南生, 菅野光俊, 本田孝行. プロカルシトニン測定試薬の性能評価と臨床的有用性の評価. *医学検査*. 202101; 70(1):66-73.

菅野光俊. 【2つのルーチン検査値で患者の病態を考えてみよう】血小板とフィブリノゲン. 治療. 202101; 103(1):50-54.

菅野光俊, 宇佐美陽子, 上原剛. IgG4 関連疾患の検査と病理診断 up to date IgG4 関連疾患の臨床検査. 日本臨床検査医学会誌. 202107; 69(7):530-536.

〔総説等〕

義久精臣, 三阪智史, 竹石恭知. 睡眠呼吸障害 (SDB) . Medical View Point. 202107; 42(7):4-5.

〔その他〕

Anzai T, Sato T, Fukumoto Y, Izumi C, Kizawa Y, Koga M, Nishimura K, Ohishi M, Sakashita A, Sakata Y, Shiga T, Takeishi Y, Yasuda S, Yamamoto K, Abe T, Akaho R, Hamatani Y, Hosoda H, Ishimori N, Kato M, Kinugasa Y, Kubozono T, Nagai T, Oishi S, Okada K, Shibata T, Suzuki A, Suzuki T, Takagi M, Takada Y, Tsuruga K, Yoshihisa A, Yumino D, Fukuda K, Kihara Y, Saito Y, Sawa Y, Tsutsui H, Kimura T; Japanese Circulation Society Joint Working Group. JCS/JHFS 2021 statement on palliative care in cardiovascular diseases. Circulation Journal. 202104; 85(5):695-757.

安斉俊久, 泉知里, 大石充, 木澤義之, 古賀政利, 坂下明大, 坂田泰史, 志賀剛, 竹石恭知, 西村勝治, 福本義弘, 安田聡, 山本一博, 赤穂理絵, 阿部隆宏, 石森直樹, 大石醒悟, 岡田佳築, 加藤美香, 衣笠良治, 窪園琢郎, 佐藤琢真, 柴田龍宏, 鈴木敦, 鈴木豪, 高木正仁, 高田弥寿子, 敦賀健吉, 永井利幸, 濱谷康弘, 細田勇人, 弓野大, 義久精臣, 木原康樹, 木村剛, 斎藤能彦, 澤芳樹, 筒井裕之, 福田恵一. 3. 虚血性心疾患・末梢血管疾患. 2021 年改訂版 循環器疾患における緩和ケアについての提言. 202103; :59-63.

菅野光俊. 【必携！日当直の緊急検査マニュアル】生化学検査 尿素窒素 (UN) . Medical Technology. 202112; 49(13):1340-1341.

菅野光俊. 【必携！日当直の緊急検査マニュアル】生化学検査 クレアチニン (Cre) . Medical Technology. 202112; 49(13):1342-1343.

菅野光俊. 【必携！日当直の緊急検査マニュアル】生化学検査 尿酸 (UA) . Medical Technology. 202112; 49(13):1344-1345.

菅野光俊. 【必携！日当直の緊急検査マニュアル】生化学検査 血糖 (GLU) . Medical Technology. 202112; 49(13):1360-1361.

菅野光俊. 【必携！日当直の緊急検査マニュアル】生化学検査 HbA1c. Medical Technology. 202112; 49(13):1362-1363.

義久精臣. 睡眠障害の改善で心不全の予後が向上. Medical Tribune. 20210204; 9.

堀江重郎, 上芝元, 天野俊康, 石井智弘, 井手久満, 伊藤直樹, 岩月正一郎, 大山力, 小川純人, 蔭山和則,

方波見卓行, 川戸佳, 菅野潤子, 功刀浩, 重原一慶, 周東孝浩, 白川智也, 白石晃司, 鈴木和浩, 高橋裕, 高岡正和, 竹石恭知, 立花修, 田邊真紀人, 辻村晃, 鳥居俊, 西岡宏, 長谷川奉延, 畠山真吾, 濱野逸人, 濱島崇, 福岡秀規, 福井道明, 堀江重郎, 松井克之, 松下一仁, 溝上敦, 村元啓仁, 八木弘子, 安井孝周, 柳瀬敏彦, 義久精臣. 24. テストロン補充療法は心不全の予後を改善するか? 男性の腺機能低下症ガイドラン 2022. 2021; 167-170.

豊川真弘, 他. 腸管感染症検査ガイドライン 第2版. 日本臨床微生物学雑誌. 2021; 31(Suppl.2).

研究発表等

〔研究発表〕

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9031.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Renal venous stasis index reflects renal congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9126.

Sugimoto K, Misaka T, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Serum level of membrane type 1-matrix metalloproteinase inversely correlates with right ventricular systolic pressure and mean pulmonary artery pressure in pulmonary hypertension. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9166.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate on exercise capacity and prognosis: comparison among heart failure patients with reduced, preserved and mid-range ejection fraction. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9175.

Amami K, Yamada S, Kaneshiro T, Yoshihisa A, Hijioka N, Nodera M, Takeishi Y. Prognostic value of chronic kidney disease and cardiac sympathetic dysfunction assessed by ¹²³I-metaiodobenzylguanidine scintigraphy for lethal arrhythmic events in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9177.

Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Sugawara Y, Ohara H, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. An ultrasound image of spleen shear wave elastography predicts adverse outcomes in heart failure patients. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9435.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa S, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Cancer therapeutics-related cardiac dysfunction is associated with high risk of cancer-related mortality in patients treated with anthracycline-containing chemotherapy. American

Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9546.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Resting energy expenditure is important factor to predict cardiac mortality in chronic heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9577.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Prognostic impacts of changes in right ventricular fractional area change in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9586.

Shimizu T, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Validation of Japanese high bleeding risk criteria in patients undergoing percutaneous coronary intervention and comparisons with contemporary bleeding risk scores. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9707.

Sato Y, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Simplified academic research consortium for high bleeding risk criteria predicts bleeding events in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9726.

Sakuma Y, Shimizu T, Kurosawa Y, Ohara H, Sugawara Y, Watanabe K, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with coronary artery disease who underwent percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9738.

Abe S, Yoshihisa A, Takeishi R, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Sato Y, Kimishima Y, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Takeishi Y. Calcium-phosphorus product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A9958.

Kurosawa Y, Shimizu T, Muto Y, Kimishima Y, Misaka T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of d-dimer on long-term mortality in patients with coronary artery disease after percutaneous coronary intervention. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A10103.

Muto Y, Yoshihisa A, Sugawara Y, Abe S, Oikawa M, Kobayashi A, Kunii H, Nakazato K, Fujimiya T, Takase S, Takeishi Y. Inguinal fat tissue biopsy to identify transthyretin amyloidosis in patients undergoing transcatheter aortic valve implantation. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation. 144(Suppl1):A10514.

Yaegashi D, Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Nutritional risk index is a predictive factor of anthracycline-induced cancer therapeutics-related cardiac dysfunction. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web. Circulation.

144(Suppl1):A11069.

Tomita Y, Misaka T, Yoshihisa A, Ichijo Y, Anzai F, Ohara H, Sugawara Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Decrease in hepatokine fetuin-a is associated with hepatic hypoperfusion in patients with heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2021; 20211113-15; Web.

Wada K, Misaka T, Yokokawa T, Kimishima Y, Kaneshiro T, Oikawa M, Yoshihisa A, Takeishi Y. Blood-based epigenetic markers of FKBP5 gene methylation in patients with dilated cardiomyopathy. Cardiovascular and Metabolic Week 2021: The 38th Annual Scientific Meeting of the Japanese Section of the International Society for Heart Research (ISHR); 20211210-11; Web.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the PARIS bleeding risk score for all-cause and cardiac mortalities after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Akama J, Shimizu T, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Prognostic value of the PARIS thrombotic risk score for all-cause and cardiac mortalities after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Ando T, Shimizu T, Kurosawa Y, Akama J, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of body mass index on long-term bleeding events in patients who underwent percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Kanno Y, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Glasgow-blatchford score predicts post-discharge gastrointestinal bleeding in hospitalized patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Kimishima Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Soluble fibrin monomer complex is associated with cardio- and cerebro-vascular events in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Kurosawa Y, Shimizu T, Akama J, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Impact of the academic research consortium high bleeding risk criteria on dual antiplatelet therapy regimen after percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Kurosawa Y, Shimizu T, Akama J, Ando T, Anzai F, Muto Y, Kimishima Y, Kiko T, Yoshihisa A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. The prognostic impact of D-dimer on long-term mortality in patients underwent percutaneous coronary intervention. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/ Web.

Misaka T, Ichijo Y, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Hepatokine selenoprotein P is associated with hepatic hypoperfusion and predicts adverse prognosis in heart failure patients. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Misaka T, Yoshihisa A, Hotsuki Y, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical impact of splenic ultrasonographic findings in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Misaka T, Satoh T, Oikawa M, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Liver dispersion predicts adverse outcomes in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated with cardiotoxic chemotherapy. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Troponin I was not useful to predict cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients with non-anthracycline chemotherapy. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Associations between cardio-ankle vascular index with post-discharge stroke in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate on exercise capacity and prognosis: Comparisons among HFrEF, HFpEF and HFmrEF. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Sato Y, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Ohara H, Anzai F, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Clinical implications of hepatic vein waveforms in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Watanabe K, Sato Y, Yoshihisa A, Ichijo Y, Yokokawa T, Misaka T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Intrarenal doppler ultrasonography reflects hemodynamics and predicts prognosis in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

Yaegashi D, Oikawa M, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Geriatric nutritional risk index is a predictor of anthracycline-induced cardiotoxicity. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

阿部諭史, 義久精臣, 一條靖洋, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. TRACP5b, a marker of osteoporosis, is associated with adverse cardiac events in hospitalized patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

喜古崇豊, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 八巻尚洋, 竹石恭知. Prognostic value of simultaneous hybrid ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging in cardiac sarcoidosis. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. Association between platelet distribution width and prognosis in patients with heart failure. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

和田健斗, 三阪智史, 横川哲朗, 君島勇輔, 皆川敬治, 義久精臣, 池田和彦, 竹石恭知. Clinical significance of myeloproliferative neoplasm driver mutation-mediated clonal hematopoiesis in patients with cardiovascular diseases. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; 横浜/Web.

赤間浄, 及川雅啓, 菅原由紀子, 喜古崇豊, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. β 遮断薬の投与が有効であった右室流出路狭窄合併肥大型心筋症の一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

及川雅啓, 八重樫大輝, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン誘発性 CTRCD 発症予測におけるトロポニン I の有用性. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

佐藤勇太郎, 及川雅啓, 菅原由紀子, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 大動脈弁狭窄症精査にて判明した女性ファブリー病の一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

和田健斗, 三阪智史, 富田湧介, 安齋文弥, 君島勇輔, 横川哲朗, 義久精臣, 竹石恭知. 拡張型心筋症における末梢白血球の FKBP5 DNA メチル化の臨床的意義. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソンニズムと心臓交感神経障害を合併した ATTR アミロイドーシスの一例. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

三阪智史, 一條靖洋, 義久精臣, 寶槻優, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 君島勇輔, 横川哲朗, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. ヘパトカイン・セレノプロテイン P は、心不全における肝臓低灌流と関連する. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

八重樫大輝, 及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Geriatric Nutritional Risk Index によるがん治療関連心筋障害の予測の検討. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

横川哲朗, 義久精臣, 清水竹史, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 八巻尚洋, 國井浩行, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. Residual Gensini score は経皮的冠動脈形成術を施行した虚血性心筋症患者の長期予後予測因子となる. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

黒瀬理恵, 宇月美和, 石橋恭之, 澤井高志. 関節リウマチ滑膜組織における CD14+VIM+細胞の意義. 第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会; 20210426-28; Web.

廣坂諒, 及川雅啓, 佐藤勇太郎, 菅原由紀子, 赤間浄, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史,

竹石恭知. 大動脈弁狭窄症精査にて判明した女性ファブリー病の一例. 第 41 回福島心疾患治療談話会; 20210515; Web.

田近洋介, 中島悠樹, 折田恵, 鈴木英明. 認定病理検査技師の切り出し業務による医師のタスクシフトへの効果. 第 70 回日本医学検査学会; 20210515-0614; Web. 医学検査. 70(Suppl):456.

宇月美和, 谷内真司, 佐藤孝, 柴田祐二, 三浦弘守, 野田裕, 岡輝明, 亀井敏昭, 澤井高志. 連続切片 SEM 法による胸水中の中皮細胞の 3 次元超微形態解析. 第 62 回日本臨床細胞学会 (春期総会); 20210604-06; 千葉 /Web.

高橋沙樹, 川畑絹代, 三浦里織, 他. 当院における初療室常備赤血球製剤の使用実態について. 第 69 回日本輸血・細胞治療学会総会; 20210604-06; 東京/Web.

富田湧介, 三阪智史, 和田健斗, 君島勇輔, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 拡張型心筋症における血液細胞のエピジェネティックな変化: FKBP5 遺伝子の DNA メチル化の意義. 第 172 回日本循環器学会東北地方会; 20210605; Web.

及川雅啓, 喜古崇豊, 小林淳, 義久精臣, 石田隆史, 竹石恭知. 治療可能な二次性心筋症を見逃さないために: ファブリー病を中心に: 二次性心筋症におけるファブリー病の鑑別診断. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):57.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソンニズムと心臓交感神経障害を合併した ATTR アミロイドーシスの一例. 第 31 回日本心臓核医学会総会・学術大会; 20210625-26; Web. 心臓核医学. 23(2):61.

及川雅啓, 八重樫大輝, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. アントラサイクリン誘発性 CTRCD 発症予測におけるトロポニン I の有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子 /Web.

大原妃美佳, 義久精臣, 菅原由紀子, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 安齋文弥, 佐藤悠, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者における腹部エコーを用いた Shear wave dispersion 評価の有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者における血小板分布幅と予後との関係. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

佐藤悠, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 寶槻優, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 動脈硬化指標 CAVI は心不全患者の脳卒中発症を予測する. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

菅原由紀子, 義久精臣, 佐藤悠, 一條靖洋, 寶槻優, 渡邊孝一郎, 大原妃美佳, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 竹石恭知. 心不全患者における肝静脈血流波形パターンの臨床的意義. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

天海一明, 山田慎哉, 脇岡奈保子, 野寺穰, 金城貴士, 義久精臣, 竹石恭知. 慢性心不全患者における心臓交感神経障害および慢性腎臓病の有無と致死性不整脈イベントの関連. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

芳賀文香, 及川雅啓, 赤間浄, 喜古崇豊, 山田慎哉, 義久精臣, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. パーキンソンニズムと心臓交感神経障害を合併した野生型 ATTR アミロイドーシスの一例. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

寶槻優, 義久精臣, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 君島勇輔, 三阪智史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 石田隆史, 竹石恭知. Glasgow-Blatchford スコアによる心不全入院患者における退院後の消化管出血の予測. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

渡邊孝一郎, 義久精臣, 佐藤悠, 寶槻優, 安齋文弥, 一條靖洋, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 佐藤崇匡, 金城貴士, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者の Cardio-Ankle Vascular Index は運動耐容能低下と予後を予測する. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

渡邊孝一郎, 義久精臣, 佐藤悠, 寶槻優, 安齋文弥, 一條靖洋, 君島勇輔, 横川哲朗, 三阪智史, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 心不全患者の腎血行動態評価における腹部エコーの有用性. 第 69 回日本心臓病学会学術集会; 20210917-19; 米子/Web.

Abe S, Yoshihisa A, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. TRACP-5b is associated with high mortality in hospitalized patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Effect of cardio-ankle vascular index on predicting new onset stroke in heart failure patients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Hotsuki Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Sato Y, Kimishima Y, Kiko T, Yokokawa T, Abe S, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. Effect of glasgow-blatchford score on post-discharge prediction of gastrointestinal bleeding in heart failure inpatients. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Isomatsu D, Sato T, Yoshihisa A, Ishida T, Takeishi Y. Clinical significance of resting heart rate in heart failure with preserved ejection fraction and sinus rhythm. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Ohara H, Yoshihisa A, Sugawara Y, Ichijo Y, Hotsuki Y, Watanabe K, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Shear wave dispersion predicts liver fibrosis and adverse outcomes in patients with heart failure. 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Oikawa M, Yaegashi D, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kobayashi A, Yoshihisa A, Nakazato K, Ishida T, Takeishi Y. D-dimer is a predictive factor of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction in patients treated

with cardiotoxic chemotherapy. 第25回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Sato Y, Yoshihisa A, Watanabe K, Hotsuki Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. High platelet distribution width is associated with increased mortality in heart failure patients. 第25回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

Watanabe K, Yoshihisa A, Sato Y, Hotsuki Y, Anzai F, Ichijo Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Cardio-ankle vascular index is associated with impaired exercise capacity and predicts poor prognosis in patients with heart failure. 第25回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

八重樫大輝, 石田隆史, 菊田淳, 及川雅啓, 横川哲朗, 三阪智史, 義久精臣, 佐野秀樹, 田代聡, 竹石恭知. 小児がんサバイバーにおけるDNA損傷定量の意義. 第4回日本腫瘍循環器学会学術集会; 20211012-14; Web.

星出聡, 義久精臣, 土田文宏, 水野裕之, 寺川宏樹, 葛西隆敏, 小糸仁史, 安藤眞一, 渡辺尚彦, 竹石恭知, 苅尾七臣. 睡眠時無呼吸症候群を疑われた患者での pulse transit time (PTT)でとらえた beat-to-beat 血圧と定時測定血圧の差: PTT 血圧・SAS 研究会. 第43回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web.

高橋一人, 兼清健志, 金井数明, 松田希, 井口正寛, 北爪しのぶ. 多発性硬化症患者および疾患モデルマウスにおける脱髄関連アストロサイトの出現. 第40回日本糖質学会年会; 20211027-29; 鹿児島/Web.

石井直仁, 黒崎祥史, 井本明美, 高橋博之, 池永秀樹, 土筆智晶, 小幡進, 鈴木英明, 横場正典, 市川尊文, 竹中恒夫, 片桐真人. 腎症発症前糖尿病ラットにおける近位尿細管のマイトファジー誘導による腎機能保護について. 第61回日本臨床化学学会年次学術集会; 20211105-30; 福岡/Web.

黒崎祥史, Rikke Nielsen, 大内基司, 森田亜州華, 井本明美, 川上文貴, 鈴木英明, 市川尊文, 横場正典, 片桐真人, 竹中恒夫, 石井直仁. 近位尿細管において脂肪酸結合アルブミン負荷は過剰な細胞増殖を介して細胞老化を促進する. 第61回日本臨床化学学会年次学術集会; 20211105-30; 福岡/Web.

鈴木英明, 田近洋介, 小菅優子, 小林浩二, 黒崎祥史, 井本明美, 石井直仁, 青山直善, 高橋一人, 北爪しのぶ, 小川一英, 市川尊文, 志村浩己. ヒートショックプロテイン72はヒト血小板の凝集を促進し血栓を形成する. 第61回日本臨床化学学会年次学術集会; 20211105-30; 福岡/Web.

黒崎祥史, 土筆智晶, 鈴木英明, 市川尊文, 片桐真人, 石井直仁. 脂肪酸結合アルブミンはPKC活性化を介して近位尿細管上皮細胞の細胞増殖および細胞老化を誘導する. 第68回日本臨床検査医学会学術集会; 20211111-14; 富山/Web.

鈴木英明, 小菅優子, 小林浩二, 黒崎祥史, 石井直仁, 市川尊文, 志村浩己. ヒートショックプロテイン72はADPおよびコラーゲンによる血小板凝集を亢進させ血栓形成に関与する. 第68回日本臨床検査医学会学術集会; 20211111-14; 富山/Web.

三浦里織, 北爪しのぶ, 小川一英, 他. アミロイド前駆体タンパク質 (APP) 770は血小板に特異的に発現し放出される. 第94回日本生化学会大会; 20211113-15; Web.

北爪しのぶ, 立田由里子, 三浦里織, 他. 血中の A β およびその関連分子の由来. 第 40 回日本認知症学会学術集会; 20211126-28; 東京/Web.

立田由里子, 北爪しのぶ, 三浦里織, 他. 新規 CAA モデルマウス血管内皮細胞由来の APP は脳内血管に A β を沈着させる. 第 40 回日本認知症学会学術集会; 20211126-28; 東京/Web.

大原妃美佳, 三阪智史, 義久精臣, 一條靖洋, 菅原由紀子, 富田湧介, 渡邊孝一郎, 佐藤悠, 阿部諭史, 佐藤崇匡, 及川雅啓, 小林淳, 中里和彦, 石田隆史, 竹石恭知. 心不全患者における心臓・肝臓連関の病態評価と肝臓由来ホルモン・ヘパトカインの意義. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

過年業績

高橋沙樹, 力丸峻也, 佐々木睦美, 渡邊万央, 山田舞衣子, 皆川敬治, 高野希美, 奥津美穂, 小野智, 三浦里織, 川畑絹代, 三村耕作, 鈴木剛, 池田和彦. 当院における救急部常備赤血球製剤の運用. 第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会; 20200528; 誌上.

三浦里織, 豊川真弘, 大橋一孝, 高野由喜子, 本田睦子, 今井美菜子, 丹野大樹, 庄司龍弥, 坂本有子, 伊藤祐子, 大花昇, 山寺幸雄, 志村浩己. 抗酸菌検査における遺伝子検査装置 μ TAS Wako g1 の性能評価. 第 69 回日本医学検査学会; 20200906; 千葉.

〔シンポジウム〕

喜古崇豊, 及川雅啓, 小林淳, 義久精臣, 竹石恭知. FDG PET/MRI を用いた心サルコイドーシスの予後評価について. 第 7 回日本心筋症研究会; 20210417; Web.

豊川真弘. 微生物検査の変遷. 第 95 回日本感染症学会学術集会; 20210509; 横浜/Web.

義久精臣, 石橋伸治, 堀越裕子, 松田美津子, 山寺幸雄, 大原妃美佳, 菅原由紀子, 及川雅啓, 小林淳, 竹石恭知. 消化器 5 エラストグラフィーの使い道 心不全患者における肝うっ血および線維化指標としてのエラストグラフィーの有用性 (パネルディスカッション). 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web. 超音波医学. 48(Suppl):S290.

義久精臣. 心不全の睡眠呼吸障害～治療どうしてますか?～: CSA 優位な心不全 (HFpEF) (ワークショップ). 日本睡眠学会第 46 回定期学術集会; 20210923; 福岡/Web.

佐藤崇匡, 義久精臣, 竹石恭知. 会長特別企画 4 本音で語ろう新しい心不全治療薬 (SGLT2 阻害薬、イバブラジン): 心不全診療における心拍数の重要性 (シンポジウム). 第 25 回日本心不全学会学術集会; 20211001-03; Web.

〔特別講演〕

義久精臣. ARNI を取り入れた心不全診療の新展開. 石川臨床懇話会; 20210318; 石川町/Web.

義久精臣. 慢性心不全の診断とこれからの治療. 第 9 回郡山地区臨床疾患勉強会; 20210519; Web.

義久精臣. 循環器合併症を踏まえた2型糖尿病治療. 福島糖尿病学術講演会; 20210527; 福島/Web.

義久精臣. Special Lecture : 循環器疾患からみた COPD の発掘意義—心不全を中心に—. Scientific Exchange Meeting in Fukushima; 20210608; 福島/Web.

豊川真弘. ノカルジア感染症の現状と薬剤感受性. 東北抗菌薬倶楽部第9回研究会; 20211218; 仙台/Web.

〔招待講演〕

豊川真弘. 遺伝子検査の第一歩. 第32回日本臨床微生物学会・学術集会; 20210128; .

義久精臣. 心不全治療における SGLT2 阻害薬の可能性. 心不全治療戦略会議 in 福島; 20210219; 福島/Web.

義久精臣. 心不全治療における SGLT2 阻害薬の可能性. 心不全治療戦略会議 in 福島; 20210312; 福島/Web.

義久精臣. ランチョンセミナー10 睡眠呼吸障害管理における PTT 血圧測定の意義. 第43回日本高血圧学会総会; 20211015-17; Web.

〔その他〕

義久精臣. 心不全予防のための睡眠時無呼吸症候群管理のポイント. 日本高血圧学会 心不全予防のための Web 講座; 20211001; Web.

義久精臣. 慢性心不全における呼吸療法 ASV. 日本心不全学会 e-learning; 20211001; Web.

総合科学

論文

〔原 著〕

Miura T, Goh VST, Fujishima Y, Takebayashi K, Nakayama R, Kasai K, Ariyoshi K, Tsujiguchi T, Yoshida MA. Radiation emergency medical preparedness for cytogenetic biodosimetry in Hirosaki University, Japan. AIP Conference Proceedings. 202111; 2381(1):020041.

Sorimachi A, Nagamatsu Y, Omori Y, Ishikawa T. Comparison experiments for radon and thoron measuring instruments at low-level concentrations in one room of a Japanese concrete building. Applied Radiation and Isotopes. 202107; 173:109696.

Xu M, Kasahara K, Sorimachi A, Matsuda K. Nitric acid dry deposition associated with equilibrium shift of ammonium nitrate above a forest by long-term measurement using relaxed eddy accumulation. *Atmospheric Environment*. 202107; 256(1):118454.

Nakata A, Sato K, Fujishima Y, Ting VGS, Nakayama K, Ariyoshi K, Tsuruoka C, Shang Y, Iizuka D, Kakinuma S, Yamashiro H, Miura T. Evaluation of Global DNA Methylation and Gene Expression of Izumo1 and Izumo1r in Gonads after High- and Low-Dose Radiation in Neonatal Mice. *Biology*. 202112; 10(12):1270.

Fujishima Y, Kino Y, Ono T, Goh VST, Nakata A, Ariyoshi K, Kasai K, Toyoda T, Akama T, Tazoe H, Yamada M, Yoshida MA, Miura T. Transition of Radioactive Cesium Deposition in Reproductive Organs of Free-Roaming Cats in Namie Town, Fukushima. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(4):1772.

Goh VST, Nakayama R, Blakely WF, Abe Y, Chua CEL, Chew ZH, Nakata A, Fujishima Y, Yoshida MA, Kasai K, Ariyoshi K, Miura T. Improved harvest and fixation methodology for isolated human peripheral blood mononuclear cells in cytokinesis-block micronucleus assay. *International Journal of Radiation Biology*. 202102; 97(2):194-207.

Goh VST, Takebayashi K, Nakayama R, Fujishima Y, Yoshida MA, Kasai K, Ariyoshi K, Miura T. Cytokinesis-block micronucleus assay performed in 0 and 2 Gy irradiated whole blood and isolated PBMCs in a 6-well transwell co-culture system. *International Journal of Radiation Biology*. 202109; 97(12):1631-1640.

Murugan R, Kavasi N, Sahoo SK, Omori Y, Sorimachi A, Takahashi H, Aono T. Measurement of uranium isotope ratios in Fukushima-accident contaminated soil samples using multi collector inductively coupled plasma mass spectrometry. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202106; 232:106568.

Kasar S, Mishra S, Sahoo SK, Kavasi N, Omori Y, Arae H, Sorimachi A, Aono T. Sorption-desorption coefficients of uranium in contaminated soils collected around Fukushima Daiichi Nuclear Power Station. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202107; 233:106617.

Ariyoshi K, Hiroyama Y, Fujiwara N, Miura T, Kasai K, Nakata A, Fujishima Y, Ting Goh VS, Yoshida MA. Extracellular vesicles released from irradiated neonatal mouse cheek tissue increased cell survival after radiation. *Journal of Radiation Research*. 202101; 62(1):73-78.

Shiromoto Y, Sakurai M, Minakuchi M, Ariyoshi K, Nishikura K. ADAR1 RNA editing enzyme regulates R-loop formation and genome stability at telomeres in cancer cells. *Nature Communications*. 202103; 12(1):1654.

Miura T, Kasai K, Abe Y, Fujishima Y, Goh V, Ting S, Nakayama R, Takebayashi K, Sasaki N, Ariyoshi K, Nakata A, Tsujiguchi T, Ito K, Hanada H, Yoshida MA. Human resource development for cytogenetic biodosimetry at Hiroshima University. *Radiation Environment and Medicine*. 202108; 10(2):102-107.

Komatsu K, Iwasaki T, Murata K, Yamashiro H, Goh VST, Nakayama R, Fujishima Y, Ono T, Kino Y, Simizu Y, Takahashi A, Shinoda H, Ariyoshi K, Kasai K, Suzuki M, Palmerini MG, Belli M, Macchiarelli G,

Oka T, Fukumoto M, Yoshida MA, Nakata A, Miura T. Morphological reproductive characteristics of testes and fertilization capacity of cryopreserved sperm after the Fukushima accident in raccoon (*Procyon lotor*). *Reproduction in Domestic Animals*. 202105; 56(3):484-497.

Yasuta T, Blake J. Developing transferable writing skills through manga. *Second Language Research & Practice*. 202110; 2(1):140-153.

高木修一, 久保田恵佑, 横内裕一郎. 東北英語教育学会研究紀要 22-40 号掲載論文におけるテーマおよび研究デザインの系統的レビュー. 東北英語教育学会研究紀要. 202103; (41):33-42.

〔総説等〕

菓子野元郎, 熊谷純, 有吉健太郎, 小嶋光明. 放射線誘発バイスタンダー効果およびレスキュー効果の実態と今後の展望. 放射線生物研究. 202103; 56(2):19.

著 書・訳 書

有吉健太郎. 第 6 章 遺伝子. In: 原論吉, 岡村直道, 大城聡 編集. 生化学 (最新臨床検査学講座). 東京: 医歯薬出版; 202103. p.157-177.

研究発表等

〔研究発表〕

Yasuta T. Developing transferable college-level writing skills through comic making. *Hawai'i International Conference on Education 2021*; 20210104-07; Web. *Proceedings of Hawai'i International Conference on Education 2021*. 495-500.

久保田恵佑. 技能統合型ライティング用ルーブリックの改善: 内容的側面に焦点を当てて. 東北英語教育学会第 39 回岩手研究大会; 20211024.

Ariyoshi K, Fujishima Y, Gst V, Takahashi A, Shinoda H, Kasai K, Nakata A, Miura T, Yoshida M. Possible Low-Dose radiation effects on wild animals, large Japanese field mice (*Apodemus speciosus*) and freshwater planarian (*Dugesia japonica*), in Fukushima. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24.

〔シンポジウム〕

Hasan MM, Janik M, Sorimachi A, Imoto T. Survey of indoor radon concentrations in Dhaka city, Bangladesh. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association (IRPA); 20210118-0205.

附属病院長

論文

〔原 著〕

Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. CTLA-4 Expression in Tumor-infiltrating Lymphocytes Is Irrelevant to PD-L1 Expression in NSCLC. *Anticancer Research*. 202112; 41(12):6267-6272.

Okumura N, Soh J, Suzuki H, Nakata M, Fujiwara T, Nakamura H, Sonobe M, Fujinaga T, Kataoka K, Gamba K, Kataoka M, Hotta K, Yoshioka H, Matsuo K, Sakamoto J, Date H, Toyooka S. Randomized phase II study of daily and alternate-day administration of S-1 for adjuvant chemotherapy in completely-resected stage I non-small cell lung cancer: results of the Setouchi Lung Cancer Group Study 1301. *BMC Cancer*. 202105; 21(1):506.

Takagi H, Muto S, Yamaguchi H, Mine H, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Our experience of lung resection in patients who decline blood transfusion for religious reasons. *General Thoracic and Cardiovascular Surgery*. 202107; 69(7):1105-1111.

Ohtaki Y, Shimizu K, Suzuki H, Suzuki K, Tsuboi M, Mitsudomi T, Takao M, Murakawa T, Ito H, Yoshimura K, Okada M, Chida M; Japanese Association for Chest Surgery. Salvage surgery for non-small cell lung cancer after tyrosine kinase inhibitor treatment. *Lung Cancer*. 202103; 153:108-116.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Kanno R, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Yamazaki S, Kikuchi H, Sakakibara-Konishi J, Oizumi S, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Honjo O, Minami Y, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Nakamura K, Inano A, Isobe H, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) as a possible therapeutic target and its application to radioimmunotherapy using ¹²⁵I-labelled anti-DLK1 antibody in lung cancer models (HOT1801 and FIGHT004). *Lung Cancer*. 202103; 153:134-142.

Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Amano T, Ohkuri T, Yamazaki S, Kikuchi H, Oizumi S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Higuchi M, Honjo O, Minami Y, Watanabe N, Nishimura M, Suzuki H, Dosaka-Akita H, Isobe H. Prognostic significance of OX40 + lymphocytes in tumor stroma of surgically resected small-cell lung cancer. *OncoImmunology*. 202109; 10(1):1971430.

Muto S, Ozaki Y, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Nanamiya H, Imai JI, Isogai T,

Watanabe S, Suzuki H. Tumor β -catenin expression is associated with immune evasion in non-small cell lung cancer with high tumor mutation burden. *Oncology Letters*. 202103; 21(3):203.

Takahashi N, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Dobashi Y, Katahira K, Ishihara H, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. Construction of *in vitro* patient-derived tumor models to evaluate anticancer agents and cancer immunotherapy. *Oncology Letters*. 202105; 21(5):406.

Watanabe M, Higashi T, Ozeki K, Higashi AY, Sugimoto K, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H, Chiba H. CLDN15 is a novel diagnostic marker for malignant pleural mesothelioma. *Scientific Reports*. 202106; 11(1):12554.

Matsuo T, Imai K, Nanjo H, Takashima S, Hiroshima Y, Atari M, Kuriyama S, Ishii Y, Wakamatsu Y, Sato Y, Motoyama S, Matsumura Y, Suzuki H, Nomura K, Minamiya Y. Harmonization across programmed death ligand 1 (PD-L1) assays for lung cancer by immunohistochemistry using noncontact alternating current electric field mixing. *Thoracic Cancer*. 202104; 12(8):1187-1194.

〔総説等〕

鈴木弘行. Current Organ Topics: Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌 総括. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1012-1013.

武藤哲史, 鈴木弘行. Thorax/Lung and Mediastinum, Pleura: Cancer 肺癌 局所進行非小細胞肺癌に対する治療戦略の進歩. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1027-1032.

尾崎有紀, 鈴木喜貴, 西山恭子, 錫谷達夫, 鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害薬（抗 PD-1 抗体）による免疫療法と腸内細菌叢の関係. 癌と化学療法. 202109; 48(9):1096-1099.

木村隆, 横山斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきグランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. *日本外科学会雑誌*. 202101; 122(1):90-92.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 時代が求める外科医の働き方 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. *日本外科学会雑誌*. 202103; 122(2):250-252.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 非小細胞肺癌に対する周術期治療としての免疫チェックポイント阻害薬の有用性. *肺癌*. 202112; 61(7):919-923.

樋口光徳, 鈴木弘行. 【呼吸器症候群（第3版）（V）ーその他の呼吸器疾患を含めてー】縦隔疾患 その他の縦隔疾患 縦隔腫外造血. 別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ. 202112; No.21:309-312.

〔症例報告〕

Muto S, Ozaki Y, Inoue T, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. Diffuse Cystic

Metastases in the Lung after Nivolumab Treatment in a Patient with Non-Small Cell Lung Cancer: A Case Report. Case Reports in Oncology. 202102; 14(1):34-38.

Higuchi M, Kawamata T, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Matsumura Y, Suzuki H. Pathological Complete Response after Immune-Checkpoint Inhibitor Followed by Salvage Surgery for Clinical Stage IV Pulmonary Adenocarcinoma with Continuous Low Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio: A Case Report. Case Reports in Oncology. 202107; 14(2):1124-1133.

Okabe N, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Muto S, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Pulmonary large cell carcinoma, highly positive for PD-L1, shows marked response to pembrolizumab: A case report. Thoracic Cancer. 202104; 12(7):1141-1144.

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Yamaura T, Fukuhara M, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. A patient with ALK-positive lung adenocarcinoma who survived alectinib-refractory postoperative recurrence for 4 years by switching to ceritinib. Thoracic Cancer. 202108; 12(15):2225-2228.

〔その他〕

鈴木弘行. 特集 炉辺閑話 2021 新型コロナウイルス感染症と医師の働き方改革. 日本医事新報. 202101; (5045):59.

鈴木弘行. 編集後記 今月号のトピックス. 日本呼吸器外科学会雑誌. 202103; 35(2).

鈴木弘行. 編集後記. 日本免疫治療学会誌. 202112; 9:33.

鈴木弘行. 福島県病院協会理事就任にあたり. 福島県病院協会会報. 202101; 112:3.

著 書・訳 書

樋口光徳, 鈴木弘行. X.胸膜 4.急性膿胸. In: 日本呼吸器外科学会, 呼吸器外科専門医合同委員会 編集. 呼吸器外科テキスト: 外科専門医・呼吸器外科専門医をめざす人のために 改訂第2版. 東京: 南江堂; 202104. p.419-423.

研究発表等

〔研究発表〕

Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Study of Relationship Between Proportion of CTLA-4 Positive Tregs in Tumor Infiltrating Lymphocytes and PD-L1 TPS. IASLC 2020 World Conference on Lung Cancer; 20210128-31; Web(Singapore). Journal of Thoracic Oncology. 16(3 Supplement):S569.

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Muto S, Okabe N, Shio Y, Suzuki H. PD1-Positive Tertiary Lymphoid Structure as a Predictive Factor of Durable Clinical Effect in Immunotherapy for NSCLC. IASLC 2021 World Conference on Lung Cancer; 20210908-14; Web. Journal of Thoracic Oncology. 16(10 Supplement):S912.

山口光, 武藤哲史, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 気管支鏡検査後自然消退し、4ヵ月後再増大を認めた扁平上皮癌の一例. 第37回東北肺癌研究談話会; 20210206; Web.

岡部直行, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. CBDCA+nab-PTX にて完全奏効となった胸腺癌術後再発症例の一例. 第40回日本胸腺研究会; 20210206-28; Web.

Tanaka H, Mimori K, Goto Y, Shimizu H, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Left lower lobectomy and lingulectomy with VATS for a child with CPAM: A case report. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 癌に対する複合免疫療法の新展開～外科医でなければできないこと～. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SP-7-6.

尾崎有紀, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当科におけるワークライフバランスの取り組み. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-041-4.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 外科的切除を施行した胸腺癌における腫瘍免疫関連因子の検討. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-070-1.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. がん免疫療法のバイオマーカー探索は外科医に有利である: 肺癌切除検体において評価可能なPD1高発現胚中心を有する三次リンパ様構造は長期抗腫瘍効果の十分条件となる可能性がある. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. SF-070-6.

高木玄教, 武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 宗教上の信条による輸血拒否症例への肺切除術11例の検討. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-046-2.

塩豊, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 山浦匠, 松村勇輝, 岡部直行, 武藤哲史, 長谷川剛生, 鈴木弘行. ロボット支援下肺葉切除術の導入には術前3次元CT画像が有用である. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-047-7.

峯勇人, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. ロボット支援下手術は低侵襲手術か. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-047-8.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修修了者を増やしタスクシフトを推進するための課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. PS-094-8.

奥村典仁, 宗淳一, 鈴木弘行, 中田昌男, 藤原俊哉, 中村廣繁, 園部誠, 藤永卓司, 片岡和彦, 玄馬顕一, 片岡正文, 堀田勝幸, 吉岡弘鎮, 松尾恵太郎, 坂本純一, 伊達洋至, 豊岡伸一. 病理病期 I 期 NSCLC 切除例に対する S-1 隔日投与補助化学療法に関する多施設共同無作為化第 II 相試験 (SLCG1301). 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):RO12-5.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における, β -catenin の発現と免疫チェックポイント阻害薬による治療効果. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):RO24-2.

松村勇輝, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法の効果予測に外科病理学は必要か? 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO10-4.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術後の気管支瘻を Dumon stent で閉鎖し, 呼吸不全から回復し得た 1 例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO32-7.

峯勇人, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. ロボット支援下手術は低侵襲手術か. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO58-8.

山口光, 猪俣頌, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 原発性肺癌、悪性リンパ腫との鑑別に難渋した肺硝子化肉芽腫の一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO68-5.

猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺内転移と臨床診断したが、びまん性特発性神経内分泌細胞過形成を合併した stage I 肺腺癌であった一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO79-1.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺腺扁平上皮癌の根治的切除 20 例の検討. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO85-1.

高木玄教, 松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 齋藤悠, 田辺隼人, 島袋允生, 鈴木弘行. 異所性 ACTH 産生の定型カルチノイドとクリプトコッカス感染症を合併した一例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO92-7.

尾崎有紀, 山口光, 高木玄教, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺結節を呈した Colloid adenocarcinoma の 1 例. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO101-3.

岡部直行, 猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当科におけるロボット支援下肺葉切除～ロボット支援下手術は低侵襲手術か～. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

武藤哲史, 猪俣頌, 山光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌における腫瘍浸潤リンパ球の CTLA-4 発現率と, 腫瘍の PD-L1 発現率との関係. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

松村勇輝, 山光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法において PD1 高発現三次リンパ様構造は独立した長期抗腫瘍効果予測因子である. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web/誌上.

高木玄教, 武藤哲史, 猪俣頌, 山光, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 術中操作が原因と考えられた術後気管支穿孔の 2 例. 第 44 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会; 20210624-25; 名古屋/Web. 気管支. 43(Suppl):S340.

武藤哲史, 猪俣頌, 山光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌の腫瘍浸潤リンパ球における CTLA-4 発現率と, 腫瘍の PD-L1 発現率との関係. 第 25 回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 186.

松村勇輝, 山光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 福原光朗, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫療法において PD1 高発現三次リンパ様構造は独立した長期抗腫瘍効果予測因子である. 第 25 回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 190.

猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 多発肺内転移と臨床診断したが、びまん性特発性神経内分泌細胞過形成 (DIPNECH) を合併した早期肺腺癌であった一例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1003.

岡部直行, 猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. CBDCA+nab-PTX にて完全奏効を得た胸腺癌術後再発症例の一例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1003-1004.

藤生浩一, 内海裕, 鈴木志恒, 鈴木弘行. ニボルマブ投与中に発症した後腹膜線維症の 1 例. 第 60 回日本肺癌学会東北支部会・第 47 回日本呼吸器内視鏡学会東北支部会; 20210731; Web. 肺癌. 61(7):1005.

山光, 塩豊, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 鈴木弘行. 肺癌術後 3 か月で発症した肺アスペルギルス症による続発性気胸の 1 例. 第 25 回日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会; 20210917; Web. 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌. 21(2):115.

猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. COVID-19 感染拡大のため EGFR-TKI 内服を手術に先行し、血管形成を回避できた一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

武藤哲史, 猪俣頌, 山光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 鎖骨骨折を伴う多

発肋骨骨折によって生じた胸郭変形に対して外固定を行なった一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

比佐奨, 高木玄教, 福原光朗, 鈴木弘行. 乳癌胸と縦隔リンパ節腫大を伴い胸腔鏡下生検術により診断した悪性リンパ腫の一例. 第 180 回東北外科集談会・第 106 回日本胸部外科学会東北地方会; 20210925; Web.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. ダンベル型左後縦隔腫瘍の 2 例に対する側臥位と腹臥位 VATS アプローチの経験. 第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

山口大輝, 渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 気管分岐部に発生した腺様嚢胞癌の一切除例. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌と食道癌の重複癌が疑われ術前補助化学療法として FP (5-FU+CDDP) 療法後に同時手術した 3 例の報告. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

佐藤宏樹, 岡部直行, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 上咽頭転移を来した肺腺癌の一例. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

渡部晶之, 山口大輝, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 当院における降下性壊死性縦隔炎の 3 例についての検討. 第 72 回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会; 20211111-12; Web.

見城明, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾. チーム医療の推進: 外科医の働き方改革と特定看護師へのタスク・シフト. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S51.

川井大地, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾, 見城明. 特定看護師へのタスクシフトには組織的かつ計画的な対応が必要である. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S72.

北堀有希, 岩館学, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行, 鈴木眞一. 甲状腺癌手術 25 年以上経過して発見された肺転移の 2 切除症例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web. 日本臨床外科学会雑誌. 82(Supplement):S888.

高木玄教, 武藤哲史, 福原光朗, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌への ICI 投与における内分泌障害の検討. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):620.

尾崎有紀, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬と殺細胞性抗癌剤併用療法後の二次治療の検討. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):631.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. NSCLC における

腫瘍局所の制御性T細胞及びCD8 T細胞のCTLA-4発現率とPD-L1 TPS との関係. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):646.

岡部直行, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 抗PD-1抗体+抗CTLA-4抗体併用療法によってPseudoprogressionを認めた胸腺癌の一例. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):659.

松村勇輝, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. PD1陽性胚中心を有する三次リンパ様構造は非小細胞肺癌に対する免疫療法の長期臨床効果予測因子である. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):677.

山口光, 武藤哲史, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 非小細胞肺癌における β -cateninの発現と免疫チェックポイント阻害薬による治療効果. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):678.

原田敏之, 横内浩, 山崎成夫, 浦本秀隆, 菊池創, 秋江研志, 菅谷文子, 藤田結花, 高村圭, 小島哲弥, 樋口光徳, 本庄統, 南幸範, 渡部直己, 大泉聡史, 西村正治, 鈴木弘行, 秋田弘俊, 磯部宏. 小細胞肺癌患者の予後予測因子としてのOX40陽性リンパ球の重要性. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):679.

渡部晶之, 猪俣頌, 山口光, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 術後再発LCNECに対するプラチナ併用療法+ICIによる治療効果の検討. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):681.

要知輝, 武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 松村勇輝, 岡部直行, 塩豊, 鈴木弘行. 対側肺の副腫瘍結節と診断したが, ICI併用化学療法が片側にのみ著効し, 手術に至った同時多発肺癌の一例. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):728.

山口大輝, 武藤哲史, 要知輝, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌術後のFDG-PET/CTにおいて頸部リンパ節転移と考えられたが神経鞘腫であった1例. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):733.

猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. COVID-19感染拡大のため, EGFR-TKI内服後に手術し血管形成を回避できた一例. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):740.

山口光, 武藤哲史, 猪俣頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 自然消退後に再増大を認めた肺扁平上皮癌の1切除例～腫瘍微小環境からみた機序の考察～. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔シンポジウム〕

山口光, 松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 樋口光徳, 鈴木弘行. 複合免疫療法後に病理学的完全寛解を得られた非小細胞肺癌における病理学的, 免疫組織学的検討. 第121回日本外科学

会定期学術集会; 20210408-10; Web. 抄録集. WS-03-3.

樋口光徳, 鈴木弘行. AIを活用した肺癌検診画像支援. 第61回日本呼吸器学会学術講演会; 20210423-25; 東京/Web. 日本呼吸器学会誌. 10(増刊):44.

鈴木弘行. パネルディスカッション ニボ+イピ+ケモをどうやって使っていくか? (パネリスト). I-O Next Steps Seminar 2021; 20210516; Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 免疫療法の進歩、現状と課題～腫瘍の微小環境をふまえて～. 第25回日本がん免疫学会総会; 20210701-03; 和歌山. プログラム・抄録集. 45.

鈴木弘行. Panel Discussion 医療AIの臨床応用を阻む障壁と成功事例から学ぶ対応策 (パネリスト). National Scientific Exchange Meeting 2021; 20210923; Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 樋口光徳, 塩豊. 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬療法後サルベージ手術の検討. 第74回日本胸部外科学会定期学術集会; 20211031-1103; 東京/Web.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 肺癌の微小環境からみた免疫チェックポイント阻害薬治療後サルベージ手術の有効性. 第62回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜/Web. 肺癌. 61(6):504.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌における β -cateninに注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

武藤哲史, 猪俣頌, 山口光, 高木玄教, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 肺癌におけるirAEの経験とその盲点. 第34回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔特別講演〕

鈴木弘行. がん免疫療法の新たな展開. 第39回岡山免疫懇話会; 20210303; 岡山/Web.

鈴木弘行. 肺癌免疫療法の進歩～日常臨床における疑問解決に向けて～. Niigata Lung Cancer Clinical Research Seminar; 20210305; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における複合免疫療法の意義. NSCLC エリア WEB セミナー; 20210326; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における複合免疫療法の意義. 第4回鹿児島呼吸器外科免疫チェックポイント阻害薬実務の会; 20210416; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 山形県肺癌免疫療法セミナー2021; 20210529; Web.

鈴木弘行. Ⅲ期非小細胞肺癌に対する PACIFIC レジメンの有用性. NSCLC Seminar in TOKUSHIMA; 20210611; 徳島.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 第 3 回 Immuno Oncology Seminar in Kanagawa; 20210709; 横浜.

鈴木弘行. 肺癌治療の今後の展望. 第 44 回新潟肺癌研究会総会; 20210821; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. 非小細胞肺癌 IO-IO セミナー; 20210827; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. Chugai Lung Cancer Surgical Colloquium in 南東北; 20210903; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. 第 3 回 The Seeds Seminar; 20210924; Web.

鈴木弘行. 早期肺癌治療の変遷と最新の話題. Lung Cancer Scientific Exchange Meeting 2021 in 北海道東北; 20211106; Web.

鈴木弘行. 外科医が考える進行肺癌に対する治療戦略. AstraZeneca Lung Cancer Seminar; 20211109; Web.

鈴木弘行. 肺癌治療における薬物療法の進歩. Oncology 医療連携セミナー; 20211203; Web.

鈴木弘行. 外科医が考えるこれからの肺癌免疫療法. KPUM Thoracic Surgery Meeting; 20211210; 京都/Web.

〔招待講演〕

鈴木弘行. 肺癌免疫療法の進歩～外科医目線での ICI の使い方～. 第 38 回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; Web.

鈴木弘行. 肺癌に対する複合免疫療法の進歩. ALL West JAPAN Meet the Expert～Lead the next～; 20210702; Web.

鈴木弘行. エドルミズの作用とがん悪液質の機序の関係. がん悪液質診断・治療 WEB カンファレンス～エドルミズの位置づけを考える～; 20210706; Web.

鈴木弘行. エドルミズの作用とがん悪液質の機序の関係. がん悪液質診断・治療 WEB カンファレンス～エドルミズの位置づけを考える～; 20210729; Web.

鈴木弘行. 肺癌診療における AI の役割を考える～臨床医の立場から～. National Scientific Exchange Meeting 2021; 20210923; Web.

鈴木弘行. タバコの弊害と肺癌治療の現状. 令和 3 年度健康教育推進者研修会; 20211004; 下郷町.

鈴木弘行. ドライバー遺伝子変異陽性肺癌治療の現状と課題. 福島希少肺癌フォーラム 2021; 20211007; Web.

〔その他〕

鈴木弘行. 中外製薬提供肺癌啓発ラジオ放送. ラジオ福島; 20210802.

鈴木弘行. 医学研究と医療の近未来像を議論しよう！～肺癌の外科療法と薬物療法を例に～. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20210921; Web.

樋口光徳, 永田毅, 橋本潤, 鈴木弘行. 肺癌検診への人工知能 (Artificial Intelligence, AI) 実用化に向けた研究. 第4回福島テックプランングランプリ; 20211127; 郡山.

医療情報部

論 文

〔原 著〕

Neupane P, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Ito M, Thar Min AK, Saito K, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. The Expression of Immune Checkpoint Receptors and Ligands in the Colorectal Cancer Tumor Microenvironment. *Anticancer Research*. 202110; 41(10):4895-4905.

Saze Z, Kase K, Nakano H, Yamauchi N, Kaneta A, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Momma T, Kono K. Functional benefits of the double flap technique after proximal gastrectomy for gastric cancer. *BMC Surgery*. 202111; 21(1):392.

Min AKT, Mimura K, Nakajima S, Okayama H, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. Therapeutic potential of anti-VEGF receptor 2 therapy targeting for M2-tumor-associated macrophages in colorectal cancer. *Cancer Immunology, Immunotherapy*. 202102; 70(2):289-298.

Momma T, Okayama H, Kanke Y, Fukai S, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Ohki S, Kono K. Validation of Gene Expression-Based Predictive Biomarkers for Response to Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Locally Advanced Rectal Cancer. *Cancers*. 202109; 13(18):4642.

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promotor hypermethylation. *Carcinogenesis*. 202102; 42(1):21-30.

Yamada L, Saito M, Thar Min AK, Saito K, Ashizawa M, Kase K, Nakajima S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Selective sensitivity of EZH2 inhibitors based on synthetic lethality in ARID1A-deficient gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202101; 24(1):60-71.

Takao M, Yamaguchi T, Eguchi H, Yamada T, Okazaki Y, Tomita N, Nomizu T, Momma T, Takayama T, Tanakaya K, Akagi K, Ishida H. APC germline variant analysis in the adenomatous polyposis phenotype in Japanese patients. *International Journal of Clinical Oncology*. 202109; 26(9):1661-1670.

Sakamoto W, Ohki S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Saito M, Saze Z, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Long-term Outcomes of Lower Rectal Cancer Patients Treated with Total Mesorectal Excision and Lateral Pelvic Lymph Node Dissection after Preoperative Radiotherapy or Chemoradiotherapy. *Journal of the Anus, Rectum and Colon*. 202104; 5(2):129-136.

Nakajima S, Mimura K, Saito K, Thar Min AK, Endo E, Yamada L, Kase K, Yamauchi N, Matsumoto T, Nakano H, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Neupane P, Saze Z, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Kaneta A, Momma T, Ohki S, Ohira H, Kono K. Neoadjuvant Chemotherapy Induces IL34 Signaling and Promotes Chemoresistance via Tumor-Associated Macrophage Polarization in Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Molecular Cancer Research*. 202106; 19(6):1085-1095.

Yamauchi N, Kanke Y, Saito K, Okayama H, Yamada S, Nakajima S, Endo E, Kase K, Yamada L, Nakano H, Matsumoto T, Hanayama H, Watanabe Y, Hayase S, Saito M, Saze Z, Mimura K, Momma T, Oki S, Hashimoto Y, Kono K. Stromal expression of cancer-associated fibroblast-related molecules, versican and lumican, is strongly associated with worse relapse-free and overall survival times in patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Oncology Letters*. 202106; 21(6):445.

Kobayashi Y, Kumamoto K, Okayama H, Matsumoto T, Nakano H, Saito K, Matsumoto Y, Endo E, Kanke Y, Watanabe Y, Onozawa H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Momma T, Takenoshita S, Kono K. Downregulation of PAICS due to loss of chromosome 4q is associated with poor survival in stage III colorectal cancer. *PLOS ONE*. 202102; 16(2):e0247169.

Nakano H, Saito M, Nakajima S, Saito K, Nakayama Y, Kase K, Yamada L, Kanke Y, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Goto A, Kono K. PD-L1 overexpression in EBV-positive gastric cancer is caused by unique genomic or epigenomic mechanisms. *Scientific Reports*. 202101; 11(1):1982.

Nakajima S, Mimura K, Matsumoto T, Thar Min AK, Ito M, Nakano H, Neupane P, Kanke Y, Okayama H, Saito M, Momma T, Watanabe Y, Hanayama H, Hayase S, Saze Z, Kono K. The effects of T-DXd on the expression of HLA class I and chemokines CXCL9/10/11 in HER2-overexpressing gastric cancer cells. *Scientific Reports*. 202108; 11(1):16891.

Takeshita E, Ishibashi K, Koda K, Oda N, Yoshimatsu K, Sato Y, Oya M, Yamaguchi S, Nakajima H, Momma T, Maekawa H, Tsubaki M, Yamada T, Kobayashi M, Tanakaya K, Ishida H. The updated five-year overall survival and long-term oxaliplatin-related neurotoxicity assessment of the FACOS study. *Surgery*

Today. 202108; 51(8):1309-1319.

望月翔太郎, 山田玲央, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 中島隆宏, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. 術前確定診断された肺癌胃転移に対して腹腔鏡下切除術を施行した 1 例. 癌と化学療法. 202108; 48(8):1057-1060.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. ミスマッチ修復機構欠損大腸癌における糖鎖抗原を標的とした免疫療法の可能性. 癌と化学療法. 202110; 48(10):1275-1277.

大木進司, 岡山洋和, 千田峻, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. High Risk Stage II 大腸癌における Glasgow Prognostic Score の意義と治療戦略. 癌と化学療法. 202112; 48(13):1770-1773.

小野澤寿志, 山田玲央, 菅家康之, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之. 敗血症と DIC を合併した非穿孔性急性虫垂炎の 1 例. 日本大腸肛門病学会雑誌. 202106; 74(6):364-368.

仲野宏, 渡辺洋平, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う胃十二指腸動脈瘤により出血性十二指腸潰瘍をきたした 1 例. 日本腹部救急医学会雑誌. 202109; 41(6):449-452.

研究発表等

〔研究発表〕

仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 正中弓状靱帯圧迫症候群に伴う胃十二指腸動脈瘤による出血性十二指腸潰瘍を来した 1 例. 第 57 回日本腹部救急医学会総会; 20210311-12; Web.

伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 悪性黒色腫の小腸転移による腸重積に対し外科的切除を施行した 3 例の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

遠藤英成, 金澤匡司, 坂本渉, 松本拓郎, 氏家大輔, 芦澤舞, 中島隆宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. スマートフォンを用いた CT 画像遠隔読影の正確性の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 山田玲央, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 遠藤久仁, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する Bridge to surgery を目的とした大腸ステント留置症例の治療成績. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

加瀬晃志, 渡辺洋平, 伊藤美郷, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 山田玲央, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之,

小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における当院での MSI 検査の現況. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

草間大輔, 菊池智宏, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. pMMR/MSI-L/MSS 大腸癌における抗 PD-1 抗体を用いた免疫治療の可能性. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

近内政美, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの浸潤傾向について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

齋藤元伸, 仲野宏, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 河野浩二. 胃癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子; PD-L1, MSI/MMR, EBV についての検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

坂本渉, 伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 手術合併症に対する大腸外科医の引き出し—その予防とリカバリー—当科における直腸癌に対する低位前方切除術後縫合不全リスク因子解析と予防戦略 開腹・腹腔鏡・ロボットアプローチ併存世代. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

坂本渉, 伊藤美郷, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科における直腸癌に対する低位前方切除術後縫合不全リスク因子解析と予防戦略—開腹・腹腔鏡・ロボットアプローチ併存世代—. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

佐瀬善一郎, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 噴門側胃切除術上川法再建における吻合部狭窄についての検討—腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の比較—. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

鈴木博也, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現機構について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

仲野宏, 齋藤元伸, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 松本拓朗, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. EBV 関連胃癌の臨床病理学的特徴と PD-L1 高発現の機序の解明. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

花山寛之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対する胃全摘術の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

林下宗平, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. EMT を起こした食道扁平上皮癌に対する抗 PD-1 療法の可能性. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 仲野宏, 山田玲央, 松本拓朗, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. MSI 検査の現況. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

三村耕作, 菊池智宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 吉村清, 角田卓也, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌叢に伴う免疫抑制について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

三村耕作, 菊池智宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 吉村清, 角田卓也, 河野浩二. 腸内細菌と外科 大腸癌腫瘍微小環境における腸内細菌叢に伴う免疫抑制について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

望月翔太郎, 中山裕子, 中嶋正太郎, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 胃癌における PD-L1 と PD-L2 の発現について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

門馬智之, 伊藤美郷, 加瀬晃志, 仲野宏, 山田玲央, 松本拓朗, 山内直人, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 早瀬傑, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. がん診療における遺伝性腫瘍診療の今後の課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

山田玲央, 齋藤元伸, 遠藤英成, 仲野宏, 加瀬晃志, 伊藤美郷, 松本拓朗, 菅家康之, 花山寛之, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 小野澤寿志, 岡山洋和, 早瀬傑, 坂本渉, 藤田正太郎, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 胃癌発生に関与する CDX2 と IL-6/STAT3 シグナルの検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

渡辺洋平, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 松本拓朗, 金田晃尚, 菅家康之, 花山寛之, 早瀬傑, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 切除不能進行・再発胃癌に対する三次治療以降の化学療法. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

大木進司, 千田峻, 岡山洋和, 小野澤寿志, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. High risk stage II 大腸癌における Glasgow prognostic score の意義と治療戦略. 第 43 回日本癌局所療法研究会; 20210521; Web.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 当科における技術認定医「量産」への取り組みと腹腔鏡補助下／ロボット支援下低位前方切除縫合不全との闘い. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

佐瀬善一郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. ひとり立ちまでを目標とする内視鏡外科技術認定医（胃）取得に向けた手技指導. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2 マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web.

松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野

浩二. dMMR 大腸癌における Tn 抗原の発現と免疫抑制. 第 42 回癌免疫外科研究会; 20210527-28; Web.

植田牧子, 渡邊尚文, 福田冬馬, 村田強志, 遠藤雄大, 大原美希, 石橋真輝帆, 菅家康之, 赤間孝典, 門馬智之, 安田俊, 藤森敬也. 横隔膜腫瘍を契機に診断された Lynch 症候群の 1 症例. 第 27 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

遠藤雄大, 徳田恵美, 門馬智之, 赤間孝典, 竹村真生子, 渡邊尚文. 当院で経験した Li-Fraumeni 症候群の一例. 第 27 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

加瀬晃志, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. APC 遺伝子大規模欠損を伴う家族性大腸腺腫症に伴った腹腔内デスマイト腫瘍が破綻し腹膜炎をきたした 1 例. 第 27 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20210618-19; Web.

門馬智之 (座長). スポンサーセミナー1 大腸癌に対する集学的治療と最新の低侵襲手術治療. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. M2 マクロファージの酸化ストレス抵抗性についての検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

岡山洋和, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 直腸癌に対する術前放射線化学療法効果を予測する multi-geneassay の in silico メタアナリシス. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 当科における他臓器浸潤局所進行直腸癌に対する Total Neoadjuvant therapy(TNT)の導入. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

加瀬晃志, 齋藤元伸, 仲野宏, 山田玲央, 芦澤舞, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. EBV 関連胃癌におけるエピジェネティック修飾による ARID1A 発現制御の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

齋藤元伸, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 消化器癌における ARID1A 発現とその下流の ANXA 遺伝子群発現の相互関連. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

坂本渉, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法の安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

佐瀬善一郎, 仲野宏, 加瀬晃志, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 噴門側胃切除術上川法再建におけるロボット支援下手術の有用性とビットフォール. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

松本拓朗, 大木進司, 山内直人, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩

二. 切除可能進行胃癌における予後予測因子としての SystemicInflammation Score(SIS)の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

花山寛之, 加瀬晃志, 仲野宏, 山内直人, 金田晃尚, 渡辺洋平, 早瀬傑, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当院における 80 歳以上の高齢者胃癌患者に対する胃切除術の長期成績. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 経仙骨と経腹の 2 方向からのアプローチで切除した骨盤内巨大直腸 GIST の 1 例. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

三村耕作, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 食道扁平上皮癌における抗 PD-1 抗体を用いた複合免疫療法の開発. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

門馬智之, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 潰瘍性大腸炎, 家族性大腸腺腫症における大腸全摘・回腸囊肛門吻合後の排便機能の評価. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

山内直人, 菅家康之, 加瀬晃志, 山田玲央, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 食道扁平上皮癌間質における癌関連線維芽細胞およびその関連分子の発現による再発予測因子としての有用性. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

門馬智之(座長). 教育講演 3 閉塞性左側大腸癌に対する治療一後ろ向き多施設共同研究の結果. 日本臨床外科学会第 7 回福島県支部学術集会; 20211002; Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 金田晃尚, 松本拓朗, 岡山洋和, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大塚幹夫, 山本俊幸, 河野浩二. 転移性悪性黒色腫に対する ICI 治療中の免疫逃避メカニズムについて. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

岡山洋和, 松本拓朗, 遠藤英成, 中嶋正太郎, 金田晃尚, 伊藤美郷, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. MSI/dMMR 大腸癌の subclassification. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

小野澤寿志, 深井智司, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. pStageII/III 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

片方雅紀, 金田晃尚, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃 NET 内視鏡的治療後 10 年以上経過し遅発性にリンパ節再発をきたした 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅家康之, 山内直人, 齋藤勝治, 岡山洋和, 山田匠希, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 橋本優子, 河野浩二. 食道扁平上皮癌間質での CAF 関連分子の発現

は予後に関連する. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

齋藤元伸, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 連携病院におけるエキスパートパネルを通じてのがんゲノム教育. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 当科の直腸癌ロボット手術導入期における低位前方切除術後縫合不全発生とリスクの検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

佐瀬善一郎, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 金田晃尚, 多田武志, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 河野浩二. 部分切除困難な胃噴門部 GIST に対する完全神経温存噴門側胃切除術 上川法再建. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

菅原良太, 菅家康之, 深井智司, 山田玲央, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 交差癒合腎合併進行大腸癌に対し蛍光尿管ステントを用い鏡視下手術を施行した症例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

添田周, 古川茂宜, 佐藤哲, 加茂矩士, 植田牧子, 遠藤雄大, 野村真司, 小島学, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本渉, 門馬智之, 見城明, 渡辺尚文, 藤森敬也. 進行再発卵巣癌に対する腫瘍減量手術完遂のための他科との連携についての検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

多田武志, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 金田晃尚, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 咽喉頭食道摘出術に対する遊離空腸再建術 25 例の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

仲野宏, 渡辺洋平, 岩田亜弓, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 伊藤美郷, 松本拓朗, 金田晃尚, 多田武志, 花山寛之, 早瀬傑, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 化学放射線療法後に 3 回の救済手術を施行し長期生存が得られている食道癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

藤田正太郎, 門馬智之, 深井智司, 伊藤美郷, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 河野浩二. Pembrolizumab 療法から Ipilimumab+Nivolumab 療法に変更して治療した大腸癌の 1 例. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

松本拓朗, 岡山洋和, 中嶋正太郎, 齋藤勝治, 菅家康之, 小野澤寿志, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 大腸癌における染色体 8p 上の遺伝子 SH2D4A の不活化. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

三村耕作, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺洋平, 早瀬傑, 岡山洋和, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 胃癌における抗 PD-1 療法のバイオマーカーと複合免疫療法の開発について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

森友輔, 伊藤美郷, 山田玲央, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二. 悪性黒色腫の消化管転移 4 例の検討. 第 59 回日本癌治療学会学術集会;

20211021-23; 横浜/Web.

門馬智之, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 坂本渉, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. がん診療における遺伝性腫瘍への対応. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

山口大輝, 三村耕作, 中嶋正太郎, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 大腸癌腫瘍微小環境の M2 腫瘍関連マクロファージにおける VEGF レセプター 2 発現について. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

山田玲央, 齋藤元伸, 大木進司, 菅家康之, 花山寛之, 鈴木博也, 望月翔太郎, 遠藤英成, 坂本渉, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 河野浩二. 食道癌術後後縦隔再建症例における内頸静脈中心とした血栓症の重要性に関する検証. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

渡辺洋平, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 仲野宏, 松本拓朗, 多田武志, 花山寛之, 早瀬傑, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 河野浩二. 切除不能進行・再発胃癌に対する Nivolumab の治療成績. 第 59 回日本癌治療学会学術集会; 20211021-23; 横浜/Web.

小野澤寿志, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置症例の治療成績. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web.

岩田亜弓, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 小腸原発の髄外性形質細胞腫の一例. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京/Web.

門馬智之. 直腸癌に対するロボット支援下手術: 新規導入施設の現状②. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118-20; 東京.

小野澤寿志, 伊藤美郷, 菅家康之, 岡山洋和, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 河野浩二. 腹腔鏡下低位前方切除術後に発症した左下肢コンパートメント症候群の 1 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

門馬智之, 河野浩二, 鈴木眞一. 甲状腺、副腎ロボット手術 消化器外科医からのアプローチ. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

伊藤美郷, 三村耕作, 金田晃尚, 中嶋正太郎, 岡山洋和, 坂本渉, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 悪性黒色腫における免疫チェックポイント阻害薬抵抗性のメカニズムについて. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

坂本渉, 深井智司, 菅家康之, 小野澤寿志, 岡山洋和, 藤田正太郎, 齋藤元伸, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 河野浩二. 局所進行直腸癌に対する capecitabine+oxaliplatin による術前化学療法の安全性および腫瘍縮小効果に関する検証. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

ふたば救急総合医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Egi M, Ogura H, Yatabe T, Atagi K, Inoue S, Iba T, Kakahana Y, Kawasaki T, Kushimoto S, Kuroda Y, Kotani J, Shime N, Taniguchi T, Tsuruta R, Doi K, Doi M, Nakada TA, Nakane M, Fujishima S, Hosokawa N, Masuda Y, Matsushima A, Matsuda N, Yamakawa K, Hara Y, Sakuraya M, Ohshimo S, Aoki Y, Inada M, Umemura Y, Kawai Y, Kondo Y, Saito H, Taito S, Takeda C, Terayama T, Tohira H, Hashimoto H, Hayashida K, Hifumi T, Hirose T, Fukuda T, Fujii T, Miura S, Yasuda H, Abe T, Andoh K, Iida Y, Ishihara T, Ide K, Ito K, Ito Y, Inata Y, Utsunomiya A, Unoki T, Endo K, Ouchi A, Ozaki M, Ono S, Katsura M, Kawaguchi A, Kawamura Y, Kudo D, Kubo K, Kurahashi K, Sakuramoto H, Shimoyama A, Suzuki T, Sekine S, Sekino M, Takahashi N, Takahashi S, Takahashi H, Tagami T, Tajima G, Tatsumi H, Tani M, Tsuchiya A, Tsutsumi Y, Naito T, Nagae M, Nagasawa I, Nakamura K, Nishimura T, Nunomiya S, Norisue Y, Hashimoto S, Hasegawa D, Hatakeyama J, Hara N, Higashibeppu N, Furushima N, Furusono H, Matsui Y, Matsuyama T, Minematsu Y, Miyashita R, Miyatake Y, Moriyasu M, Yamada T, Yamada H, Yamamoto R, Yoshida T, Yoshida Y, Yoshimura J, Yotsumoto R, Yonekura H, Wada T, Watanabe E, Aoki M, Asai H, Abe T, Igarashi Y, Iguchi N, Ishikawa M, Ishimaru G, Isokawa S, Itakura R, Imahase H, Imura H, Irinoda T, Uehara K, Ushio N, Umegaki T, Egawa Y, Enomoto Y, Ota K, Ohchi Y, Ohno T, Ohbe H, Oka K, Okada N, Okada Y, Okano H, Okamoto J, Okuda H, Ogura T, Onodera Y, Oyama Y, Kainuma M, Kako E, Kashiura M, Kato H, Kanaya A, Kaneko T, Kanehata K, Kano KI, Kawano H, Kikutani K, Kikuchi H, Kido T, Kimura S, Koami H, Kobashi D, Saiki I, Sakai M, Sakamoto A, Sato T, Shiga Y, Shimoto M, Shimoyama S, Shoko T, Sugawara Y, Sugita A, Suzuki S, Suzuki Y, Suhara T, Sonota K, Takauji S, Takashima K, Takahashi S, Takahashi Y, Takeshita J, Tanaka Y, Tampo A, Tsunoyama T, Tetsuhara K, Tokunaga K, Tomioka Y, Tomita K, Tominaga N, Toyosaki M, Toyoda Y, Naito H, Nagata I, Nagato T, Nakamura Y, Nakamori Y, Nahara I, Naraba H, Narita C, Nishioka N, Nishimura T, Nishiyama K, Nomura T, Haga T, Hagiwara Y, Hashimoto K, Hatachi T, Hamasaki T, Hayashi T, Hayashi M, Hayamizu A, Haraguchi G, Hirano Y, Fujii R, Fujita M, Fujimura N, Funakoshi H, Horiguchi M, Maki J, Masunaga N, Matsumura Y, Mayumi T, Minami K, Miyazaki Y, Miyamoto K, Murata T, Yanai M, Yano T, Yamada K, Yamada N, Yamamoto T, Yoshihiro S, Tanaka H, Nishida O. The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2020 (J-SSCG 2020). *Acute Medicine & Surgery*. 2021;8(1):e659.

Takemura T, Kataoka Y, Shirakawa C, Okazaki K, Sakurai A, Imakita T, Ikegaki S, Matsumoto H, Saito E, Takata H, Kaku S, Wada N, Shinomiya M, Otoshi T, Shimada M, Nikaido J, Iki R, Hirano K, Hirai T, Endo K, Hirabayashi M, Naganuma T. Influence of loneliness and social isolation on the diagnosis and treatment of Japanese patients with advanced lung cancer: a prospective cohort study. *Annals of Palliative Medicine*. 2021;10(6):6236-6246.

Omae K, Kurita N, Takahashi S, Fukuma S, Yamamoto Y, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Association of advanced glycation end-product accumulation with overactive bladder in community-dwelling

elderly: A cross-sectional Sukagawa study. *Asian Journal of Urology*. 202104; 8(2):189-196.

Aita T, Hamaguchi S, Nakagawa H, Takahashi S, Naganuma T, Shimotani Y, Nakamoto Y, Yaguchi K, Kataoka Y, Anan K. Blood Culture Procedures in a Busy Emergency Room: Balancing or Biasing Groups During Randomization. *Clinical Infectious Diseases*. 202106; 72(12):e1163-e1164.

Hikata T, Ishii K, Matsumoto M, Kobayashi K, Imagama S, Ando K, Ishiguro N, Yamashita M, Seki S, Terai H, Suzuki A, Tamai K, Aramomi M, Ishikawa T, Kimura A, Inoue H, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Yamada K, Hongo M, Endo K, Suzuki H, Nakano A, Watanabe K, Ohya J, Chikuda H, Aoki Y, Shimizu M, Futatsugi T, Mukaiyama K, Hasegawa M, Kiyasu K, Iizuka H, Kobayashi R, Iizuka Y, Nishida K, Kakutani K, Nakajima H, Murakami H, Demura S, Kato S, Yoshioka K, Namikawa T, Watanabe K, Nakanishi K, Nakagawa Y, Yoshimoto M, Fujiwara H, Nishida N, Imajo Y, Yamazaki M, Abe T, Fujii K, Kaito T, Eguchi Y, Furuya T, Orita S, Ohtori S. Risk Factor for Poor Patient Satisfaction After Lumbar Spine Surgery in Elderly Patients Aged Over 80 years. *Clinical Spine Surgery*. 202105; 34(4):E223-E228.

Hattori S, Yokota H, Takada T, Horikoshi T, Takishima H, Mikami W, Mukai H, Funakoshi H, Naganuma T, Yano T, Terada K, Inokuchi R, Tsuchiya S, Akutsu A, Saiga A, Kubota Y, Wada T, Takada A, Fujimoto H, Uno T. Impact of clinical information on CT diagnosis by radiologist and subsequent clinical management by physician in acute abdominal pain. *European Radiology*. 202108; 31(8):5454-5463.

Watanabe K, Otani K, Tominaga R, Kokubun Y, Sekiguchi M, Fukuma S, Kamitani T, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Sagittal imbalance and symptoms of depression in adults: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study (LOHAS). *European Spine Journal*. 202109; 30(9):2450-2456.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kobayashi H, Otani K, Handa J, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a self-administered questionnaire for the screening of cervical myelopathy. Part 2, investigation of its characteristics in surgical cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):102-106.

Aga M, Naganuma T, Ohashi Y, Matsuzawa H, Matsuzaka S, Cammack I, Yamada G, Serizawa Y. Association of early antibiotic therapy and in-hospital mortality in adult mild-to-moderate acute aspiration pneumonitis: a cohort study. *Internal and Emergency Medicine*. 202110; 16(7):1841-1848.

Naganuma T, Takahashi S, Takeshima T, Kurita N, Omae K, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Cohort profile: A super-elderly population-based cohort in Japan (the Sukagawa Study). *International Journal of Epidemiology*. 202107; 50(3):727-727h.

Kataoka Y, Anan K, Taito S, Tsujimoto Y, Kurata Y, Wada Y, Maruta M, Kanaoka K, Oide S, Takahashi S, Nango E. Quality of clinical practice guidelines in Japan remains low: A cross-sectional meta-epidemiological study. *Journal of Clinical Epidemiology*. 202110; 138:22-31.

Haro H, Ebata S, Inoue G, Kaito T, Komori H, Ohba T, Sakai D, Sakai T, Seki S, Shiga Y, Suzuki H, Toyota H, Watanabe K, Yamato Y. Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guidelines on the management of lumbar disc herniation, third edition - secondary publication. Journal of Orthopaedic Science. 202201; 27(1):31-78.

Omae K, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Hamaguchi S, Fukuhara S. Significance of Overactive Bladder as a Predictor of Falls in Community Dwelling Older Adults: 1-Year Followup of the Sukagawa Study. Journal of Urology. 202101; 205(1):219-225.

Otani K, Kikuchi SI, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Konno SI. The Change of Lumbar Spinal Stenosis Symptoms over a Six-Year Period in Community-Dwelling People. Medicina. 202110; 57(10):1116.

Murasawa M, Uehara A, Suzuki T, Shimizu S, Kojima S, Uchida D, Okamoto T, Naganuma T, Sasaki S, Imai N, Chikaraishi A, Matsukawa S, Kawarazaki H, Sakurada T, Shibagaki Y. Association between pill burden and interdialytic weight gain in patients with hemodialysis: A multi-center cross-sectional study. Therapeutic Apheresis and Dialysis. 202108; 25(4):475-482.

研究発表等

〔研究発表〕

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Time Course of Asymptomatic lesion in Lumbar Spinal Stenosis -Examination of the 5-year results of Selective Decompression of Symptomatic Levels. PASMISS 2020; 20210401-03; Seoul, Korea/Web.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第31回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

総合内科

論文

〔原 著〕

Watanabe J, Aita T, Saito K, Iwasaki Y, Fujieda T, Yoshioka T. Is It a Real Obesity Paradox? Chest. 202108;

160(2):e247-e248.

Aita T, Hamaguchi S, Nakagawa H, Takahashi S, Naganuma T, Shimotani Y, Nakamoto Y, Yaguchi K, Kataoka Y, Anan K. Blood Culture Procedures in a Busy Emergency Room: Balancing or Biasing Groups During Randomization. *Clinical Infectious Diseases*. 202106; 72(12):e1163-e1164.

Naganuma T, Takahashi S, Takeshima T, Kurita N, Omae K, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Cohort profile: A super-elderly population-based cohort in Japan (the Sukagawa Study). *International Journal of Epidemiology*. 202107; 50(3):727-727h.

Yoshioka T, Aita T. Comparative Outcomes for Pelvic Organ Prolapse Surgery among Nursing Home Residents and Matched Community Dwelling Older Adults. *Letter. Journal of Urology*. 202107; 206(1):174-175.

Omae K, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Hamaguchi S, Fukuhara S. Significance of Overactive Bladder as a Predictor of Falls in Community Dwelling Older Adults: 1-Year Followup of the Sukagawa Study. *Journal of Urology*. 202101; 205(1):219-225.

Aita T, Matsuo Y, Yamada Y, Miyata J, Yoshioka T. Comment on: Femoral vein wall thickness measurement: A new diagnostic tool for Behçet's disease. *Rheumatology*. 202109; 60(9):e342-e343.

Ngo CC, Katoh S, Hasebe F, Dhoubhadel BG, Hiraoka T, Hamaguchi S, Le ATK, Nguyen ATH, Dang AD, Smith C, Yoshida LM, Do CD, Pham TTT, Ariyoshi K. Characteristics and biomarkers of patients with central nervous system infection admitted to a referral hospital in Northern Vietnam. *Tropical Medicine and Health*. 202105; 49(1):42.

中本洋平, 濱口杉大. 症例から深める Basic Lab (基本検査所見) Clinical Laboratory Problem Solving (第 10 回) 原因不明の発熱と肝機能障害で紹介となった 20 歳代後半・妊娠 34 週の女性 (その 2) . レジデントノート. 202101; 22(15):2886-2893.

會田哲朗. 症例から深める Basic Lab (基本検査所見) Clinical Laboratory Problem Solving (第 12 回) (最終 回) 神経性食思不振症で入院中に全身管理目的で紹介となった女性の一例 (その 2) . レジデントノート. 20210300; 22(18):3426.

會田哲朗, 椎木創一. 【病気とくすり 2021 基礎と実践 Expert's Guide】病原微生物・悪性新生物とくすり ウイルス感染症 伝染性紅斑 (りんご病) . 薬局. 202103; 72(4):1967-1968.

小児外科

論 文

〔原 著〕

Goto Y, Mimori K, Ogata S, Shimizu H, Fukuda Y, Tanaka H. Single-incision laparoscopic full-thickness anterior abdominal wall repair of a Morgagni hernia using a suture-assisting needle in a child: A case report. *Asian Journal of Endoscopic surgery*. 202107; 14(3):548-552.

Huang W, Shimizu H, Bianchi J, Matovinovic K, Ayares DL, Gotoh M, Korbitt GS, Rajotte RV, Rayat GR. Impact of donor and prolonged cold ischemia time of neonatal pig pancreas on neonatal pig islet transplant outcome. *Xenotransplantation*. 202103; 28(2):e12663.

三森浩太郎, 柳佑典, 笠原群生. 治療のトピックス 肝移植治療. *小児科診療*. 202112; 84(12):1821-1826.

森井真也子, 薄井佳子, 小川絵里, 黒部仁, 清水裕史, 菅沼理江, 田中奈々, 東間未来, 宮城久之, 済陽寛子, 水野大, 安藤秀明, 浮山越史. 【小児外科をめぐるさまざまな問題と将来の展望】働き方改革、タスク・シフティング. *小児外科*. 202101; 53(1):18-21.

田中秀明. 【消化管重複症のすべて】高ガストリン血症を併発した胃重複症. *小児外科*. 202109; 53(9):938-942.

田中秀明. 【小児外科疾患の家族内発生】肝芽腫. *小児外科*. 202112; 53(12):1302-1305.

木村隆, 横山斉, 鈴木真一, 河野浩二, 丸橋繁, 鈴木弘行, 大竹徹, 田中秀明. 外科系新専門医制度のあるべきランドデザイン Generality と Specialty のバランスのとれた外科医の育成を目指して なんでもできる外科医の魅力をもう一度. *日本外科学会雑誌*. 202101; 122(1):90-92.

角田圭一, 青砥慶太, 大須賀文彦, 田崎和洋, 遠藤豪一. Rhabdoid feature を呈し急速に進行した横行結腸癌の1例. *日本臨床外科学会雑誌*. 202107; 82(7):1376-1380.

研究発表等

〔研究発表〕

Tanaka H, Oshio T, Kakuta K, Minami Y, Shimizu H. A new concept for the origin of gastroschisis. 54th Annual Scientific Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons; 20211114-18; Web.

尾形誠弥, 大澤義弘, 近藤公男. 乳児に発生した横隔膜ヘルニアの1例. 第32回福島県小児外科研究会; 20210206; Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史. 先天性肺気道奇形に対し胸腔鏡下に左下葉・舌区域切除を施行した一例. 第32回福島県小児外科研究会; 20210206; Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆管空腸吻合法の工夫. 第38回日本肝移植学会学術集会; 20210213-14; 誌上/Web.

Tanaka H, Mimori K, Goto Y, Shimizu H, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Left lower lobectomy and lingulectomy with VATS for a child with CPAM: A case report. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

南洋輔, 三森浩太郎, 清水裕史, 鈴木眞一, 田中秀明. 右副腎原発褐色細胞腫に対して腹腔鏡手術を施行した1小児例. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

清水裕史, 南洋輔, 大原喜裕, 佐野秀樹, 菊田敦, 田中秀明. Oncologic emergency を来した肝ラブドイド腫瘍に対し肝左葉切除術を施行した1例. 第42回東北小児がん研究会; 20210320; Web.

南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 巨大臍帯ヘルニアに対する抗菌性創傷被覆保護剤の使用経験. 第7回日本小児へそ研究会; 20210409; Web.

尾形誠弥, 近藤公男, 大澤義弘. 糞石内に異物の混入を認めた穿孔性虫垂炎の1例. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

清水裕史, 二見徹, 滝口和暁, 角田圭一, 町野翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 南洋輔, 田中秀明. ワークライフバランスにおける資産形成 多忙な医師にこそ正しい金融教育を. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

田中秀明, 南洋輔, 清水裕史, 藤井正純, 佐野秀樹, 菊田敦. 術中MRI支援下に腎部分切除を行った先天性間葉芽腎腫の1例. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 胸腔鏡下に切除し得た前縦隔成熟奇形腫の1例. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

三森浩太郎, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 若手小児外科医によるNICU・PICU研修の有用性—自身の経験から. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

阪内麻里子, 清水裕史, 後藤悠大, 尾形誠弥, 山下方俊, 田中秀明. メッケル憩室捻転に腸回転異常症・中腸軸捻転を合併し腸閉塞を来した1例. 第94回日本小児外科学会東北地方会; 20210612; WEB.

後藤悠大, 三森浩太郎, 清水裕史, 高橋信久, 大原喜裕, 小林正悟, 佐野秀樹, 菊田敦, 田中秀明. Oncologic emergency をきたし新生児期に肝左葉切除を要した先天性肝芽腫の1例. 第34回日本小児救急医学会学術集会; 20210618-20; 奈良/Web.

後藤悠大, 三森浩太郎, 清水裕史, 柳沼和史, 齋藤康, 渡部真裕, 田中秀明. 重篤な敗血症性ショックをきた

した Hirschsprung associated enterocolitis(HAEC)の二例. 第 34 回日本小児救急医学会学術集会; 20210618-20; 奈良/Web.

清水裕史, 滝口和暁, 角田圭一, 町野翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 後藤悠大, 佐野秀樹, 菊田敦, 田中秀明. 小児固形腫瘍に起因した oncologic emergency の検討. 第 34 回日本小児救急医学会学術集会; 20210618-20; 奈良/Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 南洋輔, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆道再建法. 第 39 回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

南洋輔, 清水裕史, 郷勇人, 佐藤真紀, 田中秀明. 当院における新生児小腸ストマ合併症の検討. 第 57 回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20210711-13; 宮崎/Web.

三森浩太郎, 柳佑典, 阪本靖介, 中尾俊雅, 内田孟, 清水誠一, 福田晃也, 三田篤義, 副島雄二, 笠原群生. 生体肝移植で救命できた急性肝不全を発症した先天性グリコシル化異常症の一例. 第 57 回日本移植学会総会; 20210918-20; 東京/Web.

南洋輔, 角田圭一, 清水裕史, 田中秀明. 吞気により顕在化した胃軸捻転症に対して腹腔鏡下胃固定術を施行した 1 小児例. 第 95 回日本小児外科学会東北地方会; 20210925; Web.

角田圭一, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. カニューレフリー用人工鼻を用いて良好な気道管理を得た気道分離術後の 1 例. 第 31 回日本小児呼吸器外科研究会; 20211028-29; 東京/Web.

清水裕史, 及川孔, 二見徹, 滝口和暁, 角田圭一, 町野翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 南洋輔, 田中秀明. 腹腔鏡下整復術を実施した盲腸結腸型特発性腸重積の 1 例. 第 40 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20211028-29; 東京/Web.

南洋輔, 角田圭一, 清水裕史, 山下方俊, 田中秀明. 皮膚再生抗菌性創傷被覆保護剤により臍帯羊膜の上皮化を得た後に待機的腹壁閉鎖術を行った巨大臍帯ヘルニアの 2 例. 第 37 回日本小児外科学会秋季シンポジウム; 20211030; 東京/Web.

角田圭一, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. ストーマ脱出の管理に洗濯ネットを用いた 1 例. 第 31 回日本小児外科 QOL 研究会; 20211107; Web.

清水裕史, 南洋輔, 大原喜裕, 佐野秀樹, 菊田敦, 田中秀明. 肝原発ラブドイド腫瘍の一例. 第 63 回日本小児血液・がん学会学術集会; 20211125-27; Web.

南洋輔, 角田圭一, 清水裕史, 田中秀明. 当科におけるアニマルラボを用いた鏡視下手術トレーニング. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

三森浩太郎, 兒玉匡, 柳佑典, 中尾俊雅, 内田孟, 清水誠一, 福田晃也, 義岡孝子, 阪本靖介, 笠原群生. 急性肝不全にて発症した先天性グリコシル化異常症の一例. 第 53 回武蔵野小児肝臓病懇話会; 20211207; 東京.

尾形誠弥, 佐野信行, 緑川雄亮, 神山隆道. 仙尾部皮膚陥凹に対する腰仙部脊髄エコーによるスクリーニングの

試み. 第 10 回福島県新生児懇話会; 20211210; Web.

角田圭一, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. ストーマ脱出の管理に洗濯ネットを用いた 1 例. 第 10 回福島県新生児懇話会; 20211210; Web.

南洋輔, 清水裕史, 郷勇人, 佐藤真紀, 後藤あや, 田中秀明. 当院における新生児小腸ストーマ合併症の検討. 第 10 回福島県新生児懇話会; 20211210; Web.

小児腫瘍内科

論 文

〔原 著〕

Umeda K, Miyamura T, Yamada K, Sano H, Hosono A, Sumi M, Okita H, Kumamoto T, Kawai A, Hirayama J, Jyoko R, Sawada A, Nakayama H, Hosoya Y, Maeda N, Yamamoto N, Imai C, Hasegawa D, Chin M, Ozaki T; Japan Ewing Sarcoma Study Group. Clinical outcome of patients with recurrent or refractory localized Ewing's sarcoma family of tumors: A retrospective report from the Japan Ewing Sarcoma Study Group. *Cancer Reports*. 202106; 4(3):e1329.

Takahashi N, Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kikuta A. Intracranial Hemorrhage in a Pediatric Patient with Chronic Myeloid Leukemia in Chronic Phase: A Case Report. *Case Reports in Oncology*. 202103; 14(1):525-530.

Sano H, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Takahashi N, Kudo S, Waragai T, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Effectiveness of T-Cell Replete Haploidentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Refractory/Relapsed B Cell Acute Lymphoblastic Leukemia in Children and Adolescents. *Frontiers in Pediatrics*. 202110; 9:743294.

Yabe M, Morio T, Tabuchi K, Tomizawa D, Hasegawa D, Ishida H, Yoshida N, Koike T, Takahashi Y, Koh K, Okamoto Y, Sano H, Kato K, Kanda Y, Goto H, Takita J, Miyamura T, Noguchi M, Kato K, Hashii Y, Atsuta Y, Yabe H. Long-term outcome in patients with Fanconi anemia who received hematopoietic stem cell transplantation: a retrospective nationwide analysis. *International Journal of Hematology*. 202101; 113(1):134-144.

Mochizuki K, Kobayashi S, Takahashi N, Sugimoto K, Sano H, Ohara Y, Mineishi S, Zhang Y, Kikuta A. Alloantigen-activated (AAA) CD4⁺ T cells reinvigorate host endogenous T cell immunity to eliminate pre-established tumors in mice. *Journal of Experimental & Clinical Cancer Research*. 202110; 40(1):314.

Kada A, Kikuta A, Saito AM, Kato K, Iguchi A, Yabe H, Ishida H, Hyakuna N, Takahashi Y, Nagasawa M, Hashii Y, Umeda K, Matsumoto K, Fujisaki H, Yano M, Nakazawa Y, Sano H. Single-Arm Non-Blinded Multicenter Clinical Trial on T-Cell-Replete Haploidentical Stem Cell Transplantation Using Low-Dose Antithymocyte Globulin for Relapsed and Refractory Pediatric Acute Leukemia. *Kurume Medical Journal*. 202110; 66(3):161-168.

Umeda K, Miyamura T, Yamada K, Sano H, Hosono A, Sumi M, Okita H, Kamio T, Maeda N, Fujisaki H, Jyoko R, Watanabe A, Hosoya Y, Hasegawa D, Takenaka S, Nakagawa S, Chin M, Ozaki T; Japan Ewing Sarcoma Study Group. Prognostic and therapeutic factors influencing the clinical outcome of metastatic Ewing sarcoma family of tumors: A retrospective report from the Japan Ewing Sarcoma Study Group. *Pediatric Blood & Cancer*. 202103; 68(3):e28844.

Takahashi N, Mochizuki K, Sano H, Kobayashi S, Ohara Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A. Decline of serum albumin precedes severe acute GVHD after haploidentical HSCT. *Pediatrics International*. 202109; 63(9):1048-1054.

佐野秀樹, 嶋田博行. 末梢性神経芽腫群腫瘍の病理 Precision Medicine を含めた最新の話. *日本小児血液・がん学会雑誌*. 202102; 57(5):341-348.

佐野秀樹. 【希少がんーがん診療の新たな課題ー】 希少がん疾患各論 骨軟部腫瘍・肉腫 ユーイング肉腫. *日本臨床*. 202103; 79(増刊 1):468-473.

歯科口腔外科

論 文

〔原 著〕

Yamazaki M, Sugimoto K, Mabuchi Y, Yamashita R, Ichikawa-Tomikawa N, Kaneko T, Akazawa C, Hasegawa H, Imura T, Chiba H. Soluble JAM-C Ectodomain Serves as the Niche for Adipose-Derived Stromal/Stem Cells. *Biomedicines*. 202103; 9(3):278.

Kanno C, Kaneko T, Endo M, Kitabatake T, Sakuma T, Kanaya Y, Watanabe Y, Hasegawa H. Anti-VEGFR therapy is one of the healing inhibitors of antiresorptive-related osteonecrosis of the jaw. *Journal of Bone and Mineral Metabolism*. 202105; 39(3):423-429.

Hasegawa H, Kaneko T, Endo M, Kanno C, Yamazaki M, Yaginuma S, Igarashi H, Honma H, Masui S, Suto M, Sakisaka Y, Ishihata H. Comparing the Efficacy of a Microperforated Titanium Membrane for Guided Bone Regeneration with an Existing Mesh Retainer in Dog Mandibles. *Materials*. 202106; 14(12):3358.

遠藤学, 金子哲治, 菅野千敬, 北畠健裕, 秋本哲男, 長谷川博. 小児の口腔粘膜に生じた糖原過形成の1例. 日本口腔外科学会雑誌. 202102; 67(2):67-70.

金子哲治, 北畠健裕, 山崎森里生, 菅野千敬, 遠藤学, 長谷川博. von Willebrand 病患者に発生した下顎歯肉癌に対する再建手術の一経験. 日本口腔腫瘍学会誌. 202112; 33(4):179-185.

研究発表等

〔研究発表〕

金子哲治, 小島百代, 渡部雄貴, 柳沼貞之進, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤学, 長谷川博. 当科で治療を行った線維骨性病変の長期的予後について. 第75回NPO法人日本口腔科学会学術集会; 20210512-14.

小島百代, 菅野千敬, 渡部雄貴, 柳沼貞之進, 北畠健裕, 遠藤学, 金子哲治, 佐久間知子, 長谷川博. 顕微鏡的多発血管炎患者に発症し急速に憎悪した骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の一例(口外). 第59回日本口腔科学会北日本地方部会/第47回日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20210515-22.

渡部雄貴, 小島百代, 柳沼貞之進, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤学, 金子哲治, 佐久間知子, 長谷川博, 本間英明, 秋本哲男. 下顎骨顎骨中心性癌患者に対してオーダーメイドチタンプレートによる再建術を行った一例(口外). 第59回日本口腔科学会北日本地方部会/第47回日本口腔外科学会北日本支部学術集会; 20210515-22.

櫛橋幸民, 田中慈久, 羽生健治, 山崎森里生, 伏見千宙, 増淵達夫, 多田雄一郎, 三浦弘規. 当センターにおける喉頭全摘出術症例の検討. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

國松奈津子, 國松聡, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 櫛橋幸民, 羽生健治, 山崎森里生, 田中慈久, 矢郷香, 三浦弘規. 副咽頭間隙腫瘍と術前診断された多形腺腫および神経鞘腫の鑑別を目的とした radiomics features の解析. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

田中慈久, 三浦弘規, 多田雄一郎, 増淵達夫, 伏見千宙, 山崎森里生, 羽生健治, 櫛橋幸民, 加藤文彦. 頸部郭清術後難治性乳び漏れに対し胸管結紮術を施行した一例. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

伏見千宙, 多田雄一郎, 増淵達夫, 山崎森里生, 羽生健治, 田中慈久, 櫛橋幸民, 相田真介, 佐野弘子, 樋口佳代子, 長尾俊孝, 三浦弘規. 唾液腺細胞診ミラノシステムの有用性. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

伏見千宙, 多田雄一郎, 増淵達夫, 山崎森里生, 羽生健治, 田中慈久, 櫛橋幸民, 三浦弘規. 舌骨傍リンパ節転移とその郭清方法について. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

山崎森里生, 増淵達夫, 伏見千宙, 多田雄一郎, 羽生健治, 櫛橋幸民, 田中慈久, 三浦弘規. 当センターにおける原発不明頸部リンパ節転移癌の臨床的検討. 第45回日本頭頸部癌学会; 20210617-18.

金子哲治, 小島百代, 渡部雄貴, 柳沼貞之進, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤学, 長谷川博. 当科で治療を行った

線維骨性病変の長期的予後について. 第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会; 20211112-14.

本田良輔, 小島百代, 渡部雄貴, 柳沼貞之進, 北畠健裕, 菅野千敬, 遠藤学, 金子哲治, 佐久間知子, 長谷川博. 治療中に腫瘍の形質が変化した下顎エナメル上皮腫の 1 例. 第 74 回東北地区歯科医学会; 20211114.

検査部

論文

〔原 著〕

Sato Y, Suenaga T, Kobayashi M, Miyazaki N, Suzuki T, Ishioka K, Suzutani T. Characteristics of Helicase-primase Inhibitor Amenamevir-resistant Herpes Simplex Virus. *Antimicrobial Agents and Chemotherapy*. 202109; 65(10):e0049421.

Sugawara Y, Yoshihisa A, Ishibashi S, Matsuda M, Yamadera Y, Ohara H, Ichijo Y, Watanabe K, Hotsuki Y, Anzai F, Sato Y, Kimishima Y, Yokokawa T, Misaka T, Yamada S, Sato T, Kaneshiro T, Oikawa M, Kobayashi A, Takeishi Y. Liver Congestion Assessed by Hepatic Vein Waveforms in Patients With Heart Failure. *CJC Open*. 202102; 3(6):778-786.

Kariya Y, Oyama M, Suzuki T, Kariya Y. $\alpha v \beta 3$ Integrin induces partial EMT independent of TGF- β signaling. *Communications Biology*. 202104; 4(1):490.

Kawata K, Suzuki T, Ozawa K, Sekiguchi M. Features of T-cell subset composition in a D-galactose-induced senescence mouse model. *Experimental Animals*. 202108; 70(3):284-292.

松田美津子, 山寺幸雄. 【超音波、新しいソレーチン検査への道】(第 2 部) あつまれ “ATI” 施設ごとの ATI 活用術 ATI の活用と検査精度の向上について. *映像情報 Medical*. 202105; 53(5):59-64.

〔総説等〕

大沼秀知. 心尖部断層像描出のいろは. *Medical Technology*. 202108; 49(8):871-881.

著 書・訳 書

大沼秀知. 第 9 章 左室壁運動異常の読み方 1. 壁運動と壁厚変化. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.94.

大沼秀知. 第9章 左室壁運動異常の読み方 2. 壁運動異常 (asynergy) . In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.95-98.

大沼秀知. 第9章 左室壁運動異常の読み方 3. 心室同期不全 (dyssynchrony) . In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.99-100.

大沼秀知. 第10章 救急外来における心エコー 1. 虚血性心疾患. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.102-111.

大沼秀知. 第10章 救急外来における心エコー 2. たこつぼ心筋症. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.112-116.

大沼秀知. 第11章 プローブを当てた瞬間にどう考えるか 4. 左心壁が厚い. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.221-223.

大沼秀知. 第11章 プローブを当てた瞬間にどう考えるか 6. 左心壁運動がびまん性に低下. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.226-228.

大沼秀知. 第11章 プローブを当てた瞬間にどう考えるか 7. 左心壁運動が局所的に低下. In: 藤田雅史. レジデントのための心エコー教室. 東京: 日本医事新報社. 202102. p.229-230.

研究発表等

〔研究発表〕

松田美津子, 山寺幸雄, 石橋伸治, 志村浩己. 経過観察により診断し得た TIPIC 症候群 (Carotidynia) の1例. 日本超音波医学会第61回東北地方会学術集会; 20210307; Web.

幕田倫子, 松田美津子, 石橋伸治, 加藤由美子, 山寺幸雄, 林学, 風間順一郎, 志村浩己. 超音波検査で観察し得た打撲による炎症性偽腫瘍の1例. 第70回日本医学検査学会; 20210515-0614; Web.

松田美津子, 山寺幸雄, 石橋伸治, 幕田倫子, 藤田雄也, 志村浩己, 風間順一郎. 超音波検査にて経過観察し得た巨細胞性動脈炎の1例. 第70回日本医学検査学会; 20210515-0614; Web.

松田美津子, 石橋伸治, 幕田倫子, 山寺幸雄, 志村浩己. 脂肪肝評価における ATI の精度向上に関する検討. 第53回日本臨床検査医学会東北支部総会; 20210904; Web.

金子亜矢, 大沼秀知, 熊谷麻子, 佐藤ゆかり, 松田美津子, 山寺幸雄, 志村浩己, 風間順一郎. 心エコー図検査が正しい診断につながった成人先天性心疾患の1例. 第9回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会; 20211101-30; Web.

岸みゆき, 渡部さゆり, 石橋美里, 田尻三千代, 須藤詩乃, 慶徳克美, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 超音波検査にて粉瘤との鑑別が困難であったアポクリン腺癌の一例. 第9回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会;

20211101-30; Web.

幕田倫子, 松田美津子, 石橋伸治, 加藤由美子, 山寺幸雄, 林学, 風間順一郎, 志村浩己. 超音波検査で観察し得た打撲による炎症性偽腫瘍の1例. 第9回日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会; 20211101-30; Web.

半沢雄助, 佐藤康子, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 木村哲, 池添隆之, 風間順一郎. 成熟T/NK細胞腫瘍の診断に影響した末梢血塗抹標本の作製方法について. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき. 福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 59:25.

只野光彦, 遠藤武尊, 嶋田有里, 渡辺洋子, 菅野喜久子, 山寺幸雄, 坂井晃, 風間順一郎. 骨髓浸潤を認めた十二指腸濾胞性リンパ腫の一症例. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき. 福島県臨床検査技師会誌ふくしま. 59:26.

今井美菜子, 庄司龍弥, 坂本有子, 丹野大樹, 本田睦子, 高野由喜子, 大橋一孝, 山寺幸雄. 非結核性抗酸菌同定検査における質量分析用前処理キットの使用経験. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

小川斗夢, 松田美津子, 石橋伸治, 山寺幸雄. VA造設により鎖骨下動脈盗血現象をきたした1例. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

鈴木崇斗, 松田美津子, 佐藤ゆかり, 堀越由紀子, 山寺幸雄, 志村浩己. 肥満患者においてCAVIが過小評価となる要因の検討. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

土田正孝, 高久田美江, 本多敦美, 須藤詩乃, 小松真司, 西浦健太, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 不整脈治療における臨床検査技師の関わりについて. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

松尾卓, 渡部さゆり, 西浦健太, 田尻三千代, 渡邊千晶, 慶徳克美, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 腹部超音波検査において腎血管筋脂肪腫との鑑別に苦慮した小腎細胞癌の2例. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

柳田栞奈, 高久田美江, 本多敦美, 保田智香, 小坂橋好江, 黒崎幸子, 山寺幸雄. 致死性不整脈発生時を想定した緊急対応の取り組み. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

〔招待講演〕

大沼秀知. 短絡性心疾患の診かた VSD/ASD/PDAを中心に. 第46回日本超音波検査学会学術集会; 20210508-09; Web.

大橋一孝. 新型コロナウイルス感染症の検査 臨床検査室の対応と課題. 第52回福島医学検査学会; 20211106-07; いわき.

松田美津子. 腹部超音波検診判定マニュアルを紐解く. JSS 東北 第33回地方会研修会; 20211113; Web.

大沼秀知. ここから始めてみませんか? ACHD エコー. JSS 中部 第35回地方会研修会; 20211121; Web.

〔その他〕

松田美津子. Carotidynia を探究する. 日本超音波検査学会第 138 回医用超音波講義講習会; 20210123-0422; Web.

放射線部

論 文

〔原 著〕

Takasumi H, Seino S, Kikori K, Ishikawa H, Kanezawa T, Bannae S, Kuhara S, Doi K. Evaluation of the homogeneity of native T1 myocardial mapping using the polarity corrected inversion time preparation method in a myocardial phantom and healthy volunteers. Radiological Physics and Technology. 202103; 14(1):50-56.

Wangchen X, Shen W, Takasumi H, Seino S, Zhu X. Automatic combination strategy search in segmentation of Cardiac T1 mapping image. Proceedings - 2021 4th International Conference on Advanced Electronic Materials, Computers and Software Engineering, AEMCSE. 2021; :811-816.

〔その他〕

高済英彰. Radiological Physics and Technology (RPT) 誌に英語論文を投稿しよう!研究個別指導プログラムを受講して 初めての英語論文 千里の道も一歩から. 日本放射線技術学会雑誌. 202109; 77(9):1135-1138.

研究発表等

〔研究発表〕

長澤陽介. 自施設の IMRT 線量検証. 第 34 回福島県放射線治療懇話会; 20210220; Web.

岡善隆. 放射線治療業務に携わる診療放射線技師を対象とした RI 規制法に関する理解度調査. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

長澤陽介, 岡善隆, 宮岡裕一. VMAT におけるビームアレンジメントの基礎的検討ーコリメータ開度についてー. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

岡善隆. 放異なる放射線治療計画装置を用いた VMAT 事前検証法の可能性の検討. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

宮岡裕一，岡善隆，長澤陽介，内沼良人，佐藤謙吾，鈴木義行. 患者が FOV 中心に Setup されていない場合の被ばく線量測定. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

長澤陽介，岡善隆，宮岡裕一，内沼良人，佐藤謙吾，鈴木義行. VMAT を用いた子宮頸癌中央遮蔽照射における Avoidance Structure を使用した最適化計算. 日本放射線腫瘍学会第 34 回学術大会; 20211112-14; Web.

〔シンポジウム〕

宮岡裕一. IGRT の線量測定及び管理技術. 第 11 回東北放射線医療技術学術大会; 20211030-31; 福島/Web.

〔特別講演〕

岡善隆. 肺がんにおける治療計画～線量分割・処方線量の視点から～. 第 5 回放射線治療あすなろ会総合学術セミナー; 20210925; Web.

〔招待講演〕

岡善隆. 線量処方を今一度考えてみよう！！ 第 13 回 MIYAGI RT LAB; 20210227; Web.

岡善隆. ガラス線量計を用いた出力線量評価. 新潟県厚生連及び県立病院合同放射線治療研修会; 20210914; Web.

岡善隆. ガラス線量計を用いた出力線量評価. 宮城県放射線治療部会定例会; 20211011; Web.

岡善隆. トモセラピーにおける、ガラス線量計を用いた出力線量評価用ファントムの開発. 放射線治療あすなろ会治療特殊治療部会定例会; 20211025; Web.

〔その他〕

岡善隆. 局所進行非小細胞肺癌に対する IMRT の照射計画について考える. 肺癌 IMRT 放射線治療セミナー; 20210820; Web.

宮岡裕一. より良い治療計画の考え方～技師の視点から～. 第 38 回福島県放射線治療懇話会; 20210911; Web.

手術部

論 文

〔原 著〕

Hasegawa T, Obara S, Oishi R, Shiota S, Honda J, Kurosawa S. Transient maintenance of tracheal patency upon the insertion of a flexible bronchoscope in a patient with an anterior mediastinal mass: a case report. *JA Clinical Reports*. 202104; 7(1):39.

Maru H, Obara S, Inoue S. Remifentanyl-induced penile erection in elderly patients undergoing urethrosopic surgery. *JA Clinical Reports*. 202111; 7(1):82.

Oishi R, Nakamura K, Yahagi Y, Ohashi K, Takano Y, Harada R, Obara S, Inoue S, Kanemitsu K, Murakawa M. Evaluation of microbial contamination on cuff syringe, cuff pressure gauge, and their surroundings in the operating room. *JA Clinical Reports*. 202112; 7(1):83.

Obara S. Anesthesiologist behavior and anesthesia machine use in the operating room during the COVID-19 pandemic: awareness and changes to cope with the risk of infection transmission. *Journal of Anesthesia*. 202106; 35(3):351-355.

Obara S, Syroid N, Ogura T, Pace NL, Johnson KB, Albert R, Agutter J, Stuart AR, Egan TD. A pharmacokinetic-pharmacodynamic real-time display may change anesthesiologists' behavior. *Journal of Clinical Monitoring and Computing*. 202105; 35(3):547-556.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Noji Y, Ebana H, Isosu T, Kurosawa S, Murakawa M. Update on the SedLine® algorithm for calculating the Patient State Index of older individuals during general anesthesia: a randomized controlled trial. *Minerva Anestesiologica*. 202107; 87(7):774-785.

Kuwana K, Obara S, Tanaka S, Sato Y, Yoshida K, Hanayama C, Hakozaiki T. The use of the Sanuki airway™ in three patients with suspected difficult airway. *SAGE Open Medical Case Reports*. 202107; 9:2050313X211031311.

小原伸樹. 麻酔・集中治療とマンマシンインターフェイス. 麻酔・集中治療とテクノロジー. 202103; 2020:18-21.

〔その他〕

Tokimura S, Obara S, Hosono A, Hakozaiki T, Kurosawa S. Severe liver dysfunction that required transfusion therapy after laparoscopic antireflux surgery. *Ain-Shams Journal of Anesthesiology*. 2021; 13:12.

Tanaka S, Takatsuki S, Obara S. SARS-CoV-2 vaccination modelling for safe surgery to save lives: date from

international prospective cohort study. British Journal of Surgery. 202109; 108(9):1056-1063.

瀬田川裕紀子, 小原伸樹. 【麻酔薬体内動態・薬力学 back-to-basics】薬物動態基本パラメーターと薬物動態モデル. 麻酔. 202103; 70(3):231-239.

著 書・訳 書

小原伸樹. 27. 全静脈麻酔 (TIVA)、鎮静 (MAC) . In: 山藤道明, 廣田和美 監修. 最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 2021. 東京: 総合医学社; 202105. p.148-152.

研究発表等

〔研究発表〕

三部徳恵, 本田潤, 井石雄三, 細野敦之, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤伸. 褐色細胞腫摘出 5 年後の転移性肝腫瘍摘出術に対する周術期管理の経験. 第 48 回日本集中治療医学会学術集会; 20210212-14; Web(香川).

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 高齢患者における大量の両側胸水を伴う Meigs 症候群に対する周術期管理の経験. 第 33 回日本老年麻酔学会; 20210220-21; Web(太宰府). プログラム・抄録集. 46.

大石理江子, 小原伸樹, 三部徳恵, 小幡英章, 黒澤伸. 胸鎖乳突筋深部への薬液注入は星状神経節ブロックとなるか. 日本区域麻酔学会第 8 回学術集会; 20210409-10; 岡山/Web.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 汎発性腹膜炎による敗血症性ショックの循環管理にフロートトラックシステムが有用だったと考えられた一例. 第 32 回日本臨床モニター学会総会; 20210423-24; Web. 臨床モニター. 32(Suppl)49.

中野裕子, 大石理江子, 小原伸樹, 三部徳恵, 佐藤薫, 小幡英章, 五十洲剛, 黒澤伸. 当院脊椎外来に通院する慢性痛患者における内因性鎮痛系の定量的評価. 日本ペインクリニック学会第 55 回学術集会; 20210724; 富山. 日本ペインクリニック学会誌. 28(プログラム)027-6.

松本木綿子, 井石雄三, 瀬田川裕紀子, 小原伸樹, 井上聡己. ロボット支援下腎部分切除術を行った発作性夜間ヘモグロビン尿症の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 32.

長谷川貴之, 野地善恵, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. Total cavopulmonary connection (TCPC) 術後の伏臥位手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術大会; 20211023-24; Web(金沢). Cardiovascular Anesthesia. 25(suppl):122.

桑名圭祐, 小原伸樹, 松岡智恵, 加瀬彩織, 光井誠子, 野地善恵, 井上聡己. 新しい筋弛緩モニタ TOF-Cuff[®] を用いたロクロニウムの薬物動態・薬力学モデルの後ろ向き検証. 第 28 回日本静脈麻酔学会; 20211127; 福井. プログラム・抄録集. 30.

〔シンポジウム〕

小原伸樹. シンポジウム医学生・臨床研修医（初期）招待企画 出身大学でキャリアを積み～地方公立大学における経験～. 日本麻酔科学会第 68 回学術集会; 20210603-709; Web(神戸).

〔その他〕

小原伸樹. 麻酔科領域講習（リフレッシュコース）・アドバンスト 小児の TIVA と薬物動態. 日本麻酔科学会第 68 回学術集会; 20210603-709; Web(神戸).

箱崎貴大, 井石雄三, 本田潤, 細野敦之, 小原伸樹, 五十洲剛. スタンフォード A 型急性大動脈解離術後に横紋筋融解症を起こした 2 例. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 38.

小原伸樹. 教育講演 6 薬の血中濃度と周術期管理. 日本小児麻酔学会第 26 回大会; 20211016-17; Web(仙台). プログラム. 63.

小原伸樹. 教育講演 22 レミマゾラムと脳波モニタリング. 日本臨床麻酔学会第 41 回大会; 20211106; Web(札幌). 日本臨床麻酔学会誌. 41(6):S147.

集中治療部

論文

〔原 著〕

Hasegawa T, Obara S, Oishi R, Shiota S, Honda J, Kurosawa S. Transient maintenance of tracheal patency upon the insertion of a flexible bronchoscope in a patient with an anterior mediastinal mass: a case report. JA Clinical Reports. 202104; 7(1):39.

Iseki Y, Ono Y, Hibi C, Tanaka S, Takeshita S, Maejima Y, Kurokawa J, Murakawa M, Shimomura K, Sakamoto K. Opening of intermediate conductance Ca^{2+} -activated K^{+} channels in C2C12 skeletal muscle cells increases the myotube diameter via the Akt/mTOR pathway. Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics. 20210301; 376(3):454.

Obara S, Oishi R, Nakano Y, Noji Y, Ebana H, Isosu T, Kurosawa S, Murakawa M. Update on the SedLine® algorithm for calculating the Patient State Index of older individuals during general anesthesia: a randomized controlled trial. Minerva Anestesiologica. 202107; 87(7):774-785.

Kuwana K, Obara S, Tanaka S, Sato Y, Yoshida K, Hanayama C, Hakozaiki T. The use of the Sanuki airway™ in three patients with suspected difficult airway. SAGE Open Medical Case Reports. 202107; 9:2050313X211031311.

本田潤, 箱崎貴大, 五十洲剛, 井上聡己, 野地善恵. Meigs 症候群疑いの患者において再膨張性肺水腫をきたすことなく管理できた 1 症例. 臨床麻酔. 202111; 45(11):1462-1464.

〔その他〕

Tokimura S, Obara S, Hosono A, Hakozaiki T, Kurosawa S. Severe liver dysfunction that required transfusion therapy after laparoscopic antireflux surgery. Ain-Shams Journal of Anesthesiology. 2021; 13:12.

Kase S, Yoshida K, Hakozaiki T. Efforts on Education by Using Social Media for Young Anesthesiologists in the COVID-19 Pandemic. Asian Journal of Anesthesiology. 202112; 59(4):172-173.

研究発表等

〔研究発表〕

三部徳恵, 本田潤, 井石雄三, 細野敦之, 箱崎貴大, 小原伸樹, 五十洲剛, 黒澤伸. 褐色細胞腫摘出 5 年後の転移性肝腫瘍摘出術に対する周術期管理の経験. 第 48 回日本集中治療医学会学術集会; 20210212-14; Web(香川).

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 高齢患者における大量の両側胸水を伴う Meigs 症候群に対する周術期管理の経験. 第 33 回日本老年麻酔学会; 20210220-21; Web(太宰府). プログラム・抄録集. 46.

野地善恵, 小原伸樹, 五十洲剛. 汎発性腹膜炎による敗血症性ショックの循環管理にフロートトラックシステムが有用だったと考えられた一例. 第 32 回日本臨床モニター学会総会; 20210423-24; Web. 臨床モニター. 32(Suppl)49.

松岡智恵, 長谷川貴之, 大石理江子, 五十洲剛, 井上聡己. 前縦隔腫瘍の上大静脈浸潤に対して合併切除を施行し上大静脈の遮断を要した一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 26.

桑名圭祐, 荒木英治, 加瀬彩織, 本田潤, 黒澤伸, 井上聡己. 胃瘻造設後の内視鏡的食道粘膜下層剥離術中に腹腔内へのガス漏出から呼吸・循環に影響が及んだ一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 29.

オズミンスキー真理, 薬師寺たつみ, 田中詩織, 箱崎貴大, 井上聡己. Sotos 症候群を合併した患児の麻酔経験. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 32.

白石太一, 井石雄三, 高木麻美, 三部徳恵, 井上聡己. 心アミロイドーシス患者の経皮的動脈弁置換術中に発症した心停止に対し人工心肺使用し救命できた一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会;

20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 32.

松本木綿子, 井石雄三, 瀬田川裕紀子, 小原伸樹, 井上聡己. ロボット支援下腎部分切除術を行った発作性夜間ヘモグロビン尿症の一例. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 32.

加瀬彩織, 高月沙織, 吉田圭佑, 中野裕子, 細野敦之, 井上聡己. コロナ禍における SNS を用いた若手麻酔科医の教育・学習における取り組み. 日本麻酔科学会北海道・東北支部第 11 回学術集会; 20210904-1004; Web(盛岡). プログラム. 34.

長谷川貴之, 野地善恵, 吉田圭佑, 井石雄三, 小原伸樹, 井上聡己. Total cavopulmonary connection (TCPC) 術後の伏臥位手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会第 26 回学術大会; 20211023-24; Web(金沢). Cardiovascular Anesthesia. 25(suppl):122.

野地善恵, 五十洲剛, 井上聡己. 下肢骨折に対する手術の周術期に肺血栓塞栓症を発症した 2 例の検討. 日本蘇生学会第 40 回大会; 20211112; 奈良/Web. 日本蘇生学会雑誌. 40(3):194.

〔その他〕

箱崎貴大. 教育講演 3 循環モニタリング. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 21.

細野敦之, 本田潤, 井石雄三, 大石理江子, 箱崎貴大, 五十洲剛. 血管輪による気管・気管支狭窄に対する思春期における予防的修復術の周術期管理. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 33.

箱崎貴大, 井石雄三, 本田潤, 細野敦之, 小原伸樹, 五十洲剛. スタンフォード A 型急性大動脈解離術後に横紋筋融解症を起こした 2 例. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 38.

一ノ瀬仁美, 高橋諒, 田口遼, 箱崎貴大, 渡部ますい. ICU における早期経腸栄養開始に向けての取り組み. 日本集中治療医学会第 5 回東北支部学術集会; 20210626; Web(福島). プログラム・抄録集. 45.

総合周産期母子医療センター

論文

〔原 著〕

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Miyazaki K, Maeda H, Ichikawa H, Chishiki M, Kashiwabara N, Kume Y, Ogasawara K, Sato M, Hosoya M. Biomarker Potential of the Soluble Receptor for Advanced Glycation End Products to Predict Bronchopulmonary Dysplasia in Premature Newborns. *Frontiers in Pediatrics*. 202104; 9:649526.

Ishibashi M, Watanabe T, Kyozuka H, Yamaguchi A, Sato K, Sato M, Go H, Fujimori K. Perinatal diagnosis of a fetus with an unbalanced translocation 46,XY,der(10)t(6;10)(p22;q26.1) with multiple malformations:a case report and literature review. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):83-88.

Shima E, Go H, Maeda H, Ogasawara K, Imamura T, Sasaki M, Koh Y, Nollet KE, Ikeda K, Ohto H, Hosoya M. Down syndrome with neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-HLA31 and B61 antibodies. *International Journal of Hematology*. 202106; 113(6):945-949.

Go H, Saito Y, Maeda H, Maeda R, Yaginuma K, Ogasawara K, Kashiwabara N, Kawasaki Y, Hosoya M. Serum cytokine profiling in neonates with hypoxic ischemic encephalopathy. *Journal of Neonatal-Perinatal Medicine*. 2021; 14(2):177-182.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):7221.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Author Correction: Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. *Scientific Reports*. 202107; 11(1):14218.

Kume Y, Kawasaki Y, Suyama K, Maeda R, Takahashi Y, Hoshino M, Suzuki S, Mitomo M, Nozawa R, Namai Y, Sakuma H, Kaneko M, Oda S, Murai H, Kanno S, Nagasawa K, Ito M, Suzuki H, Ohara S, Go H, Goto A, Hosoya M. Incidence and Relapse Triggers of Childhood Idiopathic Nephrotic Syndrome between 2006 and 2016: A Population-Based Study in Fukushima, Japan. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202102; 253(2):125-134.

Chishiki M, Go H, Endo K, Ueda NK, Takehara H, Namai Y. Cytokine Profiles Before and After Exchange Transfusions in Severe Late-Onset Neonatal Group B Streptococcus Meningitis: A Case Report. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202104; 253(4):269-273.

Chishiki M, Go H, Endo K, Ueda NK, Takehara H, Namai Y. Response: Treatment Strategy for Severe Sepsis in Newborns. Tohoku Journal of Experimental Medicine. 202106; 254(2):143-144.

小笠原啓, 郷勇人. 【治療法選択・ケアのエビデンスがつかめる 新生児の呼吸・循環 判断力・実践力 UP のためのケース 71】(第2章) ケースで学ぶ新生児の呼吸・循環管理 判断・実践力 UP のためのケース NICU でよく直面する疾患とその治療法選択のエビデンス 慢性肺疾患 (CLD/BPD) . with NEO. 202109; 2021(秋季増刊):112-123.

増山郁, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 【災害時の小児医療～災害の経験を今後活かす～】原発事故と広域避難、その後 NICU 卒業生交流キャンプ『すくすくキャンプ』. 小児科診療. 202103; 84(3):383-387.

佐久間一理, 郷勇人, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 宮崎恭平, 知識美奈, 清水裕美, 小笠原啓, 佐藤真紀, 桃井伸緒, 細矢光亮, 福田豊, 有賀裕道. 動脈管早期収縮の発症に母体レイボスティーの過剰摂取の関連が疑われた 3 例. 小児科臨床. 202108; 74(8):991-996.

高橋唯, 宮崎恭平, 佐藤賢一, 柏原祥曜, 知識美奈, 清水裕美, 小笠原啓, 郷勇人, 佐藤真紀, 桃井伸緒. 頭部 MRI および血清 5-S-cysteinyldopa 高値により早期診断に至った神経皮膚黒色症. 日本周産期・新生児医学会雑誌. 202109; 57(2):360-365.

星野正人, 有賀裕道, 佐久間一理, 蛭田俊, 市川弘隆, 木下英俊, 福田豊, 藤木伴男, 長澤克俊. 先天性核上性球麻痺の 1 例. 福島医学雑誌. 202112; 71(3):121-125.

病理部

研究発表等

〔研究発表〕

菅野寿也. リンパ節細胞診のポイントとピットフォール. 第 57 回東北臨床細胞学会学術集会; 20210703; Web.

内視鏡診療部

論 文

〔原 著〕

Sugimoto M, Irie H, Takasumi M, Hashimoto M, Oka Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Marubashi S, Hikichi T, Ohira H. A simple method for diagnosing gallbladder malignant tumors with subserosa invasion by endoscopic ultrasonography. *BMC Cancer*. 202103; 21(1):288.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Mirogabalin vs pregabalin for chemotherapy-induced peripheral neuropathy in pancreatic cancer patients. *BMC Cancer*. 202112; 21(1):1319.

Kiyotoki S, Nishikawa J, Nagata N, Niikura R, Doyama H, Imagawa A, Hasatani K, Hatta W, Sumiyoshi T, Nebiki H, Nagami Y, Nishida T, Kakushima N, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Kuribayashi S, Narasaka T, Hikichi T, Yada T, Ochiai Y, Furuhashi H, Yoshio T, Mori H, Yamauchi K, Kitamura K, Fujita T, Mabe K, Mikami T, Goto A, Akashi M, Hamamoto Y, Fujishiro M, Sakaida I. Exploration of the characteristics of chronotypes in upper gastrointestinal tract diseases: a multicenter study in Japan. *Chronobiology International*. 202104; 38(4):534-542.

Kaneshiro T, Amami K, Hijioka N, Nodera M, Yamada S, Yokokawa T, Misaka T, Hikichi T, Yoshihisa A, Takeishi Y. Significance of contact force on esophageal thermal injury during relative high-power short-duration ablation of atrial fibrillation. *Circulation. Arrhythmia and Electrophysiology*. 202106; 14(6):e009897.

Sugimoto M, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Hoteya S, Doyama H, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Hayashi Y, Murata M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Fujishiro M, Masamune A, Kawai T. Risk factors for bleeding after endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in elderly patients older than 80 years in Japan. *Clinical and Translational Gastroenterology*. 202109; 12(9):e00404.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. Usefulness of Endoscopic Ultrasound with the Jelly-Filling Method for Esophageal Varices. *Diagnostics*. 202109; 11(9):1726.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Usefulness of a Fork-Tip Needle in Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Biopsy for Gastric Subepithelial Lesions. *Diagnostics*. 202110;

11(10):1883.

Kikuchi H, Hikichi T, Watanabe K, Nakamura J, Hashimoto M, Kato T, Obara K, Ohira H. Effectiveness of L-Menthol Spray Application on Lesions for the Endoscopic Clarification of Early Gastric Cancer: Evaluation by the Color Difference. *Digestion*. 2021; 102(2):274-282.

Hashimoto M, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Takasumi M, Kato T, Suzuki R, Sugimoto M, Irie H, Takagi T, Ohira H. Clinical Characteristics of Intramucosal Gastric Cancers with Lymphovascular Invasion Resected by Endoscopic Submucosal Dissection. *Digestion*. 2021; 102(4):546-553.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Hashimoto M, Kato T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Kikuchi H, Waragai Y, Kobayakawa M, Yamasaki M, Ohira H. Efficacy of Sodium Carboxymethylcellulose Compared to Sodium Hyaluronate as Submucosal Injectant for Gastric Endoscopic Submucosal Dissection: A Randomized Controlled Trial. *Digestion*. 2021; 102(5):753-759.

Hashimoto M, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Hoteya S, Doyama H, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Fujishiro M, Masamune A, Ohira H; Collaborators. Rebleeding in patients with delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer. *Digestive Endoscopy*. 2021; 33(7):1120-1130.

Kawashima K, Abe S, Koga M, Nonaka S, Suzuki H, Yoshinaga S, Oda I, Hikichi T, Ohira H, Saito Y. Optimal selection of endoscopic resection in patients with esophageal squamous cell carcinoma: endoscopic mucosal resection versus endoscopic submucosal dissection according to lesion size. *Diseases of the Esophagus*. 2021; 34(5):doaa096.

Tomida H, Yoshio T, Igarashi K, Morita Y, Oda I, Inoue T, Hikichi T, Sumiyoshi T, Doyama H, Tsuji Y, Nishikawa J, Hatta W, Mikami T, Iguchi M, Sumiyama K, Yamamoto K, Kitamura K, Kuribayashi S, Yanagitani A, Uraoka T, Yada T, Hasatani K, Kawaguchi K, Fujita T, Nishida T, Hiasa Y, Fujishiro M; FIGHT-Japan Study Group. Influence of anticoagulants on the risk of delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection: a multicenter retrospective study. *Gastric Cancer*. 2021; 24(1):179-189.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kikuchi H, Waragai Y, Watanabe K, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Hayashi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. A Pilot Randomized Crossover Trial of Wet Suction and Conventional Techniques of Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration for Upper Gastrointestinal Subepithelial Lesions. *Gastroenterology Research and Practice*. 2021; 2021:4913107.

Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Kakushima N, Hoteya S, Doyama H, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Koike T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Nakamura T, Nakaya N, Fujishiro M, Masamune A. Prediction model of bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: BEST-J score. *Gut*. 2021; 70(3):476-484.

Nakamura J, Hikichi T, Hashimoto M, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Efficacy and Safety of Peroral Endoscopic Myotomy for Esophageal Achalasia and Achalasia-Related Diseases in Patients Aged 75 Years and Over. *Healthcare*. 202112; 9(12):1668.

Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. The Dramatic Haemostatic Effect of Covered Self-expandable Metallic Stents for Duodenal and Biliary Bleeding. *Internal Medicine*. 202103; 60(6):883-889.

Hatta W, Koike T, Takahashi S, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Matsumoto T, Nakamura T, Nakaya N, Iijima K, Fukuda S, Masamune A; Tohoku GI Endoscopy Group. Risk of metastatic recurrence after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa: a multicenter retrospective study. *Journal of Gastroenterology*. 202107; 56(7):620-632.

Matsuhashi T, Hatta W, Hikichi T, Fukuda S, Mikami T, Tatsuta T, Nakamura J, Abe Y, Onozato Y, Ogata Y, Masamune A, Ohyauchi M, Ito H, Hanabata N, Araki Y, Yanagita T, Imamura H, Tsuji T, Sugawara K, Horikawa Y, Ohara S, Kondo Y, Dohmen T, Kakuta Y, Nakamura T, Iijima K. A simple prediction score for in-hospital mortality in patients with nonvariceal upper gastrointestinal bleeding. *Journal of Gastroenterology*. 202108; 56(8):758-768.

Shiroma S, Hatta W, Tsuji Y, Yoshio T, Yabuuchi Y, Hoteya S, Tsuji S, Nagami Y, Hikichi T, Kobayashi M, Morita Y, Sumiyoshi T, Iguchi M, Tomida H, Inoue T, Mikami T, Hasatani K, Nishikawa J, Matsumura T, Nebiki H, Nakamatsu D, Ohnita K, Suzuki H, Ueyama H, Hayashi Y, Sugimoto M, Yamaguchi S, Michida T, Yada T, Asahina Y, Narasaka T, Kuribayashi S, Kiyotoki S, Mabe K, Fujishiro M, Masamune A, Fujisaki J. Timing of bleeding and thromboembolism associated with endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in Japan. *Journal of Gastroenterology and Hepatology*. 202110; 36(10):2769-2777.

Konno N, Suzuki R, Takagi T, Sugimoto M, Asama H, Sato Y, Irie H, Hikichi T, Ohira H. Clinical utility of a newly developed microfluidic device for detecting circulating tumor cells in the blood of patients with pancreatico-biliary malignancies. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 202101; 28(1):115-124.

Suzuki R, Ishii S, Watanabe H, Takagi T, Sugimoto M, Sato Y, Nakamura J, Takasumi M, Kato T, Hashimoto M, Hikichi T, Ito H, Ohira H. Splenic volume as a prognostic indicator for unresectable pancreatic cancer. *World Academy of Sciences Journal*. 202101; 3(1):9.

Sugimoto M, Abe K, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Watanabe K, Nakamura J, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Dysbiosis of the duodenal microbiota as a diagnostic marker for pancreaticobiliary cancer. *World Journal of Gastrointestinal Oncology*. 202112; 13(12):2088-2100.

〔総説等〕

引地拓人, 中村純, 加藤恒孝. 【消化管診断・治療手技のすべて 2021】胃 治療 EIS 胃静脈瘤に対する内視鏡治療 (CA 法) . 胃と腸. 202105; 56(5):646-647.

引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 大久保義徳, 小橋亮一郎, 高住美香, 川島一公, 高木忠之. 【らくわかり!消化器内視鏡の COVID-19 感染対策 最新マニュアル 全国施設のオリジナルグッズも紹介!】消化器内視鏡検査・治療実施の適応と受診前後の管理. 消化器ナースング. 202108; 26(8):710-717.

引地拓人, 加藤恒孝, 高住美香. 【ついつい教えたくなる、とっておきのコツ】胃 観察 早期胃癌の境界がわかりにくく、同定しにくい場合にはトメントールを腫瘍自体にまくとよい! 消化器内視鏡. 202102; 33(2):230-233.

引地拓人, 中村純, 橋本陽. 【ついつい教えたくなる、とっておきのコツ】十二指腸 治療 十二指腸腫瘍に対する内視鏡治療では細径大腸スコープを使うとよい. 消化器内視鏡. 202102; 33(2):301-303.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 小橋亮一郎, 高住美香, 高木忠之, 小原勝敏, 大平弘正. 【緊急内視鏡の今】上部消化管領域の緊急内視鏡 食道・胃静脈瘤出血に対する内視鏡治療. 消化器内視鏡. 202104; 33(4):702-707.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 入江大樹, 小橋亮一郎, 橋本陽. 【門脈圧亢進症に対する診療】門脈圧亢進症のおもな合併症 診療の実際 食道・胃噴門部静脈瘤に対する内視鏡治療. 臨床消化器内科. 202110; 36(12):1495-1503.

〔症例報告〕

Ishizaki Y, Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hikichi T, Ohira H. Spontaneous disappearance of common bile duct stones following the insertion of a new dumbbell-shaped, covered self-expandable metallic stent in a patient with benign biliary stricture. Clinical Case Reports. 202105; 9(5):e04093.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Hanayama H, Saze Z, Kobayakawa M, Kono K, Ohira H. Gastric carcinoma with lymphoid stroma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. Clinical Journal of Gastroenterology. 202104; 14(2):471-477.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Okubo Y, Satake S, Oka Y, Yamada S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Two cases of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation resected by endoscopic submucosal dissection. Clinical Journal of Gastroenterology. 202106; 14(3):736-744.

Hashimoto C, Hikichi T, Hashimoto M, Waragai Y, Takasumi M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Satake S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Localized gastric amyloidosis diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. Clinical Journal of Gastroenterology. 202108; 14(4):1036-1041.

Noguchi Y, Sugimoto M, Kiko Y, Takagi T, Suzuki R, Konno N, Asama H, Sato Y, Irie H, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Hashimoto Y, Hikichi T, Ohira H. Hilar Malignant Biliary Obstruction Treated with Four Metallic Stents Involving a New Slim Device. Internal Medicine. 202106; 60(12):1871-1876.

Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, Ohira H. Endoscopic images before the onset of Cronkhite-Canada syndrome. Internal Medicine. 202112; 60(24):3999-4000.

著 書・訳 書

引地拓人, 高木忠之, 小原勝敏. 孤立性胃静脈瘤治療の実際 II. 待期・予防例への対応 1. 内視鏡的組織接着剤注入法を中心とした治療法. In: 入澤篤志, 於保和彦, 中村真一 編集. 食道・胃静脈瘤 改訂第4版. 東京: 日本メディカルセンター; 202106. p.243-252.

引地拓人, 高木忠之, 小原勝敏. 孤立性胃静脈瘤治療の実際 III. 難治性胃静脈瘤に対する治療法 1. 内視鏡治療困難例に対する対処法—腎静脈系短絡路閉塞下硬化療法 (SO-EIS) . In: 入澤篤志, 於保和彦, 中村真一 編集. 食道・胃静脈瘤 改訂第4版. 東京: 日本メディカルセンター; 202106. p.272-277.

引地拓人. 胃 MALT リンパ腫. In: 日本消化器内視鏡学会専門医試験委員会 責任編集. 日本消化器内視鏡学会専門医学術試験問題 解答と解説 第5版. 東京: 医学書院; 202107. p.98.

引地拓人. 小腸静脈瘤. In: 日本消化器内視鏡学会専門医試験委員会 責任編集. 日本消化器内視鏡学会専門医学術試験問題 解答と解説 第5版. 東京: 医学書院; 202107. p.106.

引地拓人. 乳頭腫. In: 日本消化器内視鏡学会専門医試験委員会 責任編集. 日本消化器内視鏡学会専門医学術試験問題 解答と解説 第5版. 東京: 医学書院; 202107. p.116.

研究発表等

〔研究発表〕

佐竹隼輔, 引地拓人, 高木忠之, 黒田聖仁, 大平弘正. 超音波内視鏡下穿刺吸引生検が診断に有用であった胃粘膜下病変型胃癌の1例. 第165回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210205; Web. 抄録集. 56.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 大平弘正. 上部消化管出血に対する内視鏡的止血術の変化. 第165回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210205; Web. 抄録集. 37.

阿部直人, 郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 引地拓人, 大平弘正. 治療抵抗性の腸炎を繰り返しサイトメガロウイルス (CMV) 感染症も合併した Good 症候群の一例. 日本消化器病学会東北支部第210回例会; 20210206; Web. 抄録集. 44.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 大平弘正. 悪性食道狭窄に対する逸脱予防を考慮した金属ステント留置術. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. 抄録集. 48.

石崎優斗, 郡司直彦, 鬼澤道夫, 川島一公, 引地拓人, 大平弘正. 高安動脈炎 (TA) 合併クローン病 (CD) の治療中に胎児性横紋筋肉腫を発症した難治性 CD の一例. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. 抄録集. 38.

竹田悠太郎, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 高橋敦史, 阿部和道, 林学, 藤田将史, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 飢餓による肝障害を克服し POEM で治療しえた食道アカラシアの 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 210 回例会; 20210206; Web. 抄録集. 42.

小橋亮一郎, 引地拓人, 高住美香, 中村純, 加藤恒孝, 橋本陽, 佐藤雄紀, 鈴木玲, 杉本充, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 抗血栓薬服用中の食道静脈瘤症例に対する内視鏡的硬化療法の周術期管理の現状. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):181.

小橋亮一郎, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 表在型十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍に対する Underwater EMR の有用性と課題. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):208.

持丸友昭, 引地拓人, 高住美香, 橋本陽, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 上部消化管粘膜下病変の EUS-FNA における穿刺針内生理食塩液充滿法と従来法のランダム化クロスオーバー試験. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):217.

加藤恒孝, 引地拓人, 渡辺晃, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 悪性食道狭窄に対する OTSC を用いたステント留置術の有用性. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):260.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 後期高齢者の食道アカラシアおよび類縁疾患に対する経口内視鏡的筋層切開術の安全性と有用性. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):281.

竹田悠太郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 経口内視鏡的筋層切開術が有効であった Jackhammer 食道の 1 例. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):283.

橋本長一朗, 引地拓人, 橋本陽, 高住美香, 中村純, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 藁谷雄一, 高木忠之, 大平弘正. 超音波内視鏡下穿刺吸引生検 (EUS-FNA) が診断に有用であった胃限局性 AL 型アミロイドーシスの 1 例. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):293.

佐竹隼輔, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. ESD を施行された pT1a-MM 食道扁平上皮癌の検討. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):305.

野口祐紀, 橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 化学放射線療法後の局所遺残・再発食道癌に対する光線力学療法. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):305.

木村友哉, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 鈴木えり奈, 佐瀬善一郎, 高木忠之, 橋本優子, 河野浩二, 大平弘正. 胎児消化管類似胃癌の 1 例. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):307.

石崎優斗, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 花山寛之, 佐瀬善一郎, 高木忠之, 河野浩二, 大平弘正. 表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (D-LECS). 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 日本消化管学会雑誌. 5(Suppl.):309.

八田和久, 辻陽介, 由雄敏之, 角嶋直美, 布袋屋修, 土山寿志, 永見康明, 引地拓人, 小林雅邦, 森田圭紀, 井口幹崇, 富田英臣, 井上拓也, 三上達也, 波佐谷兼慶, 岡本健志, 松村倫明, 藤城光弘, 正宗淳. 早期胃癌 ESD 後出血予測モデル—simple model と BEST-J score の比較—. 第 17 回日本消化管学会総会学術集会; 20210219-21; Web. 抄録集. 184.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 抗凝固薬服用者における PGA シートと自己フィブリン糊貼付による胃癌 ESD 後出血予防策. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 総会記事. 270.

中村純, 引地拓人, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 大平弘正. 福島市胃がん内視鏡検診の発見胃癌からみた問題点と精度管理の必要性. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 総会記事. 271.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 小橋亮一郎, 高木忠之, 大平弘正. 胃粘膜下腫瘍に対する LECS の現状. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 総会記事. 303.

村上舞, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 残胃癌に対する ESD. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 総会記事. 314.

加藤恒孝, 引地拓人, 渡辺晃, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. ESD で治療切除しえた胎児消化管類似胃癌 (GAED) の 2 例. 第 93 回日本胃癌学会総会; 20210303-05; 大阪. 総会記事. 360.

小橋亮一郎, 引地拓人, 今村秀道, 橋本健明, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 佐竹隼輔, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 迎慎二, 大平弘正. 胃 ESD 時に穿孔をきたした食道胃接合部癌の一例. 第 6 回 ESD 研究会; 20210305; Web.

紺野直紀, 鈴木玲, 杉本充, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 入江大樹, 高木忠之, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵癌診断における新規マイクロ流体デバイスを用いた血中循環腫瘍細胞検出の有用性の検証. 第 118 回日本内科学会総会;

20210409-11; 東京. 日本内科学会誌. 110(Suppl.):155.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝. 胃静脈瘤に対する HA/EO 併用法の治療成績. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A201.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 大平弘正. 抗凝固薬服用者における PGA シートと自己フィブリン糊貼付による胃 ESD 後出血予防策. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A330.

中村純, 引地拓人, 橋本陽. 福島市における胃がん内視鏡検診の現状と展望. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):754.

加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 化学放射線療法後の異時性食道癌に対する ESD の検討. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):873.

持丸友昭, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤治療後あるいは同時合併の表在食道癌に対する ESD. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):873.

佐竹隼輔, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. ESD を施行された pT1a-MM 食道扁平上皮癌. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):874.

橋本陽, 引地拓人, 大平弘正, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 高木忠之. 十二指腸表在型腫瘍に対する UEMR の現状. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):881.

高住美香, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 佐竹隼輔, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 胃粘膜下病変に対する新しい FNB 針と直視コンベックス型超音波内視鏡を用いた EUS-FNA. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):909.

加藤恒孝, 引地拓人, 大平弘正. 悪性食道狭窄に対する逸脱予防を考慮した金属ステント留置術. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):910.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 大平弘正. 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」発表前後における胃 ESD の周術期管理の検証. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):916.

村上舞, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 残胃癌に対する ESD. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):937.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 引地拓人, 大平弘正. 超音波気管支ファイバービデオスコープ (EBUS) を用いた経消化管的 EUS-FNA の有用性. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514-16; 広島 /Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):982.

清水広, 藁谷雄一, 柳田拓実, 阿部直人, 橋本長一朗, 三浦佑一, 高山純, 八巻英郎, 郡司直彦, 引地拓人, 熊川宏美. 直腸の腸管子宮内膜症由来の漿液性癌と大細胞型神経内分泌癌の混合癌の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 41.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 大平弘正. コロナ禍における消化器内視鏡診療～COVID-19 患者に対する緊急内視鏡の経験を含めて～. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 50.

小林玲子, 川島一公, 竹田悠太郎, 鬼澤道夫, 郡司直彦, 引地拓人, 大平弘正. 大腸顆粒細胞腫における ESD 治療の有用性を示唆した 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 64.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. ESD を施行された 49 歳以下の胃癌症例の検討. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 66.

佐久間千陽, 引地拓人, 中村純, 浅間宏之, 児玉健太, 菅野有紀子, 黒田聖仁, 田崎和洋, 大平弘正. ピロリ感染を背景とした幽門腺腫由来胃癌の 1 例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. プログラム・抄録集. 67.

大久保義徳, 鈴木玲, 大平弘正. 胆脾腫瘍による悪性胃・十二指腸狭窄の対する十二指腸ステント逸脱予防の工夫. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 44.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純. 悪性食道狭窄に対する逸脱予防を考慮した金属ステント留置術. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 44.

橋本陽, 引地拓人, 中村純. 放射線治療後の遺残・再発食道癌に対する内視鏡治療戦略. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 50.

高住美香, 引地拓人, 橋本陽. 食道粘膜下病変に対する EUS-FNA. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 51.

中村純, 引地拓人, 橋本陽. 食道アカラシアに対する POEM の長期予後. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 52.

佐藤秀紀, 引地拓人, 加藤恒孝, 大平弘正. EMR 後の計画的分割 PDT が有効であった化学放射線療法後の局所再発食道癌の 1 例. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 55.

阿部直人, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 小嶋祐紀, 高木忠之. Ball valve syndrome を呈した胃脂肪腫に対して ESD で切除をした 1 例. 第 166 回日

本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 56.

大塚充, 佐藤雄紀, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 大久保義徳, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 柳田拓実, 大平弘正. 急性膵炎後の Walled-off necrosis に対して Lumen apposing metal stent を用いて効果的に内視鏡的ネクロセクトミーを施行した一例. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 60.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 柳田拓実, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 症例提示. 第 374 回福島消化器病研究会; 20210716; 福島.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 入江大樹, 小橋亮一郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 大久保義徳, 大平弘正, 小原勝敏. 食道・胃静脈瘤に対する EIS 習得のステップ. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):115.

佐久間千陽, 引地拓人, 高木忠之, 鈴木玲, 中村純, 杉本充, 高住美香, 佐藤雄紀, 橋本陽, 加藤恒孝, 入江大樹, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 大平弘正. 食道静脈瘤の術前評価における内視鏡用視野確保ゲルを用いた EUS の実際. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):120.

高木忠之, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 加藤恒孝, 高住美香, 入江大樹, 小橋亮一郎, 二階堂雄文, 大平弘正. IgG4 関連疾患に合併した胃静脈瘤の 1 例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):120.

柳田拓実, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 大腸静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法後に菌血症を来した肝外門脈大循環短絡症の 1 例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):140.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 食道・胃静脈瘤の治療歴のない十二指腸静脈瘤出血の一例. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 日本門脈圧亢進症学会雑誌. 27(3):152.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 肝硬変を背景とした食道静脈瘤合併門脈血栓症例の治療方針の検討. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 抄録集. 93.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 高住美香, 橋本陽, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 食道静脈瘤に対する EIS の要点と課題. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会; 20210916-17; Web. 抄録集. 116.

浅間宏之, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 紺野直紀, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 当院における切除不能膵癌に対するがんゲノム医療の現状. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web. 膵臓. 36(3):A284.

竹田悠太郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝,

小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 膵癌術後の挙上空腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の有用性の検討. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web.

入江大樹, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 引地拓人, 大平弘正. 当院における nanoliposomal irinotecan + 5-FU/LV 併用療法の使用経験. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-23; 東京/Web.

中村純, 引地拓人, 八田和久, 嶋田奉広, 鳥谷洋右, 田中一平, 阿部靖彦, 濱田晃市, 飯島克則, 福田眞作. pT1a-MM/T1b-SM 食道扁平上皮癌の転移再発リスク 多施設共同後向きコホート研究. 第 75 回日本食道学会学術集会; 20210923-24; 東京/Web. プログラム・抄録集. 12.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 肝硬変を背景とした食道静脈瘤合併門脈血栓症例の AT-III を含む治療方針の検討. 第 4 回東北・北関東門脈亢進症研究会; 20211002; Web.

高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 紺野直紀, 浅間宏之, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 胃空腸バイパス術後症例における ERCP の検討. 第 57 回日本胆道学会総会; 20211007-08; 東京/Web. 胆道. 35(3):425.

中村純, 引地拓人, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 75 歳以上の食道アカラシアおよびアカラシア類縁疾患患者に対する経口内視鏡的筋層切開術の有用性と安全性. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2016.

高住美香, 引地拓人, 橋本陽, 中村純, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 大平弘正. 大腸粘膜下病変や大腸壁外病変に対する EUS-FNA の有用性. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2026.

入江大樹, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 術後胆汁漏に対する内視鏡的経乳頭胆道ドレナージ術の治療成績. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2040.

加藤恒孝, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 清水広, 小林玲子, 高木忠之, 大平弘正. 肝硬変を背景とした食道静脈瘤合併門脈血栓症例の治療方針の検討. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2050.

橋本陽, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. 食道 ESD 時に判明した限局的筋層欠損. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2050.

佐竹隼輔, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 柳田拓実, 高木忠之, 大平弘正. 放射線療法後の局所遺残再発食道癌に対する光線力学療法. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2053.

中村純, 引地拓人, 加藤恒孝, 佐藤雄紀, 橋本陽, 小橋亮一郎, 鈴木玲, 杉本充, 高住美香, 入江大樹, 大久保義徳, 佐竹隼輔, 高木忠之, 大平弘正. 胃静脈瘤に対するNBCA/EO法の有用性と安全性. 第102回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2068.

大久保義徳, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵腫瘍による悪性胃・十二指腸狭窄に対する十二指腸ステント留置術の有用性の検討. 第102回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2077.

竹田悠太郎, 高木忠之, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 大久保義徳, 中村純, 高住美香, 橋本陽, 加藤恒孝, 小橋亮一郎, 引地拓人, 大平弘正. 胆膵外科術後の挙上空腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の有用性の検討. 第102回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2093.

佐藤雄紀, 鈴木玲, 高木忠之, 杉本充, 入江大樹, 引地拓人, 中村純, 高住美香, 加藤恒孝, 橋本陽, 小橋亮一郎, 大久保義徳, 大平弘正. 血中細胞外小胞 microRNA による膵管内乳頭状粘膜性腫瘍の良悪性診断法の開発. 第63回日本消化器病学会大会; 20211104-07; 神戸/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増大会):A737.

小橋亮一郎, 引地拓人, 中村純, 橋本陽, 高住美香, 加藤恒孝, 柳田拓実, 鈴木玲, 杉本充, 佐藤雄紀, 入江大樹, 大久保義徳, 高木忠之, 大平弘正. コロナ禍での消化器内視鏡診療～COVID-19患者に対する緊急内視鏡の経験を含めて～. 第7回内視鏡検査・周術期管理の標準化に向けた研究会; 20211107; 神戸/Web.

引地拓人. 飛沫防止マウスピースによるCOVID-19対策と使用経験. Advanced GI Endoscopy Forum 2021 from Happy Island; 20211116; Web.

〔特別講演〕

引地拓人. ESDと局注材～リフタルKの有用性～. 第31回福島ESDクラブ; 20210116; Web.

引地拓人. 見逃し胃癌やピロリ未感染胃癌からみた内視鏡観察のコツ. FUKUSHIMA GI Forum; 20210126; Web.

引地拓人. ピロリ感染者減少・新型コロナウイルス時代の胃がん内視鏡検診の在り方～撮影の盲点と感染対策. 令和2年度胃内視鏡検査読影従事者講習会; 20210207; 白河.

引地拓人. ペパーミントオイルからL-メントール製剤へ～内視鏡診断・治療における有用性～. 第10回新都心内視鏡勉強会; 20210323; Web.

引地拓人. 東日本大震災被災地の地方大学病院における最新の消化器内視鏡治療の導入と発信. 第43回佐賀胃腸懇話会; 20210409; 佐賀.

引地拓人. ピロリ感染状態や組織型に基づく早期胃癌の内視鏡診断～内視鏡検診での発見胃癌の検証を交えて～. 安達医師会学術講演会; 20210518; Web.

引地拓人. 消化器内視鏡診療における患者急変時対応のシミュレーション. 北里大学内視鏡診療web講演会;

20210615; Web.

引地拓人. 食道胃静脈瘤に対する内視鏡治療の基本手技ならびに最近感じること. 第2回近畿門脈圧亢進症研究会; 20210626; Web.

引地拓人. メディカルスタッフにも知ってほしい早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の基本とトピック. 第59回日本消化器がん検診学会東北地方会; 20210703; Web.

引地拓人. 災害に備えるための内視鏡スタッフの心得～東日本大震災の経験から～. 第21回東海・北陸消化器内視鏡従事者セミナー; 20210801; Web.

引地拓人. 上部消化管粘膜下腫瘍の EUS-FNA における SharkCore の有用性. 東日本 SharkCoreWebinar; 20210805; Web.

中村純. 知っておきたい「食道アカラシアの内視鏡治療」. 第36回福島県消化器内視鏡技師研究会; 20210821-0903; Web.

引地拓人. 胃腫瘍に対するリフタルKを用いた ESD と最新の話題. AIM・KAIGEN オンラインセミナー; 20210906; Web.

引地拓人. GERD 診療ガイドライン 2021 における変更点の解説～早期胃癌に対する ESD の最新の話題を含めて～. FUKUSHIMA GI Channel; 20210909; Web.

引地拓人. ESD における ProKnife の可能性. ESD テクニカルセミナー@大阪; 20211011; 大阪.

引地拓人. 内視鏡室における多職種での業務分担と連携～医師・看護師・検査技師・臨床工学技士～. 鹿児島県消化器内視鏡技師会 presents スペシャル WEB セミナー「内視鏡室における多職種協働とチーム医療を考える」; 20211122; Web.

引地拓人. コロナ禍の消化器内視鏡診療における抗血栓薬服用者への対応と治療のトピックス. 相馬市消化器学術講演会; 20211126; 相馬.

引地拓人. ここまでできる上部消化管の治療内視鏡～ESD からの発展～. 第25回岩手県消化器治療内視鏡研究会; 20211204; 盛岡.

引地拓人. 早期胃癌に対する ESD の最新の話題. 会津消化器病学術講演会; 20211213; 会津若松.

〔その他〕

中村純. 当科における胃癌に対するニボルマブの使用経験. Meet the Gastric cancer Oncologist in Koriyama; 20210618; Web.

引地拓人. 消化器内視鏡で、このように診断できる・こんな治療をできる. スーパーサイエンスハイスクール事業; 20210930; 会津若松.

臨床腫瘍センター

論文

〔原 著〕

Gonda K, Kanazawa H, Maeda G, Matayoshi C, Hirose N, Katsumoto Y, Kono K, Takenoshita S. Ingestion of Okinawa Island Vegetables Increases IgA Levels and Prevents the Spread of Influenza RNA Viruses. *Nutrients*. 202105; 13(6):1773.

阿左見亜矢佳, 勝部暢介, 赤間孝典, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 立花和之進, 大竹徹, 野水整. 乳癌術式決定に遺伝学的検査が有用であった遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) の一卵性双生児症例. 遺伝性腫瘍. 202108; 21(2):41-46.

近藤知大, 山本佳宏, ファム・グエンクイ, 福山啓太, 木村礼子, 吉岡正博, 金井雅史, 武藤学. 切除不能・進行・固形がんにおけるリキッドバイオプシー. 腫瘍内科. 202111; 28(5):549-555.

〔症例報告〕

Kanazawa H, Gonda K, Tamura T, Takenoshita S. A case of lipoma, calcification, and brain malformations in the midline of the skull. *Radiology Case Reports*. 202107; 16(9):2509-2513.

研究発表等

〔研究発表〕

須賀淳子, 金井雅史, 向井久美, 芦田圭奈美, 佐藤桃子, 松本繁巳, 武藤学. 保険適用後のがん遺伝子パネル検査のリアルワールドデータ解析. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021) ; 20210218-21; Web.

徳田恵美, 立花和之進, 山口明子, 福田冬馬, 阿左見祐介, 木村礼子, 佐々木栄作, 大竹徹, 佐治重衡. 妊娠中に周術期化学療法を行った乳癌患者への多職種連携支援の重要性. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021) ; 20210218-21; Web.

福山啓太, 金井雅史, 吉岡正博, 近藤知大, ファム・グエンクイ, 須賀淳子, 向井久美, 芦田圭奈美, 佐藤桃子, 大垣和泉, 山田崇弘, 南口早智子, 武藤学. 一般病院向けがんゲノム医療情報管理システムの開発. 第18回日本臨床腫瘍学会学術集会 (JSMO2021) ; 20210218-21; Web.

臨床工学センター

研究発表等

〔研究発表〕

今野秀胤, 齋藤聖羅, 佐々木紀尚, 清野泰司, 荒宏樹, 佐藤梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽仁. 心拍動下冠動脈バイパス術(OPCAB)において補助循環用ポンプカテーテル(Impella)を使用した一症例. 第39回日本体外循環技術医学会東北地方会大会; 20210703; 福島.

佐々木紀尚, 齋藤聖羅, 今野秀胤, 清野泰司, 荒宏樹, 佐藤梓, 福原之博, 佐藤貴美絵, 出羽仁. 当院におけるVV-ECMO. 第39回日本体外循環技術医学会東北地方会大会; 20210703; 福島.

〔シンポジウム〕

荒宏樹. 本邦におけるCOVID-19に対するECMOの振り返り. JaSECT web セミナー; 20210424; Web.

〔招待講演〕

佐々木紀尚. 当院のV-VECMO～COVID-19～. 第12回会津心臓病・心血管疾患研究会; 20211112; Web.

〔その他〕

荒宏樹. 県内施設でのCOVID-19への対応. 福島県臨床工学技士会第6回人工呼吸器セミナー; 20210130; Web.

荒宏樹. 当院のV-VECMO～COVID-19～. ADATARA LIVE DEMONSTRATION2021; 20210930; Web.

福原之博. 植込み型補助人工心臓患者と臨床工学技士の関わり. 第7回東北・北海道地区補助人工心臓研修コース; 20211120; Web.

佐藤貴美絵. 植込みデバイスの特殊機能. 福島県臨床工学技士会内科部門勉強会第1回不整脈スキルアップセミナー; 20211217; Web.

脳疾患センター

論文

〔原 著〕

Hiruta R, Sato T, Itakura T, Fujii M, Sakuma J, Bakhit M, Kojima T, Ichikawa M, Iwatate K, Saito K. Intraoperative transcranial facial motor evoked potential monitoring in surgery of cerebellopontine angle tumors predicts early and late postoperative facial nerve function. *Clinical Neurophysiology*. 202104; 132(4):864-871.

Ito Y, Kojima T, Sato N, Oinuma M, Horiuchi K, Ichikawa T, Oda K, Maeda T, Saito K. Results of Mechanical Thrombectomy 6 Hours after Stroke Onset: Analysis of Multiple Stroke Centers in Fukushima Prefecture. *Journal of Neuroendovascular Therapy*. 202104; 15(4):220-227.

〔症例報告〕

Hiruta R, Sato N, Ishikawa T, Endo K, Endo Y, Kikuta H, Bakhit M, Kojima T, Fujii M, Ota M. Mechanical Thrombectomy for Acute Ischemic Stroke Caused by Prosthetic Aortic Valve Endocarditis Due to *Exophiala dermatitidis* Infection: A Case Report. *NMC Case Report Journal*. 202112; 8(1):835-840.

研究発表等

〔研究発表〕

伊藤裕平, 小島隆生, 佐久間潤, 根本末緒, 飯島綾子, 齋藤清. Pial AVF の治療経験: 直達術と塞栓術. 第 43 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20210403; Web.

小島隆生. 複数領域にわたる脳主幹動脈閉塞. JUST in 福島; 20210409; Web.

小島隆生, 佐久間潤, 齋藤清. 脊髄硬膜動静脈瘻の治療経験. 第 43 回福島脊椎脊髄疾患研究会; 20210410; Web.

伊藤裕平, 小島隆生, 藤井正純. 複数領域にわたる閉塞血管を有する症例に対する血栓回収療法. 第 44 回日本脳神経血管内治療学会東北地方会; 20210904; Web.

黒見洋介, 市川優寛, 飯島綾子, 蛭田亮, 山田昌幸, 丹原正夫, 岩楯兼尚, 佐藤拓, 小島隆生, 藤井正純. 新規発症でんかん発作に対する当院におけるレベチラセタム点滴静注薬の使用経験. 日本脳神経外科学会第 80 回学術総会; 20211027-30; 横浜/Web.

佐藤拓, 丹原正夫, 鳴瀬悠, 蛭田亮, 岩楯兼尚, 山田昌幸, 黒見洋介, 小島隆生, 藤井正純. 鞍結節部髄膜腫

に対する endoscopic contralateral supraorbital approach の経験. 第 28 回日本神経内視鏡学会; 20211118-19; 名古屋.

過年業績

小島隆生. 同門病院での血栓回収療法データベース. 第 20 回福島県立医科大学脳神経外科同門会「何必会」総会; 20190112; 福島.

〔シンポジウム〕

蛭田亮, 佐藤拓, 板倉毅, 藤井正純, 岩楯兼尚, 佐々木寛人, 市川優寛, 小島隆生, 佐久間潤, 齋藤清. 経頭蓋刺激による顔面 MEP の新たな刺激法の有用性—術後早期および長期の顔面神経機能予測—. 第 27 回日本脳神経モニタリング学会; 20210703; Web.

〔特別講演〕

小島隆生. 脳動脈瘤に対する血管内治療：準備と実践. 7th Fukushima Angio Technology Seminar; 20211120; 福島.

過年業績

小島隆生. 脳梗塞急性期における治療と診療体制. ストップ！NO 卒中プロジェクト in 福島 2020; 20201112; Web.

〔招待講演〕

小島隆生. データから見る福島県の血栓回収療法. Fukushima Stroke Seminar; 20210520; Web.

過年業績

小島隆生. 脳主幹動脈急性閉塞に対する診療：現状と今後について. 日本ストライカーAIS 社内講演会; 20190111; 仙台.

小島隆生. 硬膜動静脈瘻の基礎的知識. 日本メドトロニック社内講演会; 20190201; 仙台.

小島隆生. 脳動脈瘤に対する血管内治療の実践. バイエル薬品社内勉強会; 20191126; 福島.

〔その他〕

小島隆生. 脳血管内治療. 福島労災病院勉強会; 20210301; いわき.

過年業績

小島隆生. 脳血管内治療ミニレクチャー. 2020 年脳神経外科研修医勉強会; 20200913; 福島.

小島隆生. ブレインハートチームで取り組む脳梗塞 2 次予防の閉鎖治療「脳卒中医から」. ブレインハートチームで取り組む脳梗塞 2 次予防の閉鎖治療; 20201002; Web.

小島隆生. Lasso technique. CERENOVUS Lasso technique summit; 20201218; Web.

生殖医療センター

論 文

〔原 著〕

Okoshi C, Takahashi T, Ota K, Suganuma R, Fujimori K. Severe Hemoperitoneum After Oocyte Retrieval Due to Ovarian Hemorrhage Possibly Caused by Violent Cough Under General Anesthesia With Propofol and Pentazocine: A Case Report and Literature Review. Cureus. 202110; 13(10):e18724.

臨床研究教育推進部

論 文

〔原 著〕

Kamitani T, Wakita T, Wada O, Mizuno K, Kurita N. U-TEST, a simple decision support tool for the diagnosis of sarcopenia in orthopedic patients: The SPSS-OK study. British Journal of Nutrition. 202111; 126(9):1323-1330.

Wada T, Ishimoto T, Nakaya I, Kawaguchi T, Sofue T, Shimizu S, Kurita N, Sasaki S, Nishiwaki H, Koizumi M, Saito S, Nishibori N, Oe Y, Yoshida M, Miyaoka Y, Akiyama S, Itano Y, Okazaki M, Ozeki T, Ichikawa D, Oguchi H, Kohsaka S, Kosaka S, Kataoka Y, Shima H, Shirai S, Sugiyama K, Suzuki T, Son D, Tanaka T, Nango E, Niihata K, Nishijima Y, Nozu K, Hasegawa M, Miyata R, Yazawa M, Yamamoto Y, Yamamoto R, Shibagaki Y, Furuichi K, Okada H, Narita I; Committee of Clinical Practical Guideline for Nephrotic Syndrome 2020. A digest of the Evidence-Based Clinical Practice Guideline for Nephrotic Syndrome 2020. Clinical and Experimental Nephrology. 202112; 25(12):1277-1285.

- Tsugihashi Y, Hirose M, Iida H, Hayashi S, Yasunaka M, Shirahige Y, Kurita N; ZEVIIOUS Group. Validating care-needs level against self-reported measures of functioning, disability and sarcopenia among Japanese patients receiving home medical care: The Zaitaku Evaluative Initiatives and Outcome Study. *Geriatrics & Gerontology International*. 202102; 21(2):229-237.
- Naganuma T, Takahashi S, Takeshima T, Kurita N, Omae K, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Cohort profile: A super-elderly population-based cohort in Japan (the Sukagawa Study). *International Journal of Epidemiology*. 202107; 50(3):727-727h.
- Nishiwaki H, Niihata K, Shimizu S, Shibagaki Y, Yamamoto R, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Okada H, Narita I, Isaka Y, Kurita N; Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study Group. Incidence and factors associated with prescribing renin-angiotensin-system inhibitors in adult idiopathic nephrotic syndrome: A nationwide cohort study. *Journal of Clinical Hypertension*. 202105; 23(5):999-1007.
- Kimachi M, Omae K, Kamitani T, Fukuma S. Primary care physicians' perceptions concerning engagement in cancer survivor care. *Journal of General and Family Medicine*. 202112; 23(3):149-157.
- Omae K, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Hamaguchi S, Fukuhara S. Significance of Overactive Bladder as a Predictor of Falls in Community Dwelling Older Adults: 1-Year Followup of the Sukagawa Study. *Journal of Urology*. 202101; 205(1):219-225.
- Suzuki R, Yajima N, Sakurai K, Oguro N, Wakita T, Thom DH, Kurita N. Association of patients' past misdiagnosis experiences with trust in their current physician: the TRUMP2-Net study. medRxiv. 20210126; doi: 10.1101/2021.01.25.21250300.
- Yoshioka T, Kamitani T, Omae K, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Urgency urinary incontinence, loss of independence, and increased mortality in older adults: A cohort study. *PLOS ONE*. 202101; 16(1):e0245724.
- 栗田宜明, 石橋由孝. 腎疾患領域における臨床研究について 臨床試験や実臨床データの収集・分析を通じて医療の改善に貢献している. *日本医事新報*. 202104; (5058):44-45.
- 田中基嗣, 栗田宜明. 保存期慢性腎臓病治療薬の薬事承認について 臨床試験 (治験) で有効性および安全性を含めた臨床的意義が示される必要がある. *日本医事新報*. 202105; (5065):46-47.

研究発表等

〔研究発表〕

- 大前憲史. Overactive bladder with/without urinary incontinence and falls in the community-dwelling elderly. *World Congress of Epidemiology 2021*; 20210903-06; Web.
- 林伸宇, 飯田英和, 次橋幸男, 廣瀬弥幸, 安中正和, 白髭豊, 栗田宜明. 在宅医療におけるプライマリ・ケアの質とアドバンスケアプランニングとの関係—The ZEVIIOUS study—. 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学

術大会; 20210521-23; Web.

栗田宜明, 河原崎宏雄, 石橋由孝, 柴垣有吾. 維持透析期におけるサイコネフロジーが治療アドヒアランスや健康アウトカムに与えるインパクト: ホープと受容の臨床疫学研究. 第66回日本透析医学会学術集会・総会; 20210604-06; 横浜.

栗田宜明. 教育講演: CKDを持つ人の「QOL」を重視した医療とは何だ?—健康関連 QOL と心理面からのアプローチ—. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web.

栗田宜明. シンポジウム: Moving from pyramid of evidence to yin and yang of evidence: Both RCTs and observational studies guide practice. 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web.

柴垣有吾, 石橋由孝, 栗田宜明. シンポジウム: 何故, 今, 患者立脚型アウトカムがCKD診療において重要なのか? 第64回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web.

栗田宜明(座長). 特別企画① 症例報告の経験を生かして臨床研究にチャレンジしよう. 日本臨床疫学会第4回年次学術大会; 20211030-31; Web.

栗田宜明(座長). 一般演題 データベース活用法2. 日本臨床疫学会第4回年次学術大会; 20211030-31; Web.

栗田宜明, 次橋幸男, 廣瀬弥幸, 飯田英和, 林伸宇, 安中正和, 白髭豊. シンポジウム: ZEVIUS 研究の体制づくり・成果と課題: 在宅医療患者のQOL・ホープも見据えて. 第3回日本在宅医療連合学会大会; 20211127-28; Web.

次橋幸男, 廣瀬弥幸, 飯田英和, 林伸宇, 安中正和, 白髭豊, 栗田宜明. シンポジウム: 在宅患者の生活機能、サルコペニア及び生活の質に関する自己評価と要介護度との関係性: ZEVIUS 研究(第1報、第3報). 第3回日本在宅医療連合学会大会; 20211127-28; Web.

林伸宇, 次橋幸男, 廣瀬弥幸, 飯田英和, 安中正和, 白髭豊, 栗田宜明. シンポジウム: 在宅医療におけるプライマリ・ケアの質、アドバンスケアプランニングの話し合い、治療方針の選好との関係性. 第3回日本在宅医療連合学会大会; 20211127-28; Web.

〔シンポジウム〕

大前憲史. シンポジウム: 尿路結石を科学する—未来の結石治療に向かって—「疫学研究」から科学する. 日本尿路結石症学会第31回学術集会; 20210827-28; 名古屋/Web.

大前憲史. シンポジウム4: 過活動膀胱とフレイル・サルコペニア—福島県 LOHAS、Sukagawa Study から見えてきたこと—. 第86回日本泌尿器科学会東部総会; 20210903-04; Web.

大前憲史. シンポジウム8 下部尿路機能障害とフレイル・サルコペニアの関連性—最新の疫学的知見から—. 第109回日本泌尿器科学会総会; 20211207-10; 横浜.

〔招待講演〕

大前憲史. 医学論文査読のお作法. SRWS-PSG 第6回ウェブセミナー; 20210123; Web.

大前憲史. 論文執筆その前に！知ってますか査読のこと？ 會津藩校日新館「臨床研究デザイン塾™」オンライン特別春期講習; 20210228; Web.

大前憲史. 査読者の視点で論文執筆を俯瞰する一型の理解から査読のリアルまでー. 日本臨床疫学会第4回年次学術大会; 20211030-31; Web.

大前憲史. ここがポイント！医学論文査読のお作法. PCR Connect 2021; 20211204-05; Web.

性差医療センター

論 文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Suzuki E, Yazawa R, Yasuda S, Kanno A, Yamaguchi A, Hashimoto Y, Fujimori K. Labor dystocia and risk of histological chorioamnionitis and funisitis: a study from a single tertiary referral center. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202103; 21(1):263.

Murata T, Kyozuka H, Fukuda T, Endo Y, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels and small-for-gestational age infants: a prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. *BMJ Open*. 202112; 11(12):e054156.

Suzuki N, Murata T, Fukuda T, Kanno A, Kyozuka H, Yasuda S, Yamaguchi A, Fujimori K. Retraction notice to "Pyoderma gangrenosum in a cesarean section wound in a woman with myelodysplastic syndrome: A case report" [Case Reports in Women's Health 28 (2020) e00253]. *Case Reports in Women's Health*. 202101; 30:e00291.

Yoshida-Komiya H, Ami M, Suganuma R, Mitsuma T. Sho-Based Kampo Medicine Combined With Assisted Reproductive Technology Is Effective for Refractory Infertility and Early Recurrent Miscarriage: A Case Report. *Frontiers in Nutrition*. 202111; 8:761199.

Yamaguchi A, Kyojuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan Environment and Children's Study: a prospective cohort study. *Journal of Affective Disorders*. 202103; 283:223-228.

Kyojuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 202111; 12(11):2071-2079.

Maejima Y, Horita S, Yokota S, Ono T, Proks P, Yoshida-Komiya H, Ueta Y, Nishimori K, Misaka S, Shimomura K. Identification of oxytocin receptor activating chemical components from traditional Japanese medicines. *Journal of Food and Drug Analysis*. 202112; 29(4):653-675.

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and Evaluation of Life-planning Lecture to Enhance Perspective-Taking among High School Students: A School-based Nonrandomized Waitlist Intervention Study in Japan. *JMA Journal*. 202110; 4(4):339-346.

Kyojuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202105; 85:111129.

Kyojuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Kyojuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Ohara M, Yoshida-Komiya H, Ono-Okutsu M, Yamaguchi-Ito A, Takahashi T, Fujimori K. Metformin reduces androgen receptor and upregulates homeobox A10 expression in uterine endometrium in women with polycystic ovary syndrome. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 202105; 19(1):77.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8664.

山口明子, 磯上弘貴, 菅野亜矢, 藤森敬也. 【日本の周産期メンタルヘルス事情 update】 食生活から始める周産期メンタルヘルスケア. 産婦人科の実際. 202106; 70(6):631-634.

小宮ひろみ. 【ライフステージでみる女性診療 at a glance! —よくあるプロブレムを網羅しピンポイントで答えます。】(I 章) さまざまな角度からみる女性診療 「産婦人科医」からみる女性診療. 総合診療. 202103; 31(3):288-289.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の 4 ヶ月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

山口明子, 高橋俊文, 小宮ひろみ. 【月経異常に対するホルモン療法を極める! —最新エビデンスと処方の実際】月経困難症・過多月経 LEP 製剤 OC・LEP 製剤の黄体ホルモンによる違い. 臨床婦人科産科. 202111; 75(11):1038-1043.

臨床研究センター

研究発表等

〔研究発表〕

菅野範子, 阿部敏江, 小早川雅男. COVID-19 の感染拡大を踏まえた臨床研究法に基づく院内教育研修の見直し. 第 12 回日本臨床試験学会学術集会; 20210212-13; Web. プログラム・抄録集. 112.

薬剤部

論文

〔原 著〕

Shimazaki S, Kuroda J, Shimomura K, Misaka S. Urinary Excretion of Nadolol as a Possible In Vivo Probe for Drug Interactions Involving P-glycoprotein. Journal of Clinical Pharmacology. 202106; 61(6):799-805.

Nakamura K, Hara Y, Harada R, Tanno D, Kashiwazaki J, Kobari S, Kitabatake M, Yui S, Ohashi K,

Hidaka T, Arai K, Kanemitsu K. Evaluation of the Antimicrobial Effectiveness of Ozonated Water for Hand Washing in the Presence of Organic Material Contamination Using the ASTM E2946-13 Standard Test Method. Journal of Food Protection. 2021; 84(11):1922-1924.

研究発表等

〔研究発表〕

一瀬瑞絵, 三浦至, 鈴木二妙香, 後藤将之, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 渡辺研弥, 野崎啓子, 竹内賢, 沼田吉彦, 矢部博興. 統合失調症治療における brexpiprazole への切り替えの有用性の検討. 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会学術集会; 20210109-10; Web.

渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦至, 陣野大輔, 阿部裕也, 照井稔宏, 羽金裕也, 平田祥一郎, 鈴木二妙香, 後藤将之, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 須藤孝浩, 黒田純子, 矢部博興. カルバマゼピン併用によりクロザピン血中濃度の著明な低値を認めた 2 症例. 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会学術集会; 20210109-10; Web.

高橋智子, 井上稜太, 村上美紀, 野地成子, 渡部智恵子, 佐野秀樹, 古内容子, 黒田純子, 斎藤純平. 特定臨床研究における記録保存としての処方せん取り扱いに関する当院の取り組み. 日本臨床試験学会第 12 回学術集会総会; 20210212-13; Web.

村上美紀, 井上稜大, 高橋智子, 野地成子, 渡部智恵子, 佐野秀樹, 斎藤純平. 当院における特定臨床研究の現状—アンケート調査より—. 日本臨床試験学会第 12 回学術集会総会; 20210212-13; Web.

塚本宇史, 山崎亮, 清野泰司, 岩渕千春, 須藤孝浩, 黒田純子, 塚田泰彦. ロジスティクスを活用した COVID-19 院内対策調整室の活動. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

齋藤悠, 佐藤雅紘, 根本雄飛, 山口瑞希, 滝口善規, 武田光樹, 田辺隼人, 鴻野央征, 待井典剛, 黒田純子, 鈴木悟, 横谷進, 島袋充生. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害の発症頻度: 福島県立医科大学における検討. 第 94 回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web.

野地紘子, 藁谷美保, 大沼杏理, 渡辺研弥, 石井重亮, 菅野奈緒美, 須藤孝浩, 黒田純子. 当院における化学療法誘発性末梢神経障害性疼痛に対するミロガバリンの使用状況調査. 第 14 回日本緩和医療学会年会; 20210513-16; Web.

渡辺研弥, 野崎啓子, 阿部裕也, 一瀬瑞絵, 佐藤亜希子, 須藤孝浩, 黒田純子, 三浦至, 矢部博興. クロザピン投与中の好中球減少に対し低用量の炭酸リチウム併用で治療継続した治療抵抗性統合失調症の 2 症例. 第 5 回日本精神薬学会総会・学術集会; 20210821-22; Web.

堀越翔, 三浦至, 鈴木悠平, 平田祥一郎, 後藤将之, 鈴木二妙香, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 野崎啓子, 渡辺研弥, 矢部博興. 精神疾患に併存した不眠に対するレンボレキサントへの切り替え研究. 第 31 回日本臨床精神神経薬理学会学術集会; 20211007-08; 東京.

渡辺研弥, 野崎啓子, 陣野大輔, 阿部裕也, 平田祥一郎, 鈴木二妙香, 後藤將之, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 須藤孝浩, 黒田純子, 三浦至, 矢部博興. 低用量クロザピン治療で有効域の血中濃度を得た治療抵抗性統合失調症の1例. 第31回日本臨床精神神経薬理学会学術集会; 20211007-08; 東京.

阿部裕也, 渡辺研弥, 野崎啓子, 陣野大輔, 平田祥一郎, 鈴木二妙香, 後藤將之, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 須藤孝浩, 黒田純子, 三浦至, 矢部博興. クロザピンのTDMによる退院時用量と薬剤費への影響調査. 第31回日本医療薬学会年会; 20211009-10; Web.

須藤孝浩, 永島久義, 渡辺研弥, 石井重亮, 吉田裕美, 鈴木優佳, 五十嵐暁子, 塩谷真奈美, 星正弘, 鳥羽衛, 黒田純子. 東日本大震災から10年目に起きた福島県沖地震からの教訓. 第31回日本医療薬学会年会; 20211009-10; Web.

渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦至, 陣野大輔, 阿部裕也, 平田祥一郎, 鈴木二妙香, 後藤將之, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 須藤孝浩, 黒田純子, 矢部博興. 治療最適化のためのクロザピンTDMの有用性検証. 第31回日本医療薬学会年会; 20211009-10; Web.

遠藤沙英, 五十嵐暁子, 町田幸枝, 黒田純子. 計数調剤監査システムF-WAVEの使用による調剤過誤対策について. 第25回福島県薬剤師学術大会; 20211031; Web.

陣野大輔, 山崎亮, 鈴木優佳, 菅野奈緒美, 須藤孝浩, 黒田純子. 当院の院内フォーミュラリーの現状について. 第25回福島県薬剤師学術大会; 20211031; Web.

【その他】

穴戸玲太. 胃がん患者への服薬指導のポイント. 令和2年度薬局薬剤師を対象としたがん領域研修会; 20210303; Web.

油井優. COVID-19ワクチンについて. 第10回福島県感染制御ネットワークセミナー; 20210313; Web.

石井重亮, 渡辺研弥, 須藤孝浩, 黒田純子. 糖尿病領域の認定薬剤師の活動について. 第20回福島県糖尿病療養指導研修会; 20211016; 郡山.

油井優. キノロン系抗菌薬について. 第7回福島県薬剤師感染制御・抗菌化学療法研究会 Web 研修会; 20211211; Web.

助産師養成課程設置準備室

論 文

〔原 著〕

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and Evaluation of Life-planning Lecture to Enhance Perspective-Taking among High School Students: A School-based Nonrandomized Waitlist Intervention Study in Japan. JMA Journal. 202110; 4(4):339-346.

石井佳世子, 渡邊一代, 後藤あや. 看護大学生への夫婦間の共感性を高める育児支援プログラムの模擬体験実施とその効果. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; (23):27-33.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の4ヵ月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101; 61(4):684-693.

大学健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Mori Y, Hoshino H, Osakabe Y, Wada T, Kanno K, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Omission mismatch negativity of speech sounds reveals a functionally impaired temporal window of integration in schizophrenia. Clinical Neurophysiology. 202105; 132(5):1144-1150.

Tokunaga A, Yoshida K, Orita M, Urata H, Itagaki S, Mashiko H, Yabe H, Maeda M, Oishi K, Inokuchi S, Iwanaga R, Tanaka G, Nakane H, Takamura N. The mental health status of children who have been evacuated or migrated from rural areas in Fukushima prefecture after the Fukushima daiichi nuclear power station accident: results from the Fukushima health management survey. Fukushima Journal of Medical Science. 202104; 67(1):8-16.

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Ito M, Itagaki S, Matsumoto T, Kumakura T, Yabe H. Differential diagnosis of memory impairment in areas affected by a natural disaster: a case report. Fukushima Journal of Medical Science. 202104; 67(1):38-44.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. *Scientific Reports*. 202103; 11(1):5330.

刑部有祐, 和田知紘, 松本貴智, 三浦至, 矢部博興. 精神科領域における clinical tool および research topic としての脳波. *臨床神経生理学*. 202106; 49(3):158-161.

研究発表等

〔研究発表〕

板垣俊太郎, 佐藤亜希子, 佐藤彩, 錫谷研, 三浦至, 本田教一, 矢部博興. コロナ禍が影響した児童思春期症例と教育場面での取り組みについて. 第 93 回日本心身医学会東北地方会; 20210918; Web.

〔シンポジウム〕

板垣俊太郎, 星野仁彦, 本田教一. コロナ禍における東北各県の子どものメンタルヘルスを取り巻く現状 福島県の報告. 第 22 回東北児童青年精神医学会; 20210704; Web.

板垣俊太郎, 戸田亘, 松本純弥, 佐藤彩, 大西隆, 伊藤浩, 志賀哲也, 三浦至, 矢部博興. 成人期発達障害における Mismatch Negativity と脳画像解析について. 第 117 回日本精神神経学会学術総会; 20210919-21; 京都/ Web.

板垣俊太郎. シンポジウム 34 大人の発達障害と事象関連電位. 第 51 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20211216-18; 仙台/ Web.

〔特別講演〕

板垣俊太郎. 精神疾患に潜む神経発達症の鑑別. ND Symposium in Fukushima; 20211208; Web.

〔その他〕

板垣俊太郎. 成人注意欠陥多動性障害 (ADHD) の神経生物学と薬物療法. Janssen ADHD Webinar; 20210514; Web.

甲状腺検査室

論文

〔総説等〕

山谷幸恵. 甲状腺領域における LBC 検体の有効活用. 日本臨床細胞学会雑誌. 202105; 60(3):164-170.

研究発表等

〔研究発表〕

長嶺夏希, 鈴木聡, 高橋智里, 坂上敏江, 佐藤綾子, 黒須由美子, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 小児および若年者における甲状腺内異所性胸腺の検討: 福島県県民健康調査. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; 神戸/Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺 FNAC、CNB に関する Up-to-date 甲状腺穿刺細胞を用いた遺伝子診断. 第 33 回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S61.

高橋智里, 西山翔子, 黒須由美子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 岩館学, 鈴木聡, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺超音波検査におけるファントム画像の経時変化に対する影響因子. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺結節に対する血流評価とエラストグラフィを組み合わせた鑑別診断. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

志村浩己, 金子裕眠, 高橋智里, 山谷幸恵, 塩功貴, 松本佳子, 岩館学, 鈴木眞一. Digital PCR 法を用いた甲状腺癌の細胞診検体における TERT 遺伝子変異同定の検討. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

山谷幸恵, 鈴木眞一. 甲状腺細胞診 日常遭遇する鑑別困難例 橋本病とリンパ腫. 第 62 回日本臨床細胞学会総

会（春期大会）；20210604-06；千葉。

総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域

論文

〔原 著〕

Yasuta T, Blake J. Developing transferable writing skills through manga. *Second Language Research & Practice*. 202110; 2(1):140-153.

立柳聡. 児童憲章を振り返る視座：子どもへの眼差しを変えよう（特集 児童憲章 70 年：すべての子どもの幸せを考える）. 月刊社会教育. 202112; 65(12):4-11.

高木修一，久保田恵佑，横内裕一郎. 東北英語教育学会研究紀要 22-40 号掲載論文におけるテーマおよび研究デザインの系統的レビュー. 東北英語教育学会研究紀要. 202103; (41):33-42.

三澤文紀. 看護学生が日常的に個人利用可能なストレス低減ツール開発の試み（2）ストレス・コーピングと解決志向アプローチの「例外」の日常的記録を中心に. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:9-18.

〔研究報告書〕

立柳聡. 国内移民の定住過程－共生を促進するホスト社会の文化と施策の研究－. 福島県立医科大学令和 2 年度研究支援事業（育成研究）研究成果報告書. 202105.

〔その他〕

立柳聡. 助言者コメント. 第 42 回全国公民館研究集会・第 60 回関東甲信越静公民館研究大会千葉大会報告書. 202102; 116-118.

著 書・訳 書

立柳聡，吉川美華. 本書の視座. In: 松本誠一. 「共助」をめぐる伝統と創造－日韓コミュニティ比較の視座－. 東京：岩田書院. 202102. p.7-23.

立柳聡. 契約講の構造と機能－千葉県東総地区の事例から－. In: 松本誠一. 「共助」をめぐる伝統と創造－日韓コミュニティ比較の視座－. 東京：岩田書院. 202102. p.225-254.

研究発表等

〔研究発表〕

Yasuta T. Developing transferable college-level writing skills through comic making. Hawai'i International Conference on Education 2021; 20210104-07; Web. Proceedings of Hawai'i International Conference on Education 2021. 495-500.

大川貴子, 安保寛明, 田村達弥, 吾妻陽子, 三澤文紀. リフレクティング面接の実践者を育成する教育プログラム参加者の体験. 第31回日本精神保健看護学会学術集会; 20210605-06; Web(山形).

立柳聡. 島にこだわること、島を調査することの今日的意義. 島嶼コミュニティ学会第11回年次大会（10周年記念大会）; 20210606; 東京. 研究発表抄録集. 1.

大川貴子, 三澤文紀. 精神障害者家族に対するリフレクティング面接の実施を目指した取り組み 6ヶ月間の研修に参加した専門職のインタビュー分析. 第52回（2021年度）日本看護学会学術集会; 20210928-29; Web.

久保田恵佑. 技能統合型ライティング用ループリックの改善：内容的側面に焦点を当てて. 東北英語教育学会第39回岩手研究大会; 20211024.

立柳聡. ボランティア活動をめぐる認識とその役割の変化. 日韓コミュニティ比較研究会; 20211128; Web.

立柳聡. 日本におけるボランティア活動の今日的な固有の立ち位置. 島嶼コミュニティ学会第11回研究大会; 20211218; 東京. 研究発表抄録集. 13.

〔シンポジウム〕

三澤文紀, 木島祐子, 矢野絵梨佳. リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討：福島からの報告. 遠隔セミナー リフレクティングの実践力を習得するトレーニング方法の検討; 20210320; Web.

大川貴子, 三澤文紀, 矢原隆行. 日本における精神保健医療福祉へのリフレクティング・プロセス導入の試み：福島と熊本の取り組みより. リフレクティング・プロセスから展望する新たな精神保健医療福祉の展開～ノルウェーと日本での実践から～; 20211031; Web.

立柳聡. 「共助」のこれからを考えるシンポジウム－企画趣意－. 島嶼コミュニティ学会第11回研究大会 日韓コミュニティ比較研究会シンポジウム; 20211218; 東京. 研究発表抄録集. 7-9.

〔招待講演〕

立柳聡. 児童憲章制定70周年、並びに、東日本大震災10周年の今年を迎えて. 第70次東京教研集会「学校づくりと地域」分科会; 20210207; 東京.

その他の業績・作品等

- 立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（鎮火祭）調査. 20210101. フィールドワーク.
- 立柳聡. 東京都八丈町民俗調査予備調査. 20210129-0202. フィールドワーク.
- 立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（節分祭）調査. 20210202. フィールドワーク.
- 立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（オビシヤ祭）調査. 20210211. フィールドワーク.
- 立柳聡. 山梨県大月市鳥沢民俗調査予備調査. 20210303. フィールドワーク.
- 立柳聡. 東京都八丈町八丈小島民俗調査第2次予備調査（東京都八丈町全域）. 20210323-25. フィールドワーク.
- 立柳聡. 東京都北区民俗（七社神社茅の輪くぐり）調査. 20210728. フィールドワーク.
- 立柳聡. 千葉県旭市清和乙民俗（新穀感謝祭）調査. 20211123. フィールドワーク.
- 立柳聡. 東京都八丈町民俗（族制）調査予備調査（東京都八丈町全域）. 20211219-21. フィールドワーク.

総合科学教育研究センター 自然科学系領域

論文

〔原 著〕

Miura T, Goh VST, Fujishima Y, Takebayashi K, Nakayama R, Kasai K, Ariyoshi K, Tsujiguchi T, Yoshida MA. Radiation emergency medical preparedness for cytogenetic biodosimetry in Hiroaki University, Japan. AIP Conference Proceedings. 202111; 2381(1):020041.

Goto A, Yumiya Y, Ueda K. Feedback assessment from the audience as a part of the health literacy training for health professionals: a case from Fukushima after the nuclear accident. Annals of ICRP. 202107; 50(1 Suppl.):167-173.

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. The development of an application tool to support returnees in Fukushima. Annals of ICRP. 202108; 50(1 Suppl.):187-193.

Sorimachi A, Nagamatsu Y, Omori Y, Ishikawa T. Comparison experiments for radon and thoron measuring instruments at low-level concentrations in one room of a Japanese concrete building. *Applied Radiation and Isotopes*. 202107; 173:109696.

Arai T, Goto A, Komatsu M, Yasumura S. Incidence of and improvement in inappropriate parental behaviors of mothers with young children: a retrospective cohort study conducted in collaboration with a local government. *Archives of Public Health*. 202103; 79(1):37.

Xu M, Kasahara K, Sorimachi A, Matsuda K. Nitric acid dry deposition associated with equilibrium shift of ammonium nitrate above a forest by long-term measurement using relaxed eddy accumulation. *Atmospheric Environment*. 202107; 256(1):118454.

Nakata A, Sato K, Fujishima Y, Ting VGS, Nakayama K, Ariyoshi K, Tsuruoka C, Shang Y, Iizuka D, Kakinuma S, Yamashiro H, Miura T. Evaluation of Global DNA Methylation and Gene Expression of Izumo1 and Izumo1r in Gonads after High- and Low-Dose Radiation in Neonatal Mice. *Biology*. 202112; 10(12):1270.

Sonobe K, Tanabe M, Imaoka T, Chun WJ, Yamamoto K. Low-Temperature H₂ Reduction of Copper Oxide Subnanoparticles. *Chemistry a European journal*. 202106; 27(23):8452-8456.

Nomura M, Goto A, Osawa E, Miura H. Empirical evaluation of understandability and usability of health handbooks commonly used in Japan. *Frontiers in Communication*. 202109; doi: 10.3389/fcomm.2021.728934.

Nguyen VQ, Lam PV, Goto A, Nguyen TVT, Vuong TNT, Nguyen TM, Nguyen MH, Truong ATT, Tran TPT, Vo CD. Prevalence and correlates of zinc deficiency among Vietnamese women of reproductive age in Ho Chi Minh City: a single hospital-based survey. *Frontiers in Global Women's Health*. 202112; 2:733191.

Ueda K, Goto A, Imamoto T, Yamazaki Y. An inclusive early childhood intervention program for children with disabilities: possible effects on children and nursery teachers. *Frontiers in Rehabilitation Science*. 202110; 2: doi: 10.3389/fresc.2021.759932.

Yoshida K, Goto A, Takebayashi Y, Murakami M, Sasaki M. Father-child bonding among Japanese fathers of infants: A municipal-based study at the time of the 4-month child health checkup. *Infant Mental Health Journal*. 202109; 42(5):705-717.

Kobayashi T, Takebayashi Y, Goto A, Nakayachi K, Murakami M. May risk communication with non-experts contribute to post-disaster restoration of normalcy? A survey on the disaster-struck prefectures after the Great East Japan Earthquake. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202111; 65: doi: 10.1016/j.ijdrr.2021.102564.

Fujishima Y, Kino Y, Ono T, Goh VST, Nakata A, Ariyoshi K, Kasai K, Toyoda T, Akama T, Tazoe H, Yamada M, Yoshida MA, Miura T. Transition of Radioactive Cesium Deposition in Reproductive Organs of Free-Roaming Cats in Namie Town, Fukushima. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(4):1772.

Yumiya Y, Ohba T, Murakami M, Nakano H, Nollet K, Goto A. User-guided design of a digital tool for health promotion and radiation protection: Results from an internet needs survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12007.

Ohba T, Goto A, Yumiya Y, Murakami M, Nakano H, Honda K, Nollet K, Schneider T, Tanigawa K. Tailoring digital tools to address the radiation and health information needs of returnees after a nuclear accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12704.

Goh VST, Nakayama R, Blakely WF, Abe Y, Chua CEL, Chew ZH, Nakata A, Fujishima Y, Yoshida MA, Kasai K, Ariyoshi K, Miura T. Improved harvest and fixation methodology for isolated human peripheral blood mononuclear cells in cytokinesis-block micronucleus assay. *International Journal of Radiation Biology*. 202102; 97(2):194-207.

Goh VST, Takebayashi K, Nakayama R, Fujishima Y, Yoshida MA, Kasai K, Ariyoshi K, Miura T. Cytokinesis-block micronucleus assay performed in 0 and 2 Gy irradiated whole blood and isolated PBMCs in a 6-well transwell co-culture system. *International Journal of Radiation Biology*. 202109; 97(12):1631-1640.

Watanabe K, Goto A, Ishii K, Yoshida-Komiya H, Ito S, Ota M. Implementation and evaluation of life-planning lecture to enhance perspective-taking among high school students: a school-based nonrandomized waitlist intervention study in Japan. *JMA Journal*. 202110; 4(4):339-346.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyozuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K. Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: the Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Kobayashi T, Yoshida K, Takebayashi Y, Goto A, Kumagai A, Murakami M. Belief in group interdependence: facilitating evacuee-host interactions after the Fukushima nuclear accident. *Journal of Applied Social Psychology*. 202102; 51(5):513-521.

Murugan R, Kavasi N, Sahoo SK, Omori Y, Sorimachi A, Takahashi H, Aono T. Measurement of uranium isotope ratios in Fukushima-accident contaminated soil samples using multi collector inductively coupled plasma mass spectrometry. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202106; 232:106568.

Kasar S, Mishra S, Sahoo SK, Kavasi N, Omori Y, Arae H, Sorimachi A, Aono T. Sorption-desorption coefficients of uranium in contaminated soils collected around Fukushima Daiichi Nuclear Power Station. *Journal of Environmental Radioactivity*. 202107; 233:106617.

Terui T, Yoshida K, Sasaki M, Murakami M, Goto A. The association between fathers' self-assessment of their own parenting and mothers' recognition of paternal support: a municipal-based cross-sectional study. *Journal of Epidemiology*. 202112; 31(12):608-614.

Koyama Y, Goto A. Vietnam-Japan collaboration from a global perspective: a report on 2019 Epidemiology Research Training Course in southern Vietnam. *Journal of Global Health Science*. 202112; 3(2):e10.

Ariyoshi K, Hiroshima Y, Fujiwara N, Miura T, Kasai K, Nakata A, Fujishima Y, Ting Goh VS, Yoshida MA. Extracellular vesicles released from irradiated neonatal mouse cheek tissue increased cell survival after radiation. *Journal of Radiation Research*. 202101; 62(1):73-78.

Miura T, Kasai K, Abe Y, Fujishima Y, Goh V, Ting S, Nakayama R, Takebayashi K, Sasaki N, Ariyoshi K, Nakata A, Tsujiguchi T, Ito K, Hanada H, Yoshida MA. Human resource development for cytogenetic biodosimetry at Hirosaki University. *Radiation Environment and Medicine*. 202108; 10(2):102-107.

Kitou S, Tsumuraya T, Sawahata H, Ishii F, Hiraki KI, Nakamura T, Katayama N, Sawa H. Ambient-pressure Dirac electron system in the quasi-two-dimensional molecular conductor α -(BETS)2I3. *Physical Review B*. 202101; 103(3):035135.

Ozaki S, Tateishi I, Matsuura H, Ogata M, Hiraki KI. Nodal-line semimetal HMTSF-TCNQ: Anomalous orbital diamagnetism and charge density wave. *Physical Review B*. 202110; 104(15):155202.

Sari DP, Asih R, Hiraki KI, Nakano T, Nozue Y, Ishii Y, Hillier AD, Watanabe I. Distorted superconducting nodal line on a single Fermi surface in the anisotropic organic superconductor λ -(BETS)2GaCl4. *Physical Review B*. 202112; 104(22):224506.

Kuroda Y, Goto A, Terauchi H, Suzuki S. Change in sense of food safety associated with social connectedness and information sources—A 10-year longitudinal survey before and after the Fukushima nuclear power plant accident. *Public Health*. 202105; 194:156-162.

Kume Y, Kawasaki Y, Suyama K, Maeda R, Takahashi Y, Hoshino M, Suzuki S, Mitomo M, Nozawa R, Namai Y, Sakuma H, Kaneko M, Oda S, Murai H, Kanno S, Nagasawa K, Ito M, Suzuki H, Ohara S, Go H, Goto A, Hosoya M. Incidence and relapse triggers of childhood idiopathic nephrotic syndrome between 2006 and 2016: a population-based study in Fukushima, Japan. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 202102; 253(2):125-134.

阿久津和子, 後藤あや, 横山浩之. 3歳6ヵ月児健康診査の保健師確認項目と5歳児相談結果の関連. 小児保健研究. 202103; 80(2):172-178.

岡部聡子, 伊藤慎也, 高橋徹, 星千歳, 弓屋結, 本間杏菜, 根本香, 後藤あや. 若年女性を対象とした簡便な「鉄摂取尺度」の改訂および再現性の検討. 日本家政学会誌. 202105; 72(5):251-259.

本田香織, 後藤あや, 畠山とも子. 回復期脳血管性疾患患者の家族が認知する病気に関する不確かさと関連要因の検討. 日本ニューロサイエンス看護学会誌. 202109; 7(1):21-28.

石井佳世子, 渡邊一代, 後藤あや. 看護大学生への夫婦間の共感性を高める育児支援プログラムの模擬体験実施とその効果. 福島県立医科大学看護学部紀要. 202103; 23:27-33.

石井佳世子, 後藤あや, 渡邊一代, 津富宏, 佐々木美恵, 小宮ひろみ, 安村誠司. 夫婦を対象とした妊娠期育児支援プログラムに参加した母親の4ヵ月児健康診査時点における特徴 非参加群と比較して. 母性衛生. 202101;

61(4):684-693.

〔総説等〕

Goto A, Yumiya Y. Public health nursing in Japan: lessons from the past and present. Sasakawa Peace Foundation USA. 202105; Available from: <https://spfusa.org/research/public-health-nursing-in-japan-lessons-from-past-and-present/>

菓子野元郎, 熊谷純, 有吉健太郎, 小嶋光明. 放射線誘発バイスタンダー効果およびレスキュー効果の実態と今後の展望. 放射線生物研究. 202103; 56(2):19.

村上道夫, 小林智之, 越智小枝, 後藤あや, 五十嵐泰正. 企画セッション開催報告 福島から COVID-19 を, COVID-19 から福島を考える. リスク学研究. 202106; 30(4):195-202.

著 書・訳 書

有吉健太郎. 第6章 遺伝子. In: 原論吉, 岡村直道, 大城聡 編集. 生化学 (最新臨床検査学講座). 東京: 医歯薬出版; 202103. p.157-177.

田辺真, 山元公寿. 銅サブナノ粒子の合成とその触媒活性. In: 技術情報協会 企画編集. 金属ナノ粒子、微粒子の合成、調製と最新応用技術. 東京: 技術情報協会; 202110. p.469-478.

研究発表等

〔研究発表〕

Iriuchijima T, Fukatsu T, Sonobe K, Koizumi H, Tanabe M, Yamamoto K. Enhancement catalytic performance of subnano Cu-Pt alloy particles for CO oxidation. Pacificchem2021; 20211217-21; Web.

大葉隆, 後藤あや, 熊谷淳史, 大平哲也, 谷川攻一, Liudmila Liutsko, Elisabeth Cardis. 福島の帰還住民と保健福祉関係者のリンク SHAMISEN-SINGS プロジェクト推奨事項の適応. 第91回日本衛生学会学術総会; 20210306-23; 富山/Web. 日本衛生学雑誌 76(Suppl.): S172.

大葉隆, 後藤あや, 中野裕紀, ケネス ノレット, 村上道夫, 児山洋平, 本田香織, 吉田和樹, 弓屋結, 黒田佑次郎. 福島の帰還住民へのデジタルツールを活用した支援システムの開発. 第91回日本衛生学会学術総会; 20210306-23; 富山/Web. 日本衛生学雑誌 76(Suppl.): S172.

Puspita SD, Asih R, Hiraki KI, Nakano T, Nozue Y, Aizawa H, Koretsune T, Kuroki K, Seo H, Hillier A, Ishii Y, Watanabe I. μ +SR Study of the Out-of-plane London Penetration Depth in Single Crystals of λ -(BETS)2GaCl4. 日本物理学会第76回年次大会; 20210312-15; Web.

木俣基, 開康一, 崔亨波, 加藤礼三. HMTSF-TCNQ における磁気抵抗と Hall 効果. 日本物理学会第76回年次

大会; 20210312-15; Web.

Huda M, 田辺真, 山元公寿. 炭化水素酸化触媒に向けた三元素サブナノ合金粒子の精密合成と活性評価. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

井田由美, 田辺真, 山元公寿. プラズマ蒸着による鉄を主元素とする極小粒子の構造評価と磁気特性. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

入内嶋貴洋, 富加津智哉, 田辺真, 山元公寿. 原子数が規定された銅-貴金属サブナノ触媒の合金効果. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

小泉宙夢, 神戸徹也, 田辺真, 山元公寿. Copper-Metal Oxide Hybrid Subnanoparticles for Catalytic Selective Oxidations. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

園部量崇, 田辺真, 今岡享稔, 田旺帝, 山元公寿. サブナノ酸化銅触媒の低温還元特性と触媒的炭化水素酸化. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

森合達也, 塚本孝政, 田辺真, 神戸徹也, 今岡享稔, 山元公寿. 貨幣合金サブナノ粒子触媒によるオレフィンの選択的ヒドロペルオキシ化反応. 日本化学会第 101 春季年会; 20210319-22; Web.

中野裕紀, 後藤あや, 大葉隆, 吉田和樹, ケネス ノレット, 村上道夫, 大平哲也, 熊谷敦史, 谷川攻一. 福島県における帰還住民のための健康支援アプリケーション開発. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210528-0615; Web. 日本循環器病予防学会誌. 56(2):180.

入内嶋貴洋, 園部量崇, 田辺真, 山元公寿. 銅-貴金属ハイブリッド触媒による気相酸化反応の高効率化. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

小泉宙夢, 神戸徹也, 田辺真, 山元公寿. 多元金属サブナノ粒子による炭化水素の選択的酸化反応. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

森合達也, 塚本孝政, 田辺真, 神戸徹也, 今岡享稔, 山元公寿. デンドリマーによる新規ニッケルクラスターの精密合成と温室効果ガス変換反応への応用. 第 15 回分子科学討論会; 20210918-21; Web.

尾崎壮駿, 立石幾真, 松浦弘泰, 小形正男, 開康一. ノーダルライン半金属 HMTSF-TCNQ における電荷密度波と異常な軌道反磁性. 日本物理学会 2021 年度秋季大会; 20210920-23; Web.

加藤優樹, 小林拓矢, 谷口弘三, 藤山茂樹, 開康一. 127I-NQR 法による分子性導体 α -(BEDT-TTF) $_2$ I $_3$ の電荷秩序の観測. 日本物理学会 2021 年度秋季大会; 20210920-23; Web.

Ariyoshi K, Fujishima Y, Gst V, Takahashi A, Shinoda H, Kasai K, Nakata A, Miura T, Yoshida M. Possible Low-Dose radiation effects on wild animals, large Japanese field mice (*Apodemus speciosus*) and freshwater planarian (*Dugesia japonica*), in Fukushima. 日本放射線影響学会第 64 回大会; 20210922-24.

〔シンポジウム〕

Hasan MM, Janik M, Sorimachi A, Imoto T. Survey of indoor radon concentrations in Dhaka city, Bangladesh. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association (IRPA); 20210118-0205.

Goto A. Overview of the main challenges for the health professional to accompany the local population with regard to social and psychological problems following the accident. IRPA and EDF Radiation Protection Council webinar; 20210423; Web.

Goto A. Comment on the “Talk to the Authors: The Puzzle of Vaccine Hesitancy”. Tokyo College webinar (識者に関く「日本とワクチン不信」); 20210527; Web.

Goto A. Psychological consequences among mothers after the Fukushima Daiichi accident in 2011 and efforts on health literacy promotion. ENSI Civil Protection Conference in Switzerland; 20211103-04; Davos, Switzerland/Web.

Goto A. Applying health literacy in the field after the Fukushima nuclear accident. IAEA Technical Meeting “Radiation in medicine communications and methodologies – International perspectives and the role of Science, Technology and Society in low-dose radiation settings”; 20211109-11; Hiroshima /Web.

後藤あや. 福島における妊娠と育児についての母親の声：調査の結果から. 県民健康調査国際シンポジウム; 20210213-14; 福島/Web.

後藤あや. 成育基本法の推進ツールとしてのロジックモデル. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京 /Web.

〔特別講演〕

後藤あや. 国際保健のキャリアとプロジェクトの振り返り. 順天堂大学教育セミナー; 20210407; Web.

後藤あや. 患者中心の保健医療サービスの向上：ベトナムでの活動の 20 年間を振り返る. JICA 草の根技術協力事業完了報告会; 20210628; Web.

〔招待講演〕

Goto A. Working toward improving maternal and child health when facing a crisis: Short and long term responses after the nuclear accident in 2011. Oregon State University Center for Global Health Seminar; 20210310; Corvallis, USA/Web.

Goto A. Finding the best home for your paper. Ho Chi Minh City Medical Association Academic Writing Course; 20210321; Ho Chi Minh City, Vietnam/Web.

Goto A. Writing about public health. Ho Chi Minh City Medical Association Academic Writing Course II; 20211226; Ho Chi Minh City, Vietnam/Web.

田辺真. 高選択酸化を指向する多元素サブナノ触媒の創製. 第 128 回触媒討論会; 20210915-17; Web.

田辺真, 山元公寿. サブナノ粒子の構造解析に基づく酸素酸化触媒の開発. ナノ構造触媒研究会; 20211210; Web.

その他の業績・作品等

Goto A, editor. Creative health tutorial video for teachers／先生のためのクリエイティブヘルス. 教材. Center for Integrated Science and Humanities, Fukushima Medical University. Available from:
<https://www.youtube.com/watch?v=5p-RvZ4Nc2M>

後藤あや. 授業動画：福島における妊娠と育児について：エビデンスをつくり、伝える（授業動画）. 2021. 教材. 環境省：つむいでつなぐ. 次世代と考える放射線に関する情報発信 専門家の授業①. Available from:
<https://www.youtube.com/watch?v=o79LSh3qDeE>

医療人育成・支援センター

論 文

〔原 著〕

Tominaga R, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202101; 92:104256.

Takano Y, Iwano S, Aoki S, Nakano N, Sakano Y. A systematic review of the effect of sleep interventions on presenteeism. BioPsychoSocial Medicine. 202111; 15(1):21.

Shikama Y, Chiba Y, Yasuda M, Stanyon M, Otani K. The use of text mining to detect key shifts in Japanese first-year medical student professional identity formation through early exposure to non-healthcare hospital staff. BMC Medical Education. 202107; 21(1):389.

Misaka S, Ono Y, Uchida A, Ono T, Abe O, Ogata H, Sato H, Suzuki M, Onoue S, Shikama Y, Shimomura K. Impact of Green Tea Catechin Ingestion on the Pharmacokinetics of Lisinopril in Healthy Volunteers. Clinical and Translational Science. 202103; 14(2):476-480.

Aoki S, Doi S, Horiuchi S, Takagaki K, Kawamura A, Umeno R, Fujita M, Kitagawa N, Sakano Y. Differences in the association between avoidance and environmental rewards by three symptoms of depression. Current Psychology. 20210727; doi: 10.1007/s12144-021-02127-2.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Takahashi K, Yuasa M, Hirai T, Yoshii T, Okawa A. Risk factors for subsequent vertebral fracture after acute osteoporotic vertebral fractures. *European Spine Journal*. 202109; 30(9):2698-2707.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. *European Spine Journal*. 202110; 30(10):3019-3027.

Sakata M, Toyomoto R, Yoshida K, Luo Y, Nakagami Y, Aoki S, Irie T, Sakano Y, Suga H, Sumi M, Muto T, Shiraishi N, Sahker E, Uwatoko T, Furukawa TA. Development and validation of the Cognitive Behavioural Therapy Skills Scale among college students. *Evidence-Based Mental Health*. 202105; 24(2):70-76.

Kato K, Yabuki S, Otani K, Nikaido T, Otoshi KI, Watanabe K, Kikuchi SI, Konno SI. Ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine mimicking sciatica in a young baseball pitcher: a case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):33-37.

Kobayashi H, Otani K, Handa J, Kato K, Watanabe K, Nikaido T, Yabuki S, Konno SI. Development of a self-administered questionnaire for the screening of cervical myelopathy. Part 2, investigation of its characteristics in surgical cases. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):102-106.

Fushimi Y, Otani K, Tominaga R, Nakamura M, Sekiguchi M, Konno SI. The association between clinical symptoms of lumbar spinal stenosis and MRI axial imaging findings. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):150-160.

Otaki H, Otani K, Watanabe T, Sekiguchi M, Konno SI. Associations between clinical neck symptoms and various evaluations of cervical intervertebral disc degeneration by magnetic resonance imaging. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202112; 67(3):107-118.

Ono R, Murata S, Uchida K, Endo T, Otani K. Reciprocal relationship between locomotive syndrome and social frailty in older adults. *Geriatrics & Gerontology International*. 202111; 21(11):981-984.

Kobayashi H, Otani K, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Handa J, Yabuki S, Konno SI. Grip Strength as a Screening Index for Severe Degenerative Cervical Myelopathy in Primary Care: Development of Cutoff Values Using Receiver Operating Curve Analysis. *International Journal of General Medicine*. 202112; 14:9863-9872.

Sadamatsu Y, Ono K, Hiratsuka Y, Takesue A, Tano T, Yamada M, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Fukuhara S, Murakami A. Prevalence and factors associated with uncorrected presbyopia in a rural population of Japan: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. *Japanese Journal of Ophthalmology*. 202109; 65(5):724-730.

Kobayashi T, Morimoto T, Shimanoe C, Ono R, Otani K, Mawatari M. Development of a simple screening tool based on the 5-question geriatric locomotive function scale for locomotive syndrome. *Journal of*

Orthopaedic Science. 202107; 27(4):913-920.

Yasui K, Takebayashi Y, Motoya R, Aoki S, Horiuchi T, Hatsuzawa T, Nakano K, Ohba T, Yoshida K, Midorikawa S, Ohtsuru A, Murakami M. Trajectory and factors of radiation risk perception of students aged 10-12 years at the time of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. Journal of Radiological Protection. 202111; 41(4):1166.

Oikawa S, Berg BW, Lee-Jayaram J. An international, culturally adaptive faculty development fellowship for simulation educators. Medical Teacher. 202108; 43(8):914-915.

Otani K, Kikuchi SI, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Kobayashi H, Konno SI. The Change of Lumbar Spinal Stenosis Symptoms over a Six-Year Period in Community-Dwelling People. Medicina. 202110; 57(10):1116.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Handa J, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Usefulness of the Brief Scale for Psychiatric Problems in Orthopaedic Patients (BS-POP) for Predicting Poor Outcomes in Patients Undergoing Lumbar Decompression Surgery. Pain Research & Management. 202112; 2021:2589865.

Jujo S, Lee-Jayaram JJ, Sakka BI, Nakahira A, Kataoka A, Izumo M, Kusunose K, Athinarattanapong N, Oikawa S, Berg BW. Pre-clinical medical student cardiac point-of-care ultrasound curriculum based on the American Society of Echocardiography recommendations: a pilot and feasibility study. Pilot and Feasibility Studies. 202109; 7(1):175.

Hirai T, Otani K, Sekiguchi M, Kikuchi SI, Konno SI. Epidemiological study of cervical cord compression and its clinical symptoms in community-dwelling residents. PLOS ONE. 202108; 16(8):e0256732.

Inose H, Kato T, Nkamura H, Hoshino M, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Takahashi K, Yuasa M, Hirai T, Yoshii T, Okawa A. Predictors for quality of life improvement after acute osteoporotic vertebral fracture: results of post hoc analysis of a prospective randomized study. Quality of Life Research. 202101; 30(1):129-135.

Jujo S, Nakahira A, Kataoka Y, Banno M, Tsujimoto Y, Tsujimoto H, Oikawa S, Matsui H, Berg BW. Transesophageal Echocardiography Simulator Training: A Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials. Simulation in Healthcare. 202110; 16(5):341-352.

Hijikata Y, Kamitani T, Otani K, Konno S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Association of Lumbar Spinal Stenosis With Severe Disability and Mortality Among Community-Dwelling Older Adults: The Locomotive Syndrome and Health Outcomes in the Aizu Cohort Study. Spine. 202107; 46(14):E784-E790.

香西佳美, 及川沙耶佳, 田口真奈. 日本におけるシミュレーションスペシャリストの業務実態に関する調査. 医学教育. 202102; 52(1):37-41.

青木俊太郎, 竹林由武, 色摩弥生, 安井清孝, 大谷晃司. 動機づけ面接や非言語的コミュニケーションに基づく

く医学生へのコミュニケーション教育の試み. 医学教育. 202108; 52(4):295-304.

岩野卓, 青木俊太郎, 入江智成, 遊佐安一郎. 対人プロセス想起法を用いた臨床スキル訓練の試験的実践. 大分大学臨床心理研究. 202103; 1:13-20.

中澤祐太郎, Stanyon M, 菅家智史, 井伊雅子, 葛西龍樹. ビデオレビューを積極的に取り入れたカナダでの家庭医療専門研修～家庭医療先進国研修ツアー報告～. 日本プライマリ・ケア連合学会誌. 202103; 44(1):20-22.

大谷晃司. 【運動器疼痛】運動器疼痛の臨床研究 LOHAS. ペインクリニック. 202105; 42(別冊春):S103-S111.

〔その他〕

染谷真紀, 及川沙耶佳, 茂木恒俊, 田中淳一, 鉄原健一. オンラインシミュレーション Faculty Development の実践から見えた新たな省察の形. 医学教育. 202110; 52(5):405-410.

及川沙耶佳, 木村武司, 錦織宏. 「医学教育研究室の抄読会から」(第9回)「木のいのち木のころく天・地・人」. 医学教育. 202110; 52(5):443-445.

錦織宏, 及川沙耶佳, 谷昇子, 木村武司, 種村文孝. 【医学・医療者教育学を学ぶ我が国のプログラム】京大 FCME (ふくみん) 現場で働く指導医のための医学教育学プログラム 基礎編. 医学教育. 202112; 52(6):515-523.

佐久間健太, 大西真央, 長岡敦子, 青木俊太郎, 上田由桂, 松本貴智, 矢部博興. 強迫行為により社会生活に支障をきたした兄弟への心理療法 セラピスト交代に伴う課題に焦点を当てて. 福島医学雑誌. 202108; 71(2):101.

七海隆之, 星野仁彦, 青木俊太郎, 松本貴智, 上田由桂, 矢部博興. 不安を示すに対して電話による行動活性化療法を用いて復職支援を行った事例. 福島医学雑誌. 202108; 71(2):101.

著 書・訳 書

Stanyon M. Intercultural aspects in primary care educational research. In: Mehmet Akman, Valerie Wass, Felicity Goodyear-Smith. How To Do Primary Care Educational Research. Boca Raton: CRC Press; 202107. p.187-193

大谷晃司. 頸肩腕症候群（肩こりを含む）. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 私はこう治療している 2021 年版. 東京: 医学書院; 202101. p.1131-1133.

工藤由美, 及川沙耶佳. 5 ICUに緊急入院した重症交通外傷者への対応（症例提示・医療監修）. In: 飯田淳子, 錦織宏 編. 医師・医学生のための人類学・社会学：臨床症例／事例で学ぶ. 京都: ナカニシヤ出版; 202103. p.234-246.

青木俊太郎（協力）. F .心理的アプローチ CQ F・2：行動療法は慢性疼痛に有用か？ In: 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベ

スの活用による医療向上を目指す研究」研究班 監修, 慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループ 編集. 慢性疼痛診療ガイドライン. 東京: 真興交易(株)医書出版部; 202107. p.116-117.

研究発表等

〔研究発表〕

Takano Y, Aoki S, Tsuji Y, Sakano Y. Anxiety as a mediator of the relationship between perfectionism and perceived stress. 16th International Congress of Behavioural Medicine; 20210607-11; Web. International Journal of Behavioral Medicine. 28(Suppl 1):S92.

Takashina H, Tanabe M, Ueda S, Takemori K, Kaneyama Y, Aoki S, Sato H. COVID-19 and Depression: Behavioral Activation as a Protective Factor for Depressive Symptoms. 7th Asian Cognitive Behavior Therapy Conference 2021; 20210705-07; Web.

Shikama Y, Chiba Y, Yasuda M, Stanyon M, Otani K. Nurturing professional identity formation through early clinical exposure to non-healthcare professionals. The virtual conference AMEE 2021; 20210827-30; Web.

Stanyon M, Shikama Y, Otani K. Concept maps as an adjunct in the assessment of medical interview skills in English for Japanese students. The virtual conference AMEE 2021; 20210827-30; Web.

横田武尊, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. Bow-hunter 症候群に対する後方固定術により患側椎骨動脈の一時的な血流途絶を認めた一例. 第 31 回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web. 東北整形災害外科学会雑誌. 65(1):183.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第 31 回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web. 東北整形災害外科学会雑誌. 64(1):184.

青木俊太郎, 竹林由武, 小林智之, 佐藤秀樹, 安達菜穂子, 津田菜摘. わたしたちは思い込みとどう付き合っていくか?ーダイバーシティの科学ー. 福島医学会学術研究集会シンポジウム; 20210213; Web.

大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 矢吹省司, 菊地臣一, 紺野慎一. 頸椎症性脊髄症に対する頸椎椎弓骨切り術におけるいわゆる C5 麻痺の発生頻度. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):257.

渡邊剛広, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. MRI 上の腰椎椎間板変性と前屈時腰痛、後屈時腰痛との関係. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):334.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄(症)における歩行障害の術後経過 足 10 秒テストを用いた予後予測. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):339.

中村正隆, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. 腰椎傍脊柱筋の脂肪浸潤割合に関連する因子の検討. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):362.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における 10 年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛関連 QOL との関連の検討 南会津スタディ. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):384.

土方保和, 紙谷司, 関口美穂, 大谷晃司, 紺野慎一, 竹上未紗, 福原俊一, 山本洋介. 地域在住高齢者における後彎姿勢と要介護および死亡との関連性. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):384.

伏見友希, 大谷晃司, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant never root (馬尾弛緩) の臨床的意義. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):389.

大谷晃司, 大瀧遙, 関口美穂, 紺野慎一. MRI 上の頸椎椎間板変性と Neck Pain and Disability Scale との関係. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):504.

兼子陽太, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 小林賢司, 中村正隆, 紺野慎一. 一般住民における腰椎矢状面の X 線学的指標と腰痛の関係 南会津スタディ. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):614.

二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林洋, 半田隼一, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰椎変形性すべり症に対する内視鏡下除圧術の中長期成績 椎間関節の矢状化は内視鏡下圧術の術後成績に影響するか. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20210422-24; 京都/Web. Journal of Spine Research. 12(3):623.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. ロコモティブシンドロームの進行と認知機能との関係. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-21; 東京/Web. 日本整形外科学会雑誌. 95(2):S100.

伏見友希, 大谷晃司, 中村正隆, 関口美穂, 紺野慎一. Redundant nerve root の臨床的意義. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-21; 東京/Web. 日本整形外科学会雑誌. 95(2):S681.

大谷晃司, 紺野慎一, 関口美穂, 小野玲, 内田一彰, 村田峻輔. 自己効力感と運動器慢性疼痛やロコモティブシンドロームとの関係. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-21; 東京/Web. 日本整形外科学会雑誌. 95(2):S934.

小林賢司, 大谷晃司, 関口美穂, 富永亮司, 渡邊剛広, 紺野慎一. 一般住民における 10 年間の腰椎椎間板変性進行と腰痛発生との関連の検討 南会津スタディ. 第 94 回日本整形外科学会学術総会; 20210520-21; 東京/Web. 日本整形外科学会雑誌. 95(2):S1003.

青木俊太郎. Up-to-date 認知行動療法. 日本ペインクリニック学会第 55 回学術集会; 20210722-24; 富山/Web.

菅家智史, 川井巧, 及川沙耶佳. 自分の教育ってどうですか? ~医学教育の理論を紐解く~. 福島県立医科大学総合診療医センターふくジェネ Trainer's Lounge; 20210721; Web.

Sato E, Eto Y, Kyuragi S, Park J, Oikawa S, Lee-Jayaram J, Berg BW. Promoting Excellence and Reflective Learning in Simulation (PEARLS): A Debriefing Tool for Japan. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210729; Web.

染谷真紀, 及川沙耶佳, 茂木恒俊, 田中淳一, 鉄原健一. オンラインシミュレーション Faculty Development の取り組み. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210729; Web.

Stanyon M, Shikama Y, Horsburgh J, Moula Z, Parekh R, Otani K. Cross-cultural constructions of unprofessional behaviour: a Qmethod pilot study. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):85.

菅原亜紀子, 石川和信. 継続診療に求められる医師のコンピテンシーとは? ベテラン医師の視点から. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):139.

安田恵, 色摩弥生, 坂本信雄, 川井巧, 青木俊太郎, 末永博紀, 安井清孝, 諸井陽子, 大谷晃司. オンライン地域体験実習を通して醸成されるプロフェッショナリズムに関する検討. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):148.

諸井陽子, 色摩弥生, 安田恵, 青木俊太郎, 安井清孝, 大谷晃司. コロナ禍に対応したオンライン「早期臨床体験実習」. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):149.

安井清孝, Stanyon M, 諸井陽子, 青木俊太郎, 千葉靖子, 大谷晃司, 色摩弥生. 日本人学生に能動的議論参加を促すグループ討論会の試み. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):155.

川井巧, 色摩弥生, 安田恵, 及川沙耶佳, 唐尊一, 青木俊太郎, 安井清孝, 諸井陽子, マハム・スタンヨン, 大谷晃司. 福島県内の臨床研修医の研修開始時点での臨床能力の自己評価. 第 53 回日本医学教育学会大会; 20210730-31; Web. 医学教育. 52(Suppl):171.

菅家智史, 川井巧, 及川沙耶佳. 自分の教育ってどうですか?～医学教育の理論を紐解く～第 2 回目. 福島県立医科大学総合診療医センターふくジェネ Trainer's Lounge; 20210822; Web.

高階光梨, 横光健吾, 村中誠司, 宋龍平, 国里愛彦, 木内敬太, 青木俊太郎, 佐藤秀樹, 片岡裕貴, 竹林由武. 遠隔心理支援のメンタルヘルス・アウトカム: メタ分析研究の系統的レビュー. 日本心理学会第 85 回大会; 20210901-08; Web.

小林洋, 大谷晃司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 半田隼一, 小林良浩, 矢吹省司, 紺野慎一. 脊椎外科領域の低侵襲手術の実際 頸椎内視鏡を用いた低侵襲治療による, QOL の改善効果. 第 70 回東日本整形災害外科学会学術集会; 20210917; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):186.

遠藤裕司, 渡邊和之, 小林良浩, 小林洋, 加藤欽志, 二階堂琢也, 大谷晃司, 矢吹省司, 紺野慎一. アテトーゼ型脳性麻痺に伴う上位頸髄症に対する環椎後弓切除術の手術成績 2 例報告. 第 70 回東日本整形災害外科学会学術集会; 20210917; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):311.

渡邊和之, 大谷晃司, 二階堂琢也, 加藤欽志, 小林洋, 矢吹省司, 紺野慎一. 腰部脊柱管狭窄に対する除圧術

の長期成績 手術範囲から除外した無症候性狭窄と術後新規症状の出現に關与する因子の検討. 第 70 回東日本整形災害外科学会学術集会; 20210917-18; 盛岡. 東日本整形災害外科学会雑誌. 33(3):406.

菊地潤, 青木俊太郎. コロナ禍における登校しづりを呈した小学 1 年生に対しての認知行動療法—呼吸法・漸進的筋弛緩法を通して、不安や緊張が低減した症例—. 日本認知・行動療法学会第 47 回大会; 20211010-11; Web.

高階光梨, 佐藤秀樹, 青木俊太郎, 牟田季純, 秋山直美, 横光健吾, 竹林由武. 日本語版 Covid Stress Scale (CSS) の作成と信頼性・妥当性の検討. 日本認知・行動療法学会第 47 回大会; 20211010-11; Web.

本谷亮, 笠原諭, 岩崎稔, 青木俊太郎, 会田記章, 村上安壽子, 高橋直人, 矢吹省司, 井関雅子, 丹羽真一. 慢性疼痛患者へのリハビリテーション内で実践可能な認知行動療法プログラム—pilot study による短期的効果の検討—. 日本認知・行動療法学会第 47 回大会; 20211010-11; Web.

諸井陽子, 青木俊太郎, 安井清孝, 安田恵, 川井巧, 及川沙耶佳, 色摩弥生, 大谷晃司. 模擬患者のオンライン養成に向けたオンラインミーティングアプリ “Zoom” の利用調査. 第 18 回東北シミュレーション医学教育研究会; 20211204; Web. プログラム・抄録集. 8.

〔特別講演〕

大谷晃司. 骨粗鬆症の疫学・診断・治療の ABC. 第 2 回郡山脆弱性骨折予防学術講演会; 20210625; 郡山.

大谷晃司. 内科外来での他科診療 内科医が遭遇する運動器の症候・疾患についての対処法. 第 34 回日本臨床内科医学会; 20210919-20; Web. 日本臨床内科医会誌. 36(3):S59.

大谷晃司. 手足の痛み・しびれの診かた、考え方. 福島市整形外科医会学術講演会; 20211112; 福島.

大谷晃司. 勤労者の腰痛の予防と治療. 第 18 回福島県産業医学研修会; 20211117; 白河.

〔招待講演〕

Oikawa S. Collaborative Simulated Scenarios. SIMULCON India 3rd National Simulation Conference; 20211203-05; Web.

看護師特定行為研修センター

論文

〔原 著〕

Haga J, Sato N, Anazawa T, Kimura T, Kenjo A, Gotoh M, Marubashi S. Comprehensive analysis of gene expression of isolated pancreatic islets during pretransplant culture. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202104; 67(1):17-26.

Sato N, Kenjo A, Nishimagi A, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Yamada S, Hashimoto Y, Marubashi S. Accuracy comparison of MR elastography and biological markers in detecting liver fibrosis and predicting postoperative ascites. *HPB*. 202109; 23(9):1383-1391.

Sato N, Kenjo A, Suzushino S, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Marubashi S. Predicting Post-Hepatectomy Liver Failure Using Intra-Operative Measurement of Indocyanine Green Clearance in Anatomical Hepatectomy. *World Journal of Surgery*. 202112; 45(12):3660-3667.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 時代が求める外科医の働き方 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. *日本外科学会雑誌*. 202103; 122(2):250-252.

研究発表等

〔研究発表〕

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 武藤亮, 鈴志野聖子, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 志村龍男, 丸橋繁. 大動脈周囲リンパ節再発に対して集学的治療を施行した膵神経内分泌腫瘍の一例. 第51回日本膵臓学会大会; 20210108-09; 神戸/Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 後藤悠大, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆管空腸吻合法の工夫. 第38回日本肝移植学会学術集会; 20210212-13; Web.

Ishigame T, Kimura T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Clinical characteristics of local complications of acute pancreatitis requiring surgical management. 第32回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Shimura T, Marubashi S. Impact of operative time on outcomes after Pancreaticoduodenectomy. 第32回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Tatsuo S, Marubashi S. Risk factor analysis of surgical treatment for intrahepatic cholangiocarcinoma. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Muto M, Kimura T, Nishimagi A, Suzushino S, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Successful surgical resection for a case with carcinosarcoma of the gallbladder. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Nishimagi A, Sato N, Suzushino S, Muto M, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. A case of intraductal biliary metastasis of rectal cancer after curative surgery. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Muto M, Suzushino S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Preoperative FDG PET scan for pancreatic neuroendocrine neoplasm. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Suzushino S, Ishigame T, Nishimagi A, Muto M, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Exploration of predictive prognostic factors for early recurrence after neoadjuvant chemoradiation therapy for pancreatic cancer. 第 32 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210223-24; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Laparoscopic spleen-preserving distal pancreatectomy for pancreatic metastasis. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜 Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Suzushino S, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Shimura T, Marubashi S. Short-term outcome of laparoscopic liver lobectomy. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜 Web.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 組織学的癌遺残 (R1) を伴う胆管癌における予後因子の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝切除術の術中出血量に対する考察. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修修了者を増やしタスクシフトを推進するための課題. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 多発性内分泌腫瘍症 1 型に発生した膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の予後～MEN1 vs 非 MEN1～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝細胞と脂肪由来間葉系幹細胞との二層化シートによる効果. 第 121 回日本外科学会定期学

術集会; 20210408-10; Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 頭体移行部癌に対する至適術式の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

土佐太郎, 小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 1cm 以下の非機能性 NET G1/G2 をどうするか? 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

西間木淳, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 成人に対する先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常症の術後成績について. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻に対する取り組み～柿田変法と Blumgart 法の比較～. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝胆膵外科領域における低侵襲手術への挑戦. 第 32 回内視鏡外科フォーラム in 福島; 20210522; Web.

Azuma T, Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Successful treatment for median arcuate ligament syndrome with aneurysm: a case report. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Ishigame T, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Okada R, Kenjo A, Marubashi S. Prediction of intrahepatic recurrence after surgery for hepatocellular carcinoma. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Kenjo A, Nishimagi A, Tsukida S, Muto M, Suzushino S, Watanabe J, Sato N, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Marubashi S. Early and Late-onset Complications of Living Donor Hepatectomy. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Kofunato Y, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Sato N, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. The impact of hand grip strength and gait speed for fall risk among patients after pancreaticoduodenectomy. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Muto M, Kimura T, Nishimagi A, Tsukida S, Watanabe J, Kofunato Y, Ishigame T, Okada R, Kenjo A, Marubashi S. MicroRNA-1 suppresses tumor growth in cholangiocarcinoma. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Nishimagi A, Ishigame T, Tsukida S, Muto M, Watanabe J, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Metastatic renal cell carcinoma to the common bile duct 16 years after curative nephrectomy: a case report. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Watanabe J, Muto M, Tsukida S, Nishimagi A, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Preoperative dual SRS/FDG-PET CT imaging in gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Tsukida S, Ishigame T, Nishimagi A, Suzushino S, Muto M, Watanabe J, Kofunato Y, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. A case of neuroendocrine neoplasm that was difficult to distinguish between neuroendocrine tumor grade 3 and neuroendocrine carcinoma preoperatively. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

Watanabe J, Nishimagi A, Tsukida S, Suzushino S, Muto M, Kohunato Y, Ishigame T, Okada R, Kimura T, Kenjo A, Marubashi S. Evaluation of outcome after splenectomy for ITP. 第 33 回日本肝胆膵外科学会学術集会; 20210602-03; Web.

小船戸康英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴志野聖子, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 肝移植後抗体関連拒絶患者に対する mTOR 阻害剤の使用経験. 第 39 回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

西間木淳, 見城明, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 肝移植待機した非移植術症例の転機と検討. 第 39 回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 臨床的膵液瘻のない膵体尾部切除後の術後早期アウトカムの検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脾空腸吻合における Open up 法の有用性. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. Cadaver surgical training を有効利用するための包括的外科手技トレーニングシステムの構築. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

見城明, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 丸橋繁. 肝切除術後の胆汁漏に関する検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. PET/MRI による胆嚢腫瘍の診断能. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

佐藤直哉, 西間木淳, 見城明, 岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 木村隆, 丸橋繁. MR elastography と線維化マーカーの比較: 肝線維化の診断精度は肝切除術後合併症の予測に関連する. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞を用いた二層化肝細胞シートによる皮下移植の成績. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 通常型膵癌の膵頭十二指腸切除術における NCD Risk Calculator の検証. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

西間木淳, 小船戸康英, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 高齢者に対する腹腔鏡下肝切除術の術後短期成績の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

武藤亮, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 膵癌手術前後の筋肉量・体脂肪量と栄養学的指標の変化. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 十二指腸乳頭部癌切除症例における予後因子の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝内胆管癌におけるリンパ節郭清の意義. 第 57 回日本肝癌研究会; 20210722-23; 鹿児島/Web.

石亀輝英, 武藤亮, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝胆膵領域手術における周術期骨格筋量と短期成績の関連の検討. 第 7 回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会; 20210904; Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 当科における成人肝移植の短期・長期成績. 第 57 回日本移植学会総会; 20210918-20; 東京/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 家族性膵癌の外科治療成績. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-24; 東京/Web.

佐藤直哉, 岡田良, 見城明, 田辺隼人, 西間木淳, 鈴志野聖子, 月田茂之, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 木村隆, 武藤亮, 島袋充生, 丸橋繁. 膵島移植と膵臓移植の現状～膵島移植レシピエント登録の推進に向けた取り組み～. 第 52 回日本膵臓学会大会; 20210922-24; 東京/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後の膵癌患者の栄養学的指標と予後の関連性の検討. 日本外科代謝栄養学会第 58 回学術集会; 20211007-09; 神戸/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆管癌に対する肝外胆管切除術の検討. 第 57 回日本胆道学会学術集会; 20211007-08; 東京/Web.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 退形成性膵管癌成分を伴った膵腺扁平上皮癌の 1 例. 第 25 回日本外科病理学会学術集会; 20211014-15; 千葉.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁.

MEN1 に伴うインスリノーマの周産期管理および治療経験. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 遺伝性膵癌の治療成績. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 鈴木野聖子, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆道原発神経内分泌癌 6 例の検討. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 残膵全摘術を施行した再発 IPMC の 4 例. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

西間木淳, 佐藤直哉, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝内胆管癌との鑑別が困難であった大腸癌肝転移の 2 例. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 早期再発を来した十二指腸乳頭部癌切除症例の検討. JDDW2021 神戸; 20211104-07; 神戸/Web.

岡田良, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. ロボット支援下膵体尾部切除術の安全な導入. 第 13 回膵臓内視鏡外科研究会; 20211117; 東京/Web.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝尾状葉切除術の 3 例. 第 15 回肝臓内視鏡外科研究会; 20211117; 東京/Web.

月田茂之, 岡田良, 藤井あゆみ, 西間木淳, 鈴木野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の安全な導入. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

藤井あゆみ, 岡田良, 西間木淳, 月田茂之, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 耳下腺腺房細胞癌脾臓転移に対して腹腔鏡下脾臓摘出術を施行した一例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

〔特別講演〕

川井大地, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾, 見城明. 特定看護師へのタスクシフトには組織的かつ計画的な対応が必要である. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

見城明, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾. チーム医療の推進: 外科医の働き方改革と特定看護師へのタスク・シフト. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

医療研究推進センター

論文

〔原 著〕

Kubota K, Tanaka N, Miyata Y, Ohtsu H, Nakahara T, Sakamoto S, Kudo T, Nishiyama Y, Tateishi U, Murakami K, Nakamoto Y, Taki Y, Kaneta T, Kawabe J, Nagamachi S, Kawano T, Hatazawa J, Mizutani Y, Baba S, Kirii K, Yokoyama K, Okamura T, Kameyama M, Minamimoto R, Kunimatsu J, Kato O, Yamashita H, Kaneko H, Kutsuna S, Ohmagari N, Hagiwara A, Kikuchi Y, Kobayakawa M. Comparison of ^{18}F -FDG PET/CT and ^{67}Ga -SPECT for the diagnosis of fever of unknown origin: a multicenter prospective study in Japan. *Annals of Nuclear Medicine*. 202101; 35(1):31-46.

Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, Watanabe K, Kikuchi H, Takasumi M, Hashimoto M, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Hanayama H, Saze Z, Kobayakawa M, Kono K, Ohira H. Gastric carcinoma with lymphoid stroma diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202104; 14(2):471-477.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Okubo Y, Satake S, Oka Y, Yamada S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Two cases of gastric adenocarcinoma with enteroblastic differentiation resected by endoscopic submucosal dissection. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202106; 14(3):736-744.

Hashimoto C, Hikichi T, Hashimoto M, Waragai Y, Takasumi M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Satake S, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Localized gastric amyloidosis diagnosed by endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202108; 14(4):1036-1041.

Fujii M, Kobayakawa M, Saito K, Inano A, Morita A, Hasegawa M, Mukasa A, Mitsuhashi T, Goto T, Yamaguchi S, Tamiya T, Nakatomi H, Oya S, Takahashi F, Sato T, Bakhit M; on Behalf of The BeatNF Trial Investigators. Rationale and Design of BeatNF2 Trial: A Clinical Trial to Assess the Efficacy and Safety of Bevacizumab in Patients with Neurofibromatosis Type 2 Related Vestibular Schwannoma. *Current Oncology*. 202101; 28(1):726-739.

Kato T, Hikichi T, Nakamura J, Takasumi M, Hashimoto M, Kobashi R, Yanagita T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. Usefulness of Endoscopic Ultrasound with the Jelly-Filling Method for Esophageal Varices. *Diagnostics*. 202109; 11(9):1726.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Hashimoto Y, Ohira H. Usefulness of a Fork-Tip Needle in Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Biopsy for Gastric Subepithelial Lesions. *Diagnostics*. 202110;

11(10):1883.

Nakamura J, Hikichi T, Watanabe K, Hashimoto M, Kato T, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Takasumi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Kikuchi H, Waragai Y, Kobayakawa M, Yamasaki M, Ohira H. Efficacy of Sodium Carboxymethylcellulose Compared to Sodium Hyaluronate as Submucosal Injectant for Gastric Endoscopic Submucosal Dissection: A Randomized Controlled Trial. *Digestion*. 2021; 102(5):753-759.

Takasumi M, Hikichi T, Hashimoto M, Nakamura J, Kato T, Kikuchi H, Waragai Y, Watanabe K, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Hayashi M, Sato Y, Irie H, Kobashi R, Okubo Y, Kobayakawa M, Ohira H. A Pilot Randomized Crossover Trial of Wet Suction and Conventional Techniques of Endoscopic Ultrasound-Guided Fine-Needle Aspiration for Upper Gastrointestinal Subepithelial Lesions. *Gastroenterology Research and Practice*. 202103; 2021:4913107.

Nakamura J, Hikichi T, Hashimoto M, Takasumi M, Kato T, Kobashi R, Yanagita T, Suzuki R, Sugimoto M, Sato Y, Irie H, Takagi T, Kobayakawa M, Ohira H. Efficacy and Safety of Peroral Endoscopic Myotomy for Esophageal Achalasia and Achalasia-Related Diseases in Patients Aged 75 Years and Over. *Healthcare*. 202112; 9(12):1668.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Kanno R, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Yamazaki S, Kikuchi H, Sakakibara-Konishi J, Oizumi S, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Honjo O, Minami Y, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Nakamura K, Inano A, Isobe H, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) as a possible therapeutic target and its application to radioimmunotherapy using ¹²⁵I-labelled anti-DLK1 antibody in lung cancer models (HOT1801 and FIGHT004). *Lung Cancer*. 202103; 153:134-142.

稲野彰洋. 治験の審査を今一度振り返るーIRBのセントラル化は進むのかー C-IRBの活用 福島県立医科大学 附属病院と ACTIVATO/TTN. *薬理と治療*. 202109; 49(9):1369-1372.

ふくしま子ども・女性医療支援センター

論 文

〔原 著〕

Kyozuka H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K. Effect of Preconception Selenium Intake on the Risk for Gestational Diabetes: The Japan Environment and Children's Study. *Antioxidants*. 202104; 10(4):568.

Murata T, Kyozyuka H, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Morokuma S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal sleep duration and neonatal birth weight: the Japan Environment and Children's Study. *BMC Pregnancy and Childbirth*. 202104; 21(1):295.

Murata T, Kyozyuka H, Fukuda T, Endo Y, Kanno A, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels and small-for-gestational age infants: a prospective cohort study from the Japan Environment and Children's Study. *BMJ Open*. 202112; 11(12):e054156.

Kikuchi S, Kobayashi N, Watanabe Z, Ono C, Takeda T, Nishigori H, Yaegashi N, Arima T, Nakai K, Tomita H. Corrigendum: The delivery of a placenta/fetus with high gonadal steroid production contributes to postpartum depressive symptoms. *Depression and Anxiety*. 202110; 38(10):1100.

Tanoue K, Watanabe Z, Nishigori H, Iwama N, Satoh M, Murakami T, Tanaka K, Sasaki S, Sakurai K, Ishikuro M, Obara T, Saito M, Sugawara J, Tatsuta N, Kuriyama S, Arima T, Nakai K, Yaegashi N, Metoki H; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. The prevalence of psychological distress during pregnancy in Miyagi Prefecture for 3 years after the Great East Japan Earthquake. *Environmental Health and Preventive Medicine*. 202102; 26(1):27.

Haginoya K, Sekiguchi F, Munakata M, Yokoyama H, Hino-Fukuyo N, Uematsu M, Jin K, Nagamatsu K, Ando T, Miyake N, Matsumoto N, Kure S. A patient with a 6q22.1 deletion and a phenotype of non-progressive early-onset generalized epilepsy with tremor. *Epilepsy & Behavior Reports*. 202111; 15:100405.

Ota Y, Ota K, Takahashi T, Suzuki S, Sano R, Shiota M. A Suturing Method without Exposure of Barbs on the Wound Surface Using a Unidirectional Barbed Monofilament Absorbable Suture (STRATAFIX™) in Laparoscopic Myomectomy: A Feasibility Study. *Gynecology and Minimally Invasive Therapy*. 202104; 10(2):104-108.

Murata T, Kyozyuka H, Endo Y, Fukuda T, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; The Japan Environment Children's Study Jecs Group. Preterm Deliveries in Women with Uterine Myomas: The Japan Environment and Children's Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202102; 18(5):2246.

Kuroda Y, Goto A, Koyama Y, Hosoya M, Fujimori K, Yasumura S, Nishigori H, Kuse M, Kyozyuka H, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K; Japan Environment and Children's Study (JECS). Antenatal and postnatal association of maternal bonding and mental health in Fukushima after the Great East Japan Earthquake of 2011: The Japan Environment and Children's Study (JECS). *Journal of Affective Disorders*. 202101; 278:244-251.

Yamaguchi A, Kyozyuka H, Kanno A, Murata T, Fukuda T, Yasuda S, Hosoya M, Yasumura S, Kuse M, Sato A, Ogata Y, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Gestational weight gain and risk factors for postpartum depression symptoms from the Japan

Environment and Children's Study: a prospective cohort study. *Journal of Affective Disorders*. 202103; 283:223-228.

Kyozuka H, Yasuda S, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Adverse obstetric outcomes in early-diagnosed gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *Journal of Diabetes Investigation*. 202111; 12(11):2071-2079.

Isobe M, Kataoka Y, Chikazawa K, Hada T, Nishigori H, Takahashi T, Enomoto T. Correlation between the number of laparoscopy-qualified gynecologists and the proportion of laparoscopic surgeries for benign gynecological diseases in Japan: An ecological study. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*. 202101; 47(1):329-336.

Ota K, Takahashi T, Katagiri M, Miznuma H, Yoshida H. Effects of hatha yoga on endocrine functions and assisted reproductive technology outcomes in women with infertility a retrospective cohort study. *Journal of Reproductive Medicine*. 202103; 66(3-4):101.

Kyozuka H, Nishigori H, Murata T, Fukuda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Prepregnancy antiinflammatory diet in pregnant women with endometriosis: The Japan Environment and Children's Study. *Nutrition*. 202105; 85:111129.

Murata T, Kyozuka H, Yasuda S, Fukuda T, Yamaguchi A, Maeda H, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Association between maternal ritodrine hydrochloride administration during pregnancy and childhood wheezing up to three years of age: The Japan environment and children's study. *Pediatric Allergy and Immunology*. 202110; 32(7):1455-1463.

Kyozuka H, Murata T, Fukusda T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Endo Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Teenage pregnancy as a risk factor for placental abruption: Findings from the prospective Japan environment and children's study. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251428.

Kyozuka H, Fukusda T, Murata T, Yamaguchi A, Kanno A, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Kuse M, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study JECS Group. Impact of preconception sodium intake on hypertensive disorders of pregnancy: The Japan Environment and Children's study. *Pregnancy Hypertension*. 202103; 23:66-72.

Ohara M, Yoshida-Komiya H, Ono-Okutsu M, Yamaguchi-Ito A, Takahashi T, Fujimori K. Metformin reduces androgen receptor and upregulates homeobox A10 expression in uterine endometrium in women with polycystic ovary syndrome. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 202105; 19(1):77.

Iwasawa T, Takahashi T, Maeda E, Ishiyama K, Takahashi S, Suganuma R, Matsuo K, Tachibana M, Fukuhara R, Shirasawa H, Sato W, Kumazawa Y, Terada Y. Effects of localisation of uterine adenomyosis on

outcome of in vitro fertilisation/intracytoplasmic sperm injection fresh and frozen-thawed embryo transfer cycles: a multicentre retrospective cohort study. *Reproductive Biology and Endocrinology*. 202106; 19(1):84.

Ota K, Tsutsumi O, Mitani T, Morimoto Y, Tanaka A, Osuga Y, Takahashi T, Hosoi Y. Reproductive medical providers' behaviors, considerations, and plans for fertility treatments during the COVID-19 pandemic in Japan: A nationwide web-based survey. *Reproductive Medicine and Biology*. 202103; 20(2):123-132.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Maternal pre-pregnancy body mass index and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202102; 11(1):4350.

Kyojuka H, Murata T, Fukuda T, Endo Y, Yamaguchi A, Yasuda S, Kanno A, Sato A, Ogata Y, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Immunoglobulin E levels and pregnancy-induced hypertension: Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8664.

Murata T, Kyojuka H, Yamaguchi A, Fukuda T, Yasuda S, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment, Children's Study (JECS) Group. Author Correction: Gestational weight gain and foetal acidosis in vaginal and caesarean deliveries: The Japan Environment and Children's Study. *Scientific Reports*. 202104; 11(1):8906.

神保正利. 【周産期医学必修知識（第9版）】羊水. *周産期医学*. 202112; 51(増刊):40-42.

【総説等】

高橋俊文. 【OC・LEPガイドライン2020年度版を読み解く】処方前の検査は？産科と婦人科. 202106; 88(6):667-670.

高橋俊文, 鈴木大輔. 【卵巣 Up to Date】閉経期以降の卵巣機能. 産科と婦人科. 202108; 88(8):924-929.

太田邦明, 堤治, 高橋俊文, 森田峰人. 【卵巣 Up to Date】COVID-19と生殖医療. 産科と婦人科. 202108; 88(8):985-995.

太田邦明, 高橋俊文, 森田峰人. 【周産期医学必修知識（第9版）】葉酸摂取. *周産期医学*. 202112; 51(増刊):16-20.

成味恵, 高橋一広, 山谷日鶴, 清野学, 山内敬子, 太田剛, 高橋俊文, 倉智博久, 永瀬智. 閉経後女性の内臓脂肪における脂肪細胞サイズと酸化ストレス. *日本女性医学学会雑誌*. 202101; 28(2):242-248.

高橋俊文. オンコファーマティリティとオンコヘルスケア 小児・AYAがんサバイバー女性のヘルスケア（オンコウイメンズヘルス）. *日本女性医学学会雑誌*. 202107; 28(4):643-646.

太田邦明, 福田雄介, 片桐由起子, 高橋俊文, 森田峰人. 【生殖医療の基礎知識アップデートー患者説明に役

立つ最新エビデンス・最新データ】一般不妊治療 プレコンセプションケア サプリメント摂取と妊孕性 葉酸、ビタミン D の有用性. 臨床婦人科産科. 202101; 75(1):14-23.

高橋俊文. 不妊症を生物学的・社会的に探求する 卵子凍結に潜むリスクとベネフィット. 福島医学雑誌. 202108; 71(2):95-96.

高橋俊文, 鈴木大輔, 太田邦明. 【女性のライフステージごとのホルモン療法—この 1 冊ですべてを網羅する】月経異常・不妊 若年者の月経異常と PCOS. 臨床婦人科産科. 202104; 75(3):326-331.

高橋俊文, 太田邦明. 【産婦人科患者説明ガイド—納得・満足を引き出すために】不妊・不育 体外受精・胚移植を行うにあたっての患者説明. 臨床婦人科産科. 202104; 75(4):163-168.

高橋俊文, 太田邦明. 【産婦人科患者説明ガイド—納得・満足を引き出すために】不妊・不育 (Q1)不妊治療にはどんな副作用がありますか? 臨床婦人科産科. 202104; 75(4):193-195.

高橋俊文, 太田邦明, 神保正利. 【月経異常に対するホルモン療法を極める!—最新エビデンスと処方の実際】無月経 ホルムストローム療法. 臨床婦人科産科. 202111; 75(11):1028-1032.

山口明子, 高橋俊文, 小宮ひろみ. 【月経異常に対するホルモン療法を極める!—最新エビデンスと処方の実際】月経困難症・過多月経 LEP 製剤 OC・LEP 製剤の黄体ホルモンによる違い. 臨床婦人科産科. 202111; 75(11):1038-1043.

〔症例報告〕

Ueda M, Ota K, Takahashi T, Suzuki S, Suzuki D, Kyojuka H, Jimbo M, Soeda S, Watanabe T, Fujimori K. Successful pregnancy and term delivery after treatment of unicornuate uterus with non-communicating rudimentary horn pregnancy with local methotrexate injection followed by laparoscopic resection: a case report and literature review. BMC Pregnancy and Childbirth. 202110; 21(1):715.

Murata T, Endo Y, Furukawa S, Ono A, Kiko Y, Soeda S, Watanabe T, Takahashi T, Fujimori K. Successful laparoscopic resection of ovarian abscess caused by Staphylococcus aureus in a 13-year-old girl: a case report and review of literature. BMC Women's Health. 202105; 21(1):198.

Takahashi T, Murakami M, Ota K, Mizunuma H. Uterine leiomyosarcoma presenting as septic shock in a 43-year-old woman: A case report. Clinical and Experimental Obstetrics and Gynecology. 202102; 48(1):203-205.

Okoshi C, Takahashi T, Ota K, Suganuma R, Fujimori K. Severe Hemoperitoneum After Oocyte Retrieval Due to Ovarian Hemorrhage Possibly Caused by Violent Cough Under General Anesthesia With Propofol and Pentazocine: A Case Report and Literature Review. Cureus. 202110; 13(10):e18724.

Ota Y, Ota K, Takahashi T, Morimoto Y, Suzuki SI, Sano R, Ota I, Moriya T, Shiota M. A Case of Elastography-Assisted Laparoscopic Fertility Preservation for Severe Deep Endometriosis Causing Ureteral Stenosis and Subtype II Adenomyosis. Endocrines. 202109; 2(3):348-355.

著 書・訳 書

神保正利. 分娩期の異常 羊水と臍帯の異常 羊水混濁. In: 石川紀子, 中川有加 編著. The 分娩. 大阪: メディカ出版; 202108. p.202-208.

研究発表等

〔研究発表〕

Tanaka H, Oshio T, Kakuta K, Minami Y, Shimizu H. A new concept for the origin of gastroschisis. 54th Annual Scientific Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons; 20211114-18; Web.

南洋輔, 三森浩太郎, 清水裕史, 鈴木眞一, 田中秀明. 右副腎原発褐色細胞腫に対して腹腔鏡手術を施行した1小児例. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310-13; 横浜/Web.

清水裕史, 南洋輔, 大原喜裕, 佐野秀樹, 菊田敦, 田中秀明. Oncologic emergency を来した肝ラブドイド腫瘍に対し肝左葉切除術を施行した1例. 第42回東北小児がん研究会; 20210320; Web.

南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 巨大臍帯ヘルニアに対する抗菌性創傷被覆保護剤の使用経験. 第7回日本小児へそ研究会; 20210409; Web.

清水裕史, 二見徹, 滝口和暁, 角田圭一, 町野翔, 尾形誠弥, 三森浩太郎, 南洋輔, 田中秀明. ワークライフバランスにおける資産形成 多忙な医師にこそ正しい金融教育を. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

田中秀明, 南洋輔, 清水裕史, 藤井正純, 佐野秀樹, 菊田敦. 術中MRI 支援下に腎部分切除を行った先天性間葉芽腎腫の1例. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 胸腔鏡下に切除し得た前縦隔成熟奇形腫の1例. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

三森浩太郎, 南洋輔, 清水裕史, 田中秀明. 若手小児外科医による NICU・PICU 研修の有用性—自身の経験から. 第58回日本小児外科学会学術集会; 20210428-30; 横浜/Web.

田中秀明, 三森浩太郎, 尾形誠弥, 南洋輔, 清水裕史, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 小児肝移植における胆道再建法. 第39回日本肝移植学会学術集会; 20210624-25; Web.

南洋輔, 清水裕史, 郷勇人, 佐藤真紀, 田中秀明. 当院における新生児小腸ストマ合併症の検討. 第57回日本周産期・新生児医学会学術集会; 20210711-13; 宮崎/Web.

南洋輔, 角田圭一, 清水裕史, 田中秀明. 吞気により顕在化した胃軸捻転症に対して腹腔鏡下胃固定術を施行した1小児例. 第95回日本小児外科学会東北地方会; 20210925; Web.

角田圭一，南洋輔，清水裕史，田中秀明. カニューレフリー用人工鼻を用いて良好な気道管理を得た気道分離術後の1例. 第31回日本小児呼吸器外科研究会; 20211028-29; 東京/Web.

清水裕史，及川孔，二見徹，滝口和暁，角田圭一，町野翔，尾形誠弥，三森浩太郎，南洋輔，田中秀明. 腹腔鏡下整復術を実施した盲腸結腸型特発性腸重積の1例. 第40回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会; 20211028-29; 東京/Web.

南洋輔，角田圭一，清水裕史，山下方俊，田中秀明. 皮膚再生抗菌性創傷被覆保護剤により臍帯羊膜の上皮化を得た後に待機的腹壁閉鎖術を行った巨大臍帯ヘルニアの2例. 第37回日本小児外科学会秋季シンポジウム; 20211030; 東京/Web.

角田圭一，南洋輔，清水裕史，田中秀明. ストーマ脱出の管理に洗濯ネットを用いた1例. 第31回日本小児外科 QOL 研究会; 20211106; Web.

清水裕史，南洋輔，大原喜裕，佐野秀樹，菊田敦，田中秀明. 肝原発ラブドイド腫瘍の一例. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会; 20211125-27; Web.

南洋輔，角田圭一，清水裕史，田中秀明. 当科におけるアニマルラボを用いた鏡視下手術トレーニング. 第34回日本内視鏡外科学会総会; 20211202-04; 神戸/Web.

角田圭一，南洋輔，清水裕史，田中秀明. ストーマ脱出の管理に洗濯ネットを用いた1例. 第10回福島県新生児懇話会; 20211210; Web.

南洋輔，清水裕史，郷勇人，佐藤真紀，後藤あや，田中秀明. 当院における新生児小腸ストーマ合併症の検討. 第10回福島県新生児懇話会; 20211210; Web.

放射線医学県民健康管理センター

論 文

〔原 著〕

Hasegawa A, Shiga M, Iyama K. Development of computer simulator 'Kawauchi Legends' as disaster response medical training software: overcoming the COVID-19 pandemic. Annals of the ICRP. 202107; 50(1_Suppl):181-186.

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, Yoshida K, Yumiya Y, Kuroda Y, Kumagai A, Ohira T, Tanigawa K. Development of an application tool to support returnees in Fukushima.

Annals of the ICRP. 202107; 50(1_suppl):187-193.

Hayashi F, Ohira T, Nakano H, Nagao M, Okazaki K, Harigane M, Yasumura S, Maeda M, Takahashi A, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between post-traumatic stress disorder symptoms and bone fractures after the Great East Japan Earthquake in older adults: a prospective cohort study from the Fukushima Health Management Survey. *BMC Geriatrics*. 202101; 21(1):18.

Hirai H, Okazaki K, Ohira T, Maeda M, Sakai A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Harigane M, Takahashi A, Ohira H, Kazama JJ, Hosoya M, Yabe H, Suzuki Y, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Shimabukuro M. Suboptimal diabetic control and psychological burden after the triple disaster in Japan: the Fukushima Health Management Survey. *BMJ Open Diabetes Research & Care*. 202109; 9(1):e002007.

Mizuki R, Kobayashi T, Maeda M. Disruption of Child Environments and Its Psychological Consequences After the Fukushima Disaster: a Narrative Review Based on the Ecological Systems Model. *Current Psychiatry Reports*. 202107; 23(8):49.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Miyazaki K, Maeda H, Ichikawa H, Chishiki M, Kashiwabara N, Kume Y, Ogasawara K, Sato M, Hosoya M. Biomarker Potential of the Soluble Receptor for Advanced Glycation End Products to Predict Bronchopulmonary Dysplasia in Premature Newborns. *Frontiers in Pediatrics*. 202104; 9:649526.

Mizuki R, Fujiwara T. Association Between Accumulation of Child Maltreatment and Salivary Oxytocin Level Among Japanese Adolescents. *Frontiers in Pediatrics*. 202111; 9:710718.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions, and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):71-82.

Harigane M, Takebayashi Y, Murakami M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Itagaki S, Nakajima S, Ohira T, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Higher psychological distress experienced by evacuees relocating outside Fukushima after the nuclear accident: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202101; 52:101962.

Harigane M, Imuta H, Yasumura S, Hayashi F, Nakano H, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Kamiya K. Factors Hindering Social Participation among Older Residents from Evacuation Zones after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202104; 18(9):4426.

Funakubo N, Tsuboi A, Eguchi E, Hayashi F, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K, Takashiba S, Ohira T; Mental Health Group of The Fukushima Health Management Survey. Association between Psychosocial Factors and Oral Symptoms among Residents in Fukushima after the Great East Japan Earthquake: A Cross-Sectional Study from the Fukushima Health Management Survey. *International Journal*

of Environmental Research and Public Health. 202106; 18(11):6054.

Horikoshi N, Maeda M, Harigane M, Iwasa H, Murakami M, Momoi M, Goto S, Yasumura S. Vulnerability of Evacuees Having No One to Consult after the Fukushima Nuclear Disaster: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10075.

Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Yasumura S, Harigane M, Shimizu Y, Okada T, Kiyama M, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Synergistic Effect of History of Cardiovascular Disease and Mental Distress on Post-Traumatic Stress Disorder after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202109; 18(19):10283.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Sato Y, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Increasing Disaster Medical Assistance Teams' Intent to Engage with Specific Hazards. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(21):11630.

Yumiya Y, Ohba T, Murakami M, Nakano H, Nollet KE, Goto A. User-guided design of a digital tool for health promotion and radiation protection: Results from an internet needs survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202111; 18(22):12007.

Eguchi E, Ohira T, Nakano H, Hayashi F, Okazaki K, Harigane M, Funakubo N, Takahashi A, Takase K, Maeda M, Yasumura S, Yabe H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between Laughter and Lifestyle Diseases after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12699.

Ohba T, Goto A, Yumiya Y, Murakami M, Nakano H, Honda K, Nollet KE, Schneider T, Tanigawa K. Tailoring Digital Tools to Address the Radiation and Health Information Needs of Returnees after a Nuclear Accident. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 202112; 18(23):12704.

Shima E, Go H, Maeda H, Ogasawara K, Imamura T, Sasaki M, Koh Y, Nollet KE, Ikeda K, Ohto H, Hosoya M. Down syndrome with neonatal alloimmune thrombocytopenia due to anti-HLAA31 and B61 antibodies. *International Journal of Hematology*. 202106; 113(6):945-949.

Sairenchi T, Yamagishi K, Iso H, Irie F, Koba A, Nagao M, Umesawa M, Haruyama Y, Takaoka N, Watanabe H, Kobashi G, Ota H. Atrial Fibrillation With and Without Cardiovascular Risk Factors and Stroke Mortality. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202103; 28(3):241-248.

Li Y, Cui R, Liu K, Eshak ES, Cui M, Dong J, Imano H, Muraki I, Kiyama M, Kitamura A, Okada T, Yamagishi K, Umesawa M, Ohira T, Iso H; CIRCS investigators. Relationship between endothelial dysfunction and prevalence of chronic kidney disease: The circulatory risk in communities study (CIRCS). *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 202106; 28(6):622-629.

Minakawa K, Yokokawa T, Ueda K, Nakajima O, Misaka T, Kimishima Y, Wada K, Tomita Y, Miura S, Sato Y, Mimura K, Sugimoto K, Nakazato K, Nollet KE, Ogawa K, Ikezoe T, Hashimoto Y, Takeishi Y, Ikeda K. Myeloproliferative neoplasm-driving Calr frameshift promotes the development of pulmonary hypertension in mice. *Journal of Hematology & Oncology*. 202103; 14(1):52.

Itagaki S, Takebayashi Y, Murakami M, Harigane M, Maeda M, Mizuki R, Oikawa Y, Goto S, Momoi M, Miura I, Ohira T, Oe M, Yabe H, Yasumura S, Kamiya K. Trajectories of peer relationship problems and emotional symptoms in children 5 years after a nuclear disaster: Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i114-i121.

Ohira T, Shimura H, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Response to the Letter to the Editor: 'Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake', by Ohira et al. *Journal of Radiation Research*. 202103; 62(3):425-426.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Suzuki H, Ohira T, Takeishi Y, Sakai A, Hosoya M, Yasumura S, Kawasaki Y, Takahashi A, Nakano H, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Association between atrial fibrillation and white blood cell count after the Great East Japan Earthquake: An observational study from the Fukushima Health Management Survey. *Medicine*. 202102; 100(6):e24177.

Moriyama N, Ohira T, Maeda M, Yabe H, Miura I, Takahashi A, Harigane M, Horikoshi N, Okazaki K, Miyachi M, Gando Y, Kamiya K, Yasumura S. Association of habitual exercise with adults' mental health following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: the Fukushima Health Management Survey. *Mental Health and Physical Activity*. 202103; 20:100388.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011–2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Iyama K, Kakamu T, Yamashita K, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. Survey about Intention to Engage in Specific Disaster Activities among Disaster Medical Assistance Team Members. *Prehospital and disaster*

medicine. 202112; 36(6):684-690.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet K, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation After the Fukushima Nuclear Accident. Public Health and Informatics. 202105; 281:1091-1092.

Ma E, Ohira T, Nakano H, Maeda M, Yabe H, Sakai A, Yasumura S, Kamiya K. Dietary Pattern Changes in Fukushima Residents After the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey 2011-2013. Public Health Nutrition. 202106; 24(8):2195-2204.

Orui M, Fukasawa M, Horikoshi N, Suzuki Y, Kawakami N. The ongoing activities of livelihood support counselors following nuclear disaster under the COVID-19 restrictions: A preliminary survey. Public Health in Practice. 202111; 2:100107.

Nagai M, Ohira T, Maeda M, Yasumura S, Miura I, Itagaki S, Harigane M, Takase K, Yabe H, Sakai A, Kamiya K. The association between body mass index and recovery from post-traumatic stress disorder after the nuclear accident in Fukushima. Scientific Reports. 202103; 11(1):5330.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. Scientific Reports. 202103; 11(1):7221.

Go H, Ohto H, Nollet KE, Sato K, Ichikawa H, Kume Y, Kanai Y, Maeda H, Kashiwabara N, Ogasawara K, Sato M, Hashimoto K, Hosoya M. Author Correction: Red cell distribution width as a predictor for bronchopulmonary dysplasia in premature infants. Scientific Reports. 202107; 11(1):14218.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwade M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. Thyroid. 202111; 31(11):1683-1692.

Tamai Y, Ohto H, Yasuda H, Takeshita A, Fujii N, Ogo H, Yazawa Y, Hato T, Mitani K, Suzuki K, Yokohama A, Kato Y, Abe M, Kumagawa M, Ueda Y, Nollet KE, Cooling L, Kitazawa J; Pediatric RBC Alloimmunization Consortium. Allo-anti-M: Detection peaks around 2 years of age, but may be attenuated by red blood cell transfusion. Transfusion. 202109; 61(9):2718-2726.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 小児若年者甲状腺癌の遺伝子変異. 甲状腺外科学会雑誌. 202109; 38(3):175-179.

鈴木眞一, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣. 甲状腺癌の手術手技（特に、反回神経周囲の操作、副甲状腺やペリー靱帯周囲の操作）甲状腺癌の手術手技、特に、反回神経や Berry 靱帯周囲の操作、副甲状腺の温存について. 日本内分泌外科学会雑誌. 202106; 38(2):87-91.

高橋司, 井山慶大, 村上道夫, 長谷川有史. 救急救命士を目指す学生の原子力災害に対応する意識に影響を与え

る因子とは. 日本臨床救急医学会雑誌. 202106; 24(3):320-330.

米城陽, 長尾匡則, 中野裕紀, 大平哲也, 村上道夫. 幸福度・抑うつ度と音楽嗜好の関連に関する横断研究. 福島医学雑誌. 202104; 71(1):1-9.

二階堂雄平, 江口依里, 中野裕紀, 大平哲也, 渡部洋一. 東日本大震災による福島市への避難者における疾患構成の分析 福島赤十字病院・電子カルテデータからの考察. 福島県保健衛生雑誌. 202103; 36:8-14.

保田浩志, 吉田由香里, 王冰, 永田健斗, 長谷川有史, 高橋昭久. 確定的影響の生物学的効果比 (RBE) に関する最近の知見. 放射線生物研究. 202106; 56(2):164-207.

〔総説等〕

Sakamoto A, Hirokawa M, Ito M, Naganuma H, Suzuki O, Hashimoto Y, Suzuki S, Shimura H. Introduction of histological classification and cytology reporting format of the Japanese General Rules for the Description of Thyroid Cancer with a special focus on the differences of the WHO Histological Classification and The Bethesda System of Thyroid Cytology. Endocrine Journal. 202106; 68(6):621-630.

長谷川有史. 【災害医療 それぞれの 10 年を振り返って】放射線災害医療の 10 年 福島第一原子力発電所事故とその後の安全管理、地域の健康、復興の 10 年. 救急医学. 202103; 45(3):274-281.

長谷川有史. 福島リポート (第 33 回) なぜ、福島事故後 10 年を振り返るのか. 日本医事新報. 202103; (5055):54-57.

長谷川有史. 【治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療】放射線被ばく. 日本医事新報. 202105; (5062):84-86.

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」のこれまでの評価と課題. 日本甲状腺学会雑誌. 202110; 12(2):133-138.

志村浩己. 福島県県民健康調査甲状腺検査の 10 年とこれから. 福島県医師会報. 202109; 83(9):810-812.

井山慶大, 長谷川有史. 【透析医療における災害対策】放射線災害 福島第一原子力発電所事故の教訓を活かす. 臨床透析. 202108; 37(8):765-771.

〔その他〕

長谷川有史. 日本救急医学会の取組と展望. 日本原子力学会誌. 202103; 63(3):218-219.

研究発表等

〔研究発表〕

Ohba T, Goto A, Nakano H, Nollet KE, Murakami M, Koyama Y, Honda K, and Tanigawa K. Linking returnees with health professionals after the Fukushima accident: Adaptation of recommendations from the SHMIASEN-SINGS project. 5th International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science; 20210208; Web.

Nollet KE. From Review to Readership: Getting Attention and Action. Academic Writing Course; 20210320; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Ohira T, Kumagai A. Needs Survey for Health Support Application Development Project for Residents Returning from Evacuation after the Fukushima Nuclear Accident. 31st Medical Informatics Europe Conference (#MIE2021); 20210529-31; Web. Studies in Health Technology and Informatics. 281:1091-1092.

Iyama K, Hasegawa A. DISASTER MEDICINE SIMULATION SOFTWARE: PROPOSING A NEW TRAINING METHOD IN VIRTUAL SPACE. International Conference on Emergency Medicine 2021; 20210608-12; Web.

Iyama K, Yamashita K, Kakamu T, Shimada J, Tasaki O, Hasegawa A. A Survey of Disaster Medical Assistance Team's intention to engage among CBRNE disasters. International Conference on Emergency Medicine 2021; 20210608-12; Web.

Nakano H, Goto A, Ohba T, Yoshida K, Nollet KE, Murakami M, Ohira T, Kumagai A, Tanigawa K. Development of an application for sustainable support of returning residents displaced by the Fukushima nuclear accident. MedInfo 2021; 20211002-04; Web.

Hasegawa A. Educational challenges for sharing experiences, Technical Meeting on Radiation in Medicine Communications and Methodologies - International Perspectives and the Role of Science, Technology and Society in Low-Dose Radiation Settings. IAEA technical meeting; 20211110; Web.

Nollet KE. CORE Concepts: CO-authorship and RE-writing. Academic Writing Course; 20211226; Web.

鈴木博也, 松本佳子, 岩館学, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 神経線維腫症1型(NF1)に合併した褐色細胞腫の1例. 第34回東北副腎研究会; 20210116; Web.

大葉隆, 後藤あや, 中野裕紀, ケネスノレット, 村上道夫, 児山洋平, 本田香織, 吉田和樹, 弓屋結, 熊谷敦史, 大平哲也, 谷川攻一. 福島の帰還住民へのデジタルツールを活用した支援システムの開発. 第91回日本衛生学会学術総会; 20210306-08; Web.

二見徹, 岩館学, 松本佳子, 中野恵一, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 甲状腺未分化癌との鑑別に超音波所見が有用であった甲状腺びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1例. 日本超音波医学会第61回東北地方会学術集会; 20210307; Web.

松本佳子, 二見徹, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣, 鈴木眞一. 甲状腺ワルチン腫瘍様乳頭癌の1例. 日本超音波医学会第61回東北地方会学術集会; 20210307; Web.

岩館学, 松本佳子, 長谷川翔, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 鈴木眞一. 網羅的遺伝子発現解析を用いた甲状腺濾胞癌の鑑別. 第 32 回東北甲状腺談話会; 20210313; Web.

長谷川有史. 東日本大震災から 10 年をふりかえって (福島と原子力発電所事故). 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

長谷川有史, 井山慶大. Disaster simulator “KAWAUCHI Legends” の開発—COVID-19 パンデミックにおける災害対応実習. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 塩功貴, 水沼廣, 中野恵一, 鈴木眞一. 甲状腺濾胞癌と甲状腺両性結節を区別する遺伝子発現解析の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

塩功貴, 岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科における甲状腺濾胞性腫瘍の手術術式の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

鈴木聡, 塩功貴, 松本佳子, 中野恵一, 岩館学, 中村泉, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科で副腎手術を施行した 252 症例の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当科における副甲状腺機能亢進症の術式の変遷. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; Web(千葉).

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 水沼廣, 根本雄飛, 鈴木眞一. 小児甲状腺濾胞癌術後に下垂体転移を来した 1 例. 第 28 回特定非営利活動法人東北内分泌研究会／第 40 回日本内分泌学会東北地方会; 20210410; Web.

岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 中野恵一, 塩功貴, 鈴木眞一. 古典的乳頭がんの超音波診断. 第 46 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20210515-16; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 超音波ドプラ法やエラストグラフィが悪性診断に有用であった甲状腺腫瘍の 1 例. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; Web(神戸).

塩功貴, 松本佳子, 大河内千代, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一. 散発性甲状腺髄様癌の術前超音波像 3 例. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; Web(神戸).

長嶺夏希, 鈴木聡, 高橋智里, 坂上敏江, 佐藤綾子, 黒須由美子, 岩館学, 鈴木悟, 鈴木眞一, 志村浩己. 小児および若年者における甲状腺内異所性胸腺の検討: 福島県県民健康調査. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; Web(神戸).

松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 中野恵一, 岩館学, 鈴木眞一. 術前に悪性との鑑別が困難であった甲状腺硝子化索状腫瘍の 2 例. 日本超音波医学会第 94 回学術集会; 20210521-23; Web(神戸).

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺 FNAC, CNB に関する Up-to-date 甲状腺穿刺細胞を用いた遺伝子診断. 第 33 回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04;

軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S61.

松本佳子, 塩功貴, 中野恵一, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一. 女性外科医の活躍を持続可能にするために 甲状腺・内分泌外科分野における女性医師の関わり. 第 33 回日本内分泌外科学会総会; 20210603-04; 軽井沢. 日本内分泌外科学会雑誌. 38(Suppl.1):S76.

江口依里, 舟久保徳美, 中野裕紀, 坪井聡, 絹田皆子, 今野弘規, 磯博康, 大平哲也. 東日本大震災前後のメタボリックシンドロームの長期動向に関する避難の影響 NDB 特定健診データを用いた検討. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210605-06; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):165.

林史和, 大平哲也, 中野裕紀, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災後の高 LDL コレステロール血症の発症と心理社会的要因との関連: 福島県県民健康調査. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210605-06; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):171.

中野裕紀, 後藤あや, 大葉隆, 吉田和樹, ケネスノレット, 村上道夫, 大平哲也, 熊谷敦史, 谷川攻一. 福島県における帰還住民のための健康支援アプリケーション開発. 第 57 回日本循環器病予防学会学術集会; 20210605-06; Web(名古屋). 日本循環器病予防学会誌. 56(2):180.

長谷川有史, 高橋司, 井山慶大. 原子力災害対応者の業務姿勢に影響を与える因子の検討ー救急救命士養成校の学生に焦点を当てて. 第 5 回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20210605-06; Web.

風間順一郎, 風間咲美, 田中健一, 林史和, 大平哲也, 坂井晃, 前田正治, 島袋充生. 不安・うつ状態は新規慢性腎臓病発症と有意に関連する. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):425.

水木理恵, 前田正治, 堀越直子, 針金まゆみ, 板垣俊太郎, 中野裕紀, 大平哲也, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 原子力災害後の福島における乳幼児期の親の育児不安とその後の子どものメンタルヘルスの関連: 福島県県民健康調査. 第 20 回日本トラウマティック・ストレス学会; 20210717-18; Web(郡山).

中野裕紀, 後藤あや. 福島県立医科大学における医療情報学の視点からの ICT リテラシー教育の取り組み. 第 22 回日本医療情報学会看護学術大会; 20210730-31; 盛岡.

長谷川有史. 原子力災害 初動活動の実際、交流集会 2 東日本大震災・原子力災害からの教訓を語り継ぐー福島での 10 年を振り返って、私たちがこれからできることー. 日本災害看護学会第 23 回年次大会; 20210904; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 志村浩己, 鈴木眞一. 古典型乳頭癌の超音波診断. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web. 乳腺甲状腺超音波医学. 10(2):79.

松本佳子, 塩功貴, 中野恵一, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一 (座長). 小児に特徴的な乳頭癌亜型の超音波所見. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

鈴木眞一, 塩功貴, 松本佳子, 鈴木聡, 岩館学, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木悟, 志村浩己. 小児甲状腺癌のリンパ節転移の超音波所見. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

高橋智里, 西山翔子, 黒須由美子, 長嶺夏希, 坂上敏江, 佐藤綾子, 山谷幸恵, 岩館学, 鈴木聡, 鈴木眞一, 志村浩己. 甲状腺超音波検査におけるファントム画像の経時変化に対する影響因子. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

松本佳子, 塩功貴, 中野恵一, 鈴木聡, 岩館学, 鈴木眞一. 濾胞性腫瘍. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会; 20211009-10; Web.

岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 山谷幸恵, 金子裕眠, 志村浩己, 鈴木眞一. 甲状腺結節に対する血流評価とエラストグラフィを組み合わせた鑑別診断. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

北堀有希, 岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 鈴木眞一. 局所・頸部リンパ節再発に対して複数回の手術で対処し長期予後を得ている甲状腺乳頭癌の一例. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

森友輔, 岩館学, 松本佳子, 塩功貴, 鈴木聡, 水沼廣, 中野恵一, 鈴木眞一. 甲状腺扁平上皮癌に対して手術および放射線外照射にて局所制御した 1 例. 第 54 回日本内分泌外科学会学術大会; 20211028-29; Web.

瀬藤乃理子, 吉田房江, 行形裕子, 鈴木悟, 岩館学, 横谷進, 志村浩己. 福島県県民健康調査における甲状腺検査二次検査の受診者とその家族に対するアンケート調査 第 2 報: 家族の不安の推移と関連要因. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

松本佳子, 塩功貴, 岩館学, 鈴木聡, 中野恵一, 水沼廣, 鈴木眞一. 当院におけるレンパチニブ使用症例の検討. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

中野裕紀, 星佳芳, 小林慎治, 水島洋. 安心・安全サーバの構築—確からしい医療・健康情報検索サイトの構築と評価. 第 41 回医療情報学連合大会 (第 22 回日本医療情報学会学術大会); 20211118-21; 名古屋/Web.

水木理恵, 藤原武男. 複数の種類の虐待体験、オキシトシンが及ぼすトラウマ症状への影響. 日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会; 20211204-05; 横浜/Web.

岡崎可奈子, 平井裕之, 島袋充生, 大平哲也, 中野裕紀, 林史和, 長尾匡則, 坂井晃, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 神谷研二. 東日本大震災直後の血糖コントロール状況と精神的健康との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

孫智超, 今野弘規, 江口依里, 林史和, 大平哲也, 安村誠司, 坂井晃, 大戸斉, 神谷研二, 磯博康. 東日本大震災後福島県住民の避難状況の変化と生活習慣病との関連: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

長尾匡則, 大平哲也, 岡崎可奈子, 林史和, 中野裕紀, 坂井晃, 島袋充生, 前田正治, 矢部博興, 安村誠司, 大戸斉, 神谷研二. 東日本大震災後の震災関連等要因と生活習慣病発症の俯瞰的検討: 福島県県民健康調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

中野裕紀, 林史和, 吉田知克, 梅澤光政, 小橋元, 大平哲也. 福島県脳卒中発症登録に関する報告: 平成 30 年

廻り調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

西間木ます子, 中野裕紀, 林史和, 舟久保徳美, 江口依里, 長尾匡則, 岡崎可奈子, 大平哲也. 青年期の運動経験・その後の運動習慣の継続とフレイル予防との関連の研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

舟久保徳美, 岡崎可奈子, 江口依里, 西間木ます子, 林史和, 中野裕紀, 長尾匡則, 大平哲也. 福島県避難区域住民におけるオーラルフレイルと社会活動や幸福度との関連. 第 80 回日本公衆衛生学会総会; 20211221-23; 東京/Web.

〔シンポジウム〕

Shimura H, Kamiya K. Current progress and future challenges of Thyroid Ultrasound Examination Program in Fukushima: The Fukushima Health Management Survey. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association; 20210121-22; Web.

Hasegawa A. Crisis communications after the Fukushima nuclear disaster. 5th QST International Symposium; 20210921-22; Web.

長谷川有史. ご恩返しー支援と教訓を踏まえて. 被爆 75 年・HICARE 設立 30 年・福島事故 10 年国際シンポジウム; 20210211; Web.

志村浩己. セッション 2 「甲状腺検査の現況と展望」 2-1 甲状腺検査の現状と検査 3 回目までの結果. 2021 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; 福島/Web.

前田正治, 水木理恵. 福島原発事故が被災児童に与えた影響を疫学的エビデンスから考える. 日本教育心理学会第 63 回総会; 20210821-30; Web.

志村浩己. 福島県県民健康調査甲陽線検査における超音波ガイド下穿刺吸引細胞診の実績. 第 47 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20211009-10; Web.

水木理恵. Manchester Child Attachment Story Task によるアタッチメントの評価. 日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会; 20211204-05; 横浜/Web.

〔特別講演〕

志村浩己. 福島県県民健康調査「甲状腺検査」の現状. 第 94 回日本内分泌学会学術総会; 20210422-24; Web.

長谷川有史. 福島の復興と人材育成: 何ができて何ができなかったのか. 第 49 回日本小児神経外科学会; 20210604-05; 福島.

〔招待講演〕

Hasegawa A. Commemorating the 10 year mark since Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident -

lessons learnt. 16th Coordination meeting of the WHO REMPAN; 20210322; Web.

〔その他〕

Hasegawa A (Chair) . Radiation Monitoring with Patients and in Medicine. IAEA technical meeting; 20211110-11; Web.

長谷川有史（座長）. トライアングルプロジェクト. 第2回放射線災害・医科学研究拠点ワークショップ; 20210209; Web.

長谷川有史（座長）. 東日本大震災から10年 福島県 多機関・多職種. 第26回日本災害医学会総会・学術集会; 20210315-17; Web.

長谷川有史（座長）. 放射線放射線災害の社会影響と放射線防護. 第5回放射線災害・医科学研究拠点カンファレンス; 20210605-06; Web.

長谷川有史（大会会長）. 第9回日本放射線事故・災害学会; 20210904; Web.

長谷川有史（座長）. シンポジウム 福島第一原発における α 核種内部汚染のリスクと対策. 第9回日本放射線事故・災害学会; 20210904; Web.

その他の業績・作品等

Nollet KE. 放射線医学県民健康管理センター「県民健康調査」検討委員会 県民健康調査実施状況・結果 英訳公開. 20130401-継続中. Available from: <https://fhms.jp/en/fhms/>

Nollet KE. 先生のための「クリエイティブ・ヘルス」(YouTube, DVD) . 20210413.

健康増進センター

論 文

〔原 著〕

Fukasawa M, Kawakami N, Nakayama C, Yasumura S. Relationship Between Use of Media and Radiation Anxiety Among the Residents of Fukushima 5.5 Years After the Nuclear Power Plant Accident. Disaster Medicine and Public Health Preparedness. 202102; 15(1):42-49.

Mammoto T, Fujie K, Taguchi N, Ma E, Shimizu T, Hashimoto K. Short-Term Effects of Early Postoperative Celecoxib Administration for Pain, Sleep Quality, and Range of Motion After Total Knee Arthroplasty: A Randomized Controlled Trial. *Journal of Arthroplasty*. 202102; 36(2):526-531.

Ma E, Ohira T, Yasumura S, Nakano H, Eguchi E, Miyazaki M, Hosoya M, Sakai A, Takahashi A, Ohira H, Kazama J, Shimabukuro M, Yabe H, Maeda M, Ohto H, Kamiya K. Dietary Patterns and Progression of Impaired Kidney Function in Japanese Adults: A Longitudinal Analysis for the Fukushima Health Management Survey, 2011–2015. *Nutrients*. 202101; 13(1):168.

Orui M, Fukasawa M, Horikoshi N, Suzuki Y, Kawakami N. The ongoing activities of livelihood support counselors following nuclear disaster under the COVID-19 restrictions: A preliminary survey. *Public Health in Practice*. 202111; 2:100107.

Takano A, Fukasawa M, Watanabe K, Nishi D, Kawakami N. Adolescent Work Values and Drug Use in Adulthood: A Longitudinal Prospective Cohort Study. *Substance Use & Misuse*. 2021; 56(10):1483-1492.

甲状腺・内分泌センター

論 文

〔原 著〕

Horiguchi K, Yoshida Y, Iwaku K, Emoto N, Kasahara T, Sato J, Shimura H, Shindo H, Suzuki S, Nagano H, Furuya F, Makita N, Matsumoto F, Manaka K, Mitsutake N, Miyakawa M, Yokoya S, Sugitani I. Position paper from the Japan Thyroid Association task force on the management of low-risk papillary thyroid microcarcinoma(T1aN0M0) in adults. *Endocrine Journal*. 202107; 68(7):763-780.

Hanew K, Tanaka T, Horikawa R, Hasegawa T, Yokoya S. The current status of 492 adult women with Turner syndrome: a questionnaire survey by the Foundation for Growth Science. *Endocrine Journal*. 202109; 68(9):1081-1089.

Setou N, Suzuki S, Matsuzuka T, Iwadata M, Maeda M, Namekata Y, Yoshida F, Oshima K, Ohira T, Yasumura S, Ohto H, Kamiya K, Yokoya S, Shimura H. Psychosocial support for the examinees and their families during the secondary confirmatory examination: Analyses of support records at first visit. *Fukushima Journal of Medical Science*. 20210827; 67(2):53.

Ohira T, Shimura H, Yasumura S, Yokoya S, Ohto H, Kamiya K. Response to the Letter to the Editor: 'Absorbed radiation doses in the thyroid as estimated by UNSCEAR and subsequent risk of childhood thyroid cancer following the Great East Japan Earthquake', by Ohira et al. *Journal of Radiation Research*. 202105;

62(3):425-426.

Tanaka T, Kato N, Yokoya S, Ono A, Isojima T, Yokomichi H, Yamagata Z, Tanaka S, Matsubara H, Ishikuro M, Kikuya M, Chida S, Hosoya M, Kuriyama S, Kure S. Changes in height standard deviation scores during early life are affected by nutrition. *Pediatrics International*. 202106; 63(6):710-715.

Shimura H, Matsuzuka T, Suzuki S, Iwadate M, Suzuki S, Yokoya S, Ohira T, Yasumura S, Suzuki S, Ohto H, Kamiya K. Fine Needle Aspiration Cytology Implementation and Malignancy Rates in Children and Adolescents Based on Japanese Guidelines: The Fukushima Health Management Survey. *Thyroid*. 202111; 31(11):1683-1692.

横谷進. 【実践—小児の輸液】合併症とその対策:輸液に伴う合併症 医原性低 Na 血症. *小児内科*. 202104; 53(4):663-667.

横谷進. 【成人移行支援の二面性】成人移行支援に関するこれまでの取り組み. *小児内科*. 202108; 53(8):1187-1191.

横谷進. ヌーナン症候群. *糖尿病・内分泌代謝科*. 202108; 53(2):214-221.

中林洋介, 遠藤明史, 儘田光和, 石崎優子, 稲毛英介, 大野拓郎, 阪下和美, 武田充人, 戸谷剛, 奈倉道明, 水野美穂子, 村上潤, 森伸生, 柳町昌克, 大山昇一, 奥村秀定, 楠田聡, 高木英行, 横谷進, 楠原浩一, 窪田満, 森岡一朗, 日本小児科学会社会保険委員会. 新型コロナウイルス感染症に伴う小児医療機関の保険診療上の課題に関する調査 一次調査報告. *日本小児科学会雑誌*. 202109; 125(9):1376-1383.

岸健太郎, 田中敏章, 曾根田瞬, 伊藤善也, 加藤則子, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 依藤亨, 篠田謙一, 高井省三. 小児成長研究データに基づく日本人女子の成長 (第 1 編) 生物学的定義に近似した成長学的な思春期開始の基準値の作成. *日本成長学会雑誌*. 202111; 27(2):51-58.

加藤則子, 田中敏章, 曾根田瞬, 岸健太郎, 伊藤善也, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 依藤亨, 篠田謙一, 高井省三. 肥満小児が一般児より高い身長を呈しやすい年齢に関する検討. *日本成長学会雑誌*. 202111; 27(2):87.

岸健太郎, 田中敏章, 曾根田瞬, 伊藤善也, 加藤則子, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 依藤亨, 篠田謙一, 高井省三. 小児成長研究データに基づく日本人女子の成長 (第 2 編) 成長学的な基準値を用いた思春期の縦断的な成長解析. *日本成長学会雑誌*. 202111; 27(2):97.

田中敏章, 曾根田瞬, 岸健太郎, 伊藤善也, 加藤則子, 佐藤亨至, 立花克彦, 横谷進, 長谷川奉延, 村田光範, 磯島豪, 吉井啓介, 井ノ口美香子, 依藤亨, 篠田謙一, 高井省三. 小児成長研究に基づく日本人女子の成長 (第 3 編) 思春期開始の時期が暦年齢、骨年齢に対する成長率に与える影響. *日本成長学会雑誌*. 202111; 27(2):98.

研究発表等

〔シンポジウム〕

横谷進（座長）．県民健康調査のいま「甲状腺検査の現況と展望」．2021 年福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム; 20210213-14; 福島/Web.

〔特別講演〕

横谷進．小児脳腫瘍経験者の長期フォローアップと健康管理 ～髄芽腫を中心に～．髄芽腫の会 LINE グループ特別企画; 20211024; Web.

先端臨床研究センター

論 文

〔原 著〕

Yamasaki K, Zhao S, Nishimura M, Shimizu Y, Tamaki N, Takeda H, Kuge Y. Effects of feeding conditions on the myocardial and hepatic accumulation of radioiodine-labeled BMIPP in mice. *Annals of Nuclear Medicine*. 202101; 35(1):59-64.

Sakashita T, Watanabe S, Hanaoka H, Ohshima Y, Ikoma Y, Ukon N, Sasaki I, Higashi T, Higuchi T, Tsushima Y, Ishioka NS. Absorbed dose simulation of meta-²¹¹At-astato-benzylguanidine using pharmacokinetics of ¹³¹I-MIBG and a novel dose conversion method, RAP. *Annals of Nuclear Medicine*. 202101; 35(1):121-131.

Ito H, Kubo H, Takahashi K, Nishijima KI, Ukon N, Nemoto A, Sugawara S, Yamakuni R, Ibaraki M, Ishii S. Integrated PET/MRI scanner with oxygen-15 labeled gases for quantification of cerebral blood flow, cerebral blood volume, cerebral oxygen extraction fraction and cerebral metabolic rate of oxygen. *Annals of Nuclear Medicine*. 202104; 35(4):421-428.

Sakaguchi M, Aikawa M, Ukon N, Komori Y, Haba H, Otuka N, Takács S. Activation cross section measurement of alpha-particle induced reactions on natural neodymium. *Applied Radiation and Isotopes*. 202110; 176:109826.

Yamaguchi S, Hirata K, Okamoto M, Shimosegawa E, Hatazawa J, Hirayama J, Kagawa N, Kishima H, Oriuchi N, Fujii M, Kobayashi K, Kobayashi H, Terasaka S, Nishijima K, Kuge Y, Ito YM, Nishihara H, Tamaki N, Shiga T. Determination of brain tumor recurrence using ¹¹C-methionine positron emission tomography after radiotherapy. *Cancer Science*. 202110; 112(10):4246-4256.

Sakashita T, Matsumoto S, Watanabe S, Hanaoka H, Ohshima Y, Ikoma Y, Ukon N, Sasaki I, Higashi T, Higuchi T, Tsushima Y, Ishioka NS. Nonclinical study and applicability of the absorbed dose conversion method with a single biodistribution measurement for targeted alpha-nuclide therapy. *EJNMMI Physics*. 202112; 8(1):80.

Zhao J, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Tan C, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Nan G, Zhao S, Ito H, Shimomura K. Evaluation of Effect of Ninjin'yoeito on Regional Brain Glucose Metabolism by ^{18}F -FDG Autoradiography With Insulin Loading in Aged Mice. *Frontiers in Nutrition*. 202105; 8:657663.

Tan C, Wang Z, Zheng M, Zhao S, Shichinohe H, Houkin K. Responses of immune organs following cerebral ischemic stroke. *Journal of Nippon Medical School*. 202106; 88(3):228-237.

Nishinaka I, Washiyama K, Hashimoto K. Adsorption temperature of volatile astatine species formed via dry distillation in a glass tube. *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*. 202109; 329(3):1459-1465.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Harada T, Yokouchi H, Nishihara H, Nakamura K, Inano A, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) as a possible therapeutic target and its application to radioimmunotherapy using ^{125}I -labelled anti-DLK1 antibody in lung cancer models (HOT1801 and FIGHT004). *Lung Cancer*. 202103; 153(3):134-142.

Ogawa K, Echigo H, Mishiro K, Hirata S, Washiyama K, Kitamura Y, Takahashi K, Shiba K, Kinuya S. ^{68}Ga - and ^{211}At -Labeled RGD Peptides for Radiotheranostics with Multiradionuclides. *Molecular Pharmaceutics*. 202109; 18(9):3553-3562.

Takács S, Ditrói F, Szűcs Z, Brezovcsik K, Haba H, Komori Y, Aikawa M, Saito M, Murata T, Sakaguchi M, Ukon N. Cross section measurement of alpha-particle-induced reactions on ^{nat}Sb . *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*. 202110; 505:24-33.

Kubo H, Takahashi K, Shimoyama S, Zhao S, Ukon N, Ito H. Simulation of the distribution of astatine-211 solution dispersion in a lab room. *Nuclear Medicine Communications*. 202109; 42(9):1052-1059.

Yoshimoto M, Yoshii Y, Matsumoto H, Shinada M, Takahashi M, Igarashi C, Hihara F, Tachibana T, Doi A, Higashi T, Fujii H, Washiyama K. Evaluation of Aminopolycarboxylate Chelators for Whole-Body Clearance of Free ^{225}Ac : A Feasibility Study to Reduce Unexpected Radiation Exposure during Targeted Alpha Therapy. *Pharmaceutics*. 202110; 13(10):1706.

Kubo H, Nemoto A, Ukon N, Ito H. Evaluation of a model-based attenuation correction method on whole-body ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging. *Radiological Physics and Technology*. 202103; 14(1):70-81.

Horita S, Ono T, Gonzalez-Resines S, Ono Y, Yamachi M, Zhao S, Domene C, Maejima Y, Shimomura K. Structure based analysis of KATP channel with a DEND syndrome mutation in murine skeletal muscle.

Scientific Reports. 202103; 11(1):6668.

Zhao J, Tan C, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Ito H, Nan G, Zhao S, Shimomura K. Evaluation of organ glucose metabolism by ^{18}F -FDG accumulation with insulin loading in aged mice compared with young normal mice. Scientific Reports. 202104; 11(1):7421.

〔総説等〕

Radchenko V, Morgenstern A, Jalilian AR, Ramogida CF, Cutler C, Duchemin C, Hoeher C, Haddad F, Bruchertseifer F, Gausemel H, Yang H, Osso JA, Washiyama K, Czerwinski K, Leufgen K, Pruszyński M, Valzdorf O, Causey P, Schaffer P, Perron R, Maxim S, Wilbur DS, Stora T, Li Y. Production and supply of alpha particles emitting radionuclides for Targeted Alpha Therapy (TAT). Journal of Nuclear Medicine. 202111; 62(11):1495-1503.

〔その他〕

織内昇. 131I による甲状腺癌の治療および 223Ra による去勢抵抗性前立腺癌の治療 適応と注意点. JCR ニュース. 202105; 239:21-23.

著 書・訳 書

鷲山幸信. Column がん治療に対する放射線とアイソトープ (RI) の新しい利用法. In: 秋光信佳, 溝口勝 編. 福島復興知学講義. 東京: 東京大学出版会; 202105. p.18-21.

研究発表等

〔研究発表〕

Zhao S, Washino k, Aoki M, Ukon N, Shimoyama S, Nishijima K, Washiyama K, Ito N, Yoshioka N, Tamura N, Takahashi K, Higashi T, Ito H. Evaluation of acute radiotoxicity profile of alpha-particle-emitting meta- ^{211}At -astato-benzylguanidine (^{211}At -MABG) in normal BALB/c mice. SNMMI2021 Annual Meeting; 20210611-15; Web. Journal of Nuclear Medicine. 62(Supplement 1):1217.

Zhao J, Imai R, Ukon N, Shimoyama S, Tan C, Maejima Y, Omiya Y, Takahashi K, Nan G, Zhao S, Ito H, Shimomura K. Evaluation of effect of Ninjin'yoeito on regional brain glucose metabolism by ^{18}F -FDG autoradiography with insulin loading in superaged mice. SNMMI2021 Annual Meeting; 20210611-15; Web. Journal of Nuclear Medicine. 62(Supplement 1):1611.

西嶋剣一, 栗生木美穂, 城寶大輝, 鷲山幸信, 佐々木茂範, 望月一優, 塩入大護, 高橋和弘. [^{211}At]MABG 注射液の品質試験: LCMS を用いた確認試験法の開発. 日本薬学会第 141 年会; 20210326-29; Web.

右近直之, 鷲山幸信, 趙松吉, 織内昇, 西嶋剣一, 城寶大輝, 下山彩希, 高橋和弘, 伊藤浩. 新規イメージン

グ技術を用いた α 線放出核種の組織内局所線量評価の基礎検討. 第58回アイソトープ・放射線研究発表会; 20210707-09; Web. 要旨集. 29009-10-01.

坂下哲哉, 対馬義人, 石岡典子, 渡辺茂樹, 花岡宏史, 大島康宏, 生駒洋子, 右近直之, 佐々木一郎, 東達也, 樋口徹也. 患者に優しい核医学治療の線量評価法としてのRAP法の基礎検討. 第58回アイソトープ・放射線研究発表会; 20210707-09; Web. 要旨集. 3402-03-01.

右近直之. PETと震災. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

右近直之, 趙松吉, 鷺山幸信, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺野弘明, 志賀哲, 織内昇, 高橋和弘, 東達也, 伊藤浩. 正常マウスにおける211At-MABGの臓器毒性と線量評価の検討. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

下山彩希, 栗生木美穂, 趙景敏, 右近直之, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之, 趙松吉. ヒト急性白血病モデルマウスにおける211At-CD33の体内動態. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

趙松吉, 栗生木美穂, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 志賀哲, 織内昇, 高橋和弘, 伊藤浩. 正常マウスにおけるフリー211Atの臓器毒性評価. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

趙松吉, 栗生木美穂, 右近直之, 西嶋剣一, 鷺野弘明, 志賀哲, 織内昇, 高橋和弘, 東達也, 伊藤浩. 褐色細胞腫モデルにおける211At-MABGの反復投与による腫瘍成長の抑制効果の評価. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

趙松吉, 栗生木美穂, 下山彩希, 趙景敏, 右近直之, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之. ヒト急性白血病モデルマウスにおける211At-CD82の体内動態. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

趙松吉, 栗生木美穂, 趙景敏, 右近直之, 下山彩希, 西嶋剣一, 鷺山幸信, 高橋和弘, 伊藤浩, 織内昇, 池添隆之. 急性骨髄性白血病における211At標識抗CD82抗体の治療効果. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S209.

右近直之, 趙松吉, 鷺山幸信, 西嶋剣一, 志賀哲, 織内昇, 下山彩希, 城寶大輝, 高橋和弘, 伊藤浩. 悪性褐色細胞腫PC12移植マウスにおける123I-MIBGと211At-MABGの体内動態及び線量評価. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S210.

鷺野弘明, 高橋和弘, 小早川雅男, 趙松吉, 吉岡菜穂, 下山彩希, 右近直之, 伊藤浩, 東達也. 第1相試験に向けた211At-MABGの非臨床開発戦略. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学. 58(Suppl):S217.

趙景敏, 今井亮太, 右近直之, 下山彩希, 前島裕子, 大宮雄司, 高橋和弘, 南光賢, 趙松吉, 下村健寿, 伊藤浩. 高齢マウスの局所脳糖代謝に対する人蔘栄養湯の効果: インシュリン負荷による18F-FDGオートラジオグラフィの画像手法を用いた評価. 第61回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web. 核医学.

58(Suppl):S223.

織内昇. 分化型甲状腺癌に対する I-131 治療の適切な実施のポイント. 第 61 回日本核医学会学術総会; 20211104-06; 名古屋/Web.

岩館学, 塩功貴, 鈴木聡, 松本佳子, 中野恵一, 水沼廣, 菅原茂耕, 志賀哲, 織内昇, 鈴木眞一. 当科における甲状腺分化癌に対する放射性ヨウ素内用療法. 第 64 回日本甲状腺学会学術集会; 20211118-20; 東京/Web.

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

論 文

〔原 著〕

Baba T, Tanimura S, Yamaguchi A, Horikawa K, Yokozeki M, Hachiya S, Iemura SI, Natsume T, Matsuda N, Takeda K. Cleaved PGAM5 dephosphorylates nuclear serine/arginine-rich proteins during mitophagy. *Biochimica et Biophysica Acta. Molecular Cell Research*. 202106; 1868(7):119045.

Ishikawa K, Tamamura S, Semba K, Watanabe S. Establishment of reporter cells that respond to glucocorticoids by a transposon-mediated promoter-trapping system. *European Journal of Pharmaceutical Sciences*. 202107; 162:105819.

Aoyama-Ishiwatari S, Okazaki T, Iemura SI, Natsume T, Okada Y, Gotoh Y. NUDT21 Links Mitochondrial IPS-1 to RLR-Containing Stress Granules and Activates Host Antiviral Defense. *Journal of Immunology*. 202101; 206(1):154-163.

Watanabe T, Nanamiya H, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Tamura H, Ryufuku M, Tanaka D, Isogai T, Imai JI, Watanabe S, Fujimori K. Identification and clinical significance of somatic oncogenic mutations in epithelial ovarian cancer. *Journal of Ovarian Research*. 202110; 14(1):129.

Higa A, Takahashi N, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. High-Throughput In Vitro Assay using Patient-Derived Tumor Organoids. *Journal of Visualized Experiments*. 202106; (172):e62668.

Muto S, Ozaki Y, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Nanamiya H, Imai JI, Isogai T, Watanabe S, Suzuki H. Tumor β -catenin expression is associated with immune evasion in non-small cell lung cancer with high tumor mutation burden. *Oncology Letters*. 202103; 21(3):203.

Takahashi N, Higa A, Hiyama G, Tamura H, Hoshi H, Dobashi Y, Katahira K, Ishihara H, Takagi K, Goda K, Okabe N, Muto S, Suzuki H, Shimomura K, Watanabe S, Takagi M. Construction of *in vitro* patient-derived tumor models to evaluate anticancer agents and cancer immunotherapy. *Oncology Letters*. 202105; 21(5):406.

Miyakura H, Fukuda M, Enomoto H, Ishikawa K, Watanabe S, Semba K. A screening system for identifying interacting proteins using biomolecular fluorescence complementation and transposon gene trap. *PLOS ONE*. 202105; 16(5):e0251240.

Watanabe T, Nanamiya H, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Tanaka D, Isogai T, Imai JI, Watanabe S, Fujimori K. Clinical relevance of oncogenic driver mutations identified in endometrial carcinoma. *Translational Oncology*. 202103; 14(3):101010.

研究発表等

〔研究発表〕

土橋悠, 小澤和典, 片平清昭, 渡辺慎哉. 患者由来腫瘍移植 (Patient-derived tumor xenograft) マウスモデルの樹立とカタログ化. 第 68 回日本実験動物学会総会; 20210519-21; Web. 講演要旨集. 176.

土橋悠, 津谷優子, 中山隆幸, 市橋愛, 片平清昭. 実験動物施設飼育室におけるロボット掃除機の導入について. 第 55 回日本実験動物技術者協会総会; 20211014-16; Web. 講演要旨集. 92.

〔シンポジウム〕

高木基樹. がんオルガノイド (F-PDO) を用いた抗がん剤やがん免疫療法の評価システム. ゲノム創薬・創発フォーラム第 7 回シンポジウム; 20210628; Web.

高木基樹. An in vitro system for evaluating anticancer drugs using patient-derived tumor organoids. Olympus Organoid Conference 2021; 20211006; Web.

高木基樹. TR センター事業概要及び浜通りでの展開. 第一回浜通りバイオ産業推進フォーラム; 20211006; 南相馬.

〔招待講演〕

高木基樹. 新型コロナの抗体医薬品開発. 自民党北海道・東北ブロック青年組織役員研修会; 20211212; 福島.

高木基樹. 民間企業と共同開発したウイルス吸着マスクの取り組み. ふくしま医療関連ビジネス研究会; 20211213; 福島.

臨床研究イノベーションセンター

論文

〔原 著〕

Tsujimoto H, Kataoka Y, Sato Y, Banno M, Tsujino-Tsujimoto E, Sumi Y, Sada R, Fujiwara T, Ohtake Y, Kumasawa J, Imura H, Matsuda Y, So R, Kagawa T, Yoshioka T, Uneno Y, Nagano H, Akazawa M, Hozumi T, Tsujimoto Y. A model six-month workshop for developing systematic review protocols at teaching hospitals: action research and scholarly productivity. *BMC Medical Education*. 202102; 21(1):98.

Funada S, Luo Y, Yoshioka T, Setoh K, Tabara Y, Negoro H, Akamatsu S, Yoshimura K, Matsuda F, Furukawa TA, Efthimiou O, Ogawa O. Protocol for development and validation of a prediction model for 5-year risk of incident overactive bladder in the general population: the Nagahama study. *BMC Urology*. 202105; 21(1):78.

Aita T, Hamaguchi S, Nakagawa H, Takahashi S, Naganuma T, Shimotani Y, Nakamoto Y, Yaguchi K, Kataoka Y, Anan K. Blood Culture Procedures in a Busy Emergency Room: Balancing or Biasing Groups During Randomization. *Clinical Infectious Diseases*. 202106; 72(12):e1163-e1164.

Nakagawa H, Miyata Y. The authors respond to comments from Vermaak and Stahlbrand. *CMAJ*. 202107; 193(29):E1144.

Hara A, Matsuda M, Ishii A, Yoshioka T. Re: 'High-intensity statins are associated with improved clinical activity of PD-1 inhibitors in malignant pleural mesothelioma and advanced non-small cell lung cancer patients'. *European Journal of Cancer*. 202108; 153:265-266.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. *European Spine Journal*. 202110; 30(10):3019-3027.

Funada S, Yoshioka T, Luo Y. Re: Guohua Zeng, Chao Cai, Xianzhong Duan, et al. Mini Percutaneous Nephrolithotomy Is a Noninferior Modality to Standard Percutaneous Nephrolithotomy for the Management of 20-40mm Renal Calculi: A Multicenter Randomized Controlled Trial. *Eur Urol* 2021;79:114-21. *European Urology*. 202102; 79(2):e60-e61.

Funada S, Yoshioka T, Luo Y. Re: Marcus J. Drake, Amanda L. Lewis, Grace J. Young, et al. Diagnostic Assessment of Lower Urinary Tract Symptoms in Men Considering Prostate Surgery: A Noninferiority Randomised Controlled Trial of Urodynamics in 26 Hospitals. *Eur Urol* 2020;78:701-10. *European Urology*. 202103; 79(3):e87-e88.

Funada S, Yoshioka T, Luo Y. Re: Cosimo De Nunzio, Benjamin Brucker, Thomas Bschiepfer, et al. Beyond Antimuscarinics: A Review of Pharmacological and Interventional Options for Overactive Bladder Management in Men. *Eur Urol* 2021;79:492-504. *European Urology*. 202105; 79(5):e145-e146.

Nakagawa H, Miyata Y. An Underdiagnosed Cause of an Itchy Back. *Internal Medicine*. 202106; 60(12):1983.

Nakagawa H, Miyata Y. An Umbilical Mass in a 76-year-old Woman. *Internal Medicine*. 202109; 60(18):3059.

Naganuma T, Takahashi S, Takeshima T, Kurita N, Omae K, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Fukuma S, Hamaguchi S, Fukuhara S; Sukagawa Study Group. Cohort profile: A super-elderly population-based cohort in Japan (the Sukagawa Study). *International Journal of Epidemiology*. 202107; 50(3):727-727h.

Funada S, Yoshioka T, Luo Y. Evaluation of Efficacy and Safety of Nab-Paclitaxel vs Paclitaxel in Platinum-Refractory Metastatic Urothelial Cancer. *JAMA Oncology*. 202104; 7(4):633-634.

Okubo R, Yoshioka T, Nakaya T, Hanibuchi T, Okano H, Ikezawa S, Tsuno K, Murayama H, Tabuchi T. Urbanization level and neighborhood deprivation, not COVID-19 case numbers by residence area, are associated with severe psychological distress and new-onset suicidal ideation during the COVID-19 pandemic. *Journal of Affective Disorders*. 202105; 287:89-95.

Yoshioka T, Takayama A, Nakagawa H, Ozaka A, Takeshima T. Comment on: Serum albumin and risks of hospitalization and death: Findings from the Atherosclerosis Risk in Communities Study. *Journal of the American Geriatrics Society*. 202112; 69(12):3687-3688.

Omae K, Kurita N, Takeshima T, Naganuma T, Takahashi S, Yoshioka T, Ohnishi T, Ito F, Hamaguchi S, Fukuhara S. Significance of Overactive Bladder as a Predictor of Falls in Community Dwelling Older Adults: 1-Year Followup of the Sukagawa Study. *Journal of Urology*. 202101; 205(1):219-225.

Yoshioka T, Funada S, Luo Y. Systematic Review and Meta-Analysis Comparing Percutaneous Nephrolithotomy, Retrograde Intrarenal Surgery and Shock Wave Lithotripsy for Lower Pole Renal Stones Less Than 2 cm in Maximum Diameter. *Letter: Journal of Urology*. 202106; 205(6):1843-1844.

Yoshioka T, Aita T. Comparative Outcomes for Pelvic Organ Prolapse Surgery among Nursing Home Residents and Matched Community Dwelling Older Adults. *Letter: Journal of Urology*. 202107; 206(1):174-175.

Yoshioka T, Okubo R, Tabuchi T, Odani S, Shinozaki T, Tsugawa Y. Factors Associated with Serious Psychological Distress during the COVID-19 Pandemic in Japan. *medRxiv*. 20210301; doi: 10.1101/2021.02.27.21252458.

Yoshioka T, Kamitani T, Omae K, Shimizu S, Fukuhara S, Yamamoto Y. Urgency urinary incontinence, loss of independence, and increased mortality in older adults: A cohort study. *PIOS ONE*. 202101; 16(1):e0245724.

Yoshioka T, Tabuchi T. Combustible cigarettes, heated tobacco products, combined product use, and periodontal disease: A cross-sectional JASTIS study. *PLOS ONE*. 202103; 16(3):e0248989.

Matsuo Y, Shimizu T, Gon Y, Sato M, Matsushita S, Yoshioka T. Comment on: Beneficial effect of Mediterranean diet on disease activity and cardiovascular risk in systemic lupus erythematosus patients: a cross-sectional study. *Rheumatology*. 202109; 60(9):e339-340.

Aita T, Matsuo Y, Yamada Y, Miyata J, Yoshioka T. Comment on: Femoral vein wall thickness measurement: A new diagnostic tool for Behçet's disease. *Rheumatology*. 202109; 60(9):e342-e343.

Yoshioka T, Omae K, Kawada T, Inoue Y, Sugimoto M, Oeda T, Yamasaki T, Fujio K, Otsuki H, Uehara S, Araki M, Fukuhara S. Negative impact of being underweight on the outcomes of single-session shockwave lithotripsy in patients with upper urinary tract calculi: a retrospective cohort study. *World Journal of Urology*. 202102; 39(2):571-577.

中川 紘明, 宮田 靖志, 前川 正人. 一目瞭然！目で診る症例. *日本内科学会雑誌*. 202104; 110(4):850-853.

中川 紘明, 宮田 靖志, 前川 正人. 一目瞭然！目で診る症例. *日本内科学会雑誌*. 202110; 110(10):2297-2299.

〔その他〕

Ogawa T, Yamada Y, Momosaki R, Katayanagi J, Yoshioka T. Concerns regarding p-value-based variable selection of exposure variables and confounding factors: Comment on the Article by Hawker et al. *Arthritis & Rheumatology*. 202110; 73(10):1946-1947.

会津医療センター 総合内科学講座

論 文

〔原 著〕

斉藤有佳, 鎌田一宏. 耳痛. *Medicina*. 202106; 58(7):1034-1037.

橋本重厚, 大井川百合, 小野寺健士, 一条和枝, 金澤ヨオ子, 小針健大, 山中克郎, 原靖果, 仲村究, 金光敬二, 大田雅嗣. 【COVID-19 感染拡大状況における医療安全】福島県立医科大学会津医療センター附属病院における COVID-19 院内クラスターの発生と対応. *安全医学*. 202105; 17(2):24-29.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度”検定&深読み解説（第1回）なんでも治せるお医者さん『19 番目のカルテ』第1話より. *総合診療*. 202104; 31(4):491-493.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度”検定&深読み解説（第3回）“痛み”

の名前『19 番目のカルテ』第 3 話より. 総合診療. 202106; 31(6):767-769.

奥知久, 藤沼康樹, 山中克郎. 【新時代の「在宅医療」先進的プラクティスと最新テクノロジー】総論 “新時代”の在宅医療が目指すべきもの 「都市部/地方」の違いからみた課題と可能性. 総合診療. 202107; 31(7):824-831.

鎌田一宏. 東日本大震災から 10 年「福島」における地域医療の今「奥会津」における在宅医療の挑戦. 総合診療. 202107; 31(7):841-845.

山中克郎. 【新時代の「在宅医療」先進的プラクティスと最新テクノロジー】総合診療医センター構想. 総合診療. 202107; 31(7):879-881.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度” 検定&深読み解説（第 5 回）自分だけのワザ『19 番目のカルテ-徳重晃の問診』第 5 話より. 総合診療. 202108; 31(8):1017-1019.

斉藤有佳, 鎌田一宏. 「そろそろ不要！」な検査編 急性腎障害×FENa. 総合診療. 202109; 31(9):1086-1087.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度” 検定&深読み解説（第 7 回）最善の選択『19 番目のカルテ-徳重晃の問診』第 7 話より. 総合診療. 202110; 31(10):1295-1297.

山中克郎. 『19 番目のカルテ』を読んで答える！あなたの“ドクターG 度” 検定&深読み解説（第 9 回）医師の顔（後編）『19 番目のカルテ-徳重晃の問診』第 9 話より. 総合診療. 202112; 31(12):1553-1555.

鶴山保典, 山中克郎, 宗像源之, 林聖也, 平野雅, 木村俊英, 斉藤有佳, 三宅真理世, 浅野奈緒美, 虻川真澄. ビタミン B3 投与により、食思不振が改善した 1 例. 日本老年医学会雑誌. 202110; 58(4):645.

〔症例報告〕

Kamata K, Jindai K, Ichihara N, Saito H, Kato H, Kunishima H, Shintani A, Nishida O, Fujitani S. Why participation in an international clinical trial platform matters during a pandemic? Launching REMAP-CAP in Japan. Journal of Intensive Care. 202104; 9(1):34.

Uneda K, Kayo T, Akiba S, Saito R, Ueno T, Suzuki M, Mitsuma T. Therapeutic potential of ubaien for refractory gastrointestinal diseases: Japanese case reports and literature review. Traditional & Kampo Medicine. 202107; 8(3):234-237.

〔その他〕

神代和明, 一原直昭, 齋藤浩輝, 鎌田一宏, 藤谷茂樹. パンデミック対応型国際臨床研究プラットフォーム：REMAP-CAP. 週刊医学界新聞. 202103; (3412):4.

研究発表等

〔研究発表〕

山中克郎. 初期臨床研修医向け講義. 令和3年度第1回臨床研修セミナーin 高山; 20210526; 高山/Web.

平野雅, 山中克郎, 山元勝悟, 鈴木聖子. マクロ CK 血症を合併した進行胃がんの1例. 日本内科学会第223回東北地方会; 20210619; Web.

三宅真里世, 星野弘尊, 玉川和亮, 鶴谷善夫. 心房性頻脈及び原発性胆汁性胆管炎の経過中に筋症状が出現した抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎の1例. 日本内科学会第223回東北地方会; 20210619; Web.

山中克郎. Deep Medicine-AI時代の診療. GIM Intensive Review 2021 WEB; 20210807; Web.

上野孝治, 津田恭輔, 宇仁田明奈, 加用拓己, 鈴木雅雄, 畠田一司, 齋藤龍史, 三猪忠道. 超高齢者の肝細胞癌に対する漢方治療. 第71回日本東洋医学会総会; 20210813-15; 仙台/Web.

畠田一司, 佐藤駿, 齋藤龍史, 秋葉秀一郎, 上野孝治, 鈴木朋子, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 寒熱錯雑を伴う消化器症状に対する烏梅圓の使用経験. 第71回日本東洋医学会総会; 20210813-15; 仙台/Web.

浅野奈緒美, 畠田一司, 金子彰, 加用拓己, 秋葉秀一郎, 齋藤龍史, 上野孝治, 鈴木雅雄, 三猪忠道. 沈弱の脈候を呈するも麻黄湯が奏功した COVID-19 ワクチンの副反応例. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

上野孝治, 畠田一司, 舟窪彰, 齋藤龍史, 秋葉秀一郎, 三猪忠道. 甲状腺眼症に対する漢方治療. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

金子彰, 秋葉秀一郎, 畠田一司, 齋藤龍史, 上野孝治, 三猪忠道. 麻黄連軀赤小豆湯が有効であった尋常性乾癬の一例. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

〔特別講演〕

山中克郎. 楽しく学ぶ 診断推論. 第31回鑑別診断道場/茨城県央レジデントセミナー on web; 20211104; Web.

〔その他〕

山中克郎. 地域医療における総合治療に関する医学生への啓発. 旭川医科大学 地域医療を語る会; 20210519; Web.

山中克郎. オンライン講演による研修医へのレクチャー. 水戸済生会総合病院 研修医教育; 20210611; Web.

山中克郎. 若手医師のための実力アップセミナー. 長崎大学医学部 第57回若手医師のための実力アップセミナー; 20210618; Web.

山中克郎. 研修医向け実践セミナー. 三重大学医学部 第二回実践セミナー; 20210716; Web.

山中克郎. 「プロフェッショナリズム」についての勉強会. 南奈良総合医療センター 第4回レジデントデイ; 20210730; Web.

山中克郎. オープニングリマークス. 会津医学会学術講演会～会津の緩和ケアを考える～; 20210827; 会津若松 /Web.

山中克郎. 楽しく学ぶ 攻める問診. 名古屋第一赤十字病院 研修医勉強会; 20210903; Web.

山中克郎. 楽しく学ぶ「診断推論」. 木沢記念病院 第33回K'sカンファレンス; 20210916; Web.

山中克郎. 研修医および内科専攻医に対する講演. 小牧市民病院 研修医教育講座ならびに内科専門研修プログラム; 20210917; Web.

会津医療センター 漢方医学講座

論 文

〔原 著〕

Urate S, Wakui H, Azushima K, Yamaji T, Suzuki T, Abe E, Tanaka S, Taguchi S, Tsukamoto S, Kinguchi S, Uneda K, Kanaoka T, Atobe Y, Funakoshi K, Yamashita A, Tamura K. Aristolochic Acid Induces Renal Fibrosis and Senescence in Mice. *International Journal of Molecular Sciences*. 202111; 22(22):12432.

Suzuki M, Ishizaki N, Kayo T, Furuta T, Igarashi R, Maki T, Hoshi K, Yamabe A, Fujisawa M, Funakubo A, Mitsuma T, Irisawa A, Shibukawa G. Pilot Study of Acupuncture's Antispasmodic Effect on Upper Gastrointestinal Tract during Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer: Controlled Clinical Trial. *Journal of Clinical Medicine*. 202107; 10(14):3050.

Uneda K, Kawai Y, Yamada T, Kinguchi S, Azushima K, Kanaoka T, Toya Y, Wakui H, Tamura K. Systematic review and meta-analysis for prevention of cardiovascular complications using GLP-1 receptor agonists and SGLT-2 inhibitors in obese diabetic patients. *Scientific Reports*. 202105; 11(1):10166.

Akiba S, Sahashi Y, Mitsuma T. Effect of heat processing on the quality and alkaloid contents of *Coptis Rhizome*. *Traditional & Kampo Medicine*. 202104; 8(1):49-54.

Takayama S, Kashima M, Namiki T, Ito T, Ono R, Arita R, Saito N, Nakae H, Irie Y, Kobayashi S, Yoshino T, Ishigami T, Tanaka K, Nogami T, Minakawa S, Nagase M, Kashio A, Ishige T, Maehara H, Saito T, Sempuku S, Yamazaki M, Tahara E, Tahara E, Suda N, Nakamoto K, Nakamoto K, Mitsuma T, Sato H, Shimooki O, Nakada Y, Abe S, Masuda T, Kai H, Yokota K, Chiba S, Saitoh F, Tanaka Y, Koizumi S, Fujii

S, Katori R, Kainuma M, Nochioka K, Chiu S, Kikuchi A, Suzuki T, Mimura M, Yamaguchi T, Ishii T. Conventional and Kampo medicine in the treatment of mild to moderate COVID-19: A multicenter, retrospective observational study protocol by the Integrative Management in Japan for Epidemic Disease(IMJEDI study-Observation. Traditional & Kampo Medicine. 202104; 8(1):106-110.

Uneda K, Kayo T, Akiba S, Saito R, Ueno T, Suzuki M, Mitsuma T. Therapeutic potential of ubaien for refractory gastrointestinal diseases: Japanese case reports and literature review. Traditional & Kampo Medicine. 202107; 8(3):234-237.

若山育郎, 形井秀一, 古谷陽一, 高士将典, 鈴木雅雄, 田中耕一郎. 病院医療における鍼灸 鍼灸で病院はこう変わる. 日本東洋医学雑誌. 202101; 72(1):71-87.

〔症例報告〕

Yoshida-Komiya H, Ami M, Suganuma R, Mitsuma T. *Sho*-Based Kampo Medicine Combined with Assisted Reproductive Technology Is Effective for Refractory Infertility and Early Recurrent Miscarriage: A Case Report. Frontiers in Nutrition. 202111; 8:761199.

Suzuki T, Uneda K, Aoyagi R, Kobayashi T, Mitsuma T, Nakamoto H. Case Report: Kampo Medicine for Non-tuberculous Mycobacterium Pulmonary Disease. Frontiers in Nutrition. 202111; 8:761934.

武富麻恵, 福田悟, 小林玲音, 松本美由季, 竹村浩, 信太賢治, 大江克憲, 増田豊, 齋藤龍史, 三猪忠道. 烏頭桂枝湯と大烏頭煎が著効し QOL が向上した上肢 CPRS の 1 症例. 慢性疼痛. 202112; 40(1):214-221.

〔その他〕

鈴木雅雄. 患者さんに説明する便秘と鍼灸. あととはとき. 202102; (9):36-37.

三猪忠道. 令和 3 年新年のこぼし “はじめての” 東洋医学会学術総会. 漢方の臨床. 202101; 68(1):72.

三猪忠道. 『傷寒論』に付き添われて. 漢方の臨床. 202104; 68(4):396-398.

三猪忠道. アンケート 私の愛用処方ベスト 5(1). 漢方の臨床. 202104; 68(4):418-419.

著 書・訳 書

三猪忠道, 他. In: ポケット漢方薬ガイド編集委員会 編. 専門家のコンセンサスに基づくポケット漢方薬ガイド 34. 東京: 南山堂; 202108.

三猪忠道. はじめての漢方診療ノート 第 2 版. 東京: 医学書院; 202108.

三猪忠道. はじめての漢方診療十五話 第 2 版. 東京: 医学書院; 202108.

三猪忠道. 福島県立医科大学会津医療センター 漢方処方集一運用の実際一. 東京: 薬事日報社. 202108.

鈴木雅雄. 第3章 症状緩和の手段 4 その他の非薬物療法. In: 日本呼吸器学会・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会合同非がん性呼吸器疾患緩和ケア指針 2021 作成委員会 編. 非がん性呼吸器疾患緩和ケア指針 2021. 東京: 一般社団法人日本呼吸器学会／一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会; 202104. p.89-100.

研究発表等

〔研究発表〕

畠田一司. 慢性腎臓病における貧血と鉄代謝異常. 鳥居薬品社内勉強会; 20210309; 会津若松.

武富麻恵, 福田悟, 小林玲音, 松本美由季, 竹村博, 信太賢治, 大江克憲, 増田豊, 齋藤龍史, 三猪忠道. 烏頭桂枝湯と大烏頭煎が著効し QOL が向上した上肢の CRPS の 1 症例. 第 50 回日本慢性疼痛学会; 20210319-20; Web.

佐藤駿, 加用拓己, 鈴木雅雄, 津田恭輔, 三猪忠道. 終末期の腓神経内分泌腫瘍に伴う身体症状への鍼灸治療の 1 症例. 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会; 20210604-06; 福岡/Web.

津田恭輔, 鈴木雅雄, 加用拓己, 三猪忠道. 帯状疱疹後神経痛患者の残存する疼痛に対する鍼灸治療の 1 症例. 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会; 20210604-06; 福岡/Web.

安部えりこ, 涌井広道, 山下暁朗, 小豆島健護, 浦手進吾, 山地孝弘, 畠田一司, 金口翔, 金岡知彦, 田村功一, 高橋秀尚. ヒト不死化近位尿細管細胞株やマウス腎皮質における長寿遺伝子 SIRT1 mRNA の翻訳制御による発現調節機構の解明. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):518.

塚本俊一郎, 涌井広道, 小豆島健吾, 金口翔, 金岡知彦, 畠田一司, 中野雅友樹, 橋本達夫, 田村功一. CKD モデルマウスにおける腎および肺 ACE2 発現量の検討. 第 64 回日本腎臓学会学術総会; 20210618-20; 横浜/Web. 日本腎臓学会誌. 63(4):520.

堀川宜範, 濱田晃市, 舟窪彰. 食道疾患治療 粘膜筋板もしくは粘膜下層に浸潤する食道表在癌に関する他施設共同研究. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web.

伊藤亜希, 堀場裕子, 畠田一司, 石上友章, 伊吹恵里, 並木隆雄, 戴毅, 石毛敦, 磯濱洋一郎, 渡辺賢治. 漢方医学教育における反転授業に対する教員の評価と新たな課題『太陽病』『六病位』の調査報告. 第 71 回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web. 日本東洋医学雑誌. 71(別冊):210.

上野孝治, 津田恭輔, 宇仁田明奈, 加用拓己, 鈴木雅雄, 畠田一司, 齋藤龍史, 三猪忠道. 超高齢者の肝細胞癌に対する漢方治療. 第 71 回日本東洋医学会総会; 20210813-15; 仙台/Web.

畠田一司, 佐藤駿, 齋藤龍史, 秋葉秀一郎, 上野孝治, 鈴木朋子, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 寒熱錯雑を伴う消化器症状に対する烏梅圓の使用経験. 第 71 回日本東洋医学会総会; 20210813-15; 仙台/Web.

中島大, 小宮ひろみ, 海老潤子, 三猪忠道. 大量発汗に抑肝散加陳皮半夏が有効と思われた1症例. 第71回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

畝田一司, 津田恭輔, 加用拓己, 秋葉秀一郎, 齋藤龍史, 鈴木雅雄, 三猪忠道. 難治性の全身浮腫に対して大建中湯加減が利尿効果を示した一例. 第31回漢方治療研究会; 20210926; Web.

加用拓己, 鈴木雅雄, 加藤竜二, 石崎直人, 三猪忠道, 福田文彦. 日本の鍼灸院通院患者における通院頻度と健康関連QOLとの関連: 横断研究. 第11回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会; 20211002-03; 福島/Web.

小宮ひろみ, 大谷晃司, 三猪忠道. 桂姜棗草黄辛附湯の2例. 令和3年度日本東洋医学会福島県部会総会; 20211017; 福島.

浅野奈緒美, 畝田一司, 金子彰, 加用拓己, 秋葉秀一郎, 齋藤龍史, 上野孝治, 鈴木雅雄, 三猪忠道. 沈弱の脈候を呈するも麻黄湯が奏功したCOVID-19ワクチンの副反応例. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

上野孝治, 畝田一司, 舟窪彰, 齋藤龍史, 秋葉秀一郎, 三猪忠道. 甲状腺眼症に対する漢方治療. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

宇仁田明奈, 鈴木雅雄, 加用拓己, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 女性に対する鍼灸治療の経験と今後の展望. 令和3年度日本東洋医学会福島県部会総会; 20211017; 福島.

金子彰, 秋葉秀一郎, 畝田一司, 齋藤龍史, 上野孝治, 三猪忠道. 麻黄連軀赤小豆湯が有効であった尋常性乾癬の一例. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

中島大, 小宮ひろみ, 三猪忠道. 単剤化学療法に漢方薬を併用し、予後延長に寄与したと考えられた進行膵癌の一症例. 第37回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

〔シンポジウム〕

秋葉秀一郎, 佐橋佳郎, 二瓶恵子, 三猪忠道. 生薬・湯液煎じ実習―生薬を愉しむ―. 第71回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

佐橋佳郎. 生薬栽培の過去と未来、医療現場が地域の農業を支える 国産トウキの1年栽培品と慣行栽培品. 第71回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

三猪忠道. 地域生薬資源（人参・芍薬）の栽培振興とその利用 ―会津医療センターにおける取り組み―. 第71回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

〔特別講演〕

三猪忠道. 漢方を活かした新たな医療体系の構築. 第71回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web. 日本東洋医学雑誌. 71(別冊):66.

鈴木雅雄. 次世代に継ぐ卒前卒後漢方医学教育「わかりやすい鍼灸」. 第 71 回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

鈴木雅雄. 漢方入門講座「鍼灸治療いろはのい」. 第 71 回日本東洋医学会学術総会; 20210813-15; 仙台/Web.

秋葉秀一郎. 会津医療センターの生薬調剤について. 令和 3 年度日本東洋医学会福島県部会総会; 20211017; 福島.

〔その他〕

鈴木雅雄. 日々の臨床に役立つ実技～多様な疾患に挑む五つの治療法～. 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会; 20210604-06; 福岡/Web.

鈴木雅雄. 鍼灸臨床研究トレーニング(SMART). 第 70 回全日本鍼灸学会学術大会; 20210604-06; 福岡/Web.

会津医療センター 循環器内科学講座

研究発表等

〔研究発表〕

鶴谷善夫. 外堀を埋めて、本丸を攻略する～心房細動管理における高血圧治療の重要性～. 心房細動のトータルケアを考える Web セミナー; 20210218; 会津若松.

Hoshino H, Tsuruya Y, Tamagawa K. The possibility of underlying primary aldosteronism should be considered when we see the patients of atrial fibrillation. 第 85 回日本循環器学会学術集会; 20210326-28; Web.

星野弘尊, 三宅真里世, 玉川和亮, 鶴谷善夫, 橋本重厚. 心血管病精査時に診断された原発性アルドステロン症についての検討. 第 9 回臨床高血圧フォーラム; 20210515; Web.

三宅真里世, 星野弘尊, 玉川和亮, 鶴谷善夫. 心房性頻脈及び原発性胆汁性胆管炎の経過中に筋症状が出現した抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎の 1 例. 日本内科学会第 223 回東北地方会; 20210619; Web.

Sugai Y, Kumagai K, Kurose Y, Hasegawa K, Kikuta H, Sekiguchi Y, Kameyama T, Yambe M, Nakano T, Tsuruya Y, Komaru T. The Impact of Ablation Catheter Continuous Pacing to prevent Phrenic Nerve Palsy during Extensive Encircling Pulmonary Vein Isolation (EEPVI). 第 67 回日本不整脈心電学会学術大会; 20210703; Web.

菅井義尚, 星野弘尊, 玉川和亮, 鶴谷善夫, 熊谷浩司, 佐藤司, 黒瀬裕樹, 長谷川薫, 菊田寿, 住吉剛忠,

関口祐子, 亀山剛義, 山家実. Crista Terminalis (分界陵) 中央を中心に rotor 様に巡回する肺静脈隔離術・右房解剖学的峡部ブロックライン作成後心房頻拍の 1 例. 第 1 回日本不整脈心電学会東北地方会; 20210717; 仙台.

星野弘尊, 三宅真里世, 玉川和亮, 鶴谷善夫. 遠隔モニタリングにて心室リードノイズを認め、早期にリード不全を検知した症例. 第 1 回日本不整脈心電学会東北地方会; 20210717; Web.

阿部有司, 山田善康, 宮下知優, 谷澤健, 濱知佳, 小椋康志, 北條真利, 菅井義尚, 星野弘尊, 玉川和亮, 鶴谷善夫. 当院の遠隔モニタリング(RMS)管理方法と有用であった症例の報告. 第 54 回ペーシング治療研究会; 20210904; Web.

鶴谷善夫. 循環器疾患と尿酸の関わり. 持田製薬 社員教育; 20210915; 会津若松.

菅井義尚. 心房頻拍に対するカテーテルアブレーション治療の有用性. 第 115 回会津循環器病懇話会; 20211105; 会津若松.

鶴谷善夫. 心房細動管理における高血圧治療の重要性～外堀を埋めて、本丸を攻略する～. 会津医学会学術講演会～高齢者の抗凝固療法～; 20211125; 会津若松.

三宅真里世, 星野弘尊, 菅井義尚, 玉川和亮, 鶴谷善夫, 岡野龍威, 前場覚, 川島大. 発作性心房細動を契機に診断治療に至った高齢女性に発症した左房粘液腫の一例. 第 173 回日本循環器学会東北地方会; 20211204; Web.

【シンポジウム】

菅井義尚. メディカルプロフェッショナル基礎講座 心電図の基礎～電気軸とは?～. 第 54 回ペーシング治療研究会; 20210904; Web.

【特別講演】

鶴谷善夫. 心不全における糖尿病治療薬の有用性 エビデンスと経験を活かすための会津心不全地域連携を目指して. 会津医学会学術講演会～会津地域の心臓を守る～; 20210927; 会津若松.

菅井義尚. 無症候性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療について. 会津 Anticoagulation with Covid-19 Web Meeting 2021; 20211020; 会津若松/Web.

会津医療センター 血液内科学講座

論 文

〔原 著〕

Suzuki M, Tsunoda S, Koyama D, Ikeda S, Sukegawa M, Hojo H, Ohta M. MTX-HOPE is a low-dose salvage chemotherapy for aged patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology*. 202103; 61(1):22-28.

Ikeda S, Tsunoda S, Koyama D, Suzuki M, Sukegawa M, Misawa K, Hojo H, Zhu X, Utano K, Ohta M. Femoral marrow MRI is a non-invasive, non-irradiated and useful tool for detecting bone marrow involvement in non-Hodgkin lymphoma. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology*. 202106; 61(2):78-84.

平山拓史, 金彰午, 大田雅嗣, 角田三郎, 木本真司. 特発性血小板減少性紫斑病を併発した白金抵抗性再発卵巣癌の1例. *癌と化学療法*. 202106; 48(6):821-824.

〔総説等〕

Koyama D, Kikuchi J, Kuroda Y, Ohta M, Furukawa Y. AMP-activated protein kinase activation primes cytoplasmic translocation and autophagic degradation of the BCR-ABL protein in CML cells. *Cancer Science*. 202101; 112(1):194-204.

研究発表等

〔研究発表〕

浅野奈緒美, 角田三郎, 助川真純, 池田翔平, 大田雅嗣. der(1;7)染色体異常を伴った骨髓異形成症候群による非感染性肺炎の一例. *日本内科学会第224回東北地方会*; 20210918; Web.

内田康裕, 角田三郎, 助川真純, 池田翔平, 大田雅嗣, 高畑陽介, 木村友哉, 和田淳, 湊川悟朗. 自家抹消血幹細胞移植から7年後に発症した水痘. *日本内科学会東北支部主催第224回東北地方会*; 20210918; Web.

論 文

〔原 著〕

Kanno A, Yasuda I, Irisawa A, Hara K, Ashida R, Iwashita T, Takenaka M, Katanuma A, Takikawa T, Kubota K, Kato H, Nakai Y, Ryozaawa S, Kitano M, Isayama H, Kamada H, Okabe Y, Hanada K, Ohtsubo K, Doi S, Hisai H, Shibukawa G, Imazu H, Masamune A. Adverse events of endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration for histologic diagnosis in Japanese tertiary centers: Multicenter retrospective study. *Digestive Endoscopy*. 2021; 33(7):1146-1157.

Suzuki M, Ishizaki N, Kayo T, Furuta T, Igarashi R, Maki T, Hoshi K, Yamabe A, Fujisawa M, Funakubo A, Mitsuma T, Irisawa A, Shibukawa G. Pilot Study of Acupuncture's Antispasmodic Effect on Upper Gastrointestinal Tract during Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Cancer: Controlled Clinical Trial. *Journal of Clinical Medicine*. 2021; 10(14):3050.

Hatta W, Koike T, Takahashi S, Shimada T, Hikichi T, Toya Y, Tanaka I, Onozato Y, Hamada K, Fukushi D, Watanabe K, Kayaba S, Ito H, Mikami T, Oikawa T, Takahashi Y, Kondo Y, Yoshimura T, Shiroki T, Nagino K, Hanabata N, Funakubo A, Hirasawa D, Ohira T, Nakamura J, Matsumoto T, Nakamura T, Nakaya N, Iijima K, Fukuda S, Masamune A; Tohoku GI Endoscopy Group. Risk of metastatic recurrence after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading into the muscularis mucosa or submucosa: a multicenter retrospective study. *Journal of Gastroenterology*. 2021; 56(7):620-632.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 林芳和, 愛澤正人, 歌野健一, 竹澤敬人, 相良裕一, 朱欣, 澁川悟朗, 山本博徳, 富樫一智. AIは何をみて大腸pT1bを診断しているか? Class Activation Mapping からみた検討. *Gastroenterological Endoscopy 日本消化器内視鏡学会雑誌*. 2021; 63(6):1232-1240.

歌野健一, 根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 柳沼佑基, 歌野有香, 富樫一智. 【大腸内視鏡スキルアップ 挿入から診断まで】挿入法スキルアップ 挿入不能例どう対応する? 大腸カプセル内視鏡検査と大腸CT検査. *消化器内視鏡*. 2021; 33(10):1553-1557.

〔症例報告〕

愛澤正人, 中島勇貴, 根本大樹, 歌野健一, 富樫一智. IBDの新規治療の現状と将来展望 チオプリン製剤投与中の炎症性腸疾患患者における6-Thioguanine Nucleotides 細胞内濃度に影響を与える因子の検討. *日本大腸肛門病学会雑誌*. 2021; 74(9):A68.

根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 五十畑則之, 佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸内視鏡治療・私の工夫 Pocket-creation methodによる大腸Salvage ESDの検討. *日本大腸肛門病学会雑誌*. 2021; 74(9):A78.

歌野健一，中島勇貴，根本大樹，愛澤正人，佐久間芽衣，五十畑則之，遠藤俊吾，富樫一智．大腸憩室疾患に伴う諸問題－出血、膿瘍、狭窄、瘻孔－ 大腸憩室炎の増悪因子 CT 所見を含めた検討．日本大腸肛門病学会雑誌．202109; 74(9):A85.

研究発表等

〔研究発表〕

上野孝治，畠田一司，舟窪彰，齋藤龍史，秋葉秀一郎，三瀧忠道．甲状腺眼症に対する漢方治療．第 37 回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

浅野奈緒美，畠田一司，金子彰，加用拓己，秋葉秀一郎，齋藤龍史，上野孝治，鈴木雅雄，三瀧忠道．沈弱の脈候を呈するも麻黄湯が奏功した COVID-19 ワクチンの副反応例．第 37 回日本東洋医学会東北支部学術総会; 20211107; 仙台/Web.

〔シンポジウム〕

愛澤正人，中島勇貴，根本大樹，歌野健一，富樫一智．チオプリン製剤投与中の炎症性腸疾患患者における 6-Thioguanine Nucleotides 細胞内濃度に影響を与える因子の検討．第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web.

根本大樹，中島勇貴，愛澤正人，歌野健一，郭哲，朱欣．コンピュータ自動診断による大腸ポリープの検出：full video による性能試験．第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web.

〔特別講演〕

澁川悟朗．食道胃静脈瘤の診断と治療．第 33 回日本消化器内視鏡学会東北セミナー; 20211121-05; Web.

会津医療センター 糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座

論文

〔原 著〕

Nishimoto K, Umakoshi H, Seki T, Yasuda M, Araki R, Otsuki M, Katabami T, Shibata H, Ogawa Y, Wada N, Sone M, Okamura S, Izawa S, Miyauchi S, Yoshimoto T, Tsuiki M, Naruse M, Katabami T, Fukuda H, Tanaka Y, Takeda Y, Kurihara I, Itoh H, Umakoshi H, Tsuiki M, Ichijo T, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto

T, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Fujita M, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Rakugi H, Yamamoto K, Ogo A, Okamura S, Miyauchi S, Yanase T, Suzuki T, Kawamura T, Naruse M, Fukuoka T, Kai T, Izawa S, Yoshikawa Y, Hashimoto S, Yamada M, Sakamoto R, Yoshiro C. Diverse pathological lesions of primary aldosteronism and their clinical significance. *Hypertension Research*. 202105; 44(5):498-507.

Sato S, Saito J, Fukuhara A, Uematsu M, Suzuki Y, Rikimaru M, Kawamata T, Umeda T, Koizumi T, Togawa R, Sato Y, Nikaido T, Minemura H, Kanazawa K, Tanino Y, Shibata Y. Association Between Sleep Characteristics and Asthma Control in Middle-Aged and Older Adults: A Prospective Cohort Study. *Journal of Asthma and Allergy*. 202104; 14:325-334.

Hayashi F, Ohira T, Okazaki K, Nakano H, Sakai A, Hosoya M, Shimabukuro M, Takahashi A, Kazama J, Yasumura S, Hashimoto S, Kawasaki Y, Kobashi G, Ohto H, Kamiya K, Fukushima Health Management Survey. Relationship between physical activity/exercise habits and the frequency of new onset of lifestyle-related diseases after the Great East Japan Earthquake among residents in Fukushima: the Fukushima Health Management Survey. *Journal of Radiation Research*. 202105; 62(Supplement_1):i129-i139.

Honda K, Okazaki K, Tanaka K, Kazama JJ, Hashimoto S, Ohira T, Sakai A, Yasumura S, Maeda M, Yabe H, Suzuki Y, Hosoya M, Takahashi A, Nakano H, Hayashi F, Nagao M, Ohira H, Shimabukuro M, Ohto H, Kamiya K. Evacuation after the Great East Japan Earthquake is an independent factor associated with hyperuricemia: The Fukushima Health Management Survey. *Nutrition, Metabolism, and Cardiovascular Diseases*. 202104; 31(4):1177-1188.

Nakamaru R, Yamamoto K, Akasaka H, Rakugi H, Kurihara I, Yoneda T, Ichijo T, Katabami T, Tsuiki M, Wada N, Yamada T, Kobayashi H, Tamura K, Ogawa Y, Kawashima J, Inagaki N, Fujita M, Watanabe M, Kamemura K, Okamura S, Tanabe A, Naruse M, Itoh H, Fukuda H, Umakoshi H, Shibayama Y, Murakami M, Yoshimoto T, Haze T, Sone M, Takahashi K, Matsuda Y, Shibata H, Otsuki M, Fujii Y, Ogo A, Miyauchi S, Yanase T, Suzuki T, Kawamura T, Asano M, Fukuoka T, Kai T, Izawa S, Yoshikawa Y, Hashimoto S, Yamada M, Sakamoto R, Chiba Y, Okamoto R, Oki K, Yabe D. Age-stratified comparison of clinical outcomes between medical and surgical treatments in patients with unilateral primary aldosteronism. *Scientific Reports*. 202105; 11(1):6925.

橋本重厚. 【低血糖の病態と対策】内分泌疾患、および腫瘍に伴う低血糖. 月刊糖尿病. 202101; 13(1):63-73.

中村伸理子, 坂本哲也, 橋本重厚, 堤晴彦, 中島勸, 岩瀬博太郎, 米村滋人, 櫻井淳, 三木保, 吉田謙一, 大嶽浩司, 小林弘幸, 後藤隆久, 大磯義一郎, 中島和江, 水谷渉, 有賀徹, 全国医学部長病院長会議患者安全推進委員会. 大学病院の医療事故調査制度への対応 制度開始5年目の評価. *日本医師会雑誌*. 202106; 150(3):497-501.

研究発表等

〔研究発表〕

橋本重厚. 保存期腎性貧血の病態と治療. アステラス製薬 社内研修会; 20210203; 会津若松.

本田和也. 会津エリアにおける腎臓病の現状. 福島県病院薬剤師会 会津支部学術講演会; 20210216; 会津若松.

本田和也. 腎性貧血の病態と治療について. 鳥居薬品 社内勉強会; 20210322; 会津若松.

本田和也. 会津地域での CKD の取組み. 会津医学会学術講演会～慢性腎臓病(CKD)を考える～; 20210408; 会津若松.

本田和也. 高尿酸血症の病態と治療. 持田製薬 社員教育; 20210507; 会津若松.

橋本重厚. PA 診療 Up to Date～新規 MRB 治療の意義～. 二次性高血圧を考える Web Seminar; 20210511; Web.

本田和也. 腎臓と尿酸. ユリス錠発売 1 周年記念講演会; 20210527; Web.

橋本重厚. 腎症合併 2 型糖尿病患者に対する SGLT 2 阻害薬の有用性. ALL FOR FUKUSHIMA FORXIGA SEMINAR; 20210715; Web.

橋本重厚. インスリン発見 100 周年～大きな転換期にある糖尿病治療～. 第 7 回福島 SUNRISE 研究会; 20210821; 福島.

本田和也. 腎臓疾患に関する最新の医学的知見. 協和キリン 社員研修会; 20210910; 会津若松.

橋本重厚. 原発性アルドステロン症の診療の進歩と診療ガイドライン 2021. 第 34 回日本臨床内科医学科共催セミナー14; 20210920; Web.

橋本重厚. With コロナ時代の ICT・IOT を活用した糖尿病治療. 第 118 回県北糖尿病談話会; 20210930; 福島.

本田和也. PD 維持期の管理について. TERUMO PD Nurse Seminar I; 20211002; Web.

橋本重厚. 社員教育. バイエル薬品 外来講師勉強会; 20211011; Web.

橋本重厚. 成人 GH 欠損症に対する、GH 補充の診断と意義. AGHD WEB Seminar; 20211117; Web.

橋本重厚. 統合的な糖尿病治療における GLP-1 受容体作動薬の意義と位置づけ. 糖尿病治療最前線～GLP-1 受容体作動薬会津学術講演会; 20211129; 会津若松.

橋本重厚. Session2. 会津若松 高血圧と糖尿病 WEB セミナー; 20211215; Web.

〔特別講演〕

橋本重厚. 原発性アルドステロン症及び MR 関連高血圧 Up to Date. 第 31 回県南腎疾患研究会; 20210309; 福島.

橋本重厚. 慢性腎臓病における高カリウム血症の管理ーロケルマへの期待も含めてー. 会津医学会高カリウム血症

学術講演会～ロケルマ発売1周年記念講演会～; 20210525; 会津若松.

橋本重厚. 糖尿病性腎臓病重症化予防の取り組み. 会津医学会学術講演会「CKD」; 20210909; 会津若松.

橋本重厚. 治療抵抗性高血圧と食塩感受性高血圧の切っても切れない縁. 南会津郡医師会講演会; 20210914; Web.

橋本重厚. GLP-1 受容体作動薬のよりよい糖尿病治療につなげるための基礎的理解. 第33回福島DMスタッフ懇話会; 20211127; いわき.

本田和也. CKD 治療の疑問にお答えいたします～腎機能を守るために～. 第7回薬剤師臨床業務フォーラム; 20211129; 会津若松.

〔その他〕

橋本重厚. Closing Remarks. 会津医学会学術講演会～会津エリアの腎臓を守る～; 20210512; 会津若松.

会津医療センター 感染症・呼吸器内科学講座

論 文

〔原 著〕

Kume H. Role of Airway Smooth Muscle in Inflammation Related to Asthma and COPD. *Advances in Experimental Medicine and Biology*. 202104; 1303:139-172.

久米裕昭, 植松学, 富田ひかる, 福原敦朗. 好酸球性肺炎治療後に好酸球性蜂窩織炎を生じたアレルギー性鼻炎の1例. *アレルギー*. 202112; 70(10):1391-1397.

研究発表等

〔研究発表〕

久米裕昭. 呼吸器関連. ノバルティス ファーマ社内研修会; 20210209; 会津若松.

久米裕昭. 喘息治療のトータルケアを考える 最新的话题を踏まえて. 福島 IgE ミーティング～喘息と花粉症の治療のトータルケアを目指して～; 20210316; 郡山.

久米裕昭, 富田ひかる, 福原敦朗. 喘息の診断に喀痰中好酸球、起動過敏性試験が有用であった1例. 第113回

日本呼吸器学会東北地方会; 20210904; 福島.

久米裕昭, 富田ひかる, 福原敦朗. COPD 長期管理における好酸球性気道炎症制御の意義. 第 113 回日本呼吸器学会東北地方会; 20210904; 福島.

久米裕昭. LABA/LAMA/ICS による新たなぜんそく治療の理論と実際. 喘息吸入治療薬の新しい展開 in 会津; 20210913; 会津若松.

久米裕昭. 重症喘息に対する好酸球性気道炎症制御の重要性～生物学的製剤投与の論理と実際～. GSK Severe Asthma Web Seminar in 会津; 20210924; Web.

会津医療センター 精神医学講座

論 文

〔原 著〕

Ohba M, Kobayashi R, Kirii K, Fujita K, Kanezawa C, Hayashi H, Kawakatsu S, Otani K, Kanoto M, Suzuki K. Comparison of Alzheimer's disease patients and healthy controls in the easy Z-score imaging system with differential image reconstruction methods using SPECT/CT: verification using normal database of our institution. *Annals of Nuclear Medicine*. 202103; 35(3):307-313.

Kobayashi R, Morioka D, Suzuki A, Kawakatsu S, Otani K. Low-dose zolpidem-induced visual hallucinations in prodromal dementia with Lewy bodies. *Asian Journal of Psychiatry*. 202112; 66:102908.

Kondo T, Banno H, Okunomiya T, Amino Y, Endo K, Nakakura A, Uozumi R, Kinoshita A, Tada H, Morita S, Ishikawa H, Shindo A, Yasuda K, Taruno Y, Maki T, Suehiro T, Mori K, Ikeda M, Fujita K, Izumi Y, Kanemaru K, Ishii K, Shigenobu K, Kutoku Y, Sunada Y, Kawakatsu S, Shiota S, Watanabe T, Uchikawa O, Takahashi R, Tomimoto H, Inoue H. Repurposing bromocriptine for A β metabolism in Alzheimer's disease (REBRAnD) study: randomised placebo-controlled double-blind comparative trial and open-label extension trial to investigate the safety and efficacy of bromocriptine in Alzheimer's disease with presenilin 1 (PSEN1) mutations. *BMJ Open*. 202106; 11(6):e051343.

Mori Y, Hoshino H, Osakabe Y, Wada T, Kanno K, Shiga T, Itagaki S, Miura I, Yabe H. Omission mismatch negativity of speech sounds reveals a functionally impaired temporal window of integration in schizophrenia. *Clinical Neurophysiology*. 202105; 132(5):1144-1150.

Shiga T, Zhang W, Ohira T, Suzuki Y, Maeda M, Mashiko H, Yabe H, Iwasa H, Nakano H, Yasumura S, Kamiya K; Fukushima Health Management Survey Group. Socioeconomic status, damage-related conditions,

and PTSD following the Fukushima-daiichi nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202108; 67(2):71-82.

Shiga T, Hoshino H, Ochiai H, Osakabe Y, Kanno K, Horikoshi S, Miura I, Yabe H. Effects of benzodiazepine and orexin receptor antagonist on cognitive function revealed by auditory event-related potentials. *Journal of Psychopharmacology*. 202112; 35(12):1488-1495.

Kawakatsu S, Kobayashi R, Hayashi H, Morioka D, Utsunomiya A, Kabasawa T, Ohe R, Otani K. Clinicopathological heterogeneity of Alzheimer's disease with pure Alzheimer's disease pathology: Cases associated with dementia with Lewy bodies, very early-onset dementia, and primary progressive aphasia. *Neuropathology*. 202112; 41(6):427-449.

Miyagawa A, Kunii Y, Gotoh D, Hoshino H, Kakamu T, Hidaka T, Kumakura T, Fukushima T, Yabe H, Kawakatsu S. Effects of the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on behavioural and psychological symptoms of dementia among patients. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):709-715.

Hayashi H, Kobayashi R, Kawakatsu S, Ohba M, Morioka D, Otani K. Comparison of the decreases in regional cerebral blood flow in the posterior cingulate cortex, precuneus, and parietal lobe between suspected non-Alzheimer's disease pathophysiology and Alzheimer's disease. *Psychogeriatrics*. 202109; 21(5):716-721.

Ochiai H, Shiga T, Hoshino H, Horikoshi S, Kanno K, Wada T, Osakabe Y, Miura I, Yabe H. Effect of oxytocin nasal spray on auditory automatic discrimination measured by mismatch negativity. *Psychopharmacology*. 202107; 238(7):1781-1789.

丹羽真一, 志賀哲也, 川勝忍. 【エイジング】検査と加齢 P300. *Clinical Neuroscience*. 202101; 39(1):68-71.

川勝忍, 小林良太, 大谷浩一. 【若年性認知症 臨床・基礎・社会的支援の state of arts】行動症状が優勢な若年性認知症の治療と社会的支援 自立支援医療制度の問題点を含めて. *医学のあゆみ*. 202109; 278(12):1029-1033.

川勝忍, 小林良太, 林博史, 森岡大智, 大谷浩一. アルツハイマー病病理による文の復唱障害を伴った意味性認知症の1例 神経変性疾患の神経心理を画像診断から振り返る. *神経心理学*. 202109; 37(3):201-211.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 大谷浩一. 【今日の精神科治療ハンドブック】(第12章) 神経認知障害群 若年性アルツハイマー病. *精神科治療学*. 202110; 36(増刊):212-215.

栗田主一, 笠貫浩史, 加藤伸司, 川勝忍, 小林清樹, 齋藤正彦, 真田順子, 繁田雅弘, 古田光, 池田学. 【新型コロナウイルス感染症の流行と老年精神医学】新型コロナウイルス感染症流行の影響 認知症や精神障害がある高齢者の人権という観点から. *老年精神医学雑誌*. 202104; 32(4):379-389.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 大谷浩一. 【認知症の疾患概念について考える ; 歴史的事項から将来まで】神経変性疾患における認知症の疾患単位・概念は今後どうあるべきか. *老年精神医学雑誌*. 202110; 32(10):1078-1086.

研究発表等

〔研究発表〕

坂本和貴, 小林良太, 根本清貴, 平山和美, 木村正之, 大谷浩一, 川勝忍. アルツハイマー型認知症のBPSDの責任病巣 Voxel-based morphometry 研究の文献レビュー. 第36回日本老年精神医学会; 20210916; 京都. 老年精神医学雑誌. 32(増刊 I):233.

小林良太, 森岡大智, 鈴木昭仁, 川勝忍, 大谷浩一. 老年期精神科疾患における薬剤誘発性の幻視は、前駆期レビー小体型認知症の予測マーカーか? 第26回日本神経精神医学会; 20211015; 仙台.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 大谷浩一. DAT スキャン低下が運動ニューロン疾患に3年以上先行してみられた前頭側頭型認知症の1剖検例. 第26回日本神経精神医学会; 20211015; 仙台.

〔シンポジウム〕

志賀哲也, 平山緑香, 羽金裕也, 森湧平, 戸田亘, 落合晴香, 堀越翔, 星野大, 菅野和子, 三浦至, 矢部博興. 統合失調症治療とMMN. 第51回日本臨床神経生理学会学術大会; 20210117; 仙台. 臨床神経生理学. 49(5):330.

志賀哲也, 平山緑香, 羽金裕也, 戸田亘, 落合晴香, 星野大, 堀越翔, 菅野和子, 三浦至, 矢部博興. 統合失調症における脳内に表象された時間軸異常について. International Joint Meeting 2020 in Kansai; 20210225-0301; 大阪.

川勝忍. とらえどころのない大脳皮質症状を病理からとらえなおす 失語症ではじめる変性疾患の臨床病理. 第62回日本神経学会; 20210522; 京都.

川勝忍. 運動ニューロン疾患を伴う認知症の臨床・画像・病理. 第10回福島県認知症研究会; 20210818; 福島.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 大谷浩一. レビー小体型認知症の症状を多角的に分析する DLB のパーキンソンニズムと治療. 第36回日本老年精神医学会; 20210916; Web. 老年精神医学雑誌. 32(増刊 I):102.

小林良太, 川勝忍, 森岡大智, 大谷浩一. 神経画像検査最前線と老年精神医学へのインパクト Prodromal DLB 診断におけるバイオマーカー. 第36回日本老年精神医学会; 20210917; Web. 老年精神医学雑誌. 32(増刊 I):159.

志賀哲也, 平山緑香, 羽金裕也, 錫谷研, 佐藤彩, 森湧平, 高橋雄一, 戸田亘, 和田知紘, 落合晴香, 星野大, 刑部有祐, 堀越翔, 伊藤典和, 浅野聡子, 菅野和子, 大島洋和, 野崎途也, 疋田雅之, 板垣俊太郎, 三浦至, 松岡貴志, 矢部博興. ミスマッチ陰性電位に反映される統合失調症の時間統合機能異常. 第117回日本精神神経学会学術総会; 20210920; 京都. 精神神経学雑誌. (2020 特別号):S567.

川勝忍, 小林良太, 森岡大智, 大谷浩一, 坂本和貴. シンポジウム I 神経病理と神経心理 意味性認知症の神経心理と神経病理. 第45回日本神経心理学会; 20210930; Web. プログラム・予稿集:53.

川勝忍. シンポジウム 2 若年性認知症、前頭側頭型認知症. 第 26 回日本神経精神医学会; 20211015; 仙台.

川勝忍. 病理・バイオマーカーを加味した認知症診断について. 第 29 回日本精神科救急学会学術総会イブニングセミナー; 20211023; 郡山.

川勝忍. 特別シンポジウム：科学の追究と実践知の涵養 7 認知症 認知症の神経心理・画像診断・神経病理. 第 80 回日本脳神経外科学会; 20211029; 横浜.

川勝忍. オンラインシンポジウム 4 non-AD tauopathy：嗜銀顆粒性認知症と鑑別すべき疾患，嗜銀顆粒性認知症の臨床診断は可能か？ 第 40 回日本認知症学会; 20211126; 東京.

〔特別講演〕

志賀哲也. ミスマッチ陰性電位の臨床応用について. 第 51 回日本臨床神経生理学会学術大会; 20210116; 仙台. 臨床神経生理学. 49(5):284.

川勝忍. 病理・バイオマーカーを加味した認知症診断について. 近未来の認知症治療を考える会 in 福島; 20210531; 福島.

〔その他〕

川勝忍. バイオマーカーと認知症診断. 第 44 回日本脳神経 CI 学会総会スポンサードセミナー; 20210410; 盛岡.

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

論文

〔原著〕

Kase K, Saito M, Nakajima S, Takayanagi D, Saito K, Yamada L, Ashizawa M, Nakano H, Hanayama H, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Shiraishi K, Kohno T, Kono K. ARID1A deficiency in EBV-positive gastric cancer is partially regulated by EBV-encoded miRNAs, but not by DNA promotor hypermethylation. Carcinogenesis. 202102; 42(1):21-30.

Guo Z, Nemoto D, Zhu X, Li Q, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S, Kawarai Lefor A, Togashi K. Polyp detection algorithm can detect small polyps: Ex vivo reading test compared with endoscopists. Digestive Endoscopy. 202101; 33(1):162-169.

Yamada L, Saito M, Min AKT, Saito K, Ashizawa M, Kase K, Nakajima S, Onozawa H, Okayama H, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saze Z, Momma T, Mimura K, Ohki S, Kono K. Selective sensitivity of EZH2 inhibitors based on synthetic lethality in ARID1A-deficient gastric cancer. *Gastric Cancer*. 202101; 24(1):60-71.

Endo S, Kumamoto K, Enomoto T, Koizumi K, Kato H, Saida Y. Comparison of survival and perioperative outcome of the colonic stent and the transanal decompression tube placement and emergency surgery for left-sided obstructive colorectal cancer: a retrospective multi-center observational study "The CODOMO study". *International Journal of Colorectal Disease*. 202105; 36(5):987-998.

Ikeda S, Tsunoda S, Koyama D, Suzuki M, Sukegawa M, Misawa K, Hojo H, Zhu X, Utano K, Ohta M. Femoral marrow MRI is a non-invasive, non-irradiated and useful tool for detecting bone marrow involvement in non-Hodgkin lymphoma. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology*. 202106; 61(2):78-84.

Nemoto T, Endo S, Isohata N, Takayanagi D, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. Change in the neutrophil-to-lymphocyte ratio during chemotherapy may predict prognosis in patients with advanced or metastatic colorectal cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 202105; 14(5):107.

Isohata N, Nagata K, Utano K, Nozaki R, Nozu S, Kato T, Kijima S, Matsumoto H, Majima K, Ryu Y, Hirayama M, Endo S. Recent trends in the prevalence and distribution of colonic diverticula in Japan evaluated using computed tomography colonography. *World Journal of Gastroenterology*. 202107; 27(27):4441-4452.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 林芳和, 愛澤正人, 歌野健一, 竹澤敬人, 相良裕一, 朱欣, 澁川悟朗, 山本博徳, 富樫一智. AIは何をみて大腸 pT1b を診断しているか? Class Activation Mapping からみた検討. *Gastroenterological Endoscopy* 202106; 63(6):1232-1240.

〔総説等〕

永田浩一, 松岡正樹, 遠藤俊吾, 大平弘正. 特集 大腸癌のスクリーニングとサーベイランスの標準化に向けて 新しい知見から 大腸癌スクリーニングにおける大腸 CT 検査の役割. *Intestine*. 202105; 25(1):64-69.

歌野健一, 富樫一智. 【大腸癌の最近の動向と治療の展望】大腸 CT 検査(CT コロノグラフィー)とカプセル内視鏡. *カレントセラピー*. 202110; 39(10):916-920.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 高柳大輔, 根本鉄太郎, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 【消化器ステント術のすべて】臓器別各論 大腸 悪性大腸狭窄に対するステント治療の現状. *外科*. 202107; 83(8):897-900.

歌野健一, 根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 柳沼佑基, 歌野有香, 富樫一智. 【大腸内視鏡スキルアップ 挿入から診断まで】挿入法スキルアップ 挿入不能例どう対応する? 大腸カプセル内視鏡検査と大腸 CT 検査. *消化器内視鏡*. 202110; 33(10):1553-1557.

見城明, 丸橋繁, 遠藤俊吾, 鈴木弘行. 時代が求める外科医の働き方 特定行為研修を修了した看護師にタスクシフトするための課題と対策. *日本外科学会雑誌*. 202103; 122(2):250-252.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 大腸がん検診のための臨床検査の up to date. 日本臨床検査医学会誌. 202102; 69(2):100-108.

永田浩一, 木島茂喜, 馬嶋健一郎, 遠藤俊吾, 松岡正樹, 大平弘正. 【消化管がん検診・スクリーニングの手引き】(第IV章) 大腸がん検診・スクリーニング 大腸がんスクリーニングにおける大腸CT検査の現状と将来展望. 臨床消化器内科. 202107; 36(8):973-978.

〔症例報告〕

Yaginuma Y, Utano K, Utano Y, Nemoto D, Aizawa M, Matsuida H, Isohata N, Endo S, Togashi K. Diverticular hemorrhage of terminal ileum successfully treated by ultra-selective transcatheter arterial embolization using triaxial system: a case report. Clinical Journal of Gastroenterology. 202104; 14(2):517-521.

研究発表等

〔研究発表〕

Takayanagi D, Nemoto T, Isohata N, Matsuida H, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K, Endo S. Skeletal muscle depletion combined with neutrophil-to-lymphocyte ratio predicts survival of patients with metastatic colorectal cancer receiving palliative chemotherapy. The 30th Biennaial Congress of ISUCRS 2020; 20211112; Yokohama.

浅野奈緒美, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 下痢・嘔吐で発症した虚血性小腸炎の1例. 日本消化器病学会東北支部第210回例会; 20210206; Web. 抄録集. 31.

高橋賢一, 板橋道朗, 山田陽子, 赤木由人, 相澤卓, 江川安紀子, 遠藤俊吾, 小林和世, 船橋公彦, 大村裕子. 第1回消化管ストーマ造設と閉鎖に関する全国アンケート調査 結果報告. 第38回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会; 20210226; 福岡/Web. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 37(1):122.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 鈴木有美. 一時的人工肛門の合併症とその程度に関する考察. 第38回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会; 20210226; 福岡/Web. 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌. 37(1):142.

Matsuida H, Endo S, Isohata N, Nemoto T, Takayanagi D, Oshibe I, Soeta N, Saito T. Ileus and intestinal obstruction secondary to laparoscopic colorectal cancer surgery. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310; 横浜/Web.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 手術リスク評価からみた当院における高齢 high risk 患者の大腸癌治療の現状と取り組み. 第121回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; 千葉/Web. 抄録集. PS-016.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 重症度別にみた急性胆嚢炎の治療経過に

フレイルが及ぼす影響. 第 121 回日本外科学会の学術集会; 20210408; 千葉/Web. 抄録集. WS-04.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 行再発大腸癌に対する集学的アプローチの最先端 当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210408-10; 千葉/Web. 抄録集. WS-13.

遠藤英成, 金澤匡司, 坂本渉, 松本拓郎, 氏家大輔, 芦澤舞, 中島隆宏, 岡山洋和, 藤田正太郎, 門馬智之, 佐瀬善一郎, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. スマートフォンを用いた CT 画像遠隔読影の正確性の検討. 第 121 回日本外科学会定期学術集会; 20210409; 千葉/Web. 抄録集. PS-094-7.

見城明, 遠藤俊吾, 丸橋繁, 鈴木弘行. 特定行為研修修了者を増やしタスクシフトを推進するための課題. 第 121 回日本外科学会の学術集会; 20210409; 千葉/Web. 抄録集. PS-094-8.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針. 第 121 回日本外科学会の学術集会; 20210410; 千葉/Web.

永田浩一, 遠藤俊吾, 大平弘正. 消化器領域における AI 研究の進歩 大腸 CT 検査における大腸腫瘍性病変の人工知能(AI)診断の開発. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A28.

愛澤正人, 歌野健一, 根本大樹, 松井田元, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. チオプリン製剤投与中炎症性腸疾患患者における血球指数は 6-Thioguanine Nucleotides 濃度の surrogate marker になりうるか? (第 2 報). 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A362.

根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 山階武, 林芳和, 富樫一智. 非拡大白色光内視鏡画像を用いた大腸腺腫及び锯齿状病変のコンピュータ支援診断システムの開発. 第 107 回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A363.

篠原裕和, 吉村直樹, 園田光, 酒匂美奈子, 深田雅之, 根本大樹, 福澤誠克, 糸井隆夫. 治性潰瘍性大腸炎に対する新規生物学的製剤ベドリズマブの有効性の検討. 日本消化器病学会関東支部第 364 回例会; 20210424; Web. 抄録集. 29.

根本大樹, 北條洋, 富樫一智. 大腸锯齿状病変に対する内視鏡診断と治療適応 大腸锯齿状病変の病理診断 日豪間の異同に関する検討. 第 101 回消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):768.

愛澤正人, 松本美穂, 富樫一智. 大腸 EMR/ポリペクトミーの現状と課題 非有茎性大腸ポリープ切除後の遅発性出血に対する予防的クリッピングの効果 個々の患者情報に基づくメタ解析. 第 101 回消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):781

歌野健一, 永田浩一, 富樫一智. 大腸内視鏡検査における盲腸到達時間の予測因子: 大腸 CT 検査からみた解析. 第 101 回消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):868.

高畑陽介, 根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 根本鉄太郎, 松井田元, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富

樫一智. 大腸 ESD におけるクリニカルパス逸脱例の検討: 在院日数の短縮は可能か? 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):882.

根本大樹. 早期大腸癌の AI 診断: 症例を中心に. 第 340 回会津消化器病研究会; 20210617; 会津若松.

木村友哉, 根本大樹, 和田淳, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 澁川悟朗. GAVE 出血と H.pylori 既感染のため診断に苦慮した自己免疫性胃炎に伴う悪性貧血の一例. 日本消化器病学会東北支部第 211 回例会; 20210702; Web. 抄録集. 42.

富樫一智. 便潜血陽性者の精密検査法: 内視鏡? 3D-CT? カプセル? 第 59 回日本消化器がん検診学会東北地方会; 20210703; Web.

中島勇貴, 根本大樹, 添田暢俊. LECS、鏡視下手術と内視鏡治療のコラボレーション 術中穿孔なく一括切除しえた表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の経験 当院での工夫. 第 166 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20210703; Web. 抄録集. 43.

高柳大輔, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 松井田元, 富樫一智, 遠藤俊吾. 治癒切除不能・進行再発大腸癌の化学療法における好中球/リンパ球比と骨格筋量減少の組み合わせの意義. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707; 京都/Web. 抄録集. P029-5.

加瀬晃志, 齋藤元伸, 仲野宏, 山田玲央, 芦澤舞, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 河野浩二. EBV 関連胃癌におけるエビジェネティック修飾による ARID1A 発現制御の検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707; 京都/Web. 抄録集. P135-6.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 鈴志野聖子, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌治癒切除後のサーベイランスにおける CEA・CA19-9 の検査精度に関する検討. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210709; 京都/Web. 抄録集. P296-5.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 高柳大輔, 鈴志野聖子, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 人工肛門閉鎖術の工夫 当科における一時的人工肛門閉鎖術の検討と人工肛門早期閉鎖の試み. 第 76 回日本消化器外科学会総会; 20210707-09; 京都/Web. 抄録集. RS3-3.

濱憲輝, 森瀬貴之, 内藤咲貴子, 河野真, 山内芳也, 杉本暁彦, 内田久美子, 班目明, 山口隼, 香川泰之, 篠原裕和, 村松孝洋, 根本大樹, 松本将, 山西文門, 神田遼弥, 福澤誠克, 河合隆, 糸井隆夫. 副腎皮質ステロイド静注療法が有効であった骨髄異形成症候群関連腸炎の 1 例. 日本消化器病学会関東支部第 365 回例会; 20210710; Web. 抄録集. 46.

富樫一智. AI を用いた大腸内視鏡診療、現状における展望と課題. 第 39 回広島早期大腸癌研究会; 20210909; 広島/Web.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本大樹, 根本鉄太郎, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 大腸ステント留置後の科学療法を行った 4 例. 第 9 回大腸ステント安全手技研究会学術集; 20211105; 神戸.

山口隼, 篠原裕和, 根本大樹, 村松孝洋, 鈴木由華, 香川泰之, 松本泰輔, 内田久美子, 小山洋平, 班目明,

森瀬貴之, 杉本暁彦, 河野真, 内藤咲貴子, 福澤誠克, 河合隆, 糸井隆夫. 食道 ESD 術中の非穿孔筋層損傷に対する clipping 縫縮の意義. 第 102 回日本消化器内視鏡学会総会; 20211104-07; 神戸. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.2):2050.

根本鉄太郎, 五十畑則之, 松井田元, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 遠藤俊吾. 切除不能大腸癌症例の化学療法中の好中球／リンパ球比の経時的変化 (若手奨励賞). 第 19 回日本消化器外科学会大会; 20211106; 神戸.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌手術 DST 吻合における縫合不全予測因子の検討. 第 19 回日本消化器外科学会大会; 20211106; 神戸.

中島勇貴, 根本大樹, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 佐久間芽衣, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸 ESD と外科手術の住み分け クリニカルパス逸脱予測因子の検討 日帰り大腸 ESD は可能性か? 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A59.

小嶋幸一郎, 遠藤俊吾, 河村卓二, 松下弘雄, 神山篤史, 桑井寿雄, 齋藤修治, 大田勝也, 岡村修, 齊田芳久. 閉塞性左側大腸癌の予後因子に関する検討～CODOMO study の post-hoc 解析～. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A76.

根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 五十畑則之, 佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 富樫一智. Pocket-creation method による大腸 Salvage ESD の検討. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A78.

歌野健一, 中島勇貴, 根本大樹, 愛澤正人, 佐久間芽衣, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸憩室疾患に伴う諸問題―出血、膿瘍、狭窄、瘻孔― 大腸憩室炎の増悪因子: CT 所見を含めた検討. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A85.

川崎啓祐, 根本大樹, 勝木伸一, 竹澤敬人, 前本遼, 井上健, 芥川剛至, 田中寛人, 佐藤浩一郎, 大森鉄平, 高梨訓博, 宮倉幸幸, 松本主之, 吉田直久, 江崎幹宏, 浦岡俊夫, 加藤博之, 井上雄志, 山本博徳, 富樫一智. 大腸腫瘍内視鏡診断の新たな展開 白色光非拡大内視鏡画像による大腸 T1b 癌のコンピュータ自動診断システムの診断能 病変因子によるサブ解析. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A91.

桑原寛, 班目明, 根本大樹, 福澤誠克, 榎本正統, 石崎哲央, 永川裕一, 勝又健次, 土田明彦. 短期間に多発した潰瘍性大腸炎関連癌/dysplasia の 2 例. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A118.

下地信, 有田宗史, 東博, 愛澤正人, 富樫一智. 鎖肛術後に潰瘍性大腸炎と完全直腸脱を発症した一例. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A121.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本鉄太郎, 佐久間芽衣, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 閉塞性大腸癌に対する術前の口側結腸の評価. 第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A217.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌術後のサーベイ

ランスにおける CEA, CA19-9 の意義. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

見城明, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾. 総会特別企画 12/ブラック労働環境からの脱却: ホワイトサージャリーに向けて チーム医療の推進: 外科医の働き方改革と特定看護師へのタスクシフト. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211119; 東京/Web.

川井大地, 丸橋繁, 鈴木弘行, 遠藤俊吾, 見城明. 総会特別企画 17/ナースと考える外科診療: 外科診療における特定行為研修制度の可能性②. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211120; 東京/Web.

愛澤正人. アダリムマブで寛解導入が得られた難治性潰瘍性大腸炎の 1 例. 第 2 回 Fukushima IBD Forum; 20211201; Web.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 腹腔鏡下に切除した Persistent Descending Mesocolon を伴う S 状結腸癌の 2 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202; 神戸. 日本内視鏡外科学会雑誌. 26(7):MO009-1.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 佐久間芽衣, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステントによる減圧後の腹腔鏡手術に関する検討. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211203; 神戸. 日本内視鏡外科学会雑誌. 26(7):WS25-3.

〔シンポジウム〕

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 閉塞性大腸癌に対する治療戦略 閉塞性大腸癌の占居部位による治療法の検討. 第 57 回日本腹部救急医学会総会; 20210311; 東京/Web. 日本腹部救急医学会雑誌. 41(2):196.

牛込充則, 遠藤俊吾, 榎本俊行, 隅田頼信, 浅井哲, 那須啓一, 大木岳志, 加藤博之, 神山篤史, 斉田芳久. 閉塞性大腸癌に対する治療戦略 stage II/III 閉塞性左側大腸癌に対する手術療法と大腸ステントと経肛門イレウス管による BTS の比較. 第 57 回日本腹部救急医学会総会; 20210311; 東京/Web. 日本腹部救急医学会雑誌. 41(2):197.

愛澤正人, 中島勇貴, 根本大樹, 歌野健一, 富樫一智. チオプリン製剤投与中の炎症性腸疾患患者における 6-Thioguanine Nucleotides 細胞内濃度に影響を与える因子の検討. 第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A68.

根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 郭哲, 朱欣. コンピュータ自動診断による大腸ポリープの検出: full video による性能試験. 第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web.

〔特別講演〕

遠藤俊吾. 大腸ステント留置、世界の動きと日本のこれから CODOMO スタディーから読み解く日本における大腸ステント. Colonic Stenting Webinar; 20210302; Web.

遠藤俊吾. 大腸ステントを考える～予後は大丈夫？化学療法はできるの～多施設共同研究からみる左側閉塞性大腸

癌の治療ストラテジー. 第 57 回日本腹部救急医学会総会学術共催セミナー7; 20210312; Web.

遠藤俊吾. 閉塞性左側大腸癌に対する治療—後ろ向き多施設共同研究の結果. 日本臨床外科学会第 7 回福島県支部学術集会; 20211002; 会津若松/Web.

愛澤正人. 寛解維持を目指したクローン病の治療戦略—ウステキヌマブの有用性の検討—. 会津 IBD カンファレンス; 20211028; 会津若松/Web.

富樫一智. クローン病 肛門部病変診療のポイントと Ustekinumab の適応を考える. Crohn's Disease Hybrid Web seminar; 20211208; Web.

〔その他〕

遠藤俊吾. 特別発言 左側閉塞性大腸癌に対する治療戦略 緊急手術 vs 経肛門的イレウスチューブ vs ステント. 第 33 回日本内視鏡外科学会総会; 20210313; 横浜.

根本大樹. 福島 ESD ハンズオンセミナー2021. 福島 ESD ハンズオンセミナー2021; 20211009; 郡山.

愛澤正人. 当院における IBD 診療において. 株式会社JIMRO 社内研修会; 20211208; 会津若松/Web.

会津医療センター 外科学講座

論 文

〔原 著〕

Muto S, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Ozaki Y, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Suzuki H. CTLA-4 Expression in Tumor-infiltrating Lymphocytes Is Irrelevant to PD-L1 Expression in NSCLC. Anticancer Research. 202112; 41(12):6267-6272.

Higuchi M, Kawamata T, Oshibe I, Soeta N, Saito T, Hojo H, Matsumura Y, Suzuki H. Pathological Complete Response after Immune-Checkpoint Inhibitor Followed by Salvage Surgery for Clinical Stage IV Pulmonary Adenocarcinoma with Continuous Low Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio: A Case Report. Case Reports in Oncology. 202105; 14(2):1124-1133.

Takagi H, Muto S, Yamaguchi H, Mine H, Ozaki Y, Okabe N, Matsumura Y, Shio Y, Suzuki H. Our experience of lung resection in patients who decline blood transfusion for religious reasons. General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 202107; 69(7):1105-1111.

Takagi H, Zhao S, Muto S, Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Yamaguchi H, Mine H, Watanabe M, Ozaki Y, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Kanno R, Aoki M, Tan C, Shimoyama S, Yamazaki S, Kikuchi H, Sakakibara-Konishi J, Oizumi S, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Honjo O, Minami Y, Nishimura M, Dosaka-Akita H, Nakamura K, Inano A, Isobe H, Suzuki H. Delta-like 1 homolog (DLK1) as a possible therapeutic target and its application to radioimmunotherapy using ¹²⁵I-labelled anti-DLK1 antibody in lung cancer models (HOT1801 and FIGHT004). *Lung Cancer*. 202103; 153:134-142.

Yokouchi H, Nishihara H, Harada T, Amano T, Ohkuri T, Yamazaki S, Kikuchi H, Oizumi S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Higuchi M, Honjo O, Minami Y, Watanabe N, Nishimura M, Suzuki H, Dosaka-Akita H, Isobe H. Prognostic significance of OX40⁺ lymphocytes in tumor stroma of surgically resected small-cell lung cancer. *Oncoimmunology*. 202109; 10(1):1971430.

Muto S, Ozaki Y, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Inoue T, Yamaura T, Fukuhara M, Okabe N, Matsumura Y, Hasegawa T, Osugi J, Hoshino M, Higuchi M, Shio Y, Nanamiya H, Imai JI, Isogai T, Watanabe S, Suzuki H. Tumor β -catenin expression is associated with immune evasion in non-small cell lung cancer with high tumor mutation burden. *Oncology Letters*. 202103; 21(3):203.

Matsumura Y, Inomata S, Yamaguchi H, Mine H, Takagi H, Watanabe M, Ozaki Y, Yamaura T, Fukuhara M, Muto S, Okabe N, Hasegawa T, Shio Y, Suzuki H. A patient with ALK-positive lung adenocarcinoma who survived alectinib-refractory postoperative recurrence for 4 years by switching to ceritinib. *Thoracic Cancer*. 202108; 12(15):2225-2228.

Sato N, Kenjo A, Suzushino S, Kimura T, Okada R, Ishigame T, Kofunato Y, Marubashi S. Predicting Post-Hepatectomy Liver Failure Using Intra-Operative Measurement of Indocyanine Green Clearance in Anatomical Hepatectomy. *World Journal of Surgery*. 202112; 45(12):3660-3667.

土佐太郎, 阿部幹, 佐藤直, 鈴木伸康, 阿左見亜矢佳, 小林拓史, 小鹿山陽介, 佐久間秀夫, 寺西寧. 術式決定に苦慮した13歳腭Solid-pseudopapillary neoplasmの1例. *福島医学雑誌*. 202112; 71(3):109-114.

〔総説等〕

樋口光徳, 鈴木弘行. 【呼吸器症候群（第3版）（V）—その他の呼吸器疾患を含めて—】縦隔疾患 その他の縦隔疾患 縦隔腫外造血. 別冊日本臨牀 領域別症候群シリーズ. 202112; No.21:309-312.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 非小細胞肺癌に対する周術期治療としての免疫チェックポイント阻害薬の有用性. *肺癌*. 202112; 61(7):919-923.

〔症例報告〕

橋本重厚, 猪俣りえ, 星ひかり, 齋藤拓朗. コロナ禍における糖尿病レジリエントヘルスケア ICT、IoTを活用

用し、血糖コントロールを良好に保つ. 安全医学. 202108; 18(増刊号):42.

町野翔, 齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗. 噴門側胃切除術後縫合不全治療中の下痢に対しアルギン酸ナトリウム含有流動食の経空腸的投与が有効であった1例. 学会誌 JSPEN. 202111; 3(5):302-307.

佐藤直哉, 岡田良, 見城明, 田辺隼人, 西間木淳, 鈴志野聖子, 月田茂之, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 木村隆, 武藤亮, 島袋充生, 丸橋繁. 本邦における膵臓移植・膵島移植の位置づけ 膵島移植と膵臓移植の現状 膵島移植レシピエント登録の推進に向けた取り組み. 膵臓. 202108; 36(3):A270.

石亀輝英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 胆管癌に対する肝外胆管切除術の検討. 胆道. 202108; 35(3):435.

岡田良, 石亀輝英, 小船戸康英, 渡邊淳一郎, 武藤亮, 鈴志野聖子, 月田茂之, 西間木淳, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下肝切除術の術中出血量に対する考察. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-031.

石亀輝英, 木村隆, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 岡田良, 見城明, 丸橋繁. 組織学的癌遺残(R1)を伴う胆管癌における予後因子の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-033.

土佐太郎, 小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 1cm 以下の非機能性 NET G1/G2 をどうするか? 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-035.

小船戸康英, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 多発性内分泌腫瘍症1型に発生した膵・十二指腸神経内分泌腫瘍の予後 MEN1vs 非MEN1. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-036.

月田茂之, 岡田良, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭体移行部癌に対する至適術式の検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-039.

渡邊淳一郎, 西間木淳, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻に対する取り組み 柿田変法と Blumgart 法の比較. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-043.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 西間木淳, 月田茂之, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 肝細胞と脂肪由来間葉系幹細胞との二層化シートによる効果. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-056.

西間木淳, 小船戸康英, 月田茂之, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 成人に対する先天性胆道拡張症・膵胆管合流異常症の術後成績について. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:PS-082.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯隼人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 癌に対する複合免疫療法の新

展開 外科医でなければならないこと. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:SP-7.

山口光, 松村勇輝, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 武藤哲史, 岡部直行, 塩豊, 樋口光徳, 鈴木弘行. 薬物療法の発展は肺がん外科を変えたか? 複合免疫療法後に病理学的完全寛解を得られた非小細胞肺癌における病理学的、免疫組織学的検討. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:WS-03.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 進行再発大腸癌に対する集学的アプローチの最先端 当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針. 日本外科学会定期学術集会抄録集. 202104; 121 回:WS-13.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. 『がん免疫療法実用化の時代』～あなたが抱く基礎・臨床の課題を皆で考える 2021～ 免疫療法の進歩、現状と課題 腫瘍の微小環境をふまえて. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集. 202105; 25 回:45.

鈴志野聖子, 佐藤直哉, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 小船戸康英, 石亀輝英, 岡田良, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 脂肪由来間葉系幹細胞を用いた二層化肝細胞シートによる皮下移植の成績. 日本消化器外科学会総会. 202107; 76 回:P263-2.

中島勇貴, 根本大樹, 添田暢俊. LECS、鏡視下手術と内視鏡治療のコラボレーション 術中穿孔なく一括切除しえた表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の経験 当院での工夫. 日本消化器内視鏡学会東北支部例会. 202107; 166 回:43.

月田茂之, 岡田良, 藤井あゆみ, 西間木淳, 鈴志野聖子, 武藤亮, 渡邊淳一郎, 佐藤直哉, 小船戸康英, 石亀輝英, 木村隆, 見城明, 丸橋繁. 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の安全な導入. 日本内視鏡外科学会雑誌. 202112; 26(7):MO091-2.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳. 急性胆嚢炎治療にフレイルの及ぼす影響. 日本老年医学会雑誌. 202110; 58(4):643.

鈴木弘行, 猪俣頌, 山口光, 峯勇人, 高木玄教, 尾崎有紀, 渡部晶之, 井上卓哉, 福原光朗, 山浦匠, 武藤哲史, 岡部直行, 松村勇輝, 長谷川剛生, 大杉純, 星野実加, 樋口光徳, 塩豊. サルベージ手術の適応と実際 肺癌の微小環境からみた免疫チェックポイント阻害薬治療後サルベージ手術の有効性. 肺癌. 202110; 61(6):504.

原田敏之, 横内浩, 山崎成夫, 浦本秀隆, 菊池創, 秋江研志, 菅谷文子, 藤田結花, 高村圭, 小島哲弥, 樋口光徳, 本庄統, 南幸範, 渡部直己, 大泉聡史, 西村正治, 鈴木弘行, 秋田弘俊, 磯部宏. 小細胞肺癌患者の予後予測因子としての OX40 陽性リンパ球の重要性. 肺癌. 202110; 61(6):679.

〔その他〕

樋口光徳. 肺がんの治療法について. 民友コラム (会津版) . 福島民友 (新聞) . 20210919.

樋口光徳. 当センター診療科のご紹介 vol.4 呼吸器外科. 会津医療センターニュースレター第 28 号. 202108.

著 書・訳 書

樋口光徳, 鈴木弘行. 急性膿胸. In: 日本呼吸器外科学会, 呼吸器外科専門医合同委員会 編. 呼吸器外科テキスト 改訂第2版. 東京: 南江堂; 202104. p.419-423.

研究発表等

〔研究発表〕

Matsuida H, Endo S, Isohata N, Nemoto T, Takayanagi D, Oshibe I, Soeta N, Saito T. Ileus and intestinal obstruction secondary to laparoscopic colorectal cancer surgery. 第33回日本内視鏡外科学会総会; 20210310; 横浜/Web.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 手術リスク評価からみた当院における高齢者 high risk 患者の大腸癌治療の現状と取り組み. 第121回日本外科学会の学術集会; 20210408; 千葉/Web. 抄録集. PS-016.

齋藤拓朗, 添田暢俊, 押部郁朗, 樋口光徳, 五十畑則之, 遠藤俊吾. 重症度別にみた急性胆嚢炎の治療経過にフレイルが及ぼす影響. 第121回日本外科学会の学術集会; 20210408; 千葉/Web. 抄録集. WS-04.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 富樫一智, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 当科における閉塞性大腸癌に対する治療方針. 第121回日本外科学会の学術集会; 20210410; 千葉/Web.

樋口光徳, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 鈴木弘行. 術後の気管支瘻を Dumon stent で閉鎖し, 呼吸不全から回復し得た1例. 第38回日本呼吸器外科学会学術集会; 20210520-21; 長崎/Web. 日本呼吸器外科学会雑誌. 35(3):MO32-7.

平野雅, 山中克郎, 山元勝悟, 鈴志野聖子. マクロ CK 血症を合併した進行胃がんの1例. 日本内科学会第223回東北地方会; 20210619; Web.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 富樫一智, 鈴志野聖子, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌治癒切除後のサーベイランスにおける CEA・CA19-9 の検査精度に関する検討. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210709; 京都/Web. 抄録集. P296-5.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 高柳大輔, 鈴志野聖子, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 人工肛門閉鎖術の工夫 当科における一時的人工肛門閉鎖術の検討と人工肛門早期閉鎖の試み. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707; 京都/Web. 抄録集. RS3-3.

高柳大輔, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 松井田元, 富樫一智, 遠藤俊吾. 治癒切除不能・進行再発大腸癌の化学療法における好中球／リンパ球比と骨格筋量減少の組み合わせの意義. 第76回日本消化器外科学会総会; 20210707; 京都/Web.

根本鉄太郎, 五十畑則之, 松井田元, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗, 遠藤俊吾. 切除不能大腸癌症例の化学療法中の好中球／リンパ球比の経時的変化 (若手奨励賞). 第 19 回日本消化器外科学会大会; 20211106; 神戸.

松井田元, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌手術 DST 吻合における縫合不全予測因子の検討. 第 19 回日本消化器外科学会大会; 20211106; 神戸.

齋藤拓朗. 消化器疾患に関する診断及び治療の発展. 第 342 回会津地区消化器病研究会; 20211109; 会津若松.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 大腸癌術後のサーベイランスにおける CEA, CA19-9 の意義. 第 83 回日本臨床外科学会総会; 20211118; 東京/Web.

山口光. 非小細胞肺癌における β -catenin の発言と免疫チェックポイント阻害薬による治療効果. 第 62 回日本肺癌学会学術集会; 20211126-28; 横浜.

樋口光徳, 永田毅, 橋本潤, 鈴木弘行. 肺癌検診への人口知能(AI)実用化に向けた研究. 第 4 回福島テックプログラミングランプリ; 20211127; 郡山.

佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 五十畑則之, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 腹腔鏡下に切除した Persistent Descending Mesocolon を伴う S 状結腸癌の 2 例. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211202; 神戸. 日本内視鏡外科学会雑誌. 26(7):MO009-1.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 佐久間芽衣, 根本鉄太郎, 鈴志野聖子, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 閉塞性大腸癌に対する大腸ステントによる減圧後の腹腔鏡手術に関する検討. 第 34 回日本内視鏡外科学会総会; 20211203; 神戸. 日本内視鏡外科学会雑誌. 26(7):WS25-3.

山口光, 武藤哲史, 猪亦頌, 渡部晶之, 尾崎有紀, 岡部直行, 松村勇輝, 塩豊, 鈴木弘行. 自然消退後に再増大を認めた肺扁平上皮癌の 1 切除例～腫瘍微小環境からみた機序の考察～. 第 34 回日本バイオセラピー学会学術集会総会; 20211216-17; 和歌山.

〔シンポジウム〕

樋口光徳, 永田毅, 佐野碧, 岩淵耕平, 井高貴之, 山崎学, 鈴木弘行. 会長企画シンポジウム Big-data(AI 含む)時代の呼吸器診療 AI を活用した肺癌検診画像支援. 第 61 回日本呼吸器学会学術集会; 20210423-25; 東京. 日本呼吸器学会誌. 10(増刊):44.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本鉄太郎, 押部郁朗, 添田暢俊, 齋藤拓朗. 閉塞性大腸癌の占居部位による治療法の検討. 第 57 回日本腹部救急医学会総会; 20210311; 東京/Web. 日本腹部救急医学会雑誌. 41(2):196.

〔その他〕

樋口光徳. Opening remarks. Fukushima Lung Cancer Symposium; 20210929; 福島/Web.

齋藤拓朗. Closing Remarks. テセントリク／アバスタチン HCC 適応拡大 1 周年記念講演会 in 会津若松; 20211008; 会津若松.

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

論 文

〔原 著〕

Tominaga R, Yamazaki S, Fukuma S, Goto R, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno SI. Association between single limb standing test results and healthcare costs among community-dwelling older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics. 202101; 92:104256.

Watanabe K, Doi T, Inoue H, Sugawara R, Arai Y, Shirado O, Yamazaki K, Uno K, Yanagida H, Kato S, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Oshima Y, Tanaka S, Takeshita K. Associations Between Curve Severity and Revised Scoliosis Research Society-22 and Scoliosis Japanese Questionnaire-27 Scores in Female Patients with Adolescent Idiopathic Scoliosis: a multicenter, cross-sectional study. BMC Musculoskeletal Disorders. 202103; 22(1):312.

Tominaga R, Kurita N, Kokubun Y, Nikaido T, Sekiguchi M, Otani K, Iwabuchi M, Shirado O, Fukuhara S, Konno S. Dose-response relationship between spino-pelvic alignment determined by sagittal modifiers and back pain-specific quality of life. European Spine Journal. 202110; 30(10):3019-3027.

白土修. 臨床現場に即した効果的な思春期特発性側弯症への装具治療について（装具治療は約 20-25° を目安に症例ごとに検討して開始すべきである）. 日本医事新報. 202101; (5049):45.

佐藤俊樹, 白土修, 岩渕真澄, 佐久間洋太. 頸椎前方固定術後の晩期深部感染により気管切開を要した 1 例. 日本脊髄障害医学会誌. 202103; 34(1):106-108.

佐久間洋太, 白土修, 岩渕真澄. 成人脊柱変形に対する矯正固定術後、ロッド折損と同高位の化膿性脊椎炎を来し治療に難渋した 1 例. 日本脊髄障害医学会誌. 202103; 34(1):110-112.

〔総説等〕

白土修. ここが変わった！ 診療ガイドライン 腰痛のガイドライン. きょうの健康 7 月号. 202107; 82-87.

遠藤達矢, 白土修. ロコモティブシンドロームの現況 II. 病態・診断 5. 立位姿勢とロコモ. 整形外科. 202105; 72(6): 547-551.

〔症例報告〕

猪股洋平, 岩渕真澄, 富永亮二, 高橋洋二郎, 波入雄大, 白土修. 腰椎分離症の癒合後に分離が再発し、椎体間固定術を行った 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202106; 64(1):132.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202106; 64(1):184.

佐久間洋太, 岩渕真澄, 鈴木駿介, 佐藤俊樹, 富永亮司, 白土修. L5 神経根症状を呈した馬尾腫瘍の 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 202106; 64(1):196.

白土修. 脊椎骨折やその合併症の予防 装具療法の位置づけ 脊椎骨折や合併症の予防: 装具療法の正しい考え方. 日本義肢装具学会誌. 202110; 37(4):262-267.

青田恵郎, 大橋寛憲, 佐藤法義, 荒文博, 山岸栄紀, 新田夢鷹, 草野敬悟, 波入雄大, 紺野慎一. 低侵襲 THA の手術手技と今後の発展 後上方系アプローチにおける低侵襲性 DSA のピットフォールと将来性. 日本整形外科学会雑誌. 202103; 95(2):S33.

〔その他〕

岩渕真澄. 医療センター便り. 福島県立医科大学整形外科同門会. 202111; :29-30.

著 書・訳 書

岩渕真澄. 17. 脊椎髄疾患 脊髄くも膜嚢腫 In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一. 今日の整形外科治療指針 第 8 版. 東京: 医学書院; 202109. p.567-568.

岩渕真澄. 18. 頸椎部の疾患 頸椎の解剖. In: 土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 岩崎倫政, 松田秀一. 今日の整形外科治療指針 第 8 版. 東京: 医学書院; 202109. p.612-614.

白土修. 4. 脊椎疾患 (脊柱側弯症装具を含む) . In: 赤居正美, 伊藤利之, 緒方直史, 芳賀信彦. 義肢装具のチェックポイント 第 9 版. 東京: 医学書院; 202108. p.280-289.

白土修. 早期発見, 早期治療が望まれる 側弯症の診断と治療. 最新治療データで探す名医のいる病院 2022. 東京: 医療新聞社; 202111. p.169.

遠藤達矢, 白土修 (執筆委員) . In: 日本整形外科学会, 日本運動器科学会 監修. ロコモティブシンドローム診療ガイド 2021. 東京: 文光堂; 202105.

研究発表等

〔研究発表〕

佐久間洋太, 岩渕真澄, 鈴木駿介, 佐藤俊樹, 富永亮司, 白土修. L5 神経根症を呈した馬尾腫瘍の一例. 第 31 回東北脊椎外科研究会; 20210123; 新潟Web.

波入雄大, 大谷晃司, 半田隼一, 小林洋, 加藤欽志, 渡邊和之, 二階堂琢也, 矢吹省司, 紺野慎一. 頸髄症を呈したアルカプトン尿症性脊椎症に対して椎弓形成術を施行した一例. 第 31 回東北脊椎外科研究会; 20210123; Web.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 成人脊柱変形患者における脊柱起立筋活動の特徴 立体体感前屈運動時の屈曲弛緩比率を用いた検討. 第 11 回日本成人脊柱変形学会; 20210319-20; 盛岡.

遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 佐久間洋太, 伊藤俊一, 白土修. 腰椎変性疾患に対する除圧術と除圧固定術の術後経過 JOABPEQ を用いた術後 2 年成績. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 20210422-24; 京都.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 小俣純一, 三浦拓也, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 家庭用ビデオカメラを用いた成人脊柱変形患者の動的アライメント評価. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 20210422-24; 京都.

三浦拓也, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 遠藤達矢, 小俣純一, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 腰部脊柱管狭窄症患者の術前運動学的因子は、術後 QOL の改善を予測可能である ODI の MCID を用いた後ろ向きコホート研究. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 20210422-24; 京都.

佐久間洋太. L5 神経根症状を呈した馬尾腫瘍の一例. 第 10 回光が丘会津会; 20210430; 会津若松.

佐藤圭汰. 運動療法が骨粗鬆症性変性骨折を含む成人脊柱変形患者の QOL を改善させるか否かを予測することは可能か? 第 4 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20210625; 会津若松.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 遠藤達矢, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 成人脊柱変形患者の術前股関節機能は、術後 Rod fractures の危険因子となる. 第 11 回日本成人脊柱変形学会; 20210911-12; 盛岡.

庄司亮平, 伊藤俊一, 遠藤達矢, 富永亮司, 半谷智辰, 佐藤圭汰, 遠藤浩一, 岩渕真澄, 白土修. 超音波エラストグラフィを用いた坐骨神経硬度測定 of 検者内信頼性の検討 ROI 法とトレース法を用いた検討. 第 39 回東北理学療法学術大会; 20210911-12; Web.

佐久間洋太, 白土修, 岩渕真澄, 富永亮司, 波入雄大, 田口浩子. 多発性骨髄腫による軸椎病的骨折に対する椎体形成術; O-arm ナビゲーションの応用. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会; 20211001-02; 名古屋 Web.

波入雄大, 白土修. 出生時 Pierre Robin 症候群と診断された症候性側弯症の治療経験. 会津整形外科医会学術講演会; 20211013; 会津若松.

遠藤達矢, 伊藤俊一, 佐藤圭汰, 半谷智辰, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 腰痛とロコモティブシンドローム; 運動教室受講者の体幹機能に着目した経過観察研究. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022; 東京/Web.

佐藤圭汰, 伊藤俊一, 遠藤達矢, 三浦拓也, 富永亮司, 岩渕真澄, 白土修. 運動療法が成人脊柱変形患者の QOL を改善させるか否かを予測することは可能か? 「うつぶせテスト」の紹介とその有効性. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

佐藤圭汰, 岩渕真澄, 佐久間洋太, 白土修. 頸部伸展筋力は頸椎椎弓形成術後の後弯発生危険因子となり得る:

後方視的観察研究. 第 56 回日本脊髄障害医学会; 20211118-19; Web.

白土修. 慢性腰痛の治療戦略. ツートラム錠新発売記念学術講演会; 20211125; Web.

岩渕真澄. OSL 連携セミナー ～多職種で行う骨粗鬆症診療～. OSL 連携セミナー; 20211201; 会津若松.

白土修. スポーツによる脊椎の障害と外傷 こどもから大人まで. 会津医学会学術講演会; 20211206; 会津若松.

〔シンポジウム〕

白土修. 本邦における腰椎疾患診療ガイドラインの update 「新しい診療ガイドラインに基づく腰痛診療 腰痛診療ガイドライン 2019(改訂第 2 版)の紹介と実践」. 第 29 回日本腰痛学会; 20211022-23; 東京/Web.

岩渕真澄 (座長, ファシリテーター). FLS(骨折リエゾンサービス)開始のプロセスと活動状況. FLS Start Up Seminar; 20210707; Web.

〔特別講演〕

岩渕真澄. 整形外科単科での限界、骨粗鬆症診療における多職種・多科・地域連携の可能性. 第 31 回腰痛シンポジウム; 20210227; 会津若松/Web.

白土修. 新しい腰痛診療ガイドライン 2019 に基づく腰痛診療. 第 50 回日本脊椎椎髄病学会学術集会; 20210424; 京都.

白土修. 腰痛診療における red flags の留意点 腰痛診療ガイドライン 2019 (改訂第二版) を基に. 腰痛診療ウェブセミナー; 20210514; 郡山.

岩渕真澄. 慢性腰痛の病態および治療 実臨床から. 塩野義製薬 MR 社内研修会; 20210611; 会津若松.

佐久間洋太. 整形外科が診る疾患. 旭化成ファーマ株式会社社内勉強会; 20210618; 会津若松.

佐久間洋太. 頸椎黄色靱帯石灰化症の一例. 整形外科医会学術講演会; 20210719; 会津若松.

岩渕真澄. 腰椎・大腿骨骨密度測定的重要性と骨粗鬆症地域連携について. AIZU DXA Symposium; 20210804; 会津若松.

岩渕真澄. 骨粗鬆症の最新治療 Anabolic agent の使用法を含めて. 会津若松医師会学術講演会; 20210908; 会津若松.

岩渕真澄. 骨粗鬆症に対する薬物療法 当院における骨粗鬆症リエゾンサービスを含めて. 会津病院薬剤師会講演会; 20211027; 会津若松.

岩渕真澄. 骨粗鬆症に対する治療と予防 会津医療センターにおける骨粗鬆症専門ケアチームの活動を含めて. Macnab Memorial Lecture; 20211127; 郡山.

〔招待講演〕

白土修. 成人脊柱変形に対する運動療法 その理論的根拠と実際. 第 11 回日本成人脊柱変形学会; 20210319-20; Web.

白土修. 腰痛症に対する包括的治療 新しい「腰痛診療ガイドライン 2019(改定第二版)」を踏まえて. 北海道臨床整形外科医会創立 50 周年記念学術講演会; 20210403; 札幌.

〔その他〕

白土修. 第 5 回 今日から始める腰痛対策 1 こんなことはありませんか?腰痛リスクチェック! 安田生命グループ 総合情報サイト 介護の広場; 20210221; Web.

岩瀬真澄(座長). 骨粗鬆症治療のトピックとピットフォール. 第 4 回会津骨粗鬆症連携フォーラム; 20210625; 会津若松.

白土修. オープニングリマックス. AIZU DXA Symposium; 20210804; 会津若松.

白土修. MM 疾患啓発 2021 整形外科向け e-Detail 動画. セルジーン株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社; 202110; Web.

白土修(座長). 脊柱変形に対する新たなアプローチ. 会津整形外科医会学術講演会; 20211013; 会津若松.

白土修(座長). 一般演題 口演 21 脊髄 4. 第 36 回日本整形外科学会; 20211014; 伊勢/Web.

遠藤達矢. 福島県立医科大学会津医療センターにおける OLS 活動と FLS チェックリスト導入 理学療法士としての関わり. 会津医学会学術講演会 会津医科歯科連携の会; 20211118; 会津若松.

白土修(座長). 明日へつなぐための脊髄損傷急性期治療～リハビリや痛みも含めて～. 第 6 回会津リハビリテーションフォーラム; 20211217; 会津若松.

会津医療センター 耳鼻咽喉科学講座

論 文

〔原 著〕

小川洋. 【先天性サイトメガロウイルス感染症と難聴－診断・予防・治療－】先天性サイトメガロウイルス感染の

出生後診断. ENTONI. 202108; (261):31-36.

小川洋. 【チャートでみる耳鼻咽喉科診療】診断から治療へ 耳科領域 耳介の炎症. JOHNS. 202109; 37(9):1027-1031.

小川洋. 耳科手術 副損傷の予防と対応 鼓室形成術. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報. 202108; 124(8):1171-1178.

研究発表等

〔研究発表〕

小川洋. アレルギー性鼻炎治療. 田辺三菱製薬 講師招聘勉強会; 20210125; 会津若松.

小川洋. 鼓膜穿孔の閉鎖方法. ノーベルファーマ 講師招聘社内研修会; 20210528; 福島.

小川洋. Baha Power の使用が聴覚補償に効果的であった両側耳硬化症手術症例. 第 28 回福島県耳鼻咽喉科臨床懇話会; 20210904; 郡山/Web.

小川洋. 内科外来での他科診療. 第 34 回日本臨床内医科医学会; 20210920; 郡山/Web.

〔特別講演〕

小川洋. アレルギー性鼻炎に対する薬剤の使用法について 使用経験からの考察. 第 3 回栃木県北アレルギー疾患研究会; 20210203; 栃木.

会津医療センター 麻酔科学講座

論文

〔原 著〕

Ogawa N, Nakajima S, Tamada K, Yokoue N, Tachibana H, Okazawa M, Oyama T, Abe H, Yamazaki H, Yoshimori A, Sato A, Kamiya T, Yokomizo T, Uchiumi F, Abe T, Tanuma SI. Trimebutine suppresses Toll-like receptor 2/4/7/8/9 signaling pathways in macrophages. Archives of Biochemistry and Biophysics. 202110; 711:109029.

Sato A, Rahman NIA, Shimizu A, Ogita H. Cell-to-cell contact-mediated regulation of tumor behavior in the

tumor microenvironment. *Cancer Science*. 202110; 112(10):4005-4012.

Maruta S, Usami K, Tajiri K, Otani M, Hiraya D, Watabe H, Hoshi T, Sato A, Ieda M. Vasospastic angina in a chronic myeloid leukemia patient treated with nilotinib. *Cardio-Oncology*. 202108; 7(1):31.

Hiraya D, Sato A, Hoshi T, Sakai S, Watabe H, Ieda M. Additional Effect of Coronary High-Intensity Plaque on T1-Weighted Magnetic Resonance Imaging with Circulating Malondialdehyde-Modified Low-Density Lipoprotein on Cardiac Events. *Circulation Journal*. 202110; 85(11):2032-2039.

Kato H, Watanabe H, Koike A, Wu L, Hayashi K, Konno H, Machino T, Nishi I, Sato A, Kawamoto H, Aonuma K, Sankai Y, Ieda M. Effects of Cardiac Rehabilitation with Lumbar-Type Hybrid Assistive Limb on Muscle Strength in Patients with Chronic Heart Failure - A Randomized Controlled Trial. *Circulation Journal*. 202112; 86(1):60-67.

Xu D, Murakoshi N, Tajiri K, Duo F, Okabe Y, Murakata Y, Yuan Z, Li S, Aonuma K, Song Z, Shimoda Y, Mori H, Sato A, Nogami A, Aonuma K, Ieda M. Xanthine oxidase inhibitor febuxostat reduces atrial fibrillation susceptibility by inhibition of oxidized CaMKII in Dahl salt-sensitive rats. *Clinical Science*. 202110; 135(20):2409-2422.

Machino T, Sato A, Murakoshi N, Ieda M. Phase I investigator-initiated study of the safety of MTC001 in patients with chronic ischemic heart failure. *Medicine*. 202112; 100(51):e28372.

Sato A, Ogino Y, Tanuma SI, Uchiyama F. Human microRNA hsa-miR-15b-5p targets the RNA template component of the RNA-dependent RNA polymerase structure in severe acute respiratory syndrome coronavirus 2. *Nucleosides, Nucleotides & Nucleic Acids*. 2021; 40(8):790-797.

会津医療センター 臨床医学部門

論 文

〔原 著〕

Guo Z, Nemoto D, Zhu X, Li Q, Aizawa M, Utano K, Isohata N, Endo S, Kawarai A, Togashi K. Polyp detection algorithm can detect small polyps: Ex vivo reading test compared with endoscopists. *Digestive Endoscopy*. 202101; 33(1):162-169.

Ikeda S, Tsunoda S, Koyama D, Suzuki M, Sukegawa M, Misawa K, Hojo H, Zhu X, Utano K, Ohta M. Femoral marrow MRI is a non-invasive, non-irradiated and useful tool for detecting bone marrow involvement in non-Hodgkin lymphoma. *Journal of Clinical and Experimental Hematopathology*. 202106; 61(2):78-84.

Nemoto T, Endo S, Isohata N, Takayanagi D, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. Change in the neutrophil-to-lymphocyte ratio during chemotherapy may predict prognosis in patients with advanced or metastatic colorectal cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 202105; 14(5):107.

Isohata N, Nagata K, Utano K, Nozaki R, Nozu S, Kato T, Kijima S, Matsumoto H, Majima K, Ryu Y, Hirayama M, Endo S. Recent trends in the prevalence and distribution of colonic diverticula in Japan evaluated using computed tomography colonography. *World Journal of Gastroenterology*. 202107; 27(27):4441-4452.

中島勇貴, 根本大樹, 勝木伸一, 林芳和, 愛澤正人, 歌野健一, 竹澤敬人, 相良裕一, 朱欣, 澁川悟朗, 山本博徳, 富樫一智. AIは何をみて大腸pT1bを診断しているか? Class Activation Mappingからみた検討. *Gastroenterological Endoscopy 日本消化器内視鏡学会雑誌*. 202106; 63(6):1232-1240.

〔総説等〕

歌野健一. 【診療科と連携して…エキスパートが学んだこと, そして伝えたいこと】消化管 小腸・大腸疾患の鑑別診断. 画像診断. 202105; 41(7):726-736.

歌野健一, 富樫一智. 【大腸癌の最近の動向と治療の展望】大腸CT検査(CTコロノグラフィー)とカプセル内視鏡. カレントセラピー. 202110; 39(10):916-920.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 高柳大輔, 根本鉄太郎, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 【消化器ステント術のすべて】臓器別各論 大腸 悪性大腸狭窄に対するステント治療の現状. 外科. 202107; 83(8):897-900.

歌野健一, 根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 柳沼佑基, 歌野有香, 富樫一智. 【大腸内視鏡スキルアップ-挿入から診断まで】挿入法スキルアップ 挿入不能例どう対応する? 大腸カプセル内視鏡検査と大腸CT検査. 消化器内視鏡. 202110; 33(10):1553-1557.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 松井田元, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 大腸がん検診のための臨床検査の up to date. *日本臨床検査医学会誌*. 202102; 69(2):100-108.

〔症例報告〕

Yaginuma Y, Utano K, Utano Y, Nemoto D, Aizawa M, Matsuida H, Isohata N, Endo S, Togashi K. Diverticular hemorrhage of terminal ileum successfully treated by ultra-selective transcatheter arterial embolization using triaxial system: a case report. *Clinical Journal of Gastroenterology*. 202104; 14(2):517-521.

研究発表等

〔研究発表〕

浅野奈緒美, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 下痢・嘔吐で発症した虚血性小腸炎の1例. 日本消化器病学会東北支部第210回例会; 20210206; Web. 抄録集. 31.

愛澤正人, 歌野健一, 根本大樹, 松井田元, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. チオプリン製剤投与中炎症性腸疾患患者における血球指数は6-Thioguanine Nucleotides 濃度の surrogate marker になりうるか? (第2報). 第107回日本消化器病学会総会; 20210415-17; 東京/Web. 日本消化器病学会雑誌. 118(臨増総会):A362.

高畑陽介, 根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 根本鉄太郎, 松井田元, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸ESDにおけるクリニカルパス逸脱例の検討: 在院日数の短縮は可能か? 第101回日本消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島/Web. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):882.

木村友哉, 根本大樹, 和田淳, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智, 澁川悟朗. GAVE出血とH.pylori 既感染のため診断に苦慮した自己免疫性胃炎に伴う悪性貧血の一例. 日本消化器病学会東北支部第211回例会; 20210702; Web. 抄録集. 42.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本大樹, 根本鉄太郎, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 大腸ステント留置後の科学療法を行った4例. 第9回大腸ステント安全手技研究会学術集会; 20211105; 神戸/Web.

中島勇貴, 根本大樹, 高畑陽介, 愛澤正人, 歌野健一, 佐久間芽衣, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸ESDと外科手術の住み分け クリニカルパス逸脱予測因子の検討 日帰り大腸ESDは可能性か? 第76回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A59.

根本大樹, 愛澤正人, 中島勇貴, 歌野健一, 五十畑則之, 佐久間芽衣, 遠藤俊吾, 富樫一智. Pocket-creation methodによる大腸Salvage ESDの検討. 第76回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211112; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A78.

歌野健一, 中島勇貴, 根本大樹, 愛澤正人, 佐久間芽衣, 五十畑則之, 遠藤俊吾, 富樫一智. 大腸憩室炎の増悪因子: CT所見を含めた検討. 第76回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌; 74(9):A85.

五十畑則之, 遠藤俊吾, 根本鉄太郎, 佐久間芽衣, 根本大樹, 愛澤正人, 歌野健一, 富樫一智. 閉塞性大腸癌に対する術前の口側結腸の評価. 第76回日本大腸肛門病学会学術集会; 20211113; 広島/Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A217.

〔シンポジウム〕

歌野健一, 永田浩一, 富樫一智. 大腸内視鏡検査における盲腸到達時間の予測因子: 大腸CT検査からみた解析. 第101回消化器内視鏡学会総会; 20210514; 広島. Gastroenterological Endoscopy. 63(Suppl.1):868.

愛澤正人, 中島勇貴, 根本大樹, 歌野健一, 富樫一智. チオプリン製剤投与中の炎症性腸疾患患者における6-Thioguanine Nucleotides 細胞内濃度に影響を与える因子の検討. 第39回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web. 日本大腸肛門病学会雑誌. 74(9):A68.

根本大樹, 中島勇貴, 愛澤正人, 歌野健一, 郭哲, 朱欣. コンピュータ自動診断による大腸ポリープの検出 : full video による性能試験. 第 39 回日本大腸検査学会総会; 20211001-02; Web.

〔特別講演〕

歌野健一. アフタヌーンセミナー 大腸 CT 検査における CT colonography Reporting and Data system(C-RADS)の妥当性. 第 28 回日本 CT 検診学会学術集会; 20210221; Web.

歌野健一. 大腸癌と大腸 CT の現状. 北陸画像診断勉強会; 20211106; Web.

Ⅱ 受賞學術賞一覽

生化学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	シグナル伝達医学研究 開センター	シグナル伝達医学研究 開センター若手道場 最優秀賞	c-Srcを介したKIF1Cのリン酸化は浸潤突起の伸 長・成熟を制御する	佐事武, 西田満, 遠藤光 晴, 岡田康志, 南康博

免疫学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本補体学会	第57回日本補体学会奨励賞	MASP-3の活性化におけるレクチン経路の認識分子 の役割	草刈浩平

基礎病理学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	Asia Oceania Human Proteome Organisation	Agilent technology award	Surfaceome profiling of ovarian cancer ascites tumor cells for personalized immunotherapy	Kobayashi M
2021	日本プロテオーム学会	A0HUP0 Presentation Award	Surfaceome profiling of ovarian cancer ascites tumor cells for personalized immunotherapy	小林信
2021	日本病理学会	第110回日本病理学会総会 奨励賞	細胞間接着と核内受容体の連関による細胞制御機 構の解明と新規がん治療への展開	杉本幸太郎

循環器内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	福島医学会	令和2年度 福島医学会賞	心房細動アブレーションに伴う食道関連合併症のメカニズムより安全な治療を目指してー	金城貴士
2021	福島医学会	令和2年度 福島医学会学術奨励賞	心不全に伴う頻脈性不整脈に対する腎交感神経除神経の有用性	山田慎哉
2021	第172回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 部門 優秀賞	拡張型心筋症における血液細胞のエピジェネティックな変化：FKBP5遺伝子のDNAメチル化の意義	富田湧介
2021	第172回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 部門 優秀賞	高度の冠動脈石灰化を伴う急性冠症候群をきたした偽性偽性副甲状腺機能低下症の一例	遠藤圭一郎
2021	第173回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 部門 最優秀賞	心不全患者における心臓-肝臓連関の病態評価と肝臓由来ホルモン・ヘパトカインの意義	大原妃美佳
2021	第173回日本循環器学会 東北地方会	Young Investigator's Award (YIA) 部門 優秀賞	慢性血栓性肺高血圧症を合併し肺動脈バルーン拡張術が著効したG6PD異常症の一例	佐久間裕也
2021	第28回日本血管生物医学 会学術集会	YIA finalist	Crucial role of JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm on the development of aortic aneurysm	横川哲朗

2021	第37回国際心臓研究学会 日本分会	CVMW2020心血管代謝週間 Award	Best Presentation	Clonal hematopoiesis with JAK2V617F promotes pulmonary hypertension through ALK1	君島勇輔
2021	第10回日本循環器学会	循環器臨床研究奨励賞	症例報告部門 優秀賞	Subacute constrictive pericarditis postcardiac surgery evaluated by ¹⁸ F- fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging	喜古崇豊
2021	American Heart Association Scientific Sessions 2021	Council on Cardiopulmonary, Critical Care, Perioperative and Resuscitation Junior Investigator Travel Grant		Proteomic signature of right ventricular failure in pulmonary arterial hypertension	横川哲朗

血液内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	第491回福島医学会学術 研究集会	記念メダル授与	急性骨髄性白血病（AML）治療成績のさらなる向 上を目指して	池添隆之
2021	福島県立医科大学	令和3年度福島県立医科大学附属病院 施者表彰	治療成績のさらなる向 上を目指して	木村哲

リウマチ膠原病内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本リウマチ学会	第65回日本リウマチ学会総会・学術集会、JCR2021国際ワークショップ優秀演題賞（JCR 2021 ICW Excellent Abstract Award）	Role of T cell immunoglobulin and mucin domain-3 (TIM-3) in determining clinical phenotype of RA（関節リウマチの活動性及び進行性関節障害とTIM-3との関係）	松本聖生，藤田雄也，浅野智之，松岡直紀，天目純平，佐藤秀三，古谷牧子，渡辺浩志，右田清志

呼吸器内科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	New Communications Inc	Albert Nelson Marquis Lifetime Achievement Award		Tanino Y
2021	福島医学会	福島医学会賞	細胞外マトリックスに着目した難治性肺疾患の病態解明と治療戦略への展開	谷野功典

消化管外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	American Association for Cancer Research (AACR)（米国癌学会）	American Association for Cancer Research (AACR)（米国癌学会） The Best of The AACR Journals 2021	miRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1 (miRNA-148a-3p)はPD-L1を介してミスマッチ修復欠損大腸癌における免疫抑制的微小環境を制御する	芦澤舞，岡山洋和，石亀輝英，Aung Kyi Thar Min，齋藤勝治，氏家大輔，村上祐子，菊池智宏，中山裕子，野田勝，多田武志，遠藤久仁，藤田正太郎，坂本涉，齋藤元伸，佐瀬善一郎，門馬智之，大木進司，三村耕作，河野浩二

2021	免疫外科研究会	第42回癌免疫外科研究会奨励賞	dMMR大腸癌におけるTn抗原の発現と免疫抑制	松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二
2021	日本癌治療学会	第59回日本癌治療学会学術集会 優秀演題	食道扁平上皮癌でのCAF関連分子の発現は予後に関連する	菅家康之, 山内直人, 齋藤勝治, 岡山洋和, 山田匠希, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺 洋平, 齋藤元伸, 三佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 大木進司, 橋本優子, 河野浩二

肝胆脾・移植外科科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会)	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会) The Best of The AACR Journals 2021	miRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1 (miRNA-148a-3pはPD-L1を介してミスマッチ修復欠損大腸癌における免疫抑制的微小環境を制御する)	芦澤舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 齋藤勝治, 氏家大輔, 村上祐子, 菊池智宏, 中山裕子, 野田勝, 多田武志, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本涉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二

呼吸器外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	東北肺癌研究談話会	第37回東北肺癌研究談話会 優秀演題賞	気管支鏡検査後自然消退し、4ヵ月後再増大を認めた扁平上皮癌の一例	山口光、武藤哲史、高木玄教、尾崎有紀、岡部直行、松村勇輝、塩豊、鈴木弘行
2021	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第180回東北外科集談会（第106回日本胸部外科学会東北地方会）学会賞	COVID-19感染拡大のためEGFR-TKI内服を手術に先行し、血管形成を回避できた一例	猪俣頌、山口光、渡部晶之、尾崎有紀、武藤哲史、岡部直行、松村勇輝、塩豊、鈴木弘行
2021	国民健康保険中央会	令和3年度国民健康保険中央会表彰		鈴木弘行
2021	日本バイオセラピー学会	第34回日本バイオセラピー学会 奨励賞	肺癌におけるβ-cateninに注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服	武藤哲史、猪俣頌、山口光、渡部晶之、尾崎有紀、岡部直行、松村勇輝、塩豊、鈴木弘行

乳腺外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会)	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会) The Best of The AACR Journals 2021	miRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1 (miRNA-148a-3pはPD-L1を介してミスマッチ修復欠損大腸癌における免疫抑制的微小環境を制御する)	芦澤舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 齋藤勝治, 氏家大輔, 村上祐子, 菊池智宏, 中山裕子, 野田勝, 多田武志, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二

外科研修支援担当

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会)	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会) The Best of The AACR Journals 2021	miRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1 (miRNA-148a-3pはPD-L1を介してミスマッチ修復欠損大腸癌における免疫抑制的微小環境を制御する)	芦澤舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 齋藤勝治, 氏家大輔, 村上祐子, 菊池智宏, 中山裕子, 野田勝, 多田武志, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二
2021	癌免疫外科研究会	第42回癌免疫外科研究会奨励賞	dMMR大腸癌におけるTn抗原の発現と免疫抑制	松本拓朗, 岡山洋和, 仲野宏, 伊藤美郷, 中嶋正太郎, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 三村耕作, 河野浩二

2021	日本癌治療学会	第59回日本癌治療学会学術集会 優秀演題	食道扁平上皮癌でのCAF関連分子の発現は予後に関連する	菅家康之, 山内直人, 齋藤勝治, 岡山洋和, 山田匠希, 中嶋正太郎, 花山寛之, 渡辺 洋平, 齋藤元伸, 三佐瀬善一郎, 田馬智之, 村耕作, 大木進司, 橋本優子*, 河野浩二

泌尿器科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	International Continence Society	International Continence Society 2021 Best in Category Prize	Long-term prognosis of lower urinary tract function after robot-assisted radical prostatectomy in patients with preoperative low bladder contractility (ロボット支援前立腺全摘除術における術前膀胱収縮力低下症例の下尿路機能長期予後)	Hata Junya, Hasegawa Akihisa, Harigane Yuki, Makabe Syunta, Yaginuma Kei, Onagi Akifumi, Matsuka Kanako, Koguchi Tomoyuki, Sato Yuichi, Akaihata Hidenori, Kataoka Masao, Ogawa Soichiro, Kojima Yoshiyuki
2021	日本排尿機能学会	第28回日本排尿機能学会学術賞	Male LUTS 患者における前立腺質的变化の意義と下尿路路症状発症機序の解明ー遺伝子発現プロファイリング解析による MRI/ADC 値を規定する遺伝子群の同定ー	赤井畑秀則, 夏谷広樹, 糸川知之, 吉岡駿佑, 小名木彰史, 松岡香菜子, 胡口智之, 秦淳也, 佐藤雄一, 片岡政雄, 小島祥敬
2021	日本小児泌尿器科学会	第29回日本小児泌尿器科学会総会・学術集會会 長特別賞	精巣發育不全を呈したCHARGE 症候群のI例ーステロイド合成及び造精機能の転写活性に着目した病態の考察ー	吉田祐樹, 本田瑠璃子, 松岡香菜子, 星誠一, 胡口智之, 佐藤雄一, 小川総一郎, 羽賀宣博, 小島祥敬

2021	日本小児泌尿器科学会	第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会会長奨励賞	超音波エラストグラフィを用いた精巣固定術の手術時期と精巣硬度の関連	佐藤雄一，八木沼恵，長谷川曉久，吉田祐樹，松岡香菜子，本田瑠璃子，星誠二，胡口智之，小川総一郎，小島祥敬
2021	日本小児泌尿器科学会	第30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会会長奨励賞	尿管管周囲静脈から発症した膀胱海綿状血管腫－病理組織学的解析による発症機序の考察－	長谷川曉久，八木沼恵，吉田祐樹，本田瑠璃子，松岡香菜子，星誠二，胡口智之，佐藤雄一，小川総一郎，小島祥敬
2021	日本泌尿器科学会	第9回日本泌尿器科学会医療賞	東日本大震災による複合災害（地震・津波・原発事故）からの泌尿器科医療復興に向けた10年間の取り組み	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会
2021	日本泌尿器科学会東北地方会	第262回日本泌尿器科学会東北地方会優秀演題賞	膀胱粘膜下に発生した海綿状血管腫の一例	長谷川曉久，佐藤雄一，針金祐樹，眞壁俊太，八木沼恵，遠藤侑，小名木彰史，本田瑠璃子，松岡香菜子，胡口智之，秦淳也，赤井畑秀則，片岡政雄，小川総一郎，小島祥敬
2021	日本小児泌尿器科学会	30回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会会長奨励賞	5歳未満に対する腹腔鏡下腎盂形成術の安全性と有効性	八木沼恵，佐藤雄一，長谷川曉久，吉田祐樹，松岡香菜子，本田瑠璃子，星誠二，胡口智之，小川総一郎，小島祥敬
2021	福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座一杉会	第11回一杉会賞	Complement activation by autoantigen recognition in the growth process of benign prostatic hyperplasia	秦淳也

2021	福島県立医科大学医学部 泌尿器科学講座一杉会	第11回一杉会賞	Spindle cell renal cell carcinoma diagnosed after sunitinib treatment for chromophobe renal cell carcinoma	本田瑠璃子

神経精神医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本臨床精神神経薬理学 会	第30回日本臨床精神神経薬理学会 表賞 優秀演題賞	カルバマゼピン併用によりクロザピン血中濃度の 著明な低値を認めた2症例	渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦 至, 陣野大輔, 阿部裕也, 照井稔宏, 羽金裕也, 平田 祥一朗, 鈴木二妙香, 後藤 將之, 一瀬瑞絵, 山本慎之 助, 堀越翔, 金子春香, 須 藤孝浩, 黒田純子, 矢部博 興

放射線医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本医学放射線学会	優秀演題賞	大腿骨・骨髄CT濃度測定による血液疾患診断能の検 討	石井士朗

放射性同位元素研究施設

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本補体学会	第57回日本補体学会奨励賞	MASP-3の活性化におけるレクチン経路の認識分子 の役割	草刈浩平, 石田由美, 大森 智子, 鈴木俊幸, 関亦正 幸, 町田豪, 関根英治

心臓調律制御医学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	福島医学会	令和2年度 福島医学会賞	心厚細胞アプレーションに伴う食道関連合併症のメカニズムより安全な治療を目指してー	金城貴士

肺高血圧先進医療学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	第28回日本血管生物医学 会学術集会	YIA finalist	Crucial role of JAK2V617F-positive myeloproliferative neoplasm on the development of aortic aneurysm	横川哲朗
2021	American Heart Association Scientific Sessions 2021	Council on Cardiopulmonary, Critical Care, Perioperative and Resuscitation Junior Investigator Travel Grant	Proteomic signature of right ventricular failure in pulmonary arterial hypertension	横川哲朗

看護学部

基礎看護学部門

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	第26回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	JADEN26 AWARD	2型糖尿病患者の信頼のあり様を分類する尺度の信頼性と妥当性の検討	丸山育子, 林紋美, 齋藤史子, 小田真由美

成人・老年看護学部門

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本膵臓学会	日本膵臓学会誌第35巻 学会奨励賞	膵切除術後3ヶ月の患者の倦怠感の関連因子	南理央, 佐藤菜保子, 元井冬彦, 佐藤富美子, 海野倫明

保健科学部
理学療法学科

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本小児理学療法学会	第8回日本小児理学療法学会学術大会 最優秀賞	脳性麻痺児における日本語版Edinburgh Visual Gait Score (観察的歩行評価) の信頼性・妥当性	阿部広和, 小柳翔太郎, 楠本泰士, 樋室伸顕
2021	日本健康行動科学学会	日本健康行動科学学会第19回学術大会 大会長優秀発表賞	地域在住女性高齢者における四肢骨格筋量および体脂肪の変化と運動機能との関連: 2年間の縦断研究	柴喜崇, 他
2021	日本老年医学会	第28回日本老年医学会 優秀論文賞	地域在住高齢者における転倒関連自己効力感はフレイルの進展に影響する	柴喜崇, 他

作業療法学科

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	一般社団法人 日本作業療法士協会	第55回日本作業療法学会 最優秀演題賞	幼児における感覚処理の特性を起因とする問題行動および睡眠問題の仮説モデルの検討	倉澤茂樹, 丹葉寛之, 立山清美, 木村大介, 岩永竜一郎

診療放射線科学科

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本放射線技術学会	技術奨励賞 撮影分野（一般撮影）	アイトラッキングによるマンモグラフィ撮影時の 注視点検出：熟練者と初学者の比較	山品博子
2021	日本放射線技術学会東北 支部	学術奨励賞	Evaluation of a model-based attenuation correction method on whole-body 18F- fluorodeoxyglucose positron emission tomography/magnetic resonance imaging	久保均

附属病院長

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	東北肺癌研究談話会	第37回東北肺癌研究談話会 優秀演題賞	気管支鏡検査後自然消退し、4ヵ月後再増大を認めた扁平上皮癌の一例	山口光，武藤哲史，高木玄教，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行
2021	東北外科集談会・日本胸部外科学会東北地方会	第180回東北外科集談会（第106回日本胸部外科学会東北地方会）学会賞	COVID-19感染拡大のためEGFR-TKI内服を手術に先行し、血管形成を回避できた一例	猪俣頌，山口光，渡部晶之，尾崎有紀，武藤哲史，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行
2021	国民健康保険中央会	令和3年度国民健康保険中央会表彰		鈴木弘行
2021	日本バイオセラピー学会	第34回日本バイオセラピー学会 奨励賞	肺癌におけるβ-cateninに注目した免疫チェックポイント阻害薬耐性メカニズムとその克服	武藤哲史，猪俣頌，山口光，渡部晶之，尾崎有紀，岡部直行，松村勇輝，塩豊，鈴木弘行

医療情報部

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会)	American Association for Cancer Research (AACR) (米国癌学会) The Best of The AACR Journals 2021	miRNA-148a-3p regulates immunosuppression in DNA mismatch repair-deficient colorectal cancer by targeting PD-L1 (miRNA-148a-3pはPD-L1を介してミスマッチ修復欠損大腸癌における免疫抑制的微小環境を制御する)	芦澤舞, 岡山洋和, 石亀輝英, Aung Kyi Thar Min, 齋藤勝治, 氏家大輔, 村上祐子, 菊池智宏, 中山裕子, 野田勝, 多田武志, 遠藤久仁, 藤田正太郎, 坂本渉, 齋藤元伸, 佐瀬善一郎, 門馬智之, 大木進司, 三村耕作, 河野浩二

検査部

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	一般社団法人福島県臨床検査技師会	学術奨励賞		今井美菜子
2021	一般社団法人福島県臨床検査技師会	学術奨励賞		嶋田有里

総合周産期母子医療センター

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	福島医学会	福島医学会学術奨励賞	新生児慢性肺疾患のトランスレーションナリサーチ	郷勇人

薬剤部

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本臨床精神神経薬理学会	第30回日本臨床精神神経薬理学会 優秀演題発表賞	カルバマゼピン併用によりクロザピン血中濃度の著明な低値を認めた2症例	渡辺研弥, 野崎啓子, 三浦至, 陣野大輔, 阿部裕也, 照井稔宏, 羽金裕也, 平田祥一郎, 鈴木二砂香, 後藤將之, 一瀬瑞絵, 山本慎之助, 堀越翔, 金子春香, 須藤孝浩, 黒田純子, 矢部博興

医療人育成・支援センター

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	British Medical Association	Role Model for Women in Academic Medicine, British Medical Association (UK)	Role Model for Women in Academic Medicine, British Medical Association	Maham Stanyon
2021	日本医学教育学会	Silver Award	Presentation of research in the field of medical education	Maham Stanyon

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本消化管学会	2021年度最優秀賞 (臨床)	Colon Capsule Endoscopy versus CT Colonography in Patients with Large Non-Polypoid Tumours: A Multicentre Prospective Comparative Study (4CN Study).	Utano K, Katsuki S, Matsuda T, Mitsuzaki K, Fujita T, Nemoto D, Nagata K, Lefor AK, Togashi K.

会津医療センター 外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	東北肺癌研究談話会	第37回東北肺癌研究談話会 優秀演題賞		山口光

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	福島県理学療法士会学術集会	学会奨励賞	スマートフォンアプリケーションを用いた骨盤前後傾の可動性評価の妥当	根本雄太

会津医療センター 臨床医学部門

受賞年	授与機関名	受賞学術賞名	受賞対象	受賞者名
2021	日本消化管学会	2021年度最優秀賞 (臨床)	Colon Capsule Endoscopy versus CT Colonography in Patients with Large Non-Polypoid Tumours: A Multicentre Prospective Comparative Study (4CN Study).	Utano K, Katsuki S, Matsuda T, Mitsuzaki K, Fujita T, Nemoto D, Nagata K, Lefor AK, Togashi K.

Ⅲ 受託・共同研究・補助等実績一覧

令和3年度受託・共同研究・補助等実績一覧

医学部

神経解剖・発生学講座.....	635	形成外科学講座.....	669
解剖・組織学講座.....	635	産科婦人科学講座.....	669
細胞統合生理学講座.....	636	小児科学講座.....	670
システム神経科学講座.....	637	眼科学講座.....	671
生化学講座.....	637	泌尿器科学講座.....	671
免疫学講座.....	638	耳鼻咽喉科学講座.....	673
病態制御薬理医学講座.....	639	神経精神医学講座.....	673
微生物学講座.....	640	放射線医学講座.....	675
基礎病理学講座.....	640	麻酔科学講座.....	675
衛生学・予防医学講座.....	642	救急医療学講座.....	676
公衆衛生学講座.....	644	病理病態診断学講座.....	676
法医学講座.....	646	臨床検査医学講座.....	677
放射線生命科学講座.....	646	感染制御学講座.....	677
疫学講座.....	647	輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部.....	677
放射線物理化学講座.....	648	地域・家庭医療学講座.....	678
健康リスクコミュニケーション学講座.....	649	放射線健康管理学講座.....	679
循環器内科学講座.....	650	甲状腺内分泌学講座.....	680
血液内科学講座.....	652	災害こころの医学講座.....	681
消化器内科学講座.....	654	放射線腫瘍学講座.....	682
リウマチ膠原病内科学講座.....	655	腫瘍内科学講座.....	682
腎臓高血圧内科学講座.....	655	放射線災害医療学講座.....	683
呼吸器内科学講座.....	656	人間科学講座 生命倫理学分野.....	684
消化管外科学講座.....	659	自然科学講座 分子細胞生物学分野.....	684
肝胆膵・移植外科学講座.....	661	自然科学講座 数理物質科学分野.....	684
呼吸器外科学講座.....	662	附属生体情報伝達研究所 生体物質研究部門...684	
乳腺外科学講座.....	665	附属生体情報伝達研究所 細胞科学研究部門...685	
心臓血管外科学講座.....	665	附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門...685	
外科研修支援担当.....	666	放射性同位元素研究施設.....	686
脳神経外科学講座.....	667	実験動物研究施設.....	687
整形外科科学講座.....	668	国際被ばく保健看護学講座	
		(旧：国際被ばく公衆衛生看護学講座)	687
		周産期・小児地域医療支援講座.....	688

白河総合診療アカデミー.....	688
東白川整形外科アカデミー.....	689
疼痛医学講座.....	689
生体機能イメージング講座.....	690
多発性硬化症治療学講座.....	690
低侵襲腫瘍制御学講座.....	691
心臓調律制御医学講座.....	691
肥満・体内炎症解析研究講座.....	692
ヒト神経生理学講座.....	692
周産期間葉系幹細胞研究講座.....	693

看護学部

総合科学部門 言語学分野.....	694
総合科学部門 行動科学分野（心理学）.....	694
総合科学部門 行動科学分野（社会学）.....	694
総合科学部門 保健情報学・疫学分野.....	695
生命科学部門.....	696
基礎看護学部門.....	697
成人・老年看護学部門.....	697
小児・精神看護学部門.....	699
地域・公衆衛生看護学部門.....	699
母性看護・助産学部門.....	700

保健科学部

理学療法学科.....	701
作業療法学科.....	702
診療放射線科学科.....	704
臨床検査学科.....	706
総合科学.....	707

附属病院, 他

附属病院長.....	708
医療情報部.....	709

ふたば救急総合医療支援センター.....	709
総合内科.....	710
小児外科.....	710
小児腫瘍内科.....	710
検査部.....	710
集中治療部.....	711
総合周産期母子医療センター.....	711
臨床腫瘍センター.....	712
脳疾患センター.....	712
臨床研究教育推進部.....	713
助産師養成課程設置準備室.....	714
大学健康管理センター.....	714
総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域.....	714
総合科学教育研究センター 自然科学系領域.....	715
医療人育成・支援センター.....	717
看護師特定行為研修センター.....	719
ふくしま子ども・女性医療支援センター.....	719
放射線医学県民健康管理センター.....	720
健康増進センター.....	722
先端臨床研究センター.....	722
臨床研究イノベーションセンター.....	724

会津医療センター

精神医学講座.....	725
小腸・大腸・肛門科学講座.....	725
外科学講座.....	726
整形外科・脊椎外科学講座.....	726
耳鼻咽喉科学講座.....	727
臨床医学部門.....	727

神経解剖・発生学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	小脳における新規神経回路の同定とその生理機能の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本光広	
令和3	補助・助成	無意識の視覚の解剖発生学的な成立機序	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊裕二	
令和3	補助・助成	Hedgehogシグナルのコオプレーションを可能にしたゲノム進化動態の解明	令和3年度研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	向笠勝貴	
令和3	補助・助成	哺乳類胎仔の頸髄に起こる早期運動神経細胞死の意義の解明	令和3年度研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	八木沼洋行	

解剖・組織学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	選択的オートファジーによる細胞制御	科学研究費助成事業／新学術領域研究(研究領域提案型)	日本学術振興会	小松雅明	和栗聡、杉浦悠毅、李賢哲
令和3	補助・助成	p62変異による液－液相分離異常の微細形態とその分子基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	和栗聡	田村直輝
令和3	補助・助成	エンドソーム上でEGFRの分解・リサイクルを決定する新規分子基盤	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	植村武文	
令和3	補助・助成	核内構造変化から読み解く新たなクラミジア感染制御機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木倫毅	
令和3	補助・助成	オートファジーにおける隔離膜伸長過程の多角的な微細構造解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田村直輝	

細胞統合生理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	膜電位測定技術を用いた凍結卵・加齢卵評価システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三宅将生	
令和3	補助・助成	薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発「オタネニンジンの生産拡大のための技術開発」	委託プロジェクト研究	農林水産省	三猪忠道	挾間章博、畠田一司、齋藤龍史、秋葉秀一郎、小林大輔、佐橋佳郎
令和3	国内共同研究	御種人参を主とした医薬農連携による生産地産地消プログラム		農研機構 東北農業研究センター 福島研究拠点	三猪忠道	鈴木雅雄、鈴木朋子、佐橋佳郎、挾間章博、信濃卓郎、松波寿弥、久保堅司
令和3	国内共同研究	宇宙飛行が尾部組織に与える影響		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	三宅将生	山崎将生、勝田新一郎、清水強、挾間章博
令和3	国内共同研究	宇宙飛行が管腔構造に与える影響の種間・週齢比較		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	三宅将生	山崎将生、勝田新一郎、吉江進、清水強、挾間章博
令和3	学内共同研究	ヒトiPS細胞とたばこ煙を利用した杯細胞過形成機構の解明に関する研究	若手研究助成	公益財団法人喫煙科学研究財団	吉江進	

システム神経科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	社会的推論に関する知識構造の定量的理解と脳内表現の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡本正博	
令和3	補助・助成	統合失調症モデル動物におけるセロトニン5-HT2A受容体イメーシング	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	浄土英一	鈴木喜明
令和3	補助・助成	社会的環境下での自信に関する神経基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤原寿理	
令和3	補助・助成	記憶の記銘と想起を司るラット海馬の神経メカニズム	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中国智晶	

生化学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	一次繊毛先端部におけるアンテナ機能制御と繊毛病発症の分子機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永井友朗	
令和3	補助・助成	ゴルジ体微小管の構築制御に基づく癌細胞の集団的浸潤機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西田満	
令和3	補助・助成	Wntシグナルに基づく新たな直腸癌化学放射線免疫複合療法の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	古出隆大	西田満, 松田武, 掛地吉弘, 山下公大
令和3	補助・助成	癌細胞遊走におけるRif低分子量タンパク質の活性制御機構と機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	星京香	
令和3	補助・助成	KIF1Cモータータンパク質を介した浸潤突起伸長の分子機構解明	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	佐事武	
令和3	国内共同研究	集団的癌細胞浸潤におけるRif低分子量タンパク質の機能解明	東京医科歯科大学難治疾患研究所共同研究拠点	東京医科歯科大学	西田満	

免疫学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	滲出型加齢黄斑変性の病態形成に補体レクチン経路が関与する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大森智子	石龍鉄樹，関根英治
令和3	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦淳也，錫谷達夫，関根英治，羽賀宣博，赤井畑秀則，石橋啓
令和3	補助・助成	第二経路の補体因子MASP-3の活性化機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関根英治	町田豪，林学
令和3	補助・助成	補体因子MASP-3を活性化する血中プロテアーゼの同定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	町田豪	関根英治

病態制御薬理医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	誘導体化イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すテアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修	三浦至, 前島裕子
令和3	補助・助成	PIP2によるKATPチャネル・インスリン分泌制御ならびに糖尿病治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	下村健寿	
令和3	補助・助成	渦鞭毛藻のSTX中間体輸送と生合成の微細機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長由扶子	日出間志寿, 小池一彦
令和3	補助・助成	オキシトシンによるアルコール依存障害の減弱メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日出間志寿	
令和3	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田敦, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 郷勇人
令和3	補助・助成	小児がんレジストリーを用いた転移性肝芽腫に対する薬利開発戦略としての国際共同臨床試験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	檜山英三	菊田敦, 他
令和3	出資金による受託研究	腫瘍に対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トラリアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点本部	大戸 斉	一戸辰夫, 鈴木義行, 小早川雅男, 河野浩二, 鈴木弘行, 菊田敦, 長井一浩
令和3	企業からの受託研究	国内の小児白血病A患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第VIII因子Fc融合タンパク質(rFVIII-Fc)製剤の有用性を検討する多施設観察研究(Fc Adolescent and Children Treatment study (FACTs))		サノファイ株式会社		菊田敦, 他

微生物学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ヘルペスウイルスと宿主間攻防によるウイルスストロビズムの解析	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	末永忠広	荒瀬尚
令和3	補助・助成	胎内環境下におけるサイトメガロウイルスの新たな垂直感染機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	生田和史	石岡賢
令和3	補助・助成	新規要因としての先天性CMV感染による精子形成障害の機序解明と予防的治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川総一郎	佐藤雄一, 秦淳也, 錫谷達夫, 胡口智之, 小島祥敬, 赤井畑秀則
令和3	補助・助成	機能性食品による抗酸化、免疫賦活化作用を介した聴覚障害予防の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川洋	錫谷達夫
令和3	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦淳也, 錫谷達夫, 関根英治, 羽賀宣博, 赤井畑秀則, 石橋啓
令和3	補助・助成	食餌成分による加齢関連疾患の予防効果とその抗加齢メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	宮崎希	

基礎病理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	順遺伝学的手法を用いた、がん細胞におけるビタミンDシグナル調節因子の網羅的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	杉本幸太郎	小林信
令和3	補助・助成	プロテアーゼによる密着結合の恒常性維持機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	東智仁	

令和3	補助・助成	幹細胞ニッチシグナルを利用した組織再生新戦略	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	千葉英樹	杉本幸太郎
令和3	補助・助成	子宮内膜癌におけるCLDN9発現の生物学的・臨床病理学的意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小島学	
令和3	補助・助成	細胞表面タンパク質の網羅的解析を基盤とした卵巣がん新規診断・治療的の同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林信	
令和3	補助・助成	細胞接着-核内受容体経路による乳癌の悪性形質増強機構	医学系研究助成	公益財団法人武田科学振興財団	杉本幸太郎	
令和3	補助・助成	フォルミン分子による上皮細胞の細胞間接着と収縮環の制御機構	医学系研究助成	公益財団法人武田科学振興財団	東智仁	
令和3	補助・助成	がん細胞におけるレチノイン酸シグナル調節因子の網羅的同定	基礎医学医療研究助成金	公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団	杉本幸太郎	
令和3	補助・助成	レチノイン酸シグナル調節因子の網羅的同定	研究奨励助成金	公益財団法人小野医学研究財団	杉本幸太郎	
令和3	補助・助成	細胞接着分子CLMPを指標とした尿管蠕動運動メカニズムの解明	2020年度GSKジャパン研究助成	GSKジャパン	東智仁	
令和3	補助・助成	亜鉛インジェクターを用いた細胞間接着破壊部位の検出手法の確立	奨励研究助成	中谷医工計測技術振興財団	東智仁	

衛生学・予防医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	被災後の中小企業経営者の健康問題と事業継続に関する日仏比較研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	亀井克之	堀越昌和、尾久裕紀、栗岡住子、金子信也
令和3	補助・助成	原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	辻内琢也	根ヶ山光一、扇原淳、桂川泰典、金智慧、多賀努、増田和高、岩垣穂大、平田修三、日高友郎、小島隆矢
令和3	補助・助成	労働現場における中軽症熱中症の要因と経路のパターン解明による特異的予防策の立案	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	各務竹康	伊藤央奈、日高友郎、遠藤翔太
令和3	補助・助成	高校生eスポーツアスリートにおける心身の健康実態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	神田秀幸	宮崎亮、絹田皆子、久松隆史、津村秀樹、福田茉莉
令和3	補助・助成	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木下美佐子	堀内輝子、阿部夏樹
令和3	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カヅ子	堀内輝子、木下美佐子、高橋香子、片桐和子、山田智恵里
令和3	補助・助成	日米共通の基準を用いた、病院の経営危機予測モデルの開発と国際比較	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坪井聡	
令和3	補助・助成	サウンドスケープ研究の「国際標準」は真の国際標準に成り得るか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永幡幸司	
令和3	補助・助成	COVID-19による労働環境変化が学校教員の健康状態や健康関連行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秦暁子	各務竹康、日高友郎、高橋香子
令和3	補助・助成	天災・人災複合による故郷喪失者への心理支援モデル開発：縦断的混合研究法アプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日高友郎	鈴木祐子

令和3	補助・助成	ウェイトバイアス尺度の日本語版の作成とそれを用いた効果的な減量指導法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤翔太	
令和3	補助・助成	親の期待に対する子の意味づけと適応の変容プロセス：混合研究法を用いた国際比較研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	春日秀朗	
令和3	補助・助成	介護未経験の中途介護施設入職者の孤立化予防と職場適応のための個別支援モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤勢	
令和3	補助・助成	眠りを見守る睡眠負債評価法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	増石有佑	
令和3	補助・助成	福島県の吃音問題の解決に向けたアクションリサーチ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	森弥生	
令和3	補助・助成	喫煙、飲酒等生活習慣の実態把握及び生活習慣の改善に向けた研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	厚生労働省	尾崎米厚	兼板佳孝, 神田秀幸, 樋口進, 井谷修, 地家真紀, 大塚雄一郎, 吉本尚, 金城文, 真栄里仁, 美濃部るり子, 桑原祐樹, 春日秀朗, 伊藤央奈
令和3	補助・助成	食と健康に関する地域連携	鏡石町補助金	福島県鏡石町	岡部聡子	岡部聡子, 伊藤央奈, 黒澤廣子, 亀田明美, 星千歳, 善方美千子, 柳沼和子, 根本絢香, 本間杏菜, 吉田朱里
令和3	補助・助成	地域住民における飲酒状況と家庭血圧の高変動およびその関連要因に関する研究	研究助成金	お酒の科学財団	神田秀幸	
令和3	国内共同研究	地域住民における測定値自動送信技術を用いた家庭血圧管理状況と血圧変動要因に関する探索的研究	共同研究	オムロンヘルスケア株式会社	神田秀幸	久松隆史
令和3	企業からの受託研究	ウェアラブルバイタルセンサーを用いた熱中症予防及び労働安全・衛生管理の向上に関する研究	受託研究	鹿島建設株式会社	各務竹康	

公衆衛生学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 堀越直子, 佐藤秀樹, 後藤紗織
令和3	補助・助成	東日本大震災被災地における肥満者増加の要因—中食利用行動を中心とした検証—	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野道子	石川みどり, 安村誠司
令和3	補助・助成	転倒転落防止に向けた医療従事者のノンテクニカルスキルに関する教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木下美佐子	堀内輝子, 阿部夏樹
令和3	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カヅ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香子, 片桐和子, 山田智恵里
令和3	補助・助成	高齢者における抑うつと炎症の関連に及ぼす運動、身体機能の影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉田 祐子	岩 佐一
令和3	補助・助成	災害避難高齢者の身体活動を変える「知覚された環境」とヘルスプロモーションへの応用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	森山信彰	
令和3	補助・助成	ポストコロナ時代の勤労者におけるヘルスリテラシーとメンタルヘルスの関連に身体活動が及ぼす媒介効果	2020年度産業医学・産業保健調査研究助成制度	公益財団法人福島県労働保健センター	森山信彰	
令和3	国内共同研究	オーラルハザード・アプローチによる公衆衛生リスクアセスメント及びインテリジェンス機能の確立に資する研究	厚生労働科学研究費（健康安全・危機管理対策総合研究事業）	厚生労働省	富尾 淳	安村誠司
令和3	国内共同研究	放射線災害に関するメデリア情報による福島県民の健康影響不安の実態と放射線情報リテラシーの向上	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点トリアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司	
令和3	国内共同研究	福島原発事故による高齢者への健康影響評価—長崎原爆被爆の高齢者との比較—	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点トリアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点	安村誠司	

令和3	国内共同研究	マスメディア報道と放射線リスクコミュニケーションのあり方に関する研究	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	青柳みどり	安村誠司
令和3	国内共同研究	放射線被曝と背景因子が腎疾患発症に与える影響についての検討	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	今田恒夫	安村誠司
令和3	国内共同研究	福島原発事故10年目における放射線不安と県民健康調査に対する意識調査	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	岡崎龍史	安村誠司
令和3	国内共同研究	放射線災害後の健康被害測定指標の提言に関する研究	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	越智小枝	安村誠司
令和3	国内共同研究	避難者における糖尿病発症リスクに精神的苦痛が与える影響の解明：10年追跡研究	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	川崎良	安村誠司
令和3	国内共同研究	福島県内の妊娠の動向資料を利用した東日本大震災が妊娠・出産に及ぼした影響に関する検討	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	祖父江友孝	安村誠司
令和3	国内共同研究	福島第一原子力発電所事故後の避難区域およびその周辺地域における公衆衛生学的活動についての事例研究	令和3年度放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	西川佳孝	安村誠司
令和3	出資金による受託研究	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	子どもの健康と環境に関する全国調査 福島ユニットセンター	環境省	橋本浩一	安村誠司
令和3	その他	喜多方市における「太極拳ゆったり体操」の中長期的な効果検証		福島県喜多方市	安村誠司	森山信彰, 陸智美, 井高貴之

法医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	死体血HbA1c値測定におけるPOCT（臨床現場即時検査）機器の誤差要因	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤菜穂	

放射線生命科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	多発性骨髄腫細胞の起源となる異常Bリンパ球はどのような機序で生じるか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂井晃	阿部悠、津山尚宏
令和3	補助・助成	標的ゲノム編集/系統的ノックダウンによる染色体転座頻度を増加させる因子の探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	津山尚宏	阿部悠、工藤健一、坂井晃
令和3	補助・助成	デザインされた誘発Die1による微小核/クロモトリブシス形成過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	津山尚宏	阿部悠、柳重希、坂井晃
令和3	補助・助成	特定部位へのDSB誘導系を用いた染色体転座優先機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部悠	
令和3	補助・助成	乳腺オルガノイドでヒトと実験動物の放射線影響研究をつなぐ	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	工藤健一	
令和3	国内共同研究	ヒト乳腺オルガノイドを用いた放射線応答におけるp63タンパク質の役割の解明	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	工藤健一	
令和3	国内共同研究	正常Bリンパ球由来iPS細胞を用いた多発性骨髄腫の発生病理の解明	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	坂井晃	神谷研二、笹谷めぐみ
令和3	国内共同研究	福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた転座型染色体解析による生物学的線量評価	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	坂井晃	松浦伸也、宮本達雄

令和3	国内共同研究	染色体異常誘発過程への低線量放射線影響の解析	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	津山尚宏	林田直美
令和3	国内共同研究	1分子超解像技術を応用した放射線誘発DNA損傷イメージング法の確立	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	渡邊朋信	工藤健一
令和3	国内共同研究	人工多能性幹細胞と光計測技術を用いた放射線被ばく影響の個人差評価プラットフォームの確立	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	渡邊朋信	津山尚宏

疫学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	動脈硬化症の極早期診断を目指した血管壁の粘弾性特性の計測法に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	荒川元孝	金井浩, 森翔平, 高野真澄
令和3	補助・助成	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大平哲也	木山昌彦, 山岸良匡, 岡田武夫, 今野弘規
令和3	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里	中野裕紀, 大平哲也
令和3	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発症に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也, 林史和
令和3	補助・助成	脳一腸一脂防連関における腸内細菌叢の測定意義についての疫学研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	大平哲也	木山昌彦, 今野弘規
令和3	補助・助成	笑いプログラムがフレイル対策・予防に及ぼす効果についての前向きコホート・介入研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	舟久保徳美	
令和3	補助・助成	大規模災害後のポジティブな心理的因子と生活習慣病との関連に関する疫学及び介入研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	江口依里	

令和3	補助・助成	Social Determinants of Dementia, Healthy Aging and Well-being: Examining positive Health Assets and Resilience of the Society	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）	日本学術振興会	白井ころろ	磯博康，大平哲也，斎藤民，辻大士，劉克洋，坂庭頼人
令和3 (令和2-)	補助・助成	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連要因とそのメカニズムについての疫学研究	令和3年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	大平哲也	
令和3	補助・助成	ストレス関連疾患を予測・評価する客観的指標についての研究	日本フルハップ調査研究	公益財団法人日本中小企業福祉事業財団	大平哲也	江口依里，舟久保徳美，岡田武夫
令和3	補助・助成	大規模災害後の重度ストレスに対する笑いの生活習慣病への効果に関する疫学及び介入研究	パブリックヘルス科学研究助成金 ストレス科学分野	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	江口依里	
令和3	補助・助成	福島県の産業精神保健における医療福祉連携システムの構築	一般助成	公益財団法人俱進会	吉田知克	
令和3	補助・助成	東日本大震災前後の発達障がい及びストレス障害の長期推移とその要因に関する疫学研究	第37回一般研究奨励助成事業	公益財団法人総合健康推進財団	吉田知克	
令和3	国内共同研究	東日本大震災前後の発達障がい及びストレス障がい等の長期推移とその要因に関する疫学研究	第30回ヘルスリサーチ研究助成	公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団	吉田知克	矢部博興，板垣俊太郎，大平哲也
令和3	学内共同研究	放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	放射線災害・医科学研究拠点	江口依里	大平哲也

放射線物理化学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	放射性物質の吸入摂取による内部被ばくメカニズムの解明に資する工学的アプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	床次眞司	細田正洋，小山西暢，大森康孝，玉熊佑紀

健康リスクコミュニケーション講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	自然言語に対する人工知能技術適用による心理療法支援システムの開発	科学研究費助成事業／学術変革領域研究 (B)	日本学術振興会	竹林由武	
令和3	補助・助成	病院排水に由来する多剤薬剤耐性菌の不活化技術の開発と有効性評価	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	東剛志	村上道夫、臼井優
令和3	補助・助成	遷延性悲嘆障害の多層的治療技法の開発と効果検証および生物学的基盤の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	中島聡美	臼井明美、竹林由武、伊藤正哉、須賀楓介、小西聖子、吉池卓也
令和3	補助・助成	不眠症に対する遠隔心理療法の有効性と社会実装、AIを用いた作用機序及び病態の解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	中島俊	村中誠司、實吉綾子、竹林由武、大井瞳、重松潤、坂田昌嗣、元村祐真、宋龍平
令和3	補助・助成	幸福余命の算出と環境及び災害関連健康リスク評価への適用	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	村上道夫	竹林由武、野村周平、坪倉正治、小野恭子
令和3	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史、村上道夫、植田 紀美子
令和3	補助・助成	強迫症に対する予後改善パッケージプログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林由季	竹林由武、堀越勝
令和3	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明、河野浩二、三村耕作
令和3	補助・助成	膀胱癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行、三村耕作、丸橋繁
令和3	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	野田真永	加藤真吾、熊崎祐、中野隆史、鈴木義行、平井隆太、猪狩光神、田巻倫明
令和3	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプシー開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	吉本由哉	尾池貴洋、田巻倫明、鈴木義行、三村耕作

令和3	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	中島俊	藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和3	補助・助成	小規模な臨床試験に適用可能な患者報告式アウトカムの反応シフトの検出手法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	竹林由武	
令和3	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子，郡山千早，村上道夫，弓屋結

循環器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	君島勇輔	
令和3	補助・助成	リンパ系に着目した肺高血圧症の新たな分子機構の解明と治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川哲朗	
令和3	補助・助成	大動脈弁狭窄症の発症メカニズムにおけるDNA損傷・細胞老化の役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石田隆史	
令和3	補助・助成	心不全病態におけるがん進行機序の解明ー脳・心・腫瘍連関への治療介入ー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	及川雅啓	
令和3	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦	
令和3	補助・助成	心不全における腹部臓器血流と腸内細菌叢に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣	
令和3	補助・助成	クローン性造血に着目した心不全に対する新しい治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹石恭知	

令和3	補助・助成	^{18}F -NaF PET/MRIを用いた不安定プラークの検出	^{18}F -NaF PET/MRIを用いた不安定プラークの検出	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	喜古崇豊	
令和3	補助・助成	骨サイトカインが心不全予後に及ぼす影響 骨心連関の可能性	骨サイトカインが心不全予後に及ぼす影響 骨心連関の可能性	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿部論史	
令和3	補助・助成	心不全患者における腹部臓器うっ血と低灌流の意義：ヘパトカインとの関連性	心不全患者における腹部臓器うっ血と低灌流の意義：ヘパトカインとの関連性	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	一條靖洋	
令和3	補助・助成	急性心不全診療における栄養評価・管理の確立	急性心不全診療における栄養評価・管理の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤崇匡	
令和3	補助・助成	小児がんサバイバーにおける心血管病変とDNA損傷との関連	小児がんサバイバーにおける心血管病変とDNA損傷との関連	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	八重樫大輝	
令和3	補助・助成	心不全における心臓-骨髄連関の意義：心臓マクロファージのエピジェネティクス制御	心不全における心臓-骨髄連関の意義：心臓マクロファージのエピジェネティクス制御	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	和田健斗	
令和3	補助・助成	免疫チェックポイント阻害剤による心不全発症機序の解明	免疫チェックポイント阻害剤による心不全発症機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	清水竹史	
令和3	補助・助成	DNA損傷と炎症から見た心血管画像診断・インターベンションによる放射線被曝の影響	DNA損傷と炎症から見た心血管画像診断・インターベンションによる放射線被曝の影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	脇岡奈保子	
令和3	補助・助成	選択的小胞体分解（ERファジー）に着目した心不全における細胞内品質管理の意義	選択的小胞体分解（ERファジー）に着目した心不全における細胞内品質管理の意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三阪智史	
令和3	補助・助成	細胞内品質管理に着目した心不全の新規メカニズムの解明：N-ミリスチル化の意義	細胞内品質管理に着目した心不全の新規メカニズムの解明：N-ミリスチル化の意義	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	安齋文弥	
令和3	補助・助成	循環器病対策推進基本計画に基づいた都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	循環器病対策推進基本計画に基づいた都道府県の有用な目標指標の設定のための研究	厚生労働省循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	厚生労働省	竹石恭知	

令和3	補助・助成	特発性心筋症に関する調査研究	厚生労働省難治性疾患克服研究事業	厚生労働省	竹石恭知	
令和3	補助・助成	慢性心筋炎の診断基準策定のための実態調査	難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	竹石恭知	
令和3	補助・助成	緊急被ばくに対する再生医療体制の確立	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医学研究拠点・放射線災害・医学研究拠点	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医学研究拠点	石田隆史, 竹石恭知	
令和3	補助・助成	医療放射線被ばくの人体影響評価	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医学研究拠点・放射線災害・医学研究拠点	広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医学研究拠点	竹石恭知, 石田隆史	
令和3	補助・助成	心不全に伴う心臓悪液質における心房細動発生に対する腎交感神経除神経の有用性の確立	公立大学法人福島県立医科大学 令和3年度研究支援事業 (育成研究)	公立大学法人福島県立医科大学	山田慎哉	
令和3	補助・助成	洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析：J-PRES3	J-PRES3 (洞不全症候群のプレシジョン医療実現化に向けたAll-Japanプロジェクト)	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	竹石恭知	
令和3	補助・助成	心臓一骨髄連関におけるエビデネティクスを基軸とした心不全の新しい治療戦略	循環医学分野 一般研究助成	公益財団法人先進医薬研究振興財団	三阪智史	
令和3	補助・助成	不整脈患者におけるシヤツ型電極を用いた心電図記録に関する検討	共同研究	ミソフジ株式会社	義久精臣	

血液内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	がん幹細胞をターゲットとした α 線放出核種を用いた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	趙松吉	池添隆之, 西嶋剣一, 高橋和弘, 鷲山幸信, 杉山睦, 右近直之, 織内昇, 栗生木美穂

令和3	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドラインバー変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩, 橋本優子
令和3	補助・助成	トロンプモジュリン由来ペプチドによる特発性肺線維症の新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	王新涛	池添隆之
令和3	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とパイオマイカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英	大河原浩, 深津真彦, 池添隆之
令和3	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子, 池添隆之
令和3	補助・助成	急性放射線障害に対するトロンプモジュリン分子の臨床応用	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	池添隆之	
令和3	補助・助成	造血細胞移植時の生着に及ぼすGas6-Merの役割	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	深津真彦	
令和3	補助・助成	造血器腫瘍治療における敗血症性ARDS/ALIの新たな治療戦略とパイオマイカー	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	古川未希	
令和3	補助・助成	眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤を用いた中枢再発予防法による医師主導多施設共同治験	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	田岡和成	池添隆之
令和3	補助・助成	急性骨髄性白血病に対する治療用がんペプチドワクチン「DSP-7888」のPhase2医師主導治験	革新的がん医療実用化研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED)	中田潤	池添隆之
令和3	補助・助成	新規なドラッグデリバリーシステムとα線放出核種を組み合わせた革新的な白血病治療法の開発	2021年度日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池添隆之	

消化器内科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ヒト体外複合臓器モデルによる生体維持機構解析	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	渡辺守	油井史郎, 柿沼晴, 鬼澤道夫, 土屋輝一郎
令和3	補助・助成	口腔・腸内細菌と濾胞性ヘルペスT細胞を標的とした自己免疫性肝炎の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	阿部和道	高橋敦史, 林学, 大平弘正
令和3	補助・助成	自己免疫性肝炎におけるエクスソームの網羅的解析と病態への関与	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大平弘正	
令和3	補助・助成	腸管と脾臓のクロストーク～全身性疾患としての炎症性腸疾患～	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川島一公	松岡克善, 大平弘正, 鬼澤道夫
令和3	補助・助成	炎症性腸疾患発症におけるミオシン軽鎖キナーゼの役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齊藤詠子	渡辺守, 鬼澤道夫, 永石宇司
令和3	補助・助成	FLI-1によるケモカインを介したSLEの病態解明と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤秀三	鬼澤道夫, 渡辺浩志, 右田清志
令和3	補助・助成	第二経路の補体因子MASP-3の活性化機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関根英治	町田豪, 林学
令和3	補助・助成	口腔－腸管連関の新展開：嚥下された歯周病原細菌は腸炎を悪化させるか？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋直紀	多部田康一, 片倉響子
令和3	補助・助成	タイトジャンクション制御による大腸腫瘍予防戦略の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福田将義	渡辺守, 鬼澤道夫, 永石宇司
令和3	補助・助成	MIC-1は胆管癌診療を変えるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	杉本充	

令和3	補助・助成	膝癌における抗体医薬耐性機序の解明－ 補体制御蛋白に着目して－	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	鈴木 玲	
令和3	補助・助成	炎症性腸疾患における補体の影響の解明 と新規抗補体薬の有効性	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	高住美香	

リウマチ膠原病内科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多 様性を規定する責任分子調節分子群の包 括的同定	科学研究費助成事業／基盤研 究 (B)	日本学術振興会	増本純也	吉浦孝一郎, 竹田浩之, 澤崎達 也, 右田清志, 川上純, 古賀智 裕, 堀内浩幸
令和3	補助・助成	Flt-1によるケモカインを介したSLEの病 態解明と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	佐藤秀三	鬼澤道夫, 渡辺浩志, 右田清志
令和3	補助・助成	家族性地中海熱の「早期診断」と「精密 医療の実現」に向けたパイオニアカーの 開発	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	古賀智裕	吉浦孝一郎, 右田清志, 浦野 健, 田中義正, 川上純
令和3	補助・助成	Flt-1によるCCL20-CCR6 axisを介した SLEの病態解明	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	松岡直紀	佐藤秀三, 渡辺浩志, 右田清志
令和3	補助・助成	パリンリンフラマソーム活性化メカニ ズムの解明とその制御法の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究 (C)	日本学術振興会	右田清志	浦野健, 古賀智裕

腎臓高血圧内科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	傷害特異的糖鎖修飾に着目した新規糸球 体傷害マーカーの開発	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	岩崎剛史	

令和3	補助・助成	下垂体濾胞星状細胞のホルモン分泌における役割の解明	2021年度研究助成	公益財団法人赤松医学研究財団	東淳子	
令和3	補助・助成	ポドサイト障害における新生密着結合の役割の解明	2021年度研究助成	公益財団法人アステラス病態代謝研究会	東淳子	

呼吸器内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	トロポンジュリン由来ペプチドによる特発性肺線維症の新規治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	王新濤	池添隆之
令和3	補助・助成	新規COPDペプチド薬の開発を実現するSCGB3A2作用メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒谷玲子	阿部宏之、柴田陽光
令和3	補助・助成	COPD治療薬の応用を旨としたSCGB3A2ペプチド薬の創製と有効性の検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒谷玲子	阿部宏之、今野博行、柴田陽光
令和3	補助・助成	呼吸硫化水素を用いた気管支喘息の難治化および増悪予測の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤純平	
令和3	補助・助成	喘息におけるneurturinの臨床的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤俊	鈴木康仁
令和3	補助・助成	ホモシステイン誘導小胞体ストレスは慢性閉塞性肺疾患の病態に関与しているか？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴田陽光	黒谷玲子、井上純人
令和3	補助・助成	薬剤性及び放射線肺障害の新規バイオマーカー探索による肺がん個別化治療の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	谷野功典	海老名雅仁、二階堂雄文、柴田陽光

令和3	補助・助成	胸部X線動態撮影による特発性間質性肺炎患者の肺局所換気血流の評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	二階堂雄文	
令和3	補助・助成	咳の自動監視・計測・サーベンスシステムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	Markov K	松井知子, 齋藤純平
令和3	補助・助成	動態X線による呼吸器疾患合併肺癌患者の病態評価と術後ADL/QOL予測の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	峯村浩之	
令和3	補助・助成	COVID-19重症例に対するエトボシドおよびコルチコステロイドを使用したHLH-94プロトコルによる有効性・安全性評価のための第II相臨床試験	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	青柳哲史	峯村浩之, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光
令和3	補助・助成	特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムの用いた診断標準化に基づく疫学データの創出 - 人工知能 (AI) 診断システムと新規バイオマーカーの開発 -	ゲノム・データ基盤プロジェクト／難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	須田隆文	谷野功典
令和3	補助・助成	統合レジストリによる多発性筋炎／皮膚筋炎関連間質性肺炎患の個別化医療基盤の構築	ゲノム・データ基盤プロジェクト／難治性疾患実用化研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	桑名正隆	谷野功典
令和3	国内共同研究	COVID-19後遺症に関する実態調査	厚生労働行政推進調査事業費補助金	日本呼吸器学会	横山彰仁	大沼巧, 富田ひかる, 力丸真美, 河俣貴也, 東川隆一, 佐藤佑樹, 峯村浩之, 鈴木康仁, 二階堂雄文, 谷野功典, 柴田陽光
令和3	国内共同研究	進行性フェノタイプを示す慢性線維化性間質性肺炎患者を対象とした TAS-115 第2相用量反応臨床試験		大鵬薬品工業	吾妻安良太	東川隆一, 佐藤佑樹, 二階堂雄文, 谷野功典, 河俣貴也
令和3	国内共同研究	再生誘導医薬に関する呼吸器疾患に対する評価		株式会社ステムリム	谷野功典	二階堂雄文, 佐藤佑樹, 東川隆一, 河俣貴也, 王新涛, 菊地正美, 柴田陽光

令和3	国内共同研究	血中抗GM-CSF抗体陰性の続発性肺胞蛋白 症に関連する遺伝子の解析		杏林大学、他	石井晴之	渡邊菜摘、河俣貴也、東川隆 一、佐藤佑樹、二階堂雄文、谷 野功典、柴田陽光
令和3	国内共同研究	特発性肺線維症に対するニンテンドー 果予測バイオマーカーの前向き解析		久留米大学、他	星野友昭	東川隆一、佐藤佑樹、二階堂雄 文、谷野功典、柴田陽光
令和3	国内共同研究	新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知 見に基づいたCOVID19ワクチン開発と評 価系の構築		慶應大学	福永興彦	佐藤佑樹、峯村浩之、二階堂雄 文、谷野功典、柴田陽光
令和3	国内共同研究	iPPPE(特発性胸膜肺実質線維弾性症)の elastin代謝に関連した病態解明とその 制御		東京医科歯科大 学、他	宮崎泰成	渡邊菜摘、河俣貴也、東川隆 一、佐藤佑樹、二階堂雄文、谷 野功典
令和3	国内共同研究	間質性肺炎合併肺癌における免疫チェッ クポイント阻害薬の安全性と有効性を検 討する多施設後方視的研究		東邦大学、他	岸一馬	峯村浩之、金沢賢也、河俣貴 也、東川隆一、佐藤佑樹、二階 堂雄文、谷野功典
令和3	国内共同研究	多分野合議による間質性肺炎診断に対す る多施設共同前向き観察研究		名古屋大学	橋本直純	河俣貴也、東川隆一、佐藤佑 樹、二階堂雄文、谷野功典、柴 田陽光
令和3	国内共同研究	全肺洗浄術における体位の違いによる安 全性の検討		新潟大学、他	中田光	河俣貴也、谷野功典
令和3	国内共同研究	間質性肺疾患および肺がん患者の苦痛緩 和の実態およびQuality of Dying and Death (QoDD) に関する研究：多施設横 断研究		浜松医科大学、 他	須田隆文	渡邊菜摘、河俣貴也、東川隆 一、佐藤佑樹、二階堂雄文、谷 野功典
令和3	学内共同研究	新型コロナウイルス感染症(covid-19)の 臨床的特徴の検討	多施設共同研究		柴田陽光	谷野功典、峯村浩之
令和3	学内共同研究	様々な基礎疾患に合併するDIC患者にお ける凝固線溶マーカーの動態研究		血液内科学講座	池添隆之	谷野功典、柴田陽光

消化管外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	大腸癌間質トランスクリプトミクスを応用した個別的微小環境戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大木進司	岡山洋和、遠藤英成
令和3	補助・助成	Wnt/ β -cateninシグナルを標的としたトリプルネガティブ乳癌の化学予防	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大竹徹	岡山洋和、立花和之進、齋藤元伸
令和3	補助・助成	消化管癌に対するANXA1を用いた抗がん剤耐性出現モニタリング	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小野澤寿志	齋藤元伸
令和3	補助・助成	食道癌間質における癌関連線維芽細胞由来分子による転移・浸潤促進機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	菅家康之	
令和3	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆	佐瀬善一郎、齋藤拓朗、丸橋繁、見城明
令和3	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	三村耕作
令和3	補助・助成	EBV関連胃癌におけるエピゲノム異常によるARID1A遺伝子の発現制御機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	齋藤元伸	
令和3	補助・助成	dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本渉	岡山洋和
令和3	補助・助成	ARID1A変異胃癌に対する標的治療の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐瀬善一郎	齋藤元伸
令和3	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明、河野浩二、三村耕作

令和3	補助・助成	脂肪由来幹細胞(ADSC)に積層化した膵島細胞シート移植技術の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	楡井東	
令和3	補助・助成	ミスマッチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフコス転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田勝	岡山洋和, 門馬智之, 坂本渉
令和3	補助・助成	MSS/CIN大腸癌における染色体不安定性(CIN)制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬傑	岡山洋和, 坂本渉
令和3	補助・助成	染色体不安定性により生じる免疫抑制遺伝子の不活化と免疫逃避機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎	岡山洋和, 芦澤舞
令和3	補助・助成	胃癌腫瘍微小環境における免疫抑制機構の解明とその臨床応用について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作	花山寛之, 河野浩二
令和3	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之	河野浩二, 中嶋正太郎
令和3	補助・助成	大腸癌の腫瘍免疫抑制細胞群プロフィールによる免疫療法の応用	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤英成	
令和3	補助・助成	結腸・直腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの制御方法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	菊池智宏	
令和3	補助・助成	科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究	厚生労働省科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業	厚生労働省	若尾文彦	河野浩二, 下井辰徳, 中島信久, 田村和夫, 藤也寸志, 中山健夫, 奥村寛子, 早川雅代, 大西丈二, 高山智子, 花出正美

令和3	補助・助成	全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究	厚生労働省科学研究費補助金がん政策研究事業	厚生労働省	平田公一	井本滋，上本伸二，海野倫明，大家基嗣，岡本高宏，掛地吉弘，加藤則人，川井章，木下義晶，弦間昭彦，河野浩二，小寺泰弘，小林宏寿，佐治重衡，柴田重希子，神野浩光，杉山一彦，竹政伊知朗，千田雅之，藤也寸志，永瀬智，西田俊朗，西山博之，野々村祝夫，袴田健一，長谷川潔，堀口明彦，水島恒和，吉野一郎
令和3	企業からの受託研究	標準治療不応の切除不能な進行・再発胃癌に對する局所放射線療法とNivolumab（抗PD-1抗体）併用療法の第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験		小野薬品工業株式会社	河野浩二	河野浩二，三村耕作，佐瀬善一郎，早瀬傑，小野澤寿志，花山寛之，渡辺洋平，鈴木義行，田巻倫明，佐藤久志，吉本由哉，他16名

肝胆膵・移植外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	木村隆	佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和3	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォロアアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	見城明	遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和3	補助・助成	医療の質に及ぼすがん診療ガイドラインの実施状況と診療環境の検討	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	後藤満一	丸橋繁，宮田裕章
令和3	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	佐藤直哉	見城明
令和3	補助・助成	腫瘍における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行，三村耕作，丸橋繁
令和3	補助・助成	肝組織由来スフェロイド（LTOSs）を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究（C）	日本学術振興会	丸橋繁	武藤亮，鈴志野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉

令和3	補助・助成	脂肪由来幹細胞(ADSC)に積層化した臍島細胞シート移植技術の確立	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	楡井東	
令和3	補助・助成	膵癌におけるクラスリシアンプラズマの発現解析と新規治療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	武藤亮	
令和3	補助・助成	癌と好中球～肝胆膵領域担癌患者好中球の腫瘍進展機序の解明～	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	渡邊淳一郎	
令和3	補助・助成	ポリグリコール酸シートを用いた肝細胞移植の開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	石亀輝英	
令和3	国内共同研究	高齢者消化器がん手術における診療指針策定と、指針普及・人材育成を目指した協働型意思決定支援システムおよび病院評価プログラムの開発	厚生労働省科学研究費 がん対策推進総合研究事業	厚生労働省	丸橋繁	後藤満一，掛地吉弘，北川雄光，瀬戸泰之，柴木宏実，秋下雅弘，中島和江，宮田裕章，隈丸拓，高橋新

呼吸器外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	非小細胞肺癌に対するNeo-antigenを標的とした新たな複合免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木弘行	
令和3	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長谷川剛生	井上卓哉，鈴木弘行，塩豊，武藤哲史
令和3	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳	鈴木弘行
令和3	補助・助成	コンピュータースキストを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野実加	鈴木弘行，塩豊
令和3	補助・助成	肺癌治療におけるferroptosisの意義	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	尾崎有紀	

令和3	補助・助成	小細胞肺癌に対するNOTCHシグナリングを標的とした新規免疫放射線療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	高木玄教	
令和3	補助・助成	患者由来腫瘍組織移植モデルと腫瘍浸潤リンパ球を用いたテラーメイトがん免疫療法	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	松村勇輝	
令和3	補助・助成	タイト結合分子に着目した悪性上皮腫の新規診断・治療標的の同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	渡部晶之	
令和3	補助・助成	がん免疫療法における効果予測モデルの確立とサーキットトランスレシジョンナリサーチの探索	一般研究助成	一般財団法人構山臨床薬理研究助成基金	武藤哲史	松村勇輝
令和3	補助・助成	胸部悪性疾患における免疫状態の解明		ジョンソンエンドジョンソン株式会社メディカルカンパニー	鈴木弘行	
令和3	補助・助成	肺癌における新規診断・予後マーカーの開発	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	鈴木弘行	下村健寿, 前島裕子, 岡部直行
令和3	補助・助成	細胞核内局在化分子による癌予後予測新規指標の開発	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	本間美和子	鈴木弘行, 武藤哲史, 橋本優子, 喜古雄一郎
令和3	補助・助成	β -cateninに注目した非小細胞肺癌の免疫療法耐性機序の解明と新規治療開発	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	武藤哲史	
令和3	補助・助成	がん免疫療法法の個別化に向けた腫瘍浸潤リンパ球と三次リンパ様構造の機能解析	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	山浦匠	
令和3	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺癌患者に対するアフィニチニブの治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+CD62LowエフェクターメモリーT細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行	武藤哲史, 他

令和3	国内共同研究	肺癌検診におけるAI実用化に向けた研究		みずほ情報総研株式会社	鈴木弘行	樋口光徳、他
令和3	国内共同研究	肺癌病態におけるIRAK-Mの役割の解明		ファイメクス株式会社	塩豊	
令和3	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL)		メビックス株式会社	塩豊	
令和3	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発非小細胞肺癌患者に対するアテゾリズマブの多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL)におけるバイオマーカー探索研究		メビックス株式会社	岡部直行	
令和3	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (NSCLC) または進展型小細胞肺癌 (ED-SCLC) 患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL-2)		EPクルーズ株式会社	塩豊	
令和3	企業からの受託研究	切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (NSCLC) または進展型小細胞肺癌 (ED-SCLC) 患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究 (J-TAIL-2)におけるバイオマーカー探索研究		EPクルーズ株式会社	塩豊	
令和3	企業からの受託研究	未治療進行または再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ＋イビリムマブ＋化学療法併用療法の日本における治療実態および有効性と安全性に関する観察研究		メビックス株式会社	塩豊	
令和3	企業からの受託研究	未治療進行非扁平上皮非小細胞肺癌に對するABCp (Atezolizumab+Bevacizumab+Carboplatin+Paclitaxel) 療法の日本人における有効性、忍容性の検討及びMicrobiotaによるバイオマーカーの探索		学校法人昭和大学	塩豊	

乳腺外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	Wnt/ β -cateninシグナルを標的としたトリプルネガティブ乳癌の化学予防	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大竹徹	岡山洋和, 立花和之進, 齋藤元伸
令和3	補助・助成	ミスマツチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフココース転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田勝	岡山洋和, 門馬智之, 坂本渉
令和3	国内共同研究	遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速(第二期)	福島医薬品関連産業支援拠点化事業	福島県	大竹徹	
令和3	国内共同研究	遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速(第三期)	福島医薬品関連産業支援拠点化事業	福島県	大竹徹	

心臓血管外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	様々な大規模データをを用いた高齢者心臓手術の現状とリスクの可視化	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	齋木佳克	本村昇, 高本真一, 宮田裕章, 横山斉, 山本博之

外科研修支援担当

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	大腸癌間質トランススクリプトミクスを応用した個別的微小環境戦略の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大木進司	岡山洋和、遠藤英成
令和3	補助・助成	Wnt/ β -cateninシグナルを標的としたトリプルネガティブ乳癌の化学予防	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大竹徹	岡山洋和、立花和之進、齋藤元伸
令和3	補助・助成	大腸癌のゲノム・エピゲノム異常による短縮型癌関連糖鎖誘導と免疫抑制機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡山洋和	
令和3	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆	佐瀬善一郎、斎藤拓朗、丸橋繁、見城明
令和3	補助・助成	dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	坂本渉	岡山洋和
令和3	補助・助成	ミスマッチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフコース転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田勝	岡山洋和、門馬智之、坂本渉
令和3	補助・助成	MSS/CIN大腸癌における染色体不安定性(CIN)制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	早瀬傑	岡山洋和、坂本渉
令和3	補助・助成	染色体不安定性により生じる免疫制御遺伝子の不活化と免疫逃避機構	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤田正太郎	岡山洋和、芦澤舞
令和3	補助・助成	横隔膜機能からみた frailty 評価の確立と新たな臓手術リスクモデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	藤宮剛	

脳神経外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ	小島隆生
令和3	補助・助成	手指動作における時空間ダイナミクスの特徴抽出と臨床応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林俊輔	津田一郎、藤井正純、寺尾安生、行木孝夫、慎重弼
令和3	補助・助成	同時収集体PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩	小島隆生、久保均、高橋和弘、石井士朗
令和3	補助・助成	レーザー光源による手術顕微鏡の新しい機能開発：脳血流量2次元表示と絶対値の測定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	斎藤清	佐藤拓、佐久間潤
令和3	補助・助成	脳腫瘍の神経伝導と硬さ因子の解明：機能温存と安全性の高い手術法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	岩楯兼尚	
令和3	補助・助成	神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	厚生労働科学研究費補助金／難疾病・障害対策研究分野／難治性疾患政策研究	厚生労働省	錦織千佳子	藤井正純、他
令和3	補助・助成	血栓化脳動脈瘤の病態解明と治療法の開発	日本神経放射線学会研究助成金制度	日本神経放射線学会	佐藤拓	

整形外科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂, 小野玲, 紺野慎一
令和3	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一	関口美穂
令和3	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗, 大谷晃司, 小野玲, 紺野慎一, 福原俊一
令和3	補助・助成	膝関節音・バランス能力から運動器症候群を予知/予防するAI診療システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長尾光雄	紺野慎一, 荊雷
令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一, 関口美穂, 長谷川靖, 久保均, 金内洋一
令和3	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊和之	大谷晃司, 紺野慎一
令和3	補助・助成	腱細胞・腱組織におけるTRPチャネルを介した慢性炎症の機序	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	亀田拓哉	
令和3	企業からの受託研究	人工股関節全置換術の従来法(後方アプローチ又はERP法)とDirect Superior Approach(DSA)の手術情報、術後画像評価及び臨床転帰の比較		日本ストライカー	青田恵郎	山岸栄紀, 大橋寛憲, 荒文博, 佐藤法義, 高野純一
令和3	企業からの受託研究	腰部脊柱管狭窄症による末梢性神経障害性疼痛を有する患者を対象としたNSAIDs内服中の患者にミロガバリンベンシル酸塩を追加併用処方した際の有効性と安全性の検討ー多施設共同、無作為化、非盲検、並行群間、介入研究ー	共同研究事業費	第一三共株式会社	二階堂琢也	
令和3	企業からの受託研究	再生医療等製品「ステミラック注」製造販売後承認条件評価に係る使用成績比較調査における機能検査の実施	共同研究事業費	ニプロ株式会社	紺野慎一	二階堂琢也

形成外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	内臓脂肪の潜在能力：循環と免疫賦活におけるhyper 2-way player	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	山本有平	林利彦, 舟山恵美, 石川耕資, 前田拓, 小山明彦, 古川洋志

産科婦人科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	経塚標	山口明子, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	菅沼亮太	高橋俊文
令和3	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	福田冬馬	村田強志, 経塚標, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデル子宮内感染下における低酸素刺激の影響－脳障害の予防に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	藤森敬也	安田俊, 福田冬馬, 経塚標, 村田強志, 平岩幹
令和3	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	村田強志	福田冬馬, 経塚標, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	接着分子CLDN12は子宮頸癌と子宮体癌の診断マーカー・新規治療標的となりうるか、	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	遠藤雄大	

小児科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	親子関係が子どもの情動調整発達に与える影響の縦断的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	尾形優香	橋本浩一
令和3	補助・助成	急性・慢性腎障害後の腎線維化に対するMicroRNA-21を用いた新規治療薬開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川崎幸彦	郷勇人、陶山和秀、長岡由修、石井玲
令和3	補助・助成	体液エクソソームを用いた新生児慢性肺疾患の発症予測とmiR-21制御の治療効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷勇人	橋本浩一
令和3	補助・助成	子どもはいかに出生コホート調査参加意識を形成しインフォームド・アセントに至るのか	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶子	橋本浩一、本田純久
令和3	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生仔マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤真紀	郷勇人、桃井伸緒、橋本浩一、吉野大輔
令和3	補助・助成	小児における抗インフルエンザ薬低感受性ウイルス出現の監視と制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤晶論	橋本浩一、細矢光亮
令和3	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本浩一	細矢光亮、郷勇人、佐藤晶論
令和3	補助・助成	血液脳関門組織培養モデルによるウイルス関連急性脳症病態解明と治療法開発の基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	細矢光亮	橋本浩一、佐藤晶論
令和3	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒	郷勇人、青柳良倫、金井祐二
令和3	補助・助成	溶血性尿毒症症候群発症後の硬化性腎病変進展への危険因子とその制御システム解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	久米庸平	

令和3	補助・助成	microRNA/HMGB1シグナリングに着目した溶血性尿毒症症候群の治療法開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	前田亮	
令和3	補助・助成	新生児慢性肺疾患患児のRSV感染重症化機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	宮崎恭平	
令和3	補助・助成	Ab Initio遺伝子軌道法を用いた新生児疾患関連遺伝子ネットワークの同定	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	柳沼和史	
令和3	補助・助成	巣状糸球体硬化症におけるmiR-21の役割とその制御	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	山根景志	

眼科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	滲出型加齢黄斑変性の病態形成に補体レクチン経路が関与する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大森智子	石龍鉄樹，関根英治

泌尿器科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	NOS uncouplingを標的とした新規過活動膀胱治療薬開発にむけた基礎研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	赤井畑秀則	秦淳也，小島祥敬，石橋啓
令和3	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史	福原俊一，小島祥敬，脇田貴文，栗田宣明
令和3	補助・助成	新規要因としての先天性CMV感染による精子形成障害の機序解明と予防的治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川総一郎	佐藤雄一，秦淳也，錫谷達夫，胡口智之，小島祥敬，赤井畑秀則
令和3	補助・助成	前立腺肥大症における自己免疫応答と微生物感染によるインフラマソーム制御機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小島祥敬	秦淳也，錫谷達夫，関根英治，羽賀宣博，赤井畑秀則，石橋啓

令和3	補助・助成	リゾリン脂質に着目した膀胱癌再発・進展メカニズムの解明と新規治療の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	片岡政雄	
令和3	補助・助成	細胞内ミトコンドリア代謝を標的とした新規腎癌薬物療法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	胡口智之	
令和3	補助・助成	補体B因子ノックアウトラットを用いた自己免疫反応による前立腺肥大症増殖機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	秦淳也	
令和3	補助・助成	SGLT2糖輸送経路に着目したAR抑制による前立腺癌増殖抑制機構の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	星誠二	
令和3	補助・助成	R-spondinによるWntシグナル経路を介した前立腺肥大症線維化機序の解明と新規治療薬の開発	2020年度GSKジャパン研究助成	グラクソ・スミスクライン株式会社	佐藤雄一	
令和3	企業からの受託研究	日本の高リスク転移性ホルモン療法感受性前立腺癌患者の臨床転帰を観察するレジストリ試験	受託研究	ヤンセンファーマ株式会社	小島祥敬	星誠二
令和3	企業からの受託研究	日本における局所進行性又は転移性尿路上皮癌(1a/mUC)患者の治療パターン及び疾患の臨床的/経済的負担に関するチャートレビュー研究	受託研究	シミックヘルスケア・インステイテュート株式会社	小島祥敬, 小川総一郎	
令和3	学内共同研究	利尿適用に着目した過活動膀胱の病態解明と新規治療法開発のための基礎的研究	育成研究	福島県立医科大学	松岡香菜子	
令和3	学内共同研究	ヒト前立腺組織内の微生物同定と補体経路活性化を介した前立腺肥大症発症機序の解明	育成研究	福島県立医科大学	本田瑠璃子	
令和3	その他	福島第一原子力発電所事故に伴う放射線被ばくに関連した健康影響に関する論文のコンテキスト化等業務		環境省	小島祥敬	

耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	東日本大震災の慢性期における高齢者の潜在的嚥下障害に対する実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	今泉光雅	
令和3	補助・助成	HPV関連中咽頭癌の高転移性をHPV E5シグナル伝達から解明する	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	室野重之	
令和3	補助・助成	予後不良HPV関連中咽頭癌の浸潤・転移機構を解明し新たな治療標的とする	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	室野重之	
令和3	補助・助成	上咽頭癌発癌をEBウイルス癌蛋白LMP1発現細胞の細胞競合から解明する	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	池田雅一	
令和3	補助・助成	宿主リン酸化酵素阻害による喉頭乳頭腫の新規治療の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川瀬友貴	
令和3	補助・助成	分子生物学的手法を用いた悪性唾液腺腫瘍への新たな診断法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木政博	
令和3	補助・助成	神経皮膚症候群におけるアンメットニーツを満たす多診療科連携診療体制の確立	令和3年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	錦織千佳子	今泉光雅
令和3	補助・助成	先天性および若年性の視覚聴覚二重障害の難病に対する医療および移行期医療支援に関する研究	令和3年度難治性疾患政策研究事業	厚生労働省	松永達雄	今泉光雅
令和3	補助・助成	喉頭乳頭腫に関する全国疫学調査	日本気管食道科学会臨床研究／プロジェクト研究	日本気管食道科学会	室野重之	

神経精神医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	コホート・生体試料支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／新学術領域研究（研究領域提案型）	日本学術振興会	村上善則	矢部博興

令和3	補助・助成	誘導体化イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すテアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修	三浦至，前島裕子
令和3	補助・助成	統合失調症死後脳における Pro to Glu 経路の分子プロフィール解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	國井泰人	日野瑞城
令和3	補助・助成	簡易客観的精神機能検査による「うつ病エピソード」の型分類は治療計画立案に有用か？	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丹羽真一	
令和3	補助・助成	統合失調症死後脳淡蒼球におけるストレス応答分子に着目した多階層的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	日野瑞城	矢部博興，國井泰人
令和3	補助・助成	オキシトシンが統合失調症の臨床症状・社会行動障害に与える影響についての検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦至	矢部博興
令和3	補助・助成	慢性疼痛患者のリハビリ効果を向上させる認知行動療法に基づくプログラムの効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本谷亮	丹羽真一，笠原諭
令和3	補助・助成	ベンゾジアゼピン系薬剤減量によるMMNの変化	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	落合晴香	
令和3	補助・助成	統合失調症死後脳におけるプロリン代謝経路のメタボローム解析	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長岡敦子	
令和3	補助・助成	脳ゲノム情報解析による精神疾患関連神経回路の同定と機能解明	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト／ヒト疾患研究	日本医療研究開発機構(AMED)	岩本和也	國井泰人
令和3	補助・助成	先進的MRI技術に基づく統合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	脳とこころの健康大國実現プロジェクト	日本医療研究開発機構(AMED)	花川隆	矢部博興
令和3	学内共同研究	成人期注意欠陥多動性障害の診断用バイオマーカーの開発：マルチモーダルアプローチ	特定研究助成	福島県立医科大学	矢部博興	板垣俊太郎

放射線医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	α線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内昇	阿部悠，趙松吉，西嶋剣一，右近直之，長谷川有史，伊藤浩
令和3	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩	小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一

麻酔科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	スーパージオキサイドドリッチ環境が脳虚血再還流に与える影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井上聡己	川口昌彦
令和3	補助・助成	全身麻酔薬が抗がん剤による免疫抑制に与える影響とその機序の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒澤伸	
令和3	補助・助成	術後せん妄と脳内神経伝達物質受容体発現に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村川雅洋	
令和3	補助・助成	局所麻酔薬の複数同時使用時の中毒閾値に関する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	野地善恵	
令和3	補助・助成	急性呼吸窮迫症候群（ARDS）における酸素ナノバブル経静脈投与の有効性の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	吉田圭佑	

救急医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関憲
令和3	補助・助成	中毒および外傷に起因する生体侵襲の基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊関憲	後藤薫
令和3	補助・助成	肺炎球菌感染初期時の急性増悪を回避する自然抗体IgMへの役割解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木剛	山本夏男, 伊関憲
令和3	補助・助成	長鎖非コードRNA (lncRNA) の機能制御による新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関憲
令和3	補助・助成	発達期の脳の臨界期とGABA調節因子の役割：麻酔薬の鎮静と毒性作用の解明に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西川光一	

病理病態診断学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドライバー変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩, 橋本優子
令和3	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子, 池添隆之
令和3	補助・助成	悪性リンパ腫における糖鎖とイムノグロブリンシグナル伝達との関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木理	

臨床検査医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲術前遺伝子検査法の開発と甲状腺癌リスク評価法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己	岩鋆学，松本佳子，鈴木聡，伊藤祐子，鈴木眞一
令和3	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌（GBS）の検出－全自動遺伝子解析装置への応用－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦里織	豊川真弘，志村浩己

感染制御学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	原発避難区域を含む福島県内全域のダニ媒介性感染症の調査と新たな診断手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	金光敬二	門馬直太，仲村究，壁谷昌彦
令和3	補助・助成	肺炎球菌感染初期時の急性増悪を回避する自然抗体IgMへのIL13の役割解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木剛	山本夏男，伊関憲
令和3	企業からの受託研究	C. Difficile遺伝子検出試薬の臨床性能評価		株式会社ミズホメディ		

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍の病態進展におけるドライバー変異とヒストン修飾因子異常の相互的役割	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	池田和彦	大河原浩，橋本優子
令和3	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍が急性白血病に転化する機序と予防的治療法の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	植田航希	池田和彦，三村耕作
令和3	補助・助成	肺好中球分化へのダイナミズムと炎症を基軸とした肺高血圧症の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	君島勇輔	三阪智史，池田和彦

令和3	補助・助成	食道扁平上皮癌に対する放射線照射＋Nivolumab併用療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	河野浩二	三村耕作
令和3	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明、河野浩二、三村耕作
令和3	補助・助成	クロールン性造血に着目した心不全に対する新しい治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹石恭知	三阪智史、横川哲朗、池田和彦
令和3	補助・助成	肺癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行、三村耕作、丸橋繁
令和3	補助・助成	胃癌腫瘍微小環境における免疫抑制機構の解明とその臨床応用について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三村耕作	花山寛之、河野浩二
令和3	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオプリンク開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉	尾池貴洋、田巻倫明、鈴木義行、三村耕作
令和3	補助・助成	骨髄増殖性腫瘍(MPN)の病態に髄外の造血細胞が果たす役割の解明	2021年度日本血液学会研究助成事業	一般社団法人日本血液学会	池田和彦	
令和3	出資金による受託研究	腫瘍に対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トリアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点本部	大戸斉	一戸辰夫、鈴木義行、小早川雅男、河野浩二、鈴木弘行、菊田敦、長井一浩

地域・家庭医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	不確実性下の医療：情報と合理的意思決定の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井伊雅子	葛西龍樹、原千秋
令和3	補助・助成	家庭医・総合診療専門医のケアは何かどう違ってくるのか？：質評価のための指標探索研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	葛西龍樹	菅家智史

放射線健康管理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉隆、佐藤人志、佐藤健一、保田浩志、井山慶大
令和3	補助・助成	幸福余命の算出と環境及び災害関連健康リスク評価への適用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	村上道夫	竹林由武、野村周平、坪倉正治、小野恭子
令和3	補助・助成	金属メッキ糸の織布を利用した次世代型2次元個人線量計の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	大葉隆	
令和3	補助・助成	原発事故後10年間における地域住民の二次的健康影響の総括、および今後の医療・介護ニーズの推定に関する研究	放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）	環境省	坪倉正治	嶋田裕紀、山本知佳、森田知宏、西川佳孝、尾崎章彦、村上道夫、竹林由武、黒田佑次郎、小野恭子、野村周平、関家一樹、朱旭瑾、原田恭子、三浦訓子、齋藤宏章、樋口朝霞、小橋友理江、澤野豊明、伊東尚美、園田友紀、島津勇三、西村有代、趙天辰、原田由佳
令和3	補助・助成	福島原発事故の経験に基づく防護措置に伴う社会弱者の健康影響と放射線リスクの比較検討に関する研究	放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）	原子力規制庁	坪倉正治	高原省五、小野恭子、内藤航、保高徹生、村上道夫、野村周平、尾崎章彦、西川佳孝、森田知宏、澤野豊明、齋藤宏章、樋口朝霞、小橋友理江、園田有紀
令和3	補助・助成	福島県の被災地域における医療者と高齢者の、ワクチン接種間隔と抗体保有率についてのコホート研究	ワクチン開発推進事業（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ワクチンの有効性、安全性等に関する研究）	日本医療研究開発機構	坪倉正治	坪倉正治、児玉龍彦、渋谷健司、瀧田盛仁、小橋友理江、島津勇三、澤野豊明、原田由佳、野地芹菜、趙天辰、西村有代、尾崎章彦、西川佳孝、小俣文弥、二瓶正彦、鈴木保子、阿部桂子、川村猛、中山綾、杉山暁、金子雄大
令和3	補助・助成	福島県内のホールボディカウンタース装置の経年変化（劣化）における6年間の多施設連携調査とその精度管理法の提案	拠点プロジェクト研究費	ふくしま国際医療科学センター	大葉隆	

令和3	国内共同研究	帰還住民を持続的に支援可能なアプリ ケーションの開発	放射線の健康影響に係る研究 調査	環境省	後藤あや	大葉隆
令和3	国内共同研究	大気拡散シミュレーションによる時間空 間放射能データベースを用いた避難行動 パターン毎の初期線量評価	放射線の健康影響に係る研究 調査	環境省	鈴木元	大葉隆
令和3	国内共同研究	災害対応者の業務姿勢に影響を与える因 子の検討-多様な職種におけるコミュニ ケーターの育成を目指して	放射線災害・医科学研究拠点 トライアングルプロジェクト	放射線災害・医 科学研究拠点	長谷川有史	大葉隆

甲状腺内分泌学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	遺伝子発現解析を用いた術前甲状腺濾胞 癌診断の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	岩館学	松本佳子, 鈴木真一
令和3	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲術前遺伝子検査法の開 発と甲状腺癌リスク評価法の確立	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	志村浩己	岩館学, 松本佳子, 鈴木聡, 伊 藤祐子, 鈴木真一
令和3	補助・助成	iPS細胞からの新規甲状腺、副甲状腺モ デル細胞の樹立	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	鈴木悟	横内裕二, 中村泉, 大河内千代
令和3	補助・助成	血中ctDNAを用いた小児甲状腺癌再発 マーカーの開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	鈴木真一	岩館学
令和3	補助・助成	事故後に発見された小児若年者甲状腺疾 患のメカニズムに関する研究	放射線健康管理・健康不安対 策事業 放射線の健康影響に 係る研究調査事業	環境省	鈴木真一	岩館学, 鈴木聡, 松本佳子, 志 村浩己, 鈴木悟, 松塚崇, 山下 俊一, 光武範吏, 石川徹夫, 大 平哲也, 山谷幸恵, 関野瑞希
令和3	企業からの受託 研究	アポット社全自動化学発光免疫装置によ るTRAb検査試薬の検討	受託研究	アポットジャパ ン合同会社	吉村弘	鈴木真一, 鈴木聡, 水沼廣, 松 本佳子, 塩功貴, 関野瑞希, 山 谷幸恵, 鈴木悟, 橋正剛, 西原 永潤, 中島康代, 岩久健志, 松 坂英一郎

災害こころの医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 堀越直子, 佐藤秀樹, 後藤紗織
令和3	補助・助成	認知症家族・離婚家族のもつあいまいな喪失における家族支援プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	黒川雅代子	青木聡, 瀬藤乃理子
令和3	補助・助成	原発事故影響下で支援者として働く人たちの複合的なあいまいな喪失体験とレジリエンス	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	瀬藤乃理子	松井豊, 前田正治, 佐藤秀樹, 小林智之
令和3	補助・助成	原発避難者と地域の融和に向けた介入方法：コミュニケーション形成モデルの開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	小林智之	
令和3	補助・助成	日常生活の反すうが抑うつを予測する認知行動プロセスの検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤秀樹	
令和3	国内共同研究	第1種健康診断特例区域等の検証における健康影響調査	委託研究	厚生労働省	坂本 亘	高橋秀人, 前田正治, 高村昇
令和3	国内共同研究	コロナ禍における原子力災害医療研修の検討	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学研究拠点	廣橋伸之	前田正治

放射線腫瘍学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	再発胃癌患者に対する放射線治療と抗PD-1抗体併用療法の腫瘍免疫学的解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木義行	田巻倫明、河野浩二、三村耕作
令和3	補助・助成	肺癌における放射線誘導抗腫瘍免疫と予後に関する腫瘍病理学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田巻倫明	鈴木義行、三村耕作、丸橋繁
令和3	補助・助成	マルチモダリティ画像誘導小線源治療による巨大子宮頸癌治療戦略	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田真永	加藤真吾、熊崎祐、中野隆史、鈴木義行、平井隆太、猪狩光紳、田巻倫明
令和3	補助・助成	放射線治療における免疫応答性に関わる体細胞変異のトランスレシヨナルリサーチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村田和俊	尾池貴洋、吉本由哉
令和3	補助・助成	PD-L1抗体を用いた免疫放射線療法確立のための基礎検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	原孝光	鈴木義行、中神佳宏、吉本由哉、佐藤浩史、川村拓
令和3	補助・助成	放射線治療時の抗腫瘍免疫感受性を決定する遺伝子変異同定とリキッドバイオアシナー開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	吉本由哉	尾池貴洋、田巻倫明、鈴木義行、三村耕作

腫瘍内科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ホルモン受容体陽性乳癌におけるHER3の分解制御因子の解明と治療効果との関連性	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐治重衡	
令和3	補助・助成	細胞内シグナル伝達阻害薬が内分泌療法耐性乳癌の治療感受性を回復させる機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	徳田恵美	
令和3	補助・助成	iPS細胞からの造血分化誘導系への照射実験による治療関連MDS発症機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	阿左見祐介	

令和3	補助・助成	全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究	厚生労働科学研究費補助金／疾病・障害対策研究分野／がん対策推進総合研究	厚生労働省	平田公一	井本滋、上本伸二、海野倫明、大家基嗣、岡本高宏、掛地吉弘、加藤則人、川井章、木下義晶、弦間昭彦、河野浩二、小寺泰弘、小林宏寿、佐治重衡、柴田亜希子、神野浩光、杉山一彦、竹政伊知朗、千田雅之、藤也寸志、永瀬智、西田俊朗、西山博之、野々村祝夫、袴田健一、長谷川潔、堀口明彦、水島恒和、吉野一郎、賀本敏行、菊地栄次、成田善孝、増井俊彦
令和3	補助・助成	低酸素下乳がんにおけるERBB制御と放射線心容	トライアングルプロジェクト	放射線災害・医学科学研究拠点	谷本圭司	佐治重衡

放射線災害医療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	福島原発作業員の放射線不安軽減を目標とした教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	岡崎龍史	松田尚樹、加藤尊秋、越智小枝、真船浩介、江口尚、長谷川有史、立石清一郎、林卓哉
令和3	補助・助成	α線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内昇	阿部悠、趙松吉、西嶋剣一、右近直之、長谷川有史、伊藤浩
令和3	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉隆、佐藤久志、佐藤健一、保田浩志、井山慶大
令和3	補助・助成	東日本大震災原子力災害を踏まえた原子力災害時における病院職員確保に関する調査研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永田高志	長谷川有史、安部猛
令和3	補助・助成	新開発シャツ型心電計の生理学的指標変動による原子力災害対応者の精神的負荷要因調査	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井山慶大	

人間科学講座 生命倫理学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	植民地・占領地の環境適応と生活科学－京都帝国大学戸田衛生学教室を中心－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永恵子	

自然科学講座 分子細胞生物学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	<i>Candida</i> 属におけるアゾール系抗菌薬耐性：フラボヘモグロビンの新たな役割	研究支援事業（育成研究）	福島県立医科大学	五十嵐城太郎	

自然科学講座 数理物質科学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開康一	松浦弘泰，石井康之

生体物質研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	反応性アストロサイト制御分子PAK2キナーゼの機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小椋正人	
令和3	補助・助成	Casein Kinase 2 (CK2) 細胞内局在に着目した癌の予後予測マーカー	橋渡し研究戦略的推進事業シリーズA	日本医療研究開発機構 (AMED)	本間美和子	野水整，橋本優子

細胞科学研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	受精の配偶子融合マシナリーの包括的解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	井上直和	
令和3	補助・助成	IZUM01-JUNOで制御される配偶子間膜融合	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	齋藤貴子	
令和3	補助・助成	プロテインホスファターゼPP2Cεが制御する小胞体ダイナミクスの機構解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	荒井斉祐	
令和3	補助・助成	細胞質内分子流動に関わる内膜微小揺動の発生機序とその生理作用の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	和田郁夫	

生体機能研究部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	先端モデル動物支援プラットフォーム	科学研究費助成事業／新学術領域研究(研究領域提案型)『学術研究支援基盤形成』	日本学術振興会	井上純一郎， 井浩三	中村卓郎，井上純一郎，高田昌彦，山田泰広，高橋智，伊川正人，崎村建司，荒木喜美，八尾良司，真下知士，小林和人，豊國伸哉，鰐淵英機，今井田克己，二口充，上野正樹，宮崎龍彦，神田浩明，尾藤晴彦，宮川剛，高雄啓三，池田和隆，虫明元，清宮啓之，長田裕之，旦慎吾，井本正哉，川田学，田原栄俊，吉田稔，松浦正明，牛嶋大，吉田進昭
令和3	補助・助成	パーキンソン病モデルにおける学習障害回復の基盤となる神経回路再編成メカニズム	科学研究費助成事業／新学術領域研究(研究領域提案型)	日本学術振興会	小林和人	
令和3	補助・助成	環境に応答した行動変容を司る遺伝子・細胞機能ダイナミクス	科学研究費助成事業／学術変革領域研究(A)	日本学術振興会	小林和人	

令和3	補助・助成	腹側被蓋野ドーパミンニューロンの活動と目標指向行動の動機づけの因果的関係の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	井口善生	
令和3	補助・助成	視床線条体ネットワークの構造・機能マッピングと認知行動機能における役割の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤成樹	
令和3	補助・助成	両手間転移からニューロリハビリテーションへの新たなアプローチ	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	深堀良二	
令和3	補助・助成	視床下部室傍核の摂食抑制CRFニューロンの同定とその機能の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀尾修平	加藤成樹, 山形聡
令和3	補助・助成	新規化学遺伝学ツールによる脳機能回復戦略の研究	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	小林和人	
令和3	補助・助成	環境に依存して行動を制御する線条体直接路・間接路の機能の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	西澤佳代	
令和3	企業からの受託研究	香気および味覚による嗜好性の認知と好き嫌いを生む神経基盤の解明	公益財団法人ロッセテ財団奨励研究助成(A)	公益財団法人ロッセテ財団	加藤成樹	

放射性同位元素研究施設

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関憲
令和3	補助・助成	がん支持療法創出を旨とした可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子	関亦正幸
令和3	補助・助成	長鎖ノンコードRNA (lncRNA) の機能制御による新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子, 伊関憲

実験動物研究施設

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂、小野玲、紺野慎一
令和3	補助・助成	Lactobacillus murinusによるTFH細胞挙動変化と老化病態	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川田耕司	
令和3	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一	関口美穂
令和3	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗、大谷晃司、小野玲、紺野慎一、福原俊一
令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一、関口美穂、長谷川靖、久保均、金内洋一

国際被ばく保健看護学講座（旧：国際被ばく公衆衛生看護学講座）

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	地域包括ケアを担う看護職のための放射線健康リスクリテラシー向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤美佳	

周産期・小児地域医療支援講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	経塚 標	山口明子, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生仔マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤 真紀	郷 勇人, 桃井伸緒, 橋本浩一, 吉野大輔
令和3	補助・助成	食事摂取頻度調査票による食事炎症能と、炎症マーカー、産科疾患リスクとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	福田冬馬	村田強志, 経塚 標, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	慢性羊胎仔実験モデル子宮内感染下における低酸素刺激の影響—脳障害の予防に向けて	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	藤森敬也	安田俊, 福田冬馬, 経塚 標, 村田強志, 平岩 幹
令和3	補助・助成	先制医療に向けた胎児発育不全における抗酸化物質を用いた胎児治療開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	村田強志	福田冬馬, 経塚 標, 安田俊, 藤森敬也
令和3	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒	郷 勇人, 青柳良倫, 金井祐二

白河総合診療アカデミー

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木 亮	長沼透, 山田実, 竹島太郎, 栗田宜明
令和3	補助・助成	新たな高齢者向け包括的症候測定ツールSymTrak—健康指標としての意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹島 太郎	濱口 杉大
令和3	補助・助成	日本の高齢者の「人生の最終段階を見据えた話し合い」促進プログラムの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	宮下 淳	福原俊一, 山本洋介, 清水さやか

東白川整形外科アカデミー

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一

疼痛医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	慢性疼痛患者のリハビリ効果を向上させる認知行動療法に基づくプログラムの効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本谷亮	丹羽真一，笠原諭
令和3	補助・助成	慢性の痛み患者への就労支援／仕事と治療の両立支援および労働生産性の向上に寄与するマニキュアルの開発と普及・啓発	厚生労働科学研究費補助金慢性の痛みの政策研究事業	厚生労働省	松平浩	高橋直人
令和3	国内共同研究	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	厚生労働行政推進調査事業慢性の痛みの政策研究事業	厚生労働省	矢吹省司	

外傷再建学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂，小野玲，紺野慎一
令和3	補助・助成	ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	紺野慎一	関口美穂
令和3	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗，大谷晃司，小野玲，紺野慎一，福原俊一

令和3	補助・助成	膝関節骨・バランス能力から運動器症候群を予知/予防するAI診療システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長尾光雄	紺野慎一，荊雷
令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和3	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊和之	大谷晃司，紺野慎一

生体機能イメージング講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	サクセシフルBNCT・陽子線治療へのPET診断法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	石渡喜一	鷲野谷利幸，佐藤まり子，高井良尋，村上昌雄，廣瀬勝己，神谷伸彦，一瀬浩司
令和3	補助・助成	脳構造ネットワーク解析によるアルツハイマー病の超早期診断に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田博史	
令和3	その他	構造MRI解析の標準化と臨床応用に関する研究	精神・神経疾患研究開発事業	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	松田博史	

多発性硬化症治療学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	神経免疫疾患のエビデンスによる診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業	厚生労働省	桑原聡	桑原聡，和泉唯信，磯部紀子，鶴沢顕之，荻野美恵子，海田賢一，河内泉，小池春樹，佐藤泰憲，清水優子，園生雅弘，竹内英之，田原将行，中島一郎，中辻裕司，中西恵美，中原仁，新野正明，三澤園子，村井弘之，本村政勝，山村隆，横田隆徳，吉川弘明

低侵襲腫瘍制御学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	消化器癌手術後の合併症発生に関連する術者の手技要因を同定する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多通孝	
令和3	補助・助成	直腸癌術後の予防的骨盤内ドレーンとPelvic sepsisの関連調査	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	河村英恭	
令和3	補助・助成	消化器癌罹患者後の就労阻害因子の検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中山祐次郎	
令和3	補助・助成	救急救命士による病院前ブドウ糖投与の現状記述と時系列/横断的分析による制度評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	橋本克彦	

心臓調律制御医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	妊娠可能年齢女性への薬酸サブリメント投与によるワンカーボン代謝動態の総合的評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤久美子	福岡秀興、川端輝江
令和3	補助・助成	妊娠期の母親の栄養・遺伝子多型とワンカーボン代謝との関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川端輝江	加藤久美子、福岡秀興、櫻井健一、森千里、西川正純

肥満・体内炎症解析研究講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	誘導体化イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すアニアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修	三浦至, 前島裕子
令和3	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的の多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 堀越直子, 佐藤秀樹, 後藤紗織
令和3	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之	河野浩二, 中嶋正太郎
令和3	補助・助成	食道癌における腫瘍随伴マクロファージに着目した免疫放射線療法の新規作用機序の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中嶋正太郎	
令和3	出資金による受託研究	腫瘍に対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トライアイアングルプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点本部	大戸斉	一戸辰夫, 鈴木義行, 小早川雅男, 河野浩二, 鈴木弘行, 菊田敦, 長井一浩
令和3	国内共同研究	低線量被曝が腫瘍随伴マクロファージの分化・機能に及ぼす影響	放射線災害・医科学研究拠点	広島大学	神沼修	中嶋正太郎

ヒト神経生理学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	新規非侵襲的脳刺激が拓くネオ・リハビリテーションとそのシステム脳科学的解明	科学研究費助成事業／基盤研究(A)	日本学術振興会	美馬達哉	小野弓絵, 野馬一平, 桐本光, 松橋真生, 植木美乃, 小金丸聡子, 宇川義一, 福田敦夫, 大須理英子, 北城圭一
令和3	補助・助成	神経可塑性を用いた神経変性疾患の臨床的指標の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	花島律子	宇川義一, 清水崇宏
令和3	国内共同研究	人工神経接続を用いた非侵襲的脊髄磁気刺激による脊髄損傷者の歩行再建		東京都医学総合研究所	西村幸男	宇川義一

周産期間葉系幹細胞研究講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	誘導体イメーシングMSを軸とした抗うつ作用を示すテアアニンの脳内作用機序の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	平修	三浦至, 前島裕子
令和3	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得: 多層的な面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸 斉	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 堀越直子, 佐藤秀樹, 後藤紗織
令和3	補助・助成	PIP2によるKATPチャネル・インスリン分泌制御ならびに糖尿病治療への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	下村健寿	
令和3	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田敦, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 郷 勇人
令和3	補助・助成	小児がんレジストリーを用いた転移性肝芽腫に対する薬剤開発戦略としての国際共同臨床試験	臨床研究・治験推進研究事業	日本医療研究開発機構(AMED)	檜山英三	菊田敦, 他
令和3	出資金による受託研究	腫瘍に対する包括的癌免疫療法の開発	放射線災害・医科学研究拠点トラリアーニングプロジェクト	放射線災害・医科学研究拠点本部	大戸 斉	一戸辰夫, 鈴木義行, 小早川雅男, 河野浩二, 鈴木弘行, 菊田敦, 長井一浩
令和3	企業からの受託研究	国内の小児白血病A患者を対象とした遺伝子組換え血液凝固第VIII因子Fc融合タンパク質(rFVIII-Fc)製剤の有用性を検討する多施設観察研究 (Fc Adolescent and Children Treatment study (FACTS))		サノフィ株式会社		菊田敦, 他

看護学部

総合科学部門 言語学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	英語の関係詞節の発話解釈に関する意味的・語用論的原理の記述的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中山仁	

総合科学部門 行動科学分野（心理学）

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクテイングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明, 三澤文紀, 矢原隆行

総合科学部門 行動科学分野（社会学）

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	子ども・若者支援における専門性の構築－「社会教育的支援」の比較研究を踏まえて－	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二	井上大樹, 宮崎隆志, 上野景二, 石井山竜平, 帆足哲哉, 立柳聡, 深作拓郎, 中田周作, 津富宏, 川野麻衣子, 大串隆吉, 南出吉祥, 大村恵, 藤田美佳
令和3	補助・助成	高齢化コミュニティにおける介護キンドレッドの地域－八丈島と北信地方の比較研究－	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	立柳聡	
令和3	その他	八丈島の民俗と社会構造に関する研究	開拓的島嶼コミュニティ研究支援	島嶼コミュニティ学会	立柳聡	

総合科学部門 保健情報学・疫学分野

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋結
令和3	補助・助成	精神科患者の生活習慣病予防・改善を目的としたタイプ別生活指導プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡部聡子	後藤あや, 本間杏菜, 根本絢香, 伊藤慎也, 高橋徹
令和3	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子
令和3	補助・助成	保護者用乳幼児スキケンケ評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子	後藤あや
令和3	補助・助成	ベトナム人糖尿病患者の血糖コントロールとヘルスリテラシーの関連に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川博英	後藤あや, 郡山千早, 湯浅資之
令和3	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代	後藤あや, 石井佳世子
令和3	国際共同研究	Phase III: 南部における科学的根拠に基づく患者中心の保健医療サービス向上：大学と医師会の連携イニシアチブ	JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)	国際協力機構(JICA)	後藤あや	
令和3	国内共同研究	帰還住民を持続的に支援可能なアブリケーションの開発	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業	環境省	後藤あや	

生命科学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	長鎖ノンコードRNAの遺伝子発現調節機能に立脚した新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子、伊関憲
令和3	補助・助成	重度・慢性精神障害者のセルフケア能力の評価方法と看護介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中山洋子	加藤郁子、大川貴子、宇佐美しおり、田井雅子、塩見理香、畦地博子、井上さや子
令和3	補助・助成	小児緩和ケアの対象となる子どももののQOL向上に向けた看護師教育プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	松岡真里	有田直子、名古屋祐子、古橋知子、川合弘恭、田村恵子、奈良岡美保、笹月桃子、岡崎伸、石浦光世、平田美佳、竹之内直子
令和3	補助・助成	長鎖非コードRNA (lncRNA) の機能制御による新たな炎症制御法の創成	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦正幸	関亦明子、伊関憲
令和3	補助・助成	がん併発の精神疾患患者ケアに関する精神看護がん看護協働コンサルテーションの効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤郁子	
令和3	補助・助成	がん支持療法創出を旨とした可視化・数値化可能な光る耳下腺培養細胞系の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関亦明子	関亦正幸
令和3	補助・助成	Ab initio法を活用した造血系腫瘍におけるlncRNAの統合的機能解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森努	合山進
令和3	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォロアアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明	速藤俊吾、菅野久美、加藤郁子、三浦浅子、丸橋繁

基礎看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗	稲毛映子, 中野裕紀, 丸谷美紀, 川島理恵, 蓬田美保
令和3	補助・助成	保護者用乳幼児スキケンケア評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子	後藤あや
令和3	補助・助成	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発	科学研究費助成事業／若手研究(B)	日本学術振興会	林紋美	
令和3	国内共同研究	福島県内看護職のコロナ禍におけるメンタルヘルスの実態	令和3年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学丸山育子		國分栄久子, 柏木久美子, 久保木優佳, 藤田望, 尾形優, 伊勢野明美, 迎田美香

成人・老年看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	施設入所高齢者の入浴時刻の違いによる体温の経時的変化と睡眠覚醒状態の比較	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐々木千佳	
令和3	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明	遠藤俊吾, 菅野久美, 加藤郁子, 三浦浅子, 丸橋繁
令和3	補助・助成	肺切除患者のセルフエフィカシー基盤型看護リハビリテーションプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	片桐和子	菅野久美
令和3	補助・助成	看護師のアセスメントプロセスの可視化に基づくAIを活用した学習支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤みほ	宮川祥子, 井庭崇, 佐藤菜保子, 藤村朗子

令和3	補助・助成	婦人科がん外科的開経後の健康リスクの 予防を目的とした継続教育のフォロー アップ効果	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	井上水絵	
令和3	補助・助成	薬局で看護活動をするファーマシー・ ナースの役割と有用性の検証	科学研究費助成事業／若手研 究	日本学術振興会	杉本幸子	
令和3	補助・助成	がん薬物療法における災害看護実践シ ミュレーション教育プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	菅野久美	今津陽子
令和3	補助・助成	高齢心不全患者と家族のAging in Place を支える心不全緩和ケアの開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	坂本祐子	山手美和, 大崎瑞恵
令和3	補助・助成	膵癌細胞に発現したCRH系ペプチドは癌 の進行と情動に介在するか	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	佐藤菜保子	鈴木貴, 元井冬彦, 佐藤富美 子, 千葉詩織
令和3	補助・助成	高齢糖尿病患者への外来看護実践に関す る質指標の開発	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	齋藤史子	結城美智子, 鄭佳紅, 坂本祐子
令和3	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエ ンパワメントとコミュニティ再生に関す る研究	科学研究費助成事業／基盤研 究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子, 木下美佐子, 高橋香 子, 片桐和子, 山田智恵里

小児・精神看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクテイングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明, 三澤文紀, 矢原隆行
令和3	補助・助成	重度・慢性精神障害者のセルフケア能力の評価方法と看護介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	中山洋子	加藤郁子, 大川貴子, 宇佐美しおり, 田井雅子, 塩見理香, 畦地博子, 井上さや子
令和3	補助・助成	脆弱性を抱えた家族のレジリエンスを促進するケアガイドラインと教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	野嶋佐由美	瓜生浩子, 島山卓也, 大川貴子, 池添志乃, 森下幸子, 田井雅子, 中山洋子, 中村由美子, 藤代知美, 中平洋子, 中野綾美, 坂元綾, 井上さや子, 永井真寿美, 竹崎久美子
令和3	補助・助成	教育現場における遺児支援の構築に向けた介入ツールの開発と検証に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤利憲	
令和3	補助・助成	子どものグリーフサポートの実践 ～死因とレジリエンスに焦点を当てた検証～	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋聡美	佐藤利憲, 小室葉月
令和3	補助・助成	精神障がいびピアサポーターと専門職者が共同創造する地域移行支援モデルの構築	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	田村達弥	

地域・公衆衛生看護学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗	稲毛映子, 中野裕紀, 丸谷美紀, 川島理恵, 蓬田美保
令和3	補助・助成	COVID-19による労働環境変化が学校教員の健康状態や健康関連行動に及ぼす影響	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秦曉子	各務竹康, 日高友郎, 高橋香子

令和3	補助・助成	幼児の「健康をつくる力」の看護師と保育士の連携・協同育成モデルの提示	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	世良喜子	高瀬佳苗、安ヶ平伸枝、畦上恭彦、飯島典生、下泉秀夫、西山里利、野呂千鶴子
令和3	補助・助成	避難指示が解除された被災地保健師のエンパワメントとコミュニティ再生に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	末永カツ子	堀内輝子、木下美佐子、高橋香子、片桐和子、山田智恵里
令和3	国内共同研究	文化に即した外国人介護職の健康支援に関する研究	第28回 2019年度国内共同研究	ファイザーヘルスリサーチ振興財団	丸谷美紀	高瀬佳苗、大島隆代、石川志麻、小尾栄子、二見茜、上里彰仁
令和3	その他	一般病棟の看護師が人生の最終段階にあるがん患者の死を静観できない様相に関する研究	講座研究費	坪井病院	高瀬佳苗	田中啓子

母性看護・助産学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや、吉田和樹、津富宏、佐々木美恵、渡邊一代
令和3	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代	後藤あや、石井佳世子
令和3	国内共同研究	母乳育児継続へつながる母親の持つ力に関する研究	令和2・3年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学	森美由紀	太田操、高橋幸恵、紺野愛、草野祐香利

保健科学部
理学療法学科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ノイズ電気刺激を用いた感覚入力変調による歩行能力の改善	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	青木修	大谷啓尊, 森下慎一郎
令和3	補助・助成	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	椿淳裕	渡邊博昭, 堀田一樹, 森下慎一郎, 大西秀明
令和3	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発生に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也, 林史和
令和3	補助・助成	身体的要因と心理的要因との相互作用に基づく高齢者の転倒・骨折リスク評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	上出直人	柴喜崇
令和3	補助・助成	乳幼児期の発達障害児における目標志向型療育プログラムの開発と効果検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	楠本泰士	友利幸之介
令和3	補助・助成	脳卒中片麻痺に対するスティック型簡易上肢機能訓練機器の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	酒井弘美	楠本泰士
令和3	補助・助成	発達性協調運動障害を対象とした、運動機能評価尺度および運動プログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	新田收	松田雅弘, 楠本泰士, 小山貴之
令和3	補助・助成	低出生体重で生まれた子どもの運動が不器用な要因の分析と運動指導の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松田雅弘	北原エリ子, 儀間裕貴, 楠本泰士, 新田收
令和3	補助・助成	血液がん患者の免疫活性に特化した運動療法プログラムの開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	森下慎一郎	椿淳裕
令和3	補助・助成	地域在住高齢者の転倒要因となる足部形態による運動機能の分析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横塚美恵子	

令和3	補助・助成	地域在住乳がんサバイバーのリンパ浮腫軽減と健康関連QOLの調査	公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団	森下慎一郎	

作業療法学科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	認知症のBPSDに対するデータマイニングに基づく行動パターン解析に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	木村大介	富山直輝, 山田和政, 大歳太郎, 倉澤茂樹, 能登谷晶子
令和3	補助・助成	脳卒中者のIADL支援を推進する革新的な後予測モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	五百川和明	藤田貴昭, 曾根稔雅
令和3	補助・助成	rt-PA治療効果の医療介護連携に関するプロセセス、アウトカム評価指標の開発と検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柿沼倫弘	藤田貴昭, 大夢賀政昭, 岩本哲哉
令和3	補助・助成	辺縁系優位型加齢性TDP-43脳症(LATE)の臨床画像病理学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川勝忍	林博史, 國井泰人, 小林良太
令和3	補助・助成	通常の学級に在籍する児童への作業療法士のコンサルテーション・モデルの実証的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	倉澤茂樹	丹葉寛之, 大歳太郎, 立山清美, 中岡和代
令和3	補助・助成	レビー小体病の病態修飾に関与する遺伝子の同定	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小林良太	小山信吾, 川勝忍, 林博史
令和3	補助・助成	フレイル高齢者および家族介護者に対する自助・互助に基づいた支援体制の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	曾根稔雅	菅原由美
令和3	補助・助成	発達障害の特性と支援に関する知識尺度の開発と研修モデルの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田中善信	倉澤茂樹

令和3	補助・助成	地域高齢者の作業に関するヘルスリテラシー尺度の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	川又寛徳	
令和3	補助・助成	脳卒中ADLリハの標準化一介入すべき機能と目標値を個別に導き出す客観的指標の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	藤田貴昭	
令和3	補助・助成	BPSPDおよび介護負担低減に向けたコミュニケーションツール実践マニュアルの開発	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	木村夏実	
令和3	補助・助成	化学療法を受ける造血器腫瘍患者の呼吸機能変化と運動機能および栄養状態との関係性	2021年度（第32回）研究助成	フランスベッ ド・メデイカル ホームケア研 究・助成団体	高野綾	山本慶一、笠原龍一、神保良平、森下慎一郎、藤田貴昭
令和3	補助・助成	大腿骨近位部骨折患者の家族介護者に対する介護負担感の増加およびQOLの低下に関連する要因の検討	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大 学	大井直往	三橋佑平
令和3	補助・助成	回復期リハビリテーション病棟退院患者の転倒に関する実態調査と転倒を予防するための予測モデルの作成	保健科学部共同研究事業	福島県立医科大 学	藤田貴昭	西山和貴、大橋悠司、栗田恵、高橋祥子、菅野寛、佐藤秋博、西脇星也、半澤周一、大橋拓朗、五百川和明
令和3	国内共同研究	郡山市における要支援者の手段的日常生活活動の低下に関連する要因の検討	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究	郡山市	五百川和明	安村誠司、林博史、倉澤茂樹、曾根総雅、澄川幸志、藤田貴昭、石川陽子、川又寛徳、三橋佑平、田中善信、木村夏実、坂博吉
令和3	国内共同研究	通いの場への参加が要介護認定率に与える影響	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究 務委託	郡山市	川又寛徳	安村誠司、五百川和明、林博史、倉澤茂樹、曾根総雅、澄川幸志、藤田貴昭、石川陽子、三橋佑平、田中善信、木村夏実
令和3	国内共同研究	介護度悪化の予後予測モデルの作成	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究	郡山市	藤田貴昭	安村誠司、五百川和明、林博史、倉澤茂樹、曾根総雅、澄川幸志、石川陽子、川又寛徳、三橋佑平、田中善信、木村夏実

令和3	国内共同研究	育困困難感に関する要因の検討ー郡山市における乳幼児健康診査の受診者を対象としてー	郡山市SDGsの推進関する包括連携協定	郡山市	田中善信	安村誠司, 林博史, 倉澤茂樹, 曽根稔雅, 澄川幸志, 藤田貴昭, 石川陽子, 川又寛徳, 三橋佑平, 田中善信, 木村夏実, 城坂博吉

診療放射線科学科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	小細胞肺癌の細胞系譜転写因子ASCL1関連シグナル分子について	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	伊藤隆明	佐藤陽之輔, 永原則之, 藤野孝介, 長谷川功紀, 山口知也
令和3	補助・助成	頭頸部癌に対するBNCT投与線量適正化のための第一相線量増加臨床試験	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	高井良尋	廣瀬勝己, 佐藤まり子, 加藤貴弘
令和3	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉隆, 佐藤久志, 佐藤健一, 保田浩志, 井山慶大
令和3	補助・助成	同時収集体PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩	小島隆生, 久保均, 高橋和弘, 石井士朗
令和3	補助・助成	加速器BNCTシステムの包括的かつ実用的なQAプログラムの確立に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	加藤貴弘	高井良尋, 廣瀬勝己
令和3	補助・助成	呼吸循環フィットネスを評価する新しい指標の多角的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	里中綾子	鈴木伸治, 寺田恭子, 山品博子
令和3	補助・助成	CT検査における多発脳動脈瘤を有するくも膜下出血の破裂瘤特定支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋規之	

令和3	補助・助成	肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎道之	紺野慎一，関口美穂，長谷川靖，久保均，金内洋一
令和3	補助・助成	最新のデジタル半導体PET装置に対応した心臓動態ファントムの開発と撮像技術の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	孫田惠一	山品博子，納谷昌直，平田健司
令和3	補助・助成	CT撮影における多段階線量評価法の開発と評価	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	松原孝祐	福田篤志
令和3	補助・助成	視線解析に基づくマンモグラフィ撮影時のポジショニング技術の可視化と技術伝承	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山品博子	
令和3	補助・助成	近赤外線による非侵襲的な脳内薬物濃度測定法(ケミカルNIRS)の開発と臨床評価	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	田代学	久保均，石川大太郎，藤井智幸，渡部浩司，松原佳亮
令和3	補助・助成	脳活動と機能的ネットワークに基づいたスボーツ脳振盪の病態解明と競技復帰基準の構築	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	室井愛	丸島愛樹，鎌田浩史，松下明，五月女康作
令和3	補助・助成	脳画像を用いた神経病学的な知見を統合したアルツハイマー病診断法の開発・評価	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	三輪建太	
令和3	補助・助成	心臓血管撮影時の術者被曝防護を目的とした防護具の開発	企業研究	保科製作所	福田篤志	
令和3	補助・助成	X線CT装置の線量測定を目的とした新しい器具の開発	企業研究	東洋メデック	福田篤志	
令和3	補助・助成	経時活動記録のデキストマトマイニングによるリアルタイム災害対策予測法の確立	2021年度東北大学災害科学国際研究所リソースを活用した共同研究助成	東北大学	田代雅実	稲葉洋平，島田二郎

令和3	国内共同研究	MRI検査におけるアイメイクなどの化粧品が画像と人体に及ぼす影響に関する調査研究		日本放射線技術学会	星由紀子	立石敏樹、矢部邦宏、五月女康作、曾根理、木村智圭、阿部沙紀
令和3	国内共同研究	MRI検査に関わる問診・安全確認に関する実態調査と分析		日本磁気共鳴専門技術者認定機構	矢部邦宏	立石敏樹、星由紀子、森田康祐、吉田直人、五月女康作、金沢勉、土井司
令和3	学内共同研究	マンモグラフィ撮影技術の自動判別システムの構築	保健科学部学部共同研究事業	福島県立医科大学	山品博子	齋藤久美、國嶋杏奈

臨床検査学科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ	小島隆生
令和3	補助・助成	造血細胞移植における生着不全に対する新規治療戦略とバイオマーカーの探索	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川一英	大河原浩、深津真彦、池添隆之
令和3	補助・助成	妊婦からのB群溶血性レンサ球菌（GBS）の検出ー全自動遺伝子解析装置への応用ー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦里織	豊川真弘、志村浩己
令和3	補助・助成	心不全における腹部臓器血流と腸内細菌叢に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	義久精臣	
令和3	補助・助成	血栓形成を調節するヒートショックプロテイン72の生理的メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木英明	
令和3	補助・助成	不整脈患者におけるシャット型電極を用いた心電図記録に関する検討	共同研究	ミツフジ株式会社	義久精臣	

令和3	補助・助成	In Vitro activity of tedizolid against <i>Nocardia</i> spp. isolated in Japan	研究者主導研究支援制度	MSD株式会社	豊川真弘	
令和3	補助・助成	抗血小板薬薬効評価に関する新規バイオマーカーAPP770の解析	令和3年度福島県立医科大学研究事業育成研究	福島県立医科大学	三浦里織	
令和3	補助・助成	抗血小板薬薬効評価に有用となる新規バイオマーカー候補APP770について	令和3年度福島県立医科大学保健科学部共同研究事業	福島県立医科大学	三浦里織	

総合科学

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	森林バイオエアロゾル放出動態解明と福島事故による放射性セシウム飛散の定量的推定	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北和之	五十嵐康人, 反町篤行, 石塚正秀, 保坂健太郎, 牧輝弥, 渡辺幸一, 森野悠
令和3	補助・助成	福島県浪江町に生息するブラナ属を用いた低線量放射線の影響調査	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	有吉健太郎	中野学, 三浦富智, 葛西宏介, 田副博文
令和3	補助・助成	技能統合型ライティングにおける形成的評価ルーブリックの具体的提案と妥当性検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久保田恵佑	
令和3	補助・助成	放射性ガスを用いた大気－土壌間における反応性窒素の放出・拡散・沈着過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	反町篤行	松田和秀, 和田龍一
令和3	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史	
令和3	補助・助成	放射線破ばくくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦富智	葛西宏介, 有吉健太郎, 山城秀昭

令和3	補助・助成	役割語分析で英語のアカデミックライティングスキル向上を目指す地域貢献型PBL	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田尚子	Blake John, Pyshkin Evgeny
令和3	国内共同研究	いきいき百歳体操と救急搬送率との関連解析	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための共同研究	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子	安達隆
令和3	国内共同研究	いきいき百歳体操の効果に関する文献調査及び郡山市いきいき百歳体操啓発活動用資料（パンフレット）の制作	令和3年度保健科学部共同研究事業	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子	安達隆

附属病院長

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	非小細胞肺がんに対するNeo-antigenを標的とした新たな複合免疫療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木弘行	
令和3	補助・助成	センシングデバイスによる画期的な肺野微小病変同定法の新規開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	長谷川剛生	井上卓哉, 鈴木弘行, 塩豊, 武藤哲史
令和3	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳	鈴木弘行
令和3	補助・助成	コンピュータースキスを利用した、肺癌リンパ節転移の新たな画像評価法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	星野実加	鈴木弘行, 塩豊
令和3	補助・助成	胸部悪性疾患における免疫状態の解明		ジョンソンエンドジョンソン株式会社メディカルカンパニー	鈴木弘行	
令和3	補助・助成	肺癌における新規診断・予後マーカーの開発	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大 学	鈴木弘行	下村健寿, 前島裕子, 岡部直行

令和3	補助・助成	細胞核内局在化分子による癌予後予測新規指標の開発	戦略的学内研究推進事業	福島県立医科大学	本間美和子	鈴木弘行、武藤哲史、橋本優子、喜古雄一郎
令和3	国内共同研究	EGFR遺伝子変異陽性術後再発非小細胞肺癌患者に対するアフィニティの高い治療効果と末梢血循環および腫瘍内浸潤CD4+CD62L ^{low} エフェクターメモリーT細胞の評価を行う前向き観察研究		日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社	鈴木弘行	武藤哲史、他
令和3	国内共同研究	肺癌検診におけるAI実用化に向けた研究		みずほ情報総研株式会社	鈴木弘行	樋口光徳、他

医療情報部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	門馬智之	河野浩二、中嶋正太郎
令和3	補助・助成	ミスマッチ修復欠損・BRAF変異型大腸癌におけるフココース転移酵素発現異常の意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	野田勝	岡山洋和、門馬智之、坂本渉

ふたば救急総合医療支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	世代間サボートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮	長沼透、山田実、竹島太郎、栗田宣明
令和3	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊和之	大谷晃司、紺野真一
令和3	補助・助成	肺高血圧症の重症度および治療反応性の差異に関する検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	中里和彦	杉本浩一、三阪智史、横川哲朗

総合内科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	新たな高齢者向け包括的症状測定ツール SymTrak－健康指標としての意義	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	竹島太郎	濱口杉大

小児外科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	肝組織由来スフェロイド (LTOSs) を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丸橋繁	武藤亮, 鈴志野聖子, 石亀輝英, 清水裕史, 佐藤直哉
令和3	補助・助成	ラット壊死性腸炎モデルに対する臍帯由来間葉系幹細胞による治療の有効性の検討	研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	田中秀明	

小児腫瘍内科

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田敦, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 郷勇人
令和3	補助・助成	限局性ユークリーング肉腫ファミリー腫瘍に対するG-CSF併用治療期間短縮VDC-IE療法を用いた集学的治療の 第Ⅱ相臨床試験 JESS14	公益財団法人がんの子どもを守る会治療研究助成	公益財団法人がんの子どもを守る会	佐野秀樹	

検査部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	中枢神経系に感染する単純ヘルペスウイルスの糖鎖を利用した新たな感染機構の解明	令和3年度研究支援事業 (育成研究)	福島県立医科大学	鈴木崇斗	

集中治療部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	吸入麻酔薬投与デバイスを用いた重症呼吸不全患者の換気量制御	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	箱崎貴大	
令和3	補助・助成	褐色脂肪細胞及びベージュ脂肪細胞の個体差が周術期体温に及ぼす影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	井石雄三	
令和3	補助・助成	プロポフォール鎮静作用に対する耐性形成へのカンナビノイド受容体の影響	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	細野敦之	
令和3	補助・助成	中脳辺縁系ドパミン神経系の減弱は慢性痛および注意欠陥多動性障害と関連があるか？	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	本田潤	

総合周産期母子医療センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ヒト胎盤オルガノイドチップによる妊娠高血圧症の病態分子メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	吉野大輔	船本健一， 郷勇人
令和3	補助・助成	急性・慢性腎障害後の腎線維化に対するMicroRNA-21を用いた新規治療薬開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	川崎幸彦	郷勇人， 陶山和秀， 長岡由修， 石井玲
令和3	補助・助成	メタボローム解析を用いた早発、遅発型妊娠高血圧症候群の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	経塚 標	山口明子， 安田俊， 藤森敬也
令和3	補助・助成	体液エクソソームを用いた新生児慢性肺疾患の発症予測とmiR-21制御の治療効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	郷 勇 人	橋本浩一
令和3	補助・助成	人工呼吸器関連肺障害新生児マウスを用いた新生児慢性肺疾患の病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤真紀	郷勇人， 桃井伸緒， 橋本浩一， 吉野大輔

令和3	補助・助成	RSV感染症克服のための経年的RSV臨床分離株に対する中和抗体の質的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	橋本浩一	細矢光亮, 郷勇人, 佐藤晶論
令和3	補助・助成	癌免疫微小環境における腫瘍特異的細胞傷害性T細胞誘導メカニズムの解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	望月一弘	菊田敦, 佐野秀樹, 小林正悟, 高橋信久, 郷勇人
令和3	補助・助成	妊娠初期胎児の子宮内低酸素とmicroRNAの関連について	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	桃井伸緒	郷勇人, 青柳良倫, 金井祐二
令和3	補助・助成	メカニカルストレスが胎児マウス肺に与える影響についての分子生物学的検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	柏原祥曜	
令和3	補助・助成	新生児慢性肺疾患におけるmicroRNA・オートファジーの関与解明と治療標的探索	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	佐藤賢一	
令和3	補助・助成	グルココルチコイドの血管透過性調整に関わる機序の解明と臨床応用への検討	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	知識美奈	

臨床腫瘍センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	ER陽性乳癌細胞におけるHER3分解メカニズムの解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	須賀淳子	

脳疾患センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	血管内アミロイド前駆体代謝産物を基軸とした多面的機能解析と臨床マーカーへの応用	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北爪しのぶ	小島隆生
令和3	補助・助成	同時収集体PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩	小島隆生, 久保均, 高橋和弘, 石井士朗

臨床研究教育推進部

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	IT社会の医療情報で医療トラストに与えるメカニズムの解明：若年膠原病を対象として	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	栗田宜明	脇田貴文，矢嶋宣幸，宋龍平，佐田憲映，下島恭弘，吉見竜介
令和3	補助・助成	尺度開発に基づく低活動膀胱の新たな診断法の確立と地域への応用：予防介入を指して	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大前憲史	福原俊一，小島祥敬，脇田貴文，栗田宜明
令和3	補助・助成	腎代替療法選択におけるSDMの質評価法の確立とその決定因子の臨床疫学的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	柴垣有吾	脇田貴文，祖父江理，栗田宜明
令和3	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮	長沼透，山田実，竹島太郎，栗田宜明
令和3	補助・助成	機械学習による経時的なQOL変化、及び質調整生存年(QALY)の予測に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	山本洋介	大前憲史，後藤匡啓
令和3	補助・助成	慢性疾患での受容段階スケールの開発と実用化：受容－ホープ－セルフケアの機序解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	栗田宜明	
令和3	補助・助成	尿路結石疼痛発作リスク予測モデルの開発		日本尿路結石症学会	大前憲史	
令和3	補助・助成	医療×気象ビッグデータ解析に基づく尿路結石疼痛発作リスク予測アルゴリズムの開発・検証		公益財団法人ひと・健康・未来研究財団	大前憲史	
令和3	補助・助成	米国FDAによる医薬品迅速承認の実態調査：特に非がん治療関連薬に注目して		公益財団法人医療科学研究所	大前憲史	
令和3	補助・助成	評価表現分析で読み解く医学論文査読者の嗜好と思考：査読自動化へ向けた基盤研究		公益財団法人カシオ科学振興財団	大前憲史	

助産師養成課程設置準備室

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや、吉田和樹、津富宏、佐々木美恵、渡邊一代
令和3	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代	後藤あや、石井佳世子
令和3	国内共同研究	母乳育児継続へつながる母親の持つ力に関する研究	令和2・3年度看護学部共同研究事業	福島県立医科大学	森美由紀	太田操、高橋幸恵、紺野愛、草野祐香利

大学健康管理センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	国内共同研究	成人期注意欠如多動性障害の診断用バイオマーカーの開発：マルチモーダルアプローチ	研究助成	ヤンセンファーマ株式会社	矢部博興（研究責任者）、板垣俊太郎（主任研究者）	

総合科学教育研究センター 人文社会科学系領域

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	子ども・若者支援における専門性の構築—「社会教育的支援」の比較研究を踏まえて—	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	生田周二	井上大樹、宮崎隆志、上野景三、石井山童平、帆足哲哉、立柳聡、深作拓郎、中田周作、津富宏、川野麻衣子、大串隆吉、南出吉祥、大村恵、藤田美佳
令和3	補助・助成	地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	大川貴子	安保寛明、三澤文紀、矢原隆行
令和3	補助・助成	技能統合型ライティングにおける形成的評価ループリックの具体的提案と妥当性検証	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	久保田恵佑	

令和3	補助・助成	高齢化コミュニティにおける介護キンドレッドの地域性ー八丈島と北信地方の比較研究ー	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	立柳聡	
令和3	補助・助成	欧米優生学説の成立の背景と日本社会への輸入の際の取捨選択に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	本多創史	
令和3	補助・助成	看護学生が日常的に個人利用可能な心理学的ストレス低減方法に関する基礎的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三澤文紀	
令和3	補助・助成	役割語分析で英語のアカデミックライティングスキル向上を目指す地域貢献型PBL	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	安田尚子	Blake John, Pyshkin Evgeny
令和3	その他	八丈島の民俗と社会構造に関する研究	開拓的島嶼コミュニティ研究支援	島嶼コミュニケーション学会	立柳聡	

総合科学教育研究センター 自然科学系領域

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	森林バイオエアロゾル放出動態解明と福島事故による放射性セシウム飛散の定量的推定	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北和之	五十嵐康人, 反町篤行, 石塚正秀, 保坂健太郎, 牧輝弥, 渡辺幸一, 森野悠
令和3	補助・助成	福島県浪江町に生息するブラナリアを用いた低線量放射線の影響調査	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	有吉健太郎	中野学, 三浦富智, 葛西宏介, 田副博文
令和3	補助・助成	両親対象の妊娠期から産後まで切れ目ない育児プログラムのオンライン実施と介入効果	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	石井佳世子	後藤あや, 吉田和樹, 津富宏, 佐々木美恵, 渡邊一代
令和3	補助・助成	精神科患者の生活習慣病予防・改善を目的としたタイプ別食生活指導プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡部聡子	後藤あや, 本間杏菜, 根本詢香, 伊藤真也, 高橋徹
令和3	補助・助成	ヘルスリテラシースキルの次世代への伝達メカニズムの可視化	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	後藤あや	熊谷敦史, 村上道夫, 植田紀美子

令和3	補助・助成	保護者用乳幼児スキンケア評価尺度と尺度を用いたプログラムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤博子	後藤あや
令和3	補助・助成	放射性ガスをを用いた大気－土壌間における反応性窒素の放出・拡散・沈着過程の解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	反町篤行	松田和秀, 和田龍一
令和3	補助・助成	三元素ハイブリッド機能触媒を基盤とした高効率酸化変換の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	田辺真	
令和3	補助・助成	2バンド系1次元伝導体におけるバンド間相互作用による特異な電子相の系統的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	開康一	松浦弘泰, 石井康之
令和3	補助・助成	放射線被ばくと糖尿病の二重ストレスの生体影響解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	三浦富智	葛西宏介, 有吉健太郎, 山城秀昭
令和3	補助・助成	ベトナム人糖尿病患者の血糖コントロールとヘルスリテラシーの関連に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横川博英	後藤あや, 郡山千早, 湯浅資之
令和3	補助・助成	高校生対象の共感性を高める次世代育成教室の作成と効果検証：クロスオーバーデザイン	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊一代	後藤あや, 石井佳世子
令和3	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋結
令和3	国際共同研究	Phase III: 南部における科学的根拠に基づく患者中心の保健医療サービス向上：大学と医師会の連携イニシアチブ	JICA草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)	国際協力機構(JICA)	後藤あや	
令和3	国内共同研究	帰還住民を持続的に支援可能なアプリケーションの開発	環境省放射線健康管理・健康不安対策事業	環境省	後藤あや	

令和3	国内共同研究	いきいき百歳体操と救急搬送率との関連解析	「SDGs体感未来都市こおりやま全世代健康都市圏創造事業」推進のための 共同研究	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子	安達隆
令和3	国内共同研究	いきいき百歳体操の効果に関する文献調査及び郡山市いきいき百歳体操啓発活動用資料（パンフレット）の制作	令和3年度保健科学部共同研究事業	郡山市保健所地域包括ケア推進課	柴田恭子	安達隆

医療人育成・支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	A Q-methodology international multiphase study exploring cultural differences in the understanding of professionalism and leadership in medical education comparing Japanese and UK contexts	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	Maham Stanyon	色摩弥生、大谷晃司
令和3	補助・助成	認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大谷晃司	関口美穂、小野玲、紺野慎一
令和3	補助・助成	骨髄異形成症候群における無効造血環境形成の血球動態に基づく基礎的検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	色摩弥生	橋本優子、池添隆之
令和3	補助・助成	ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	関口美穂	竹上未紗、大谷晃司、小野玲、紺野慎一、福原俊一
令和3	補助・助成	集団的アプローチにもとづく漫画動画を利用したストレスマネジメント介入の評価研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	堀内聡	岡村尚昌、岩野卓、瀧井美緒、青木俊太郎
令和3	補助・助成	医学生・医療人のためのソーシャルメディア利用に関する教育プログラム開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	諸井陽子	石川和信、小林元
令和3	補助・助成	軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるかー探索的研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	渡邊和之	大谷晃司、紺野慎一

令和3	補助・助成	複数のICTを用いた遠隔医療コミュニケーション・トレーニングプログラムの開発	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	中島俊	藤森麻衣子，竹林由武，青木俊太郎，大井瞳
令和3	補助・助成	医師に求められるプロフェッショナルリズムを醸成する地域体験実習の構築	科学研究費助成事業／挑戦的研究(萌芽)	日本学術振興会	安田恵	色摩弥生，大谷晃司，坂本信雄
令和3	補助・助成	疼痛性障害に対する行動活性化療法の脳画像評価と治療効果予測因子の解明	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	青木俊太郎	
令和3	補助・助成	日本文化に根差した「医療チームにおける医師のリーダーシップ」の包括的再定義の試み	医学教育研究助成	公益財団法人医学教育振興財団	色摩弥生	Maham Stanyon, 及川沙耶佳, 安田恵，大谷晃司
令和3	補助・助成	ロコモディブシンドロームとメタボリックシンドローム、認知症、ペリオスチンの相互関係についての探索的検討	日本整形外科学会学術プロジェクト	日本整形外科学会	森本忠嗣	馬渡正明，大谷晃司，出原賢治，紺野慎一，島ノ江千里，吉原智仁，戸田雄，小林孝巨
令和3	補助・助成	南会津地域におけるロコモティブシンドロームと要介護認定との関係の探索的研究	福島県立病院研究費	福島県	佐竹秀一	大谷晃司
令和3	補助・助成	日本の医学生が教育プロセスで経験するジェンダーギャップの解明と対策	研究支援事業 育成研究	福島県立医科大 学	菅原亜紀子	
令和3	補助・助成	AI技術を用いたカフレス血圧の測定方法の開発・実装及び臨床評価	研究支援事業 育成研究	福島県立医科大 学	唐尊一	
令和3	補助・助成	医療情報認識から探索的に検討する医学生のアンプロフェッショナル行動の発生要因	研究支援事業 育成研究	福島県立医科大 学	諸井陽子	

看護師特定行為研修センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	拡張現実（AR）技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆	佐瀬善一郎，斎藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和3	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォローアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明	遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁
令和3	補助・助成	移植前Mitomycin-C処置による自然免疫抑制とドナー特異的免疫寛容の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	佐藤直哉	見城明

ふくしま子ども・女性医療支援センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	栄養環境改善（プレコセンセーションケア）による妊孕性向上の分子機構の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	太田邦明	高橋俊文
令和3	補助・助成	災害時の産科医療教育プログラムと妊産婦行動支援のための情報ツールの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	神保正利	高橋俊文，太田邦明
令和3	補助・助成	卵細胞質内精子注入法に特化した精子選択法・精子評価法の確立と治療前診断への応用	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	菅沼亮太	高橋俊文
令和3	補助・助成	ビッグデータ解析を用いた不妊患者における臨床決断支援システムの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木大輔	高橋俊文
令和3	補助・助成	産婦人科診療における地域格差の定量的検討ー医療ビッグデータとGISを用いた解析	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高橋俊文	太田邦明

令和3	補助・助成	妊婦の医薬品使用と児の先天奇形発症に関連する環境・遺伝要因の解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西郡秀和	小原拓, 栗山進一
令和3	補助・助成	発達障害や虐待による行動異常の悪化を予防する、切れ目のない支援を支える手法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	横山浩之	小林淳子, 富澤弥生

放射線医学県民健康管理センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	災害多発アジア3カ国における学童のヘルスリテラシー向上：クリエイティブヘルス介入	科学研究費助成事業／国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	日本学術振興会	後藤あや	岡部聡子, 郡山千早, 村上道夫, 弓屋結
令和3	補助・助成	福島原発作業員の放射線不安軽減を目標とした教育プログラムの構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	岡崎龍史	松田尚樹, 加藤尊秋, 越智小枝, 真船浩介, 江口尚, 長谷川有史, 立石清一郎, 林卓哉
令和3	補助・助成	α 線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内昇	阿部悠, 趙松吉, 西嶋剣一, 右近直之, 長谷川有史, 伊藤浩
令和3	補助・助成	原子力災害時の汚染傷病者受入れの放射線管理に関する指針の提案	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	長谷川有史	大葉隆, 佐藤久志, 佐藤健一, 保田浩志, 井山慶大
令和3	補助・助成	東日本大震災前後の認知症発症とリスク要因の動向及び予防的介入に関する疫学研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	江口依里	中野裕紀, 大平哲也
令和3	補助・助成	複合災害被害避難・帰還者のレジリエンス獲得：多層的多面的解析による	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	大戸育	安村誠司, 前田正治, 桃井真帆, 瀬藤乃理子, 竹林唯, 堀越直子, 佐藤秀樹, 後藤紗織
令和3	補助・助成	東日本大震災後の避難生活によるフレイル発生に影響する要因の検討	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	岡崎可奈子	大平哲也, 林史和

令和3	補助・助成	甲状腺癌の低侵襲術前遺伝子検査法の開発と甲状腺癌リスク評価法の確立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	志村浩己	岩館学，松本佳子，鈴木聡，伊藤祐子，鈴木眞一
令和3	補助・助成	iPS細胞からの新規甲状腺、副甲状腺モデル細胞の樹立	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木悟	横内裕二，中村泉，大河内千代
令和3	補助・助成	高齢者の災害時健康危機管理能力測定尺度の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	高瀬佳苗	稲毛映子，中野裕紀，丸谷美紀，川島理恵，蓬田美保
令和3	補助・助成	東日本大震災原子力災害を踏まえた原子力災害時における病院職員確保に関する調査研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	永田高志	長谷川有史，安部猛
令和3	補助・助成	中国医学の観点を取り入れた食事調査法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	長尾匡則	
令和3	補助・助成	脳卒中発症リスク要因としての長期避難生活が及ぼす影響に関する疫学研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	中野裕紀	
令和3	補助・助成	東日本大震災後の生活習慣病予防を目的とした潜在性脂肪肝スクリーニング指標の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	林史和	
令和3	補助・助成	受援力向上と減災：災害時に誰かに助けをもらうためのツール「DARECA」の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	針金まゆみ	

健康増進センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	統合失調症へのステイグマと医学教育や心理社会的因子との関連に関する疫学研究	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	片岡茉莉子	
令和3	補助・助成	Measuring health and risk disparities in residents in post-disaster Fukushima: a comprehensive burden of disease study through the Fukushima Health Database	令和3年度研究支援事業	福島県立医科大学	馬恩博	

先端臨床研究センター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	18F標識プローブの高効率マイクロスケール自動合成プラットフォームの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	岩田錬	高橋和弘, 原田龍一
令和3	補助・助成	腎放射活性を低減するradiotheranostic薬剤の新規設計	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	上原知也	高橋和弘, 田中浩士
令和3	補助・助成	α 線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明に関する研究	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	織内昇	阿部悠, 趙松吉, 西嶋剣一, 右近直之, 長谷川有史, 伊藤浩
令和3	補助・助成	低酸素因子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	北川善政	竹内康人, 大賀則孝, 佐藤淳, 犬伏正幸, 趙松吉, 志賀哲
令和3	補助・助成	ナトリウム共役能動輸送型糖輸送体を標的としたセラノステイクス薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	小林正和	国嶋崇隆, 玉井郁巳, 鷺山幸信, 川井恵一, 西井龍一, 水谷明日香
令和3	補助・助成	がん幹細胞をターゲットとした α 線放出核種を用いた革新的な白血病治療法の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	趙松吉	池添隆之, 西嶋剣一, 高橋和弘, 鷺山幸信, 杉山暁, 右近直之, 織内昇, 栗生木美穂

令和3	補助・助成	高分解能PET装置を用いた冠動脈プラーク炎症病変の可視化と心筋梗塞発症の機序解明	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	納谷昌直	孫田恵一，平田健司，真鍋治，真鍋徳子，志賀哲，石田雄介，長内俊也
令和3	補助・助成	標的アルファ線治療におけるブレタージェーティング法の最適化と複数がん種への適応	科学研究費助成事業／基盤研究(B)	日本学術振興会	鷺山幸信	高橋和弘，杉山暁，山下雄史，右近直之，横山明彦，趙松吉，巽俊文，栗生木美穂
令和3	補助・助成	個別化医療を志向したがんに選択的なチミジンホスホリラーゼイメーキング技術の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	秋澤宏行	宿里充穂，久下裕司，趙松吉，尾江梧，水野雄貴
令和3	補助・助成	同時収集型PET/MRI装置による閉塞性脳血管障害の統合的病態解明	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	伊藤浩	小島隆生，久保均，高橋和弘，石井士朗
令和3	補助・助成	血管新生因子PD-ECGFを標的とした新規At-211標識治療用放射性薬剤の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	西嶋剣一	東川桂，栗生木美穂，久下裕司，趙松吉
令和3	補助・助成	アスタチン化学のフロンティア解明と医学とのシナジー	科学研究費助成事業／挑戦的研究(開拓)	日本学術振興会	高貝慶隆	鷺山幸信，高橋和弘
令和3	補助・助成	新規α線イメージング手法による核医学治療の組織吸収線量測定法の開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	右近直之	
令和3	補助・助成	新規PSMA標的放射性薬剤の開発-18Fと211Atとの生物学的同等性の攻略	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	城責大輝	
令和3	補助・助成	白血病の根治を目指した新規放射免疫療法の開発	研究助成金	上原記念生命科学財団	池添隆之	趙松吉
令和3	国内共同研究	PET-MR複合装置によるPET画像の画質改善に関する研究	放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究	弘前大学大学院	織内昇	高橋康幸，細川翔太，伊藤浩，根本彩香

令和3	国内共同研究	がん低酸素を標的とした核医学診断・治療法の開発	放射線災害・医学研究拠点 共同利用・共同研究	京都大学	趙松吉	志水陽一
令和3	国内共同研究	α線核種によるがん治療の線量評価に基づく正常細胞障害の解明	放射線災害・医学研究拠点 拠点プロジェクト	長崎大学原爆後 障害医療研究所	織内昇	松田尚樹, 阿部悠
令和3	国内共同研究	低LETと高LETのRI内用治療が正常組織機能に及ぼす影響に関する基礎研究	放射線災害・医学研究拠点 拠点プロジェクト	長崎大学	趙松吉	工藤崇
令和3	国内共同研究	α線放出核種アスタチン (211At) 標識抗CD33抗体による急性骨髄性白血病の治療効果および正常組織への影響に関する基礎的研究	放射線災害・医学研究拠点 拠点プロジェクト	長崎大学	趙松吉	井手口怜子
令和3	出資金による受託研究	放射線業務従事医療関係者の職業被ばく実態調査と被ばく低減対策研究	令和3年度労災疾病臨床研究事業費補助金	長崎大学	工藤崇	

臨床研究イノベーションセンター

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	世代間サポートの定量化の確立と虚弱予防：地域での実践	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	鈴木亮	長沼透, 山田実, 竹島太郎, 栗田宣明
令和3	補助・助成	経済評価に向けた高齢者の健康効用値スコアリング法の妥当性検証とインテックス開発	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	吉岡貴史	

会津医療センター 精神医学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	損傷脳からみた日本語の神経基盤に関する統合的研究 ― 個体差から個別化医療へ ―	科学研究費助成事業／基盤研究 (B)	日本学術振興会	鈴木匡子	川勝忍、菅野重範、大沢伸一郎、中里信和、鈴木麻希
令和3	補助・助成	辺縁系優位型加齢性TDP-43脳症 (LATE) の臨床画像病理学的研究	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	川勝忍	林博史、國井泰人、小林良太
令和3	補助・助成	レビー小体病の病態修飾に関与する遺伝子の同定	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	小林良太	小山信吾、川勝忍、林博史
令和3	補助・助成	脳画像解析による非アルツハイマー型認知症のBPSD発症機序の解明と対応法の開発	科学研究費助成事業／研究活動スタート支援	日本学術振興会	坂本和貴	
令和3	国内共同研究	認知症者における抑うつ・無気力に対する治療法に関するエビデンス構築を目的とした研究	厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症政策研究	厚生労働省	井原一成	川勝忍、他
令和3	国内共同研究	反応性アストログリアオーシスを定量化する新規画像バイオマーカーの研究開発	認知症疾患の層別化に資する脳画像解析技術・バイオマーカーの開発	AMED国立研究開発法人日本医療研究開発機構	田代学	川勝忍、他
令和3	国内共同研究	軽度アルツハイマー型認知症を対象とする八味地黄丸の認知機能に対する有効性と安全性を確認する探索的オープン標準治療対照無作為化割付多施設共同試験	『統合医療』に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業	AMED国立研究開発法人日本医療研究開発機構	貝沼茂三郎	川勝忍、他

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	深層学習による大腸膵臓状態変化の自動検出解析装置の開発	科学研究費助成事業／基盤研究 (C)	日本学術振興会	富樫一智	歌野健一、朱欣

令和3	補助・助成	特定行為研修を修了した看護師の活動促進のためのフォロアアップ基盤の構築	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	見城明	遠藤俊吾，菅野久美，加藤郁子，三浦浅子，丸橋繁

会津医療センター 外科科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	肺癌検診における人工知能(AI)実用化に向けた研究	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	樋口光徳	鈴木弘行
令和3	補助・助成	肝組織由来スフェロイド(LTOSs)を用いた複合型肝細胞シートの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	丸橋繁	武藤亮，鈴木野聖子，石亀輝英，清水裕史，佐藤直哉
令和3	補助・助成	拡張現実(AR)技術を応用した手術訓練シミュレーターの開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	木村隆	佐瀬善一郎，齋藤拓朗，丸橋繁，見城明
令和3	補助・助成	脂肪由来間葉系幹細胞と肝細胞による積層化シートの作製	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	鈴木野聖子	

会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	地域在住高齢者の身体機能低下から中長期の健康アウトカムを予測する研究	科学研究費助成事業／若手研究	日本学術振興会	富永亮司	
令和3	学内共同研究	ロコモティブシンドロームの発生および増悪因子に関する探索的研究			白土修	

会津医療センター 耳鼻咽喉科学講座

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	機能性食品による抗酸化、免疫賦活化作用を介した聴覚障害予防の試み	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	小川洋	錫谷達夫

会津医療センター 臨床医学部門

年度	実施形態	研究テーマ	補助金・資金制度名／種別	相手機関名	代表研究者	共同研究者一覧
令和3	補助・助成	深層学習による大腸膵歯状病変の自動検出解析装置の開発	科学研究費助成事業／基盤研究(C)	日本学術振興会	富樫一智	歌野健一，朱欣

IV 知的財産権の設定の登録一覧

システム神経科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人会津大学，公立大学法人福島県立医科大学	慎重弼，小林俊輔	分類プログラム、分類装置及び分類方法	特開2021-131805 (P2021-131805A)	2021年9月

生化学講座／衛生学・予防医学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	橋本康弘，伊藤浩美，星京香	脳型N-アセチルグルコサミンートランスフェリンの検出方法	特開2021-162484 (P2021-162484A)	2021年10月

微生物学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	大阪ガスケミカル株式会社，公立大学法人福島県立医科大学	大北正信，南聡史，貴傳名甲，呉楠，草刈剛，錫谷達夫，西山恭子	抗ウイルス剤及びウイルスの除去方法	特開2021-50234 (P2021-50234A)	2021年4月

基礎病理学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	千葉英樹，東智仁	悪性中皮腫鑑別方法、及び悪性中皮腫鑑別用抗CLDN15抗体	特開2021-42960 (P2021-42960A)	2021年3月

消化器内科学講座／医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社ニッポンジーン	渡辺慎哉，今井順一，鈴木玲，大平弘正，高木忠之，富樫玲子	膵管内乳頭状粘液性腫瘍由来膵癌または膵癌を検出する方法およびキット	特開2021-93955 (P2021-93955A)	2021年6月

リウマチ膠原病内科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	右田清志，藤田雄也，浅野智之	成人スチル病（ASD）を判定するためのバイオマーカー	特開2021-181890 (P2021-181890A)	2021年11月

乳腺外科学講座／医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	渡辺慎哉，今井順一，伊藤恵美，大竹徹，阿部宣子，立花和之進	乳癌のサブタイプを鑑別又は分類するための鑑別マーカー遺伝子セット、方法およびキット	特開2021-16350 (P2021-16350A)	2021年2月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	渡辺慎哉，今井順一，伊藤恵美，大竹徹，阿部宣子，立花和之進	内部標準遺伝子	特開2021-16351 (P2021-16351A)	2021年2月

甲状腺内分泌学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，ゼノアックリソース株式会社	横内裕二，江良沢実，鈴木真一	一塩基の識別方法	特開2021-16374 (P2021-16374A)	2021年2月

生体物質研究部門／病理病態診断学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，公益財団法人星総合病院	本間美和子，野水整，本間好，橋本優子，喜古雄一郎	癌の予後バイオマーカー	W0/2021/132544	2021年7月

看護学部 生命科学部門

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学	森努，河村隆	相互依存性の特定方法	W0/2018/181988 再表2018/181988 特許第6820621号	2018年10月 2020年4月 2021年3月

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人福島県立医科大学，株式会社メディクローム	渡辺慎哉，今井順一，松倉進	化合物を基板上に固定する方法および固定化した化合物の検出方法	特開2021-189080 (P2021-189080A)	2021年12月

会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座

種別	出願人一覧	発明者一覧	名称	番号	公開年月
特許	公立大学法人会津大学，公立大学法人福島県立医科大学	朱欣，富樫一智，根本大樹	大腸内視鏡検査補助装置、大腸内視鏡検査補助方法及び大腸内視鏡検査補助プログラム	特開2021-58464 (P2021-58464A)	2021年4月

福島県立医科大学業績集

令和3年

印刷発行 令和5年3月22日

編集発行 福島県立医科大学附属学術情報センター
福島市光が丘1番地
TEL 024(547)1684

印刷所 株式会社 阿部紙工
福島市庄野字柿場1の11
電話代表 024(593)5111